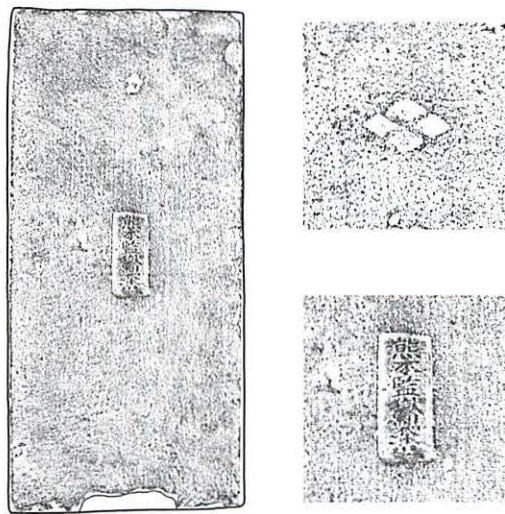


熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅻ

(2004、2008、2012、2014、2015年度)



2017

熊本大学埋蔵文化財調査センター

熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅻ

(2004、2008、2012、2014、2015年度)

2017

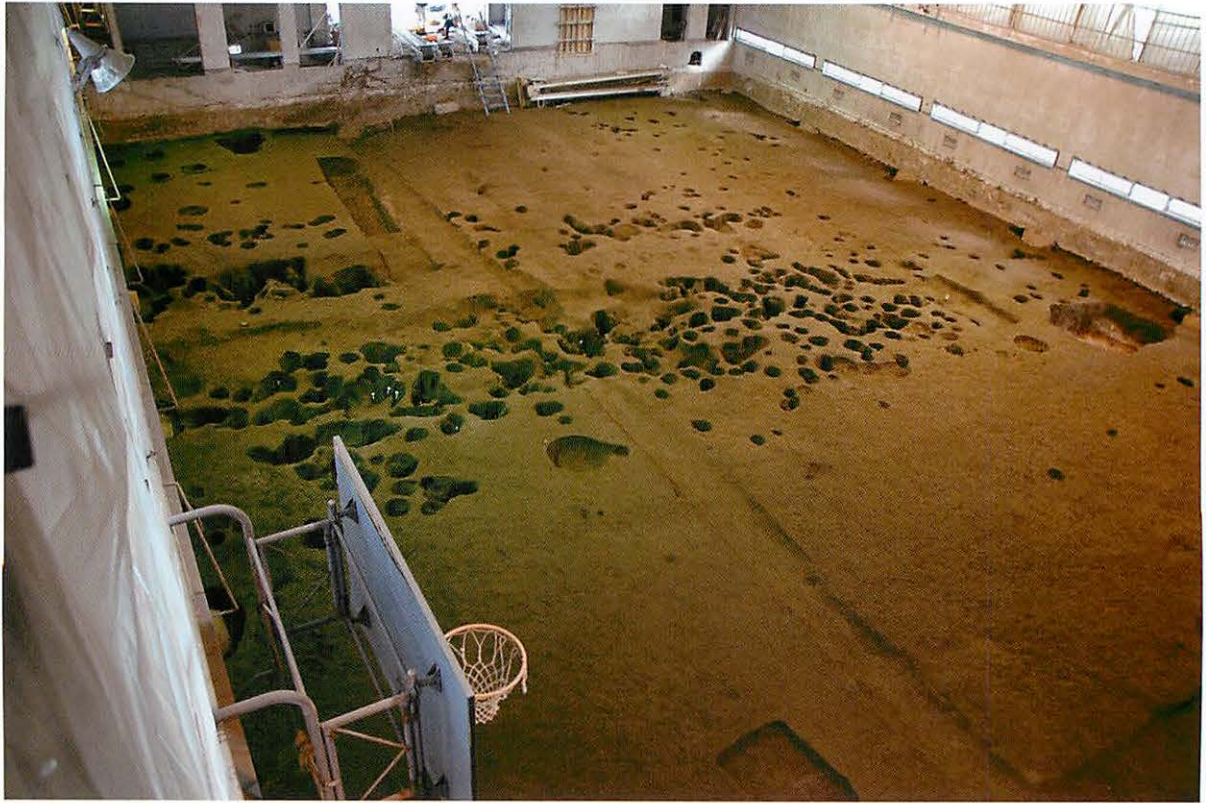
熊本大学埋蔵文化財調査センター



1. 0411調査地点調査区全景 (東より)



2. 0411調査地点祭祀遺物出土状況 (東より)



3. 0819調査地点ピット群・道路跡検出状況 (西より)



4. 1528調査地点1号建物基礎検出状況 (北東より)

序 文

本報告書は、2004年、2008年、2012年、2014年、2015年度の調査成果である。調査では以下の成果があった。

- ・本荘の附属病院では、律令時代に公的建物が白川沿いに集約する変化に対応して、それ以前の一般集落が立ち退いてゆく様子を病院南側で確認した。
- ・渡鹿の体育館では、古代の集落において新たな建物跡を検出した。
- ・京町の附属小学校では、弥生時代後期の集落の東への広がりを確認した。
- ・黒髪教育学部西棟では、第五高等学校関連の赤煉瓦建物の基礎を確認し、出土煉瓦に熊本監獄製造刻印を確認して、文献記録の内容を検証できた。

発掘調査の報告書は、本来、発掘後なるべく早く刊行すべきものだが、センターでは諸般の事情により1994年以降の発掘調査の報告書刊行が大幅に遅延していた。私たちはこれらの報告書作成事業を10年計画で進めてきた結果、いよいよ本書が積み残し報告書の最後の1冊となった。積年の荷がおりた、というのがセンター教員共通の思いだ。来年度から、前年度調査の報告書作成と現場の調査を両輪とした正常な活動が始まる、それを思うとほんとうに嬉しい。

発掘調査は現場で掘る作業が全てであると思われがちだが、そうではない。発掘調査の内容をまとめ、その成果を示した報告書を刊行し、出土遺物が公共の財産になって初めて一連の調査が終了するのである。報告書の刊行には、土器を洗い接合し、木器や鉄器を保存処理し、図を描き、写真を整理し、出土資料について比較検討するという地味な室内作業がつきもので、発掘調査とほぼ同じ時間とエネルギーが費やされる。しかし、こうした室内作業が現場作業とセットであることへの理解がなかなか得られない。開発等にもなう発掘調査の経費は年度単位で予算が組まれるので、例えば建物が建つと当該事業は終わり、次年度に始まる報告書のための経費の出所がなくなってしまう。この場合、発掘の原因をつくった大学が別途予算を組まねばならないのだが、年々厳しさをます大学の経営の中でその捻出は容易でない。近年の刊行は学長裁量経費によっている。

発掘調査をしたものは内容を報告しなければならない。当たり前なことだ。積み残し最後の報告書を眺めながら改めてこう思っている。

2016年度も運営基盤管理部をはじめとする関係部局の方々にお世話になった。あつく御礼申し上げる。

平成29年3月3日

国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査センター
センター長 木下尚子

例 言

1. 本報告書は、熊本大学再開発計画によって熊本大学敷地内において実施された各種建築工事に伴い、熊本大学埋蔵文化財調査室（平成23年10月1日より「熊本大学埋蔵文化財調査センター」に改組）が2004～2015年度に実施した発掘調査の一部に関するものである。
2. 本書に収録した報告は、2004～2015年度に埋蔵文化財調査室（現調査センター）が実施した発掘調査報告とそれに関連する立会調査などの成果のうち、13件の発掘調査に関する成果である。
3. 上記調査地点の報告にあたっては、下記のように地区ごとに分けて報告する。
Ⅱ章：黒髪北地区 0836調査地点・1514・1524調査地点・1528調査地点
Ⅲ章：黒髪南地区 0806調査地点・0806Ⅱ調査地点・0809調査地点
Ⅳ章：本荘北地区 0411調査地点・0835調査地点・1425・1426・1504調査地点・1442調査地点
Ⅴ章：本荘中地区 1233調査地点
Ⅵ章：京町地区 1417・1443調査地点
Ⅶ章：渡鹿地区 0819調査地点
4. 以上の調査を実施した2004～2015年度の埋蔵文化財調査室（現調査センター）の組織と調査体制は以下のとおりである。
室長：甲元眞之（文学部教授）（04年度）・木下尚子（文学部教授）（08～15年度）
調査員：松田光太郎（センター准教授）（12～15年度）・大坪志子（当時 文学部助手）（04・08年度）・江頭俊介（当時 技術補佐員）（08年度）・多賀晴司（技術補佐員）（12年度）・吉留広（技術補佐員）（15年度）
事務補佐員：前田（村田）知聖（04・12年度）・中川木綿子（2008年）・大崎喜美子（14・15年度）
5. 遺物番号は地区ごとに1から番号を付けている。写真図版中の番号はこれに一致する。
6. 本文は、Ⅰ章表2・Ⅱ章-2・3、Ⅳ章-3・4、Ⅴ章・Ⅵ章は松田光太郎・吉留広が執筆、Ⅰ章本文・Ⅲ章-1・3・Ⅳ章-1・2、Ⅶ章を大坪志子、Ⅱ章-1・Ⅲ章-3を江頭が、他は松田・大坪で分担した。
7. 本書に使用した遺構実測図に関しては、松田光太郎・大坪志子・江頭俊介・吉留広、株式会社埋蔵文化財サポートシステム、株式会社イビソク、株式会社有明測量開発によるものである。
8. 本書に使用した遺物実測図・拓本は、井上裕美、江頭、小山正子、後藤恵、首藤優子、園田智子、吉留、が製作した。
9. 本書に使用した図版の製図は松田、大坪、江頭、吉留、増井、鬼塚美枝が行った。
10. 遺構実測及び製図には手描による記録とともに、株式会社CUBICの遺跡実測支援システム「遺構くん」及び製図システム「トレース3Dくん」を使用した。
11. 本書に使用した現場写真は松田・大坪・調査支援各社調査員が、遺物写真は江口路、末吉美紀・小山がこれを撮影した。
12. 本書で使用した遺物観察表は、松田・大坪・江頭・鬼塚・首藤が作成した。
13. 本書に掲載した出土遺物および記録類は、すべて熊本大学埋蔵文化財センターで保管している。
14. 本書の編集は松田・大坪が行った。

本文目次

I 構内遺跡と調査の概要	1
1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要	1
2. 調査に至る経緯	4
3. これまでの調査と本書収録の遺跡	5
II 黒髪北地区の調査	23
1. (黒髪北) 教育学部文法学部本館改修機械設備工事に伴う発掘調査 (0836調査地点)	23
(1) 調査の目的と経過	23
(2) 調査区の基本層序	23
(3) 検出遺構	26
(4) 出土遺物	30
(5) まとめ	30
2. (黒髪北) 校舎 (旧北地区食堂) 改修工事に伴う立会調査 (1514・1524調査地点)	32
(1) 調査の目的と経過	32
(2) 調査区の基本層序	32
(3) 検出遺構	33
(4) 出土遺物	41
(5) まとめ	42
3. (黒髪北) 総合研究棟 (黒髪北N9) 改修工事に伴う立会調査 (1528調査地点)	45
(1) 調査の目的と経過	45
(2) 調査区の基本層序	45
(3) 検出遺構	45
(4) 出土遺物	46
(5) まとめ	53
III 黒髪南地区の調査	57
1. (黒髪南) 南地区福利施設支障配管替工事 (追加) に伴う発掘調査 (0806調査地点)	57
(1) 調査の目的と経過	57
(2) 調査区の基本層序	57
(3) 検出遺構	58
(4) 出土遺物	62
(5) まとめ	62
2. (黒髪南) 南地区福利施設支障配管替工事 (追加2) に伴う発掘調査 (0806Ⅱ調査地点)	64
(1) 調査の目的と経過	64
(2) 調査区の基本層序	64
(3) 検出遺構	64
(4) 出土遺物	64
(5) まとめ	66
3. (黒髪南) 福利施設樹木移植工事 (追加) に伴う発掘調査 (0809調査地点)	67
(1) 調査の目的と経過	67

(2) 調査区の基本層序	67
(3) 検出遺構	68
(4) 出土遺物	68
(5) まとめ	69
IV 本荘北地区の調査	73
1. 本荘団地北地区(医病)基幹・環境整備に伴う発掘調査(0411調査地点)	73
(1) 調査の目的と経過	73
(2) 調査区の基本層序	77
(3) 検出遺構	79
(4) 出土遺物	97
(5) まとめ	110
2. (医病)東病棟新営機械設備(衛生)工事(変更)に伴う発掘調査(0835調査地点)	124
(1) 調査の目的と経過	124
(2) 調査区の基本層序	126
(3) 検出遺構	126
(4) 出土遺物	134
(5) まとめ	144
3. (本荘北)臨床研究棟新営その他工事に伴う発掘調査(1425・1426・1504調査地点)	153
(1) 調査の目的と経過	153
(2) 調査区の基本層序	155
(3) 検出遺構	155
(4) 出土遺物	164
(5) まとめ	167
4. (本荘北)管理棟改修その他工事に伴う立会調査(1442調査地点)	170
(1) 調査の目的と経過	170
(2) 調査区の基本層序	170
(3) 検出遺構	170
(4) 出土遺物	173
(5) まとめ	175
V 本荘中地区の調査	179
1. (本荘中)医学部旧ボイラー室煙突撤去工事に伴う発掘調査(1233調査地点)	179
(1) 調査の目的と経過	179
(2) 調査区の基本層序	179
(3) 検出遺構	181
(4) 出土遺物	183
(5) まとめ	184
VI 京町地区の調査	187
1. (京町)教育学部附属小学校校舎新営その他工事に伴う発掘調査(1417・1443調査地点)	187
(1) 調査の目的と経過	187
(2) 調査区の基本層序	189

(3) 検出遺構	189
(4) 出土遺物	196
(5) まとめ	200
VII 渡鹿地区の調査	205
1. (渡鹿) 体育館耐震改修その他工事に伴う発掘調査 (0819調査地点)	205
(1) 調査の目的と経過	205
(2) 調査区の基本層序	206
(3) 検出遺構	206
(4) 出土遺物	218
(5) まとめ	222
Summary	226

挿 図 目 次

図1 黒髪町遺跡群・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000)	2	図14 1528調査地点遺構配置実測図 (1/250)	46
図2-1 黒髪北地区西半における調査地点位置図 (1/2000)	24	図15 1号建物基礎実測図 (1/50)	47
図2-2 黒髪北地区東半における調査地点位置図 (1/2000)	25	図16 1528調査地点出土遺物実測図1 (1/4)	48
図3 各調査区遺構図 (1/500)	27	図17 1528調査地点出土遺物実測図2 (1/4)	49
図4 1区1号竪穴住居・7区東側6号竪穴住居実測図 (1/50)	28	図18 1528調査地点出土遺物実測図3 (1/4)	50
図5 2区4号流路・4区1号溝・2号溝・3号土坑実測図 (1/50)	29	図19 1528調査地点出土遺物実測図4 (1/4)	51
図6 0836調査地点出土遺物実測図 (1/2・1/4)	31	図20 1528調査地点出土遺物実測図5 (2/5)	52
図7 1514・1524調査地点遺構配置実測図 (1/200)	34	図21 1528調査地点出土煉瓦法量図	54
図8 1514・1524調査地点土層断面実測図1 (1/50)	35	図22 黒髪南地区における調査地点位置図 (1/2000)	58
図9 1514・1524調査地点土層断面実測図2 (1/50)	36	図23 0806調査地点調査区配置図・土層断面実測図 (1/200・1/50)	59
図10 1524調査地点南部東半遺構群実測図 (1/50)	37	図24 0806調査地点各調査区遺構配置図 (1/50)	61
図11 1524調査地点南部西半遺構群実測図 (1/50)	38	図25 0806調査地点出土遺物実測図 (1/4)	63
図12 1514調査地点西部遺構群実測図 (1/50)	39	図26 0806Ⅱ調査地点遺構配置図・土層断面実測図 (1/50)	65
図13 1514・1524調査地点出土遺物実測図 (1/4)	41	図27 0806Ⅱ調査地点出土遺物実測図 (1/4)	66

図28	樹木②遺構配置図・1号竪穴住居・2号溝・調査区西壁土層断面実測図 (1/100・1/25) ……………	69	図49	0411調査地点出土遺物実測図3 (1/4) ……………	103
図29	0809調査地点出土遺物実測図 (1/4) ……………	70	図50	0411調査地点出土遺物実測図4 (1/4) ……………	104
図30	本荘北地区における調査地点位置図 (1/2000) ……………	74	図51	0411調査地点出土遺物実測図5 (1/4) ……………	105
図31	0411調査地点遺構配置図1 (1/150) ……………	75	図52	0411調査地点出土遺物実測図6 (1/4) ……………	106
図32	0411調査地点遺構配置図2 (1/150) ……………	76	図53	0411調査地点出土遺物実測図7 (1/4) ……………	107
図33	0411調査地点土層断面実測図 (1/80) ……………	78	図54	0411調査地点出土遺物実測図8 (1/4) ……………	108
図34	174号竪穴住居実測図 (1/50) ……………	79	図55	0411調査地点出土遺物実測図9 (1/4) ……………	109
図35	175号・200号竪穴住居実測図 (1/50) ……………	80	図56	0411調査地点出土遺物実測図10 (1/4) ……………	110
図36	207号竪穴住居実測図 (1/50) ……………	82	図57	0835調査地点遺構配置図 (1/100) ……………	125
図37	78号竪穴住居実測図 (1/50) ……………	83	図58	0835調査地点土層断面実測図 (1/50・1/80) ……………	127
図38	120号・166号竪穴住居実測図 (1/50) ……………	84	図59	56号竪穴住居実測図 (1/50) ……………	128
図39	各溝の土層断面実測図 (1/20・1/50)・畝土層断面実測図 (1/50) ……………	85	図60	1号・17号・32号竪穴住居実測図 (1/50) ……………	130
図40	1号・2号溝内出土遺物実測図 (1/50) ……………	86	図61	42号・47号・49号・50号竪穴住居位置関係図、42号・47号・49号竪穴住居実測図 (1/50) ……………	132
図41	173号粘土範囲実測図 (1/50) ……………	88	図62	48号竪穴住居実測図 (1/50) ……………	133
図42	177号祭祀跡・276号縄文土器群実測図 (1/50) ……………	89	図63	50号・54号・55号竪穴住居、41号土坑、43号・44号溝実測図 (1/50) ……………	135
図43	0411調査地点③区間・⑧区間遺構配置図 (1/200) ……………	91	図64	掘立柱建物跡実測図 (1/50) ……………	136
図44	③区間における遺構実測図・土層断面実測図 (1/50) ……………	92	図65	0835調査地点出土遺物実測図1 (1/4) ……………	138
図45	522号・535号・539号・551号竪穴住居実測図 (1/50) ……………	94	図66	0835調査地点出土遺物実測図2 (1/4) ……………	139
図46	525号・526号・537号竪穴住居実測図 (1/50) ……………	96	図67	0835調査地点出土遺物実測図3 (1/2・1/4) ……………	140
図47	0411調査地点出土遺物実測図1 (1/4) ……………	101	図68	0835調査地点出土遺物実測図4 (1/4) ……………	141
図48	0411調査地点出土遺物実測図2 (1/4) ……………	102	図69	0835調査地点出土遺物実測図5 (1/2・1/4) ……………	142

図70	1425・1426・1504調査地点遺構配置実測図 (1/400)……………	154	図91	1417・1443調査地点土層断面実測図 (1/50)……………	191
図71	1425・1426・1504調査地点土層断面実測図 (1/50)……………	155	図92	25・73号溝、37号竪穴住居実測図 (1/50)……………	193
図72	1425・1426・1504調査地点西部遺構群実測図1 上位 (1/50)……………	157	図93	20号竪穴住居実測図 (1/50)……………	194
図73	1425・1426・1504調査地点西部遺構群実測図2 下位 (1/50)……………	158	図94	55・65号竪穴住居実測図 (1/50) ……	195
図74	1425・1426・1504調査地点北西部南半遺構群実測図 (1/50)……………	159	図95	33号土坑実測図 (1/50)……………	196
図75	106号竪穴住居実測図 (1/50)……………	160	図96	1417・1443調査地点出土遺物実測図1 (1/4)……………	197
図76	1425・1426・1504調査地点北西部北半遺構群実測図 (1/50)……………	161	図97	1417・1443調査地点出土遺物実測図2 (1/4・1/3)……………	198
図77	153号溝・152・155号竪穴住居・154号土坑実測図 (1/50)……………	162	図98	大江総合運動場における調査地点位置図 (1/2000)……………	206
図78	1425・1426・1504調査地点東部遺構群実測図 (1/50)……………	163	図99	0819調査地点遺構配置図第1面 (1/200)……………	207
図79	1425・1426・1504調査地点出土遺物実測図 (1/4)……………	165	図100	0819調査地点遺構配置図第2面 (1/200)……………	208
図80	県立熊本病院平面図……………	167	図101	0819調査地点遺構配置図第2面 (道路跡部分拡大図) (1/50)……………	209
図81	1442調査地点遺構配置実測図1 上位 (1/50)……………	171	図102	0819調査地点遺構配置図第3面 (1/200)……………	210
図82	1442調査地点遺構配置実測図2 下位 (1/50)……………	172	図103	0819調査地点土層断面実測図 (1/100)……………	211
図83	1号建物基礎・3号土坑・4号溝実測図 (1/50)……………	172	図104	265号竪穴住居実測図 (1/50)……………	212
図84	1442調査地点出土遺物実測図 (1/4)……………	174	図105	265号竪穴住居竈掘方実測図・柱穴配置実測図 (1/50)……………	213
図85	本荘中地区における調査地点位置図 (1/2000)……………	180	図106	281号竪穴住居実測図・道路跡実測図 (1/50)……………	215
図86	1233調査地点土層断面実測図 (1/50)……………	181	図107	415号竪穴住居 (焼土・硬化面)・539号土坑・500号骨蔵器実測図 (1/50・1/10)……………	217
図87	1233調査地点遺構配置実測図 (1/50)……………	182	図108	0819調査地点出土遺物実測図1 (1/4)……………	219
図88	1233調査地点出土遺物実測図 (1/4)……………	183	図109	0819調査地点出土遺物実測図2 (1/1・1/2・1/4)……………	220
図89	京町地区における調査地点位置図 (1/1500)……………	188	図110	0819調査地点出土遺物実測図3 (1/4)……………	221
図90	1417・1443調査地点遺構配置実測図 (1/200)……………	190	図111	大江総合運動場における既往の発掘調査地点位置図 (1/2000)……………	222

図 版 目 次

<p>図版1 0836調査地点…………… 229</p> <p>写真1 1区掘削状況(西より)</p> <p>写真2 1号竪穴住居検出状況(南より)</p> <p>写真3 1号竪穴住居床面検出状況(南より)</p> <p>写真4 1号竪穴住居床面検出状況(南西より)</p> <p>写真5 1号竪穴住居完掘(南より)</p> <p>写真6 2区掘削状況(南より)</p> <p>写真7 2区土層断面(西より)</p> <p>写真8 2区作業風景(北より)</p> <p>図版2 0836調査地点…………… 230</p> <p>写真9 2区4号流路検出状況(南西より)</p> <p>写真10 2区4号流路礫出土状況(南西より)</p> <p>写真11 2区4号流路礫出土状況(北より)</p> <p>写真12 2区4号流路礫出土状況(南東より)</p> <p>写真13 3区作業風景(西より)</p> <p>写真14 3区1号ピット検出状況(西より)</p> <p>写真15 4区掘削状況(西より)</p> <p>写真16 4区1号遺物検出状況(北より)</p> <p>図版3 0836調査地点…………… 231</p> <p>写真17 4区1号溝五輪塔出土状況(北より)</p> <p>写真18 4区1号溝完掘状況(北より)</p> <p>写真19 4区2号溝完掘状況(西より)</p> <p>写真20 4区3号土坑検出状況(北より)</p> <p>写真21 7区6号竪穴住居検出状況(南東より)</p> <p>写真22 7区6号竪穴住居竈検出状況(南より)</p> <p>写真23 7区6号竪穴住居遺物出土状況(南より)</p> <p>写真24 7区6号竪穴住居鉄鏝出土状況(南東より)</p> <p>図版4 0836調査地点…………… 232</p> <p>写真25 7区6号竪穴住居竈検出状況(南より)</p>	<p>写真26 7区6号竪穴住居竈土層断面(東より)</p> <p>写真27 7区6号竪穴住居完掘状況(南より)</p> <p>写真28 7区東側作業風景(南より)</p> <p>写真29 7区掘削状況(西より)</p> <p>写真30 6区ピット完掘状況(東より)</p> <p>写真31 5区掘削状況(東より)</p> <p>写真32 5区作業風景(西より)</p> <p>図版5 0836調査地点出土遺物…………… 233</p> <p>図版6 1514・1524調査地点・同出土遺物… 234</p> <p>写真33 掘削状況(西より)</p> <p>写真34 南部東半遺構掘削状況(東より)</p> <p>写真35 南部西半遺構掘削状況(西より)</p> <p>写真36 33号溝掘削状況(南東より)</p> <p>図版7 1528調査地点・同出土遺物1 …… 235</p> <p>写真37 掘削状況(南東より)</p> <p>写真38 1号建物基礎検出状況(北東より)</p> <p>写真39 1号建物基礎立面(南より)</p> <p>写真40 2号建物基礎検出状況(北より)</p> <p>図版8 1528調査地点出土遺物2 …… 236</p> <p>図版9 0806調査地点…………… 237</p> <p>写真41 調査区全景(西より)</p> <p>写真42 ①区南壁土層断面(東より)</p> <p>写真43 1号溝土層断面(東より)</p> <p>写真44 2号竪穴住居完掘状況(北より)</p> <p>写真45 2号竪穴住居土層断面(東より)</p> <p>図版10 0806調査地点…………… 238</p> <p>写真46 ①区東側全景(東より)</p> <p>写真47 19号溝完掘状況(北より)</p> <p>写真48 ②区作業風景(南西より)</p> <p>写真49 ②区遺構掘削状況(北より)</p> <p>写真50 1号溝・2号ピット掘削状況(東より)</p> <p>写真51 ⑤区作業風景(東より)</p> <p>写真52 2号溝掘削状況(西南より)</p> <p>写真53 2号溝土層断面(北西より)</p>
--	--

図版11	0806Ⅱ調査地点……………	239
写真54	中央柵部分掘削状況（北東より）	
写真55	中央柵部分遺構検出状況（南西より）	
写真56	中央柵部分遺構掘削状況（南西より）	
写真57	中央柵部分遺構掘削状況（南西より）	
写真58	西側管路部分掘削状況（北東より）	
写真59	西側管路部分掘削状況（東より）	
写真60	西側管路部分遺構検出状況（北東より）	
写真61	1号溝検出状況（西より）	
図版12	0806Ⅱ調査地点……………	240
写真62	西側管路部分遺構掘削状況（北東より）	
写真63	西側管路部分遺構完掘状況（北東より）	
写真64	西側管路部分遺構完掘状況（北東より）	
写真65	1号溝掘削状況（東より）	
写真66	1号溝土層断面（北西より）	
写真67	西側管路部分砂層検出状況（北より）	
写真68	西側管路部分砂層検出状況（北より）	
写真69	西側管路部分全景（南西より）	
図版13	0806・0806Ⅱ調査地点出土遺物…	241
図版14	0809調査地点……………	242
写真70	作業風景（樹木③と②の間）（西より）	
写真71	樹木③北側掘削状況（東より）	
写真72	遺構掘削状況（北西より）	
写真73	1号竪穴住居掘削状況（南より）	
写真74	遺物出土状況（南より）	
写真75	1号竪穴住居土層断面（南東より）	
写真76	2号溝掘削状況（西より）	
写真77	2号溝土層断面（東より）	
図版15	0809調査地点出土遺物……………	243
図版16	0411調査地点……………	244

写真78	調査区遠景（東より）	
写真79	調査区全景（東より）	
図版17	0411調査地点……………	245
写真80	調査区西壁土層断面（北東より）	
写真81	調査区南壁土層断面（南西より）	
写真82	調査区南壁土層断面近影（南西より）	
写真83	174号竪穴住居遺物出土状況（北より）	
写真84	174号竪穴住居土層断面（北より）	
写真85	174号竪穴住居完掘状況（北より）	
写真86	175号竪穴住居遺物出土状況（南より）	
写真87	175号竪穴住居遺物出土状況（西より）	
図版18	0411調査地点……………	246
写真88	175号竪穴住居遺物出土状況（南西より）	
写真89	175号竪穴住居土層断面（北半）（西より）	
写真90	175号竪穴住居土層断面（西半）（南より）	
写真91	175号竪穴住居完掘状況（北より）	
写真92	200号竪穴住居遺物出土状況（西より）	
写真93	200号竪穴住居遺物出土状況（南西より）	
写真94	200号竪穴住居土層断面（西より）	
写真95	200号竪穴住居完掘状況（西より）	
図版19	0411調査地点……………	247
写真96	207号竪穴住居遺物出土状況（北より）	
写真97	207号竪穴住居土層断面（北より）	
写真98	207号竪穴住居土層断面（南より）	
写真99	207号竪穴住居遺物出土状況（北より）	
写真100	207号竪穴住居出土遺物近影（東より）	
写真101	207号竪穴住居遺物出土状況（西より）	

写真102	207号竪穴住居硬化面検出状況（北より）	写真131	177号祭祀跡遺物出土状況（西より）
写真103	207号竪穴住居完掘状況（南より）	写真132	177号祭祀跡遺物出土状況（南より）
図版20	0411調査地点…………… 248	図版24	0411調査地点…………… 252
写真104	78号竪穴住居竈土層断面（北より）	写真133	177号祭祀跡遺物出土状況（南より）
写真105	78号竪穴住居竈土層断面近影（北より）	写真134	177号祭祀跡遺物出土状況（北より）
写真106	120号竪穴住居掘削状況（北より）	写真135	202号溝掘削状況（南より）
写真107	120号竪穴住居土層断面（南より）	写真136	80号柱穴半裁状況（南より）
写真108	120号竪穴住居竈・焼土検出状況（北より）	写真137	勾玉出土状況（西より）
写真109	120号竪穴住居竈土層断面（北より）	写真138	276号縄文土器群出土状況（西北より）
写真110	120号竪穴住居竈掘削状況（北より）	写真139	504号竪穴住居完掘状況（西より）
写真111	120号竪穴住居完掘状況（北より）	写真140	504号竪穴住居東壁土層断面（西より）
図版21	0411調査地点…………… 249	図版25	0411調査地点…………… 253
写真112	165号竪穴住居完掘状況（南西より）	写真141	513号竪穴住居遺物出土状況（西より）
写真113	166号竪穴住居掘削状況（南より）	写真142	513号竪穴住居遺物出土状況（拡大）（西より）
写真114	30号・33号溝完掘状況（南より）	写真143	513号竪穴住居遺物出土状況（拡大）（西より）
写真115	33号溝土層断面（北東より）	写真144	513号竪穴住居遺物出土状況（拡大）（西より）
写真116	33号溝土層下部（南より）	写真145	513号竪穴住居北半掘削状況（西より）
写真117	111号溝完掘状況（南より）	写真146	513号竪穴住居北半東壁土層断面（西より）
写真118	170号溝完掘状況（北より）	写真147	513号竪穴住居南半東壁土層断面（西より）
写真119	170号溝土層断面（南より）	写真148	501号・502号溝（北より）
図版22	0411調査地点…………… 250	図版26	0411調査地点…………… 254
写真120	204号溝完掘状況（北より）	写真149	507号溝検出状況（南より）
写真121	1～3号溝完掘状況（南東より）	写真150	509号溝完掘状況（西より）
写真122	1号溝土層断面（西より）	写真151	501～509号溝土層断面（西より）
写真123	2号溝土層断面（西より）	写真152	508号溝完掘状況（南より）
写真124	3号溝土層断面（西より）	写真153	508号溝土層断面（南より）
写真125	1号・2号溝結合部遺物出土状況（北西より）	写真154	510号溝完掘状況（西より）
写真126	30号溝土層断面（南より）		
写真127	85号溝完掘状況（南より）		
図版23	0411調査地点…………… 251		
写真128	畝検出状況（東より）		
写真129	173号粘土検出状況（南より）		
写真130	173号粘土完掘状況（南西より）		

写真155	510号溝土層断面（西より）		
写真156	⑧区間作業風景（西より）		
図版27	0411調査地点……………	255	
写真157	522号竪穴住居完掘状況（西より）		
写真158	522号竪穴住居土層断面（北西より）		
写真159	525号竪穴住居遺物出土状況（北より）		
写真160	525号竪穴住居焼土塊検出状況（西より）		
写真161	525号竪穴住居完掘状況（北東より）		
写真162	525号竪穴住居土層断面（南東より）		
写真163	526号竪穴住居完掘状況（北東より）		
写真164	526号竪穴住居水切溝（北西より）		
図版28	0411調査地点……………	256	
写真165	535号竪穴住居完掘状況（東より）		
写真166	537号竪穴住居掘削状況（東より）		
写真167	537号竪穴住居掘削状況（東より）		
写真168	537号竪穴住居焼土検出状況（南西より）		
写真169	537号竪穴住居竈部材検出状況（南より）		
写真170	537号竪穴住居竈掘方掘削状況（南西より）		
写真171	537号竪穴住居竈土層断面（東より）		
写真172	540号溝掘削状況（北より）		
図版29	0411調査地点……………	257	
写真173	③区間全景（南より）		
写真174	⑧-3区間全景（東より）		
図版30	0411調査地点出土遺物1……………	258	
図版31	0411調査地点出土遺物2……………	259	
図版32	0411調査地点出土遺物3……………	260	
図版33	0411調査地点出土遺物4……………	261	
図版34	0411調査地点出土遺物5……………	262	
図版35	0411調査地点出土遺物6……………	263	
図版36	0411調査地点出土遺物7……………	264	
図版37	0411調査地点出土遺物8……………	265	
図版38	0411調査地点出土遺物9……………	266	
図版39	0411調査地点出土遺物10……………	267	
図版40	0411調査地点出土遺物11……………	268	
図版41	0835調査地点……………	269	
写真175	I区全景（南より）		
写真176	I区東壁土層断面（西より）		
写真177	II区北半全景（南より）		
写真178	II区南半全景（南西より）		
写真179	II区東壁土層断面（北半）（南西より）		
写真180	II区東壁土層断面（南半）（北東より）		
写真181	III区全景（北東より）		
写真182	III区西側全景（南西より）		
図版42	0835調査地点……………	270	
写真183	III区東壁（北半）土層断面（北東より）		
写真184	III区東壁（南半）土層断面（南西より）		
写真185	III区西壁（中央）土層断面（北東より）		
写真186	III区西壁（南半）土層断面（北東より）		
写真187	56号竪穴住居掘削状況（北東より）		
写真188	56号竪穴住居遺物出土状況（東より）		
写真189	56号竪穴住居遺物出土状況（北より）		
写真190	56号竪穴住居土層断面（西半）（南より）		
図版43	0835調査地点……………	271	
写真191	56号竪穴住居土層断面（東半）（南より）		
写真192	56号竪穴住居掘削状況（北より）		
写真193	20号土坑完掘状況（北西より）		
写真194	1号竪穴住居遺物出土状況1（西より）		
写真195	1号竪穴住居遺物出土状況2（西より）		

- 写真196 1号竪穴住居掘削状況(西より)
- 写真197 1号竪穴住居完掘状況(西より)
- 写真198 8号・16号竪穴住居?完掘状況(西より)
- 図版44 0835調査地点…………… 272
- 写真199 17号竪穴住居付近焼土検出状況1(南より)
- 写真200 17号竪穴住居付近焼土検出状況2(南より)
- 写真201 32号竪穴住居遺物検出状況(南より)
- 写真202 32号竪穴住居遺物出土状況(東より)
- 写真203 32号竪穴住居(Ⅱ区部分)掘削状況(南より)
- 写真204 32号竪穴住居(Ⅱ区部分)完掘状況(南より)
- 写真205 42号竪穴住居遺物出土状況(北東より)
- 写真206 42号竪穴住居遺物出土状況(北西より)
- 図版45 0835調査地点…………… 273
- 写真207 42号竪穴住居遺物出土状況(北西より)
- 写真208 42号竪穴住居遺物出土状況(北より)
- 写真209 42号竪穴住居粘土・焼土検出状況(南東より)
- 写真210 42号竪穴住居焼土下遺物出土状況(南東より)
- 写真211 42号竪穴住居掘削状況(北東より)
- 写真212 47号竪穴住居遺物出土状況(西より)
- 写真213 47号竪穴住居土層断面(西より)
- 写真214 47号竪穴住居完掘状況(東より)
- 図版46 0835調査地点…………… 274
- 写真215 48号竪穴住居周辺上面遺物出土状況(北東より)
- 写真216 48号竪穴住居周辺上面遺物出土状況(南西より)
- 写真217 48号竪穴住居周辺上面遺物出土状況(南西より)
- 写真218 48号竪穴住居周辺上面遺物出土状況(南東より)
- 写真219 48号竪穴住居上面遺物出土状況(南東より)
- 写真220 48号竪穴住居上面焼土等検出状況(北西より)
- 写真221 48号竪穴住居上面焼土等検出状況(北東より)
- 写真222 48号竪穴住居遺物出土状況(北東側)(北東より)
- 図版47 0835調査地点…………… 275
- 写真223 48号竪穴住居遺物出土状況(北東側)(北西より)
- 写真224 48号竪穴住居遺物出土状況(北東側)(南西より)
- 写真225 48号竪穴住居遺物出土状況(南西側)(南西より)
- 写真226 48号竪穴住居焼土検出状況(南東より)
- 写真227 48号竪穴住居焼土検出状況(北東より)
- 写真228 48号竪穴住居土層断面(南西より)
- 写真229 48号竪穴住居炉土層断面(北東より)
- 写真230 48号竪穴住居炉完掘状況(南東より)
- 図版48 0835調査地点…………… 276
- 写真231 48号竪穴住居掘削状況(南西側)(南東より)
- 写真232 48号竪穴住居掘削状況(北東側)(南東より)
- 写真233 48号竪穴住居西壁粘土除去状況(西より)
- 写真234 49号竪穴住居掘削状況(南より)
- 写真235 49号竪穴住居完掘状況(南より)
- 写真236 50号竪穴住居遺物出土状況(北より)

写真237	50号竪穴住居遺物出土状況（北より）	写真255	西部掘削状況（北より）
写真238	50号竪穴住居掘削状況（南より）	写真256	西部遺構掘削状況（西より）
図版49	0835調査地点…………… 277	写真257	107号溝完掘状況（南より）
写真239	50号竪穴住居焼土・粘土検出状況（北より）	写真258	北西部南半遺構掘削状況（東より）
写真240	54号竪穴住居上面遺物出土状況（北東より）	写真259	北西部北半遺構掘削状況（北より）
写真241	54号竪穴住居上面遺物出土状況（南西より）	写真260	155号竪穴住居竈検出状況（南より）
写真242	54号竪穴住居上面遺物出土状況（南西より）	写真261	東部掘削状況（東より）
写真243	54号竪穴住居上面遺物出土状況（西より）	写真262	東部遺構掘削状況（南より）
写真244	54号竪穴住居遺物出土状況（西より）	図版60	1425・1426・1504調査地点出土遺物…………… 288
写真245	54号竪穴住居遺物出土状況（西より）	図版61	1442調査地点・同出土遺物…………… 289
写真246	54号竪穴住居鉄製品出土状況（南より）	写真263	掘削状況（南東より）
図版50	0835調査地点…………… 278	写真264	4号溝完掘状況（南より）
写真247	54号竪穴住居土層断面（南より）	写真265	遺構掘削状況（南より）
写真248	55号竪穴住居掘削状況（西より）	写真266	土層断面（西より）
写真249	43号溝掘削状況（南より）	図版62	1233調査地点・同出土遺物…………… 290
写真250	44号溝掘削状況（南より）	写真267	調査区全景（北より）
写真251	3号ピット上面土錘出土状況（西より）	写真268	調査区近景（北東より）
写真252	3号ピット上面土錘出土状況（南より）	写真269	2号竪穴住居・1号ピット完掘状況（南より）
写真253	41号土坑掘削状況（南より）	図版63	1417・1443調査地点…………… 291
写真254	41号土坑土層断面（西より）	写真270	調査区近景（北西より）
図版51	0835調査地点出土遺物1…………… 279	写真271	調査区全景（南東より）
図版52	0835調査地点出土遺物2…………… 280	写真272	60号建物基礎掘削状況（北より）
図版53	0835調査地点出土遺物3…………… 281	写真273	20号竪穴住居遺物出土状況（北より）
図版54	0835調査地点出土遺物4…………… 282	写真274	20号竪穴住居掘削状況（北より）
図版55	0835調査地点出土遺物5…………… 283	写真275	37号竪穴住居掘削状況（東より）
図版56	0835調査地点出土遺物6…………… 284	写真276	55号竪穴住居掘削状況（北より）
図版57	0835調査地点出土遺物7…………… 285	写真277	65号竪穴住居掘削状況（北より）
図版58	0835調査地点出土遺物8…………… 286	図版64	1417・1443調査地点出土遺物1… 292
図版59	1425・1426・1504調査地点…………… 287	図版65	1417・1443調査地点出土遺物2… 293
		図版66	0819調査地点…………… 294
		写真278	試掘作業風景（南東より）
		写真279	トレンチ4遺構検出状況（西より）
		写真280	トレンチ6遺構検出状況（西より）
		写真281	トレンチ6土層断面（南より）
		写真282	第1面全景（東より）
		図版67	0819調査地点…………… 295
		写真283	第1面ピット群（東より）

写真284	作業風景（北東より）	写真307	265号竪穴住居遺物出土状況2（北東より）
写真285	体育館南側土層断面遠景（北西より）	写真308	265号竪穴住居遺物出土状況3（西より）
写真286	体育館南側土層断面近景（北西より）	写真309	265号竪穴住居白玉出土状況（北より）
写真287	体育館北側土層断面遠景（南東より）	写真310	265号竪穴住居竈付近状況（西より）
写真288	体育館北側土層断面近景 北半（北東より）	写真311	265号竪穴住居竈断ち割り状況（南より）
写真289	体育館北側土層断面近景 南半（北東より）	写真312	265号竪穴住居竈南北土層断面（北半）（東より）
写真290	ピット群掘削状況（東より）	図版71	0819調査地点…………… 299
図版68	0819調査地点…………… 296	写真313	265号竪穴住居竈土層断面（東西、南半）（南西より）
写真291	ピット群掘削状況（北より）	写真314	265号竪穴住居竈東西土層断面（南西より）
写真292	ピット群掘削状況（南より）	写真315	265号竪穴住居竈掘削状況（南より）
写真293	道路跡検出状況（北より）	写真316	265号竪穴住居竈完掘状況（南より）
写真294	道路跡北側断面（北より）	写真317	265号竪穴住居完掘状況（南西より）
写真295	道路跡南側断面（南より）	写真318	第3面検出状況（西より）
写真296	281号竪穴住居掘削状況（南西より）	写真319	出土した焼夷弾
図版69	0819調査地点…………… 297	写真320	熊本県警と自衛隊による調査風景
写真297	281号竪穴住居焼土検出状況（東より）	図版72	0819調査地点出土遺物1…………… 300
写真298	415号竪穴住居遺物・硬化面検出状況（東より）	図版73	0819調査地点出土遺物2…………… 301
写真299	415号竪穴住居遺物・硬化面検出状況（東より）	図版74	0819調査地点出土遺物3…………… 302
写真300	539号土坑土層断面（東より）	<巻頭カラー>	
写真301	539号土坑遺物出土状況1（南より）	1. 0411調査地点調査区全景（東より）	
写真302	539号土坑遺物出土状況2（南より）	2. 0411調査地点祭祀遺物出土状況（東より）	
写真303	539号土坑遺物出土状況3（北西より）	3. 0819調査地点ピット群・道路跡検出状況（西より）	
写真304	500号骨蔵器出土状況1（東より）	4. 1528調査地点1号建物基礎検出状況（北東より）	
図版70	0819調査地点…………… 298		
写真305	500号骨蔵器出土状況2（西より）		
写真306	265号竪穴住居遺物出土状況1（南より）		

目 次

表 1	熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覽表…………… 1	表 8	0809調査地点出土遺物一覽表……………71
表 2	既往調査地点と本書収録調査地点一覽表…………… 6	表 9	0411調査地点出土遺物一覽表…………… 113
表 3	0836調査地点出土遺物一覽表……………31	表10	0835調査地点出土遺物一覽表…………… 145
表 4	1514・1524調査地点出土遺物一覽表……………44	表11	1425・1426・1504調査地点出土遺物一覽表…………… 169
表 5	1528調査地点出土遺物一覽表……………55	表12	1442調査地点出土遺物一覽表…………… 177
表 6	0806調査地点出土遺物一覽表……………63	表13	1233調査地点出土遺物一覽表…………… 185
表 7	0806Ⅱ調査地点出土遺物一覽表……………66	表14	1417・1443調査地点出土遺物一覽表…………… 202
		表15	0819調査地点出土遺物一覽表…………… 223

I 構内遺跡と調査の概要

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要

熊本大学が保有する敷地は、熊本市内の黒髪地区・本荘地区・九品寺地区・大江地区・小碓地区・京町地区・城東地区及び下南部地区の8区、市外の合津地区・阿蘇地区の2地区に分散しており、それぞれ埋蔵文化財の包蔵地となっている（表1）。

法・文・教育・工学・理学部の校舎が設置されている**黒髪地区**は黒髪町遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図No8-88）に含まれる。本遺跡群は熊本市中心部のほぼ北東端に位置する立田山（標高151.6m）の南西部の緩斜面が、西を坪井川の作る沖積面と南を白川河岸の低位段丘によって囲まれる東西900m、南北1000mの遺跡群であり、縄文時代から歴史時代に至る遺構・遺物を包蔵している。遺跡発見の経緯は昭和11年に遡り、大学に隣接する熊本県立中学済々黷（現済々黷高校）の校庭から甕棺2基が発見されたことに始まる。また昭和40年には隣接する九州女学院（現ルーテル学院中学校・高等学校）敷地においてやはり弥生時代中期の甕棺や古墳時代の須恵器甕などが発見され、その重要性が認識されるに至った。黒髪式土器の標識遺跡である。このように弥生時代を中心とした遺跡としての認識が高いが、1983年に実施された済々黷高校内における新たな調査によって古代の竪穴住居と土師器・須恵器・黒色土器などの関連遺物が出土し、その中には「寺門」銘の墨書土器が含まれているなど古代飽田郡における拠点的性格をもった遺跡であることが予想された（『新熊本市史料編第1巻考古資料』新熊本市史編纂室1996）。古代官道や駅伝制の研究上、文献で推定されていた延喜式にみる「養蚕駅」、旧飽田郡家の推定地としても注目を集めてきた（木下1975・1995）が、近年ではこれまでの周辺遺跡での発掘成果および文献資料の検討、そして本センター（旧調査室）による発掘成果を受けて、済々黷高校から本学黒髪地区周辺が飽田郡司郡建部公の居所であり、飽田郡家として比定するなどの積極的な意見が展開されている（鶴嶋1997）。このように、本遺跡群は先史時代のみならず、古代律令制下の駅伝制を考える上できわめて重要なものである。本報告においては黒髪北地区3地点の発掘調査記録を収録している。

表1 熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧表（アミ部分は本年度調査した地区を示す）

No.	地区名(学部名)	所在地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備考
1	黒髪北地区(法・文・教・大教センター)	熊本市中央区黒髪2丁目40-1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・奈良・平安	
2	黒髪東地区(教育学部附属特別支援学校)	熊本市中央区黒髪5丁目17-1	群			
2	黒髪南地区(工・理)	熊本市中央区黒髪2丁目39-1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・奈良・平安	
3	京町地区(教育学部附属小・中学校)	熊本市中央区京町本丁5-12	京町台遺跡	集落址	弥生・近世	
4	城東地区(教育学部附属幼稚園)	熊本市中央区城東町5-9	熊本城址	城館址・熊本城 関連遺構	近世	
5	教育学部新南部農場	熊本市東区新南部6丁目5-8	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
6	沿岸域環境科学教育研究センター	上天草市松島町大字合津6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	1995年度の調査によって貝塚でないことが判明
7	本荘中地区(発生医学研究所、エイズ学研究センター等)	熊本市中央区本荘2丁目2-1	本荘遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世	
8	本荘北地区(医学部附属病院・医学部等)	熊本市中央区本荘1丁目1-1	本荘遺跡 (熊大病院敷地遺跡)	散布地・集落址 古墳・墓地	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・近代	
9	本荘南地区(保健学科等)	熊本市中央区九品寺4丁目24-1	本荘遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世	周辺遺跡
10	大江地区(薬学部等)	熊本市大江本町5-1	大江遺跡群	官衙址	奈良・平安	周辺遺跡
11	渡鹿地区(課外活動施設)	熊本市渡鹿4丁目1-1	大江遺跡	集落址	奈良・平安	
12	宇留毛地区(学生寄宿舎・職員宿舎等)	熊本市中央区黒髪7丁目	宇留毛神社	散布地 周辺遺跡群	弥生・奈良・平安	

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要

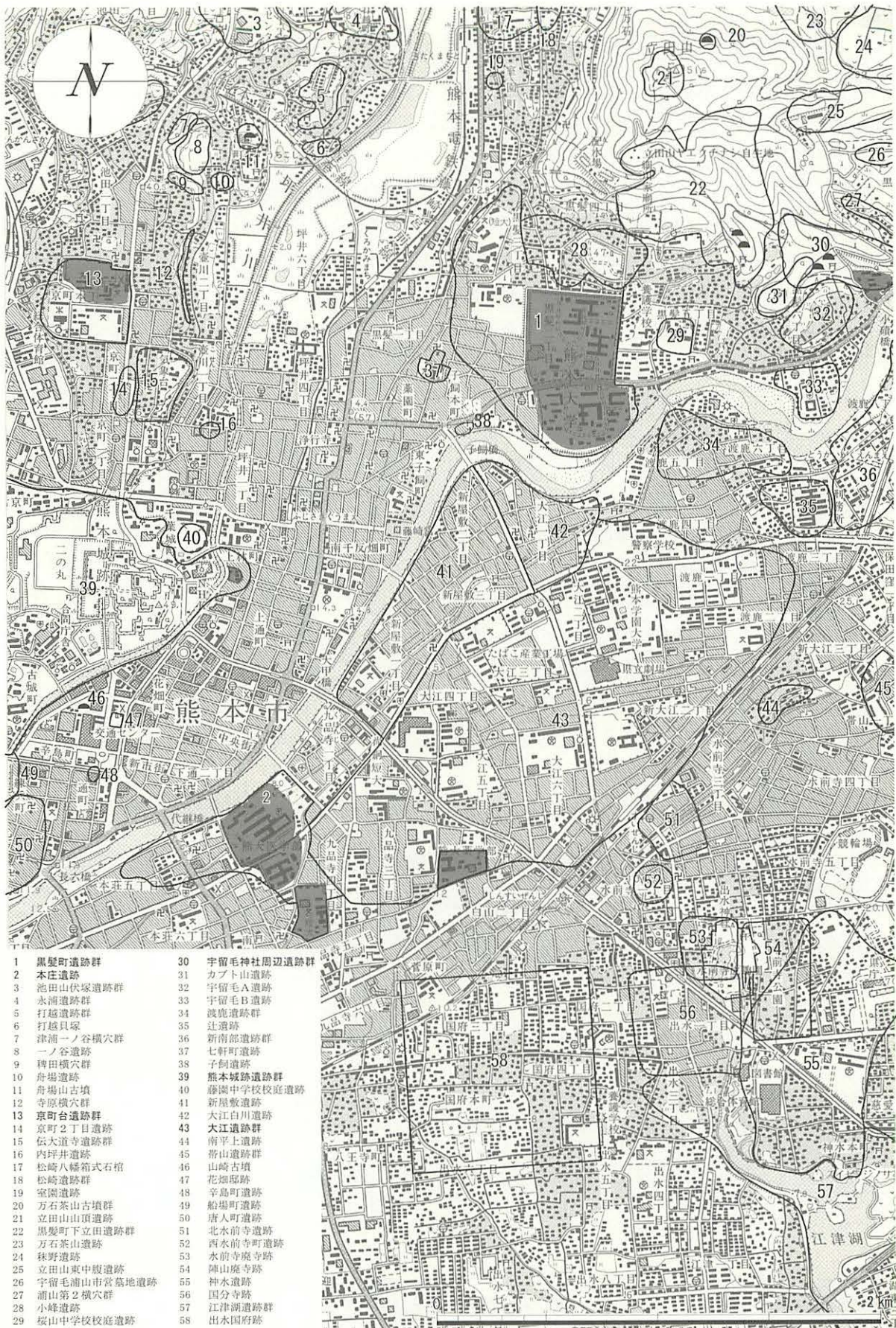


図1 黒髪町遺跡群・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000)

医学部附属病院・医学部が所在する**本荘北地区**および研究・開発施設が所在する**本荘中地区**、医学部保健学科が所在する**本荘南地区**は、本庄遺跡（熊本大学病院敷地遺跡）（熊本市埋蔵文化財地図No8-95）を包括する。本遺跡は黒髪町遺跡群と同じく熊本平野を形成する扇状地形の中央を流れる白川の河岸堤防上に位置する遺跡であり、標高は13～12mである。附属病院の所在する白川寄りの地点は標高が高く、南東部（中地区）へと緩やかに傾斜する地勢である。敷地内を白川より分岐した小河川（三の井手）が暗渠として流れており、古来この一帯は流道を変えながら幾本もの小河川が流れていたようだ。『熊本市中央北地区文化財調査報告書』（熊本市教育委員会1980）によれば、1963年ごろ本学医学部附属病院の敷地内から須恵器、土師器、布目瓦片類が採集されており、遺跡の存在が確実であるとされ、遺跡としての認定を受けている。しかし、その後学術的な発掘調査は一度も実施されず、遺跡の詳細な内容に関しては本調査室における調査が実施されるまで不明であった。しかし、先の報告の中では、東側に隣接する仙崇寺小松原墓地（現在の小松原公園）内においても須恵器片が採集され、遺跡の包蔵地がより広いことが想定されていた。この地区で最初に本格的な埋蔵文化財の調査が行われたのは、1995年に道路を挟んで隣接する医学部敷地内において計画されたRI総合センター遺伝子実験施設の建築に先立つ発掘調査である。この調査によってより南側の地区まで良好な状態で遺跡の広がりを確認することができた。よって、遺跡の範囲は東西500m、南北500mを越えるものと推定される。本報告では**本荘北地区**（本学附属病院内）で実施した発掘調査の記録4件、**本荘中地区**で実施した発掘調査1件を収録した。なお、医学部保健学科の位置する本荘南地区は、この遺跡の範囲に入る。本格的な発掘調査が実施されていなかったため、2008年度に保育園新築に伴い発掘調査を実施した。しかし、本地区より西側の地域では立会調査において古代の遺物包含層が確認されていたが、明確な遺構は検出されていない。

薬学部が所在する**大江地区**は、大江遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図No8-93）の南西端に位置する。また、本学大江総合運動場は本遺跡群の北東端に位置している。地形は本庄遺跡とほぼ同じで、白川河岸に隣接し、標高は13～20mである。本遺跡群は詫間郡家および渡鹿廃寺などの推定地を含む熊本市内でも有数の大規模（東西1.8km、南北1.7km）かつ貴重な古代を中心とした遺跡群であり、これまで100次を越える調査が実施され、各種遺物を伴って、8・9世紀代を中心とした古代堅穴住居群、掘立柱建物、道路、溝などが検出されている（新熊本市史編纂室1996）。本学が実施した調査においては、薬学部敷地の北西部において古代包含層の一部を確認しているにすぎない。薬学部敷地内においては大規模な建替えが最近実施されたが、この際の試掘によって、構内の東側では遺構や包含層は存在せず、北西部に絞られる様相が明らかになってきた。

教育学部附属中学校・小学校が所在する**京町地区**は京町台遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図No8-45）（東西400m、南北350m）に包括され、同遺跡群内には熊本市立京陵中学校と九州森林管理局も含まれる。本台地は熊本平野の北部にある阿蘇4火砕流（凝灰岩）が形成した標高30～40mの平坦な台地であり、東西両側はそれぞれ坪井川と井芹川が流れて急峻な崖地を形成している。この天然の要害ともいべき地の利を活かして台地の南端には熊本城が築かれており、周辺の台地上には武家屋敷が築かれていた。本遺跡における発掘調査の嚆矢は、1966年、森林管理局の宿舎改築工事の際、遺構は検出されなかったが、重弧文をもつ弥生式土器、土師器、瓦器片が少量出土したことであり、現在では弥生時代遺跡として認定されている（熊本市文化財調査会1971）。本センターが実施した1994・2007年の発掘調査成果によると、構内の西側を中心として弥生時代～近世の遺構・遺物が確認されている。

沿岸域環境科学教育研究センター附属合津マリンステーションは、熊本県上天草市松島町合津に所在する。遺跡は前島の南西部端、標高12mの丘陵端部に位置する。この前島を含めた一帯は、カミノ

2. 調査に至る経緯

ハナ古墳群古墳群などの重要な古墳が密集する、有明海から不知火海へ抜ける海上交通の要衝にあたり、古来より重要な拠点として意識されていた。また、カルワ島遺跡や柳遺跡のように海岸部や海底に位置する縄文時代の遺跡群も発見されている。本施設は、1956年に天草で初めて発見された縄文時代遺跡として著名な前島貝塚（熊本県遺跡地図57-013）と梅殿古墳（同014）の隣接地にあたり、同貝塚の広がりや古墳関連の遺構が敷地内に残存する可能性が予想される（熊本県教育委員会1968）。実際、1986年の宿舍建設の際には石斧が発見され、本施設の船着場南側の海岸では本学考古学研究室の学生諸氏によって縄文時代早期～前期を中心とした遺物が採集されており、可能性の高さが認識されていた。1995年に実施した合津マリンステーション改築工事に伴う発掘調査により、前島貝塚が貝塚ではなく、本丘陵上には縄文時代早期の遺物包含層や遺構群が存在することが明らかになった（熊本大学埋蔵文化財調査室1996・小畑2001）。

熊本大学大江総合運動場は熊本市内の渡鹿に所在し、薬学部と同じ大江遺跡群に包括される。黒髪南キャンパスの白川を挟んだ対岸に位置する。警察学校の隣地である。1977年と1994年に実施された発掘調査により古代の竪穴住居や道路跡が確認されていた。大きな開発工事は行われなかった地区であるが、2008年の体育館改修工事にともない、発掘調査が実施され、既往の調査成果を追認する成果が得られた。本書では、当該1件を収録した。

2. 調査に至る経緯

熊本大学の校地は先に示したように8地区に分散しており、どの校地も狭隘化してきているため、かねてから校地の移転などが議論されてきた。昭和60年に当時の熊本県知事から校地移転を検討する旨の申し出があり、その件について学内で議論され、本荘地区の医学部・附属病院を除き他の地区は現地再開発が決定された。本荘地区も平成5年に現地再開発することが決定され、全学が現地再開発で取り組むこととなった。その後それぞれの地区での再開発構想が検討され、基本的な計画が出来上がった地区から文教施設費を概算要求し、それらが認められたところから再開発事業が始まった。一方、黒髪地区などにおいては、従来から建設工事などによって古代や先史時代の遺物が発見されていたにもかかわらず、埋蔵文化財包蔵地としては周知されていなかった。

平成5年10月から黒髪南地区において総合情報統括センターの建設工事が始まったところ、熊本市文化振興課から工事前に埋蔵文化財の発掘調査が必要である旨の連絡があり、同課へ出向き確認したところ、平成5年4月1日から熊本市文化財保護審議会において黒髪地区などが埋蔵文化財の包蔵地として追加指定されていることが判明した。そこで大学が計画している建設工事の予定地に係わる試掘調査の届を同課に提出して、調査を依頼した。試掘調査の結果では、ほとんどの建設工事に先立ち発掘調査が必要であるということになった。

今後の発掘調査について同課に相談したところ、以下のような回答があった。

①国の機関（大学等）は考古学研究室などがあって専門のスタッフを擁していることでもあり、熊本大学においてもそのような機関を設け、そこが実施機関として発掘調査を担当願いたい。

②熊本市が平成6年度発掘調査の依頼を受けたとしても、それを実施する場合、既に他の発掘調査予定が半年分はあるので、急いでも9月または10月頃から調査を始めることとなる。

以上のことから、熊本大学の再開発事業には事前の試掘および発掘調査を行うことが必須条件であり、そのためには大学独自の調査組織を早急に設けることが必要となった。まずは発掘調査組織の中心となってもらうべく、文学部考古学研究室に協力を依頼し、このことについて承諾を得た後、急ぎ

委員会などの組織作りを行い、責任体制を確立するための作業が始められた。本学の状況および他大学に既に設置されている同種組織の内容を勘案しながら検討した結果、熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「調査委員会」と略する）を設けることとなった。また、この調査委員会の下に熊本大学埋蔵文化財調査室（以下「調査室」と略する）を置き、発掘調査の実務を担当することとした。

平成6年4月7日をもって熊本大学埋蔵文化財委員会規則が定められ、調査委員会が設置され、委員会内に調査室が置かれ、平成6年5月16日、委員会委員の委嘱、調査室長および調査員・事務補佐員が就任し、正式に調査室業務が始動した。調査室発足後は、文学部考古学研究室の甲元眞之教授をはじめとしたスタッフの多大なる協力のもと平成6年度建設予定地の調査を中心に発掘調査が実施された。以降の経緯については『熊本大学埋蔵文化財調査室年報』を参照されたい。

平成23年10月1日には、熊本大学埋蔵文化財調査室から、熊本大学埋蔵文化財調査センターとして発足した。

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

以後平成25年3月末日現在まで、再開発計画に則り行われた事業の事前調査として、表2のような調査が実施されてきた。本書はこの中から2004（一部）・2008（一部）・2012（一部）・2014（一部）・2015（一部）年度に実施した発掘調査の成果を報告する。試掘・立会と小規模な調査などについては年報において既報告であるので、本書からは除外した。

黒髪北地区における（黒髪北）教育学部文法学部本館改修機械設備工事に伴う発掘調査調査（0836調査地点）、（黒髪北）校舎（旧北地区食堂）改修工事に伴う立会調査（1514・1524調査地点）、（黒髪北）総合研究棟（黒髪北N9）改修工事に伴う立会調査（1528調査地点）、黒髪南地区における（黒髪南）南地区福祉施設支障配管替工事（追加）に伴う発掘調査（0806調査地点）、（黒髪南）南地区福祉施設支障配管替工事（追加2）に伴う発掘調査（0806Ⅱ調査地点）、（黒髪南）福祉施設樹木移植工事（追加）に伴う発掘調査調査（0809調査地点）、本荘北地区における本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備に伴う発掘調査（0411調査地点）、（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事（変更）に伴う発掘調査（0835調査地点）、（本荘北）臨床研究棟新営その他工事に伴う発掘調査（1425・1426・1504調査地点）、（本荘北）管理棟改修その他工事に伴う立会調査（1442調査地点）、本荘中地区における（本荘中）医学部旧ボイラー室煙突撤去工事に伴う発掘調査（1233調査地点）、京町地区における（京町）教育学部附属小学校校舎新営その他工事に伴う発掘調査（1417・1443調査地点）、渡鹿地区における（渡鹿）体育館耐震改修その他工事に伴う発掘調査（0819調査地点）について報告する。

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

表2 既往調査地点と本書収録調査地点一覧表

1994年度							
94・4・15～17	9401	(黒北) 運動場整備(照明塔建設)工事	発掘調査	128㎡	古代	古代土師器・須恵器	年報1
94・4・21	9402	(黒北・南) 基幹整備(教育学部エレベーター室取設)工事	発掘調査	47.5㎡	現代	ガラス・磁器片	年報1
94・4・25	9403	(黒北・南) 地区基幹整備(工学部エレベーター室取設)工事	発掘調査	48㎡		包含層確認・土器片	年報1
94・5・13～14	9404	(黒北) 福利施設建設予定地の樹木移植	立会調査	30㎡	古代		年報1
94・5・17～6・25	9405	(京町) 附属中学校舎者建設工事	発掘調査	400㎡	弥生・近世	縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・近世陶磁器・砥石・銅銭・瓦・ガラス瓶	本報告I
94・5・20・23・24	9406	(黒北) 武夫原運動場整備(集水枡埋設)工事	発掘調査	100㎡	古代		年報1
94・5・23～7・28	9407	(黒北) 福利施設建設工事	発掘調査	1,290㎡	古代		本報告I
94・8・1～8・10	9408	(渡鹿) グランド集水枡整備工事	発掘調査 立会調査	40.4㎡	古代	土師器	本報告I
94・8・11	9409	(黒北) 武夫原器具庫新営工事・外灯基礎工事	立会調査	23.4㎡		包含層に達せず遺構なし・土師器片	年報1
94・8・12	9410	(京町) 附属中学校電気引き込み配線工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし	年報1
94・8・22	9411	(黒北) 基幹整備(附属図書館スロープ取設)工事	立会調査	25.5㎡		包含層に達せず・遺構・遺物なし	年報1
94・9・12～10・31	9412	(黒南) 工学部実験棟新営工事	発掘調査	743.6㎡	古代	古代堅穴住居址・古代土師器・須恵器・瓦・土製印・鉄器・縄文土器	本報告I
94・11・14～12・22	9413	(渡鹿) グランド整備工事	発掘調査	200㎡	縄文・古代	古代堅穴住居址・道路址・古代土師器・須恵器・布目瓦・砥石・鉄器・縄文土器・石器	本報告I
95・1・17～21	9414	(黒北) 福利施設設備工事	立会調査	169㎡		遺構・遺物なし	年報1
95・1・9～11、 1・26～2・1	9415	(黒南) 工学部共同溝工事	立会調査	50㎡		遺構・遺物なし	年報1
95・2・27	9416	(城東) 附属幼稚園排水管敷設工事替工事	立会調査	129.7㎡		遺構・遺物なし	年報1
95・3・15～23	9417	(黒南) 福利施設設備工事					
1995年度							
95・4・25～5・2	9501	(黒南) 工学部研究実験棟新営1期共同溝建設工事	発掘調査	90㎡	古代～近世	古代堅穴住居址・柱穴・溝・縄文後期土器片・古代土師器・須恵器	本報告I
95・5・9～10	9502	(黒南) 工学部附属工学機器センター新営工事	試掘調査	20㎡	古代	包含層確認・古代土師器・須恵器	年報2
95・5・15～16	9503	(黒南) 工学部RI研究実験棟建設及び基礎掘削	試掘調査	20㎡	古代	集石・古代土師器・須恵器	年報2
95・5・29/30 6・21	9504	(黒南) 工学部研究実験棟新営電気設備(その2)に伴う高圧ケーブル埋設	立会調査	38㎡		遺構・遺物なし	年報2
95・8・21		(黒南) 工学部通信設備埋設	立会調査	14㎡		遺構・遺物なし	年報2
95・8・22	9508	(黒南) 事務局前外灯配線改修	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95・9・8～10・12	9509	(合津) 理学部附属臨海実験所実験棟改築工事	発掘調査	298㎡	縄文	集石・縄文早期土器・石器	年報2
95・11・2	9510	(黒南) 工学部研究実験棟新営1期に伴うガス配管	立会調査		古代	古代包含層確認・古代土器片	年報2
95・11・6～8	9511	(本荘南) 医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設及び外溝切り替え	試掘調査	200㎡	古代	古代包含層確認・堅穴住居址・古代土師器・須恵器	年報2
95・11・13～16	9512	(黒南) 工学部研究実験棟新営1期に伴う排水枡設置	発掘調査	60㎡	古代	古代堅穴住居址・柱穴・包含層・縄文後期土器片・古代土師器・須恵器	本報告I
95・11・17	9513	(黒南) 工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95・11・17	9514	(黒南) 工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	立会調査		古代	古代土師器・須恵器片	年報2
95・11・21～22	9503	(黒南) 工学部RI研究実験棟建設に伴う基礎掘削	立会調査		古代	古代土師器・須恵器	年報2
95・11・22	9515	(黒南) 工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	立会調査		古代	包含層確認・古代土師器	年報2
95・11・24	9511	(本荘南) 医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設工事	立会調査			一部包含層確認・遺構・遺物なし	年報2
95・11・28～29	9516	(黒南) 工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	発掘調査	72㎡	縄文～古代	包含層・柱穴・縄文土器片・古代土師器	本報告I
95・12・1	9511	(本荘南) 医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設に伴う外溝切り替え	立会調査			包含層確認・遺構・遺物なし	年報2
95・12・4	9517	(本荘南) 医学部RI総合センター遺伝子実験施設に伴う樹木移植	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95・12・5	9518	(黒南) 工学部RI研究実験棟建設に伴う外溝工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95・12・12～14	9519	(黒南) 工学部研究実験棟新営1期に伴うガス配管	立会調査		古代	古代柱穴・溝・古代土師器・須恵器	年報2
95・12・18	9520	(黒北) 教養部前道路改修	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報2
95・12・25～ 96・2・22	9511	(本荘南) 医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設	発掘調査	976.9㎡	縄文・古代	古代堅穴住居址・掘立柱建物・溝・道路・方形堅穴遺構・土壇・縄文土器・石器・古代土師器・須恵器・鉄器	本報告I
96・3・1	9521	(黒南) 工学部校舎新営	試掘調査		弥生	弥生土壇・ビット・弥生中期土器	年報2
96・3・8	9522	(黒北) 文法学部・第五高等学校記念館庭園植栽工事	立会調査		古代	包含層確認・古代土師器	年報2
96・3・21	9523	(城東) 教育学部附属幼稚園水遊び場兼足洗い場設備寄贈受入	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
96・3・25～26	9524	(京町) 教育学部附属小学校給排水管取替工事	立会調査	27.6㎡		遺構・遺物なし	年報2
1996年度							
96・4・19	9601	(本荘北) 医学部校舎建設	試掘調査	33㎡	古代	古代包含層・溝・古代土師器・須恵器	本報告IV
96・5・10	9602	(黒北) 法文学部記念植樹	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報3

I 構内遺跡と調査の概要

96-5-10~6-24	9603	(黒南) 工学部校舎建設	発掘調査	1,000㎡	縄文・弥生・古代	縄文後期包含層・古代堅穴住居址・溝・掘立柱建物・土壘・柱穴、縄文後期土器・弥生中期土器・古代土師器・須恵器・鉄器・瓦	本報告IV	
96-5-13	9604	(黒北) 教育学部 ATM ネットワーク付設工事	立会調査	40㎡	近代	遺構・遺物なし	年報3	
96-5-14	9605	(京町) 教育学部附属小学校 ATM ネットワーク付設工事	立会調査	14㎡	近代	近代磁器	年報3	
96-5-15	9606	(大江) 薬学部 ATM ネットワーク付設工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報3	
96-6-17	9607	(黒北) 法文学部外灯設置工事	立会調査	4㎡	古代	一部包含層確認、古代須恵器	年報3	
96-6-19	9608	(黒南) 工学部 RI 実験棟配線工事	立会調査	21㎡		遺構・遺物なし	年報3	
96-8-5	9609	(黒北) 入試保管庫建設工事(試掘)	発掘調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報3	
96-8-6~9	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う樹木移植・貯水槽建設工事(1・2・3区)	発掘調査	45.7㎡	古墳・古代	古墳時代前期堅穴住居址・古代堅穴住居址、古墳時代土師器・古代土師器・須恵器	本報告IV	
96-8-22~27	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設(4区)	発掘調査	37.4㎡	古代	堅穴住居址・柱穴、古代土師器・須恵器	本報告IV	
96-8-29~30	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設(5区)	発掘調査	28.2㎡	古代	竈址、古代土師器・須恵器	本報告IV	
96-9-6	9610	(黒北) 教養部夏目漱石像建立	試掘調査	9㎡		遺構・遺物なし	年報3	
96-10-1~9	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事(6区)	発掘調査	104.3㎡	古代	古代道路・堅穴住居址、古代土師器・須恵器	本報告IV	
96-10-11~97-1-17	9601	(本荘北) 医学部校舎本体工事(本調査区)	発掘調査	1,686㎡	縄文・古墳・古代	縄文包含層・古墳土壘・古代道路・堅穴住居址・掘立柱建物・土壘・近代墓地、縄文後期土器・古墳/古代土師器・須恵器・鉄器・石器	本報告IV	
96-10-21~29	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事(7・8・9区)	発掘調査	62.5㎡	古代	古代堅穴住居址・竈、古代土師器・須恵器	本報告IV	
96-11-12~13	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事(10区)	発掘調査	21.8㎡	古代	古代堅穴住居址、古代土師器・須恵器	本報告IV	
96-11-12	9611	(黒南) 工学部外灯付設工事	立会調査	0.4㎡		遺構・遺物なし	年報3	
96-12-18	9612	(黒南) 工学部電線埋設工事	立会調査	74.8㎡		遺構・遺物なし	年報3	
97-3-3~31	9613	(黒南) 工学部研究実験棟Ⅱ新営機械設備工事	立会調査	175㎡		遺構・遺物なし	年報3	
97-3-7	9614	(黒南) 工学部衝撃エネルギー実験所火薬庫取設工事	立会調査	109㎡		遺構・遺物なし	年報3	
1997年度								
97-4-8	9701	(本荘南) 医学部情報リテラシー教育施設電気設備その他の改修工事	立会調査	21㎡		一部包含層を確認、遺構なし、古代土器片	年報4	
97-5-7	9702	(黒南) 理学部ヘリウム棟増築・ヘリウム管理設工事	立会調査	126.6㎡		遺構・遺物なし	年報4	
97-5-28	9703	(本荘北) 医学部外来臨床研究棟血液製剤管理室取設工事	試掘調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報4	
97-7-28~11-4	9704	(黒南) 工学部校舎新営工事	発掘調査	1,783.3㎡	弥生・古代・近世	弥生時代甕壇墓・古代堅穴住居址・溝・掘立柱建物・柱穴・近世墓、弥生中期甕棺・土師器・鉄器・古代須恵器・近世陶磁器	年報4	
97-10-29	9705	(京町) 教育学部附属中学校女性立像建立	立会調査	2.6㎡		遺構・遺物なし	年報4	
97-10-22	9706	(黒北) 法文学部龍南院院像建立	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報4	
97-11-11~98-3-31	9707	(本荘北) 医学部基礎研究棟屋外配線工事	立会調査	370㎡	古代・近代	近代墓地・古代土壘・柱穴・甕・人骨・墓石等、古代土器	年報4	
98-1-30~2-12	9708	(黒北) 法・文・教育学部外灯設備増設工事	立会調査	61.9㎡	古代	溝	年報4	
98-2-3~2-13	9709	(黒南) 管財係黒髪6号宿舍取り壊し工事	立会調査	116㎡	古代	一部包含層を確認、遺構なし、磨耗した古代土器	年報4	
1998年度								
98-4-14	9804	(黒南) 工学部校舎建設に伴う排水管撤去工事	立会調査	10㎡		掘削により遺構なし	年報5	
98-6-26~7-2	9801	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター新営支障配管替工事	立会調査	2.4㎡	古代	遺構・遺物認められず	年報5	
98-7-6	9801	(本荘南) 同樹木伐採工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報5	
98-7-13	9809	(黒南) 工学部3号館電気設営工事	立会調査	3㎡	古代	遺物包含層を確認	年報5	
98-7-28~9-10	9801	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター新営工事	発掘調査	97.2㎡	縄文・古代・近世	堅穴住居址・掘立柱建物・溝・土坑	本報告V	
98-9-21~22	9803	(黒北) 文化部室取設工事に伴う樹木移植工事	立会調査	9㎡		遺物・遺構なし	年報5	
98-9-25~11-6	9802	(黒北) 文化部室取設その他の工事	発掘調査	575㎡	縄文・弥生・近世	縄文土器・弥生土器・石器等、土壘・溝・縄文・弥生遺物包含層確認	本報告V	
98-9-28	9805	(本荘北) 大学病院病棟新営工事	試掘調査	10㎡	古墳・古代	古墳・古代土器	年報5	
98-9-29	9806	(本荘北) 大学病院中央診療棟新営工事	試掘調査	5㎡		河成砂礫層を検出、遺構・遺物なし	年報5	
98-9-30	9807	(本荘北) 大学病院薬剤部注射患者毎ベッド支給室等取設工事	試掘調査	2㎡	古代	遺物包含層・柱穴検出、古代土器片	年報5	
98-10-6	9808	(黒南) 工学部1-9号館電気埋設工事	立会調査	30㎡		遺構面に達せず、遺物なし	年報5	
98-10-28~11-20	9807	(本荘北) 大学病院薬剤部注射患者毎ベッド支給室等取設工事	発掘調査	175㎡	古代	縄文土器・石器等、古代堅穴住居址・土壘・溝・近代溝	本報告V	
98-11-2	9801	医学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター関連図書館解体工事	発掘調査	139㎡		崩平のため存在せず	本報告V	
98-12-14~18	9810	(黒南) 理学部自然科学等総合実験棟新営支障配管替工事	立会調査	35㎡	古代	遺物包含層・柱穴検出、古代土器片	年報5	
98-12-16	9802	(黒北) 文化部室新営排水管敷設工事	立会調査	35㎡	古代	遺構面確認、遺構・遺物なし	年報5	
98-12-17~99-1-10	9805	(本荘北) 大学病院病棟新営に伴う支障配管替工事	立会調査	333㎡	古代	堅穴住居址、古代土器片	年報5	
99-1-12	9811	(黒南) 工学部実験室新設工事	試掘調査	14㎡	縄文後期	土器	年報5	

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

99-1-21~3-25	9810	(黒南) 理学部自然科学等総合実験棟新営工事	発掘調査	1,098㎡	縄文・古代・近代	縄文土器・石鏡等、古代堅穴住居址・柱穴・溝・近世溝	本報告V
99-2-2	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う文化部室解体	立会調査	260㎡		遺構・遺物なし	年報5
99-2-10	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う建築工事	立会調査	40㎡		遺構面には達せず、遺物なし	年報5
99-2-18	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う植樹工事	立会調査	123㎡		地表下2mで弥生時代遺物包含層・遺構面を確認。遺構・遺物なし	年報5
99-2-9~3-9	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う電気配線工事	立会調査	4㎡		地表下90cmで水田土を検出。遺構・遺物なし	年報5
99-3-11~12	9812	(大江) 渡前団地東側ブロック専改修工事	立会調査	70㎡		包含層・遺構面確認。遺構・遺物なし	年報5
99-3-10~31	9801	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営に係る配管切替工事	立会調査	57.5㎡	古 代	一部包含層・遺構面確認(ピット)・遺物なし	年報6
1999年度							
99-4-5~8-31	9901	(本荘北) 病棟(軸)新営工事	発掘調査	2,405㎡	縄文・古墳・古代・近代	縄文時代石器・土・古墳時代住居址・溝・土師器・古代住居址・柱穴溝・土城墓・土師器・須恵器・鉄器・胎衣壺・土鏡・近代溝	報告書X
99-6-14~7-14	9902	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営電気工事立会	立会調査	40㎡	古 代	古代柱穴、溝、遺物を少量検出	年報6
99-6-17	9903	(黒南) 工学部研究実験棟Ⅱ 2-2新営工事に伴う植樹立会	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報6
99-7-19/26	9904	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営基礎工事立会	立会調査	2㎡	古 代	遺構・遺物なし	年報6
99-7-29~7-30	9905	(黒南) 自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営ガス設置工事	立会調査	50㎡		遺物・遺構なし	年報6
99-7-2~8-7	9906	(黒南) 自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営電気設置工事立会	立会調査	200㎡	古 代	古代溝6条・柱穴2個、古代土器片少量を検出	年報6
99-9-22~10-5	9907	(黒南) 工学部実験用プレハブ新築工事	発掘調査	136.5㎡	縄文前期~晩期	ピット群、縄文土器片出土	本報告VI
99-11-24~25	9908	(黒東) 附属養護学校給食室増設改築工事	試掘調査	42㎡	近世以降	トレンチ2本設定して調査したが、遺構なし。近世磁器片	年報6
00-2-14~3-24	9909	(黒南) 工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営工事	試掘調査	1,853㎡	近世・近代	畑址・墓地、近世陶磁器、煙管、銅・鉄鏡	本報告VI
00-1-25	9910	(本荘北) 血液照射管理室増設改築試掘	試掘調査	2㎡		攪乱著しく、遺構・遺物ともに確認できず	年報6
00-3-6~14	9911	(黒南) 水生動物飼育舎建築工事	発掘調査	70.9㎡		縄文土器・古代土師器・須恵器	報告書X
00-3-14	9912	(黒南・東) 外灯取設工事立会	立会調査	3㎡		遺物・遺構ともに確認できず	年報6
00-3-2	9913	医学部液化酸素供給設備新設工事立会	立会調査	7.84㎡		遺構・遺物なし	年報6
00-3-16~17	9914	(本荘南) さく井設備工事立会	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報6
2000年度							
00-4-7	0001	(黒南) 水生動物飼育舎新営給水管設置工事	立会調査	6.1㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-4-11	0002	(黒南) 水生動物飼育舎新営電気設置工事	立会調査	4.1㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-4-17	0003	(本荘北) 附属病院格納庫移設工事	試掘調査	5.8㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-10-23	0004	(黒南) 工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営電気設置工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-10-30	0005	(黒南) 工学部植栽工事	立会調査	63㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-11-6~22	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備第3井戸入水槽設置工事(Ⅰ区)	発掘調査	119.4㎡	縄文・古墳・古代	縄文時代石器・古墳時代柱穴・住居址・土師器・須恵器	本報告VI
00-11-22	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備第1井戸入水槽設置工事	試掘調査	4㎡	近・現代墓地	近・現代墓石・墓塚・遺骨	年報7
00-11-27~29	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	85.5㎡		遺構・遺物なし	年報7
00-12-4~13	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備排水管配管工事(Ⅱ区)	発掘調査 立会調査	32㎡	縄文・古代	土城状遺構・縄文時代石器・土師器・ガラス玉・鉄器・須恵器	本報告VI
00-12-8~01-1-10	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備電気設置工事(Ⅳ区)	立会調査	31.5㎡	古 代	遺構なし、土師器数点	年報7
00-12-19~20	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備排水管配管工事(Ⅲ区)	発掘調査 立会調査	20.4㎡	古 代	住居址、土師器	本報告VI
00-12-26~28	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	100.7㎡	近・現代墓地	近代墓塚・墓石・遺骨	年報7
01-1-29	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備排水管配管工事(Ⅴ区)	立会調査	7㎡		遺物・遺構なし	年報7
01-1-22~30	0007	(京町) 附属中学校体育器具庫新営工事	発掘調査	119.4㎡	弥生・古代	弥生・古代土師器・鉄器・土製紡錘車	年報7
01-2-5	0008	(黒北) 生涯学習環境研究センタースロープ取設工事	立会調査	28㎡		攪乱のため遺物・遺構なし	年報7
01-2-6~9	0009	(黒南) 理学部1-2号館身体障害者用設備整備工事	立会調査	70㎡	古 代	包含層を確認。古代土師器・須恵器	年報7
01-2-16~19	0010	(黒北) 体育系部室解体・新営工事	立会調査	372㎡		遺物・遺構なし	年報7
01-2-22	0011	(大江) 旧食堂解体撤去工事・旧ボイラー室解体撤去工事	立会調査	132㎡		遺物・遺構なし	年報7
01-3-5~6	0012	(黒北) 外灯取付工事	立会調査	3㎡		遺物・遺構なし	年報7
01-3-6	0013	(大江) 屋内運動場〔高武館〕取り壊し工事	立会調査	500㎡		遺物・遺構なし	年報7
01-3-22	0014	(黒北) 旧生活協同組合事務所解体撤去工事	立会調査	66㎡		遺物・遺構なし	年報7
2001年度							
01-4-9~7-3	0101	(本荘北) 附属病院医学部総合研究棟新営工事	発掘調査	1,733.75㎡	古墳・古代・近代	住居址・溝・畑址・墓鉄鏡・土師器・須恵器	本報告VI
01-5-14	0102	(黒南) 基幹・環境整備	試掘調査	4.8㎡			本報告VI
01-5-14	0103	京町団地高圧ケーブル改修工事	立会調査	59.5㎡		遺構・遺物なし	年報8
01-7-9~26	0102	(黒南) 基幹・環境整備	発掘調査	418.5㎡	縄 文	縄文土器・寛永通宝・風倒木痕、防空壕	年報8

I 構内遺跡と調査の概要

01-7-4~10-29	0104	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備(共同溝設置)	発掘調査	1,023.8㎡	縄文・弥生 土器・土師器・須恵器・石器・鉄 ・古墳・古 ・古墳・古 代	住居址・溝・縄文土器・弥生 土器・土師器・須恵器・石器・鉄 ・古墳・古 ・古墳・古 代	本報告VI	
01-7-13	0105	(京町) 正門取設工事	立会調査	7.12㎡		遺構・遺物なし	年報8	
01-7-30~11-14	0106	(黒北) 大学教育研究センター等改修工事	立会調査	3,907㎡		遺構・遺物なし	年報8	
01-7-31	0107	(大江) 薬学部共同実験棟改修工事	立会調査	97.84㎡		遺構・遺物なし	年報8	
01-8-1/13	0108	(京町) キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報8	
01-8-2/21	0109	(黒北) キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	58㎡		遺構・遺物なし	年報8	
01-8-27	0110	(大江) 薬学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	20㎡		遺構・遺物なし	年報8	
01-9-4	0111	(本荘南) 医学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	2,78㎡		遺構・遺物なし	年報8	
01-8-22/9-4	0112	(黒北) 食堂南側テラス整備工事	立会調査	662㎡		遺構・遺物なし	年報8	
01-9-14 10-1	0113	(本荘南) 医療技術短期大学キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	105㎡		遺構・遺物なし	年報8	
01-9-17	0114	(本荘北) 附属病院キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	38㎡		遺構・遺物なし	年報8	
01-10-19	0115	(黒南) 理学部2号館南側排水工事	立会調査	8.4㎡		遺構・遺物なし	年報8	
01-10-22~ 02-2-19	0116	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備(A-D地区・ボイラー設備更新等)	立会調査	426.4㎡		遺構・遺物なし	年報8	
01-12-8~02-2-9	0117	(本荘北) 医学部総合研究棟新築機械設備工事	立会調査	133.1㎡	古 代	住居址・柱基礎 土師器・須恵器	年報8	
01-12-12~02-2-4	0118	(黒南) 基幹・環境整備(特高変電設備等・植栽その他)	立会調査	111.7㎡		遺構・遺物なし	年報8	
02-2-25~ 3-20	0119	(本荘北) 医療用ガス供給設備室取設工事	発掘調査	205.8㎡	縄文・古墳 ・古代	住居址・溝・掘立柱建物址・縄文 土器・土師器・須恵器・鉄	本報告VI	
02-3-18	0120	(本荘北) 総合研究棟周辺環境整備工事	立会調査	1,492.7㎡		遺構・遺物なし	年報8	
02-3-18	0121	(本荘北) 附属病院西病棟(仕上II) 新営工事	立会調査	1,076.4㎡		溝?・遺物なし	年報8	
02-3-22	0122	(本荘北) 附属病院西病棟電気設備工事(仕上II)	立会調査	54㎡		遺構・遺物なし	年報8	
2002年度								
02-4-3~4	0201	(黒北) 大学教育研究センターC棟空調機取設工事給排水及び室外機基礎工事	立会調査	29.3㎡		遺構・遺物なし	年報9	
02-4-15~16	0202	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	199㎡		遺構・遺物なし	年報9	
02-4-17	0203	(黒南) インキュベーション施設新営工事	試掘調査	3㎡			年報9	
02-4-17	0204	(黒南) 総合研究棟新営工事	試掘調査	4㎡			年報9	
02-4-24	0205	(黒南) 食堂裏エコクリンソイル工事	立会調査	0.73㎡		遺構・遺物なし	年報9	
02-5-20~29	0206	(黒南) 総合研究棟新営に伴う樹木移植工事	発掘調査	28㎡		窆塚	報告書X	
02-5-30~8-2	0203	(黒南) インキュベーション施設新営工事	発掘調査	810㎡	近 世	畑址	年報9	
02-6-3	0207	(黒南) 総合研究棟新営一次掘削に伴う電気工事	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報9	
02-6-12~8-14	0204	(黒南) 総合研究棟新営工事	発掘調査	2,803㎡	縄文・古墳 ・古代	住居址・溝・火葬墓・縄文土器・ 土師器・須恵器	報告書X	
02-7-2	0208	(黒北) 図書館南側学生部駐車場拡張工事	立会調査	24㎡		遺構・遺物なし	年報9	
02-8-29	0209	(京町) 附属小学校スロープ取設工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし	年報9	
02-10-1~ 10-3,11-18	0210	(黒南) 工学部樹木移植工事	発掘調査	61.19㎡		包含層・縄文土器・石	報告書X	
02-10-7	0211	(本荘北) 医学部総合研究棟新営工事(渡り廊下部分)	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報9	
02-12-3/5/11	0212	(黒南) 通用門拡幅工事	立会調査	480㎡		遺構・遺物なし	年報9	
	0213	(本荘北) 総合研究棟新営電気設備工事	立会調査	216㎡		遺構・遺物なし	年報9	
03-2-7	0214	(本荘北) 基幹環境整備外灯工事	立会調査	216㎡		遺構・遺物なし	年報9	
03-2-18	0215	(大江) 薬学部実験動物慰霊碑建立工事	立会調査	3.4㎡		遺構・遺物なし	年報9	
03-2-21	0216	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	18.5㎡		遺構・遺物なし	年報9	
03-3-7	0217	(本荘南) 体育館(プレハブ)新設工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報9	
03-3-10	0218	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	27㎡	古 代	住居址・土師器・須恵器・砥石	年報9	
03-3-11	0219	(本荘南) 塙新設工事	立会調査	36㎡		遺構・遺物なし	年報9	
03-3-26	0220	(新南) 教育学部新南農機場竹藪・畑地境界掘り	立会調査	40㎡	古 代	住居址・柱穴・溝・古代土師器・ 須恵器	年報9	
2003年度								
03-4-10	0301	(黒南) 工学部薬品庫新設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報10	
03-4-10	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事	試掘調査	9.6㎡		土師器	年報10	
03-5-20	0303	(黒南) 事務局排水管修理工事	立会調査	16.8㎡		遺構・遺物なし	年報10	
03-6-2~7-2	0304	(本荘北) 基幹・環境整備工事	発掘調査	333.5㎡	縄文・弥生 古墳・古代	住居址・溝・縄文石器・土師器・ 須恵器・近代陶磁器	本報告IX	
03-7-18	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事	立会調査	296㎡		遺構・遺物なし	年報10	
03-8-19	0305	(京町) 附属小・中学校フェンス取設工事	立会調査	44.3㎡		遺構・遺物なし	年報10	
03-8-6~9-12	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事(Ⅰ区)	発掘調査	168.2㎡	縄文・古代	溝・ピット・土坑・遺物包含層・ 縄文土器	本報告VII	
03-9-4~9-8	0306	(本荘南) 医療技術短期大学部北側駐車場環境整備工事	立会調査	539.2㎡		遺構・遺物なし	年報10	
03-9-5	0307	(薬) 大江総合研究棟給排水管および電気工事	立会調査	7.54㎡		遺構・遺物なし	年報10	
03-9-29	0308	(宇留毛) 小頃宿舎1棟揚水管漏水修理工事	立会調査	3.64㎡		遺構・遺物なし	年報10	
03-10-2	0309	(本荘南) 動物慰霊碑新設工事	立会調査	4.02㎡		遺構・遺物なし	年報10	
03-10-1~10-10	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事	発掘調査	253.5㎡	縄文・古代	溝・ピット・陶磁器・土師器・須 恵器・縄文土器・石器	本報告VIII	
03-10-27		(黒北) 教室新築工事	試掘調査	13.75㎡		遺構・遺物なし	年報10	
03-11-6		(薬) 記念館建設工事	試掘調査	7.4㎡	古 代	土師器	年報10	
03-11-17~28	0310	(本荘南) 発生医学研究センター施設整備事業	立会調査	557㎡		遺構・遺物なし	年報10	
03-11-26	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事(ガス管)	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし	年報10	
03-12-9		(本荘南) 発生医学研究センター整備事業本体工事	試掘調査	26.58㎡			年報10	

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

03・12・10	0311	(本荘北) 中央診療棟(軸) 設営工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・13	0312	薬草園取設工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・14	0307	(薬) 大江総合研究棟給排水管及び電気工事	立会調査	45.5㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・15~19	0313	(黒北) 教室新築工事	立会調査	398.8㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・23~27	0314	(本荘南) 医学部B棟・E棟・R I ・旧動物舎取壊工事	発掘調査	1,000㎡	古代	溝・ピット・土師器	本報告Ⅶ
04・1・30	0315	(本荘北) 東側駐車場整備工事	立会調査	30.7㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・2・9	0316	(黒南) 理学部4号館周辺プレハブ等設置工事	立会調査	83㎡			年報10
04・2・16							
04・2・23	0317	(本荘北) 借樹の木移植	立会調査	16㎡			年報10
04・3・4	0318	(黒北) 附属養護学校横市道水道修理工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	
04・3・5~9	0314	(本荘南) 医学部B棟・E棟・R I ・旧動物舎取壊工事	発掘調査	1,000㎡	中世・古代	溝・ピット・陶磁器・土師器	本報告Ⅶ
04・3・9	0319	(黒北) 井戸改修工事	立会調査	2.3㎡		遺構・遺物なし	
04・3・9	0320	(黒北) 福祉施設空調設備取設工事	立会調査	13.19㎡		遺構・遺物なし	
04・3・10	0321	(黒南) 外灯設備工事	立会調査	3.4㎡		遺構・遺物なし	
04・3・10	0322	(黒南) 総合研究棟外灯設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	
04・3・10	0313	(黒北) 教室新築工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	
04・3・10	0323	(黒北) 教室新築工事(空調機取設)	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	
04・3・11	0324	(本荘南) 外灯設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	
04・3・11	0325	(本荘南) 外灯設備工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし	
04・3・15	0326	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	3.54㎡		縄文土器片	
04・3・16	0327	(薬) 外灯設備工事	立会調査	11.8㎡		遺構・遺物なし	
04・3・17	0323	(黒北) 教室新築工事(植栽)	立会調査	8.92㎡	古代	土師器・須恵器片	
04・3・22	0328	(京町) 教育学部附属小中学校街路灯設備工事	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	
04・3・19	0329	(黒北) 消火栓応急処置	立会調査	1.08㎡		遺構・遺物なし	
2004年度							
04・4・7	0401	黒髪団地北地区教室新築工事(渡廊下設置)	立会調査	33.8㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・4・9		本荘団地北地区中央診療棟(軸) 設営工事	試掘調査	10.44㎡	古代	溝?・土師器	年報11
04・4・13~5・31	0402	本荘団地南地区発生医学研究センター建設工事	発掘調査	1,241.8㎡	古代	土師器・須恵器・縄文土器	年報11
04・5・26		黒髪団地北地区熊本大学大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	試掘調査	7.76㎡	古代	ピット・土師器	年報11
04・5・14	0403	本荘団地北地区中央診療棟(軸) 設営工事	立会調査	150㎡	古代	土師器	年報11
04・10・14							
04・5・21	0404	薬学部地区植物園柵支柱ほか設置工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・6・25,28	0405	薬学部地区宮本記念館新営機械設備及びその他工事	立会調査	68.48㎡		遺構・遺物なし	年報11
		本荘団地北地区(医病) 基幹・環境整備工事	試掘調査	10㎡	古代・縄文	土師器・縄文土器・土壘	年報11
04・5・24,26 6・4 10・26~28 11・12,29	0406	薬学部地区宮本記念館(仮称) 建設工事(旧建物撤去・樹木撤去・電気配線・給水管配管・ガス配管・樹木移植)	立会調査	1,332.4㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・7・26	0408	宇留毛団地小積宿舎湯水管漏水配管改修工事	立会調査	26.2㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・7・29	0409	黒髪団地北地区記念碑設置工事	立会調査	72㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・8・6							
04・8・20							
04・8・23		黒髪団地南地区理学部駐輪場取設工事	試掘調査	11㎡	古代	柱穴・須恵器・土師器	年報11
04・8・9 8・10~11 11・5,11	0410	黒髪団地北地区熊本大学大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	立会調査	370㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・8・17~19,23 9・3 9・14~22 05・1・27~	0411	本荘団地北地区(医病) 基幹・環境整備(ポンプ室・R I 実験棟取壊・ガス切替・水道プラグ止・周辺設備関連) 工事	立会調査 発掘調査	420㎡		土師器・須恵器・縄文土器・竪穴 住居址・溝・ピット	年報11 本書
04・9・16	0412	本荘団地北地区附属病院都市ガス漏配管修理工事	立会調査	5.7㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・16	0413	京町地区附属中学校台風被害による倒木起し	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・16	0414	黒髪団地南地区工学部台風被害による倒木起し	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・21	0415	薬学部地区宮本記念館新営機械設備及びその他工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・21	0416-1	本荘団地北地区附属病院台風被害による倒木起し	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・9・21	0416-2	本荘団地南地区医学部台風被害による倒木起し	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・10・12	0417	黒髪団地北地区重要文化財案内板設置工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・10・19	0418	黒髪団地北地区夏目漱石記念石碑標柱設置工事	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・10・22	0419	本荘団地北地区附属病院福利厚生施設引込配線工事	立会調査	2.23㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・11・1~28	0411	本荘団地北地区(医病) 基幹・環境整備	発掘調査	551㎡	縄文・古墳 ・古代	竪穴住居址・掘立柱建物址・溝・ 畑・土師器・須恵器・縄文土器・ 鉄鏃・勾玉・石器	年報11 本書
04・11・26	0420	薬学部地区テニスコート整備工事	立会調査	695㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・11・29	0421	黒髪団地南地区さく井設備工事	立会調査	43㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・12・6	0422	本荘団地北地区中央診療棟(軸) 工事	立会調査	66.39㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・12・15		黒髪北地区情報ネットワーク館関連工事	試掘調査	18㎡	古代	住居址・柱穴・須恵器・土師器	年報11
04・12・24	0423	黒髪団地北地区記念館(木造) 取壊工事	立会調査	75.4㎡		遺構・遺物なし	年報11
05・1・11	0424	本荘団地北地区ボンベ庫取設工事	立会調査	14.5㎡		遺構・遺物なし	年報11
05・2・1~2, 7~9	0425	黒髪北地区情報ネットワーク館事前工事(配管工事)	立会調査	160.08㎡	古代	土師器・須恵器	本報告Ⅲ
05・2・21~3・30 5・9~6・10	0425	黒髪北地区情報ネットワーク館建設工事	発掘調査	1,170.4㎡	古代	土師器・須恵器	本報告Ⅲ
05・2・4,8~9	0426	本荘団地北地区防火水槽取設工事	試掘・発掘 調査	8.4㎡	近世	溝・土師器・須恵器・馬骨・銅銭	本報告Ⅶ
05・2・4	0427	黒髪団地北地区資料館前水道管漏水修理工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報11

05・2・21～22	0428	黒髪団地南地区樹木移植工事	立会調査	19㎡		遺構・遺物なし	年報11
05・2・21	0429	薬学部地区雨水設備工事	立会調査	4.25㎡		遺構・遺物なし	年報11
05・2・28,3・14,4・1	0430	本荘団地南地区駐車場環境整備工事	立会調査	1,846㎡			
05・3・1	0431	黒髪南地区事務局倉庫新営工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	
05・3・1	0432	教育学部附属中学校卒業記念植栽等工事	立会調査	0.945㎡		遺構・遺物なし	
05・3・1	0433	教育学部附属幼稚園掲示板設置工事	立会調査	0.81㎡		遺構・遺物なし	
05・3・2	0434	黒髪南地区工学部危険薬品庫改修工事(仮称)	立会調査	192.5㎡		遺構・遺物なし	
05・3・9	0435	黒髪南地区さく井設備工事(追加分)	立会調査	5.6㎡		遺構なし・土師器	
05・3・10,15,16,18	0436	黒髪南地区事務局倉庫改修工事	立会調査	62.14㎡		遺構なし	
05・3・14・16	0437	大江地区薬学部外灯設備工事	立会調査	8.1㎡		遺構・遺物なし	
05・3・22	0438	教育学部附属幼稚園遊具取設工事	立会調査	4.14㎡		遺構・遺物なし	
05・3・23	0439	黒髪南地区樹木植栽工事	立会調査	6㎡		遺構・遺物なし	
05・3・24	0440	教育学部附属中学校洗濯機置き場新設工事	立会調査			遺構・遺物なし	
05・3・24	0441	教育学部附属小学校遊具取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	
05・3・24	0442	(本荘北) 附属病院福利厚生ガス管工事	立会調査	9.18㎡		遺構・遺物なし	
05・3・24	0443	(本荘北) 中央診療棟連絡棟II管工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	
05・3・25	0444	黒髪東地区教育学部附属養護学校給水管漏水改修工事	立会調査	1.74㎡		遺構・遺物なし	
05・3・28	0445	黒髪南地区事務局前樹木移植工事	立会調査	3.355㎡		遺構・遺物なし	
2005年度							
05・4・19～20	0501	本荘団地南地区駐車場環境整備工事(追加)	立会調査	28㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・4・27	0502	医学部附属病院排水貯留槽ポンプアップ排水管補修	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・2・4～6・10	0425	(黒髪) 情報ネットワーク館本体工事	発掘調査	1065.2㎡	縄文・古代	堅穴住居址・掘立柱建物・縄文土器・土師器・須恵器・黒色土器	本報告Ⅲ
05・5・30, 6・4,5,14	0503	(本荘) 発生医学研究センター施設整備事業(外構)	立会調査	2,337.2㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・6・7,10	0504	小碓宿舎埋設ガス配管漏れ補修・新設工事	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・6・9,10,12	0505	(医病) 基幹・環境整備(設備・曳き家前)	立会調査	55.96㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・6・20	0506	(大江) 薬学部テニスコートフェンス取設	立会調査	2.28㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・6・21	0507	(本荘中) 敷地境界ブロック改修工事	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・7・8	0508	(黒髪) 情報ネットワーク館仮設進入路工事	立会調査	40.9㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・7・13,14, 7・19～9・30	0509	(医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)	発掘調査	1147㎡	縄文・弥生 古墳・古代	住居址・溝・土師器・須恵器	本報告XI
05・7・19	0511	本荘団地北地区雨水配管補修	立会調査	7.6㎡	古代	包含層・土師器・須恵器	年報12
05・8・1	0512	教育学部附属幼稚園園舎設置	立会調査	0.96㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・2～3	0513工④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	9.7㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・8・2～25	0513理②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	198.75㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・8・5	0514	医学部南地区テニスコート内給水設備工事	立会調査	19.94㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・5～10	0513工⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	17.8㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・8～18	0513工①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	80.88㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
05・8・18	0515	本荘団地(南地区) 駐車場環境整備工事(その2),追加変更	立会調査	235.98㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
05・8・18～23	0515工⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	14.7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・19～29	0513工③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-4	立会調査	259.㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・24	0516	本荘団地中地区外灯設備工事	立会調査	11.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・23～29	0513工⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	17.2㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・25	0513工⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	14.7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・25	0513工⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	86.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・25	0513理③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	65.㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・25	0513理④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	120.25㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・29～30	0513工④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	24.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・8・30～9・1	0513工⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	20.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・1～13	0513理①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	発掘調査	67.6㎡	縄文・古代	堅穴住居址・縄文土器・土師器・須恵器	年報12
05・9・1,20	0517	(医病) 基幹・環境整備(曳き家・現在地)	立会調査	1337㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・4,5	0513理⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	48.75㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・12～27	0513工⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	43.9㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・13	0518	附属病院都市ガス設備改修工事	立会調査	29㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・14	0519	(黒髪北) 学務部倉庫取設工事	立会調査	157.76㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・15	0513工③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-5	立会調査	0.79㎡		包含層・ビット	年報12
05・9・15	0513工⑫	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	40.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・15	0520	本荘団地北地区入退院棟前スロープ取設工事	立会調査	17.18㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・15	0521	本荘団地(北地区) 台風倒木引起し	立会調査	2.355㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・16～10・2	0513工⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	97.342㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05・9・16	0522	医学部附属病院管理棟屋外給水バルブ取替工事	立会調査	2.25㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・9・27	0523	(医病) 中央診療棟(仕上)	立会調査	57.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・11～11・7	0513工③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2,3	立会調査	150㎡	古代	住居址・溝・土師器・須恵器	年報12
05・10・11	0524	本荘団地(北地区) 駐車ゲート整備工事	立会調査	261.33㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・13,14, 17,18	0525	(黒髪) 情報ネットワーク設備工事	立会調査	73.6㎡	古代	柱穴・土師器・須恵器	年報12
05・10・14	0526	埋文調査室内部改修機械設備工事	立会調査	2.0㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・19,20	0527	(黒髪北) 文法学部本館スロープ整備工事	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	年報12

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

05・10・21	0528	工学部ものづくり実習室新営工事	立会調査	810㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・25	0529	(医病) 外来臨床研究棟玄関前環境整備工事	立会調査	381.12㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・10・26	0530	薬学部温床室(苗床温室)補修工事	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・11・4	0531	旧情報処理センター屋外階段取設工事	立会調査	9㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・11・7	0532	教育学部附属養護学校給水引き込み漏水補修	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・11・7	0533	(黒北) ボイラー室給水管補修工事	立会調査	1.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・11・16,21	0534	黒髪南地区囲障改修工事	立会調査	124.3㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・11・29 12・15	0513工⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	48㎡	古 代	住居址・柱穴	年報12
05・11・29～ 12・5	0513理⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	24㎡	古 代	住居址・溝・ピット・土師器・須恵器	年報12
05・12・4	0513工⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	117.4㎡	古 代	土師器	年報12
05・12・7	0513工⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	87㎡	古 代	ピット・土師器・須恵器	年報12
05・12・9	0513工⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	25㎡	古 代	包含層・土師器・須恵器	年報12
05・12・12	0513工⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2, 5	立会調査	㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・12	0535	教育学部新南農場竹藪抜根	立会調査	455.7㎡		柱穴	年報12
05・12・13	0513工21	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・13	0513工22	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・13	0513工23	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	87.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・13	0513工24	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・14	0513理⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	86.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・14	0536	医学部弓道場設備工事	立会調査	82.73㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・15	0513理⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1, 2	立会調査	286.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・16	0537	理学部プレハブ倉庫新営工事	立会調査	167㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・19,21,26 06・1・6～11 2・27～3・2	0538	(黒髪) 情報ネットワーク館設備工事(追加)	立会調査	70,235㎡	古 代	土師器・須恵器	年報12
05・12・22	0539	本荘団地(中地区)ゴミ置場取設	立会調査	48.51㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・26	0513理⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・4～19	0513理⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	89㎡	古 代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06・1・5	0513理⑪	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	70㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・10,25	0540	本荘団地(南地区)埋設ガス管改修工事	立会調査	61.8㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・17	0513工25	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-7	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・20	0513工26	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-7	立会調査	708㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・26 2・10,27	0541	(黒髪南) 理学部駐輪場整備工事(追加・再追加含む)	立会調査	1110.6㎡	古 代	土師器・須恵器	年報12
06・1・23	0513工27	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-7	立会調査	45.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・24	0513工28	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・26	0513工29	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・27	0542	(医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動経路)	立会調査	146.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・30	0513工30	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-3	立会調査	656.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・2・13	0543	附属病院職員厚生施設園庭整備	立会調査	338.9㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・2・16,3・13	0544	(医病) 基幹・環境整備(設備・曳き家後)	立会調査	39㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・2・17	0545	教育学部附属幼稚園ブランコ用ゴムマット布設	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・2・24,3・7 3・8,13,16,17	0546	(黒髪) 情報ネットワーク館新営工事に伴う外構工事	立会調査	1837㎡	古 代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06・3・10	0547	(黒髪) 北地区学生会館西側バイク置場設置工事	立会調査	48㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・3・13	0548	本荘団地(中地区)渡り廊下設置	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・3・24	0549	(医病) 外来化学療法センター屋外汚水配管工事	立会調査	1.92㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・3・30	0550	ぎ木補修工事	立会調査	0.91㎡		遺構・遺物なし	年報12
2006年度							
06・4・11	0601	教育学部附属中学校テニスコート移設	立会調査	5.94㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・11	0602	(黒髪北) 接地工事	立会調査	6㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・11	0603	(黒髪北) 資料館改修工事	発掘調査	32.1㎡	古 代	溝状遺構・ピット 土師器・須恵器	本報告Ⅴ
06・4・11～ 4・12	0604	(黒髪北) 資料館改修工事(屋外排水)	発掘調査	25.12㎡	古 代	住居址?・溝状遺構・ピット 土師器・須恵器	本報告Ⅴ
06・4・12	0606	工学部研究実験用車庫取設工事	立会調査	49.05㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・13	0605	放送大学案内板取設工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・18,19	0607	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-9	立会調査	5.2㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・21	0608	(黒髪北) 前面歩道配管補修工事	立会調査	1.3㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・24	0609	理学部駐輪場ガス洩れ補修	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・5・2	0610	教育学部附属小学校遊具新設	立会調査	0.98㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・5・11	0611①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・5・22,25	0611②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	129㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・5・22	0612①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	1.1㎡	古 代	柱穴・土師器	年報13
06・5・22～24	0612②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	発掘調査	24㎡	古 代	柱穴・土師器・須恵器	年報13
06・6・12	0614	(黒髪) 環境安全センター給水管補修	立会調査	0.57㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・6・19	0613	附属病院中央診療棟新営電気設備工事	立会調査	72.4㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・6・22,28 7・3	0615	附属病院中央診療棟新営機械設備(衛生)工事	立会調査	153㎡	古 代	土師器・須恵器	年報13
06・6・27,7・7	0612③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	21.98㎡	古 代	土師器・須恵器	年報13

I 構内遺跡と調査の概要

06-8-7	0616	教育学部附属中学校給水管補修工事	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-8-11	0617	(黒髪) プール附属家等環境配慮改修(アスベスト処理)工事	立会調査	0.59㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-8-11	0618	医学部附属病院駐車場側溝修理	立会調査	8.75㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-8-21	0619	教育学部附属養護学校屋外人工芝張替その他工事	立会調査	420.51㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-8-24-25	0611③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-3	立会調査	20.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-8-31~9-1	0611④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	64.1㎡	古代	溝・土師器	年報13
06-9-7	0620	教育学部附属小学校プール系統給水漏れ補修工事	立会調査	2.8㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-9-11	0611⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	49.64㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-9-12	0611⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	140㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-9-14.15	0611⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	32.96㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-9-20.21	0611⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	55.1㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-10-2	0611⑨	黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-10-2	0621	(黒髪) プール附属家等環境配慮改修(アスベスト処理)工事その2	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-10-2.16 27.30 11-13	0622	(医病) 環境整備(西側駐車場等)工事	発掘調査	8,077.5㎡ (50.68㎡)	古代	土師器・須恵器・縄文土器	本報告Ⅶ
06-10-10.12	0623	黒髪団地外灯取設その他工事	立会調査	26.79㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-10-13	0624	附属病院設備管理棟アキュムレータードレン管漏れ修理	立会調査	2.16㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-10-16	0625	(医病) 基幹・環境整備(外灯)工事	立会調査	296.4㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-10-19	0626	(医病) 基幹整備(ボイラー設備他更新)工事	立会調査	106.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-10-25	0627	(大江地区) 雨水設備工事	立会調査	0.24㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-11-2	0628	医学部附属病院管理棟北側外灯撤去工事	立会調査	2.8㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-11-17.27 12-4	0629	(本荘) 医学部保健学科校舎改修電気設備工事	立会調査	239.4㎡	古代	土師器	年報13
06-11-20	0630	黒髪南地区工学部通用門周辺植栽	立会調査	15㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-11-30	0631	波鹿団地防火用水撤去工事	立会調査	56.93㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-12-1	0632	事務局正門樹木植替え	立会調査	3.36㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-12-15.18~ 25.27.28 07-1-4~9	0612④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	発掘調査	162.7㎡	古代	土師器・須恵器・動物骨	年報13
06-12-19	0633	本荘北地区南側駐車場歩道環境整備工事	立会調査	2943.79㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-12-25 07-4-2	0634	(本荘) 医学部保健学科校舎改修機械設備工事	立会調査	113.36㎡		遺構・遺物なし	年報13
07-1-10.11.19	0635	附属養護学校ガス漏れ緊急立会	立会調査	13.45㎡		遺構・遺物なし	年報13
07-1-18.22.23	0636	理学部4号館昇降路取設工事	発掘調査	30.35㎡	古代	土師器・須恵器・礫	年報13
07-1-30	0637	(本荘) 医学部保健学科校舎改修工事	立会調査	341.2㎡		遺構・遺物なし	年報13
07-2-1	0638	(宇留毛) ゴミ置き場取設工事	立会調査	35㎡		遺構・遺物なし	年報13
07-2-20	0639	(本荘) 医学部保健学科校舎CT用接地工事	立会調査	4.35㎡		遺構・遺物なし	年報13
07-2-26	0640	黒髪団地北地区知命堂ガス漏れ調査	立会調査	1.52㎡		遺構・遺物なし	年報13
07-3-1	0641	(本荘中) 医学部門衛所取り壊し工事	立会調査	52.42㎡		遺構・遺物なし	年報13
07-3-6	0642	宇留毛団地災害復旧工事	立会調査	134.82㎡		遺構・遺物なし	年報13
07-3-8	0643	(黒髪南) 理学部温室取り壊し工事	立会調査	101.7㎡	古代	土師器	年報13
07-3-8	0644	(南地区) 西側開閉改修工事	立会調査	55.28㎡		遺構・遺物なし	年報13
07-3-12	0645	本荘南地区テニスコート埋設給水管漏水工事	立会調査	763㎡		遺構・遺物なし	年報13
07-3-20	0646	(医病) 環境整備(救急棟改修)機械設備工事	立会調査	5.77㎡		遺構・遺物なし	年報13
07-3-22	0647	(教) 附属幼稚園開閉改修工事	立会調査	25.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
07-3-26	0648	(医病) 環境整備(山崎記念館外部改修)工事	立会調査	1.15㎡		遺構・遺物なし	年報13
2007年度							
07-4-10	0701	(教) 附属養護学校東門等改修工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報14
07-4-12		(本荘) 医学部図書講義棟新営工事	試掘調査		古代	溝・柱穴・土器	年報14
07-4-13	0702	教育学部附属幼稚園飼育小屋取設工事	立会調査	18.21㎡		遺構・遺物なし	年報14
07-4-16.20	0703①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	立会調査	61㎡		遺構・遺物なし	年報14
07-5-7.8	0704	(黒髪南) 新営工事に伴う樹木移植工事	立会調査	446㎡	古代	土師器・須恵器	年報14
07-6-7		(医病) 東棟棟新営工事	試掘調査				年報14
07-6-13	0705	(医病) 東棟棟新営に伴う支障配線替工事(電気設備)	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	年報14
07-6-19.21.27	0703②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	469.2㎡		遺構・遺物なし	年報14
07-6-20	0706	本荘南地区保健学科通用門整備	立会調査	17.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07-6-20		黒髪北地区総合研究棟新営工事	試掘調査			柱穴・土器	年報14
07-6-25	0703③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	31.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07-6-26.29 7-10.18.19	0707	(本荘) 医学部図書講義棟新営工事	立会調査	1,590㎡		障害物撤去・一次掘削	年報14
07-6-28	0708	(黒髪北) 大教センター南側雨水管つまり修理	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07-6-29	0709	(本荘北) 仮設渡り廊下取設工事	立会調査	43.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07-7-3	0703④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.14	立会調査	36㎡		遺構・遺物なし	年報14
07-7-4	0710	(京明) 教育学部附属小中学校仮設校舎取設工事(変更)	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報14
07-7-9.10	0703⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	立会調査	58.75㎡		遺構・遺物なし	年報14
07-7-17	0711	(医病) 基幹・環境整備(旧中央診療棟取り壊しに伴う電気設備)工事	立会調査	8.34㎡		遺構・遺物なし	年報14
07-7-17	0703⑥-1	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	1,576.6㎡		遺構・遺物なし	年報14
07-7-19	0703⑥-2	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	300.08㎡		遺構・遺物なし	年報14

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

07・7・30～9・3	0707	(本荘) 医学部図書講義棟新営工事	発掘調査	1,590㎡	縄文・古代	竪穴住居址・水田遺構・ピット 縄文時代石器・縄文土器・土師器・須恵器・鉄器	本報告Ⅷ
07・8・7	0712	(医病) 東病棟新営工事	立会調査	24㎡		一次掘削	本報告Ⅴ
07・8・10	0713	薬学部屋外給水管漏水修理工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・22	0714	(黒髪南) 理学部1.2号館掲取板取設工事	立会調査	15.7㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・23	0715	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-19	立会調査	2.09㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・27～ 10・25	0712	(医病) 東病棟新営工事	発掘調査	589.29㎡	縄文・古墳 ・古代・近 世	縄文土器・土師器・須恵器・石 器・古代鉄器・銅製袴帯・馬骨・ 宋銭	本報告Ⅴ
07・9・3	0716	本荘南地区駐車場出入口整備	立会調査	294.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・9・14 10・3	0717	(医病) 基幹・環境整備(旧中央診療棟取り壊しに伴う機械 設備) 工事	立会調査	49.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・9・25～27 10・2	0703⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.16	発掘調査	275.5㎡	古 代	住居土・ピット・土師器・須恵器	年報14
07・9・27 10・12	0718	(大江) 薬学部本館耐震改修工事	発掘調査	264.32㎡	古 代	溝・土師器	年報14
07・10・4.15 16.22.25 08・1・30.31 2・13	0719	(京町) 教育学部附属小中学校校舎等改修工事	立会調査	308.68㎡	弥生・古代	ピット・弥生土器 土師器	本報告Ⅴ
07・10・19	0720	事務局南側等屋外給水管補修工事	立会調査	2.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・10・26～ 11・28	0719	(京町) 教育学部附属小中学校校舎等改修工事	発掘調査	230.3㎡	弥生・古代	竪穴住居・ピット・溝・弥生土 器・土師器・須恵器・打製石鏃	本報告Ⅴ 本報告Ⅹ
07・12・3～ 12・4.6.7 08・1・18	0721	(京町附属小中) 校舎等機械設備改修	立会調査	1,309.05㎡	弥生・古代 ・近世・近 代	竪穴住居・ピット・弥生土器・土 師器・須恵器・近世・近代陶磁器	本報告Ⅴ
07・12・5	0722	(黒髪) 工学部8号館内部改修その他工事	立会調査	97㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・5.11	0723	(黒髪) 工学部8号館内部改修電気設備工事	立会調査	14.1㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・7.10.12	0724	(本荘中) 医学部基礎研究棟(C棟取り壊し) 工事	立会調査	1,000㎡	古 代	土抗・ピット・土師器	年報14
07・12・7	0725	(京町) 教育学部附属小・中学校校舎等改修電気設備工事	立会調査	90㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・10.17.18 08・1・16.17	0703⑧-1	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.18	立会調査	148.75㎡	古 代?	ピット	年報14
07・12・14～ 12・27	0721	(京町附属小中) 校舎等機械設備改修	発掘調査	112.65㎡	弥生・古代 ・近世・近 代	竪穴住居・ピット・近代土坑・弥 生土器・土師器・須恵器・近世 近代陶磁器	本報告
07・12・19	0726	医学部基礎研究棟北側喫煙所	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・16.17	0703⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-20	立会調査	94.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・22	0727	(黒髪) 工学部8号館耐震改修機械設備工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・22	0728	(黒髪) 工学部8号館内部改修機械設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・23	0703⑩-2	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.18	立会調査	89㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・25	0703⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	2.04㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・29.30	0703⑩-3	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.18	立会調査	96.7㎡	古 代	土師器	年報14
08・2・1.4	0703⑩-4	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.18	立会調査	53.02㎡	古 代	土師器	年報14
08・2・14	0729	(黒髪南) ボイラー等撤去工事	立会調査	38.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・25	0730	(黒髪東) 教育学部附属特別支援学校防火用水槽撤去工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・27	0731	(黒髪南) 田情報処理センター改修	立会調査	11.25㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・29	0732	(本荘) 特別高圧受電棟増築工事	立会調査	12㎡		土師器	年報14
08・3・11.26	0733	(医病) 旧中央診療棟取り壊し工事	立会調査	84㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・17	0734	(黒髪北) 排水路開口部フェンス設置工事	立会調査	50.3㎡			年報14
08・3・21	0735	医学部保健学科ボイラー用地下重油タンク撤去工事	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・21	0736	(大江北) 薬学部消防用水槽撤去工事	立会調査	73.3㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・25	0737	(黒髪南) ボイラー煙突撤去工事	立会調査	208㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・27	0738	(本荘南) 医学部保健学科記念碑取設工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・31	0739	(黒髪北) 出庫注意灯取設工事	立会調査	10.135㎡		遺構・遺物なし	年報14
2008年度							
08・4・2	0801	(医病) 旧中央診療棟とりこわし工事(追加)	立会調査	20㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・7	0802	附属中学校散水復旧工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・20	0803	薬学部薬草園管理倉ガス管改修工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・26	0804	(本荘北) 駐輪場取壊し工事	立会調査	11.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・5	0805	(黒髪南) ボイラー室南側給水管漏水修理	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・6.19.23.26 7・4.10.18.28 8・25 12・1.8	0806	(黒髪) 南地区福祉施設支障配管替工事	立会調査	306.46㎡	古 代	土師器	年報15
08・6・20.25 ～7・1 7・28～30 12・4.18.19	0806	(黒髪) 南地区福祉施設支障配管替工事	発掘調査	125.2㎡	古 代	溝・ピット・土師器・須恵器・近 代陶磁器・石器	年報15 本書
08・6・9.10	0807	(本荘) 医学部図書講義棟新営機械設備工事	立会調査	29.7㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・18	0808	(黒髪北) 有機系廃液処理施設東側給水管漏水修理	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・23 7・1.3.4 7・15 7・16	0809	(黒髪南) 福祉施設樹木移植工事(追加)	立会調査/ 発掘調査	23.5㎡	古 代	溝・住居址・土師器・石器	年報15 本書
08・7・10	0810	宇留毛田地給水管補修工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15

08・7・11	0811	(黒髪南) 共用棟Ⅱ4階改修電気設備工事	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・7・14	0812	(黒髪南) 掲示板移設工事	立会調査	41.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・7・15	0813	(本荘中) 医学部基礎構内都市ガス配管漏れ修理	立会調査	2.42㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・18	0814	(医病) 東病棟新営工事	立会調査	8㎡	弥生	溝発見	年報15
08・8・20～ 8・22	0814	(医病) 東病棟新営工事	発掘調査	212㎡	弥生・近世	弥生時代溝・近世溝 弥生土器・石器・近世陶磁器	本報告Ⅷ
08・8・21	0815	(本荘南) こばと保育園支障基礎等撤去工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・21	0816	(本荘中) 医学部基礎構内水道配管漏れ修理	立会調査	1.77㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・29	0817	宇留毛団地油タンク警報線補修工事	立会調査	0.96㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・1	0818	(黒髪北) ポンプ室西側給水管漏水修理	立会調査	2.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・9,10	0820	(黒髪北) 文法学部本館改修南側支障物撤去工事	立会調査	80.2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・9	0821	本荘団地(北地区)看護師宿舍埋設ガス管修理	立会調査	7.4㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・6	0822	本荘南地区保健学科東側囲障整備	立会調査	30㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・9,10～ 11・28	0819	(渡鹿) 体育館耐震改修その他工事	一次掘削/ 発掘調査	694.95㎡	縄文・古墳 ・古代	縄文土器・石器,古墳時代玉,土 師器・石器・人骨	年報15 本書
08・10・10	0823	教育学部附属特別支援学校漏水調査補修工事	立会調査	4.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・15	0824	(本荘南) 医学部保健学科喫煙所取設工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・28	0825	(医病) 電力工事負担金	立会調査	120.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・29	0826	(黒髪南) 共用棟黒髪3樹木伐採・移植工事	立会調査	44.55㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・4	0827	五高開校120周年記念植樹	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・6	0828	(本荘) こばと保育園改築電気設備工事	立会調査	10.7㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・10	0829	(黒髪北) 学務部プレハブ倉庫改修機械設備工事	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・18,19 21,25	0830	(本荘) こばと保育園新営機械設備工事(変更2)	一次掘削/ 発掘調査/ 立会調査	20㎡	近代	溝 古代土師器・須恵器・石器	本報告Ⅷ
08・11・18,20 12・24	0831	(渡鹿) 体育館耐震改修機械設備工事	発掘調査	113.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・1	0832	文法学部講義室北側給水管漏水調査	立会調査	1.04㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・3	0833	(黒髪北) 教育学部本館東側汚水枡補修工事	立会調査	1.4㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・10	0834	(本荘中) 共用研究棟新営工事(変更)	立会調査	14.13㎡		黒曜石	年報15
08・12・11,15 ～19	0835	(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事(変更)	一次掘削/ 発掘調査	580㎡		ピット・住居址・土師器・須恵 器・弥生土器・縄文土器・石器・ 鉄器	年報15 本書
09・1・13～2・19							
08・12・22 12・24,25	0836	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事 (変更その1,その2)	一次掘削/ 発掘調査	456.54㎡	古 代	溝・住居址・ピット・土師器・須 恵器・石器	年報15 本書
09・1・5～2・27 3・10							
08・12・24	0837	五高開校120周年記念植樹(追加)	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・26	0838	(黒髪北) 教育学部本館改修南側耐震補強工事	立会調査	60㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・1・20	0839	(黒髪南) 備蓄倉庫取設工事	立会調査	43.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・1・22	0840	(黒髪南) 南地区ボイラー室改修工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・2	0841	(黒髪南) ものづくり実習室Ⅱ新営に伴う支障樹木伐採・移 植工事	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・4	0842	(本荘) 医学部図書講義棟増築機械設備工事	立会調査	7.2㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・5	0843	(黒髪北) ボイラー煙突撤去工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・12	0844	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館改修電気設備工事 (変更)	立会調査	9.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・12	0845	(黒髪南) 福祉施設新築工事	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・13	0846	(城東町) 附属幼稚園北門改修工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・13	0847-1 ～2	(黒髪北) 教育学部本館改修(変更)	立会調査	130.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・23～24 2・27 3・4～ 3・5 3・13	0848-1 ～5	(黒髪北) 文法学部本館改修(変更,変更その2)	立会調査	138.17㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・16	0849	黒髪団地(北地区)外灯増設その他工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・16	0850	(渡鹿) 体育館耐震改修機械設備工事(追加)	発掘調査 (立会調査)	13.32㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・17	0851	(医病) 水路蓋改修工事	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・18	0852	(黒髪南) 排水ポンプ電源工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・18	0853	(黒髪南) ものづくり実習室Ⅱ新営電気設備工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・23	0847-3	(黒髪北) 教育学部本館改修(変更その2)	立会調査	244.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・24	0854	(黒髪北) 北地区ボイラー室改修工事	立会調査	12㎡		土師器・須恵器	年報15
09・2・26～ 3・12	0854	(黒髪北) 北地区ボイラー室改修工事	発掘調査	106㎡	古 代	ピット・堅穴住居址・遺状遺構・ 土壌墓・土師器・須恵器・石製紡 錘車	本報告Ⅷ
09・2・26	0855	(黒髪南) 旧情報処理センター改修電気設備工事	立会調査	20.85㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・27	0856	(黒髪南) ものづくり実習室Ⅱ新営工事	立会調査	60.99㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・3	0857	(黒髪南) 旧情報処理センタースロープ取設工事	立会調査	33.114㎡ (内1.12㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・4～6,11	0858	(黒髪北) 教育学部本館改修東側植栽工事	立会調査	117㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・6	0859	(黒髪南) 共用棟黒髪3耐震改修機械設備工事	立会調査	3.6㎡ (0.32㎡)		遺構・遺物なし	年報15

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

09・3・6.13	0860	(黒髪南) ものづくり実習室Ⅱ新営機械設備工事	立会調査	115.54㎡ (17.74㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・9～11.17	0861	(黒髪北) 文法学部本館改修東側植栽工事	立会調査	336㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・9	0862	(黒髪南) 共用棟黒髪3耐震改修電気設備工事	立会調査	21㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・10～11	0863	(黒髪南) ボイラー室他改修機械設備工事	立会調査	98.5㎡ (4.86㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・16.23	0864	(黒髪北) 環境整備(排水等)工事	立会調査	119.99㎡		住居址・ピット・土師器	年報15
09・3・17	0865	(黒髪南) 南地区ボイラー室周辺外構工事	立会調査	393.78㎡ (1.12㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・23	0866	(黒髪北) 学生会館北側排水等工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・3・27	0867	(黒髪北) 北地区ボイラー室周辺外構工事	立会調査	37.24㎡ (16.1㎡)		遺構・遺物なし	年報15
09・3・31	0868	(医病) カーブミラー取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
2009年度							
09・4・15.17	0901	(黒髪南) 西門改修植栽移植工事	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・4・20.22. 24.27.30 5・12.5.27.28	0902	(黒髪南) 西門改修工事	立会調査	422㎡		内扉・塀新設に際し黒褐色の住居 址らしき遺構検出 それ以外遺構・遺物なし	年報16
09・4・23	0903	(本荘中) 中地区構内カーブミラー取設工事	立会調査	1.19㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・8	0904	(宇留毛) 学生寄宿舎駐輪場新営工事	立会調査	16㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・8	0905	(黒髪南) 屋外雨水管改修工事	立会調査	5.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・27	0906	(大江) 薬学部育葉フロンティアセンター新営その他工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・5・28	0907	(医病) 基幹整備(電話交換設備更新)工事その1(変更)	立会調査	11.48㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・6・5	0908	(医病) 基幹整備(電話交換設備更新)工事その2	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・6・4	0909	(大江) 薬学部樹木伐採・移植工事	立会調査	10.48㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・6・11	0910	(黒髪北) ガス配管修理	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・3 7・22	0911	(大江) 薬学部育葉フロンティアセンター新営その他電気設備工事	立会調査	3.24㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・6	0912	熊本大学黒髪団地(東地区)インフラ整備	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・8	0913	(黒髪北) 非常動講師宿泊施設屋外給水管漏水修理	立会調査	0.6㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・8	0913	(黒髪北) 特別支援学校屋外給水管漏水修理	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・13	0914	(黒髪北) 文法学部本館耐震ブレース基礎まわり工事	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・7・28	0915	(宇留毛) 留学生宿舎新営電気設備工事(追加その5)	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・8・7	0916	(本荘中) 動物資源開発研究施設棟南側屋外配管漏水修理	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・8・10	0917	(本荘中) 構内通路屋根取設工事	立会調査	0.44㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・4	0918	(黒髪北) 教育学部本館文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	50.37㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・4	0919	(黒髪北) 文法学部本館Ⅱ期改修外構工事(変更)	立会調査	464.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・4 10・2・24	0920	(黒髪北) 文法学部本館Ⅱ期改修東側外構工事	立会調査	3.56㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・9・29	0921	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修電気設備工事	立会調査	8.26㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・10・6	0922	(黒髪南) 工学部研究実験棟準備室A種接地工事	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・10・13 10・27～ 10・30 11・12 11・13	0923	(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事(変更)	立会調査/ 発掘調査	工区①0㎡ ⑨15.9㎡ (0.925㎡含) ⑤⑥一部50㎡ ⑩5.3㎡	古 代	ピット・住居 土師器環・須恵器蓋	本報告Ⅹ
09・10・19 10・23 10・27～30	0924	(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事 追加その2	立会調査/ 発掘調査	工区③3.9㎡ ④5.4㎡ ⑦25.5㎡ ⑨15.9㎡ (0.923・ 0.925㎡含)	古 代	ピット	本報告Ⅹ
09・10・27～30 11・12.13.19 24～26 12・1～3	0925	(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事 追加その1	立会調査/ 発掘調査	工区⑨15.9 ㎡(0.923 含)⑥7.2㎡ ⑧7.2㎡ ⑩23.7㎡	古 代	ピット・住居址・溝 土師器・高坏 土師器・須恵器	本報告Ⅹ
09・10・13.28	0926	(医病) 基幹整備(自家発電設備更新)工事	立会調査	6.4㎡		土師器	年報16
09・10・20	0927	(黒髪南) ゴミ集積場取設工事	立会調査	9.19㎡		土師器	年報16
09・10・21	0928	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・10・29	0929	(医病) 第6病棟スロープ取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・11・4	0930	(本荘北) 基礎研究棟北側プレハブ小屋改修工事	立会調査	0.9㎡		磁器	年報16
09・11・10 11・18	0931	(医病) 東病棟北側排水管等取設工事	立会調査	1.4㎡		A・C遺構・遺物なし B住居址・縄文後期土器・古代土 師器・須恵器	年報16
09・11・10 11・30～ 12・3 12・14	0932	(黒髪南) 旧図書館工学部分室改修工事	立会調査/ 発掘調査	地中要試掘 ピット試掘 0.98㎡ 外溝工事 230.7㎡	古 代	溝 古代土師器・須恵器	本報告Ⅶ
09・12・9	0933	(京町) 附属小学校プール他改修機械設備工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報16
09・12・9	0934	(黒髪南) 旧図書館工学部分室他改修電気設備工事	立会調査	14.64㎡		遺構・遺物なし	年報16
10・1・7.12.19.28 2・2	0935	(黒髪北) 体育館改修電気設備工事	立会調査/ 発掘調査	423.21㎡	古 代・近代	ピット 土師器・須恵器・磁器	本報告Ⅶ

I 構内遺跡と調査の概要

10・1・12	0936	(医病) 旧こぼと保育園駐車場整備	立会調査	12m ²		埋蔵	年報16
10・1・13.2・23	0937	(黒髮南) 旧図書館工学部分室他改修機械設備工事	立会調査	56m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・1・14 2・17~19	0938	(黒髮南) エコロジーシステム実験室接地工事	立会調査/ 発掘調査	10m ²	縄文	溝・包含層 縄文土器・弥生土器	本報告Ⅷ
10・1・15	0939	(黒髮北) 教育学部本館Ⅱ期改修西側外構工事	立会調査	12m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・1・26	0940	(黒髮南) 生物生息環境音響解析室新営工事	立会調査	1m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・1・29	0941	(黒髮北) 体育館屋外階段改修工事	立会調査	1m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・1・29	0942	(黒髮北) 体育館屋外配水管改修	立会調査	1m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・2・2	0943	(黒髮南) 旧図書館工学部分室外構工事	立会調査	7m ²		V字型遺構(溝?)	年報16
10・2・8	0944	(黒髮北) 教育学部本館Ⅱ期改修東側外構工事	立会調査	1m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・2・8	0945	(黒髮北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事(Ⅱ期)	立会調査	3m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・2・8	0946	(黒髮北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事(Ⅱ期)追加	立会調査	7.2m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・2・12	0947	(大江) 薬学部講義棟前外灯工事	立会調査	2m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0948	(黒髮北) 教育学部東教室既設駐輪場撤去・新設他工事	立会調査	45m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0949	(黒髮北) 教育学部東教室外構工事	立会調査	0.5m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0950	(黒髮北) 教育学部東教室耐震改修機械設備工事	立会調査	4m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0951	(黒髮北) 教育学部東教室耐震改修電気設備工事	立会調査	0.5m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・2・22	0952	(黒髮南) 生物生息環境音響解析室新営機械設備工事	立会調査	1.5m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・2・22	0953	(黒髮南) 生物生息環境音響解析室新営電気設備工事	立会調査	1m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・1	0954	(黒髮南) 環境整備(駐輪場等)工事	立会調査	2m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・1	0955	(黒髮南) 環境整備駐輪場外灯設備工事	立会調査	2m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・2	0956	(本荘中) ボイラー室変電設備改修その他工事	立会調査	2m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・3	0957	(大江北) 薬学部屋外通路屋根取設工事	立会調査	3m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・4	0958	(黒髮東) 教育学部附属特別支援学校小学校部遊具設置工事	立会調査	2m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・4	0959	(黒髮北) 教育学部本館B棟配水管・連結水管工事	立会調査	2m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・5	0960	(本荘北) 医学部駐輪場取設工事	立会調査	17m ²		遺構覆土検出、計画変更により保存・遺物なし	年報16
10・3・8	0961	(黒髮南) 備蓄倉庫2取設工事	立会調査	0.83m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・8	0962	(黒髮南) 大学院自然科学研究科実験棟地盤探査工学実験室改修電気設備工事	立会調査	0.7m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・10	0963	(京町) 附属中学校校舎南側雨水管改修工事	立会調査	0.63m ²	弥生	ビット、浅い窪み 弥生時代甕壇口縁部	年報16
10・3・11	0964	(黒髮北) 体育館改修電気設備工事(電柱撤去)	立会調査	1.2m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・11	0965	(黒髮北) 文法学部本館駐輪場撤去工事	立会調査	0.48m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・12	0966	(黒髮北) 保健センター前屋外消火栓取替工事	立会調査	0.8m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・15	0967	(黒髮南) 事務局来客用駐車場取設工事	立会調査	2.34m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・16	0968	(黒髮北) 共用棟黒髪6号水設備撤去他給水設備改修工事	立会調査	3.76m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・19	0969	(黒髮東) ソフトテニスコート給水工事	立会調査	0.24m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・23	0970	(京町) 附属中学校教育学部同窓会弔魂碑案内標柱設置工事	立会調査	0.12m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・23	0971	(黒髮北) 文法学部古紙倉庫設置工事	立会調査	1.8m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・26	0972	(本荘南) 保健学科E棟給水配管工事	立会調査	8.7m ²		遺構・遺物なし	年報16
10・3・26	0973	(大江北) 薬学部審議館屋外給水配管工事	立会調査	0.34m ²		遺構・遺物なし	年報16
2010年度							
10・4・6	1001	(本荘中) ガスメータ付近ガス埋設管漏洩調査	立会調査	3.9m ²		遺構・遺物なし	年報17
10・6・25 9・1	1002	(黒髮北) 文法学部本館耐震ブレース設置他工事	立会調査	22m ² 0.18m ²		遺構・遺物なし	年報17
10・6・30	1003	(黒髮南) 生物生息環境音響解析室看板設置工事	立会調査	0.18m ²		遺構・遺物なし	年報17
10・8・4	1004	(黒髮北) 守衛室シャワー室改修工事	立会調査	11.04m ²		遺構・遺物なし	年報17
10・8・9	1005	(京町) 附属小学校給排水設備工事	立会調査	17m ²		遺構・遺物なし	年報17
10・8・10 9・3.6~10 11・3・4	1006	(黒髮北) 文法学部本館Ⅲ期改修外構工事	立会調査/ 発掘調査	1,211.68m ²	古代	ビット・住居址・竈粘土 土師器・須恵器	本報告Ⅸ
10・8・10.9・3	1007	(黒髮北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅲ期改修機械設備工事	立会調査	48.2m ²		遺構・遺物なし	年報17
10・8・11	1008	(黒髮北) 高圧配電線等改修工事	立会調査	13m ²		遺構・遺物なし	年報17
10・9・1 9・3	1009	(黒髮北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅲ期改修電気設備工事	立会調査/ 発掘調査	1.6m ²	古代	ビット・遺物なし	年報17
10・9・15	1010	(城東) 附属幼稚園運動場ガス漏れ修理	立会調査	2m ²		遺構・遺物なし	年報17
10・9・24	1011	(黒髮南) 理学部1・2号館中庭植栽	立会調査	2.3m ²		遺構・遺物なし	年報17
10・10・4.5.7	1012	(黒髮北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅲ期改修機械設備工事(追加)	立会調査	67.7m ²		遺構なし 土師器片	年報17
10・10・4.5.7	1013	(黒髮北) 教育学部本館周辺移植等工事	立会調査	82m ²		遺構・遺物なし	年報17
10・11・10.11	1014	(黒髮北) 教育学部本館耐震壁設置等工事	立会調査	91.63m ²		遺構・遺物なし	年報17
10・10・26 11・2・1.10 15.22.25 3・2.3	1015	(黒髮北) 教育学部本館Ⅲ期改修外構工事	立会調査	2,101.01m ²		遺構・遺物なし	年報17
10・10・7	1016	(黒髮北) 教育学部浄化槽等撤去工事	立会調査	98.46m ²		遺構・遺物なし	年報17
10・12・6	1017	(本荘南) テニスコート整備工事	立会調査	0.25m ²		遺構・遺物なし	年報17
10・12・20	1018	(黒髮北) 五高記念館樹木移植工事	立会調査	4m ²		遺構なし 須恵器・土師器片	年報17
10・12・20	1019	(黒髮北) 五高記念館便所新営工事	立会調査	5m ²		遺構・遺物なし	年報17

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

10・12・27	1020	(本荘南) テニスコート整備工事 (追加)	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1021	(黒髪北) 五高記念館便所新営電気設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1022	(黒髪北) 五高記念館便所新営機械設備工事	立会調査	20.2㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1023	(黒髪南) 団除改修工事	立会調査	6.95㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・2・4	1024	(本荘北) カーブミラー取設工事	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・2・24.25	1025	(本荘中) 医学部基礎研究棟とりこわし支障配管替工事	立会調査	175.5㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・2	1026	(黒髪北) 教育学部本館北側排水設備修理工事	立会調査	10.3㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・9	1027	(黒髪北) 北地区門衛所太陽光発電設備設置工事	立会調査	9.6㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・10	1028	(黒髪北) 教育学部本館正面入口前消火管修理	立会調査	2.7㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・16	1029	(本荘北) 学生部室とりこわし工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・22				0.75㎡			
11・3・17	1030	(黒髪南) 環境整備 (駐輪場等) 工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・23	1031	(黒髪北) 教育学部本館西側・文法学部本館北側排水設備改修工事	立会調査	205.7㎡		遺構・遺物なし	年報17
2011年度							
11・4・18.19	1101	(黒髪南) 車庫給水引込管改修工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・5・30	1102	(本荘中) 医学部基礎研究棟 A 棟とりこわし支障配管替工事	立会調査	62㎡ (8.2㎡)		遺構・遺物なし	年報18
11・6・17	1103	(黒髪南) 倒木抜根緊急工事	立会調査	6.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・4・6 6・21~ 9・22	1104	(本荘北) 臨床医学教育研究センター (仮称) 整備事業	立会調査 / 発掘調査	試掘31.2㎡ 発掘503.9㎡	古代・近代	住居址・墓塚・ピット 土師器・須恵器・人骨・銭貨・泥 面子・甕棺	本報告IX
11・6・22	1105	(黒髪南) 埋蔵文化財調査室排水取設工事	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・6・24 10・17~19 11・1.4.10 21.24~25 11・28 12・9.12~14	1106	(本荘中) 医学部基礎研究棟 (A 棟) とりこわし工事	立会調査 / 発掘調査	1,556.04㎡	古墳・古 代・近世	溝・ピット 土師器片・須恵器	本報告IX
11・7・5	1107	(医病) 中庭掘削工事	立会調査	8.9㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・7・11	1108	(黒髪北) 障害者雇用施設改修工事	立会調査	71.3㎡ (3㎡)		遺構・遺物なし	年報18
11・7・11 8・1.5	1109	(黒髪北) 障害者雇用施設改修機械設備工事	立会調査	50.7㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・7・26	1110	(黒髪北) 五高記念館前樹木シロアリ被害支柱緊急取替工事	立会調査	3.53㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・8・18	1111	(黒髪南他) 自然科学研究科研究棟・理学部研究棟前通路陥没等補修工事	立会調査	0.46㎡ 15.2㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・9・21.22 26~29 10・4.11 26~28 31	1112	(医病) 基幹・環境整備 (第6病棟等支障配線・配管替え) 機械設備工事	立会調査 / 発掘調査	500㎡	古墳・古 代・近世	竪穴住居址・溝状遺構・ピット 土師器・須恵器	本報告IX
11・9・21	1113	(医病) 基幹・環境整備 (第6病棟等支障配線・配管替え) 工事	立会調査 / 発掘調査	264.83㎡		1112調査地点と同様	本報告IX
11・10・11~13 17.18.11・1.11	1114	(医病) 基幹・環境整備 (第6病棟等支障配線・配管替え) 機械設備工事その2	立会調査 / 発掘調査	184.81㎡	古代・近世	住居址?・溝・ピット 遺物なし	本報告IX
11・9・20	1115	(黒髪北) ラクビー場横給水管補修工事	立会調査	2.3㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・10・24~ 10・27	1116	(黒髪北) 文法学部講義棟便所増築等改修工事	立会調査 / 発掘調査	20㎡	古代	竪穴住居址?・ピット 古代土師器・須恵器	本報告IX
11・10・24.25 12・12 12・1・27	1117	(本荘中) 医学部基礎研究棟とりこわしに伴う中庭整備	立会調査	491.7㎡		遺構なし 土師器片	年報18
11・11・15	1118	(大江) 電柱支線撤去及び支柱新設	立会調査	0.42㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・11・22 12・14 12・1・17.18	1119	(医病) 基幹・環境整備 (旧中央診療棟等とりこわしに伴う支障樹木移植等) 工事	立会調査	407㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・11・24.25	1120	(医病) 基幹・環境整備 (第6病棟北側平屋部とりこわし) 工事	立会調査	728㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・11・28~ 12・6・4	1121	(黒髪南) 基幹・環境整備 (屋外排水設備等) 工事	立会調査 / 発掘調査	7748.6㎡	縄文・弥生 中期・古 代・中世 近現代 期	住居址?・土坑・溝・溝状遺構・ ピット・土坑状遺構・畑址 (畝) 墓棺・縄文土器片・土師器片・須 恵器片・円環・黒曜石チップ・黒 曜石片・礫塊石器 (敲石?)	本報告IX
11・12・5	1122	(医病) 基幹・環境整備 (血液照射管理室とりこわし) 工事	立会調査	165.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・12・5 12・2・3	1123	(医病) 基幹・環境整備 (中庭支障樹木撤去) 工事	立会調査	21.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・12・9	1124	(黒髪北) 北地区食堂屋外給水配管工事	立会調査	1.54㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・12・19.20	1125	(大江北) 北門周辺環境整備 (植栽・外灯) 工事	立会調査 / 発掘調査	8.37㎡	古代	溝 土師器片・敲石・瓦片	本報告IX
11・12・19	1126	(大江北) 北門周辺環境整備 (道路等) 工事	立会調査	4.77㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・1・12	1127	(医病) 設備管理棟ボイラー室ドレン配管他改修工事	立会調査	8.1㎡		遺構なし・土師器片	年報18
12・1・16	1128	(黒髪北) 北地区食堂・保健センター西側ガス配管修理	立会調査	5.22㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・1・17.18.20 2・3.6~7 16.17.20.21.27	1129	(医病) 基幹・環境整備 (旧中央診療棟とりこわし) 工事	立会調査 / 発掘調査	716.0㎡	古墳・古代	溝・土坑・ピット 古代土師器・須恵器・石製品	本報告IX

I 構内遺跡と調査の概要

11・12・9,13,14 12・1・24,26~27 2・8,15	1130	(本荘中) 医学部基礎研究棟 (B・D棟) とりこわし工事	立会調査/ 発掘調査	1,169.6㎡	中世以降	溝・土坑・ピット 土師器片・動物骨	本報告IX
12・1・25	1131	(京町団地) 環境整備 (法面保護) 工事	立会調査	4.3㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・1・31 2・1,6	1132	(医病) 基幹・環境整備 (渡り廊下Cとりこわし) 工事	立会調査	14.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・8	1133	(本荘中) 医学部旧ボイラー室改修機械設備工事	立会調査	46.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・16,17 21	1134	(黒髪南) 理学部園場整備その他工事 (その1)	立会調査	74.7㎡		住居址もしくは溝と思われる遺構 プラン、遺物なし	年報18
12・2・16	1135	(黒髪南) 理学部園場整備その他工事 (その2)	立会調査	1㎡ (124.8㎡)		遺構・遺物なし	年報18
12・2・16,20,21	1136	(黒髪南) 理学部園場整備その他工事 (その3)	立会調査	60.8㎡		住居址か溝? 土師器片・須恵器片	年報18
12・2・20	1137	(黒髪南) 理学部3号館スロープ取設工事	立会調査	115.60㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・27	1138	(宇留毛) 建物名表示看板設置	立会調査	0.49㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・27	1139	(黒髪北他) 施設名称サイン設置工事	立会調査	0.63㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・28	1140	(京町) 環境整備 (法面整備等) 工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・2・28	1141	(京町) 環境整備 (南側開墾) 工事	立会調査	2.0㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・3・7	1142	(大江) 薬草用植物園屋外掲示板設置工事	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・3・12	1143	(本荘中) ガス供給施設取替	立会調査	24.8㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・3・14	1144	(本荘中) エイズ学研究センター、生命資源研究・支援センター、動物資源開発研究施設新館、実験排水槽配管廃り替え工事	立会調査	7.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
12・3・26~3・27 4・24 8・21~23	1145	(医病) 基幹・環境整備 (第6病棟とりこわし) 工事	立会調査/ 発掘調査	427.30㎡	古代・中世 以降	溝・土坑・ピット 土師器片・砥の取手・須恵器片	本報告IX
2012年度							
12・4・10	1201	(黒髪南) 事務局南側寄贈樹木植栽工事	立会調査	0.9㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・6・13	1202	(京町) 附属小学校給食センター耐震二次診断調査業務	立会調査	7.1㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・6・14,15 6・18 7・9,10 10・15,16	1203	(本荘北) 本荘北地区駐車場配管工事 (新設)	立会調査	159.7㎡		磁器	年報19
12・6・20,29 7・3,26 7・31 8・6,17	1204	(本荘北) 樹木移植等工事	立会調査	136.0㎡		磁器	年報19
12・6・19~7・19	1205	(本荘中) 医学部基礎研究棟 (B棟東側) とりこわし工事	立会調査/ 発掘調査	75.6㎡	古代・近世	溝・ピット・土師器・須恵器・陶 磁器・獣骨	本報告X
12・6・25	1206	(黒髪北) 五高記念館南側屋外給水管補修他工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・6・29 7・3~5	1207	(本荘北) 水銀指定基準超過区域土壌掘削除去に伴う立会調査・発掘調査	立会調査/ 発掘調査	100㎡	古代・近代	堅穴住居址・墓・溝 (保存)・ ピット2・土師器・須恵器	年報19
12・7・9,10	1208	(本荘北) 立体駐車場支障配線替工事	立会調査	73.7㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・6,9,13	1209	(本荘中) 医学部基礎研究棟B棟漏水処置に伴う立会調査	立会調査	9.7㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・17	1210	(京町) 附属小学校給水管補修工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・23,24	1211	(京町) 教育学部附属中学校西側フェンス改修工事	立会調査	3.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・31	1212	(医病) 西病棟西側道路陥没復旧工事	立会調査	6.9㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・17,20	1213	(本荘北) 本荘北地区駐車場既設配管工事	立会調査	46.8㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・16,17,20 9・5	1214	(本荘北) 立体駐車場新営その他工事	立会調査	224.3㎡		磁器・土師器	年報19
12・8・21	1215	(城東) 教育学部附属幼稚園屋外埋設ガス配管改修工事	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・28	1216	(京町) 附属小学校体育館系統排水改修工事	立会調査	39.5㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・30	1217	(医病) 駐車場整備員控室改修機械設備工事	立会調査	4.1㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・3,4	1218	(黒髪北) 防災管理システム取設工事	立会調査	100.3㎡		ピット・土器・陶磁器	年報19
12・9・12,13	1219	(大江) 屋外給水管修理	立会調査	39.9㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・14	1220	(黒髪北) プール機械室冠水対策工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・19	1221	(京町) ブロック塀改修工事	立会調査	17.1㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・20,21	1222	(医病) 外来診療棟新営機械設備工事	立会調査	4.0㎡		遺構?	年報19
12・9・26~28 10・1~	1223	(本荘中) 国際先進医学研究拠点施設新営工事	立会調査/ 発掘調査	105.9㎡	古代・近世	溝・堅穴住居址・掘立柱建物址・ 土坑・ピット・石製品・土師器・ 須恵器・陶磁器・土製品・鉄製 品・獣骨	本報告X
12・10・15,23,24	1224	(黒髪南) 理学部温室Aとりこわし工事	立会調査	14.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・11・9	1225	(医病) 西病棟西側地盤改良工事	立会調査	31.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・11・13	1226	(本荘北) 外来診療棟新営電気設備工事	立会調査/ 発掘調査	2.2㎡		遺構?	年報19
12・11・19,20,21	1227	(本荘北) 立体駐車場新営その他工事 (追加)	立会調査	27.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・11・26,27 12・20	1228	(黒髪南) 理学部園場倉庫新営工事	立会調査	27.6㎡	古代	溝又は住居址?	年報19
12・12・10	1229	(黒髪北) 教育学部本館植栽植替工事	立会調査	2.5㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・12・18,19	1230	(黒髪北) 教育学部北側擁壁改修工事	立会調査	5.2㎡	古代	ピット・土師器・須恵器	年報19
13・1・28,29	1231	(大江) 薬学部A棟南側池系統屋外給水管改修工事	立会調査	36.3㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・1・30	1232	(大江) 大江地区R1施設屋外給水弁取替工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・7,8 12,13	1233	(本荘中) 医学部旧ボイラー室煙突撤去工事	立会調査/ 発掘調査	9.3㎡	古代	ピット・土師器	年報19 本書

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

13・2・21.22	1234	(本荘北) 医学部駐輪場取設工事	立会調査 / 発掘調査	24.1㎡	古代・近世以降	土坑・土師器・須恵器・磁器	年報19
13・2・21	1235	(医病) 構内ガス管緊急補修工事	立会調査	1.1㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・27	1236	(黒髪北) 教育学部喫煙所設置工事	立会調査	0.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・27	1237	(黒髪南) 理学部3号館南側実験廃棄物置場工事	立会調査	9.0㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・28	1238	(黒髪南) 電気自動車車庫新営工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・5	1239	(医病) 構内ガス管緊急補修工事	立会調査	8.0㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・6	1240	(黒髪南) 工学部駐輪場工事	立会調査	2.7㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・7	1241	(京町) 教育学部附属小学校校舎 AB 棟空調設備取設工事	立会調査	27.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・11.14	1242	(本荘中) 動物資源研究開発研究施設本館重油地下タンク撤去に伴う立会調査	立会調査	29.8㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・21.25	1243	(本荘南) 保健学科 E 棟東側地中埋設物撤去工事	立会調査	29㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・26	1244	(本荘北) 看護師宿舎 1 階院内保育園改修機械設備工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報19
2013年度							
13・5・21~7・27	1301	(黒髪北) 附属図書館中央館樹木伐採工事	立会調査	298.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・5・21~7・10	1302	(黒髪北) 附属図書館中央館改修機械設備工事	立会調査 / 発掘調査	395.00㎡	古代	住居・柱穴・土師器・須恵器	年報20
13・5・21~6・12	1303	(黒髪北) 附属図書館中央館改修電気設備工事	立会調査	97.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・5・25.31	1304	(黒髪北) 五高記念館前漏水補修工事	立会調査	0.45㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・6・17.21.25	1305	(黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営に伴う支障樹木移植等工事	立会調査	127.60㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・6・18~7・12	1306	(黒髪北) 附属図書館中央館外構工事	立会調査 / 発掘調査	1368.00㎡	古代	溝	年報20
13・7・19	1307	(黒髪南) 事務局本館西側側溝補修工事	立会調査	4.10㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・7・19	1308	(大江北) 薬学部倉庫 1 とりこわし工事	立会調査	47.03㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・8・8~10・7	1309	(黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営その他工事	立会調査 / 発掘調査	632.00㎡	近現代	墓・現代遺物	年報20
13・8・6~15・3・20	1310	(黒髪南) ライフライン再生 (給水設備等) 工事	立会調査 / 発掘調査	5275.60㎡	近世・古代・縄文	住居・柱穴・溝・陶磁器・土師器・須恵器・鉄器・縄文土器・石器	年報20
13・9・24~10・4	1311	(黒髪南) 国際革新技術研究拠点施設新営に伴う支障配管替工事	立会調査	101.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・10・11	1312	(黒髪北) 知命堂給水管漏水補修工事	立会調査	0.815㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・9・13	1313	(黒髪北) テニスコート改修工事	立会調査	6.48㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・9・2	1314	(黒髪北) 知命堂改修工事	立会調査	41.45㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・9・12~14・3・14	1315	(黒髪北・黒髪南) 都市計画事業 中部及び東部処理区雨水吐貯留管 (C-3, E-4) 築造工事	立会調査	5.60㎡	近世・近代	陶磁器	年報20
13・10・28	1316	(医病) 中央診療棟東側汚水柵蓋取設工事	立会調査	0.50㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・1~12・18	1317	(本荘中) 基幹整備 (自家発電設備) 工事 (地下タンク)	立会調査 / 発掘調査	100.10㎡	古代	住居・溝・柱穴・土師器・須恵器	年報20
13・11・1~12・18	1318	(本荘中) 基幹整備 (自家発電設備) 工事 (発電機設備)	立会調査 / 発掘調査	236.40㎡	古代	住居・溝・柱穴・土師器・須恵器	年報20
13・11・1~12・18	1319	(本荘中) 基幹整備 (自家発電設備) 工事 (理設配管)	立会調査 / 発掘調査	155.90㎡	古代	住居・溝・柱穴・土師器・須恵器	年報20
13・11・20	1320	(医病) 環境整備 (東側駐車場等) 工事 (舗装・構造物関係)	立会調査	3309.80㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・15~14・12・9	1321	(医病) 環境整備 (東側駐車場等) 工事 (人孔・雨水関係)	立会調査 / 発掘調査	989.50㎡	古代	住居・溝・柱穴・土坑	年報20
13・11・15~14・12・2	1322	(医病) 環境整備 (東側駐車場等) 工事 (樹木関係)	立会調査	73.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・23	1323	(医病) 作業室改修機械設備工事	立会調査	3.75㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・19	1324	(医病) 設備管理棟ボイラー設備等工事 (配管工事)	立会調査	17.70㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・20~11・13	1325	(医病) 基幹整備 (電気設備) 工事	立会調査 / 発掘調査	468.10㎡	古代	柱穴・土師器	年報20
13・11・21.22	1326	(医病) 旧電話交換室改修機械設備工事	立会調査	13.78㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・21.22	1327	(医病) 旧電話交換室改修工事	立会調査	36.40㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・25.26	1328	(医病) 看護師宿舎屋外ガス配管改修工事	立会調査	30.50㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・29	1329	(本荘北) 駐車場ゲートインターホン移設工事	立会調査	22.60㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・11・28~14・2・7	1330	(城東町) 教育学部附属幼稚園管理棟等改修その他工事	立会調査	208.49㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・12・9~14・1・14	1331	(本荘中) 国際先端医学研究拠点新営電気設備工事	立会調査	83.51㎡		遺構・遺物なし	年報20
13・12・9・14・2・25	1332	(本荘中) 国際先端医学研究拠点新営電気設備工事	立会調査	75.26㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・1・17~2・12	1333	(医病) 設備管理棟ボイラー設置等工事 (重油地下タンク更新・汚染土壌除去)	立会調査 / 発掘調査	101.56㎡	古代	柱穴・土師器・須恵器	年報20
14・1・21	1334	(黒髪北・黒髪南) 交通安全施設更新工事	立会調査	1.28㎡	近現代	陶磁器	年報20
14・1・31	1335	(大江北) PHS 更改工事	立会調査	0.64㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・5	1336	(城東) 教育学部附属幼稚園管理棟等改修その他工事 (機械設備工事)	立会調査	529.10㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・10	1337	(医病) 外来診療棟新営機械設備工事	立会調査	10.62㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・17	1338	(黒髪北) 全学教育棟 (C 棟) スロープ取設工事	立会調査	57.68㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・17~26	1339	(黒髪北・南) 屋外サイン設置工事	立会調査	196.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・28	1340	(黒髪北) 黒髪北倉庫 A (旧外国人宿舎) 改修工事	立会調査	39.30㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・21	1341	(京町) 教育学部附属中学校門扉改修工事	立会調査	20.00㎡		遺構・遺物なし	年報20

14・2・25 3・13~17	1342	(京町) 教育学部附属小学校体育館改修その他工事	立会調査	48.70㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・12~25	1343	(京町) 教育学部附属小学校体育館改修その他工事(機械設備工事)	立会調査	588.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・24~3・13	1344	(京町) 教育学部附属小学校体育館改修その他工事	立会調査	702.90㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・23~3・12	1345	(本荘中他) 基礎整備(給水設備等)工事(本荘中地区分)	立会調査	909.00㎡	近世	陶磁器・古銭	年報20
14・3・6~3・17	1346	(黒髮南) 総合研究棟(工学系)改修工事	立会調査	29.45㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・6	1347	(黒髮南) 総合研究棟(工学系)改修工事	立会調査	132.90㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・27	1348	(黒髮南) 総合研究棟(工学系)改修電気設備工事	立会調査	48.76㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・27~3・17	1349	(黒髮南) 総合研究棟(工学系)改修機械設備工事	立会調査	365.00㎡	近世・近代	陶磁器・瓦・泥面子	年報20
14・2・28	1350	(京町) 支障樹木撤去	立会調査	57.40㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・10	1351	(京町) 備蓄倉庫新設	立会調査	141.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・2・28	1352	(城東町) 教育学部附属幼稚園ブロック塀改修工事	立会調査	272.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・6	1354	(黒髮北) 黒髮北倉庫A改修機械設備工事	立会調査	0.60㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・6	1355	(黒髮北) 備蓄倉庫新設	立会調査	52.50㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・7	1356	(大江北) 薬学部北門入口胸像設置工事	立会調査	4.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・7	1357	(大江北) 備蓄倉庫新設	立会調査	24.50㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・7	1358	(大江北) 支障樹木撤去	立会調査	18.80㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・22	1359	(黒髮北) 仮設駐車場取設工事	立会調査	427.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・19	1360	(黒髮北) 重要文化財五高記念館耐震診断業務	立会調査	20.40㎡	近代	陶磁器・瓦	年報20
14・3・19.20	1361	(黒髮南) 重要文化財工学部研究資料館耐震診断業務	立会調査	4.00㎡	近代	陶磁器	年報20
14・3・27	1362	(京町) 教育学部附属中学校卒業記念時計台設置工事	立会調査	4.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
14・3・28	1363	(黒髮南他) 都市ガスメーター取替工事	立会調査	22.00㎡		遺構・遺物なし	年報20
2014年度							
14・4・3	1401	(黒髮北) 附属図書館中央館雨水排水ポンプ増設工事	立会調査	4.41㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・4・11	1402	(大江北) 体育館改修その他工事	立会調査	60.80㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・4・14~16	1403	(大江北) 体育館改修その他工事(機械設備工事)	立会調査	414.00㎡	古代	土師器	年報21
14・4・14	1404	(大江北) 体育館改修電気設備工事	立会調査	44.29㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・4・17	1405	(京町) 教育学部附属中学校卒業記念樹再植樹	立会調査	4.00㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・4・18.5-19	1406	(本荘中) 国際先端医学研究拠点新営その他工事(外構工事)	立会調査	1672.70㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・5・30	1407	(京町) 教育学部附属小学校給食センターとりこわしに伴う支障配管撤去工事	立会調査	3.50㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・6・9	1408	(黒髮南) 本部(旧事務局本館)基礎調査	立会調査	21.00㎡	近代	赤煉瓦積み基礎	年報21
14・6・24	1409	附属幼稚園プール遮光ネット取付	立会調査	1.80㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・6・20	1410	(黒髮北) 附属図書館中央館看板補修工事	立会調査	0.50㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・6・19.26	1411	(京町) 教育学部附属小学校給食センターとりこわし工事(機械設備)	立会調査	16.00㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・6・19.26	1412	(京町) 教育学部附属小学校給食センターとりこわし工事	立会調査	396.70㎡	なし	土師器	年報21
14・7・8.14	1413	(医病) 中央診療棟東側環境整備工事	立会調査	225.40㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・7・8.14	1414	(医病) 中央診療棟東側環境整備(機械設備)工事	立会調査	21.60㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・7・25	1415	(黒髮北) 体育館改修電気設備工事(仮設電源)	立会調査	2.00㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・9・4~ 15・4・15	1416	(黒髮北) 武道場等改修機械設備工事	立会調査	1,087.30㎡	古代・近世	ビット、須恵器・土師器・陶磁器・鉄器	年報21
14・9・11~ 15・6・10	1417	(京町) 教育学部附属小学校校舎新営その他工事(建築工事)	立会調査/ 発掘調査	747.90㎡	弥生・古代・近世・近代	住居・溝・ビット・建物基礎、弥生土器・土師器・陶磁器	年報21 本書
14・9・16~11・20	1418	(黒髮南) 国際革新技術研究拠点施設新営機械設備工事	立会調査	532.00㎡	近現代	土坑墓・墓石、骨壺、陶磁器	年報21
14・10・10.14	1419	(黒髮南) 国際革新技術研究拠点施設新営電気設備工事	立会調査	49.388㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・10・14	1420	(本荘南) 体育館改修機械設備工事	立会調査	26.00㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・10・14.15	1421	(本荘南) 体育館改修工事	立会調査	320.02㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・10・14	1422	(本荘南) 体育館改修電気設備工事	立会調査	6.48㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・10・16~ 15・9・2	1423	66kV 銀座橋熊大医学部線路被OFケーブル改修工事	立会調査/ 発掘調査	148.26㎡	古代	溝、土師器・須恵器	年報21
14・10・29~11・26	1424	(医病) 枯木除根伐採業務	立会調査	21.16㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・11・21~ 15・7・29	1425	(本荘北) 臨床研究棟新営その他工事(地下躯体撤去・擁壁設置)	立会調査	1,655.00㎡	古代・近世・近代	住居・溝・ビット・建物基礎、土師器・須恵器	年報21 本書
14・11・17.12・24~ 15・11・2	1426	(本荘北) 臨床研究棟新営その他工事(本体工事)	立会調査/ 発掘調査	2,141.00㎡	古代・近世・近代	住居・溝・ビット・建物基礎、土師器・須恵器	年報21 本書
14・11・18	1427	(黒髮北) 体育館改修工事	立会調査	811.00㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・11・19	1428	(京町他) 教育学部附属教育実践総合センター等外部改修工事	立会調査	7.00㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・12・12~ 15・7・24	1429	(黒髮南) 本部樹木等撤去その他工事	立会調査/ 発掘調査	282.40㎡	古代・近世・近代	住居又は溝・ビット・赤煉瓦積み基礎、土師器・須恵器・陶磁器	年報21
14・12・12~ 15・7・24	1430	(黒髮南) 本部屋外スロープ取設工事	立会調査/ 発掘調査	195.77㎡	古代・近世・近代	赤煉瓦積み基礎、土師器・須恵器・陶磁器	年報21
14・12・15・16	1431	(京町) 教育学部附属小学校校舎新営その他電気設備工事	立会調査	12.50㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・12・18~ 15・6・24	1432	(医病) 管理棟改修その他工事(撤去)	立会調査	279.70㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・12・19	1433	(医病) 案内板設置業務	立会調査	2.00㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・12・22	1434	(黒髮南) 黒髮南S1等太陽光発電システム基礎設置その他工事	立会調査	77.90㎡	近代	土器片、建物基礎	年報21
14・12・22 15・1・16	1435	(黒髮南) 黒髮南S1等太陽光発電システム基礎設置その他工事(電気設備)	立会調査	46.00㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
15・1・7~6・2	1436	(黒髮南) 本部エレベーター棟増築工事	立会調査/ 発掘調査	60.30㎡	古代・近世・近代	赤煉瓦積み基礎、土師器・須恵器・陶磁器	年報21

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

15・1・14～9.7	1437	(黒髪南) 本部改修その他機械設備工事	立会調査／ 発掘調査	102.0㎡	古代・近 世・近代	赤煉瓦積み基礎、土 師器・須恵 器・陶磁器	年報21
15・2・9	1438	(黒髪北) 総合研究棟(教育学系)改修その他工事	立会調査	159.10㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
15・2・9～27	1439	(黒髪北) 総合研究棟(教育学系)改修機械設備工事	立会調査	73.00㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
15・2・10.3・4	1440	(黒髪北) 体育館改修電気設備工事	立会調査	85.80㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
15・2・12	1441	(本荘北) 臨床研究棟新営機械設備工事	立会調査	40.00㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
15・2・25～7・3	1442	(医病) 管理棟改修その他工事	立会調査	563.40㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21 本書
15・2・26～4・16	1443	(京町) 教育学部附属小学校新営その他機械設備工事(その2)	立会調査	241.80㎡	弥生	溝・ビット、弥生土器	年報21 本書
15・2・27	1444	(黒髪北) 法学部サークル棟新営その他工事	立会調査	64.80㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
15・3・2～3・6	1445	(黒髪北) 環境整備(駐車場等)に伴う樹木等移植業務	立会調査	86.00㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
15・3・18～23	1446	(黒髪北) 環境整備(駐輪場等)工事	立会調査	194.00㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
15・3・3	1447	(黒髪他) 屋外サイン設置工事(大江)	立会調査	32.60㎡	なし	土師器	年報21
15・3・4	1448	(黒髪他) 屋外サイン設置工事(黒髪)	立会調査	57.80㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・12・24	1449	(黒髪北) 全学教育棟屋外ガス漏洩補修工事	立会調査	3.00㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
15・3・16	1450	(渡鹿2) 渡鹿宿舎駐車場増設工事	立会調査	213.60㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
14・5・2	1451	(本荘南) ポンプ室設置及び給水設備取替工事	立会調査	180.00㎡	なし	遺構・遺物なし	年報21
2015年度							
15・5・11	1501	(黒髪北) 五高記念館前庭植栽除根業務	立会調査	30.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・5・18,19 16・11・4	1502	(本荘北) 臨床研究棟新営電気設備工事	立会調査	77.87㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・5・20,21	1503	(本荘北) 臨床研究棟新営機械設備工事(その2)	立会調査	19.00㎡	不明	瓦	年報22
15・5・18～ 7・28	1504	(本荘北) 臨床研究棟新営機械設備工事(その3)	立会調査	485.00㎡	古代・近代	住居・溝・土坑・ビット・建物基礎、土師器・須恵器	年報22 本書
15・6・12～ 7・29	1505	(医病) 管理棟改修機械設備工事	立会調査	349.00㎡	古代・近世	土師器・陶磁器	年報22
15・6・29	1506	(黒髪南) 黒髪南C7 6階実験室電源その他工事	立会調査	40.80㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・7・30	1507	(黒髪北) 北地区学生会館A棟前舗装補修工事	立会調査	150.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・8・7,12・18	1508	(黒髪北) 校舎(旧北地区食堂)改修工事	立会調査	36.70㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・8・20	1509	(大江北) A棟北側屋外給水管修理工事	立会調査	28.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・9・11	1510	(黒髪南他) 台風15号に伴う樹木復旧作業(黒髪)	立会調査	42.30㎡	古代	遺構・遺物なし	年報22
15・9・14	1511	人文社会科学喫煙所設置工事	立会調査	12.06㎡		土師器・須恵器	年報22
15・9・15	1512	(黒髪南他) 台風15号に伴う樹木復旧作業(大江)	立会調査	14.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・9・28	1513	(本荘北) 臨床研究棟新営仮設電柱建柱工事	立会調査	9.00㎡	古代	遺構・遺物なし	年報22
15・10・26～ 29～3・1	1514	(黒髪北) 校舎(旧北地区食堂)改修機械設備工事	立会調査	78.90㎡		住居・溝・ビット、土師器・須恵器	年報2 本書
15・11・26	1515	(黒髪北) 北地区学生会館中庭インターロッキングブロック復旧工事	立会調査	19.60㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・11・26	1516	(黒髪北) 黒髪北E1(全学教育棟)西側インターロッキングブロック復旧工事	立会調査	27.30㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・11・30	1517	(宇留毛) 寄宿舎共通棟男子浴室等改修機械設備工事	立会調査	9.2㎡		遺構・遺物なし	年報22
15・12・8	1518	(本荘北) 屋外サイン設置工事	立会調査	32.5㎡		土師器・須恵器	年報22
15・12・7,9,16	1519	(本荘中他) 屋外サイン設置工事	立会調査	54.4㎡	古代	遺構・遺物なし	年報22
16・1・4,6,12	1520	(黒髪北他) 電力デマンド等計測システム(電気・ガス・水道)取設工事(黒髪)	立会調査	172.50㎡	古代	遺構・遺物なし	年報22
16・1・14	1521	(黒髪北) 武夫原廻り(五高記念館側)フェンス復旧工事	立会調査	5.88㎡	近代	遺構・遺物なし	年報22
16・1・18,19	1522	(黒髪北他) 電力デマンド等計測システム(電気水・ガス)取設工事(大江)	立会調査	40.3㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・3・11	1523	(黒髪南) 黒髪南W7排水設備改修工事	立会調査	10.60㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・1・5～2・29	1524	(黒髪北) 校舎(旧北地区食堂)改修工事(外構工事)	立会調査	412.30㎡		住居・溝・ビット、土師器・須恵器	年報22 本書
16・1・25,2・1,2	1525	(黒髪北他) 電力デマンド等計測システム(電気・水・ガス)取設工事(本荘中他)	立会調査	93.50㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・1・28	1526	(京町) 教育学部附属教育実践総合センター東側プレハブ倉庫復旧工事	立会調査	11.91㎡		弥生土器	年報22
16・2・4	1527	(黒髪北他) 電力デマンド等計測システム(電気・水・ガス)取設工事(本荘北)	立会調査	12.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・2・12～22	1528	(黒髪北) 総合研究棟(黒髪北N9)改修工事	立会調査	311.00㎡		赤煉瓦積み基礎	年報22 本書
16・2・12	1529	(黒髪北) 総合研究棟(黒髪北N9)改修電気設備工事	立会調査	35.20㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・2・12,19	1530	(黒髪北) 総合研究棟(黒髪北N9)改修機械設備工事	立会調査	22.00㎡		遺構・遺物なし	年報22
16・2・3	1531	(大江北) 蕃滋館東側埋設ガスパ漏洩補修工事	立会調査	2.00㎡		不明遺構・	年報22
15・3・7,8	1532	(本荘南) 駐車場拡張工事	立会調査	80.00㎡		遺構・遺物なし	年報22

II 黒髪北地区の調査

1. (黒髪北) 教育学部文法学部本館改修機械設備工事に伴う発掘調査 (0836調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本調査は熊本大学(黒髪北)教育学部文法学部本館改修機械設備工事に伴う発掘調査である。黒髪地区は黒髪町遺跡群(熊本市埋蔵文化財包蔵地図 No.8-88)に含まれ、弥生時代の甕棺墓や古代の集落が存在している。93条届出の結果2008年6月11日に発掘調査との回答をうけ、2008年12月22日より発掘調査に取り掛かった。総調査面積は456.53㎡である。

b. 調査の経過

2008年12月22日 調査開始。1区2区の表土はぎを行う。
 2008年12月24日 1区調査開始。
 2009年1月9日 1区調査終了。
 2009年1月13日 2区調査開始。
 2009年1月22日 3区調査開始。
 2009年1月26日 2区調査終了。
 2009年1月27日 3区調査終了。
 2009年1月28日 6区調査開始。
 2009年2月10日 6区調査終了。
 2009年2月12日 7区東側調査開始。
 2009年2月16日 4区調査開始。
 2009年2月17日 7区東側調査終了。
 2009年2月23日 5区調査開始・終了。
 2009年2月24日 4区調査終了。6区の一部(引き込み部分)調査終了。
 2009年2月27日 7区調査開始・終了。
 2009年3月10日 7区東側の一部(引き込み部分)調査。全調査終了

c. 調査の組織

調査員：江頭俊介

事務担当：中川木綿子

発掘作業員：一本尚之・伊藤千代子・伊藤宏昭・笹野ヌイ子・末吉美紀・高野三千代・田中香苗・溜渕俊子・中田伸一・福田久美子・松崎艶子・松永里美・吉永孝夫・山崎早苗・渡邊勇

(2) 調査区の基本層序

本調査地点の位置する黒髪北地区は、立田山南麓から白川に向かって緩やかに傾斜している。調査地点の標高は概ね23mから21mである。キャンパスの最も北寄りに位置する1区と4区では、舗装の直下に黒褐色腐食土、地表下30cmに黒褐色包含層(10YR2/3)、地表下60cmに暗褐色包含層(7.5YR3/3)、地表下約1mで橙色のローム層(7.5YR6/8)となっている。暗褐色包含層の上部に住

1. (黒髪北) 教育学部文法学部本館改修機械設備工事に伴う発掘調査 (0836調査地点)

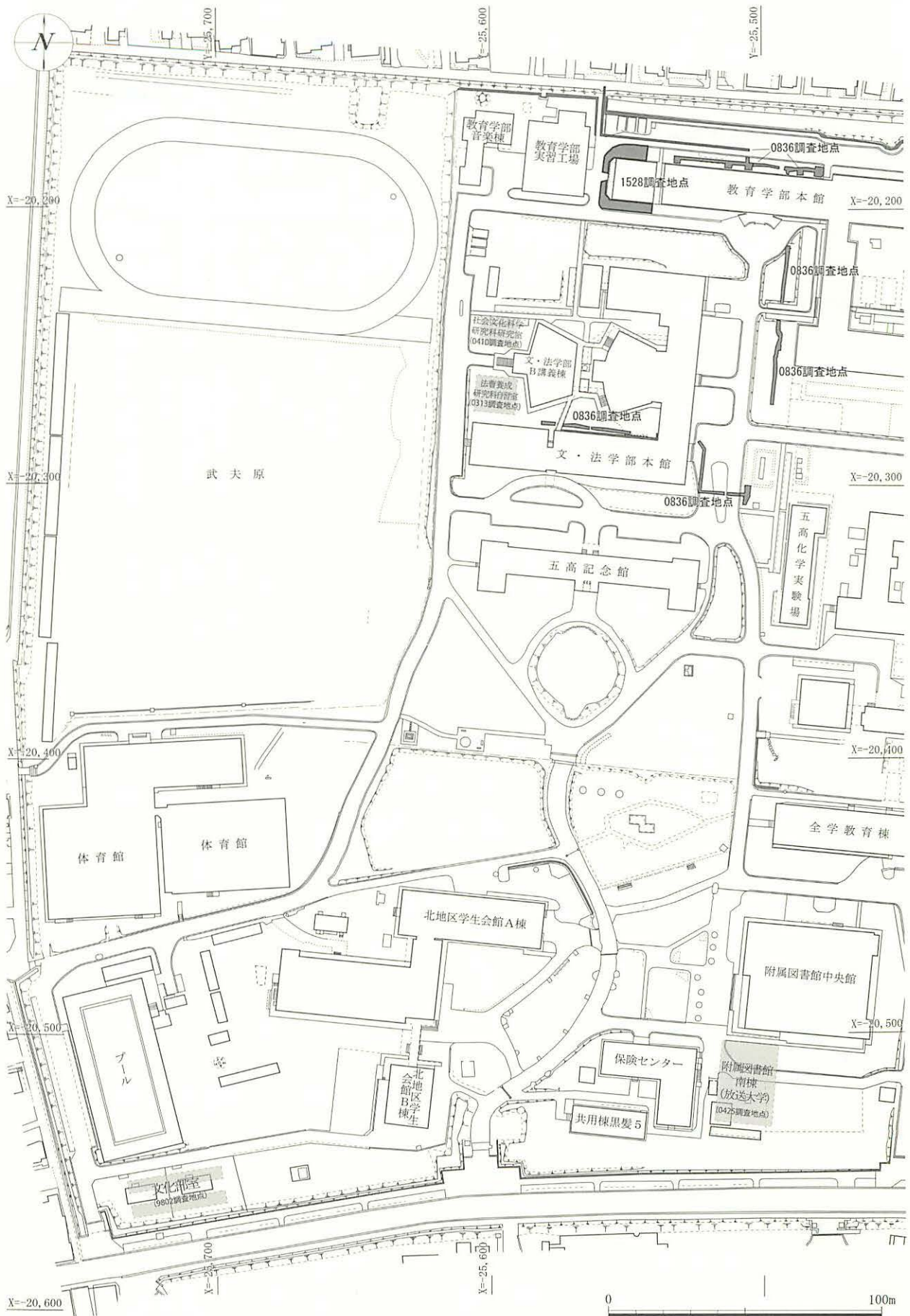


図2-1 黒髪北地区西半における調査地点位置図 (1/2000)

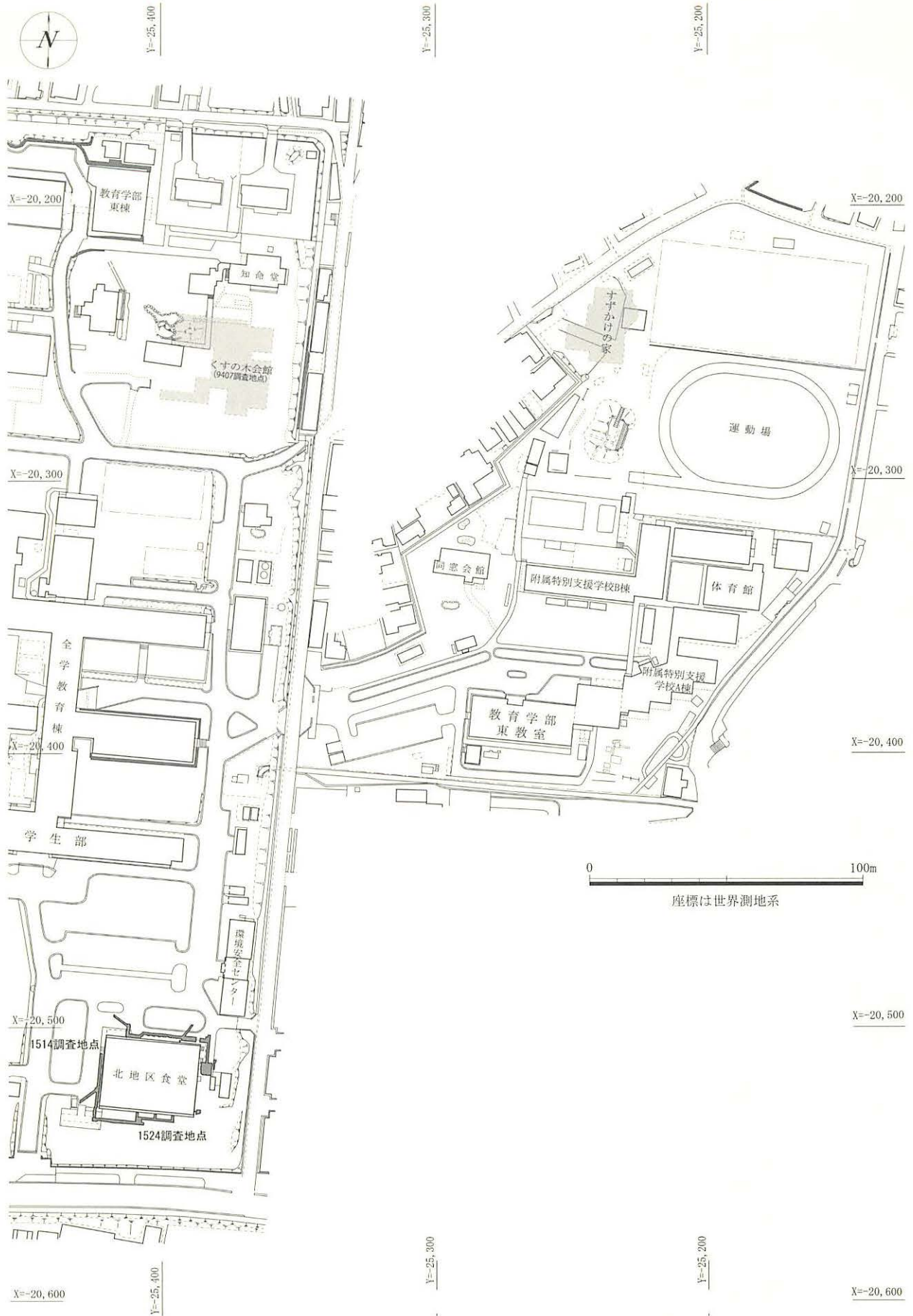


図2-2 黒髪北地区東半における調査地点位置図 (1/2000)

居等の遺構がある。また、やや南に下った2区では、地表下1.5mにローム層、その上に20cmほど黒褐色包含層が残存しており、それから上は攪乱を受け、残存していない。さらに南方の7区では、舗装の下に黒褐色包含層、地表下60cmほどに灰褐色包含層(7.5YR4/2)があり、住居等の遺構が掘り込まれている。この灰褐色包含層は、北側の暗褐色包含層と同様のものと考えられる。7区では地表下1.5mまで掘削したが、ローム層は確認していない。おそらく南へ向かってより傾斜しているか、河川によって削り取られていると考えられる。

(3) 検出遺構

狭小な調査区であったが、竪穴住居2棟、溝2条、土坑1基、自然流路1条、ピットが検出された。

1区1号竪穴住居(図7)

1区1号竪穴住居は1区西側の調査区が折れ曲がる部分にある。3層から検出している。軸は北。床面までの深さは30cm程度。平面形状は方形である。東、西、南壁は調査区の外にある。規模は4m四方かそれをやや上回る大きさと考えられる。床面の壁際以外の所に硬化面がある。硬化面の下はすぐに住居の最下面である。床面に石や灰の塊がいくつか散在している。8世紀代の土師器が出土しており、遺構の時期を示している。

7区6号竪穴住居(図7)

7区6号竪穴住居は7区東側にある。検出は3層上面である。軸は北。床面までの深さは50cm程度である。平面形状は方形を呈す。東、西、南壁は調査区外にある。北壁に竈がある。竈の東に転がっている石は袖石とみられる。炉穴周囲から東と南に硬化面が広がっている。南側にピットが一つあり、支柱穴の一つと考えられる。住居埋土、竈、床面などから多くの土器が出土しており、遺構の時期は、8世紀代と考えられる。鉄鏝が2本出土している。

4区1号溝(図8)

4区1号溝は4区中央に位置する。軸は北である。3層上面から掘り込まれている。断面は四角である。溝埋土の上面で石塔の水輪が出土している。遺物はこの石塔1点のみであり、遺構の時期は中世以降と考えられる。

4区2号溝(図8)

4区2号溝は4区中央にある。軸は東西である。4層上面で検出した。深さは1mである。ここから10mほど西の97年度F調査地点でも同様の遺構が確認されている。土師器と須恵器片1点ずつが出土しており、遺構の時期は古代以降と考えられる。

4区3号土坑(図8)

4区3号土坑は4区東側にある。4層上面検出である。深さは5cmほどである。規模は直径80cm程度である。遺物の出土はない。

2区4号流路(図8)

2区4号流路は2区北側にある。西北西から東南東に流れている。4層上面検出である。埋土は基

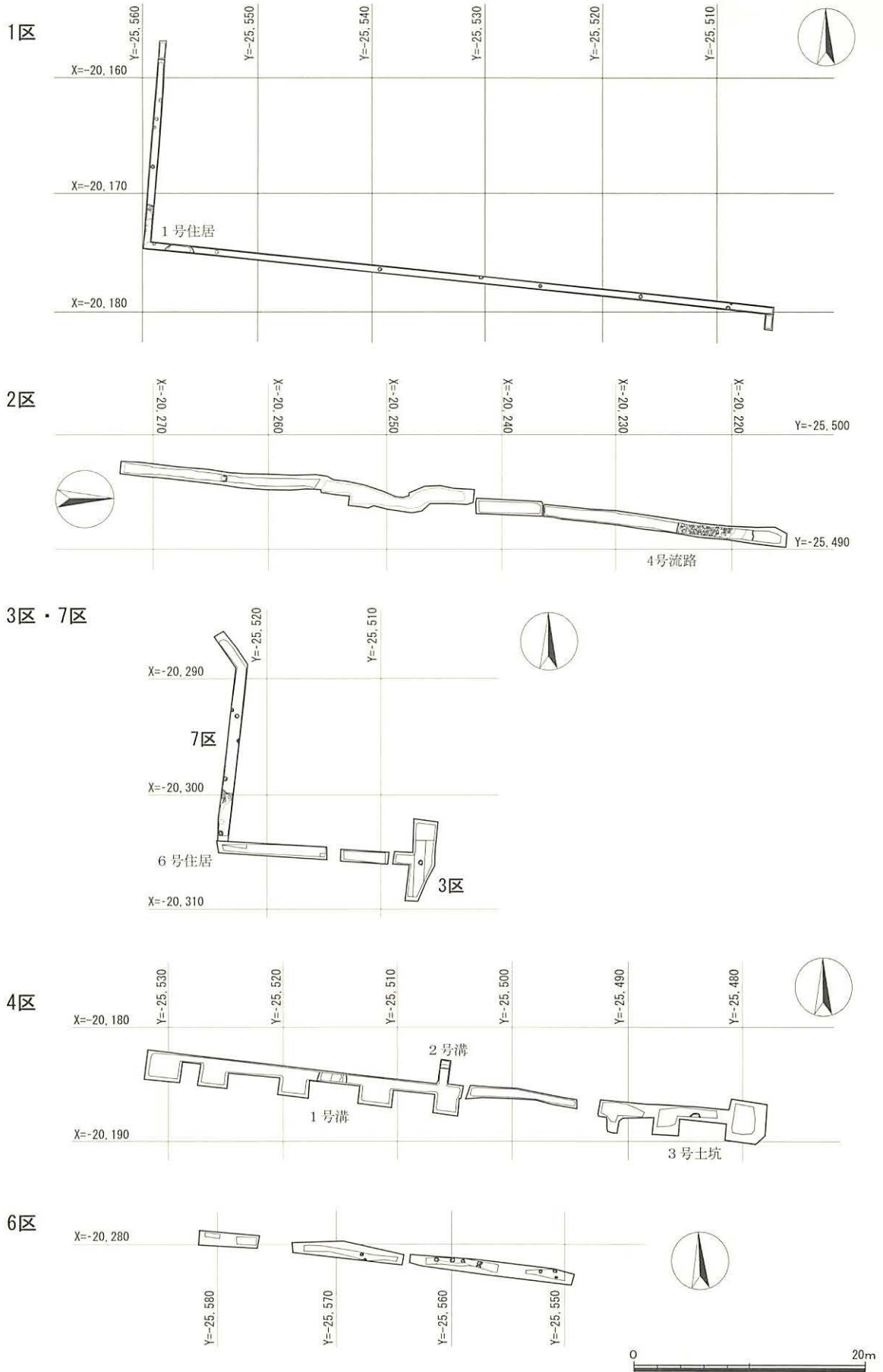
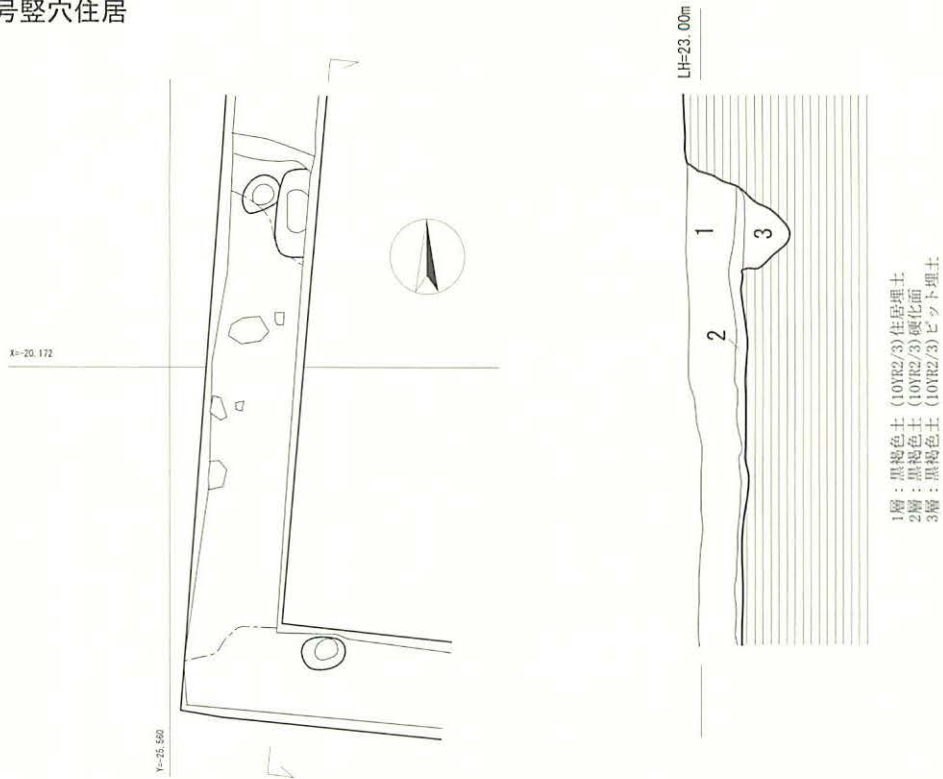


図3 各調査区遺構図 (1/500)

1区1号竪穴住居



7区東側6号竪穴住居

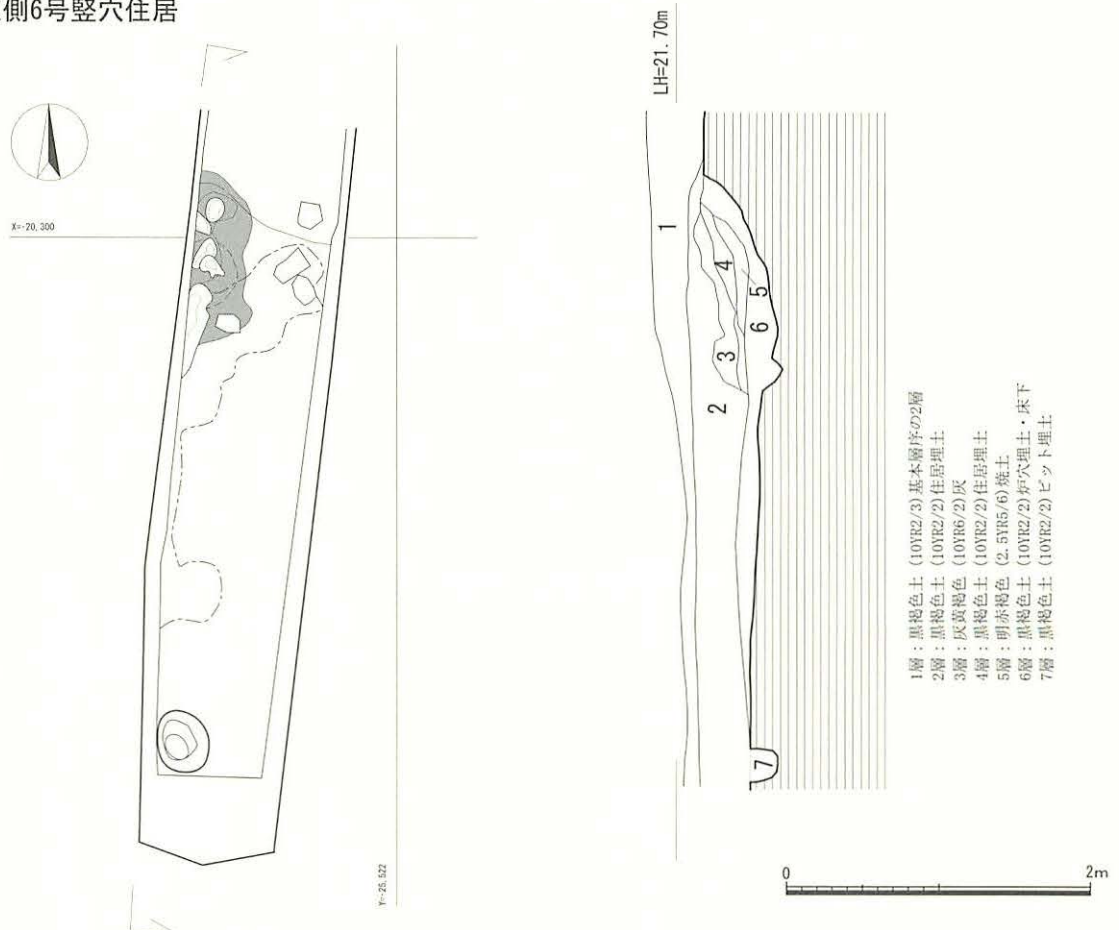
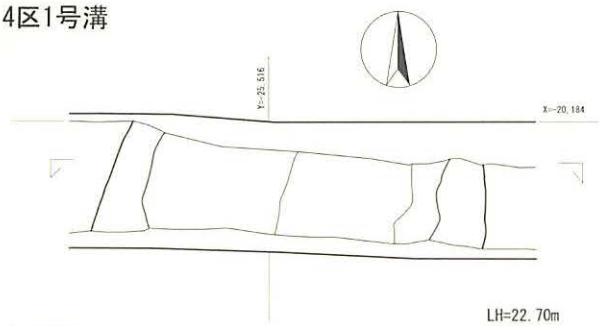


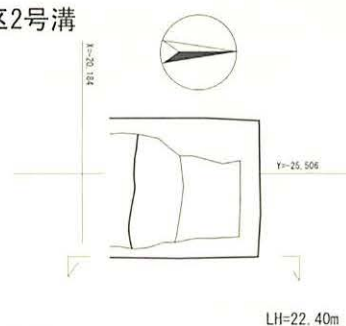
図4 1区1号竪穴住居・7区東側6号竪穴住居実測図 (1/50)

4区1号溝

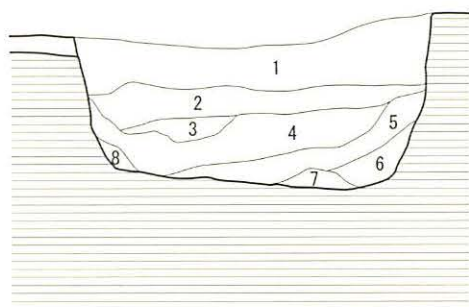


LH=22.70m

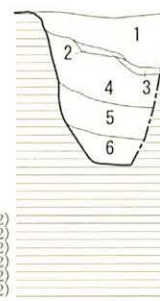
4区2号溝



LH=22.40m

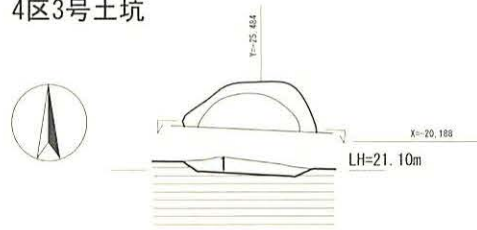


- 1層：極暗褐色土 (7.5YR2/3)
- 2層：黒褐色土 (7.5YR3/2)
- 3層：極暗褐色土 (7.5YR2/3)
- 4層：黒褐色土 (7.5YR3/2)
- 5層：極暗褐色土 (7.5YR2/3)
- 6層：黒褐色土 (7.5YR3/2)
- 7層：黒褐色土 (10YR2/2)
- 8層：黒褐色土 (10YR2/2)



- 1層：黒褐色土 (7.5YR3/2)
- 2層：暗褐色土 (7.5YR2/2)
- 3層：黒褐色土 (7.5YR2/2)
- 4層：黒褐色土 (7.5YR3/2)
- 5層：黒褐色土 (7.5YR3/2)
- 6層：黒褐色土 (7.5YR3/2)

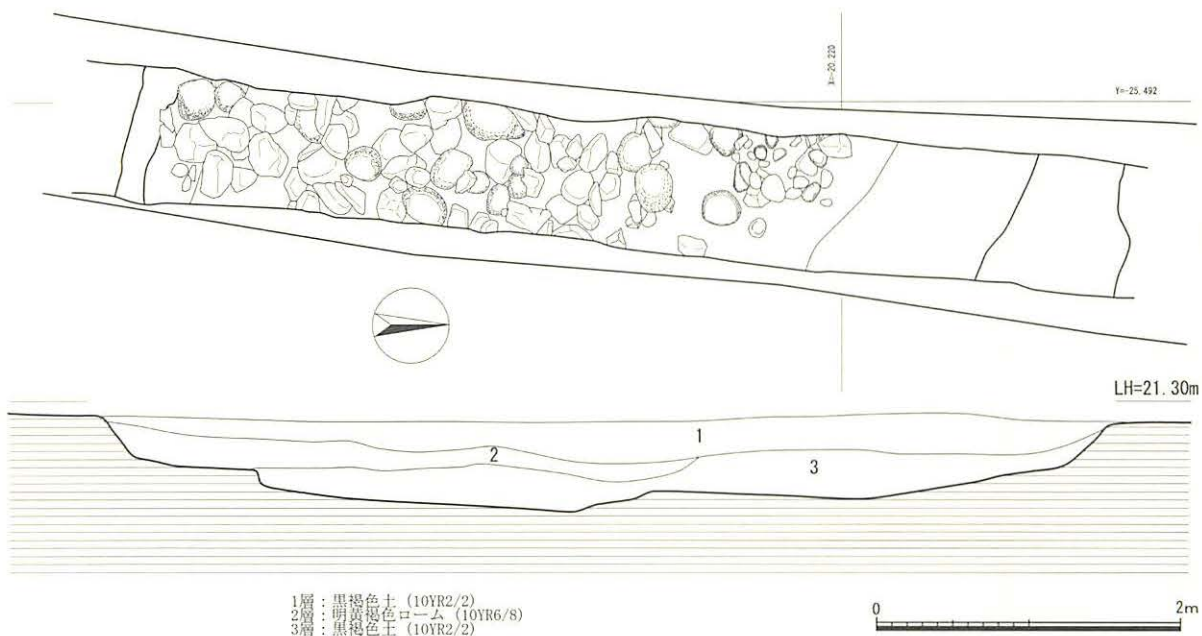
4区3号土坑



LH=21.10m

- 1層：黒褐色土 (10YR2/2)

2区4号流路



LH=21.30m

- 1層：黒褐色土 (10YR2/2)
- 2層：明黄褐色ローム (10YR6/8)
- 3層：黒褐色土 (10YR2/2)



図5 2区4号流路・4区1号溝・2号溝・3号土坑実測図 (1/50)

本土層の2層(黒褐色包含層)のなかに4層(ローム地山)が巻き上げられている。角の取れた30cm大の礫が大量にある。南岸の傾斜がやや急であり、北岸の傾斜は緩やかである。以上から、2区4号は自然流路であると考えられる。調査地点の後背地は立田山に向っていくつも小丘陵が連なる。その中で現在小峰墓地となっている丘陵から東の特別支援学校地区にむかって流れている沢の支流と考えられる。古代から中世の土器が出土しており、中世までには埋没したことがわかる。

(4) 出土遺物

狭小な調査区ではあったがコンテナ1箱分の遺物が出土した。多くは7区6号竪穴住居からの出土であり、土師器、須恵器、鉄製品などが出土している。1は1区1号竪穴住居出土の土師器の甕である。内面に不明瞭だがケズリが施されており、古代の所産と考えられる。2は1区1号竪穴住居出土の鉄鏃である。茎部分とみられる。3～8は7区6号竪穴住居出土遺物である。3は須恵器の蓋、4は須恵器の碗である。5と6は土師器の坏である。5は回転ナデを有するが、6はナデのみの調整である。7と8は土師器の甕である。9と10は2区4号流路出の瓦質土器である。9は壺、10は火鉢であり、中世後期の所産と考えられる。

(5) まとめ

今回の調査では、8世紀代の竪穴住居と古代の溝、中世の溝等が検出された。8世紀代の住居は黒髪北地区一帯に展開しており、調査地から東方100mの9407地点では、8世紀から9世紀の竪穴住居や掘立柱建物とともに、「馬」「小衆」と書かれたヘラ書き土器及び墨書土器が見ついている。駅の運営に関わった在地豪族を中心とした集落が当該地一帯に広がっているというこれまでの調査成果を追認する結果となった。また、中世の溝や流路が検出された。当地の中世の土地利用については、未だ不分明であるが、今後解明されることを期待したい。

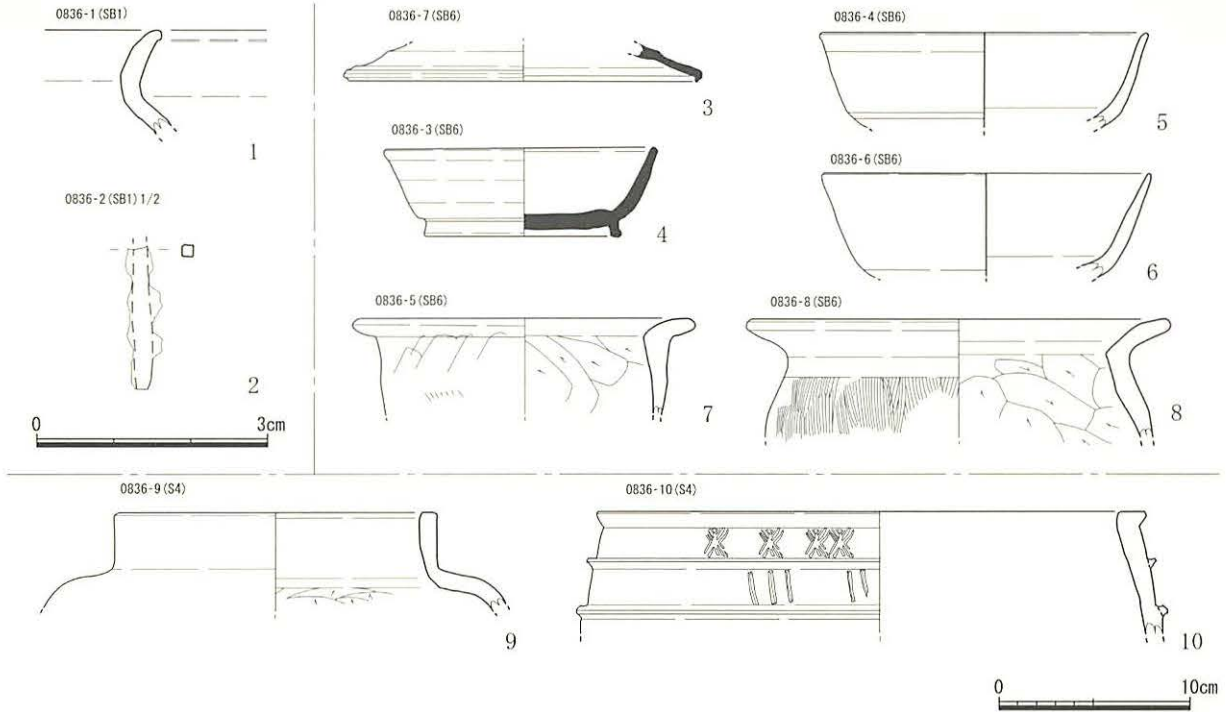


図6 0836調査地点出土遺物実測図 (1/2・1/4)

表3 0836調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
6	1	土師器	甕	口径 底径 器高 5.5	口縁破片	内: ナデ, ケズリ 外: ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR8/4	1区1号竪穴住居址	
	2	鉄製品	鍔	長さ 3.8 幅 0.4 厚さ 0.4	1/2	内: 外:	内: 外:	1区1号竪穴住居址	重量2.55 g
	3	須恵器	蓋	口径 18.0 底径 器高 2.0	口縁破片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 工具ナデ	内: Hue 5YR5/3 外: Hue 5YR5/4	7区6号竪穴住居址	
	4	須恵器	碗	口径 14.1 底径 10.1 器高 4.6	1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 回転 ヘラケズリ	内: Hue 10YR8/3 外: Hue 10YR6/1	7区6号竪穴住居址	
	5	土師器	坏	口径 17.2 底径 器高 5.0	口縁破片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 回転 ヘラケズリ	内: Hue 7.5YR8/6 外: Hue 7.5YR8/6	7区6号竪穴住居址	
	6	土師器	坏	口径 17.2 底径 器高 5.5	口縁破片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 5YR5/6	7区6号竪穴住居址	
	7	土師器	甕	口径 18.0 底径 器高 5.1	口縁破片	内: 回転ナデ, ハケメ 外: 回転ナデ, ケズリ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR5/6	7区6号竪穴住居址	
	8	土師器	甕	口径 22.3 底径 器高 6.2	口縁破片	内: 回転ナデ, ハケメ 外: 回転ナデ, ケズリ	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 5YR6/6	7区6号竪穴住居址	外面煤付着
	9	瓦質土器	壺	口径 16.8 底径 器高 5.2	口縁破片	内: 回転ナデ, 工具 ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, ケズリ	内: Hue 10YR5/1 外: Hue 10YR5/1	2区4号流路	
	10	瓦質土器	火鉢	口径 40.0 底径 器高 6.4	口縁破片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 5YR4/1 外: Hue N3/0	2区4号流路	外面スタンプ、陰刻

2. (黒髪北) 校舎 (旧北地区食堂) 改修工事に伴う立会調査 (1514・1524調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

文学部・法学部・教育学部が所在する黒髪北地区は、黒髪町遺跡群内に所在し、立田山南麓に広がる白川右岸の河岸段丘上に位置する。今回の調査は、黒髪北地区の南東部にある旧北地区食堂をグローバル教育カレッジ棟に改修する工事に伴う調査である。近隣の主な調査としては、附属図書館南棟・放送大学熊本学習センター建設時に行った0425調査地点の調査があり、古代（7世紀後半～9世紀前半）の竪穴住居30軒や掘立柱建物・溝が検出されている（壇2007）。また黒髪北地区ボイラー室改修工事に伴う0854調査地点の調査でも7世紀の竪穴住居や古代末の土坑が発見されている（小畑・大坪2012）。しかし黒髪北地区の南東部は立会調査が実施されたのみで、遺構等の検出はない。

今回の調査は校舎（旧北地区食堂）改修機械設備工事に伴う調査と、校舎（旧北地区食堂）改修工事（外構工事）に伴う調査がある。前者の工事は旧北地区食堂の全周に及ぶもので、熊本市の指導に基づき、2015年10月26日より、1514調査地点として、建物の東側から立会調査を実施した。11月11日建物西側の掘削の際、遺構が検出されたため、11月13日に熊本市教育委員会文化振興課の許可を得、立会の中で記録することになった⁽¹⁾。後者は建物南側を中心に実施されるもので、熊本市の指導に基づき、2016年1月5日より、1524調査地点として立会調査を行った。1月26日に南側にて遺構が複数検出されたため、1月28日に熊本市教育委員会文化振興課の許可を得、立会調査の中で記録することになった⁽²⁾。したがって遺構の調査は1514調査地点西部および1524調査地点南部で実施した。

b. 調査の経過

- 2015年11月13日 1514調査地点の遺構確認、遺構掘削。
- 2015年11月16日 1514調査地点の測量、写真撮影。
- 2016年1月28日 1524調査地点の遺構確認。
- 2016年2月8日 1524調査地点の作業員による遺構掘削開始。
- 2016年2月15日 1524調査地点の測量、写真撮影。
- 2016年2月16日 1524調査地点の全体写真撮影。
- 2016年2月29日 1524調査地点調査終了。
- 2016年3月1日 1514調査地点調査終了。

c. 調査の組織

調査員：松田光太郎・吉留 広

事務担当：大崎喜美子・濱田春美

発掘作業員：森川征子・森川 護

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・後藤 恵・首藤優子・末吉美紀・園田智子・増井弘子

(2) 調査区の基本層序 (図8・9)

1524調査地点南部北壁で確認した。

I層：攪乱・現代埋土

I b層：黒褐色土 (7.5YR3/2)

II層：黒褐色土 (7.5YR3/2)

III層：暗褐色土 (10YR3/3)

IV層：暗褐色土 (7.5YR3/3)

I b層は図8・9：2層。硬く転圧されたと考えられる土。II層は図8：3・59・60層。硬く転圧されたと考えられるが、古代の遺物を包含する。III層は同図61層。IV層よりもやや明るい土。調査区の東端で僅かに検出された。IV層は地山。III・IV層は無遺物層。

(3) 検出遺構 (図7)

溝3条、竪穴住居11基、土坑3基、ピット13基、その他不明遺構1基が確認された。

<溝>

7号溝 (図11)

1524調査地点南部西半に存在する。幅1.4m、長さ0.8mが検出された。主軸方位はN-20°-W。1524調査地点は西端を除き、調査したのは、掘削の及ぶ地表下0.7mまでである。そのため本遺構に関しては覆土0.3mの深度まで調査し、それ以下は調査していない。覆土は黒褐色土を主体とする。遺物は8世紀中葉～末の土器が出土している。2・3号土坑に切られるが、9・12・13号竪穴住居を切っている。12号竪穴住居より新しいことから、8世紀末の所産であろうか。

16号溝 (図11)

1524調査地点南部西半に存在する。幅0.6m、長さ0.6mが検出された。主軸方位はN-12°-E。覆土は黒褐色土を主体とする。遺物は出土していない。

33号溝 (図12)

1514調査地点西部に存在する。幅1.0m、長さは総延長4.7m検出された。1514調査地点では、掘削範囲が分岐する交点部分のみ深く調査しており、この交点部分において深さは最深で0.55mあることを確認した。主軸方位はN-15°-W。覆土は黒褐色土からなる。遺物は8世紀代の土器が出土している。なお本溝は34・40号ピットに切られていた。

<竪穴住居址>

1号竪穴住居址 (図10)

1524調査地点南部東半に存在する。東側は攪乱、西側は8号土坑と重複し、不明瞭であったが、直線的な南辺1.2mが検出された。方形プランをなす。南辺はN-73°-Eをさす。覆土は黒褐色土からなっていた。覆土は0.3mほど掘り下げたところで、床面と思われる硬化面が確認された。掘り方は掘削深度以下であったので、調査していない。8号土坑や15号ピットより新しいが、6号竪穴住居には壊されていた。遺物は須恵器甕の胴部片が出土したのみで、詳細な時期は不明である。

6号竪穴住居 (図10)

1524調査地点南部東半に存在する。東側は攪乱の影響を受け、不明瞭であったが、直線的な南辺2.5mが検出された。方形プランをなし、南辺はN-85°-Eをさす。覆土は黒褐色を呈していた。1号

2. (黒髪北) 校舎 (旧北地区食堂) 改修工事に伴う立会調査 (1514・1524調査地点)

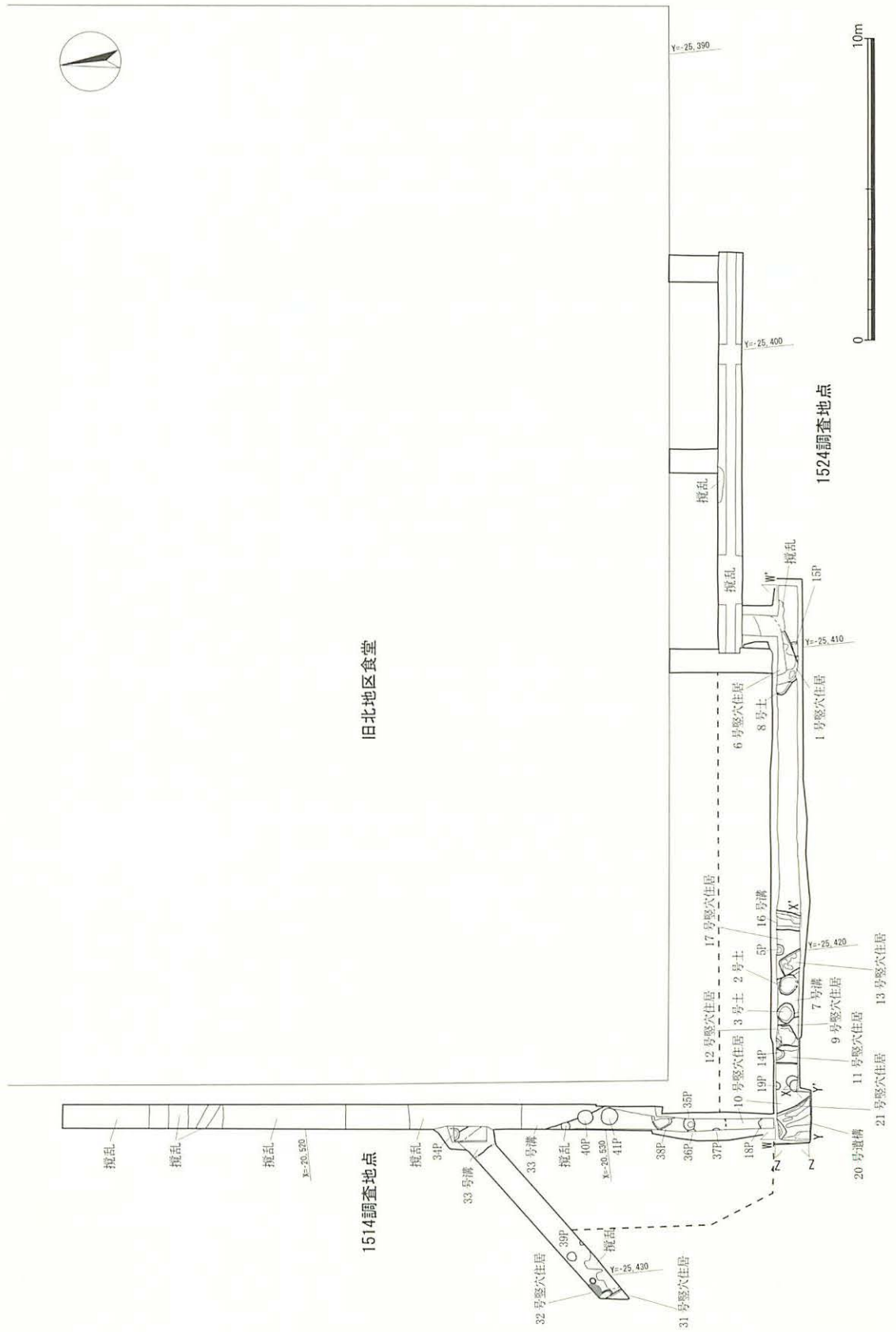


図7 1514・1524調査地点遺構配置実測図 (1/200)

2. (黒髪北) 校舎 (旧北地区食堂) 改修工事に伴う立会調査 (1514・1524調査地点)

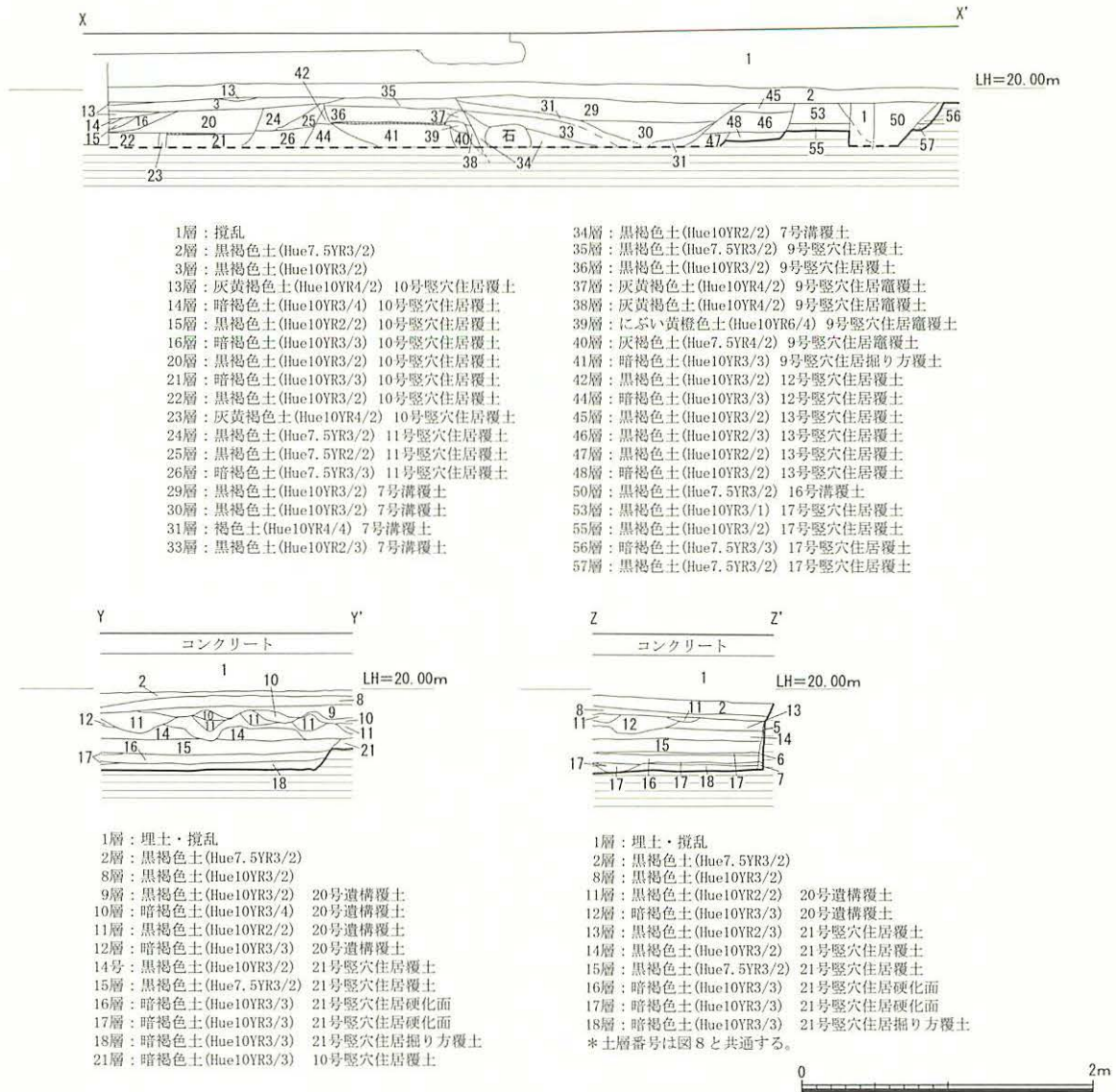


図9 1514・1524調査地点土層断面実測図2 (1/50)

竪穴住居を壊していた。遺物は出土しておらず、詳細な時期は不明である。

9号竪穴住居 (図11)

1524調査地点南部西半に存在する。東半を7号溝に壊され、南半は調査区外に出ているため、北辺のみ0.5mの検出であった。住居の北西側に竈と思われる張り出しが確認できた。方形プランをなし、主軸はN-25°-Wをさす。覆土は黒褐色土、竈付近は灰黄褐色土からなっていた。12号竪穴住居より新しく、7号溝より古い。遺物は出土していないが、切り合い関係から、8世紀末頃の所産と考えられる。

10号竪穴住居 (図11)

1514調査地点西部南端および1524調査地点南側西半で検出された。南北及び西側は調査区外に出ているので規模は不明であるが、直線的な東辺1.7mが確認された。軸はほぼ南北を向く。覆土は黒褐色土からなっていた。ピットを有する。11号竪穴住居より新しく、21号竪穴住居より古い。詳細な時

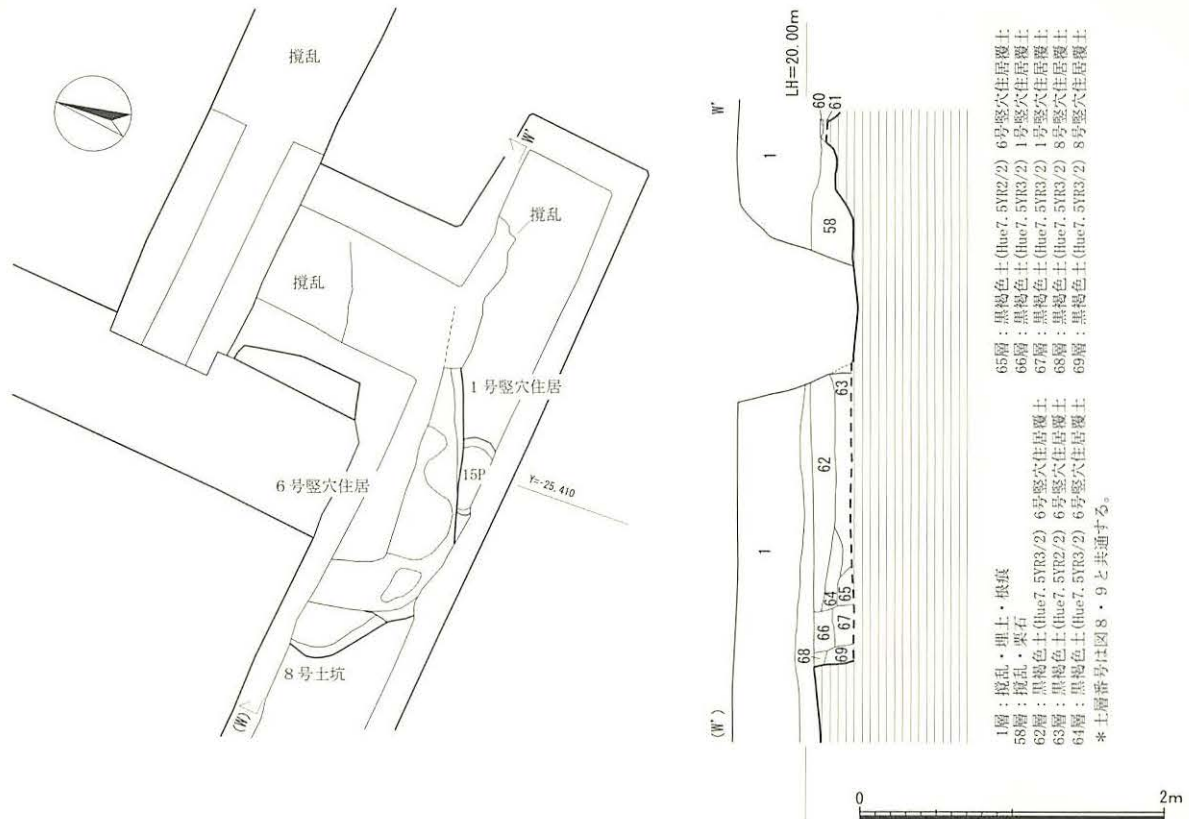


図10 1524調査地点南部東半遺構群実測図 (1/50)

期は不明である。

11号竪穴住居 (図11)

1524調査地点南部西半に存在する。西側を10号竪穴住居に壊され、南北は調査区外に出ているため、東辺のみ0.6mの検出であった。方形プランをなし、軸はほぼ南北を向く。覆土は暗褐色土と黒褐色土からなっていた。12号竪穴住居より新しく、10号竪穴住居・ピット14より古い。古代に属すると思われるが、遺物は出土しておらず、詳細な時期は不明である。

12号竪穴住居 (図11)

1524調査地点南部西半に存在する。西側を11号竪穴住居に、東側を9号竪穴住居により壊され、プランは不明。床面と思われる硬化面を有し、ピットも北壁際に1基存在していた。覆土は暗褐色土と黒褐色土からなっていた。11号竪穴住居・9号竪穴住居より古い。出土遺物より8世紀末頃の所産と考えられる。

13号竪穴住居 (図11)

1524調査地点南部西半に存在する。西側を7号溝により壊され、南側は調査区外に出ており、方形プランをなす竪穴住居の北東隅が検出された。検出された長さは北辺0.6m、東辺0.8mである。主軸はN-25°-Wをさす。竪穴住居内には床面と思われる硬化面が存在した。覆土は黒褐色土からなっていた。7号溝より古い。遺物は出土しておらず、時期の詳細も不明である。

2. (黒髪北)校舎(旧北地区食堂)改修工事に伴う立会調査(1514・1524調査地点)

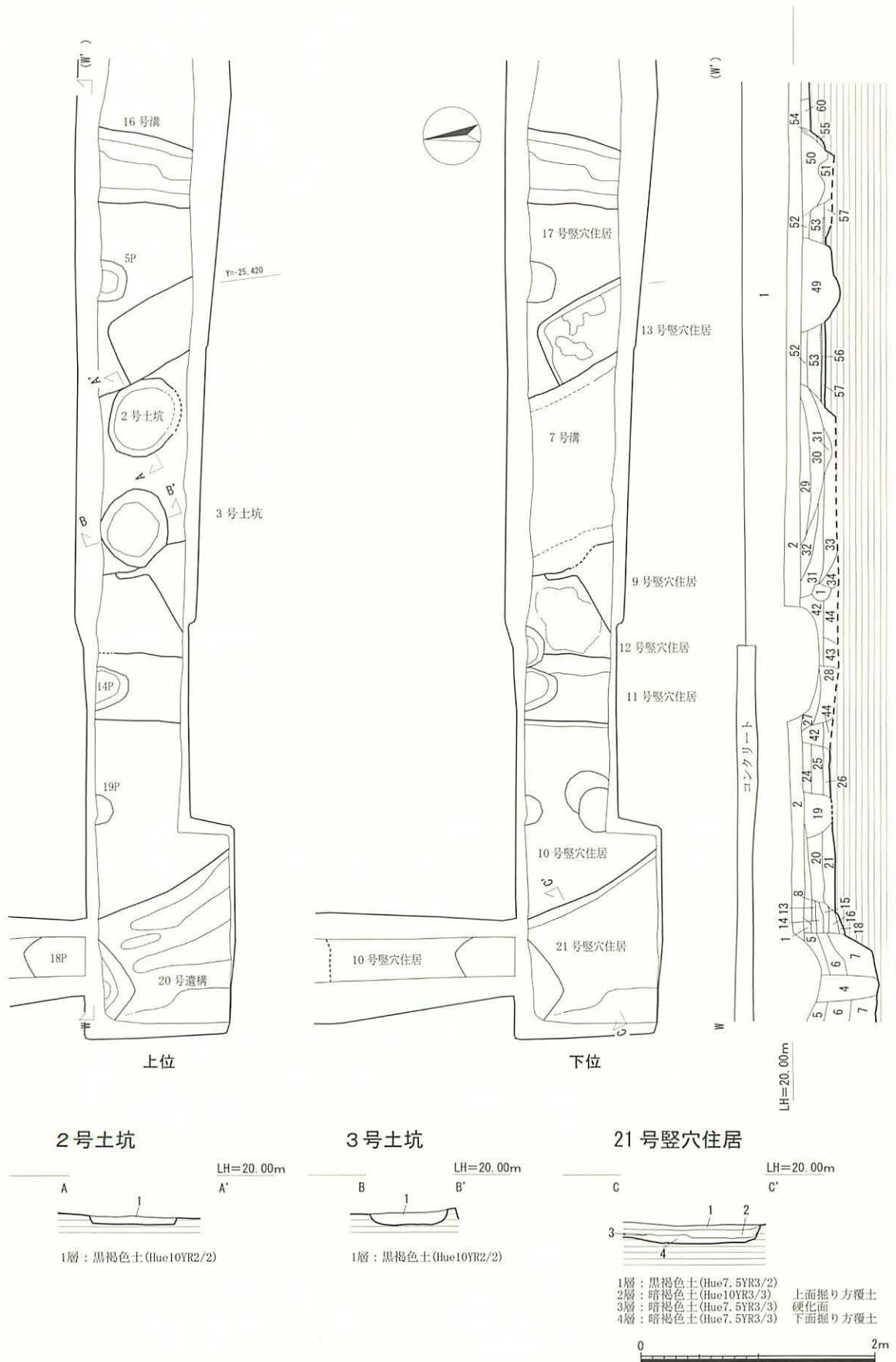


図11 1524調査地点南部西半遺構群実測図(1/50)

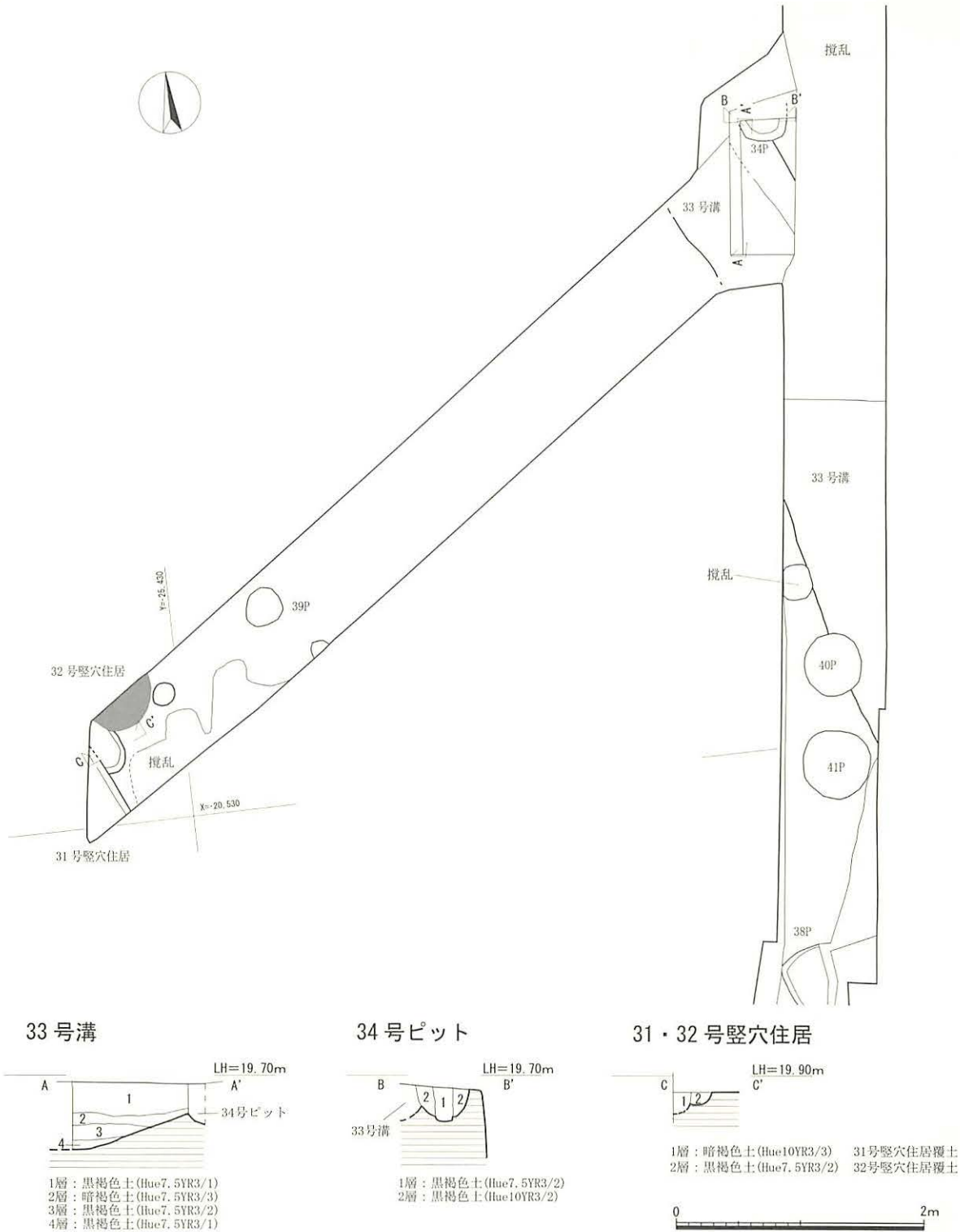


図12 1514調査地点西部遺構群実測図 (1/50)

17号竪穴住居 (図11)

1524調査地点南部西半に存在する。西側を7号溝・13号竪穴住居、東側を16号溝に壊され、南北は調査区外に出ており、プランは不明である。覆土は暗褐色土と黒褐色土からなっていた。7・16号溝・13号竪穴住居より古い。遺物は出土しておらず、詳細な時期は不明である。

21号竪穴住居 (図11)

1524調査地点南部西端に存在する。北側を18号ピットにより壊され、南および西側は調査区外に出ており、東辺1.2mのみが検出された。軸はN-25°-Wをさす。2時期重複の可能性はある。上面ものは黒褐色土を覆土にもち、掘り方覆土は暗褐色土からなるものである。下面は床面と思われる硬化面が存在し、その下位には暗褐色の掘り方覆土が存在していた。なお本遺構は上面を20号遺構に、北側を18号ピットにより壊されていた。10号竪穴住居より新しく、18号ピットよりも古い。遺物は9世紀代の遺物が出土しており、当該期の所産と考えられる。

31号竪穴住居 (図12)

1514調査地点西部西端に存在する。大半が調査区外に出ており、直線的な辺0.6mが確認できたにすぎない。軸はN-26°-Wをさす。覆土は暗褐色土であった。32号竪穴住居と重複するが、32号竪穴住居を切っており、本竪穴住居の方が新しい。出土遺物は8世紀末～9世前半の須恵器が出土しており、当該期の所産と考えられる。

32号竪穴住居 (図12)

1514調査地点西部西端に存在する。西側は31号竪穴住居に壊され、北および南側の大半は調査区外に出ている。さらに削平を受けていたため、遺構確認をした時点で竈に伴うと思われる焼土が露出した。焼土以外の覆土は黒褐色を呈していた。本竪穴住居に関しては、住居が検出された段階で、施工方法の見直しが行われ、図12：断面c-c'以南を確認面下0.2m掘削するだけで施工は済むことが確認された。したがって竈は調査せず、保存することにし、c-c'以南を確認面下0.2mまで調査した。調査の結果、焼土の西側に深さ0.1mほどの掘り込みを確認した。焼土に隣り合うため、竈に伴う掘り込みの可能性が考えられる。本竪穴住居も遺物は出土していない。時期は31号竪穴住居より古いことが判明しているだけである。

<土坑>

2号土坑 (図11)

1524調査地点南部西半に存在する。0.70×0.55mの楕円形をなす。覆土は黒褐色土からなっていた。掘削深度の関係で、覆土を0.3mほど掘り下げたところで調査を終了した。8世紀末～9世紀前半の遺物が出土している。7号溝より新しい。

3号土坑 (図11)

1524調査地点南部西半に存在する。0.60×0.55mの隅丸方形をなす。9号竪穴住居よりも新しい。

8号土坑 (図10)

1524調査地点南部東半に存在する。大部分を1号竪穴住居により壊されていたが、隅丸方形をなし、その南西隅が検出された。覆土は黒褐色土からなっていた。1号竪穴住居より古い。

<ピット>

ピットは13基調査した。規模は小さいものが多かったが、特筆すべきもの2基の所見を述べておく。18号ピットは1514調査地点西部南端および1524調査地点南部西半の交点付近に所在し、0.9×0.6mの

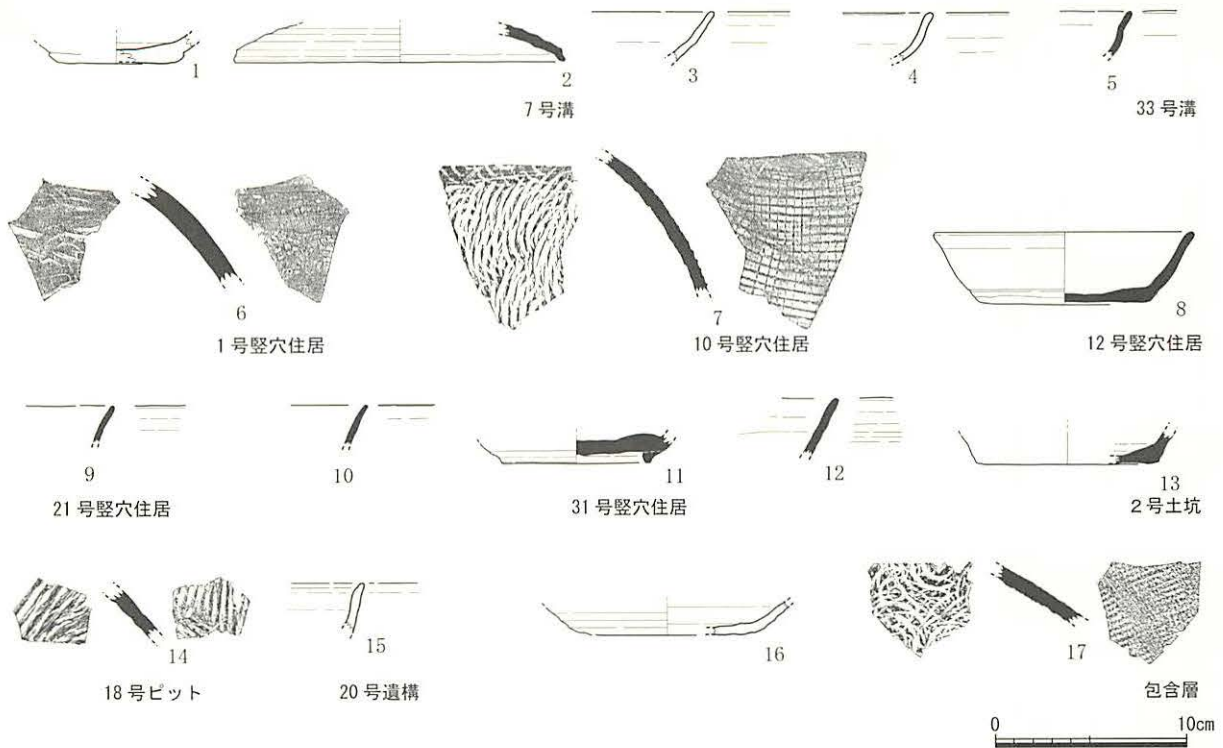


図13 1514・1524調査地点出土遺物実測図 (1/4)

隅丸長方形の規模を有するもので、柱痕も確認された。1基しかないのでピットとして報告するが、掘立柱建物の可能性が高いものである。主軸はN-53°-Eをさす。21号竪穴住居を切っており、9世紀代の所産と考えられる。34号ピットは1514調査地点に所在するもので、直径0.4mの円形ないしは隅丸方形をなす。本ピットも柱痕跡が確認できた。遺物は出土しておらず時期は不明であるが、8世紀代に属する33号溝を切って構築されていた。

<その他>

20号遺構 (図11)

1524調査地点南部西端に存在する。図9：Y-Y'、Z-Z'に見るように土塊を含む12層（暗褐色土）が凹凸をなし、その上に11層（黒褐色土）や10層（暗褐色土）が畝状の分布をもちながら堆積していたものである。これは自然の営力によってできたものか、人為的な土の攪拌によるものかは判断できないため、その他遺構として取り上げた。21号竪穴住居の上位に存在するが、18号ピットにより切られている。

(4) 出土遺物 (図13)

7号溝出土遺物 (図13：1・2)

1は土師器坏の底部資料である。2は須恵器蓋である。2は扁平な器体と、下に短く折れた端部をもっている。径はやや大きい。8世紀中葉～末の所産。

33号溝出土遺物 (図13：3～5)

3・4は土師器坏である。3は胴部で屈曲するもの、4は胴部で丸く湾曲するものである。5は須恵器坏で口縁部直下にくびれがみられる。胴部が直線的ではないため、8世紀代の所産。

1号竪穴住居出土遺物 (図13: 6)

6は須恵器の甕である。外面に格子目状のタタキ痕がある。

10号竪穴住居出土遺物 (図13: 7)

7は須恵器の甕である。内面に同心円、外面に格子目状のタタキ痕がある。

12号竪穴住居出土遺物 (図13: 8)

8は須恵器の坏。胴部が僅かな膨らみを持ち、口縁部が直線的に開く器形をなす。8世紀末～9世紀前半の所産。

21号竪穴住居出土遺物 (図13: 9)

9は須恵器坏の口縁部資料である。外反する口縁部と直線的な胴部を有する。9世紀代の所産。

31号竪穴住居出土遺物 (図13: 10・11)

10は覆土出土の須恵器である。外反する口縁部と直線的な胴部を有する。9世紀代の所産。11は住居付近出土の、高台を有する須恵器碗の底部である。高台は底部の角についている。

2号土坑出土遺物 (図13: 12・13)

12・13は須恵器の坏である。12は口縁部、13は底部資料である。どちらも直線的な胴部を有し、8世紀末～9世紀前半の所産。

18号ピット出土遺物 (図13: 14)

14は須恵器甕の胴部資料である。内外面にタタキ痕を有している。

20号遺構出土遺物 (図13: 15)

15は土師器坏の口縁部資料である。

その他出土遺物 (図13: 16・17)

16・17は包含層出土遺物。16は土師器坏の底部資料。平底の底部から直線的な胴部に連続し、広く開く器形をなす。8世紀末～9世紀前半の所産。17は須恵器甕の胴部資料。内外面にタタキ痕を有し、内面のタタキ痕は同心円状をなす。

(5) まとめ

1514・1524調査地点の調査は旧北地区食堂の改修工事に伴うものであった。本地点は黒髪北地区の南東部にあたり、従来調査があまりない所であった。過去の調査は旧北地区食堂北側と南側に分けられる。北側は旧北地区食堂玄関および駐車場一帯で実施した1339・1445・1446調査地点の調査がある(柴田2015・山野2016)。1339・1446調査地点の調査は掘削深度が浅く、現代埋土内での掘削で終わったが、1445調査地点では地表下0.9mまで掘削し、地表下0.35mにて暗褐色土、0.6mで褐色粘質土を検出した。この暗褐色土は遺構面であるのか、現代埋土であるのかは、結論はでなかった。

一方南側は0864・0112・0739・0216・0608調査地点の調査がある。旧北地区食堂のすぐ南側で実施

した0864調査地点3工区は地表下0.35mの掘削、0112調査地点は同0.5mの掘削であったが、検出されたのは全て現代埋土であった（大坪2002・2009）。また北地区門衛所東側の0739地点では地表下1mまで掘削したが、現代埋土であり、北地区南側石垣北側の0216調査地点では地表下1.5mまで、石垣南側歩道の0608調査地点では地表下2.0mまで下げたが、共に現代埋土であり、包含層はいずれからも確認されなかった（小畑2003・2007・2008）。

旧北地区食堂周辺の過去の調査において遺構は検出されておらず、食堂北側では地表下0.35mで時代不明の暗褐色土ないしは褐色粘質土、南側は現代埋土のみが確認されていたことになる。今回の1514・1524調査地点の調査は食堂の外周全体をトレンチ状に調査した。本書には遺構の調査を中心に報告したが、遺構を調査する前の段階で、食堂北半では地表下0.25～0.4m以下において、南半では0.5m以下において、暗褐色粘質土を確認した（松田2017）。これは本書でいうⅢ・Ⅳ層である。1445調査地点で確認された暗褐色や褐色粘質土も当該層に相当ないしそれに起因する可能性があろう。

また今回の調査では遺構が検出されたのは食堂の西および南側である。検出されたのは8世紀末～9世紀前半の竪穴住居や溝であった。黒髪地区の至近で古代の遺構が多数確認されているのは北地区附属図書館南棟のある0425調査地点と南地区自然科学研究科・理学部総合研究実験棟のある9810調査地点である。前者は本地点の西側70mに位置し、7世紀後半～9世紀前半の竪穴住居が30基発見された。また後者は本地点の南東10mに位置し、同時期の竪穴住居が24基検出されている（壇2007、小畑・大坪2009）。また0425地点と今回の調査地点の間の1302調査地点東南部でも竪穴住居の検出がある（大坪・柴田2015）。今回旧北地区食堂西側および南側での遺構の確認は、こうした黒髪町遺跡群の古代の遺構の広がり黒髪北地区南東部にも展開していることを示すことになったと言える。

注

- (1) 1514調査地点の調査の届出等に関する文書をまとめると以下のようになる。
文化財保護法第93条第1項の届出 熊本大学 熊大施企第88号（平成27年8月26日付け）
上記届出に対する通知 熊本市教育委員会 文振発第938号（平成27年9月9日付け）
- (2) 1524調査地点の調査の届出等に関する文書をまとめると以下のようになる。
文化財保護法第93条第1項の届出 熊本大学 熊大施企第237号（平成27年12月11日付け）
上記届出に対する通知 熊本市教育委員会 文振発第1516号（平成27年12月21日付け）

【主要参考文献】

- 大坪志子 2002「北地区食堂南側テラス整備工事に伴う立会調査（0112）」『熊本大学埋蔵文化財調査室年報8 2001年度』熊本大学埋蔵文化財調査室
- 2009「環境整備（排水等）工事に伴う立会調査（0864）」『熊本大学埋蔵文化財調査室年報15 2008年度』熊本大学埋蔵文化財調査室
- 大坪志子・柴田 亮2015「附属図書館中央館改修機械設備工事に伴う立会調査（1302）」『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報20 2013年度』熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 小畑弘己 2003「黒髪団地北地区外灯設備工事に伴う立会調査（0216）」『熊本大学埋蔵文化財調査室年報9 2002年度』熊本大学埋蔵文化財調査室
- 2007「前面歩道配管補修工事に伴う立会調査（0608）」『熊本大学埋蔵文化財調査室年報13 2006年度』熊本大学埋蔵文化財調査室
- 2008「出庫注意灯取設工事に伴う立会調査（0739）」『熊本大学埋蔵文化財調査室年報14

2. (黒髪北) 校舎 (旧北地区食堂) 改修工事に伴う立会調査 (1514・1524調査地点)

2007年度』 熊本大学埋蔵文化財調査室

小畑弘己・大坪志子2009「理学部自然科学等総合実験棟新営工事に伴う発掘調査 (9810調査地点)」

『熊本大学構内遺跡発掘調査報告V』 熊本大学埋蔵文化財調査室

小畑弘己・大坪志子2012「北地区ボイラー室改修工事に伴う発掘調査 (0854調査地点)」『熊本大学

構内遺跡発掘調査報告VIII』 熊本大学埋蔵文化財調査室

檀 佳克 2007「情報ネットワーク館本体工事に伴う発掘調査の概要 (0425調査地点)」『熊本大学構

内遺跡発掘調査報告III』 熊本大学埋蔵文化財調査室

柴田 亮 2015「屋外サイン設置工事に伴う立会調査 (1339)」『熊本大学埋蔵文化財調査センター年

報20 2013年度』 熊本大学埋蔵文化財調査センター

松田光太郎2017「校舎 (旧北地区食堂) 改修機械設備工事に伴う立会調査 (1514)」

「校舎 (旧北地区食堂) 改修工事 (外構工事) に伴う立会調査 (1524)」『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報22

2015年度』 熊本大学埋蔵文化財調査センター (印刷中)

山野ケン陽次郎2016「環境整備 (駐車場等) に伴う樹木等移植業務に伴う立会調査 (1445)」

「環境整備 (駐車場等) 工事に伴う立会調査 (1446)」『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報21 2014年

度』 熊本大学埋蔵文化財調査センター

表4 1514・1524調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考	
13	1	土師器	坏	口径 底径 器高	6.0	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 7.5YR6/6 外:Hue 7.5YR6/6	7号溝32層	底部に切り離し時の粘土溜り痕あり
	2	須恵器	蓋	口径 底径 器高	17.2	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 2.5Y6/2 外:Hue 2.5Y6/2	7号溝32層	
	3	土師器	坏	口径 底径 器高		口縁~胴部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 7.5YR6/6 外:Hue 7.5YR6/6	33号溝	
	4	土師器	坏	口径 底径 器高		口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 5YR5/6 7.5YR6/6 外:Hue 5YR5/6 7.5YR6/6	33号溝1層	内外面赤色化粧土
	5	須恵器	坏	口径 底径 器高		口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 2.5Y7/2 外:Hue 2.5Y7/2	33号溝	
	6	須恵器	甕	口径 底径 器高		胴部片	内:回転ナデ 外:タタキ	内:Hue 2.5Y4/2 外:Hue 10YR5/2	1号竪穴住居	内面に当て具痕・外面に格子目文あり 外面に自然釉あり
	7	須恵器	甕	口径 底径 器高		胴部片	内:タタキ 外:タタキ	内:Hue 2.5Y 外:Hue 2.5Y	10号竪穴住居 P2	内面に同心円文・外面に格子目文あり
	8	須恵器	坏	口径 底径 器高	13.7 8.9 3.8	1/3	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 2.5Y7/2 外:Hue 2.5Y7/2	12号竪穴住居ビット 1・43層	底面に回転ヘラ切り離し痕あり
	9	須恵器	坏	口径 底径 器高		口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 2.5Y6/2 外:Hue 2.5Y5/1	21号竪穴住居15層	
	10	須恵器	坏	口径 底径 器高		口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 2.5Y5/1 外:Hue 5Y6/1 N5/0	31号竪穴住居	
	11	須恵器	碗	口径 底径 器高	7.8	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 2.5Y6/1 外:Hue 2.5Y6/1	31号竪穴住居付近	底部に切り離し痕あり 内面底部形成いびつ 貼付高台
	12	須恵器	坏	口径 底径 器高		口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 2.5Y6/1 外:Hue 2.5Y6/1	2号土坑	
	13	須恵器	坏	口径 底径 器高	9.6	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 5Y8/2 外:Hue 5Y8/2	2号土坑	外面底部に切り離し痕あり
	14	須恵器	甕	口径 底径 器高		胴部片	内:タタキ 外:タタキ	内:Hue 2.5Y5/2 外:Hue 10YR6/4	18号ビット	内面に同心円文・外面に平行直線文あり
	15	土師器	坏	口径 底径 器高		口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 7.5YR6/6 外:Hue 7.5YR6/6	20号遺構	
	16	土師器	坏	口径 底径 器高	9.6	胴部~底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 7.5YR7/6 外:Hue 7.5YR7/6	包含層	底部外面以外に赤色化粧土 底面に回転ヘラ切り離し痕あり
	17	須恵器	甕	口径 底径 器高		胴部片	内:タタキ 外:タタキ	内:Hue 7.5Y6/1 外:Hue 10Y7/1	包含層	内面に同心円文・外面に格子目文あり

3. (黒髪北) 総合研究棟 (黒髪北N9) 改修工事に伴う立会調査 (1528調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

今回の調査は、黒髪北地区の北部にある教育学部西棟・総合研究棟(黒髪北N9)改修工事に伴う調査である。

本調査地点に関しては、2016年2月12・19日、熊本市の指導に基づき、1528調査地点として、掘削工事に伴う立会調査を実施した⁽¹⁾。2月12日に実施した総合研究棟北側の調査では現代埋土のみであったが、19日午前に西側を掘削した際、南北に延びる煉瓦建物の基礎が検出された。当該部分では煉瓦建物基礎を掘削しないでも工事ができるとのことであったので、煉瓦建物基礎の位置を記録するだけで、調査は終了した。19日午後、総合研究棟南側の掘削を行ったところ、煉瓦建物基礎が広範囲にわたって検出された。当該部分は煉瓦建物基礎を取り壊さないと工事できないことが判明したため、2月22日、熊本市教育委員会文化振興課の許可を得、立会調査の中で記録保存を行った。

b. 調査の経過

2016年2月22日 遺構測量、写真撮影、遺構掘削。調査終了。

c. 調査の組織

調査員：松田光太郎・吉留 広

事務担当：大崎喜美子・濱田春美

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・後藤 恵・首藤優子・末吉美紀・園田智子・増井弘子

(2) 調査区の基本層序

今回の立会調査では大部分の掘削深度が地表下0.2m、最も深い所でも0.5mであった。掘削によって確認できた土で基本層序と言えるものは攪乱・現代埋土のみであった。

(3) 検出遺構 (図14)

近代の建物基礎2基が確認された。

<建物基礎>

1号建物基礎 (図15)

調査区南東部で検出された。最も高い所は地表下0.15mで上端が検出された。幅0.7m、長さ4.5m、ほぼ東西方向に主軸をもつ長方形の煉瓦積建物基礎である。今回発見の基礎は地表面下に存在するもので、基礎の北側および南側には基礎の掘り方と思われる黒褐色土が存在していた。煉瓦は4段確認された。積み方は根積を採用しており、上から1～3段目までは同じ幅で積まれており、4段目は幅が広く積まれていた。煉瓦は、芋継を防ぐために、長手段と小口段が交互に重なるイギリス積で積まれており、煉瓦の継ぎ目(目地)にはモルタルが詰められていた。使われていた煉瓦は殆ど全てが普通煉瓦(おなま)であり、隅を切り落とした隅切形が1個だけ存在した。工事の影響を受ける1～3段目までを掘削し、遺存状態のよい煉瓦24個を無作為に抽出し、分析・保存用に持ち帰った。本基礎

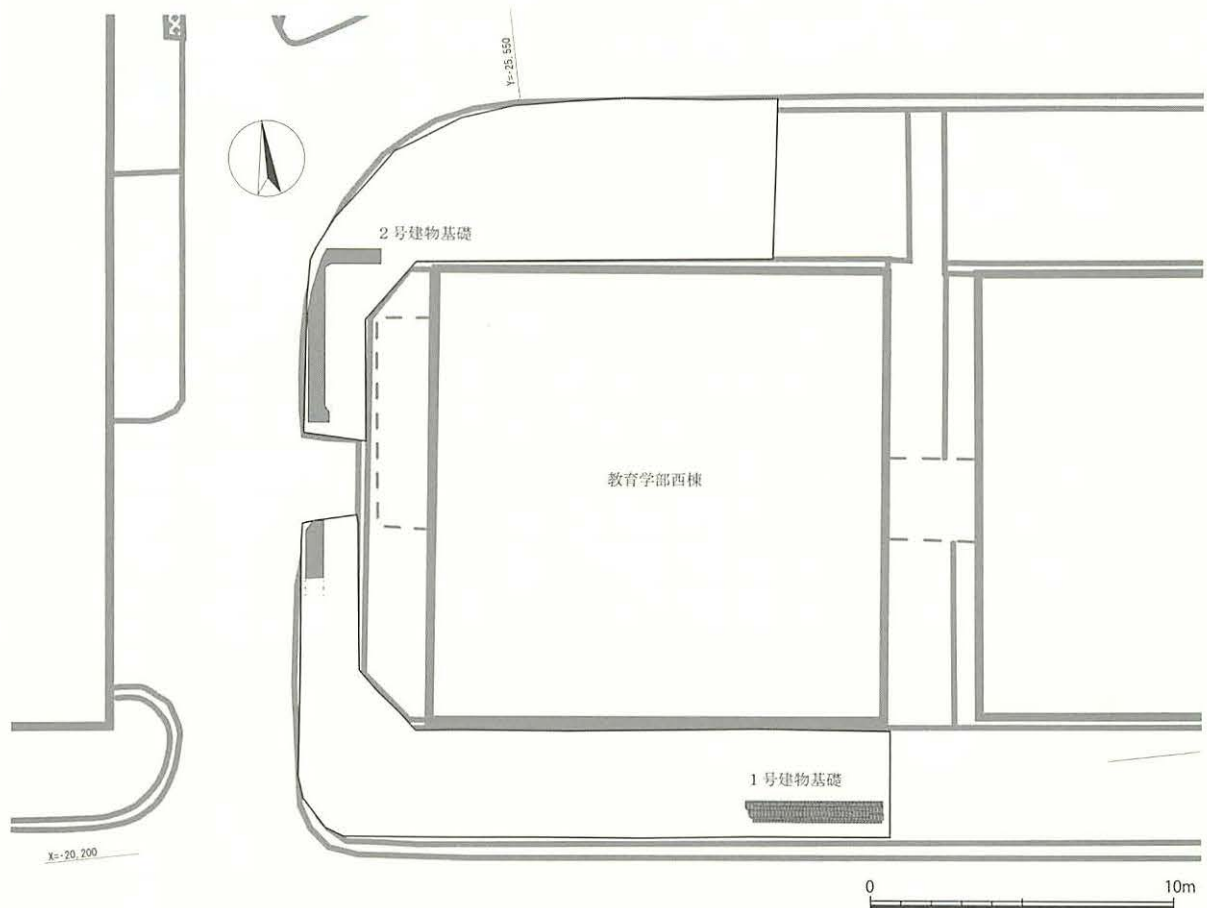


図14 1528調査地点遺構配置実測図 (1/250)

は明治21～23 (1888～1890) 年の築造である。

2号建物基礎 (図14)

調査区西部に存在する。地表下0.2mで煉瓦積建物基礎を検した。教育学部西棟・総合研究棟 (黒髪北N9) 西側のスロープを境に、その北側と南側に分かれるが、両者は主軸が一直線上に並ぶ一連のものである。北側のものは幅0.7m、長さ4.8m、ほぼ南北方向に主軸をもつもので、1箇所、幅0.5m、長さ1.8m東へ突出する部分をもっていた。南側のものも南北方向に主軸をもつもので、西側が縁石のため調査できなかったが、幅0.6m、南北2.6mの長方形をなすものであった。西側を調査すれば幅は0.7mになると思われる。工事に伴う掘削は煉瓦直上で済んだので、本煉瓦基礎は遺構確認を行ったのみで、掘削はしていない。1号建物基礎と同じ明治21～23 (1888～1890) 年の築造である。

(4) 出土遺物 (図16～20)

1号建物基礎出土遺物 (図16～20)

1号建物基礎を構成していた煉瓦から持ち帰った24個の煉瓦には全て刻印が確認された。そのうち、刻印が判読できた23個を図示する。いずれの煉瓦も、長さ・幅・厚さからすると普通煉瓦 (おなま) に該当するが、19のみ角を斜めに切断した隅切形であった。出土時は全てにモルタルが付着していたが、刻印を観察するため、図19:20を除き、モルタルを除去して図示した。

煉瓦のうち破損した資料の短軸破断面を観察すると「平」に平行する方向に胎土の隙間を確認でき

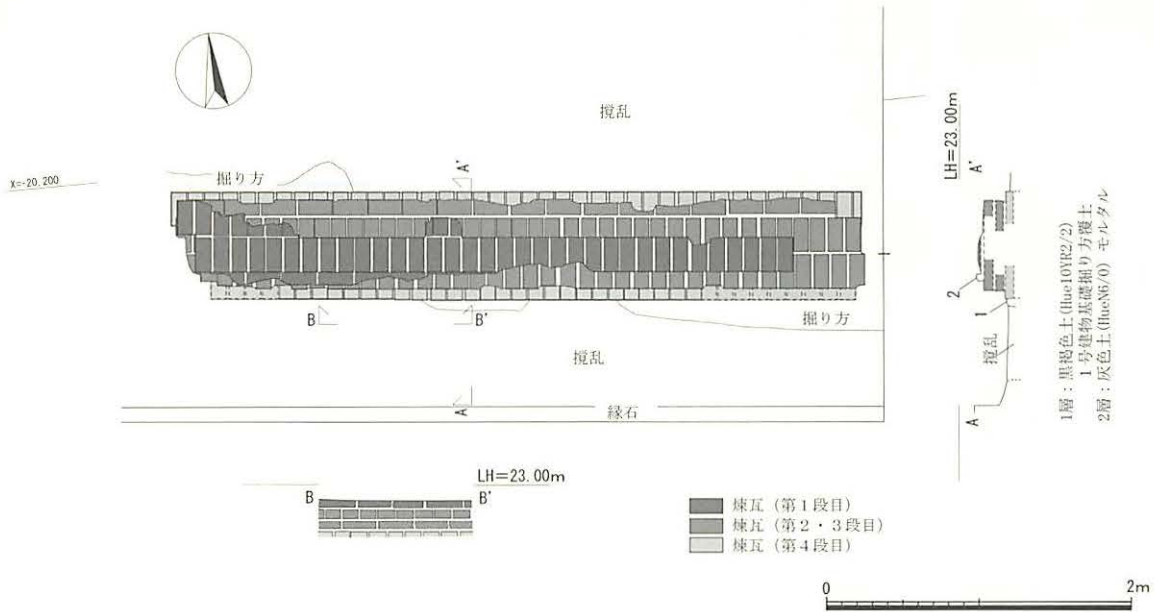


図15 1号建物基礎実測図 (1/50)

る(図18:15の短軸断面)。これは原土を型枠に入れた際の原土塊の隙間と思われ、「手抜き」成形で製作されたことを示していると考えられる。

また全資料に関して「平」両面には、長軸方向に直線状擦痕が存在する。また少量であるが長軸方向に直交する凹凸が見られるものがある(図16:1・5、図17:10・12、図18:14・16、図19:20)この擦痕は小口および長手面には存在しない。これは「平」を平滑にするため「撫で板」を長軸方向に動かして撫でたことに起因する可能性が考えられる。小口および長手面は型枠が接していたため、そのような擦痕は付いていないのであろう。「手抜き」成形煉瓦の型枠には「底あり」・「底なし」タイプがあり、九州には「底あり」があったようであるが(水野1999)、本例は「平」両面が撫でられているため、「底なし」タイプではなかったかと思われる⁽²⁾。

「平」の片面には、約3.9×1.7cmの長方形刻印が押されている。これは「平」の直線状擦痕の上から押印されており、表面の成形後押されたものである。長方形刻印の枠内には文字が陽刻されており、文字が判読できたものは全て、「熊本監獄製造」と印字されていた。熊本監獄製造刻印は「平」の中央付近に、長軸に平行して押印されるものが大半であったが、稀に斜位に押印されたものも存在した(図17:7、図19:22)。また長方形刻印の枠は角張っているが、中には角の丸みが強いものがあり(図20:21)、刻印は複数個存在したことを示している。

この長方形の熊本監獄製造刻印の他に、カタカナ刻印も存在した。カタカナ刻印のうち判読できるものとしては、「口」3例(図20:2-2、3-2、20-3)、「ハ」1例(図20:4-2)、「ホ」1例(図20:6-2)、「チ」2例(図20:5-2、7-2)、「ワ」3例(図17:8、図20:9-2、11-2)、「カ」2例(図20:10-2、13-2)、「ヨ」3例(図20:12-2、15-2、17-2)の7種が存在した。カタカナ刻印では1種の刻印が2個押印されたものが3例あった(図16:4・6、図19:20)。またカタカナ刻印以外のものとしては、「×」2例(図20:19-2、20-2)、武田菱1例(図20:1-2)が確認でき、判別不能の凹みが1例あった。サイズに関しては観察表(表5)に掲載した。

胎土は粗砂や細礫を含むのを基本にするが、灰色の不純物を含むものが少量あった(図17:9、図18:16)。また焼成は概して良好であった。小口の片面や長手の片面に微小の光沢粒子の付着が見ら

3. (黒髪北) 総合研究棟 (黒髪北N9) 改修工事に伴う立会調査 (1528調査地点)

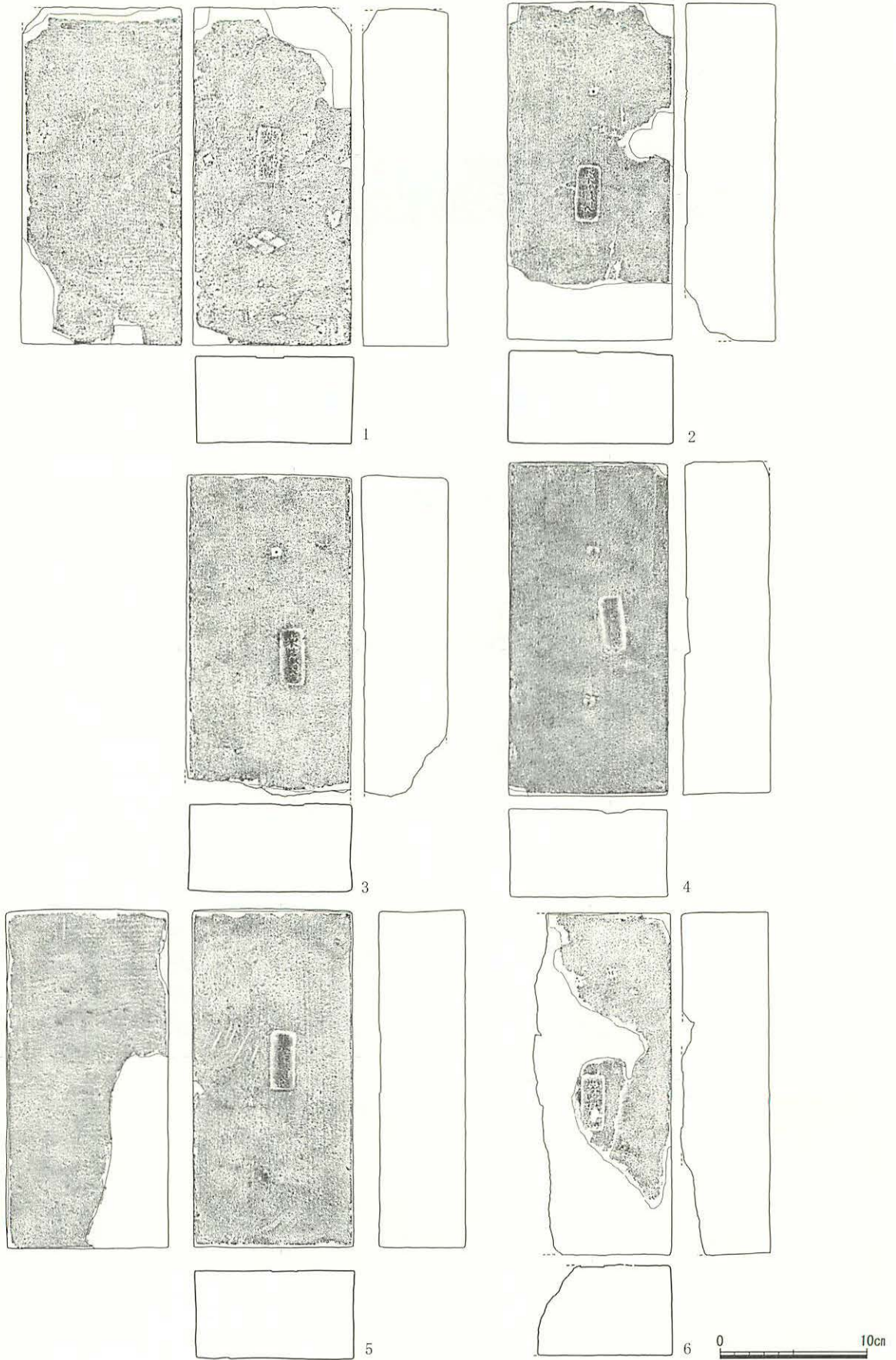


図16 1528調査地点出土遺物実測図1 (1/4)

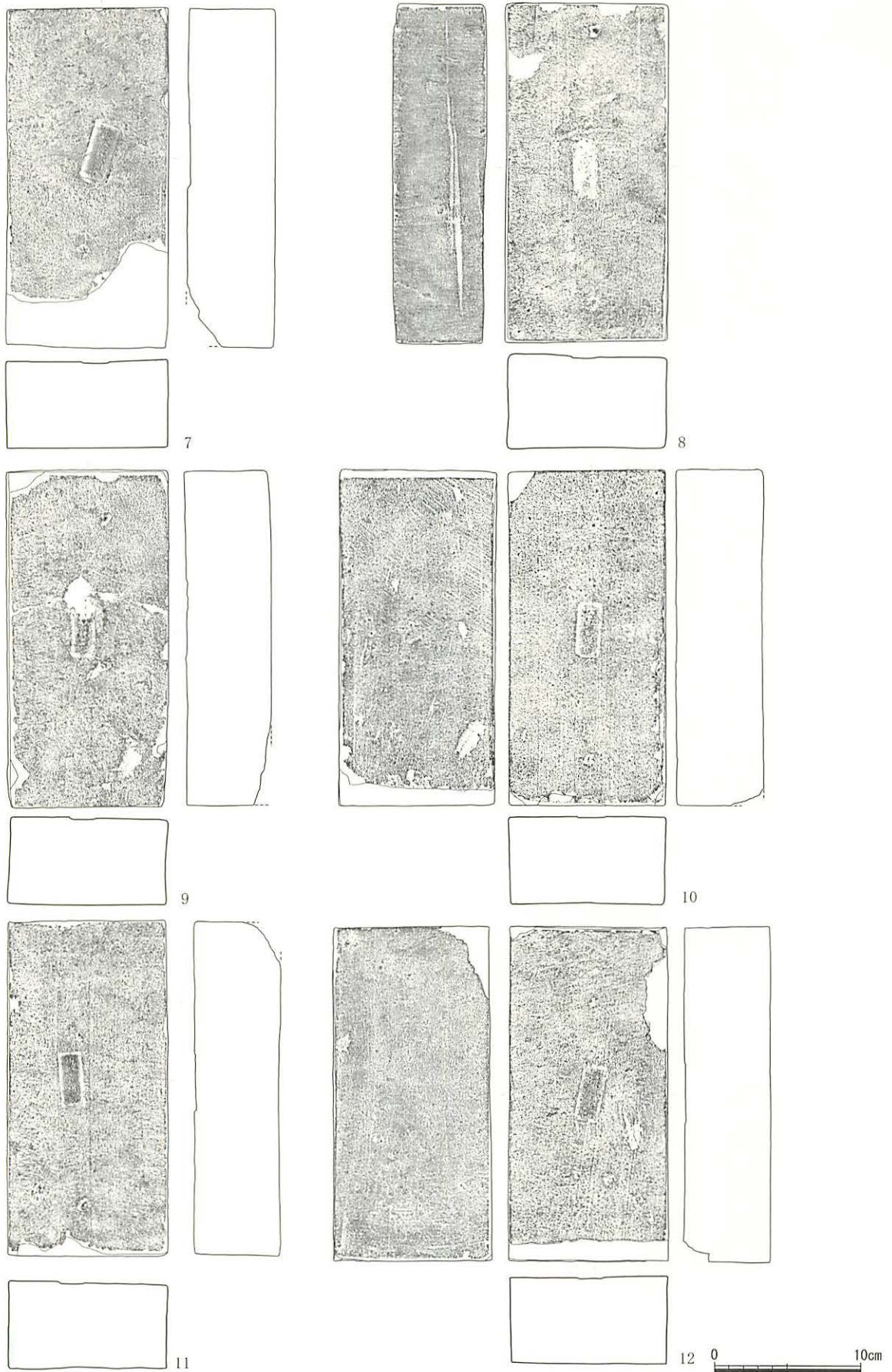


図17 1528調査地点出土遺物実測図2 (1/4)

3. (黒髪北) 総合研究棟 (黒髪北N9) 改修工事に伴う立会調査 (1528調査地点)

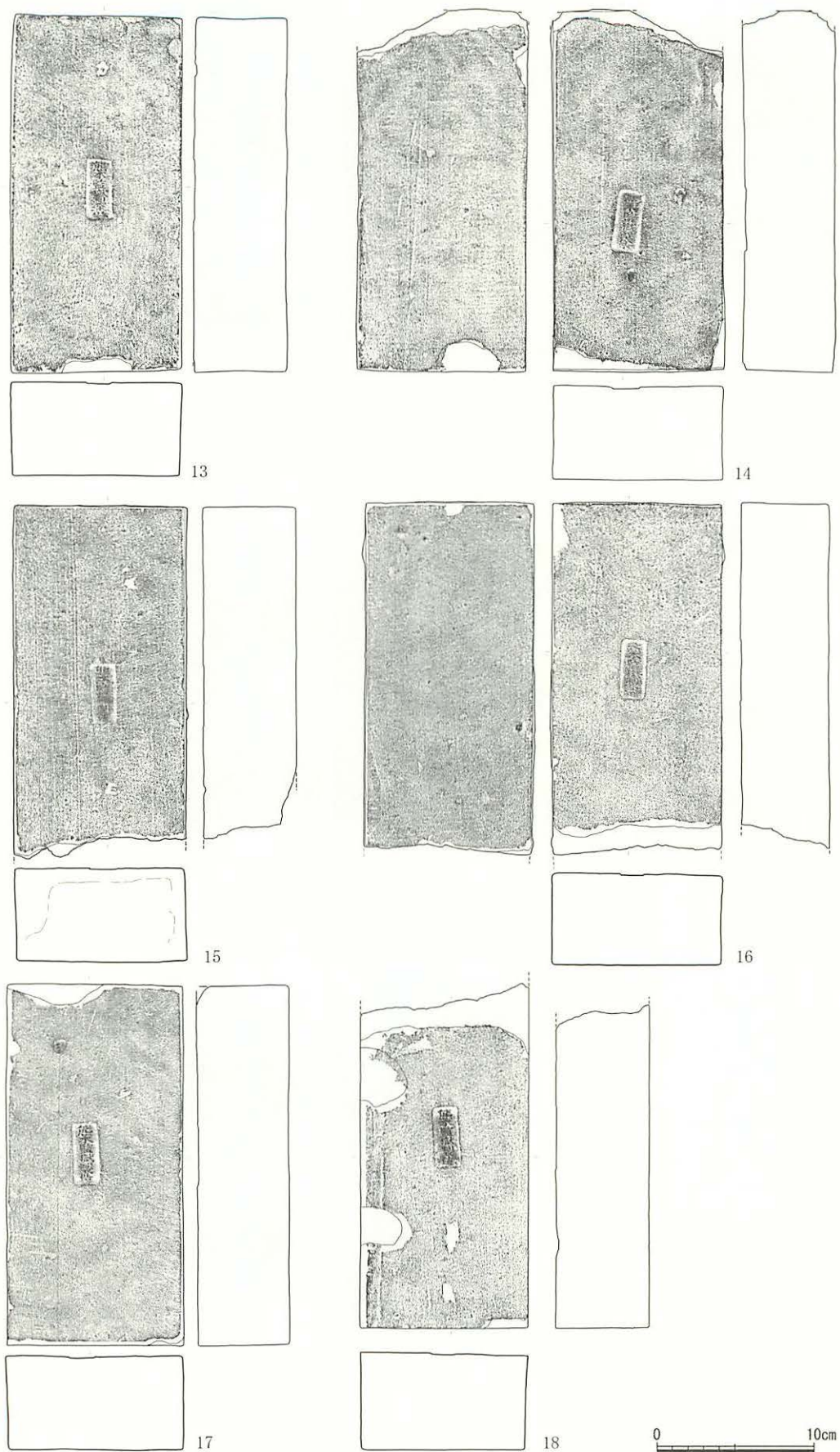


図18 1528調査地点出土遺物実測図3 (1/4)

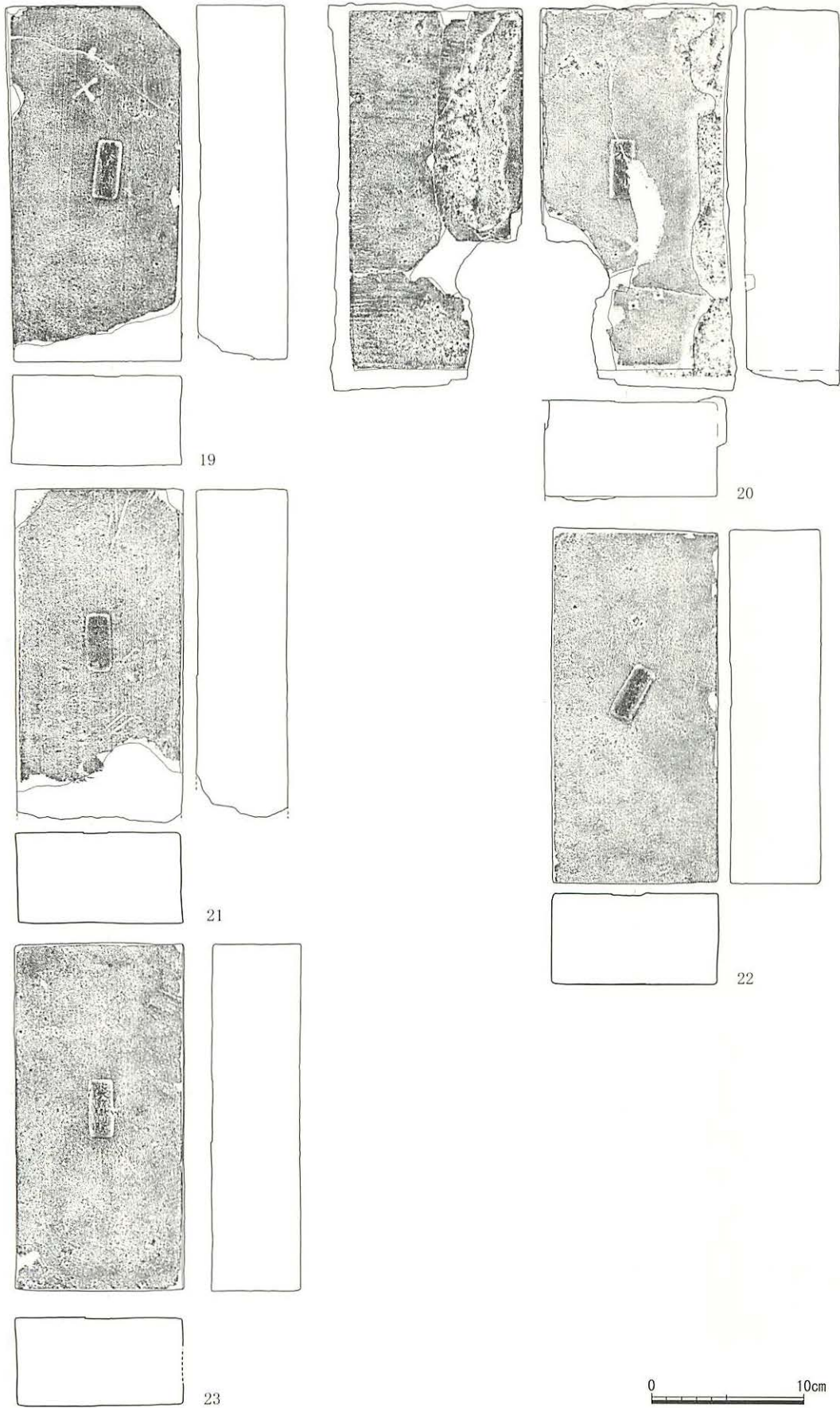


図19 1528調査地点出土遺物実測図4 (1/4)

3. (黒髪北) 総合研究棟 (黒髪北N9) 改修工事に伴う立会調査 (1528調査地点)

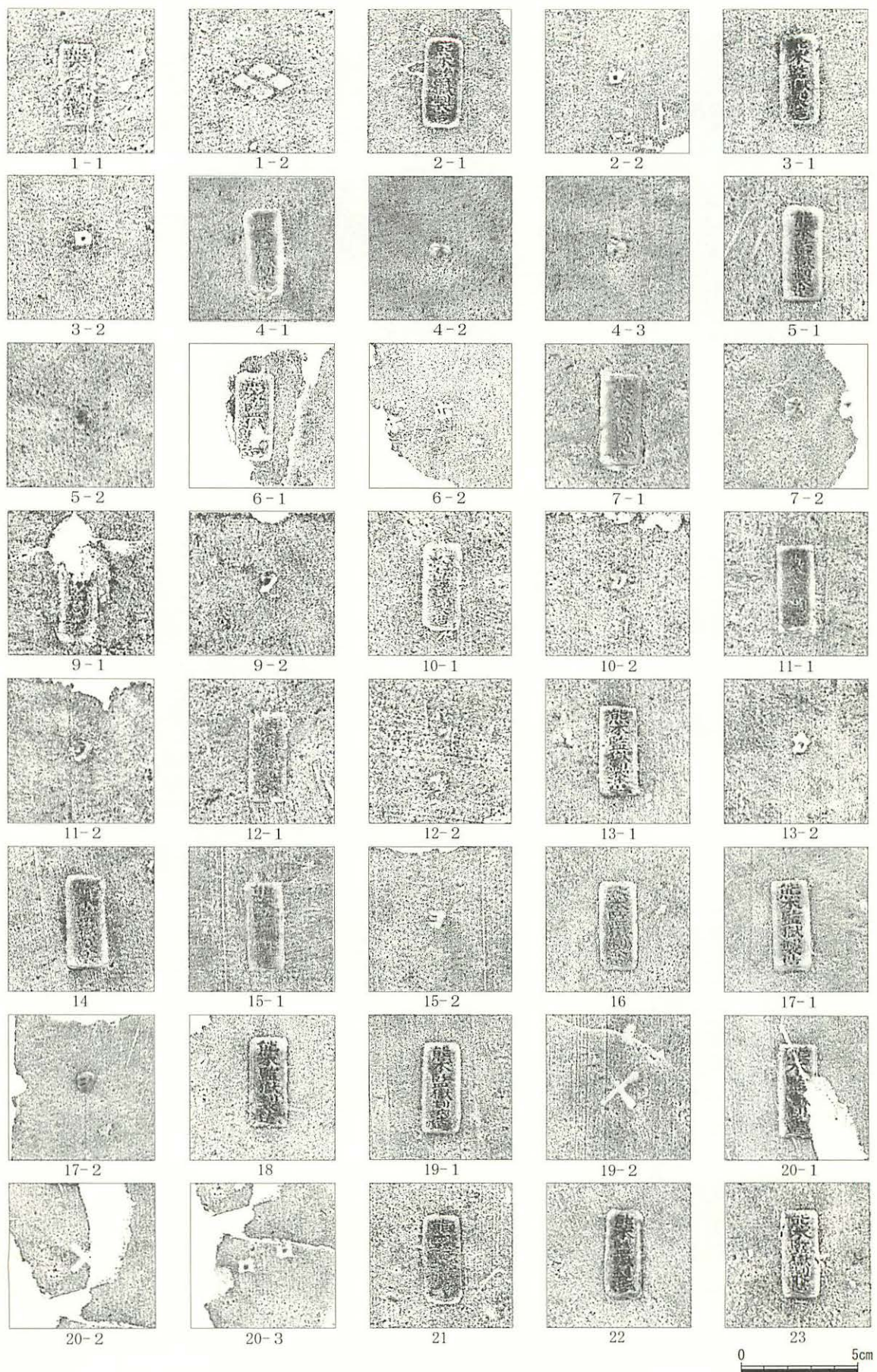


図20 1528調査地点出土遺物実測図5 (2/5)

れるものがあり（図18：14）、表面が灰色に変色したものもある。この粒子の材質や変色の成因は明らかにできていないが、粒子の存在や変色の度合いが一個体内で漸移的な変化を示しているものがあることから、焼成時の状況が関係している可能性がある。

（5）まとめ

今回の調査は、教育学部西棟・総合研究棟（黒髪北N9）改修工事に伴う調査であったが、校舎南側および西側にて煉瓦積建物基礎を検出した。南側の1号建物基礎は東西方向に軸を、西側の2号建物基礎は南北方向に軸をもつもので、『第五高等中学校一覧』（1890年）添付の第五高等中学校全図やその後の第五高等学校の図面（五高記念館図録編集委員会2007）と照合すると、前者は厨房、後者は浴室に相当することがわかる。第五高等中学校建物を設計した久米正道氏による『第五高等中学校新築落成報告』（1890年）にも厨房・浴室は記されており、それによれば、両建物は第五高等中学校の開校に合わせて、1889年10月に起工し、1890年1月に竣工した建物であった。両建物は煉瓦造りの平屋であり、紫溟新報の1888年3月の記事によれば下立田村にある監獄煉瓦製造所において第五高等中学校用の煉瓦を製造していたとあり¹³⁾、熊本監獄煉瓦製造所は1888年から1889年にかけて存在していた（新熊本市史編纂委員会1997）。今回の調査における熊本監獄製造刻印付煉瓦の発見はこうした文献記録が発掘調査によっても確認されたことを意味する。

監獄での煉瓦製造は沖縄・長崎・名古屋・東京（小菅集治監）・仙台・北海道など全国的に見られ（水野1999、上原2016）、煉瓦製造は囚人男性の作業になっていた（『監獄則 同施行細則』1889年）。当時九州鉄道は熊本まで未竣工である一方、熊本監獄は同じ熊本市内（現手取本町）にあった。運輸の不便や費用の節約から監獄製造が選択されたのであろう（第五高等学校開校五十年記念会1939）。

なおこの熊本監獄煉瓦製造所の場所は本学東側の旧泰勝寺参道下にあったとの記述があるが（第五高等学校開校五十年記念会前掲）、熊本大学五高記念館客員教授の磯田桂史氏が現リデル・ライト両女史記念館付近（熊本市黒髪5丁目）にて熊本監獄製造刻印付煉瓦を採集したことにより、同地にあったことがほぼ確実にされた。

本調査の出土品は煉瓦のみであったが、煉瓦の殆どに刻印が押されていたことが大きな特徴である。刻印は熊本監獄製造刻印、カタカナ、武田菱、×からなっていた。これらのうちカタカナ・×・武田菱は熊本監獄製造刻印と併用して押印されていた。またカタカナと×が併用されたものが1例あったが、武田菱とカタカナは併用されていなかった。こうした組み合わせをみると、熊本監獄製造刻印、カタカナ・武田菱、×はそれぞれ別の意味をもつ刻印であると考えられる。刻印は製造会社印（社印）や責任印などと考えられているが、煉瓦の製造が手抜き成形から機械成形に移行するのと相まって、責任印→責任印・社印→社印へと、責任印が消滅していく変遷が見られるという（水野前掲）。当地点で出土した煉瓦も手抜き成形であることから、熊本監獄製造刻印は製造所印、カタカナや武田菱は責任印に相当するのではないかと考えられる。

最後に本調査地点出土の煉瓦の法量を図示しておく。今回持ち帰った24個煉瓦の平均法量は長さ23.0cm、幅11.0cm、厚さ6.0cmであった。法量の長さ-幅の分布、厚さの分布を図示したのが図21である。図中には平均的な長さ：幅の比率も斜線で図示した。また法量比較のため1905年頃日本で普及していた5種類の煉瓦の法量と1925（大正14）年に定められた日本標準規格（JES）の寸法を同図に表示した（大高1905、高柳他2004）。これによると本調査地点出土煉瓦の法量は長さ-幅の規格がJESより大きいこと、1905年当時の5種類の煉瓦の中では東京形が最も近いと言える。このうちJES規格より長さ-幅の大きい煉瓦の存在は古い煉瓦によく見られる傾向であり（水野前掲）、大高氏の記

述にも合致する。また東京形に近いことは、第五高等学校の建設が国の事業であり、その建物が文部省の技師山口半六・久米正道両氏によって設計された東京ルート of 建築 (磯田他2012) であることと関係していると思われる。

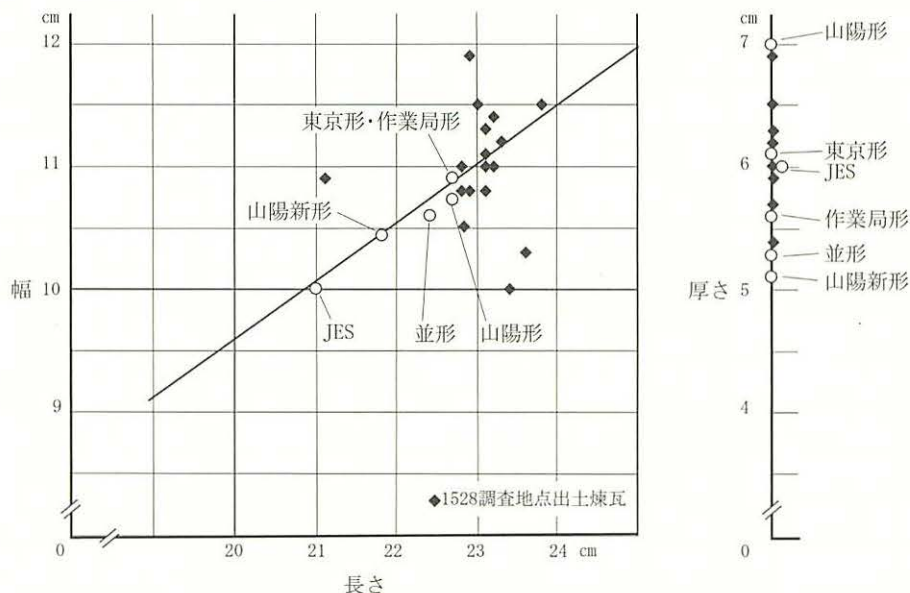


図21 1528調査地点出土煉瓦法量図

注

- (1) 1528調査地点の調査の届出等に関する文書をまとめると以下ようになる。
文化財保護法第93条第1項の届出 熊本大学 熊大施企第82号 (平成27年8月10日付け)
上記届出に対する通知 熊本市教育委員会 文振発第808号 (平成27年8月18日付け)
- (2) このほか、長手・小口は僅かに中央が凹むが、「平」は凸状曲面をなすものが多いという傾向が見られた。この長手・小口と、「平」では面に差異があることは、両者における成形の違いを反映しているのかもしれない。
- (3) 紫溟新報1888年3月18日の記事「煉瓦の好結果」

【主要参考文献】

磯田桂史他2012『明治期日本における洋風建築の地方への普及過程に関する研究－熊本県を事例として』 崇城大学工学部建築学科磯田研究室

上原 静 2016「沖縄県の近代煉瓦と建物」『南島考古』 沖縄考古学会

大高庄右衛門1905「煉瓦の形状に就て」『建築雑誌』 225 日本建築学会

五高記念館図録編集委員会2007『第五高等学校－熊本大学五高記念館図録』 五高記念館

新熊本市史編纂委員会1997『新熊本市史 史料編第六巻 近代』 熊本市

第五高等学校開校五十年記念会1939『五高五十年史』 第五高等学校

高柳正勝・山尾敏孝2004「構造材料からみた熊本県近代土木遺産の特徴に関する考察」『土木史研究 講演集』 24 土木学会

水野信太郎1999『日本煉瓦史の研究』 法政大学出版局

諸井恒平 1902『煉瓦要説』 博文館

表5 1528調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
16	1	煉瓦	普通煉瓦	長さ 23.1 幅 10.8 厚さ 5.9	一部欠損	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 2.5YR4/6	1号建物基礎	重量2185g 「熊本監獄製造」刻印・武田菱刻印 平に板状工具によるナデ一部蛇腹状
	2	煉瓦	普通煉瓦	長さ 23.2 幅 11.4 厚さ 6.2	ほぼ完成	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR4/8	1号建物基礎	重量2137g 「熊本監獄製造」「ロ」刻印 平に板状工具によるナデ
	3	煉瓦	普通煉瓦	長さ(21.9) 幅 11.3 厚さ 6.0	ほぼ完成	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 2.5YR4/6	1号建物基礎	重量2101g 「熊本監獄製造」「ロ」刻印 平に板状工具によるナデ
	4	煉瓦	普通煉瓦	長さ(21.9) 幅 11.3 厚さ 6.0	ほぼ完成	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR4/8	1号建物基礎	重量2202g 「ハ」「ハ」刻印
	5	煉瓦	普通煉瓦	長さ 23.1 幅 11.0 厚さ 6.0	一部欠損	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR5/6	1号建物基礎	重量2150g 「熊本監獄製造」「チ?」刻印 板状工具によるナデ
	6	煉瓦	普通煉瓦	長さ 23.4 幅(9.5) 厚さ 6.0	2/3	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR5/6	1号建物基礎	重量1673g 「熊本監獄製造」「ホ」「ホ」 刻印, 平に板状工具によるナデ
17	7	煉瓦	普通煉瓦	長さ 23.2 幅 11.0 厚さ 6.0	一部欠損	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR5/8	1号建物基礎	重量2092g 「熊本監獄製造」「チ」刻印 平に板状工具によるナデ
	8	煉瓦	普通煉瓦	長さ 23.3 幅 11.2 厚さ 6.5	完形	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR5/8	1号建物基礎	重量2295g 「長方形枠」「ワ」刻印 平に板状工具によるナデ
	9	煉瓦	普通煉瓦	長さ 23.1 幅 11.0 厚さ 6.9	一部欠損	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR4/8	1号建物基礎	重量2035g 「□」監獄製造「ワ」刻印 平に板状工具によるナデ
	10	煉瓦	普通煉瓦	長さ 22.9 幅 10.8 厚さ 6.0	一部欠損	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR4/8	1号建物基礎	重量2276g 「熊本監獄製造」「カ」刻印 平に板状工具によるナデ
	11	煉瓦	普通煉瓦	長さ 22.9 幅 11.9 厚さ 6.0	ほぼ完成	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 2.5YR4/8	1号建物基礎	重量2047g 「熊本監獄製造」「ワ」刻印 平に板状工具によるナデ
	12	煉瓦	普通煉瓦	長さ 22.8 幅 10.8 厚さ 5.9	一部欠損	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR4/6	1号建物基礎	重量2132g 「? (不明)」「ヨ」刻印 平に板状工具によるナデ
18	13	煉瓦	普通煉瓦	長さ 21.1 幅 10.9 厚さ 6.0	ほぼ完成	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR5/8	1号建物基礎	重量2154g 「熊本監獄製造」「カ」刻印 平に板状工具によるナデ
	14	煉瓦	普通煉瓦	長さ 22.9 幅 11.9 厚さ 6.0	ほぼ完成	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR5/6	1号建物基礎	重量1970g 凹み
	15	煉瓦	普通煉瓦	長さ(22.7) 幅 11.1 厚さ 6.0	一部欠損	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR4/8	1号建物基礎	重量1861g 「熊本監獄製造」「ヨ」刻印 平に板状工具によるナデ
	16	煉瓦	普通煉瓦	長さ(22.7) 幅 11.1 厚さ 5.9	一部欠損	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 10R4/6	1号建物基礎	重量2113g 「熊本監獄製造」刻印 平に板状工具によるナデ
	17	煉瓦	普通煉瓦	長さ 23.1 幅 11.3 厚さ 5.9	ほぼ完成	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR5/8	1号建物基礎	重量2100g 「熊本監獄製造」「ヨ」刻印 平に板状工具によるナデ
	18	煉瓦	普通煉瓦	長さ(22.2) 幅 11.0 厚さ 6.0	一部欠損	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 2.5YR5/6	1号建物基礎	重量2105g 「熊本監獄製造」刻印 平に板状工具によるナデ
19	19	煉瓦	普通煉瓦	長さ 23.6 幅 10.3 厚さ 6.0	一部欠損	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR5/8	1号建物基礎	重量2361g 「熊本監獄製造」「×」刻印 平に板状工具によるナデ
	20	煉瓦	普通煉瓦	長さ 23.8 幅 11.5 厚さ 6.3	一部欠損	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR6/6	1号建物基礎	重量2063g (モルタル含む) 「熊本監獄製造」「□□」「×」 刻印, 平に板状工具によるナデ
	21	煉瓦	普通煉瓦	長さ(22.0) 幅 11.0 厚さ 6.0	一部欠損	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR4/8	1号建物基礎	重量1950g 「熊本□□□□」刻印 平に板状工具によるナデ
	22	煉瓦	普通煉瓦	長さ 23.4 幅 10.0 厚さ 6.0	完形	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR5/6	1号建物基礎	重量2176g 「熊本監獄製造」刻印 平に板状工具によるナデ
	23	煉瓦	普通煉瓦	長さ 23.0 幅 11.5 厚さ 5.4	完形	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR5/6	1号建物基礎	重量2216g 「熊本監獄製造」刻印 平に板状工具によるナデ

Ⅲ 黒髪南地区の調査

1. (黒髪南) 南地区福利施設支障配管替工事 (追加) に伴う発掘調査 (0806調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

(黒髪南) 福利施設支障配管替工事 (追加) は、黒髪南地区にあった食堂・購買店を取り壊し、新しい福利施設を拡張して建設する工事に際し、障害となる配管を敷設しなおす工事である。

調査地点は、黒髪南地区の南東に位置する。黒髪南C4 (共用棟黒髪2:旧工学部8号館) の南側にある緑地帯に貯留槽を設置し、貯留槽から南地区福利施設まで南北二つのルートで新しい施設を囲むように配管した。南側のルートにおける掘削では、いわゆる遺構面である地山を検出したが、やや砂質で遺構は確認されず、遺物 (土師器片) が数点出土したのみである。貯留槽の設置予定地と、北側のルートにおける掘削では、遺物包含層および遺構面を検出し、遺構も確認された。本書では、遺構が確認された箇所について報告する。

b. 調査の経過

- 2008年6月25日 貯留槽予定地の1区の一次掘削。
- 2008年6月26日 作業員による発掘調査開始。攪乱除去、遺物包含層の掘削、遺構面検出作業開始。1号竪穴住居、2号竪穴住居検出、掘削開始。
- 2008年6月27日 1号竪穴住居、2号竪穴住居掘削完了、写真・測量などの記録。3号溝とその他ピットを掘削。
- 2008年6月30日 全体清掃、全体写真を撮影。配管部⑤区 (緑地帯内) の攪乱除去、遺物包含層の掘削、遺構検出、遺構掘削を開始。写真・測量などの記録。5区の調査完了。1区の測量を開始。
- 2008年7月1日 1区の測量。1区の調査完了。
- 2008年7月28日 配管部2区の掘削、遺構検出、遺構掘削、写真・測量等の記録。調査終了。
- 2008年7月29日 配管部5区 (緑地帯以東) の東半部を掘削、遺構検出、遺構掘削。写真・測量等の記録。
- 2008年7月30日 配管部5区 (緑地帯以東) の西半部を掘削、遺構は検出されず。調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：中川木綿子

発掘作業員：伊藤千代子・建壽豊美・田中香苗・溜淵俊子

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・長谷智子・増井弘子・山寄早苗

(2) 調査区の基本層序 (図23)

1区は6×6mの範囲であるが、北側半分がすでに破壊されていた。周囲もほとんど攪乱により破壊されており、土層はかろうじて攪乱を受けていない南壁の西端部で確認できた。1層：黒褐色土 (Hue10YR2/3) は表土で砂や小石、炭粒が多く含まれ、2層：黒褐色土 (Hue10YR2/3) は近代以降

1. (黒髪南) 南地区福祉施設支障配管替工事 (追加) に伴う発掘調査 (0806調査地点)

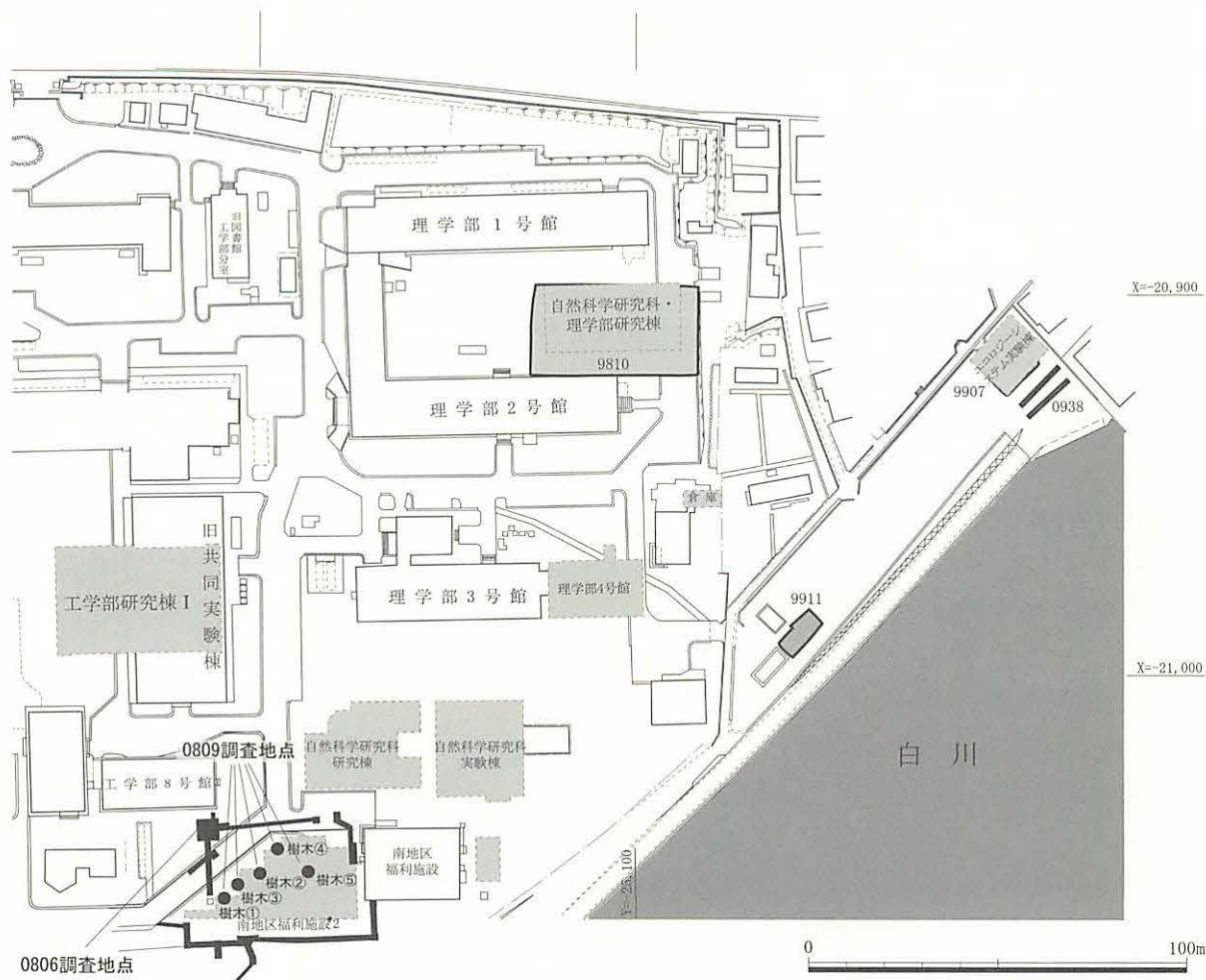


図22 黒髪南地区における調査地点位置図 (1/2000)

の土層で白っぽく見え、少し粘性がある。3層：黒褐色土 (Hue10YR2/2) は古代の遺物包含層で、4層：黒褐色土 (Hue10YR2/2) は3層と地山 (遺構面) との漸移層である。

2区は、アスファルト・バラスの下は山砂で一度工事を行っている。山砂の下で古代の遺物包含層が検出された。地表下0.7m程度である。そして、地表下1.0m前後で地山が検出された。2区より、遺構検出レベルがやや深くなっている。

5区も全体的に既設配管が多数横断しており、ほとんどが攪乱であった。遺構が検出された箇所の南壁では、アスファルト・バラスの下の1層：黒褐色土 (Hue10YR2/2) は混入物のないきれいな古代の遺物包含層と考えられ、2層：暗褐色土 (Hue10YR3/4) は地山の土が混ざった土層、3層：黒褐色土 (Hue10YR2/2) は古代の遺物包含層で、遺構の埋土である。

(3) 検出遺構

検出した遺構は、1区では竪穴住居と溝、ピット、2区では溝と土坑、5区では溝である。以下、調査区ごとに記述する。

1区

<竪穴住居>

1号竪穴住居 (図24)

1号竪穴住居は、調査区の遺構検出範囲の北東に位置する。北側も南側も大きく破壊され、東側は

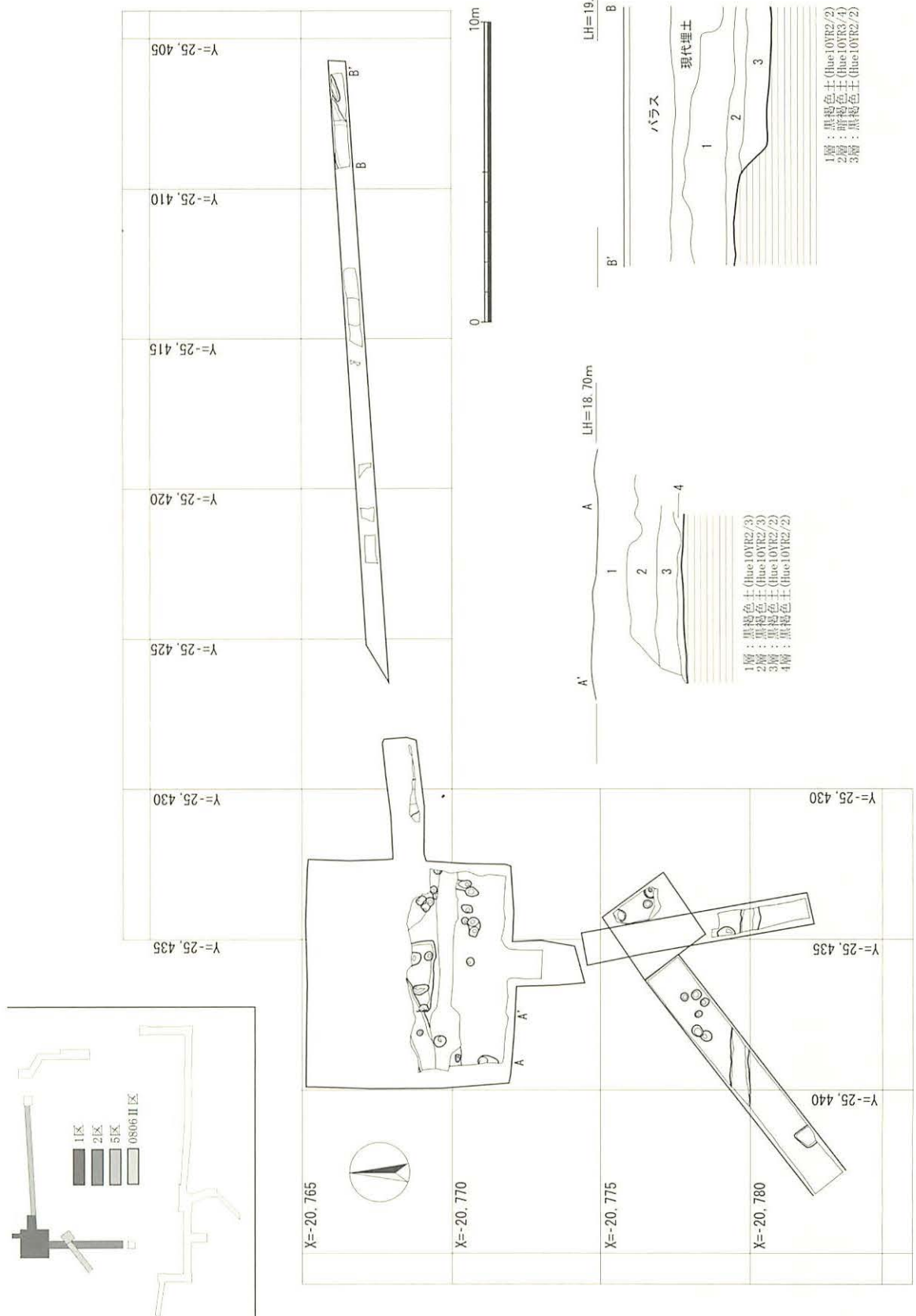


図23 0806調査地点調査区配置図・土層断面実測図 (1/200・1/50)

1. (黒髪南) 南地区福祉施設支障配管替工事 (追加) に伴う発掘調査 (0806調査地点)

調査区外となるため、住居の南壁の一部が残された状態である。掘り込みが浅くなだらかなことから住居と判断した。南壁の状態から、1号竪穴住居の主軸は北東-南西を向いていると考えられる。現状では、2.3×0.6m、深さは0.3m前後である。遺物は、細片が多く図化はできなかったが、土師器や須恵器の破片が出土している。

2号竪穴住居 (図24)

2号竪穴住居は、調査区の中央に位置する。住居の北側は破壊されており、住居の南側1/3程度が残された状態である。西側では3号溝を切っている。主軸は南北を向いている。現状では、2.3×0.9m、深さは約0.25mである。遺物は、細片が多く図化はできなかったが、土師器や須恵器の破片が出土している。

<溝>

3号溝 (図24)

3号溝は、調査区の遺構検出範囲の北西に位置する。東北東-西南西の方向に流れている。幅は最大0.9m、深さは0.27mである。遺物は、図25：1の須恵器碗が出土しているほか、土師器や須恵器の破片が出土している。

19号溝 (図24)

19号溝は、1区の東側の突き出た部分で検出された。配管部で北側が破壊されていたため、幅1.1m、長さ0.34mのみが確認できた。深さは0.25~0.35m程で南に向かって流れていたことがわかる。遺物は土師器の細片が出土している。

1区では、このほか20個ほどのピットが検出され、それぞれ土師器や須恵器の破片が出土している。

2区

<溝>

1号溝 (図24)

1号溝は2区のやや南側で検出された。東西方向に流れる溝である。幅は約0.6m、深さは0.16mである。遺物は図25：3の土師器甕が出土している。

<土坑>

2号土坑 (図24)

1号溝の北側、半分は調査区の西壁にかかる形で検出された。現状で0.6×0.3m、深さ0.38mである。性格は不明である。

5区

<溝>

2号溝 (図24)

5区の東側で検出された。調査区を東北東-西南西に横断する。現状で長さ約2.3m、幅は約1.0mと推定される。深さは0.24mである。途中で段差があり、西南西側が低くなっている。遺物は、細片

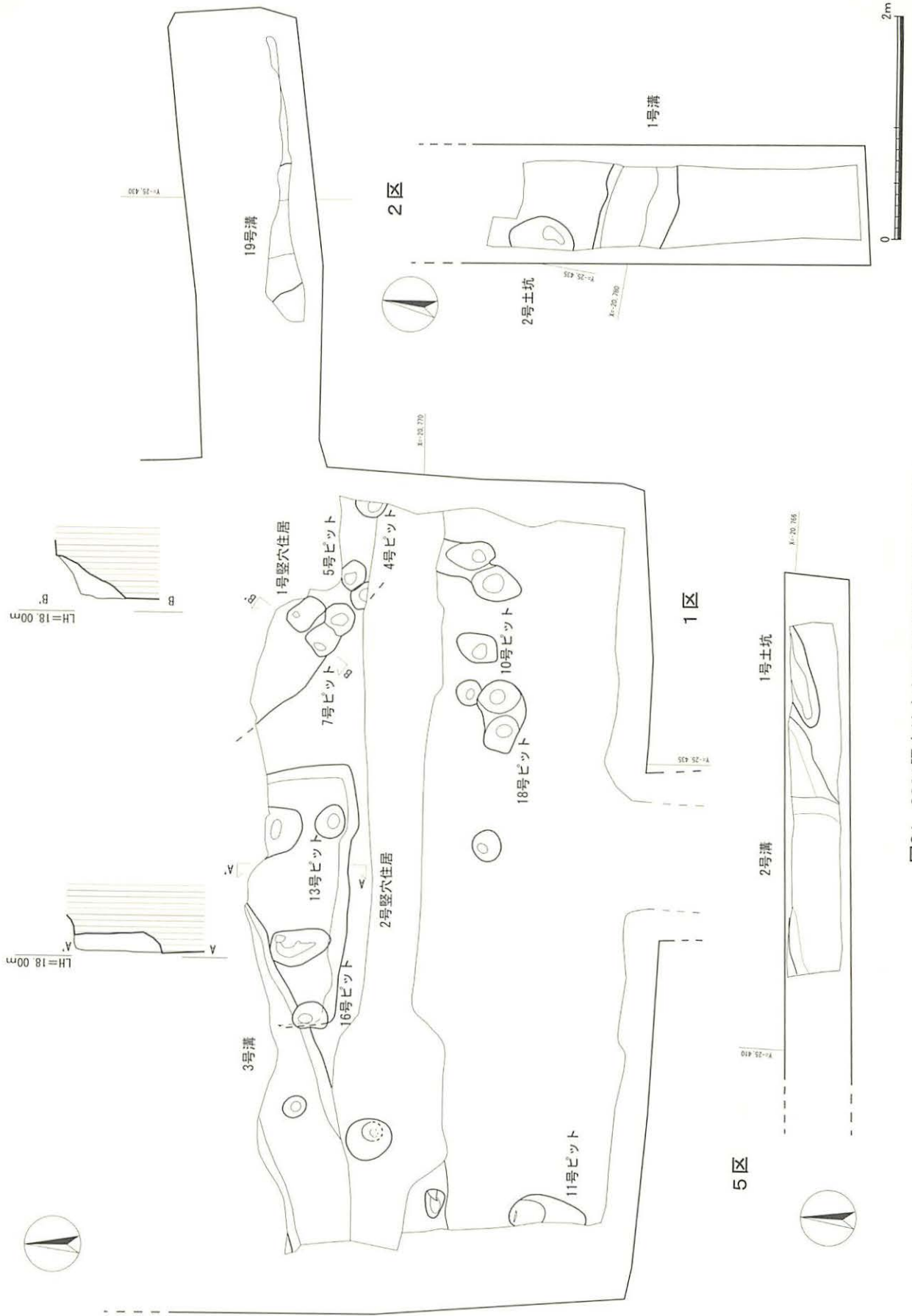


図24 0806調査地点各調査区遺構配置図 (1/50)

が多く図化はできなかったが、土師器や須恵器の破片が出土している。

<土坑>

1号土坑(図24)

2号溝の東側に位置し、2号溝と並行に調査区北壁から西南西に舌状に延びている。途中で途切れているが、溝の可能性もある。現状では長さ0.9m、幅0.22m、深さは5cmほどである。

(4) 出土遺物(図25)

出土遺物は、非常に少なく、その中でも図化に耐えられるものはわずかである。

1区3号溝出土遺物

図25: 1は1区の3号溝から出土した、須恵器の碗である。

2区1号溝出土遺物

3は2区の1号溝から出土した、土師器甕である。頸部がしまり、肩部がやや張っている。8世紀中葉～後半の所産と考えられる。

包含層出土遺物ほか

2は1区包含層から出土した土師器蓋である。いずれも8世紀後葉の所産と考えられる。4～6は縄文土器である。4・5は縄文時代後期後葉の太郎迫式、6は縄文時代後期末の古閑式である。7～9は石器である。7は敲石、8・9は多くの面に磨りの痕跡が残る磨石である。

このほか、遺構のところで述べたとおり、細片が多いために図化していないが、土師器の杯や甕、須恵器の杯や壺などの破片が出土している。

(5) まとめ

本調査地点は、黒髪南地区の中でも、最も白川に近い地点の一つである。今回掘削した配管のうち、南側のルートでは先述したとおり遺構が確認できなかったことや土が砂質で遺構を形成するには適さないと考えられ、本調査地点と次章で報告する地点の住居が集落の南限付近に位置すると想定される。ただし、これが埋蔵文化財の調査対象の南限ということではない。次章で述べるが、通常地山(遺構面)と認識する土層は、以前より縄文時代の後晩期の土器を含むことが確認されていたが、2015年にはこの土層のさらに下位の土層から縄文時代後期の土壙墓・配石墓および縄文人骨が検出され、縄文時代後期の文化層であることが明確となった。縄文時代の遺構の範囲確認については、今後の課題である。

本学の開発事業に最も関連する古代の埋蔵文化財の範囲について、目安の一つを得たのは大きな成果である。同時に、深部の縄文時代の遺構に対する注意の必要性が出てきた。これは、換言すれば事業規模、特に掘削深度に拠った事業計画に対応する判断基準の一つが具体的になったということでもある。今後の事業と埋蔵文化財保護にとって、有益な調査成果である。

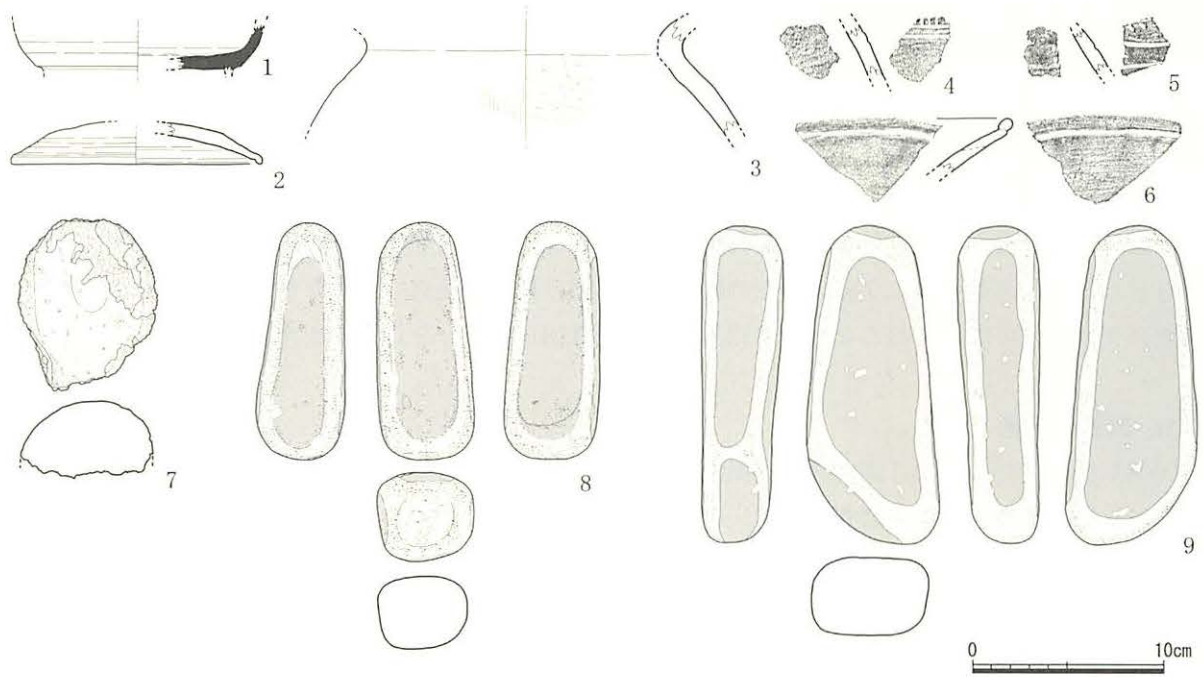


図25 0806調査地点出土遺物実測図 (1/4)

表6 0806調査地点出土遺物一覧表

図番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考	
25	1	須恵器	碗	口径 底径 器高	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y5/1	1区3号溝	外面に自然袖付着
	2	土師器	蓋	口径 底径 器高	約1/5	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	1区包含層	
	3	土師器	甕	頸部径16.6 底径 器高	頸部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	2区1号溝	赤色化粧土
	4	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ, 磨き 外: ナデ, 磨き	内: Hue 2.5Y3/2 外: Hue 2.5Y4/4	1区2号竪穴住居	太郎迫 外面に刺突文・沈線を施す
	5	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ, 磨き 外: ナデ, 磨き	内: Hue 10YR5/6 外: Hue 10YR5/4	1区包含層	太郎迫 外面に烈点文・沈線を施す
	6	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ, 磨き 外: ナデ, 磨き	内: Hue 2.5Y4/1 外: Hue 2.5Y4/2	1区P1	
	7	石器	敲石	長さ 幅 厚さ	約2/3	内: 外:	内: Hue 外: Hue	5区S-1	重量319g
	8	石器	敲石	長さ 幅 厚さ	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	5区2号溝	重量468g
	9	石器	磨石	長さ 幅 厚さ	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	攪乱	重量814g

2. (黒髪南) 南地区福利施設支障配管替工事(追加2)に伴う発掘調査 (0806Ⅱ調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本調査は熊本大学(黒髪)南地区福利施設支障配管替工事(追加2)に伴う発掘調査である。2008年6月6日より開始された立会い調査の結果、6月23日以降各地点で遺構が検出され、その都度発掘調査に切り替えて調査をおこなった。12月4日と12月18日調査分を以下に記す。

b. 調査の経過

2008年12月4日 追加2調査区調査開始。

2008年12月18日 追加2調査区で溝・ピット等を検出。

2008年12月19日 掘削・実測し調査終了。

c. 調査の組織

調査員：江頭俊介

事務担当：中川木綿子

発掘作業員：小山正子・末吉美紀

(2) 調査区の基本層序

当調査地点は白川の河川堆積により形成された自然堤防上にある。遺物・遺構を含む層は2層の黒褐色土、3層の褐色土である。それ以外の層には、遺物・遺構はない。調査区の南西側半分は2層と3層はなく、現代埋土や攪乱の下は砂層であった。調査区の北東半分のみ2・3層が存在し、遺構が検出された。地表から70cmは既設管による掘削に伴う山砂や、近現代の攪乱層である。地表下70cmから1mまで包含層がある。その下は3層である。遺構は3層上面で検出される。

(3) 検出遺構

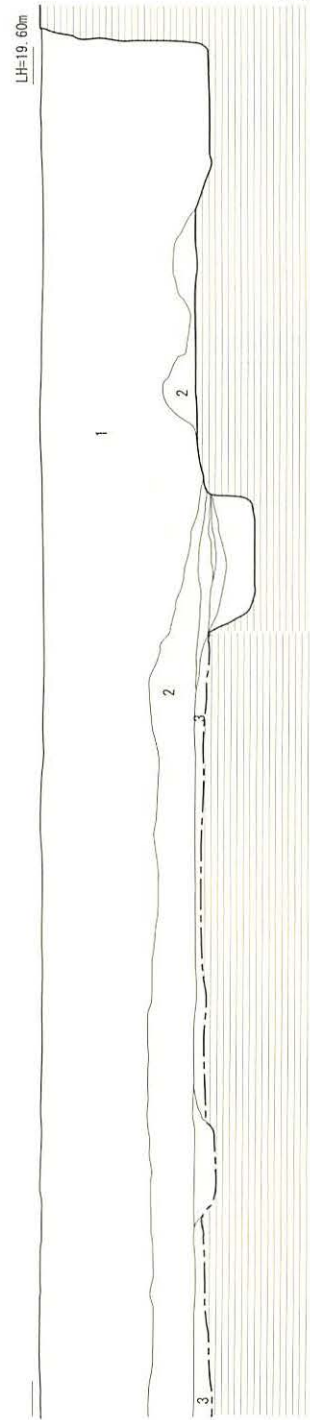
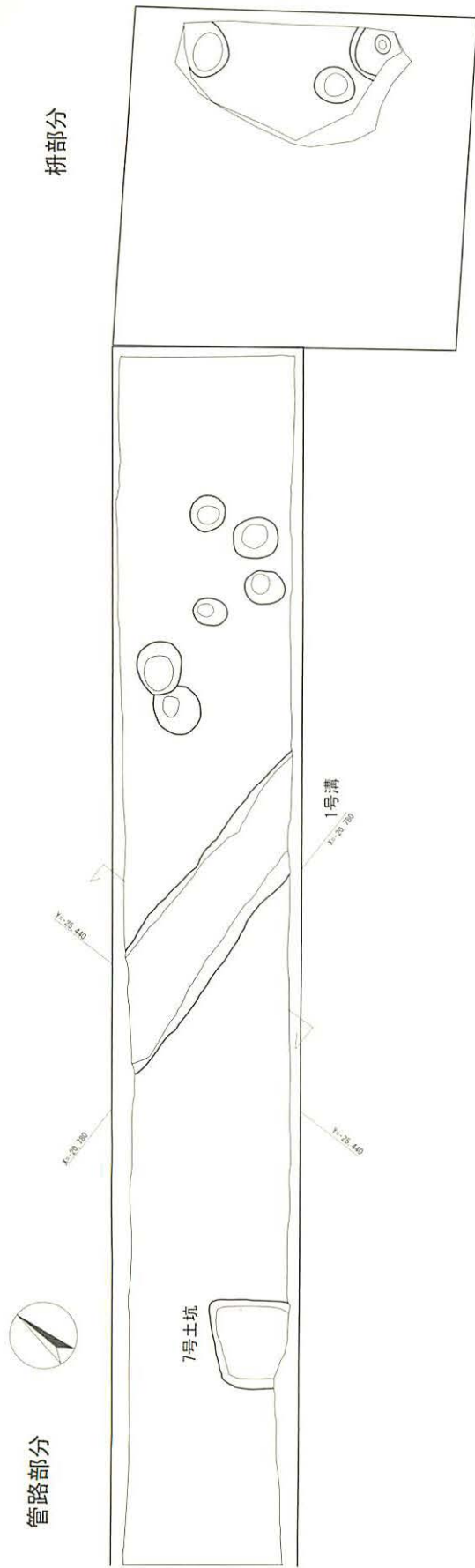
溝1条、ピット9基、土坑1基が検出された。

1号溝(図3)

1号溝は調査区中央に位置し、調査区を東西に横切っている。幅80cm、深さ40cmほどである。平面形は直線的である。断面は逆台形を呈する。埋土は4層に分かれる。砂と土が交互に堆積している。磨石が1点出土している。

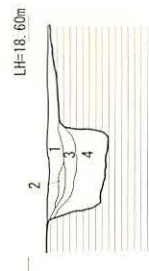
(4) 出土遺物

1は回転ナデを有する土師器坏である。底面に墨書を伴うが、判読不能である。2は近世とみられる陶器の皿である。攪乱から出土している。3は須恵器の壺である。包含層から出土している。4は弥生時代早期の深鉢である。胴部に刻目突帯文を有する。内面はミガキが施されている。5は縄文時代後期後葉の深鉢である。内外面にミガキが施される。4は包含層から、5はローム上面からの出土である。6は完形の磨石である。5面すべてが摩耗している。1号溝からの出土である。



1層：現代埋土
2層：黒褐色シルト (10YR2/3)
3層：褐色土 (10YR4/4)

1号溝土層断面図



1層：黒褐色土 (10YR2/3) 基本土層の2層
2層：オリーブ褐色砂 (2.5YR4/3)
3層：黒褐色土 (10YR4/3) 褐色ロームのブロックを含む
4層：オリーブ褐色砂 (2.5YR4/3) 砂層、やや締まる



図26 0806 II 調査地点遺構配置図・土層断面実測図 (1/50)

(5) まとめ

1号溝は遺物が少なく、磨石が1点出土しているのみである。そのため、時期は不明である。7号土坑も遺物の出土が無く、時期決定に至らない。包含層等の遺物から推測すると、縄文時代後期～弥生時代早期と古代の遺構が当該地にも展開している可能性が高い。

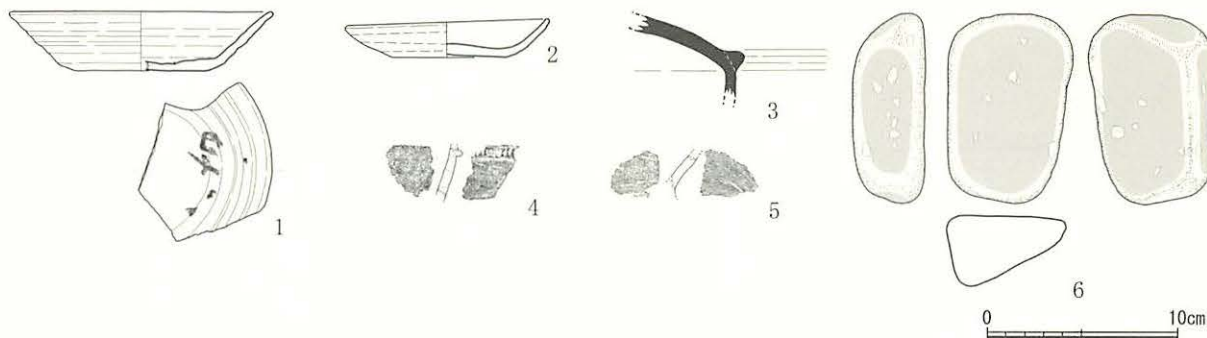


図27 0806 II 調査地点出土遺物実測図 (1/4)

表7 0806 II 調査地点出土遺物一覧表

図番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考	
27	1	土師器	坏	口径 13.7 底径 7.0 器高 3.1	約1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	遺地点5002	底面外面に墨書か 赤色化粧土
	2	陶器	皿	口径 11.0 底径 6.1 器高 2.05	4/5	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y8/4 外：Hue 7.5Y8/4	追加2・器攪乱	底部内面に自然釉付着 内面に布目(型押し痕)
	3	須恵器	壺	口径 最大径9.97 器高	胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ(削り)	内：Hue 5Y6/1 外：Hue 10Y5/0	追加2・包含層	
	4	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ,磨き 外：ナデ	内：Hue 10YR7/4 外：Hue N4/0	追加2・包含層	刻目突帯文あり
	5	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	底部片	内：ナデ,磨き 外：ナデ,磨き	内：Hue 2.5Y4/1 外：Hue 2.5Y4/4	遺地点ローム上面	
	6	石器	磨石	長さ 9.95 幅 6.6 厚さ 3.85	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	追加2・SD1	重量361g

3. (黒髪南) 福利施設樹木移植工事 (追加) に伴う発掘調査 (0809調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

(黒髪南) 福利施設樹木移植工事 (追加) は、黒髪南地区にあった食堂・購買店を取り壊し、新しい福利施設を拡張して建設する工事に際し、障害となる樹木を移植する工事である。

調査地点は、黒髪南地区の南東端付近に位置し、最も白川河川に近い。現在はマンションが建設されているが、かつては眼前に白川の堤防が見えていた。

本事業では、工事予定範囲内の5本の樹木を移植することとなった。まず、移植先を先行して掘削し、埋蔵文化財調査の要不要を確認したのち、移植元となる樹木周囲の掘削と抜根作業を行った。移植先は、埋蔵文化財への影響を可能なかぎり回避するため、遺物包含層および遺構面の検出レベルが深い地点を選択した。この結果、移植先では埋蔵文化財の発掘調査は不要であった。つづいて、抜根のために樹木周囲を掘削していたところ、5本中1本(樹木②)の周囲において遺構が検出されたため、発掘調査へ切り替えた。発掘調査の範囲が狭く、遺構も少なかったため、作業には大坪があたり、測量等は江頭俊介とともに行った。ほかの樹木の周囲では、遺構面を検出したが遺構は確認されなかった。

なお、樹木の番号は、届け出図面の番号ではなく、掘削順である。

b. 調査の経過

2008年6月23日 移植先の掘削立会開始。

2008年7月1日 移植元の掘削立会開始。樹木②③の間を掘削、樹木②の北側を掘削、甕を検出。

2008年7月3日 樹木②北西側を掘削、発掘調査開始。攪乱除去、遺物包含層検出作業とともに、調査区西半の近世以降の土坑墓と思われる遺構、大溝などの遺物包含層上面の遺構掘削開始。1号竪穴住居掘削。

2008年7月4日 2号溝掘削。完掘写真撮影、土層断面図作成、測量などの記録。調査終了。樹木④も平行して掘削。終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子・江頭俊介(現久留米市教育員会)

事務担当：中川木綿子

発掘作業員：なし

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・長谷智子・増井弘子・山崎早苗

(2) 調査区の基本層序 (図28)

本調査は、樹木の抜根を目的とした掘削から開始した。樹木の周囲を隅丸方形～不正円形に掘削する過程で検出された遺構の発掘調査をおこなった。このため、本調査区では調査区北・西壁の遺構にかかる部分について土層を記録した。

緑地として利用されていた本調査区は、1・2・4・5層より上は、近世・近代の土層である。

1・2・4・5層直上は、少し砂が混入する固くしまった土層 (Hue10YR2/2) が堆積しており、昭和28年に発生した洪水による堆積物である可能性がある。

1・2・3・6層は1号竪穴住居の埋土である。1層 (Hue10YR2/2)・2層 (Hue10YR2/2~2/1) は古代の包含層で、2層は炭が入るため黒い。3層 (Hue10YR2/3) は2層と地山 (Hue10YR3/4) との中間層である。4層 (Hue10YR2/3) は、混入物のないきれいな近世の土層である。5層 (Hue10YR2/2) は、砂と地山の土が斑状に少し入る土層である。6層 (Hue10YR2/2) は5層と類似するが、6層のほうが明るく分層できる。7層 (Hue10YR2/2) は6層と類似するが、こちらのほうが黒い。8層 (Hue10YR3/4) は、地山の土に6・7層が影響したのか、やや黒くくすむ。

(3) 検出遺構

検出した遺構は、古代の竪穴住居の一部および溝1条である。

<竪穴住居>

1号竪穴住居 (図28)

1号竪穴住居は、樹木②の北西隅で検出した。掘削は樹木②と樹木③の間から開始した。南北に南側から重機で掘削したが、ここでは予定の掘削深度までは攪乱土層であった。北側を掘削している際に古代の遺物包含層を確認した。このため、重機による掘削を止め、手作業で遺物包含層の範囲を確認し記録写真を撮影した。その後、移植で遺物包含層を掘削すると遺物 (甕) が出土した。周囲で遺構プラン等は確認されなかったため、甕の出土状況を記録したのち取り上げ、さらに遺物包含層を掘削した。その結果、住居のプランを確認でき、甕は住居の隅に位置することが判明した。甕の上部が欠損していたことから、住居は上部が削平され、ならされたと考えられる。現状では、方形の竪穴住居の北東隅の部分が0.9×0.9mの範囲、深さは約0.2mである。住居の南側は2号溝によって削平されている。

<溝>

2号溝 (図28)

2号溝は、1号竪穴住居の南側に位置し、住居を切っている。東西方向に走っており、東側は樹木の下を通過し、その先は攪乱により破壊されている。幅は最大0.8m、深さは0.4mである。

(4) 出土遺物 (図29)

出土遺物は、遺構を検出した樹木②の地点、およびほかの樹木周囲から古代土師器、近世～近代磁器、縄文時代石器が出土している。

1号竪穴住居出土遺物

図29：1～3は1号竪穴住居出土の土師器の坏と甕である。1は杯の破片である。2は小型の甕で8世紀末～9世紀初頭と考えられる。3は甕の胴部の破片である。

2号溝出土遺物

4～7は2号溝から出土した土師器の甕と甑と杯である。4は1と同じ小型の甕で、5も甕の口縁である。7は把手がついた甑と考えられる。4と7は口縁が厚手で、短くやや鋭角に屈曲する。5は

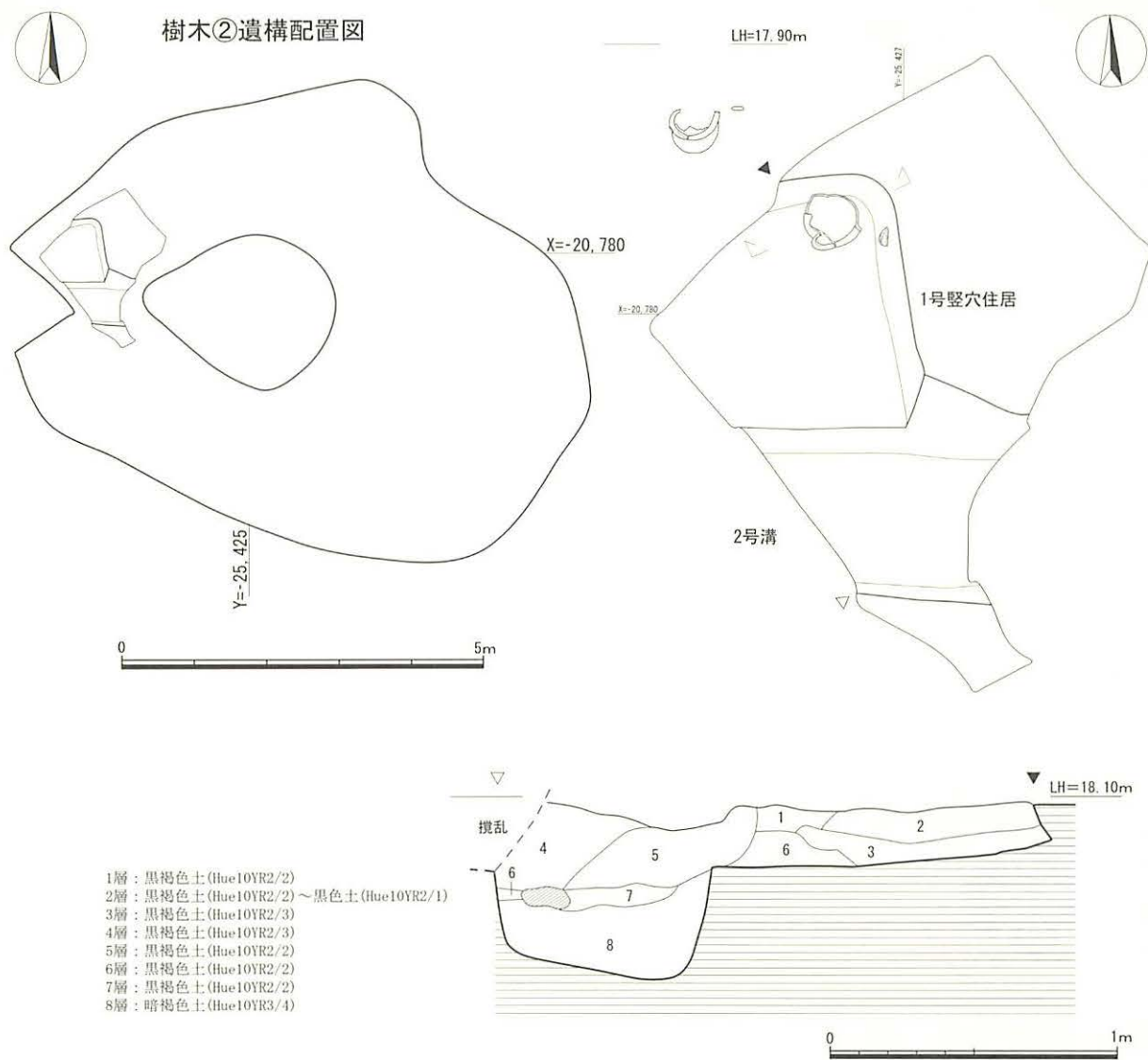


図28 樹木②遺構配置図・1号竪穴住居・2号溝・調査区西壁土層断面実測図(1/100・1/25)

薄手で屈曲も緩やかで上向きとなり、時期が若干下ると考えられる。6の杯は、深さがあり途中に屈曲がある。古相を呈しており、7世紀代と考えられる。

包含層出土遺物

8は、樹木①の周囲で出土した土師器杯の底部片である。9は樹木⑤の周囲から出土した近世磁器の皿である。10～12は今回報告の樹木②の包含層から出土した縄文時代に属すると考えられる石器である。

(5) まとめ

本調査地点は、黒髪南地区の中でも、最も白川に近い地点の一つである。本調査地点の10mほど南では、砂に近い地質となり、遺物包含層も明確ではなく、遺構も検出されない(9709調査地点)。白川の蛇行により南に突き出る敷地の西側では、本地点より50m南側であっても近世～近代の畑跡が検出されている地点(9909調査地点：現ベンチャーラボ・衝撃極限環境実験棟、衝撃実験棟、0203調査

3. (黒髪南) 福利施設樹木移植工事 (追加) に伴う発掘調査 (0809調査地点)

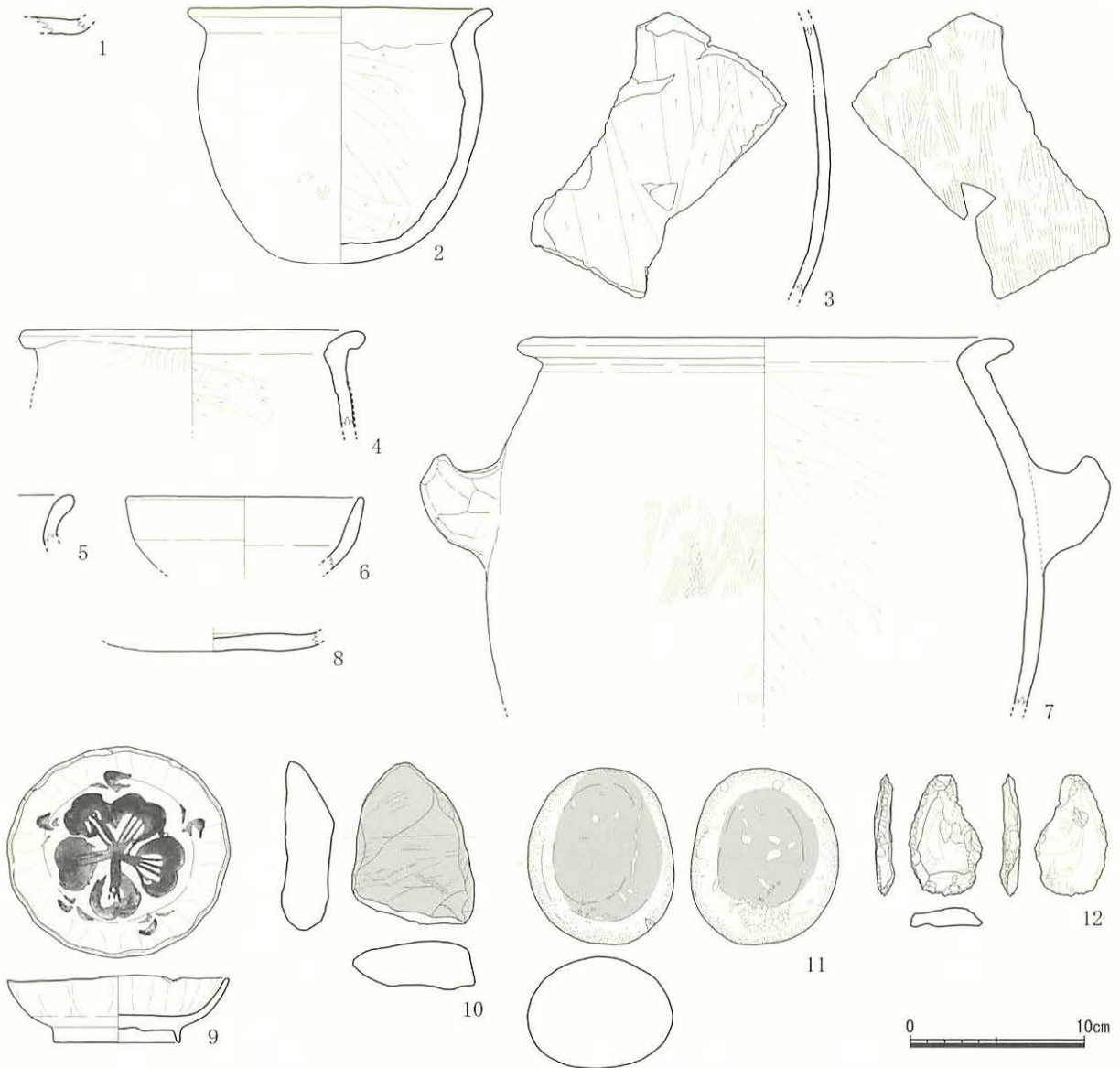


図29 0809調査地点出土遺物実測図 (1/4)

地点：現インキュベーションラボラトリー）があるほかは、やはり砂に近い地質となり古代の人々の生活の痕跡は見当たらない。おそらく、旧河川敷に相当するのであろう。このような状況からすれば、本調査地点は先述した0806調査地点とともに、古代の集落の南端付近に位置していたと考えられる。古代の駅「蚕養駅」の関連施設と考えられる建物跡や溝が確認された0204調査地点（現黒髪総合研究棟）から南に延びる0302調査地点Ⅱ区（共同溝敷設）の成果では、0204調査地点から南へ32m付近が段丘状になり白川に向かって落ちて行き、段丘付近には堀が東西に掘削されていることを確認している。この堀は、本調査地点より少し北側に位置する。この堀の北側には遺構（ピット）が分布し、南側には無い。0302調査地点Ⅱ区は削平が著しいこともあるが、この堀が「蚕養駅」の関連施設の南端を示す可能性も考えられる。おおむね、本調査地点とこの堀を結ぶ東西のラインが、黒髪南地区における古代集落が分布する南限の目安と考えられよう。この南限と考えられるラインより南側の範囲における今後の注意点・課題は、縄文時代の遺構である。2014年に縄文時代後期前葉の土器と人骨が出土した地点は、現地表面より2mほど深く、南地区の中では白川に最も近い地点の一つである（1310調

査地点)。現在確認している同じ時期の遺物が出土する地点は、1310調査地点の東側に1ヶ所あるが、白川の堤防を眼前に控え、遺物が出土するのは2mほどの深さである。地表下2mに縄文時代の文化層が存在するという事実や認識は、1310調査地点の成果により明確になったばかりである。黒髪南地区においては、白川に近い地点は古代の遺構がないことから、掘削が2m前後の工事の候補地として選定してきた。砂地であるため2m以下の掘削も、おそらく影響はないものと考えていたが、縄文時代の文化層に対する注意が必要となったのである。

今後の構内における再開発事業の際には、こうした成果を反映させていきたい。

表8 0809調査地点出土遺物一覧表

図番号	遺物種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
29	1 土師器 坏	口径 底径 器高	底部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR7/4	1号竪穴住居	
2	土師器 甕	口径 16.5 底径 7.4 器高 14.8	2/3	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、ナデ、 ハケ目	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/4	包含層	金雲母 内外面一部にスス付着 外面一部剥離
3	土師器 甕	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ、削り 外：ナデ、ハケ目	内：Hue 2.5Y6/3 外：Hue 2.5Y5/3	1号竪穴住居 2号溝	外面一部にスス付着
4	土師器 甕	口径 19.6 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り、 ハケ目	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	2号溝 P1 2号溝	外面剥離
5	土師器 甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/4	包含層	
6	土師器 坏	口径 底径 器高 13.6	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5Y6/4 外：Hue 7.5Y6/4	包含層	
7	土師器 甕	口径 28.6 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、ハケ 目、指オサエ	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR5/4	包含層	内外面にスス付着
8	土師器 坏	口径 底径 器高 12.0	底部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 10YR8/6 外：Hue 10YR8/6	包含層	
9	磁器 皿	口径 13.2 底径 4.2 器高 3.95	ほぼ完形	内：回転ナデ、施釉 外：回転ナデ、施釉	内：Hue N8/0 外：Hue N8/0	5トレンチ包含層	染付
10	石器 台石	長さ 9.3 幅 7.1 厚さ 2.3	破片	内： 外：	内：Hue 外：Hue	1号竪穴住居	重量232g
11	石器 磨石	長さ 10.1 幅 8.5 厚さ 6.4	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	包含層	重量757g
12	石器 スクレイバー	口径 7.0 底径 4.15 器高 1.1	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	包含層	重量32g

IV 本莊北地区の調査

1. 本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備に伴う発掘調査 (0411調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備は、平成15年度に計画された事業である。既存のR I実験棟・ポンプ室・地下の各種水槽等を解体・撤去し、新しく受水槽・ポンプ室等を建設する事業である。

本調査地点は、熊本大学医学部附属病院敷地の南西隅に位置する。附属病院の敷地内では、1996年から再開発事業に伴う発掘調査が実施されてきた。そのうち、敷地の北西側では、西病棟建設工事(9901調査地点)(2014『熊本大学構内遺跡発掘調査報告X』)、第3井入水槽建設工事(0006)(2010『熊本大学構内遺跡発掘調査報告VI』)、共同溝建設工事(0104調査地点)(2010同)、医療用ガス供給設備工事(0119)(2010同)などの地点において、古墳時代と古代を中心とした濃密な遺構群や遺物が確認されている。本調査地点周辺では、これまで本格的な発掘調査が実施されておらず、包含層や遺構面を検出する深さや遺存状況が不明であった。熊本市文化振興課埋蔵文化財調査室による試掘調査を実施したところ、遺物包含層および遺構面、土師器や縄文土器などの遺物を確認した。遺物包含層や遺構面を確認した深さが、既往の調査地点の成果と比較すると深いため、遺跡の遺存状況は良好と判断された。

本事業では、まず受水槽・ポンプ室等の建設予定地内にあるR I実験棟・ポンプ室・地下の各種水槽等を解体・撤去、支障配管の切り替えに際して立会を行い、その後、発掘調査を実施した。さらに、給排水・電気の新設配管の付帯工事については区間を区切って実施した。観察表の「補」は付帯工事区間を指している。本書では、そのうち遺構が確認された区間の調査成果について報告する。

本調査地点では、古代の遺物包含層の上面で、一度遺構を検出・調査し(第一面)、その後いわゆる地山と呼ぶ遺構面で、再度遺構を検出し、調査を行った(第二面)。古墳時代および古代の竪穴住居と溝、畑跡が検出され、多数の遺物が出土した。遺構番号は、種類に関係なく、通し番号を付した。

b. 調査の経過

- 2004年8月17日 ガス管切替・水道プラグ止め工事・既存建物解体工事に伴う立会開始。
- 2004年11月1日 受水槽・ポンプ室本体部分の発掘調査開始。遺物包含層の上面にある赤褐色の土層まで、重機による一時掘削および人力による攪乱除去・清掃・遺構検出作業開始。
- 2004年11月3日 遺構の掘削開始(1号～3号溝、ピットなど)、清掃作業。
- 2004年11月8日 30・33号溝検出、掘削開始。
- 2004年11月15日 30・33号溝完掘、写真・測量等開始。
- 2004年11月19日 古代の遺物包含層の掘削、遺構面検出開始。
- 2004年11月30日 畑跡確認、の掘削開始。
- 2004年12月3日 古代・古墳の住居の調査開始。畝の土壌サンプリング、測量。
- 2004年12月22日 掘削作業終了。作業員解散。
- 2004年12月23日 調査区土層図面採図、その他記録等。調査終了。
- 2005年1月27日 付帯工事③区間の調査開始。

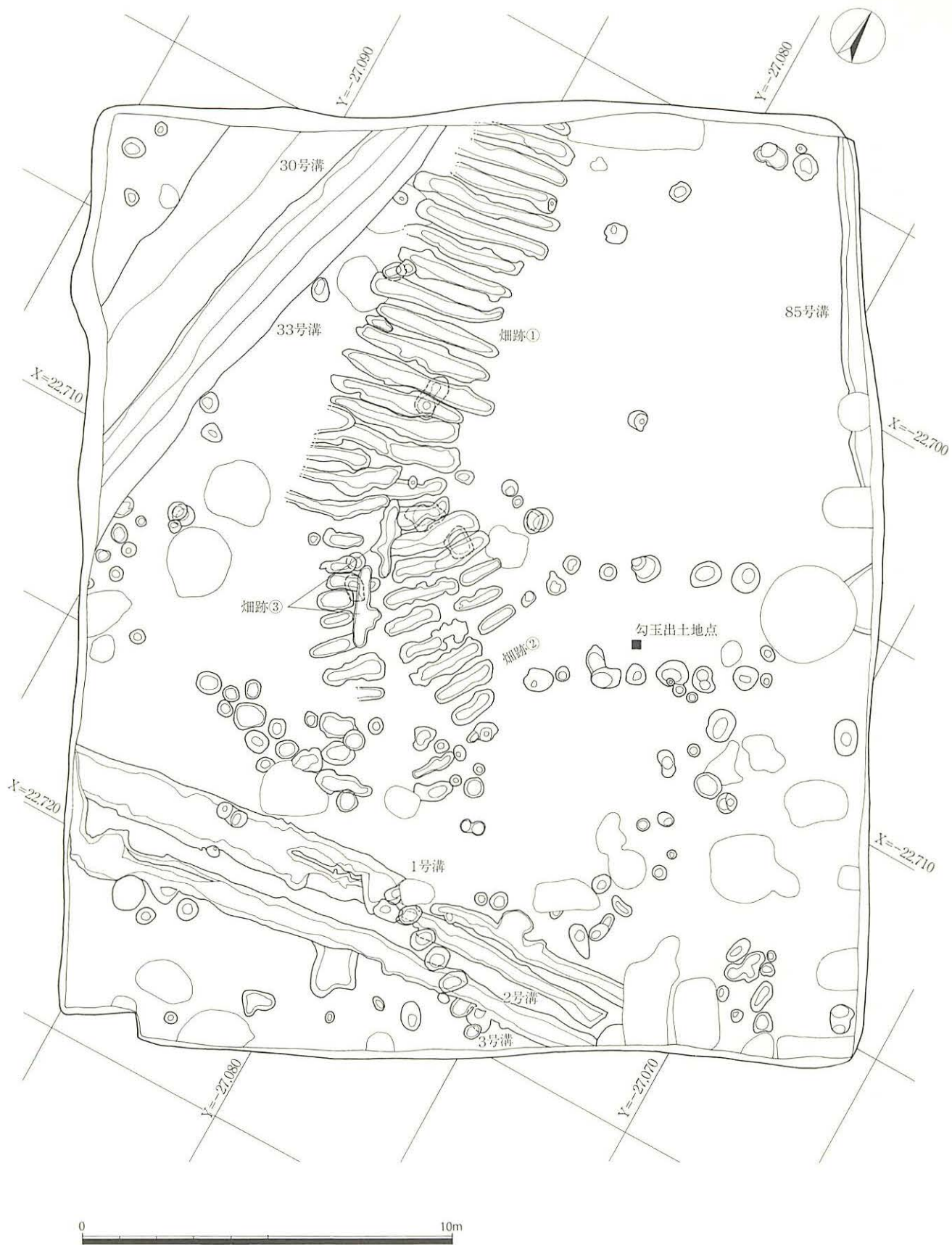


図31 0411調査地点遺構配置図1 (1/150)

1. 本莊団地北地区 (医病) 基幹・環境整備 (0411調査地点)

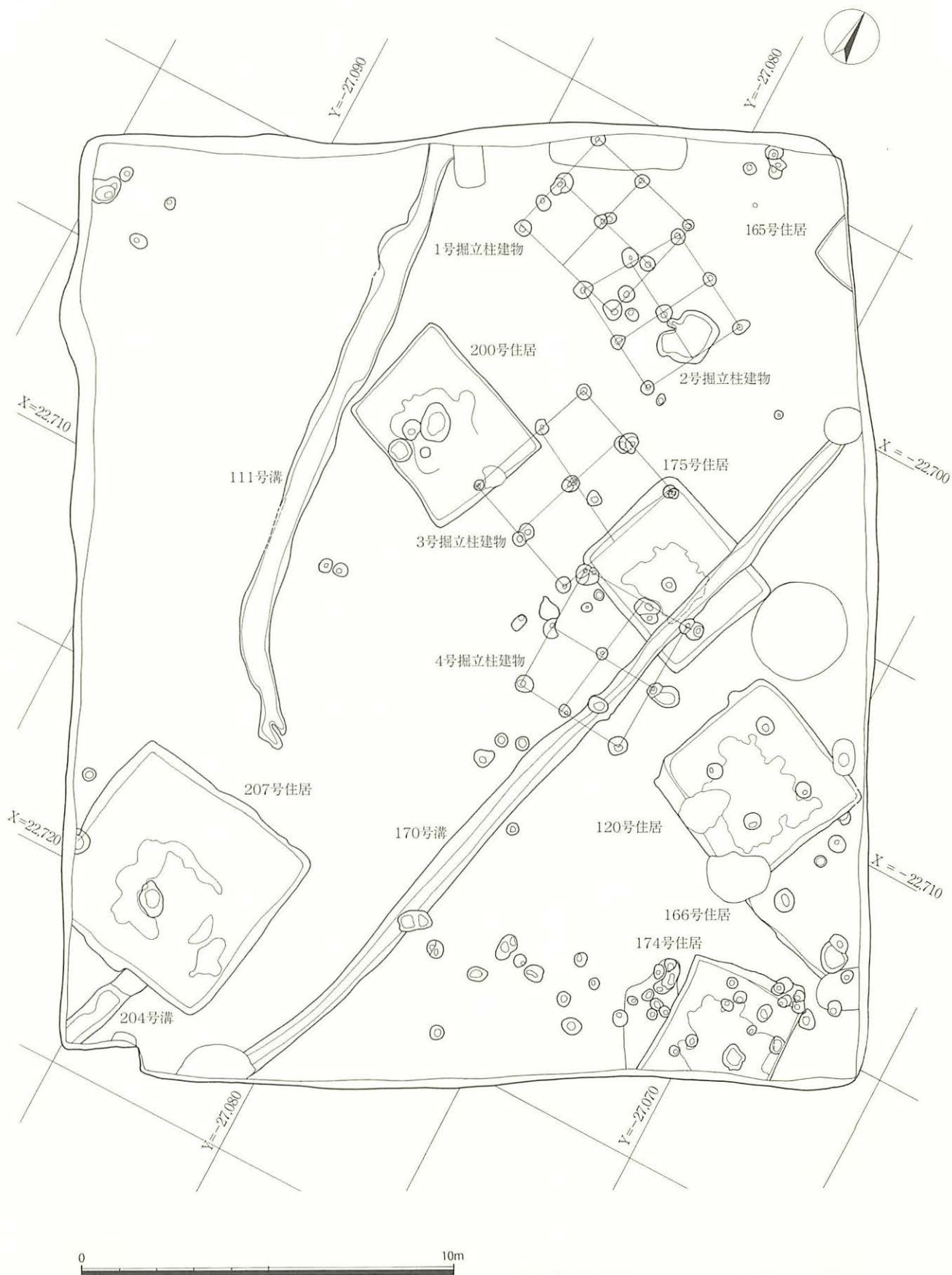


図32 0411調査地点遺構配置図2 (1/150)

- 2005年1月28日 住居、溝を検出。掘削、および図面・写真・測量などの記録。
- 2005年2月5日 ③区間の調査終了。
- 2005年2月14日 付帯工事⑧区-1区間の調査開始。住居とピットを検出。掘削、および図面・写真・測量などの記録。
- 2005年2月17日 付帯工事⑧区-1区間の調査終了。
- 2005年3月4日 ⑧区-2区間の調査開始。住居、溝を検出。掘削、および図面・写真・測量などの記録。
- 2005年3月9日 ⑧区-2区間の調査終了。
- 2009年3月15日 ⑧区-3区間の調査開始。住居とピットを検出。掘削、および図面・写真・測量などの記録。
- 2009年3月16日 ⑧区-3区間の調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：前田知聖

発掘作業員：岡田イツ代・奥村力・奥村洋子・河野直美・河野義勝・木村洋子・白石美智子・杉村昇・高山はるよ・田中真理子・谷優美子・田部孝子・土谷順子・鶴田峯子・中島公子・西山チカエ・浜田百合子・早田咲百合・番山明子・堀川貞子・前原タツ子・松井昭子・宮村邦子・森川征子・森川護・森田登・山本朝子

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古賀敬子・後藤恵・首藤優子・末吉美紀・園田智子・溜瀨俊子・早田咲百合・増井弘子・山壽早苗・吉留広

(2) 調査区の基本層序 (図33)

本調査区では、本庄遺跡の中心となる古代の包含層や遺構面（地山）が地表から深く、若干の攪乱は受けていたが遺構の遺存状態は良好だったと言えよう。

調査区西壁では1層から3層まで、南壁では6層までが近世～現代の埋土である。西壁の4層（南壁9層）は、赤銅色の鉞物が沈殿・凝固した層で、5層（同10層）は粘土質層が固まった層であり、水田の床土のようである。6層（同11層）は5層と基本的な土質は変わらず固まっていない層で、5・6層は本来同一の古代の遺物包含層と考えられる。7層（同12層）は、上層と下の地山との中間層である。

付帯工事区間は、調査区壁は土留支保工により、矢板を設置せざるを得なかったため、全体的な層序の確認はできなかった。付帯工事区間における土層の特徴としては、水田の床土のような粘性の高い土層は検出されなかった。また、本荘地区や黒髪地区での基本的な層序は、古代の黒色の遺物包含層の下はアカホヤの二次堆積と言われる褐色の土層となり、この層を地山と認識している。しかし、付帯工事区間では、古代の遺物包含層と地山の間に赤味の強い土層が1層存在していた。観察表の「赤」とは、この層を指している。

LH=14.00m

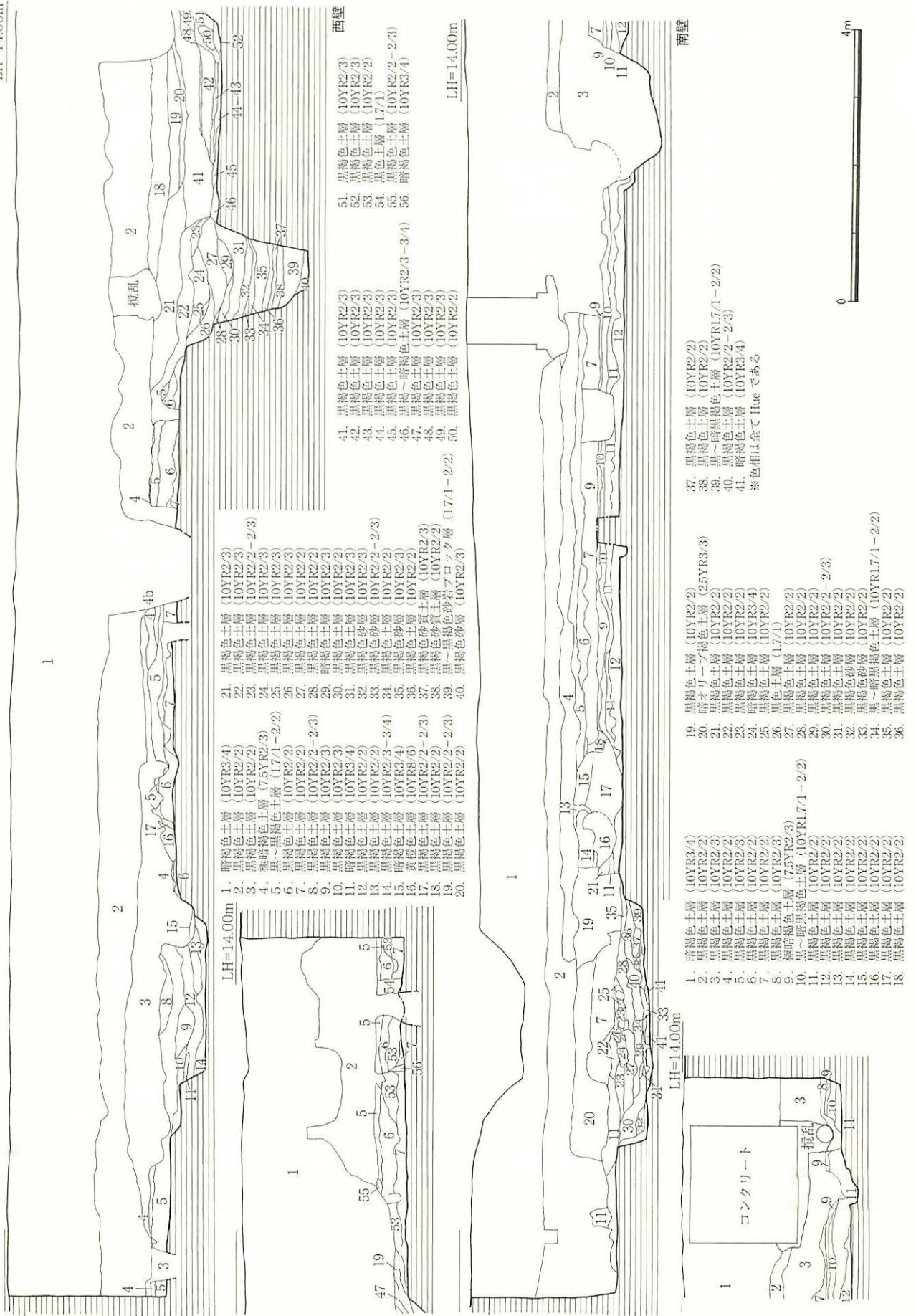


図33 0411調査地点土層断面実測図 (1/80)

(3) 検出遺構

受水槽・ポンプ室本体部分の調査で検出された主な遺構は、近世～近代の溝4条、柱穴群、古代の畑跡、溝3条、掘立柱建物4棟、竪穴住居3基、古墳時代の竪穴住居3基がある。これらが検出された遺構面は上下2面に分けられ、近世以降の溝と柱穴群および古代の畑跡が上面で、古代の溝、竪穴住居、古墳時代の竪穴住居は下面で検出された。付帯工事の各区間でも、住居や溝、ピットなどがそれぞれ検出された。受水槽・ポンプ室本体部分の調査成果から記述する。

受水槽・ポンプ室本体部分の調査成果

<竪穴住居>

古墳時代

174号竪穴住居 (図34)

調査区南東部で検出した。174号竪穴住居の南部が調査区外で、現状で約3.5×4m、深さ約0.65mである。住居の主軸は北を向いている。住居の中央やや東よりに、炉跡と考えられる、細かな炭の層が堆積した浅い窪みがあった。既往の調査で確認した炉のような、ある程度の深さを持つものではなかった。その周囲には硬化面が広がっていた。住居からは高坏などの古式土師器が出土した。古墳時代前期後葉～中期初頭と考えられる。

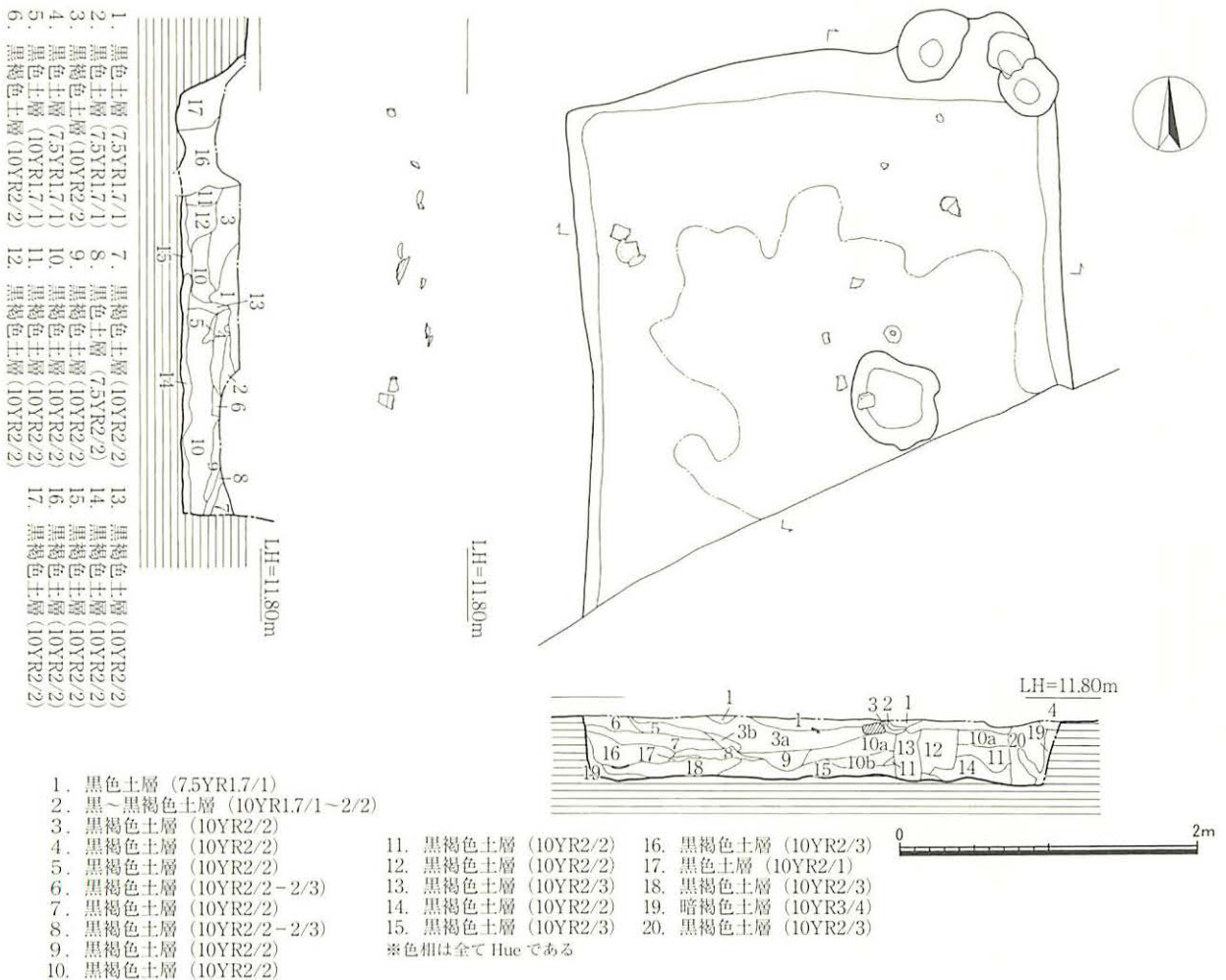


図34 174号竪穴住居実測図 (1/50)

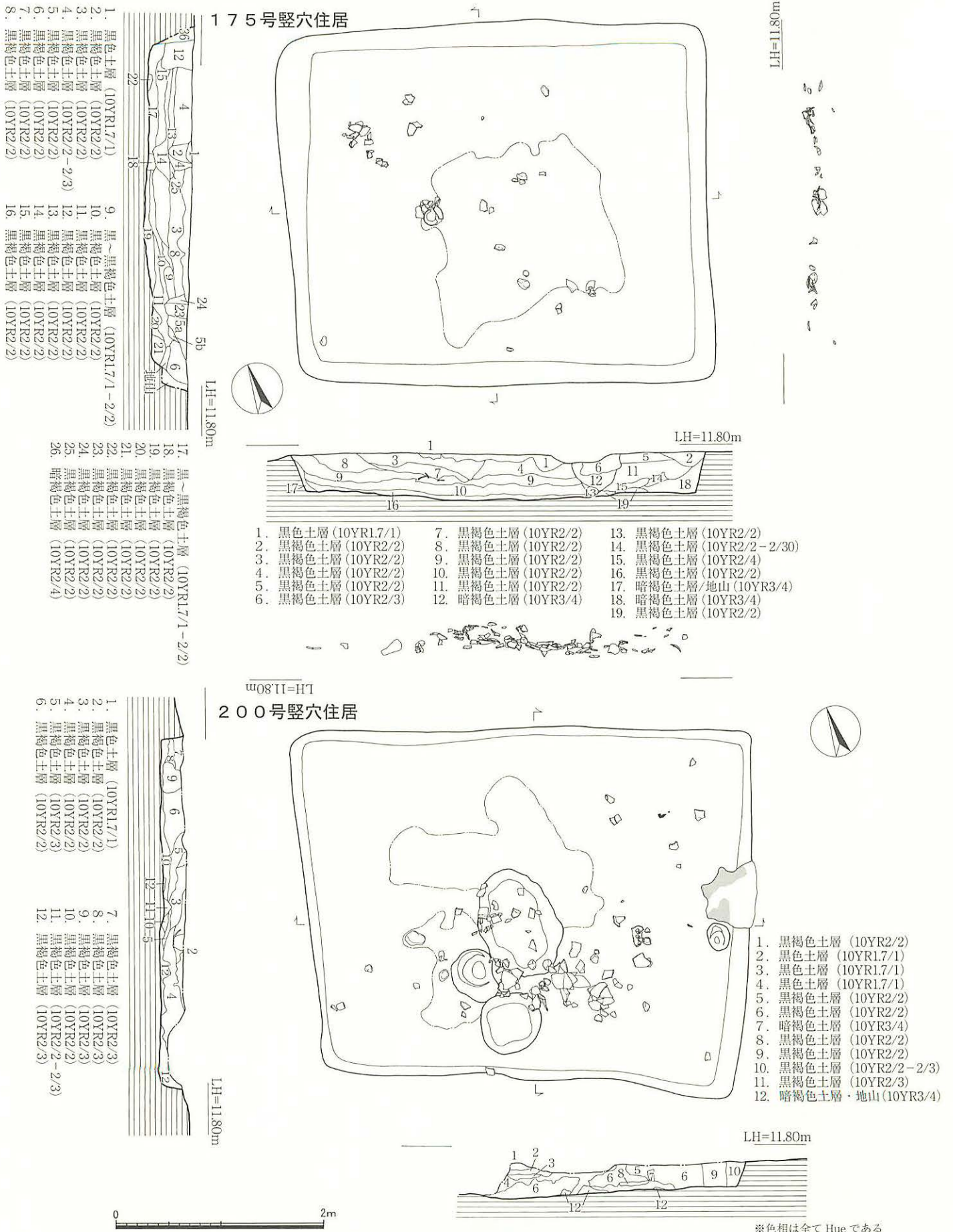


図35 175号・200号竖穴住居実測図 (1/50)

175号竪穴住居 (図35)

調査区中央、やや東よりで検出した。現状で約3.6×4.2m、深さ約0.5mである。住居の主軸は北を向き20°程東に振れる。174号竪穴住居と同様に、住居の中央付近には、炉跡と考えられる細かな炭混じりの土の層があり、周辺に硬化面が広がっていた。174号竪穴住居と同じく、通常の炉のような深さのあるものではなかった。住居からは、高坏や甕などの古式土師器が出土した。古墳時代中期前葉のころと考えられる。黒曜石の破片も出土したが、これは流れ込みであろう。

200号竪穴住居 (図35)

調査区中央、やや北よりで畑跡の下から検出された。畝を検出する際、周辺で特に遺物の混入が多く、土質も異なったため、下に遺構があるものと想定していた。175号竪穴住居に類似した一辺が長い住居である。現状で約5×3.5m、深さは0.2m余、住居の主軸は北を向き20°程東に振れる。住居の東壁中央部で、炭と焼土の塊が検出されたが、特に炉や竈状の遺構にはならなかった。他の住居同様に、住居の中央部には炉跡と思われる窪みがあった。住居からは、高坏・甕などの古式土師器が出土した。これらは、後世に畑の開墾の影響で、一部は住居外に散在・散逸しているようである。古墳時代中期前葉のころと考えられる。

207号竪穴住居 (図36)

調査区南西隅で検出された。本調査区において古墳時代のものでは最も大きな竪穴住居である。現状で約5.4×5.7m、深さは0.6mで、主軸はほぼ北を向き、若干東に振れている。住居の南西隅が、調査区外である。207号住居にも、中央やや南寄りに炉跡と思われる窪みがあったが、その周囲にさらに四角形の浅い窪みがあった。硬化面は切り取ったようにこの窪部分にはなく、その周囲に広がっていた。遺物としては古式土師器の高坏や甕、鉄族などが出土している。古墳時代前期末～中期初頭のころと考えられる。

古代**78号竪穴住居？ (図37)**

174号竪穴住居の上に、カマドの部材片と考えられる砂岩塊や焼土が散在していた。これらの焼土と部材片から推定されるカマドの位置と、検出されていた174号竪穴住居のプランに整合性がないため、別の住居と判断し掘削した。174号竪穴住居の上に、竈を持つ古代の住居があったと考えられる。遺物は図化しなかったが、土師器の甕の口縁や胴部の破片、高坏片が出土している。須恵器は伴わない。

120号竪穴住居 (図38)

調査区南東、東壁そばで検出した。現状では約4×4.5mで、削平により、深さは20cm程度しか残されていなかった。住居の主軸は北を向き、東に20°程振れている。住居の南壁中央部、やや西よりに竈が作りつけられており、竈の前面には硬化面が広がっていた。120号竪穴住居からは、6世紀後半～7世紀代の土師器の坏や甕などが出土した。

165号竪穴住居 (図32)

調査区の北西部で、東壁下に住居の南西隅のみを検出した。現状では、1.6mの南壁と西壁が確認

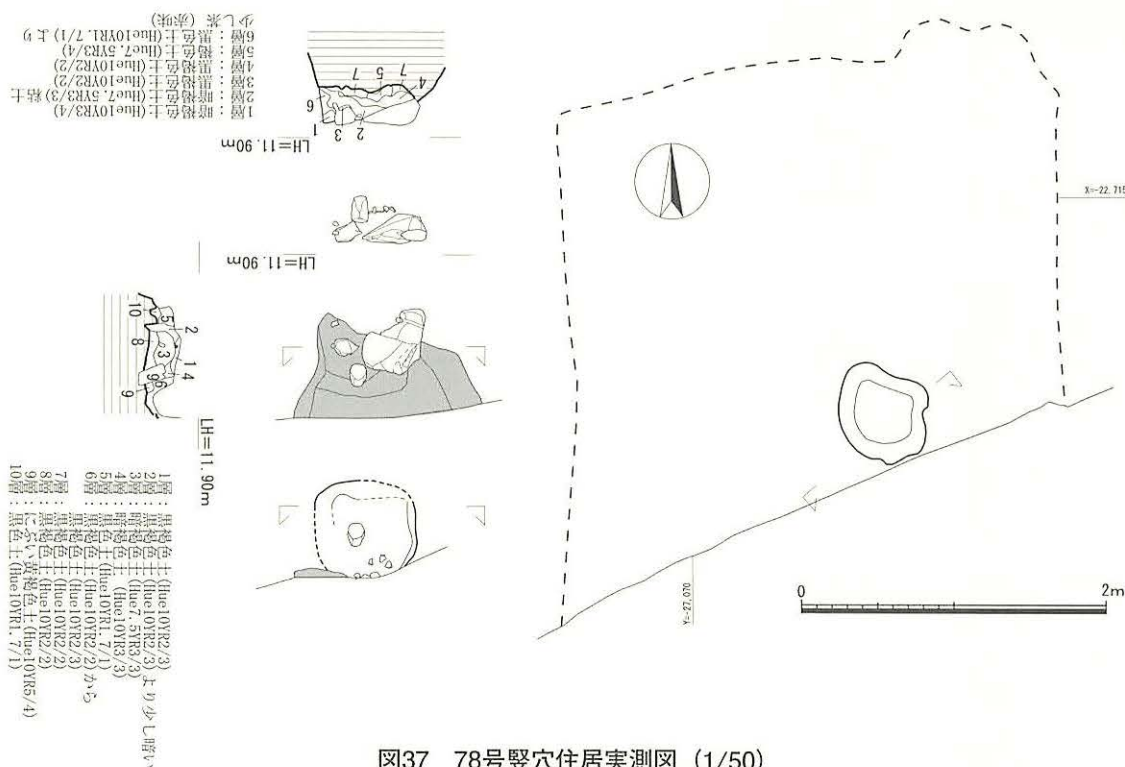


図37 78号竪穴住居実測図 (1/50)

できるのみである。この住居は、位置関係から後述する539号竪穴住居と同一の住居と考えられる。遺物は土師器などが少量出土している。

166号竪穴住居 (図38)

120号竪穴住居の東側で検出した。西側は120号竪穴住居に切られ、北西半分は調査区外である。削平のため、深さは数センチしか残されていない。166号竪穴住居に伴うと考えられる竈の袖石の破片等が散在していたが、住居内では竈の掘方は検出されなかった。遺物は土師器片が出土している。

<掘立柱建物> (図32)

調査区の北東部で確認した。調査時には柱穴の配列を把握することができず、測量図で確認した。全部で4棟あり、すべて2間×2間の掘立柱建物である。掘立柱建物の各主軸を見ると、4号掘立柱建物がおおよそ北を向くほかは、2号・3号掘立柱建物が東に大きく振れ、1号掘立柱建物は逆に若干西に振れている。古代の土壌は大きく2時期に分けられることが、既往の調査で確認されており、このうち古い土壌が遺構内に堆積している2号掘立柱建物が最も古いと考えられる。建物の主軸の向きと位置から1号掘立柱建物と3号掘立柱建物が同時期あるいは近い時期と考えられる。3号掘立柱建物は、柱穴の状況から、同じ場所で建て替えを行っているようである。主軸がほぼ北を向く4号掘立柱建物が最も新しいと考えられる。

<溝>

古代の溝

33号溝 (図31)

調査区北西隅を南北に走る、30号溝の中で検出した。30号溝の底を検出する際、溝の底部の東側に、

溝の主軸に沿った掘り込みがあることが判明し、33号溝として掘削した。30号溝の底面レベルでの溝の幅は約1m、深さ約1.3mで、幅に対して深さのある、狭長な溝である。この溝の続きは、翌年実施した（医病）基幹・環境整備（曳き家・移動先）に伴う発掘調査（0509調査地点）で確認されている（2016『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅺ』熊本大学埋蔵文化財調査センター）。遺物は、土師器や須恵器の破片が出土した。8世紀後半～9世紀前半のころのものである。また、動物骨片（顎・歯）も出土した。

111号溝（図32）

調査区北壁中央付近から南へ、南北に走る溝である。70号溝が東に振れるのに対して、111号溝は西に5°程振れている。後世の畑跡の西端に位置し、畝に切られていた。南端は次第に浅くなり、自然に消滅する。遺物は、図化はしていないが、古式土師器の破片、土師器の破片、ミニチュア土器が出土している。

170号溝（図32）

調査区東壁の中央やや北から、調査区南西隅にかけて南北に走る溝である。東に15°ほど振れる。幅約0.7m、深さは約0.3mである。底部が狭いV字状の溝である。当初は175号竪穴住居との切り合いが不明であったが、175号竪穴住居を若干掘削したところ、170号溝が切っていることが判明した。古墳時代の古式土師器や古代の土師器・須恵器が出土している。

202・204号溝？（図32）

調査区の、丁度南西隅から北に伸びる溝状の遺構である。207号竪穴住居の手前で土質が変わり、底が立ち上がるように浅くなる。墓坑のようでもあるが、埋土中に埋葬の可能性を示すようなものは確認されなかった。202号溝状遺構は、204号溝の北に続くが、上述のように二つの溝の境には段差があり、一連の溝であるかは明確ではない。

近世以降の溝

1～3号溝（図31）

調査区の南を東西に併行して走る溝である。現状で幅は1号溝からそれぞれ0.76m、0.46m、0.78m、深さは0.22m、0.1m、0.3mである。東端・西端ともに現代の攪乱によって破壊されており、不明のまま調査区外となる。3条とも整然と並んでいるが、調査区西側で1号溝と2号溝の間の立ち上がりがなく、一体化しているようだった。遺物としては古代の土師器や須恵器などの破片があるが、埋土から近世末以降のものと考えられる。

30号溝（図31）

調査区の北西隅を南北に走る溝である。現状で幅約4.5m、深さは約0.9mである。埋土を除去し5層上面レベルで検出した。断面の様子から、後

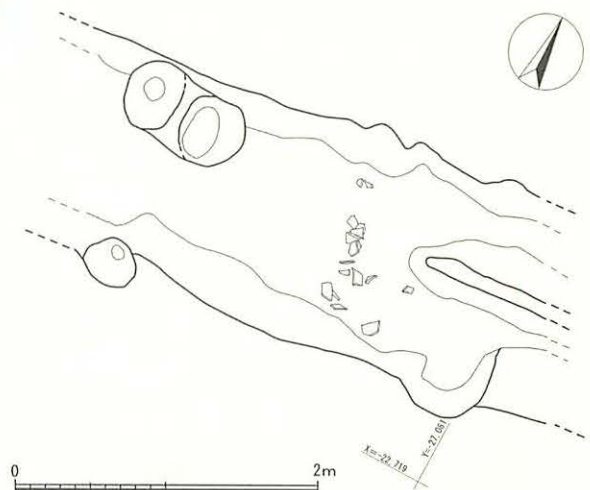


図40 1号・2号溝内出土遺物実測図（1/50）

述する本来あった33号溝の上部を近世に再度掘削し、拡張したようである。底（33号溝上面レベル）には鉾物の被覆があり、水の作用が強く働いたことが観取される。遺物は古代の土師器や須恵器のほか、近世末以降と思われる磁器の破片等がある。本調査区の北西に位置する0509調査地点では、30号溝の続きが40数mにわたり確認・調査され、多量の遺物が出土している。

85号溝（図31）

調査区の東壁にそって南北に走る溝である。溝の東側は調査区外であり、正確な幅や深さは不明である。出土遺物は土師器片や須恵器片と陶器片がある。近世末以降と考えられる。

<畑跡>（図31）

近世の溝などを検出した最初の遺構面は、鉾物が沈殿・凝固した層で覆われており、その下には粘性が高く、かたく固まった土の層であった。このような堆積状況からは、水田の床土と想定される。この土を掘削すると、畑の畝が筋状に検出された。検出した畝も、おそらくは水の作用をうけたのだろう、非常に硬く固まっていた。

畝の配列には3方向ある。調査区の北壁中央部から南に向かって、ほぼ東西を向いた畝の列が一つ（①）、調査区中央付近以南には北東—南西向きの畝の列が展開するものが一つ（②）、ごくわずかであるが、調査区の長辺と同じ北北西—南南東を向く畝の三つである（③）。③の畝がもっとも新しいものである。①と②では①が先である。畝は北側ほど高く、遺存状態が良好であった。調査区中央部から南部にかけては、畝の重複が激しく、また畝を覆う上層との分層が困難だったため、畝の検出が困難であった。畝を構成する硬い土が、調査区南部では浅いピット状に地山に入っていた。整然と並び、長軸の向きが②の畝と同じことから、これらは畝と畝の間に入り込んだ土で、この辺りまでは畝が存在していたと考えられる。調査区の南壁付近まで、上述のピット列を西端として②方向の畝が带状に広がっていたと考えられる。畑は本来、調査区の北側、そして南側まで、広がっていたと考えられる。畝の中や間から古代の遺物が出土している。

<その他>

173号粘土（図41）

207号竪穴住居の上面で、薄く四角形に広がるベージュ色の粘土を検出した。粘土は、ほぼ207号竪穴住居の中心部に位置し、形も住居を意識したようである。粘土は、調査区内ではこの地点のみで、人為的に敷設されたことは間違いない。本荘地区では、他に1ヶ所、古墳時代の遺構の上部に、同様な粘土が堆積していた。古墳時代の遺構が廃棄される際に、こうした所作をすると推察されるが、古墳時代の遺構全てではなく、ごく一部である。177号祭祀（？）遺構との関連は注目される。

177号祭祀跡（？）（図42）

207号竪穴住居・173号粘土の上面で、須恵器の高坏、土師器の丹塗りの高坏、甕など遺物がまわって出土した。また、長さ約20cmの刀子も出土した。刀子は刀身の半分程で折り、刃先側の半分を茎のほうに向けて置かれていた。これらの様子から、何らかの祭祀行為の跡の可能性が高いと考えられる。207号竪穴住居の上部を173号粘土で封じたのちに、177号出土遺物を用いた祭祀行為が行われたのではないかと考えられる。

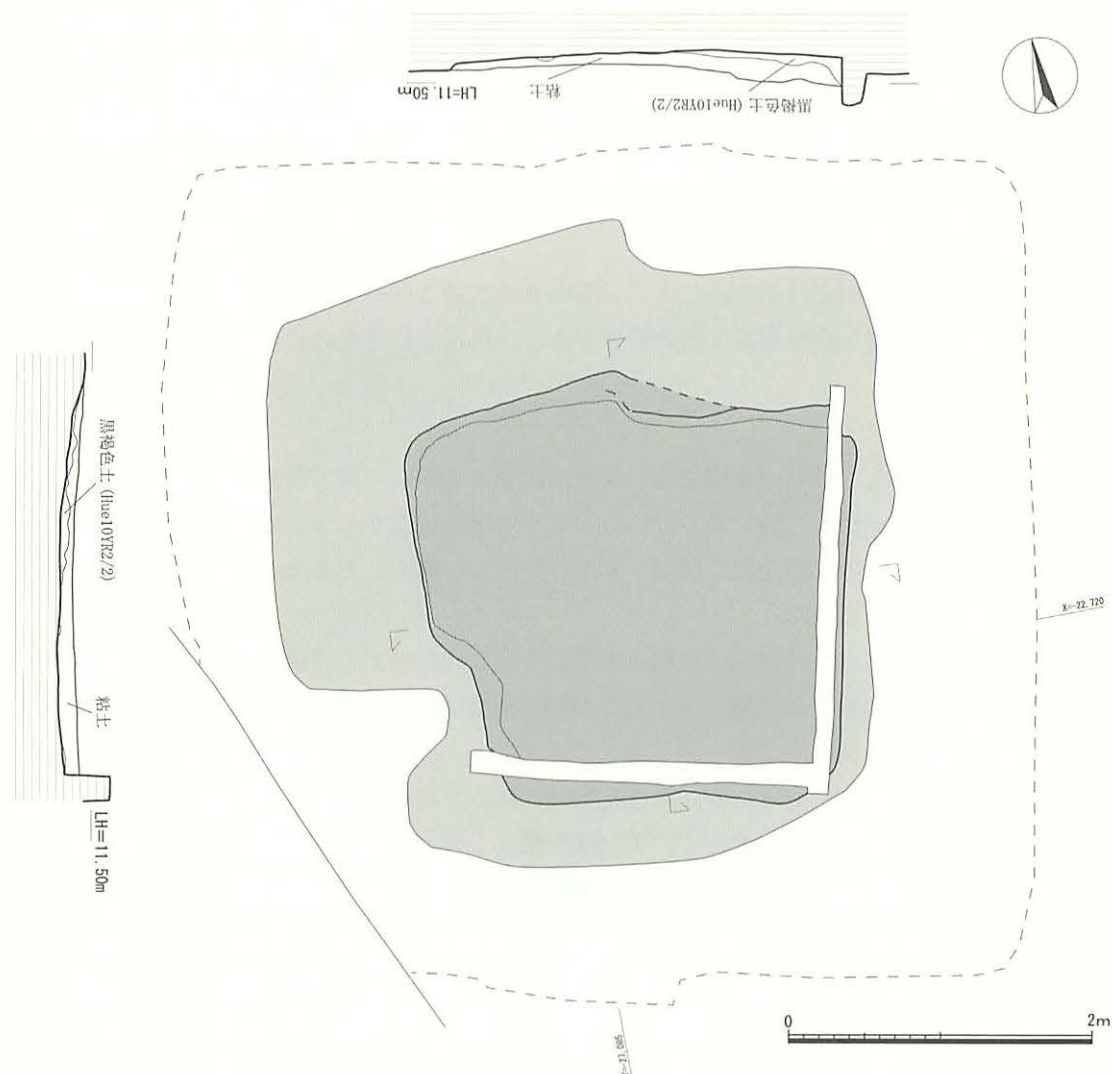


図41 173号粘土範囲実測図（1/50）

勾玉

古代の包含層中から出土した。出土地点は、175号竪穴住居の南側で170号溝と切り合う付近で、170号溝の真上である。頭部や尾部は優美な曲線を描くが、頭部と胴部のくびれがなく、やや形態が退化した感がある。灰色の滑石製である。古墳時代以降のものであろう。包含層中で単独で出土したが、177号祭祀（？）遺構から移動した可能性も考えられる。

276号縄文土器群（図42）

調査区の北壁付近、1号掘立柱建物の東側で縄文土器がまとまって出土した。遺構は検出されなかった。複数の固体の破片が集中しており、接合しても復元可能なものはなかった。黒色磨研系の土器など、縄文時代後期後葉～晩期にかけてのものである。熊本大学黒髪地区及び本荘地区では、既往の調査で縄文時代の遺構は確認されておらず、縄文時代後期後葉～晩期の土器片が、遺物包含層や地山上部で散発的に出土するのみである。本調査の資料は、個体の復元には至らなかったが、このように縄文土器がまとまって出土することは、本学構内遺跡としては珍しい事例である。遺構を確認することができなかったのは、残念である。ちなみに、縄文時代後期前葉の遺構（配石墓・土壙墓）および人骨が、2015年に黒髪南地区で、初めて確認されている。

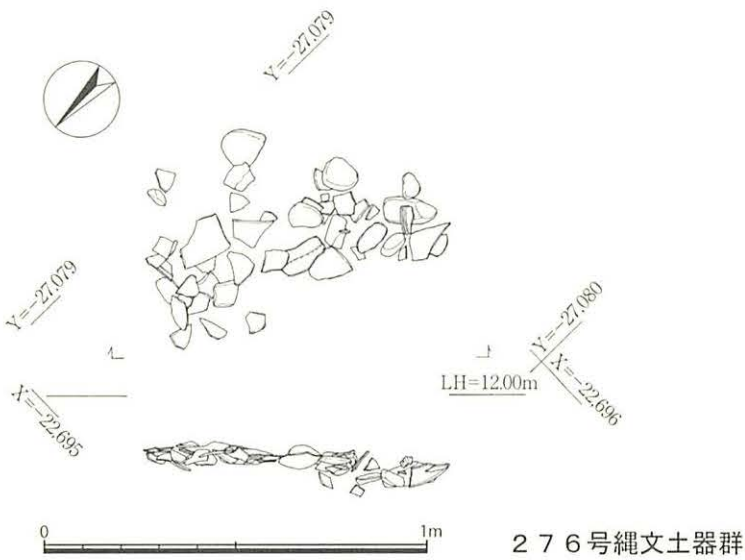
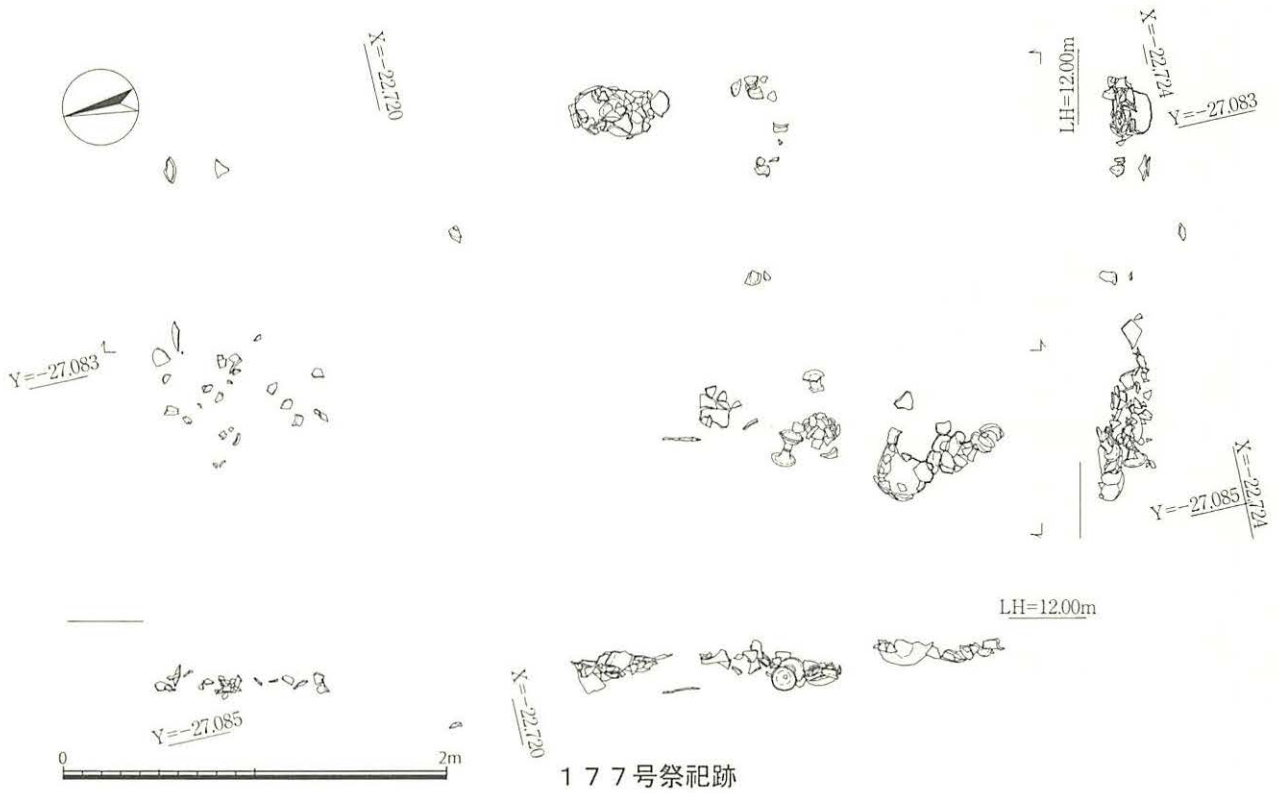


図42 177号祭祀跡・276号縄文土器群実測図 (1/50)

付帯工事区間の調査成果

③区間

③区間は、受水槽・ポンプ室本体部分の北西隅から北側（白川側）へ排水管を敷設する工事を行った区間である。このうち、遺構が確認された範囲について報告する。以下、遺構の位置については、図43の③区間の範囲を基準とする。

< 竪穴住居 >

古墳時代

504号竪穴住居（図44）

504号竪穴住居は、③区間の南部で検出された。住居の主軸は北西を向く。住居の北西壁と南東壁が検出されているが、西南壁と北東壁は調査区外である。現状では南北2.6m、深さ0.3m弱である。炉跡は検出されなかった。本住居は、508号溝より若干上位での検出していた。この時点で、508号溝が本住居を切っている様子は確認できなかった。また、本住居の土層断面図では、中央部にある円形の掘り込みが508号溝の土層に相当するよう見えるが、幅等が一致しない。これらのことから、508号溝との切り合いは、本住居が切っていると判断される。出土遺物は、古式土師器の甕と高坏がある。高坏は調査区の東側壁から2/3ほどが露出した状態で出土した。土層では、本住居の埋土を掘り込む土層内にある。掘り込みと同時に流れこんだものか、掘り込んだときに本住居のものを巻き込んだものかは明確ではない。

古代

513号竪穴住居（図44）

513号竪穴住居は、③区間の中央部で検出された。住居の主軸は北を向き、やや西に振れている。504号竪穴住居と同様に、住居の北西壁と南東壁が検出されているが、西南壁と北東壁は調査区外である。現状では南北約5m、深さはもっとも深い場所で約0.7mである。本住居は、北壁も南壁もやや緩やかな立ち上がりである。検出時、住居の南壁上面には焼土が確認されおり、竈が付近に存在していたと考えられる。出土遺物は古代の土師器や須恵器で、8世紀後半のころと考えられる。古墳時代の古式土師器がわずかに混入している。

< 溝 >

501・502・507・509号溝（図44）

501・502・507・509号溝は、③区間の南端に位置する枡設置部分の北側で、重なり合って検出された。いずれも調査区を横断している。最初に検出されたのは501号溝である（土層図の3層）。その南側に、古代の遺物包含層の土のようだが、若干ガリガリとした堅い土の範囲があり、これを502号溝とした。土層図では3層の右の破線より右の部分である。壁面では確認できなかった。502号溝の土壌を除去すると別の土壌が溝状に堆積しており、これを507（503）号溝とした（土層図の5層）。501号溝の埋土を除去すると、その下にはまだ別の遺構があった。507号溝を除去し、501号溝の下の遺構を完掘したものが509号溝である。土壌の違いが、平面上で明確に把握できたことから、それぞれ別の溝として掘削したが、同一溝の層位である可能性もある。各溝から出土した遺物は、古代の土師器や須恵器で、8世紀後半～9世紀初頭のころと考えられる。

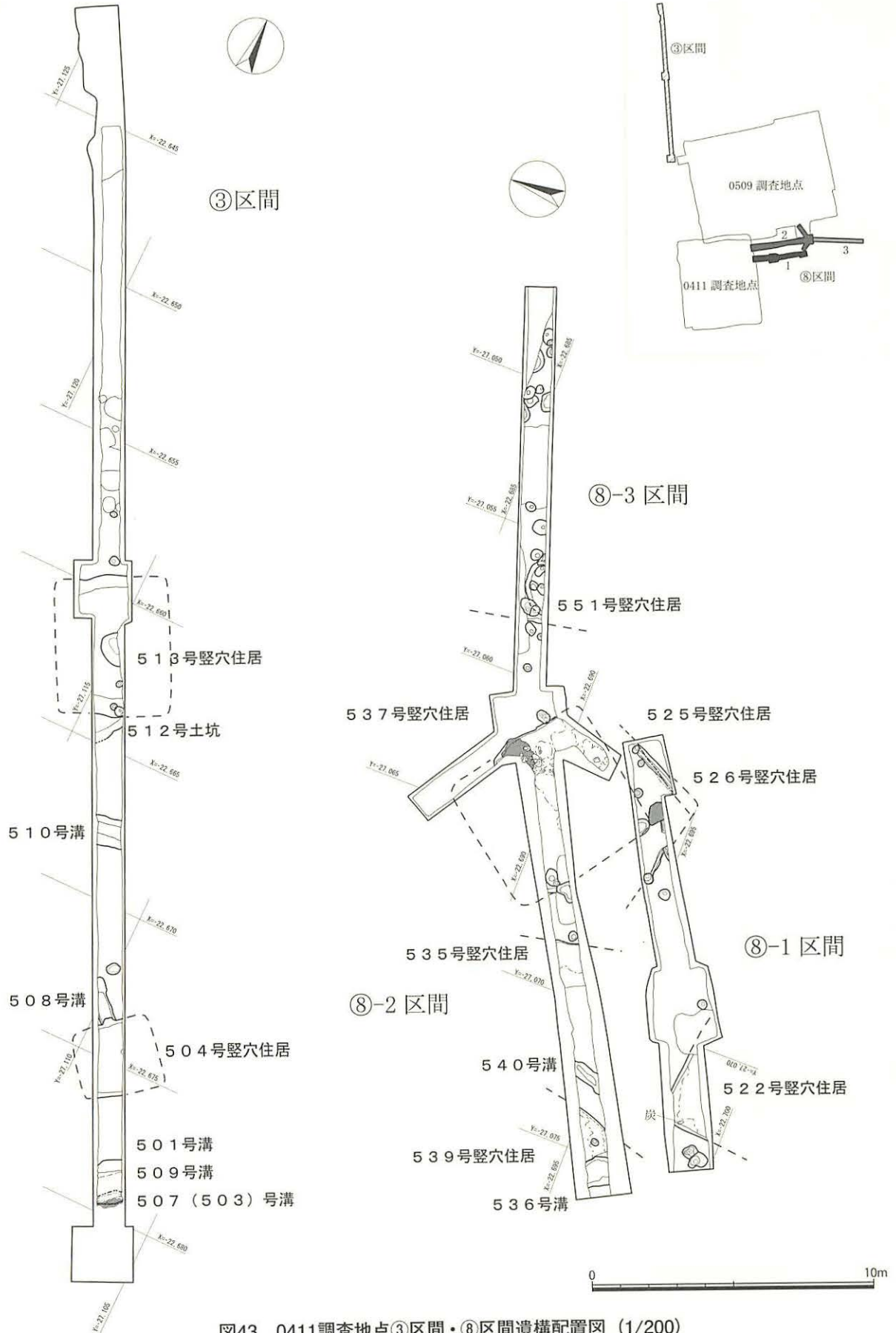


図43 0411調査地点③区間・⑧区間遺構配置図 (1/200)

1. 本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備（0411調査地点）

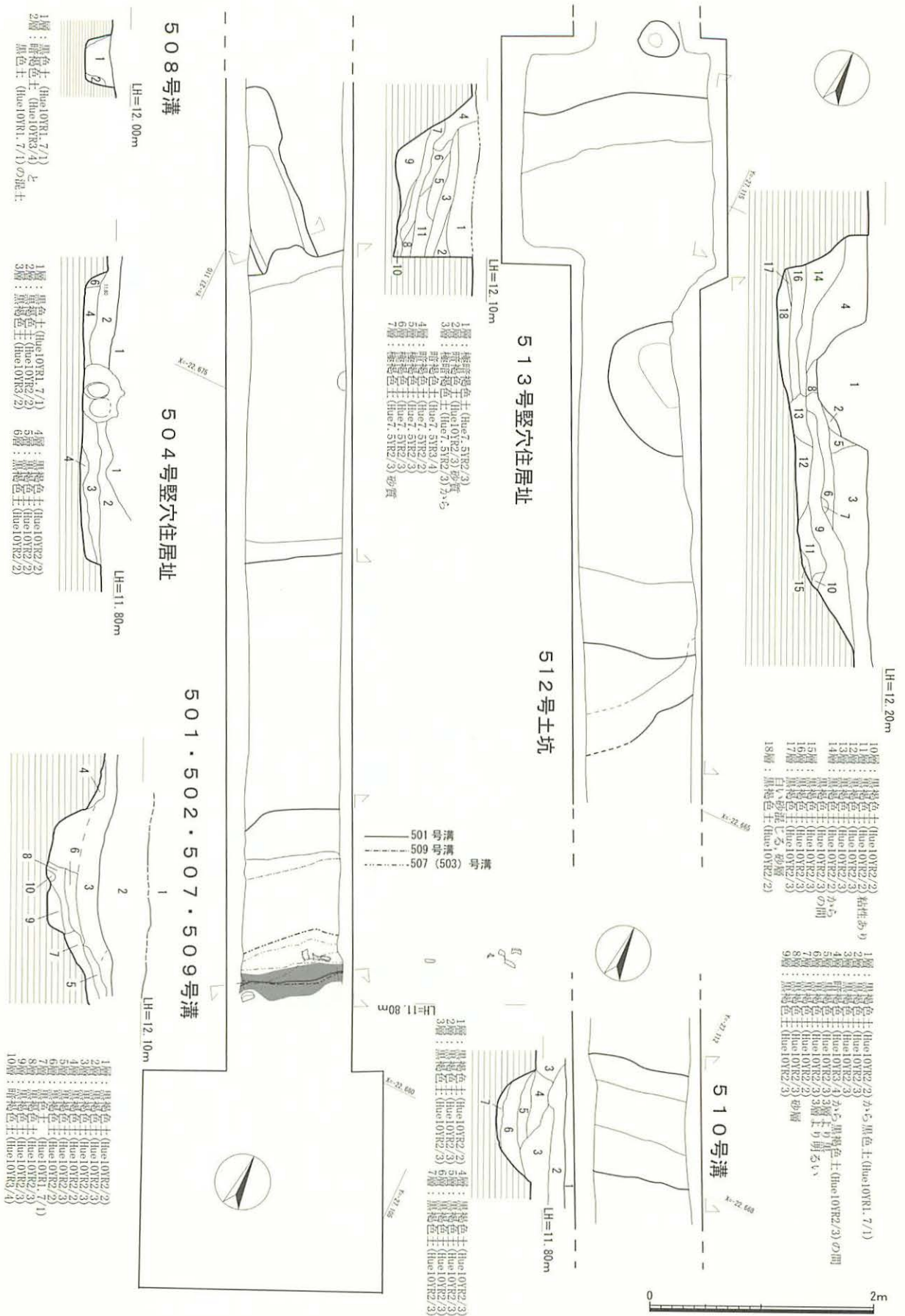


図44 ③区間における遺構実測図・土層断面実測図 (1/50)

508号溝 (図44)

508号溝は、504号竪穴住居の北西壁の中央に接し、そこから北西に伸びる。南側は、504号溝に切られている。現状では、幅約0.5m、深さ約0.25mである。遺物は図化していないが、古式土師器の甕の破片が出土している。

510号溝 (図44)

510号溝は、504号竪穴住居と513号竪穴住居との中間に位置する。調査区を横断しており、おおよそ東西方向を向く。現状では、幅約1m、深さは0.6m程度である。出土遺物は、土師器や須恵器の高坏等がある。7世紀代～8世紀後半のころか。

<その他>**512号土坑?**

512号土坑は、513号竪穴住居の南側に接して検出された。確認できる遺構のプランからは、主軸は北東―南西を向く。大半を513号竪穴住居に切られている。現状では、深さ0.15m前後である。土坑としたが、溝である可能性もある。土師器や須恵器が出土している。

⑧区間

⑧区間は受水槽・ポンプ室本体部分の北東隅から東側へ排水管を敷設する工事を行った区間である。このうち、遺構が確認された範囲について報告する。管路は2本あり、調査順に南側を⑧-1区間、北側西側を⑧-2区間、東側を⑧-3区間とした。以下、遺構の位置については、図43の⑧-1・⑧-2・⑧-3区間の範囲を基準とする。

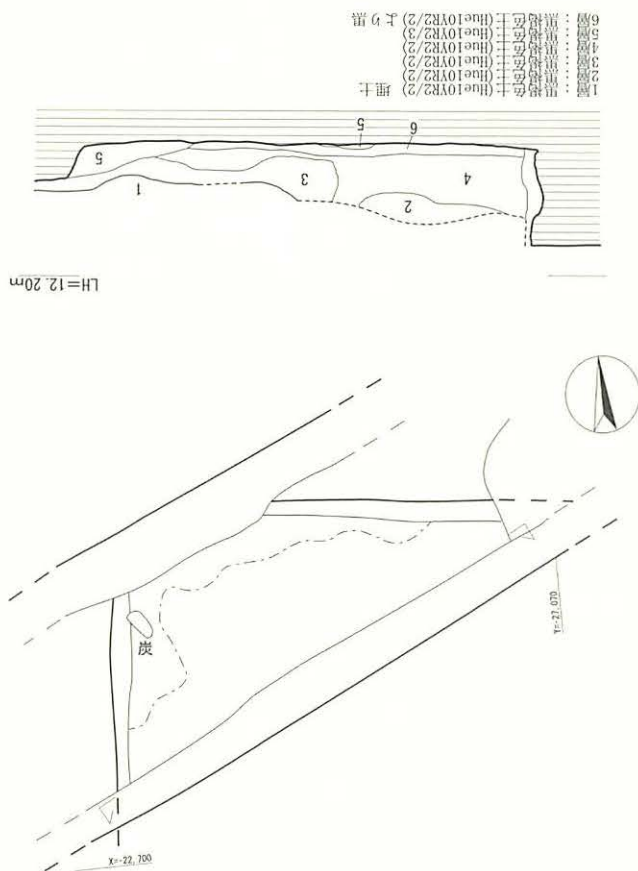
<竪穴住居>**古墳時代****522号竪穴住居 (図45)**

522号竪穴住居は、⑧-1区間の西端で検出した。確認できた北壁と西壁から、住居の主軸は北を向くことが分かる。北壁の東側は、攪乱によって破壊されている。東壁と南壁は調査区外である。現状では、南北1.9m、東西2.5m、深さ0.25mである。住居内には、硬化面が広がっていた。出土遺物には、土師器の甕や壺、高坏がある。古墳時代中期中葉のころと考えられる。

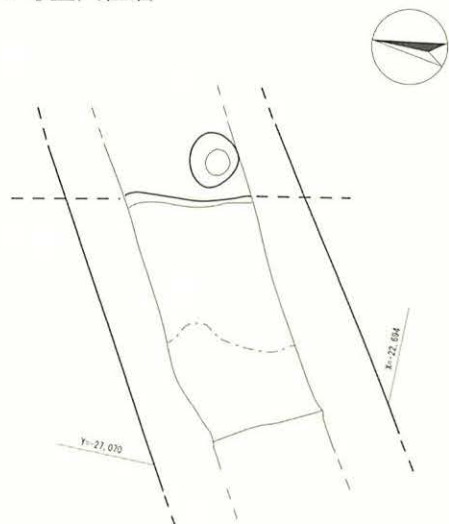
古代**525号・526号竪穴住居 (図46)**

525号・526号竪穴住居は、⑧-1区間の東端で検出された。東南壁と西南壁が確認された。住居の主軸は、北西を向く。住居を精査すると、埋土が異なる住居が重なっていることが判明した。東南壁側で、混入物のないいわゆる古代の包含層の埋土のプランの内側には、やや向きが異なる焼土粒のような混入物の多い埋土が広がっていた。西南側ではプランの違いは確認できなかった。このため、先に内側の焼土粒のような混入物の多い埋土を525号竪穴住居として掘削した。現状で深さは約0.2mである。525号竪穴住居に伴うと考えられる焼土が、住居の南東隅のやや内側で検出された。住居の南東隅に竈が設けられていたと推察される。525号住居の埋土を除去すると、下から古代のきれいな埋土が検出され、これを526号竪穴住居として掘削した。現状では深さ0.2m程度である。掘削すると、

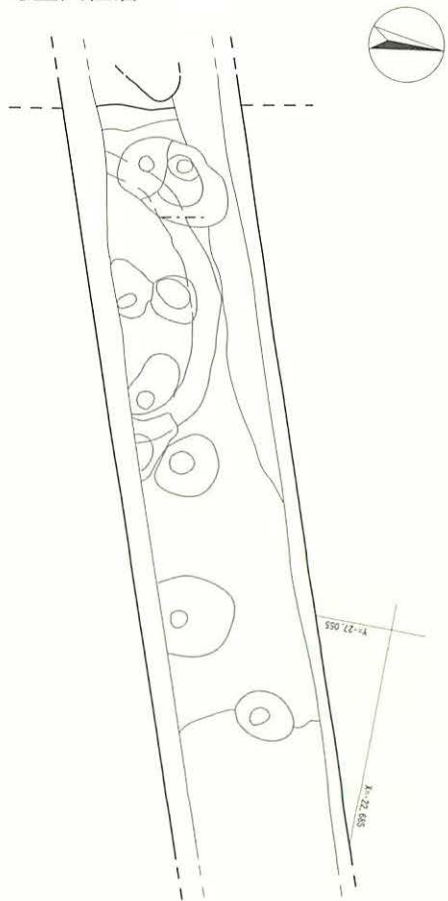
5 2 2号竖穴住居



5 3 5号竖穴住居



5 5 1号竖穴住居



5 3 9号竖穴住居



図45 522号・535号・539号・551号竖穴住居実測図（1/50）

526号住居の壁の内側からは、水切りのためと考えられる、深さ0.1m程の小溝が検出された。525号堅穴住居の出土遺物は、土師器の甑や鉢、壺などがある。526号堅穴住居の遺物には、土師器の甕の口縁部編と細片がある。須恵器はない。

535号堅穴住居 (図45)

535号堅穴住居は、⑧-2Ⅲ区間の中央で検出された。東壁と考えられるプランが南北方向に確認されたため、以西を掘削したところ、硬化面が検出された。住居の主軸は北を向く。東壁から1.6mの地点より西側は攪乱によって破壊されており、西壁は検出されなかった。住居の規模は504号堅穴住居と同規模程度と推察される。現状では深さは0.05mである。出土遺物はない。

537号堅穴住居 (図46)

537号堅穴住居は、⑧-2区間の東端、⑧-3区間との境で検出された。枘設置部分と三叉に管路が広がる部分である。北東壁が確認された。住居の主軸は北東を向く。現状で深さは約0.1~0.15mである。北東壁では竈を検出し、硬化面も確認された。住居全体のプランとしては、525号住居と同一の可能性があげられる。ただし、南西壁の続きが、⑧-2区間の予想される位置で確認されていない。535号住居の北側には、住居と考えられる落ち込みが、確認されている。これが、537号堅穴住居の西南壁に相当する場合は、図46のように一回り小さい住居となる。調査者は後者であると推察する。出土遺物には土師器の高坏や甕、須恵器の蓋や坏などが出土している。7世紀前半と考えられる。

539号堅穴住居 (図45)

539号堅穴住居は、⑧-2区間の西端で検出された。西側は535号堅穴住居と同様に東壁と考えられるプランが南北方向に確認されたため、以西を掘削したところ、硬化した床面が検出された。住居の主軸は北を向き、若干東に振れる。西側は536号溝と攪乱により破壊されている。柱穴が検出されており、4本の柱のうち南東に位置すると考えられ、住居は北西に展開すると推察される。現状で深さは約0.1m程度である。出土遺物は、図化していないが土師器の坏や高坏の脚と思われる細片がある。

551号堅穴住居 (図45)

551号堅穴住居は、⑧-3区間の西側で検出された。堅穴住居の西壁と考えられるが、攪乱により北側を破壊されている。また、東側も攪乱とピットなどとの切合いのため、東壁も確認できず、詳細は不明である。住居の西壁と考えられる立ち上がりより東側、つまり住居内に位置する地点でわずかだが硬化面が検出されているので住居と判断した。現状では、深さは0.05m程である。出土遺物は土師器の甕の口縁部片や胴部片がある。須恵器はない。

<溝> (図43)

536号溝 (図43)

536号溝は、⑧-2区間の西端で検出された。調査区を横断し、北西-南東方向を向く。現状では、幅約1m、深さ0.15~0.2程度である。東側に位置する539号堅穴住居を切っている。出土遺物はない。

540号溝 (図43)

540号溝は、⑧-2区間の中央やや西寄り検出された。539号堅穴住居の東側である。東西方向を

向く。現状では、幅0.5m、深さ0.3m程度である。出土遺物はない。

(4) 出土遺物 (図47～56)

出土遺物は、古式土師器、古代の土師器と須恵器が遺構および包含層から数多く出土した。また、鉄器、石製品、土製品、縄文土器、弥生土器、縄文時代石器も出土している。

174号竪穴住居出土遺物

図47：1～9は174号竪穴住居出土の古式土師器で、高坏と甕、手捏土器の壺（甕？）である。1は杯部の下方に段を残し、全体が直線的に大きく開く。2は、段の痕跡をわずかに残し1よりは丸く深い坏部である。高坏はいずれも脚部を欠く。4は手捏土器で壺もしくは甕を模倣したミニチュアである。5～8は甕である。5は直線的で立ち上がった口縁、6は直線的で大きく開く口縁である。7の口縁は内湾すると考えられ、肩は張らずに下に下がる。8は球形の胴部になると考えられる。古墳時代前期後葉～中期初頭のころであろう。9は墨書のある土師器の碗である。文字は判読できない。上層からの混入である。このほか、写真のみであるが、砥石が1点出土している。

175号竪穴住居出土遺物

図47：10～19は、175号竪穴住居から出土した古式土師器である。坏、高坏、甕などである。10～13は直線的で大きく開く高坏で、10・13は坏の段が明瞭である。14は太鼓状に膨らむ高坏の脚部である。屈曲は急で裾はほとんど浮かない。15はスカート状の高坏の脚部である。16は強く内湾した小型壺の口縁部、17は胴が張った小型壺の胴部である。19は直線的に開く口縁を持つ、倒卵形の甕である。高坏は少し古相を示すが、全体として古墳時代中期前葉のころと考えられる。このほか、写真のみ掲載したが、甌もしくは甕の把手と黒曜石の破片が出土している。これらは混入である。

200号竪穴住居出土遺物

図47：21～34、図48：35～41は、200号竪穴住居から出土した古式土師器と須恵器、土製品である。高坏、小型丸底壺、甕、手捏土器の壺（甕）などである。21～23は大きく開く高坏の坏部で、21は下部の段が顕著である。24・25の高坏の脚は太鼓状には膨らまない。26・27はスカート状の高坏の脚である。もう1個体脚部の写真のみを掲載している。28は手捏土器で壺もしくは甕を模倣したミニチュアである。29～31は小型丸底壺で、29は口縁部が長く立ち上がり、30は内湾するものである。32～34は短く直線的で立ち上がる口縁を持つ甕である。35・36は長く開く口縁を持つ甕で、36は一段屈曲して外に開く。37は内湾気味の口縁に球形の胴部の甕で、布留系と考えられる。38は二重口縁を持つ大きな壺で山陰系と考えられる。同様の壺がもう一個体ある。写真のみ掲載している。古墳時代中期前葉のころと考えられる。39は須恵器蓋の天井部片、40は土錘である。41は甌の把手である。これらは、本来は本住居には伴わない。

207号竪穴住居出土遺物

図48：42～46、図49：47～50は、207号竪穴住居から出土した古式土師器と須恵器である。42・43は高坏で、42の坏部は外反し、下部の段が明瞭である。脚部は太いが太鼓状にはならない。43は内湾気味の坏部で、段の痕跡がある。44は小型丸底壺の胴部である。45～48は甕である。47・48は内湾気味の口縁部で布留系の特徴を示す。46は首から口縁が大きく丸く外反し、ほかの甕よりかなり新しい。

49は土師器の碗である。長い高台がつく。50は須恵器の大甕の胴部片と考えられる。全体として古墳時代前期末～中期初頭のころと考えられる。

120号竪穴住居出土遺物

図49：51～56は、120号竪穴住居から出土した、土師器の坏や甕などである。52は坏で、口縁部が肥厚する。53は小型の壺、54・55は甕である。56は、移動式竈の底としては小さく、形状から甕の鏝の部分と判断した。6世紀後半～7世紀代と考えられる。

165号竪穴住居出土遺物

図49：57は、165号竪穴住居から出土した土師器の甕の胴部である。器壁は厚く、大型である。

33号溝出土遺物

図49：58・59は33号溝出土の土師器の坏と須恵器の碗である。本調査区の北に位置する0509調査地点では、多量の遺物が廃棄されていた。8世紀後半～9世紀前半のころと考えられる。

170号溝出土遺物

図49：60～65は170号溝から出土した土師器の高坏と甕、須恵器の高坏である。61・62の高坏および63の甕は古墳時代前半～中頃、60の高坏と64の甕、65の高坏は7世紀や9世紀の古代の所産のものである。図化しなかったが、多くの遺物が出土した。古式土師器は、本溝が切った古墳時代の175号竪穴住居に属する遺物であろう。

1・2号溝出土遺物

図49：66～69は1号溝と2号溝が結合している部分から出土した遺物である。土師器の坏や甕、甕の把手など6世紀後半以降の遺物である。70は2号溝から出土した須恵器の甕の口縁部と考えられる。このほか、土師器や須恵器の破片が出土している。

3号溝出土遺物

図49：71～76は、3号溝から出土した土師器や須恵器である。71・72は土師器の甕で、7世紀代と9世紀前葉と考えられる。73は須恵器の壺の頸部と考えられる。74・75は須恵器の坏で、8世紀末～9世紀初頭と考えられる。76は須恵器の甕の頸部である。このほか、多くの土師器・須恵器が出土している。

30号溝出土遺物

図50：77～87は30号溝から出土した、土師器と須恵器、土製品である。77～82は土師器の坏や碗で、81の坏の高台は、中実である。82は黒色土器Bである。83は甕の口縁部である。84～87は須恵器の蓋、坏、高坏、甕である。88は不明である。断面はカマボコのように半円で、平面部の半分には刻みがある。8世紀後半～9世紀代の遺物である。古代の遺物は、本来、下位の33号溝に属する遺物である。

177号祭祀跡（？）

図50：89～102、図51：103～108は177号祭祀跡（？）から出土した土師器と須恵器である。89・90

は土師器の坏で、89は屈曲部を持つ模倣坏で7世紀後半のころか。89は半球形の坏である。91～95は土師器の高坏である。91は古式土師器の高坏である。坏部は丸く深みをもち、脚部は太い。96～103は土師器の甕で、103は把手が付く。104～105は土師器の甗である。106は須恵器の坏、107は高坏である。107は長大化した脚部が特徴で、古墳への副葬品として盛行する6世紀後半の特徴をよく示す。108・109は須恵器の甕の口縁部と胴部片である。これらは6世紀後半を中心に7世紀前半のころと考えられる。

その他の遺物

図51：110～130、図52：131～137は、受水槽・ポンプ室本体部分における住居や溝などのほかの遺構、および遺物包含層出土の遺物で、古墳時代や古代の遺物のほか、近世・近代の遺物も出土している。110～112・115～118は第一面で確認したピット出土の遺物である。111は墨書があり、「ふ」と読めるが、その前後の文字は不明である。中世以降と考えられる。113・114は1号溝の中のピットから出土した遺物である。119～137は主に古代の遺物包含層出土の遺物で、古墳時代および古代の土師器や須恵器が多い。128・129は173号粘土および177号祭祀跡(?)の近く、207号竪穴住居の北西隅近くから出土しており、本来は177号祭祀跡(?)の一連の遺物と考えられる。131～137は畝の間や畑跡周辺から出土した遺物である。133は南九州で見られる、坏の底部につく突起と考えられる。134は本来200号竪穴住居に伴う可能性がある。136は、177号祭祀跡(?)から耕作により移動した可能性がある。

504号竪穴住居

図52：138・139は504号竪穴住居から出土した、古式土師器の高坏と甕である。古墳時代中期前葉のころと考えられる。このほか、小型壺の破片が出土している。

513号竪穴住居

図52：140～155は、513号竪穴住居から出土した、土師器と須恵器である。140～146は土師器の坏である。140は口縁部が肥厚し、半球形と模倣坏の中間的な形態である。141は屈曲をもち、口縁部がわずかに外反する。7世末～8世紀初頭と考えられる。145は底面に、細い線刻がある。140・141以外の坏類は、おおむね8世紀中葉～後半のころと考えられる。148は土師器の鍋である。149～152は須恵器の坏で、149は6世紀末葉～7世紀前半、他は8世紀後半のころと考えられる。153は高坏の脚部である。154は牛角状の把手が付いた短頸壺である。155は古式土師器の高坏の脚部であるが、これは混入である。

501・502・507・509号溝出土遺物

図52：156～160は501号溝から出土したもので、このほか501号溝からは土師器や須恵器の細片が出土している。161～162は502号溝から出土、163～164は509号溝から出土した土師器の坏や甕、須恵器の蓋や坏である。8世紀後半～9世紀初頭のころと考えられる。507号溝からは図化していないが土師器の細片が出土している。須恵器はない。

510号溝出土遺物

図52：165は、510号溝出土の須恵器の高坏の脚部である。このほか、図化していないが、土師器の

高坏の脚部や7世紀代と考えられる坏、甕、須恵器の甕の破片等がある。また、写真のみ掲載したが黒曜石製品もあり、溝の掘削時と埋没時における遺物の混入がみられる。

512号土坑？出土遺物

図53：166は512号土坑？から出土した、須恵器の蓋である。器高は高く、つまみはない。7世紀前半のころと考えられる。このほか、土師器の甑かと思われる破片や、須恵器の壺かと思われる破片も出土している。

522号竪穴住居出土遺物

図53：167～169は、522号竪穴住居から出土した古式土師器である。甕の口縁部、小型壺の頸・肩部、高坏の脚部である。古墳時代中期中葉か。このほか、写真のみ掲載したが、用途不明の土製品がある。

525号竪穴住居出土遺物

図53：170～176は、525号竪穴住居から出土した土師器である。170・171は坏、172は小型壺の口縁部である。173～175は甑である。174は173に比べると把手がかなり低い位置につくと考えられる。176は甑の底部に付けられる棧である。7世紀末～8世紀前葉か。

526号竪穴住居出土遺物

図化はしていないが、古式土師器および古代の甕の破片が出土している。

537号竪穴住居出土遺物

図53：177～189は、537号竪穴住居から出土した土師器と須恵器である。177・178は高坏の坏部と脚部、179は坏である。180は壺の口頸部である。181・182は甕の口縁部である。183・184は古式土師器の高坏の坏部と脚部で、これらは混入であろう。185は蓋で、かえりが付いている。186は蓋、187・188は坏と碗、189は甕の口頸部である。このほか、赤色化粧土（丹）で丁寧仕上げされた、高坏の坏部の破片が出土している。7世紀前半のころと考えられる。

その他の遺物

図53：190～194は付帯工事区間のうち、③区間の包含層から出土した遺物である。土師器の坏や甑、須恵器の蓋、坏で8世紀代の遺物である。195～201は⑧区間の包含層出土遺物である。土師器の甕や須恵器の蓋、坏、高坏、甕などである。6世紀後半～7世紀のころと考えられる。図54：202～217は、その他区間の遺物や攪乱出土の遺物である。中世以降の遺物も含まれる。

218～223は金属製品である。218は207号竪穴住居から出土した圭頭鏃である。219は177号祭祀跡(?)で出土した刀子である。220・221はピットから出土した鉄製品である。刀子のようでもあるが不明である。222は、カップ状の青銅製品である。何かの飾り金具かと思われるが、用途は不明である。223は攪乱から出土した寛永通宝である。背面には「文」や「波型」はなく無紋である。224・225は弥生土器の壺の底部である。

226～241は縄文土器である。226は後期後葉の太郎迫式である。227・228は御領式の浅鉢、229・230は御領式の深鉢の口縁部、231・232は胴部である。図55：233は御領式または天城式の深鉢の胴部

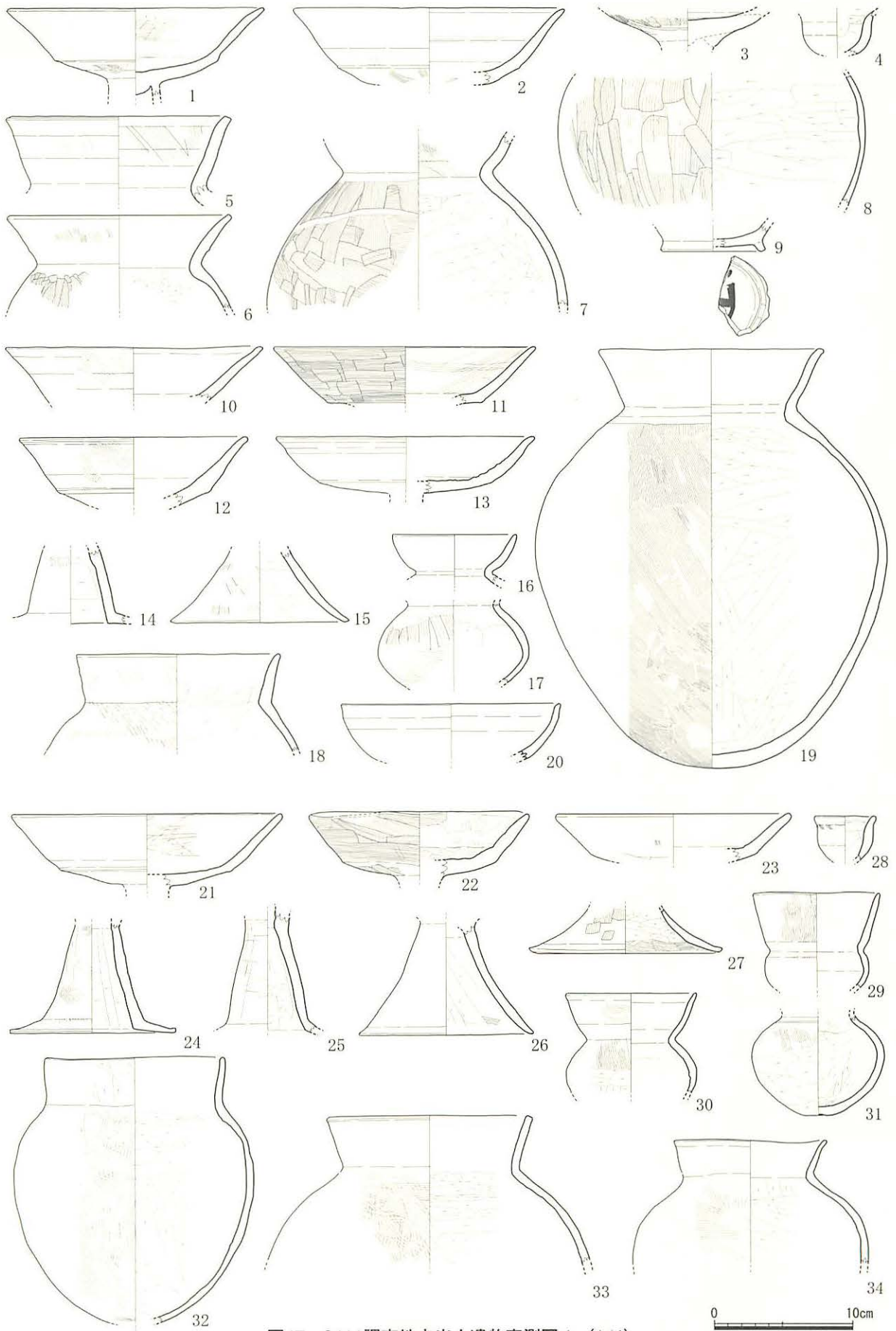


図47 0411調査地点出土遺物実測図1 (1/4)

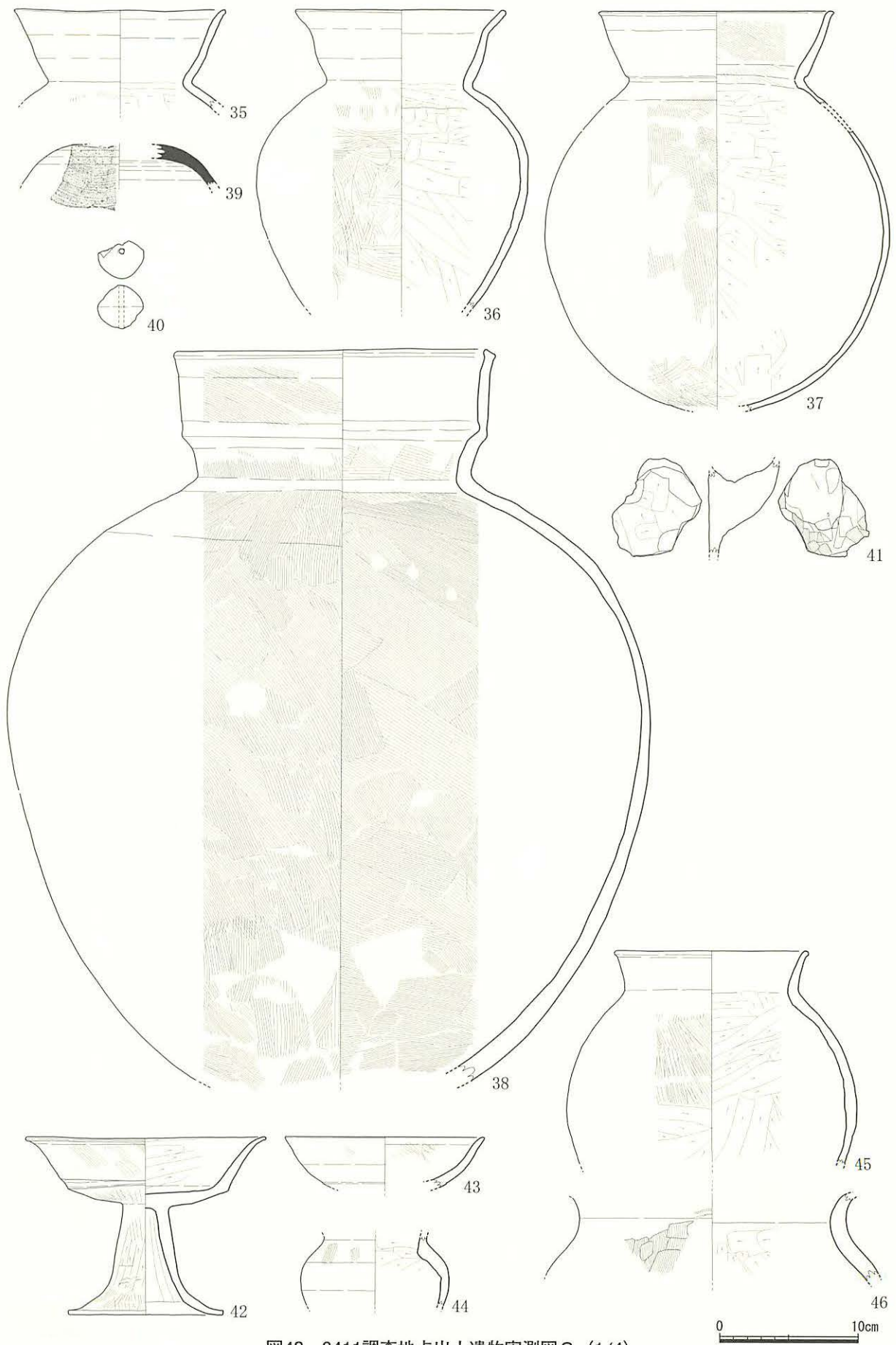


図48 0411調査地点出土遺物実測図2 (1/4)



図49 0411調査地点出土遺物実測図3 (1/4)

1. 本莊団地北地区 (医病) 基幹・環境整備 (0411調査地点)

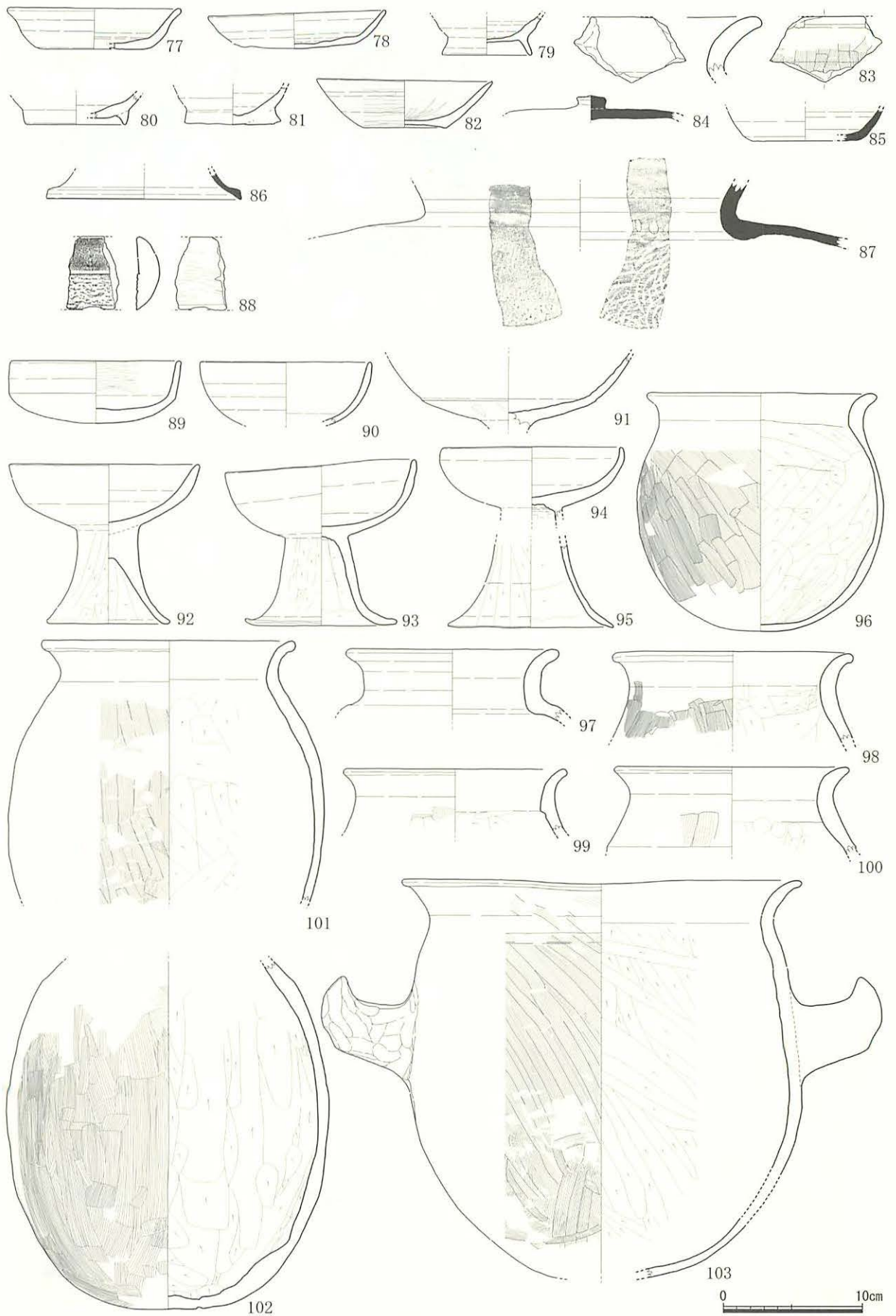


图50 0411調査地点出土遺物実測図4 (1/4)



図51 0411調査地点出土遺物実測図5 (1/4)

1. 本莊団地北地区 (医病) 基幹・環境整備 (0411調査地点)

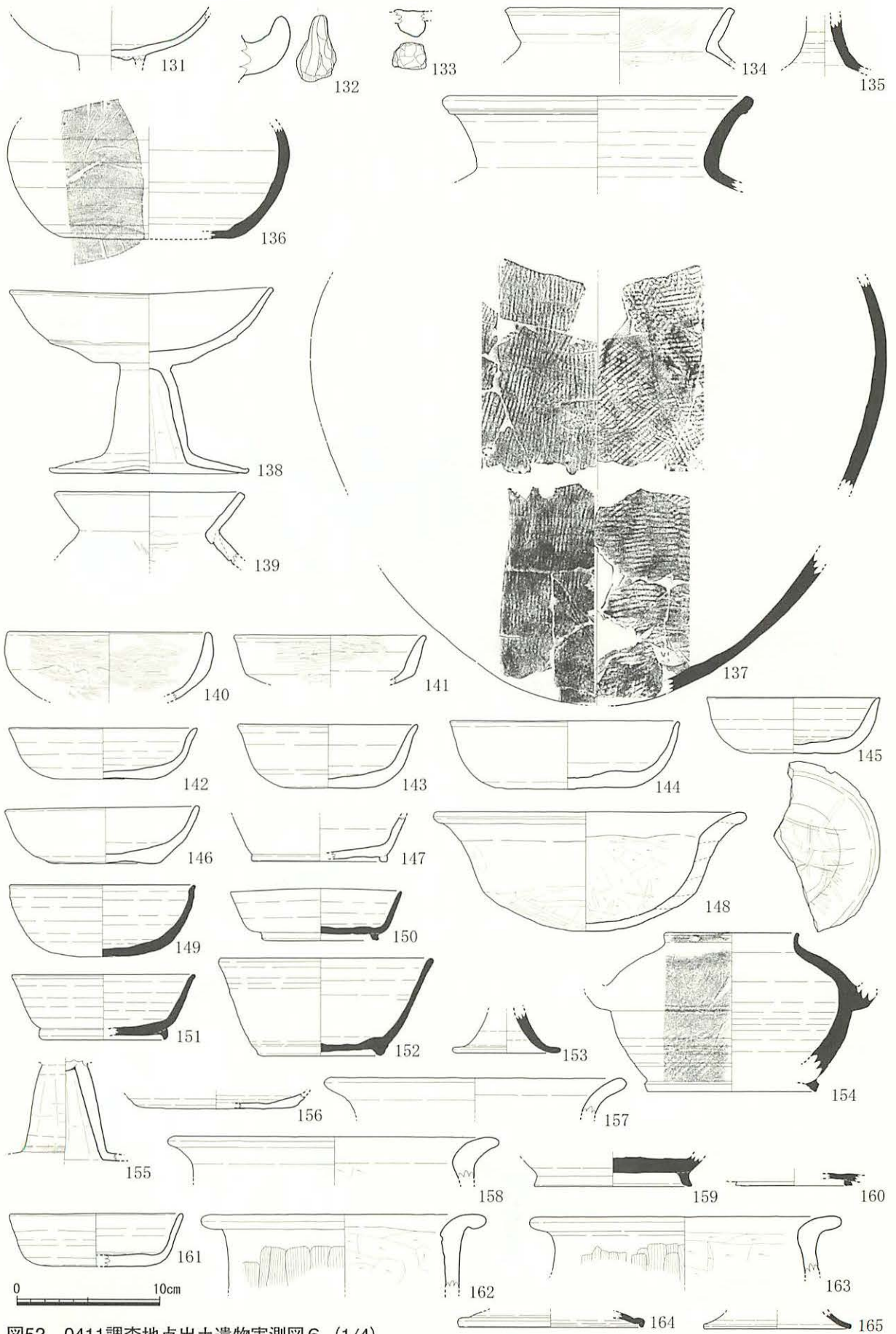


図52 0411調査地点出土遺物実測図6 (1/4)

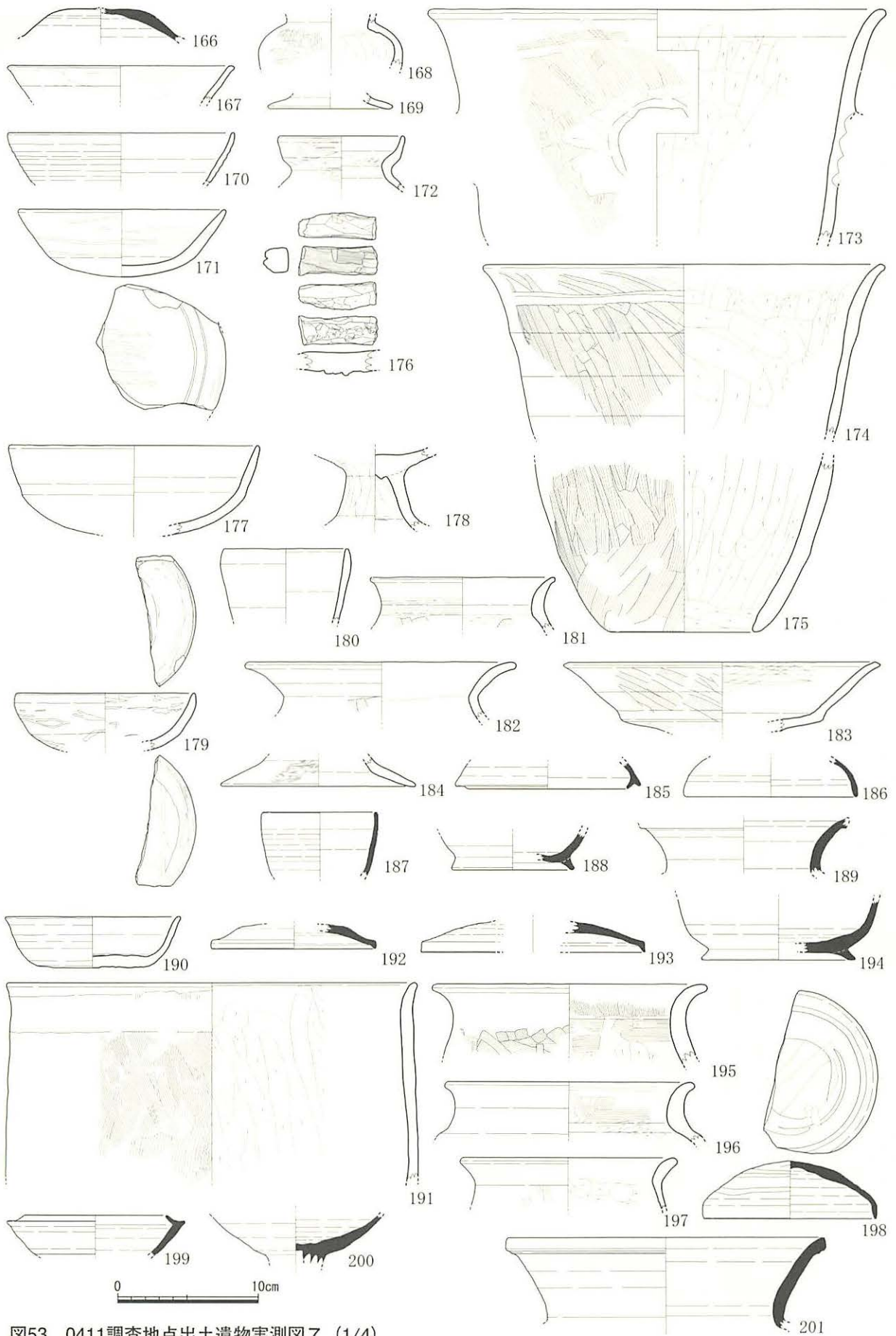


図53 0411調査地点出土遺物実測図7 (1/4)

1. 本莊団地北地区 (医病) 基幹・環境整備 (0411調査地点)

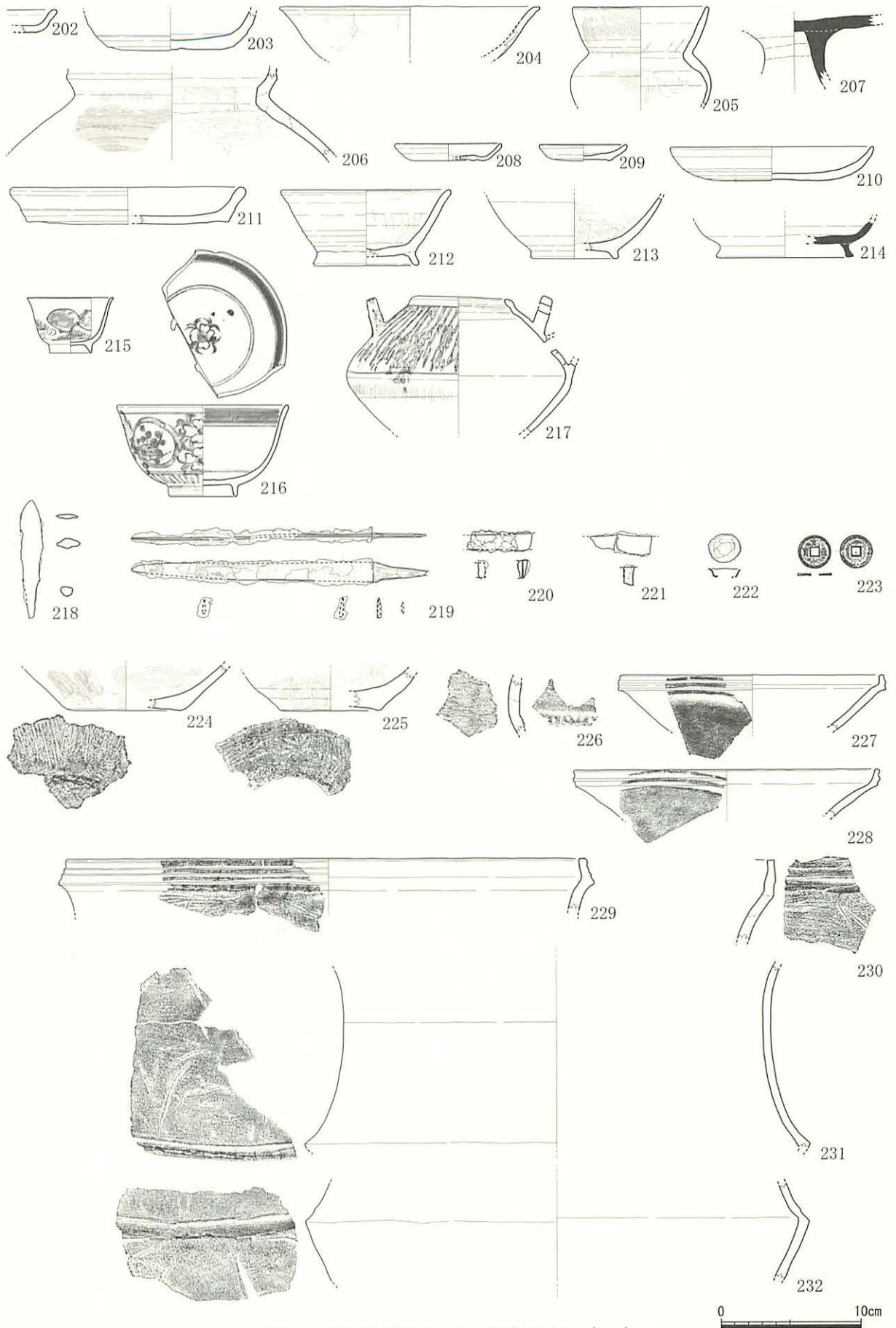


图54 0411調査地点出土遺物実測图8 (1/4)

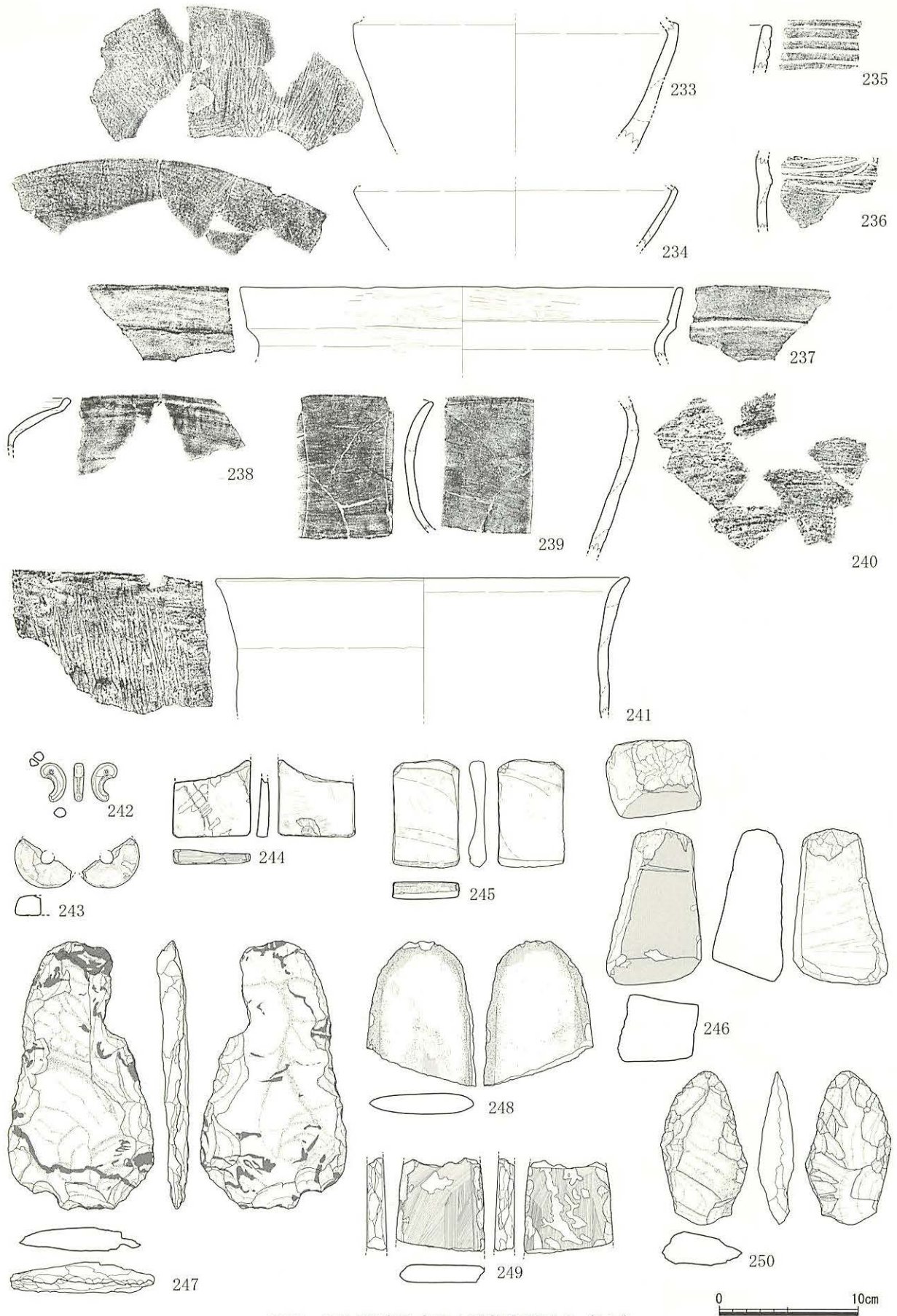


図55 0411調査地点出土遺物実測図9 (1/4)

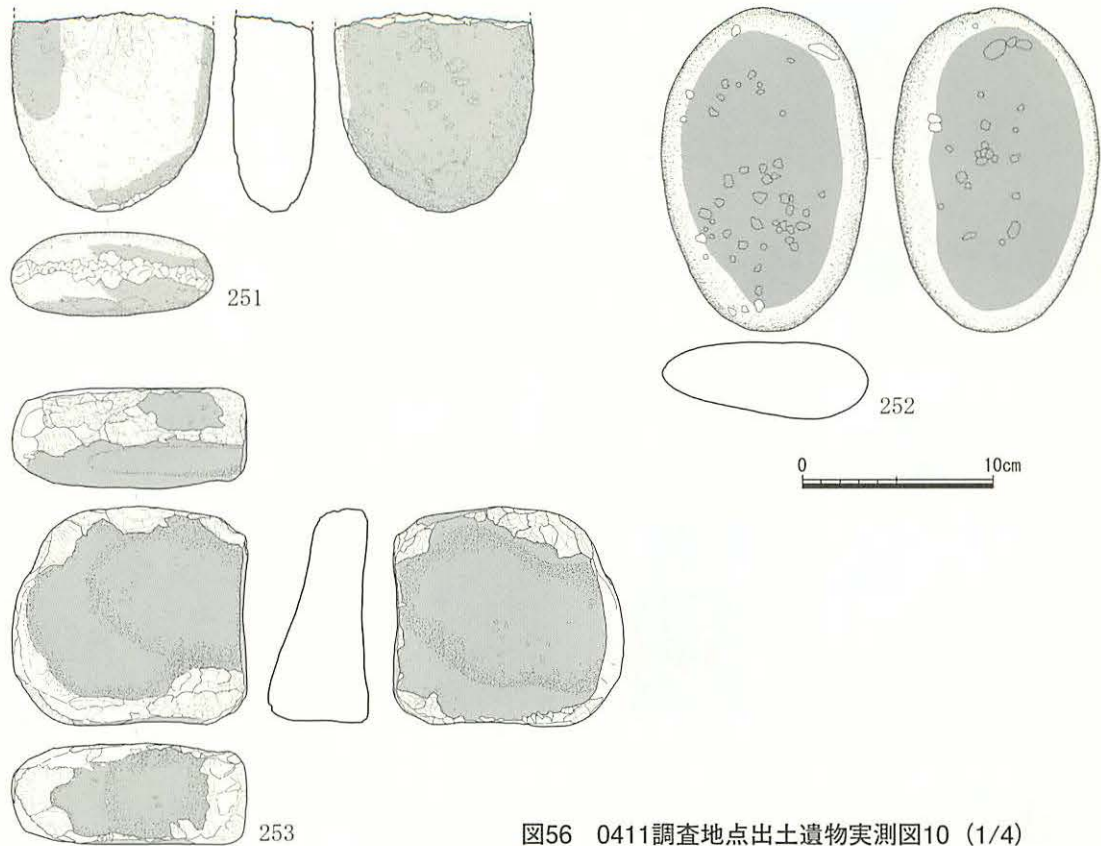


図56 0411調査地点出土遺物実測図10 (1/4)

と考えられる。234は233に類似するが、不明である。後晩期の浅鉢である。235は天城式の深鉢の口縁部である。236・237は古閑式の深鉢の口縁部である。238は古閑式の浅鉢の口縁部である。239は黒川式の鉢の口縁部である。240・241は後期後葉～晩期の鉢であろう。242～250、図56：251～253は石製品・石器類である。242は滑石製の勾玉である。形態からは古墳時代以降のものと考えられる。243は紡錘車、244～246は砥石である。247は打製石斧、248・249は磨製石斧である。250は尖頭器の未製品と考えられる。251・252は磨り石で、253は石皿と考えられる。

(5) まとめ

今回の調査は、本荘北地区を南北に分ける暗渠を境にすると、南側における初めての本格的な調査であった。遺構の深さ・分布状況・内容を把握することができ、その後の0509調査地点ほか周辺での開発と調査において、有用な情報となった。

暗渠北側では、今回検出したような水田の床土状の土層はない。また、先に報告した0509調査地点においても確認されていない。しかし、2004年に実施された本荘中地区における0402調査地点（2007『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅱ』）では、先んじて類似の土層が確認されている。これらの様子から、周辺では本調査区以南で水田が耕作されたと考えられる。2007年に本荘北地区において確認された0707調査地点の古代の水田のように（2011『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅷ』）畦や区画、年代は明確ではない。しかし、10世紀以降の遺物が極めて少なく、この時期から集落ではなく耕作地になった可能性は考えられるだろう。

本荘北地区のなかで、暗渠より北側に掘立柱建物が集中し、暗渠より南では掘立柱建物はほぼ存在しない点を、0509調査地点の報告時に指摘した。本調査地点では、2×2間の掘立柱建物が確認され

たが、北側で確認されるものの規模と比較するとやはり小さい。また、北側の掘立柱建物群の軸はおおむね北を向くのに対し、本調査区の掘立柱建物の軸は、北から大きくずれており、本格的な大型の掘立柱建物の一段階前のものである様相を呈す。古墳時代の住居においては、北側の住居は古墳時代前期末葉～中期前半のものであるが、本調査地点は古墳時代後期末葉～古代への過渡期の住居や遺物の存在が特徴として挙げられる。北側の古墳時代の住居は、白川沿岸からの土地の傾斜に対して垂直方向に住居の軸をとっているが、本調査地点の住居は概ね北になっている。このように、本調査地点の古墳時代の住居は、条里にならった方向性を見せている。精査を経なければならぬが、白川沿いに古代の公的建物群が築造されるようになり、集落は逆に白川から離れるようになったと考えられよう。古墳時代の終わりのころから、白川沿いに公的な建物を整備する方向性があり、集落はそれにならって移動したと考えられる。

本荘地区における発掘調査で、遺構が確認されるのは、古墳時代以降のものである。弥生時代の遺構は、溝が3か所（おそらく同一の溝）で部分的に確認されているほかは、いまだ検出されておらず、遺物もほぼ皆無にちかい。縄文時代は遺構の検出事例はなく、遺物として土器や石器が包含層や後世の遺構、攪乱から散発的に出土するのみである。このような状況から、本荘地区における弥生時代や縄文時代の遺構の検出の可能性は、かなり低いと考えられる。しかし、本調査区においては、縄文土器がある程度まとまった状態で出土した。このようなことはこれまでになかったことである。276号縄文土器群がそれであるが、120号竪穴住居と174号竪穴住居の西側でも縄文土器が集中する傾向にあった。縄文時代の住居の検出は困難な場合が多いが、その際遺物の集中箇所から探ることが有効な手段となっている。本調査区の遺物包含層は、粘性が高くまた、水の作用によると考えられる鉱物の沈着もみられ、水田として利用されたと考えられる。また、畑となった時期もあり、耕作による攪乱や削平の影響は深刻であり、遺存は非常に厳しい状況であったと考えられるが、もう少し縄文時代の遺構に対する注意を払っておけば、把握できた可能性があった。今後を活かす、反省点である。

この調査により得られた成果、特に古墳時代から古代にかけての白川沿岸の土地利用と変遷は、古代肥後におけるもっとも大きな研究課題の一つである、国府の位置と遷移を考える上で、有用な情報になるだろう。

【主要参考文献】

- 網田龍生 1994「奈良時代肥後の土器」『先史学・考古学論究Ⅰ』197-254 龍田考古会
 網田龍生 2003「古代荒尾産須恵器と宇城三須恵器」『先史学・考古学論究Ⅳ』357-386 龍田考古会
 久住猛雄 1999「北部九州における庄内式並行期の土器様相」『庄内式土器研究ⅩⅩⅠ』庄内式土器研究会
 熊本市教育委員会 1989『大江遺跡群Ⅰ』
 熊本市教育委員会 2009『戸坂遺跡Ⅱ』
 熊本大学埋蔵文化財調査室 2010『熊本大学構内遺跡発掘調査報告書Ⅵ』熊本大学埋蔵文化財調査報告書第6集
 熊本大学埋蔵文化財調査室 2014『熊本大学構内遺跡発掘調査報告書ⅩⅠ』熊本大学埋蔵文化財調査報告書第10集
 重藤輝幸 2009「古墳時代中・後期の筑前・筑後地域の土師器」『地域の考古学』佐田茂先生佐賀大学退任記念論文集 佐田茂先生論文集刊行会
 杉井 健 1998「古代における竈の変質」『古代中世の社会と国家』大阪大学文学部日本史研究室創

立五〇周年記念論文集上巻

- 杉井 健 1999「熊本県における甗形土器と竈の普及 - 熊本県出土甗形土器・造り付け竈・移動式竈の集成 -」『文学部論叢』65巻 熊本大学文学部
- 檀 佳克 2011「古墳時代史の枠組み」『古墳時代の考古学』1 同成社
- 林田和人 2002「肥後における中・後期の様相」『古墳時代中・後期の土師器 - その編年と地域性 -』第5回 九州前方後円墳研究会発表資料
- 福田匡朗 2012「白川流域における古墳時代初頭前後の土器編年」『熊本古墳研究』第5号

表9 0411調査地点出土遺物一覧表

図番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考		
47	1	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高	18.6	約1/3	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR5/6	174号竪穴住居No1	内外面にスス付着
	2	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高	9.7	口縁部片	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 10YR7/4	174号竪穴住居	
	3	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高		1/3	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	174号竪穴住居No7	赤色化粧土
	4	ミニチュア 土器	壺	口径 底径 器高		胴部片	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 2.5Y5/2 外：Hue 10YR7/4	174号竪穴住居	スス付着
	5	古式土師器	甕	口径 底径 器高	16.2	口縁部片	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 5YR7/6 外：Hue 7.5YR6/4	174号竪穴住居ベルト	
	6	古式土師器	甕	口径 底径 器高	16.1	口縁～胴部片	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 5YR5/4 外：Hue 10YR7/4	175号竪穴住居ベルト	外面にスス付着 赤色化粧土
	7	古式土師器	甕	口径 底径 器高		頸部～胴部片	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 2.5Y5/2 外：Hue 10YR7/4	174号竪穴住居No9	スス付着
	8	古式土師器	甕	口径 底径 器高		胴部片	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 10YR5/1 外：Hue 10YR2/1	174号竪穴住居No2	スス付着
	9	土師器	碗	口径 底径 器高	7.6	底部片	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 7.5YR8/4 外：Hue 7.5YR8/3	174号竪穴住居-3	墨書(判読不明) 赤色化粧土
	10	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高	18.4	坏部約1/4	内：回転ナデ, ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	170号溝(175号竪穴住居内), 175号竪穴住居・ベルト・No2・No21	
	11	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高	19.0	1/5	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR6/4	175号竪穴住居No16	
	12	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高	16.4	口縁部片	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, ハケ目	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	175号竪穴住居	外面一部にスス付着
	13	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高	18.7	口縁～底部 1/3以上	内：回転ナデ 外：回転ナデ, ハケ目	内：Hue 2.5YR5/6 10YR6/4 外：Hue 10YR6/4	175号竪穴住居 東半層下(VII層土)	内面赤色化粧土、摩滅 大粒の砂子を多く含む
	14	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高		脚部片	内：削り 外：回転ナデ, ハケ目	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR5/3	175号竪穴住居	外面に黒斑あり
	15	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高	(12.8)	脚部片	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, ハケ目	内：Hue 10YR6/3 外：Hue 10YR7/4	175号竪穴住居	
	16	古式土師器	小型丸底壺	口径 底径 器高	(8.2)	口縁～頸部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR7/4	175号竪穴住居	
	17	古式土師器	小型壺	口径 底径 器高		頸～胴部片	内：回転ナデ, ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 10YR8/4 外：Hue 10YR7/4	175号竪穴住居	
	18	古式土師器	甕	口径 底径 器高	15.7	口縁～頸部片	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, ハケ目	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	175号竪穴住居No3・No4・No5・No19	成形粗雑
	19	古式土師器	甕	口径 底径 器高	16.3 30.3	5/6	内：回転ナデ, ナデ, 削り 外：回転ナデ, ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	175号竪穴住居No7・9・11・12・13・14・22・23, 175号竪穴住居	内外面にスス付着
	20	古式土師器	坏	口径 底径 器高	16.0	口縁部片	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 10YR8/3 外：Hue 10YR8/4	175号竪穴住居-1 175号竪穴住居-4	
	21	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高	19.4	約1/2	内：回転ナデ, 削り, 磨き 外：回転ナデ, 削り, 磨き	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	200号竪穴住居No23・No30・No31・No36 200号竪穴住居, 200号竪穴住居付近	外面にスス付着
	22	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高	16.1	1/4	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 2.5Y4/2	200号竪穴住居上層 200号竪穴住居No25 200号竪穴住居	スス付着
	23	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高	18.3	口縁部片	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 10YR5/3	200号竪穴住居上層 200号竪穴住居	
	24	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高	11.9	脚部1/2	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 10YR6/6 外：Hue 10YR6/6	200号竪穴住居No60	底部一部にスス付着
	25	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高		脚部片	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, 削り, ハケ目後ナデ消し	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 10YR6/4	200号竪穴住居No5	
	26	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高	12.8	1/2	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, ナデ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR7/6	200号竪穴住居 200号竪穴住居上層	
	27	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高	14.0	底部片	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 10YR6/3 外：Hue 10YR7/4	97号竪-東 200号竪穴住居上層 200号竪穴住居	

1. 本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備（0411調査地点）

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
47	28	ミニチュア土器	甕	口径 4.5 底径 器高	1/4	内：回転ナデ、削り、ハケ目 外：回転ナデ、削り、ハケ目	内：Hue 7.5YR6/1 外：Hue 10YR7/3	200号竪穴住居	スス付着
	29	古式土師器	小型丸底壺	口径 9.2 底径 器高	1/4	内：回転ナデ、ナデ、削り 外：回転ナデ、削り、ハケ目	内：Hue 7.5YR5/6 外：Hue 7.5YR5/6	200号竪穴住居	
	30	古式土師器	小型丸底壺	口径 9.5 底径 器高	1/4	内：回転ナデ、ナデ、削り 外：回転ナデ、削り、ハケ目	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/6	200号竪穴住居 200号竪穴住居上層 200号竪穴住居付近	赤色化粧土
	31	古式土師器	小型丸底壺	最大径9.6 底径 2.0 器高	1/4	内：回転ナデ、ナデ、削り、ハケ目 外：回転ナデ、ナデ、削り	内：Hue 10YR6/6 外：Hue 10YR7/4	200号竪穴住居No18 200号竪穴住居No42 200号竪穴住居	一部黒変
	32	古式土師器	甕	口径 13.0 最大胴部径 17.0 器高	約2/3	内：ナデ、削り 外：ナデ、削り、ハケ目	内：Hue 2.5Y6/3 外：Hue 2.5Y6/3	200号竪穴住居 200号竪穴住居上層 200号竪穴住居付近 清掃	内外面一部にスス付着
	33	古式土師器	甕	口径 15.0 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、ハケ目	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR7/4	200号竪穴住居No30・No49 200号竪穴住居	外面にスス付着
	34	古式土師器	甕	口径 11.0 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ、ナデ、削り 外：回転ナデ、ナデ、ハケ目	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/4	100号畝東 200号竪穴住居 200号竪穴住居No13	
48	35	古式土師器	甕	口径 15.0 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、ハケ目	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR5/4	200号竪穴住居上層 200号竪穴住居	内外面一部にスス付着
	36	古式土師器	甕	口径 15.3 底径 器高	3/4	内：回転ナデ、削り、指オサエ 外：回転ナデ、ナデ、ハケ目	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	200号竪穴住居No20・No21・No61・No63 200号竪穴住居	内外面にスス付着
	37	古式土師器	甕	口径 17.0 底径 器高	約1/2	内：指ナデ、削り、ハケ目 外：指オサエ、指オサエ、ハケ目、磨き	内：Hue 10YR5/1 10YR7/3 外：Hue 10YR6/4	200号竪穴住居	器壁が薄い
	38	古式土師器	大壺	口径 23.2 底径 器高 46.4	3/5	内：ヨコナデ、ハケ目、指オサエ 外：ヨコナデ、ハケ目	内：Hue 10YR5/3 外：Hue 10YR5/3	98・99・100・100東・102・103・136号畝、200号竪穴住居No3.11.12.14.15.24.38.42.44.48.51.52.東半Ⅶ層、西半Ⅶ層、西半畑出し、北半Ⅳ層、中央東壁攪乱、中央西半Ⅶ下半、攪乱、畑ベルト	黒斑あり
	39	須恵器	蓋	口径 底径 器高	天井部片	内：回転ナデ、ハケ目 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5Y6/1 外：Hue 5Y5/1	200号竪穴住居No41	
	40	土師器	土鏡	長さ 3.1 幅 3.25 厚さ	1/2	内：棒抜き取り 外：ナデ、削り	内： 外：Hue 10YR6/4	200号竪穴住居	スス付着
	41	土師器	甕	口径 底径 器高	把手	内：回転ナデ、削り 外：ナデ、削り、ハケ目	内：Hue 7.5YR8/3 外：Hue 7.5YR7/4	200号竪穴住居No33	
	42	古式土師器	高坏	口径 17.2 底径 11.0 器高 12.8	4/5	内：回転ナデ、ナデ、削り 外：回転ナデ、削り、ハケ目	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	207号竪穴住居No1	外面一部にスス付着
	43	古式土師器	高坏	口径 14.4 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ、削り、ハケ目 外：回転ナデ、削り、ハケ目	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR7/6	207号竪穴住居	
	44	古式土師器	小型丸底壺	口径 底径 器高	1/4	内：回転ナデ、削り、頸部一部ハケ目 外：回転ナデ、削り、一部ハケ目	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	207号竪穴住居 調査区南西隅-3	一部赤色化粧土
	45	古式土師器	甕	口径 14.0 底径 器高	約1/6	内：回転ナデ、ナデ、削り 外：回転ナデ、ナデ、削り、ハケ目	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	207号竪穴住居No14・15・21・22 207号竪穴住居ベルト下一括	外面一部にスス付着
	46	土師器	甕	口径 底径 器高	頸～胴部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り、ハケ目	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	207号竪穴住居	赤色化粧土
49	47	古式土師器	甕	口径 16.2 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ、削り、ハケ目 外：回転ナデ、ナデ、ハケ目	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/6	207号竪穴住居No13	外面一部にスス付着
	48	古式土師器	甕	口径 16.5 底径 器高	約3/5	内：ナデ、ヨコナデ、ハケ目後ヨコナデ、ヨコナデ後ヘラ状工具痕、削り、指オサエ 外：ヨコナデ、ハケ目、ハケ目後ヘラ磨き	内：Hue 5YR5/4 外：Hue 10YR5/3	207号竪穴住居No5・6・8・12	
	49	土師器	碗	口径 8.6 底径 器高	底部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR8/4	207号竪穴住居	
	50	須恵器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ、指オサエ、平行タタキ 外：平行タタキ後カキ目	内：Hue N4/0 外：Hue 5Y6/1	207号竪穴住居No3	109と同一個体の可能性
	51	土師器	蓋	口径 底径 器高	天井部片	内：ナデ 外：手持ちヘラ削り	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	120号竪穴住居	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
49	52	土師器	坏	口径 底径 器高 15.7	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 2.5YR4/8 外: Hue 2.5YR4/8	120号竪穴住居	赤色化粧土(丹か)
	53	土師器	小型壺	口径 底径 器高	胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y4/1 外: Hue 2.5Y4/1	120号竪穴住居	
	54	土師器	甕	口径 底径 器高 21.9	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 5YR7/6	120号竪穴住居No1	
	55	土師器	甕	口径 底径 器高 16.2	1/5	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 10YR4/2 外: Hue 2.5Y3/2	72号ピット 120号竪穴住居カマドNo 2、竈内	
	56	土師器	甕	口径 底径 器高	頸部分	内: ハケ目 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目, 指オサエ	内: Hue 7.5YR8/4 外: Hue 7.5YR7/4	120号竪穴住居No7	下面スス付着
	57	土師器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR6/4	165号竪穴住居上の壁	赤色化粧土
	58	土師器	坏	口径 底径 器高 (12.4)	底部片	内: 回転ナデ, 回転ヘラ磨き 外: 回転ナデ, 回転ヘラ磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	33号溝 (30号溝内)	内外面赤色化粧土
	59	須恵器	碗	口径 底径 器高 12.8	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y7/1	33号溝 (30号溝内)	
	60	土師器	高坏	口径 底径 器高 14.7	口縁部片	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR7/6	170号溝	
	61	土師器	高坏	口径 脚部径 器高 5.2	脚部片	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR5/4 外: Hue 10YR6/4	170号溝北(住居より 北)	
	62	土師器	高坏	口径 底径 器高 12.8	約1/3	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	170号溝	
	63	土師器	甕	口径 底径 器高 16.0	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 10YR6/4	170号溝	内外面一部にスス付着
	64	土師器	甕	口径 底径 器高 31.5	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	170号溝	
	65	須恵器	高坏	口径 底径 器高 8.1	1/2	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 2.5Y6/2	170号溝	自然釉が全面に付着、炭化物? 付着
	66	土師器	坏	口径 底径 器高 (6.1)	底部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	1・2号溝結合部	底部に粘土切り離し痕あり
	67	土師器	甕	口径 底径 器高 (15.2)	口縁～頸部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 指オサエ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	1・2号溝結合部(ベルト 西側)	
	68	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 5YR6/4 10YR4/2 外: Hue 5YR5/4	1・2号溝結合部(ベルト 西側)	内面にスス付着
	69	土師器	甕	口径 底径 器高	把手	内: 回転ナデ, 削り, ハケ目 外: ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR7/4	1・2号溝結合部(ベルト 西側)	内面にスス付着
	70	須恵器	甕	口径 底径 器高 17.8	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y7/3 外: Hue 2.5Y6/4	2号溝	
	71	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁～頸部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	3号溝西ベルト西側	
	72	土師器	甕	口径 底径 器高	頸～胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	3号溝	石粒を多く含む
	73	須恵器	壺	口径 底径 器高	頸部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y7/2 外: Hue 5Y7/1	3号溝西ベルト西側	
	74	須恵器	坏	口径 底径 器高 12.0 7.6 3.5	2/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 5Y7/1	3号溝底	
	75	須恵器	坏	口径 底径 器高 12.4 6.9 3.65	2/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 5Y6/1	3号溝西ベルト西側	
	76	須恵器	甕	口径 頸部径 器高 24.4	頸部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 7.5Y7/1	3号溝西ベルト西側	外面に自然釉あり
	50	77	土師器	坏	口径 底径 器高 12.4 8.1 2.95	1/5	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR5/6	30号溝3層
78		土師器	坏	口径 底径 器高 12.9 8.2 2.8	3/5	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR5/6	30号溝3層	赤色化粧土
79		土師器	碗	口径 底径 器高 6.6	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 7.5YR7/4	30号溝2層	赤色化粧土
80		土師器	碗	口径 底径 器高 7.0	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/4	30号溝3層	底面・外面にスス付着

1. 本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備（0411調査地点）

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
50	81	土師器	碗	口径 底径 器高 6.9	底部～胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ（底部）、 回転ヘラ切り 離し後指ナデ	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/4	30号溝3層	内盤状（充実）高台 底部・外面にスス附着
	82	黒色土器 （B類）	坏	口径 底径 器高 12.9 6.0 3.5	4/5	内：回転ナデ、磨き 外：回転ナデ、削り、 磨き	内：Hue 10Y2/1 外：Hue 5YR6/6	30号溝3層	内面全面にスス附着 外面に赤色化粧土
	83	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁～頸部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ、ハケ目	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR7/4	30号溝3層	
	84	須恵器	蓋	口径 底径 器高	1/3	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 5Y7/2 外：Hue 5Y8/2	30号溝3層	
	85	須恵器	坏	口径 底径 器高 7.5	底部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 2.5Y6/2 外：Hue 5Y7/1	30号溝3層	
	86	須恵器	高坏	口径 底径 器高 14.0	脚部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue N6/0 外：Hue 7.5Y6/1	30号溝（北）1層	内面に自然釉あり
	87	須恵器	甕	口径 頸部径 器高 22.6	頸部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り、 タタキ	内：Hue N6/0 外：Hue 10YR4/2	30号溝2層	外面に自然釉あり
	88	瓦質土器	不明	口径 底径 器高	不明	内：ナデ 外：磨き	内：Hue 10YR5/4 外：Hue 10YR5/4	30号溝西壁土	刻み目あり
	89	土師器	坏	口径 底径 器高 12.3 4.5	4/5	内：回転ナデ、削り、 磨き 外：回転ナデ、削り、 磨き	内：Hue 5YR5/8 外：Hue 5YR5/8	177号祭祀跡No4	内外面一部にスス附着 赤色化粧土
	90	土師器	坏	口径 底径 器高 12.4	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 2.5Y5/6 外：Hue 5Y6/6	177号祭祀跡No8	スス附着 赤色化粧土
	91	古式土師器	高坏	口径 底径 器高	坏部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 2.5YR6/6	177号祭祀跡No11	赤色化粧土
	92	土師器	高坏	口径 底径 器高 13.7 8.8 11.5	5/6	内：回転ナデ、ナデ、 削り 外：回転ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 2.5YR6/6	177号祭祀跡No9	赤色化粧土
	93	土師器	高坏	口径 底径 器高 13.8 11.0 12.0	4/5	内：回転ナデ、削り、 磨き 外：回転ナデ、削り、 磨き	内：Hue 2.5YR5/6 外：Hue 2.5YR5/6	177号祭祀跡No4・No8,6 層、南西隅7層下げ、南 西隅清掃、清掃硬化面 土、173号粘土	全面赤色化粧土（丹） 内外面一部にスス附着
	94	土師器	高坏	口径 底径 器高 13.2	1/3	内：回転ナデ、ナデ、 磨き 外：回転ナデ、削り、 磨き	内：Hue 2.5YR5/6 外：Hue 2.5YR5/6	177号祭祀跡No5	全面赤色化粧土（丹）
	95	土師器	高坏	口径 底径 器高 12.2	約1/3	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	177号祭祀跡	赤色化粧土
	96	土師器	甕	口径 底径 器高 16.7 4.9 17.25	3/4	内：回転ナデ、削り、 ハケ目 外：回転ナデ、削り、 ハケ目	内：Hue 10YR8/4 外：Hue 5YR7/8	174号壺穴住居No40 177号祭祀跡No4	スス附着 赤色化粧土
	97	土師器	甕	口径 底径 器高 15.6	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 2.5YR5/6 外：Hue 2.5YR5/6	177号祭祀跡No5	赤色化粧土（丹か）
	98	土師器	甕	口径 底径 器高 17.5	口縁部片	内：回転ナデ、削り、 ハケ目 外：回転ナデ、削り、 ハケ目	内：Hue 5YR7/6 外：Hue 7.5YR6/4	1-3号溝・Ⅴ層上層西、 Ⅵ層西、177号祭祀跡No 14,15,1・2号溝結合部 （バルト西側）	
	99	土師器	甕	口径 底径 器高 14.4	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り、 ハケ目	内：Hue 5YR7/6 外：Hue 7.5YR6/4	177号祭祀跡No14	
	100	土師器	甕	口径 底径 器高 17.1	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り、 ハケ目	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 5Y7/6	177号祭祀跡No8	内面指頭圧痕
101	土師器	甕	口径 底径 器高 18.2	口縁～胴部	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、ハケ目	内：Hue 5YR6/4 5YR6/6 外：Hue 5YR6/4 5YR6/6	177号祭祀跡No10	外面一部にスス附着	
102	土師器	甕	口径 底径 器高 11.2	1/2	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り、 ハケ目	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 5YR6/6	177号祭祀跡No6	スス附着	
103	土師器	甕	口径 底径 器高 29.2	5/6	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り、 ハケ目、指オサエ	内：Hue 7.5YR5/4 外：Hue 7.5YR5/6	177号祭祀跡No10、Ⅵ層、 Ⅵ層南側、南西隅清掃	内外面にスス附着	
51	104	土師器	瓶	最大径 底径 器高 45.3	胴部	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り、 ハケ目	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR7/6	177号祭祀跡No6	内面摩耗
	105	土師器	瓶	口径 底径 器高 14.9	底部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り、 ハケ目	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	177号祭祀跡No3 西南隅清掃	内面摩耗している 内外面スス附着
	106	須恵器	坏	口径 底径 器高 7.1	1/3	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 2.5Y6/2	177号祭祀跡No8	
	107	須恵器	高坏	口径 底径 器高 11.3 13.5 16.1	完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y6/1 外：Hue 2.5Y5/1 5Y5/1	177号祭祀跡No1	内面に絞り痕あり 脚部内外面に自然釉あり
	108	須恵器	甕	口径 底径 器高 24.2	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 5Y6/1 外：Hue N3/0	177号祭祀跡No12	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
51	109	須恵器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内: 平行タタキ (当て具痕) 外: 平行タタキ後カキ目	内: Hue N4/0 外: Hue 2.5Y6/1	1・2号溝結合部(ベルト西部) 177号祭祀跡№13	50と同一個体の可能性
	110	陶器	すり鉢	口径 底径 器高 10.9	底部片	内: すり目 外: 削り, 高台削り出し	内: Hue 5YR3/1 外: Hue 5YR2/1 10YR4/3	20号ビット	褐釉(黒褐色)後褐色釉 高台に砂目跡
	111	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	23号ビット	墨書「ふ●」ろ or る
	112	瓦質土器	コンロ	口径 底径 器高 22.2	口縁~胴部片	内: ナデ, 指ナデ, 指オサエ 外: 磨き	内: Hue 2.5Y4/1 外: Hue 10YR6/4	26号ビット	
	113	磁器	湯呑み茶碗	口径 底径 器高 10.3 4.1 5.45	ほぼ完形	内: 回転ナデ調整後施 釉, 蛇の目袖掻き 外: 回転ナデ調整後施 釉, 削り出し高台	内: Hue 7.5Y8/1 外: Hue 7.5Y8/1	31・32号ビット(1号溝内)	合成コバルト プリント
	114	土師器	骨壺蓋	口径 底径 器高 25.7 4.4	完形	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	31・32号ビット(2号溝内)	
	115	土製品	芥子面	口径 底径 器高	完形	内: (背面) 指オサエ 外: 型押し	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	43号ビット	外面に黒と青の顔料が残る
	116	須恵器	蓋	口径 底径 器高 13.8 4.15	1/2	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 7.5Y6/1	3号溝 49号ビット	外面に自然釉あり
	117	須恵器	高坏	口径 底径 器高	脚部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y5/1 外: Hue 5Y6/1	59号ビット	
	118	陶器	破片面子	長さ 幅 厚さ 3.3 3.3 0.95		内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, 摺目	内: Hue 2.5YR2/1 外: Hue 2.5YR2/1	72号ビット	すり鉢利用
	119	須恵器	蓋	口径 底径 器高 11.7	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/2 外: Hue 7.5Y7/1	VI層	
	120	須恵器	蓋	口径 底径 器高 9.0	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/2 外: Hue 5Y6/1	VI層	
	121	須恵器	蓋	口径 底径 器高 10.1	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y6/1 外: Hue 5Y6/1	VI層	
	122	須恵器	蓋	口径 底径 器高	1/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y7/1	VI層	外面に自然釉あり
	123	須恵器	高坏	口径 底径 器高	1/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y6/1 外: Hue 5Y6/1	中央VI層	
	124	土師器	瓶	口径 底径 器高 14.1	底部片	内: 回転ナデ, 削り, ハケ目 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 5YR6/6	III層	
	125	古式土師器	高坏	口径 底径 器高 11.7	脚部片	内: 回転ナデ, 削り, ハケ目 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 5YR7/4 外: Hue 7.5YR8/4	北東VII層黒	
	126	ミニチュア土器	壺	口径 (4.3) 底径 器高	1/3	内: ヨコナデ, 工具オ サエ 外: ヨコナデ, 工具オ サエ後ナデ	内: Hue 2.5Y5/2 10YR6/4 外: Hue 5Y4/1 7.5YR6/4	東半VII層下(VII層上)	成形いびつ
	127	須恵器	蓋	口径 底径 器高 12.4 3.65	1/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N4/0 外: Hue 5Y4/1	VI層上西半畑出し 清掃VI層上層	外面に線刻あり
	128	須恵器	高坏	口径 底径 器高	脚部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y5/2 外: Hue 5Y6/1	19851(207号竪穴住居 住居の外)	
129	須恵器	高坏	口径 底径 器高 10.1	1/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 7.5Y3/1	19851(207号竪穴住居 住居の外)		
130	須恵器	壺	口径 底径 器高 1.8	1/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 7.5Y7/1	19584		
52	131	土師器	高坏	口径 底径 器高	胴部~頸部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR4/8	104号畝 123号畝 VI層 VI層(下半)西半	赤色化粧土(丹か)
	132	土師器	甕	口径 底径 器高	把手	内: 回転ナデ, 削り 外: ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 5YR6/6	細ベルト	小型
	133	土師器	埴	口径 底径 器高	底部片	内: 外: ナデ, 削り	内: Hue 10YR8/3 外: Hue 10YR8/2	西半VII層上畝出し	
	134	古式土師器	甕	口径 底径 器高 16.6	口縁部片	内: ヨコナデ, 削り, ハケ目 外: ヨコナデ, 指オサエ	内: Hue 10YR5/3 外: Hue 10YR5/2	中央西半VII層下半	外面口縁部にスス付着
	135	須恵器	高坏	口径 底径 器高	脚部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y7/1 外: Hue 2.5Y6/1	西半(VII層の上)畑出し	
	136	須恵器	壺	口径 底径 器高 12.2	1/8	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10Y5/1 外: Hue 10Y5/1	VI層 151号畝 153号畝	内面に当て具痕あり

1. 本荘団地北地区 (医病) 基幹・環境整備 (0411調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
52	137	須恵器	大 甕	口径 22.6 底径 器高	口縁～胴部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	96号畝, 西半Ⅵ層 19856・0011 (土器塊) 19857・0012 (土器群) 111号溝, 西半Ⅵ層畝出し	3点有 (接合しない同一個体)
	137	須恵器	大 甕	最大径約42.0 底径 器高	胴部片	内: 平行タタキ (当て具痕) 外: 平行タタキ	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/2	6号ピット, 33号溝東Ⅵ層上, 97・98・100・112・131号畝, 東半Ⅵ層, 東半Ⅵ層下げ, 西半Ⅵ層畝出し	3点有 (接合しない同一個体)
	137	須恵器	大 甕	口径 底径 器高	底部片	内: 平行タタキ (当て具痕), 工具 ナデ (ハケ目?) 外: 平行タタキ (丁寧な) ナデ	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR6/3	98号畝, 補③513号竪穴 住居・10675の下 北半Ⅵ層, 北半Ⅵ層, 西半Ⅵ層, 畝下げ	3点有 (接合しない同一個体)
	138	古式土師器	高 坏	口径 18.8 底径 14.2 器高 13.4	5/6	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y7/6 外: Hue 10YR8/3	補③504号竪穴住居, 壁 中	外面一部にスス附着
	139	古式土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り, ハケ目 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 10YR7/6 外: Hue 7.5YR7/4	補③504号竪穴住居	
	140	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁～胴部片	内: ヘラ磨き 外: ヘラ磨き	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/8	補③513号竪穴住居赤	内外面に赤色化粧土 (丹か)
	141	土師器	坏	口径 13.9 底径 12.2 器高	口縁～胴部片	内: 回転ナデ, ヘラ磨き 外: 回転ナデ, ヘラ磨 き, 手持ちヘラ削 り	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR7/3	補③513号竪穴住居赤	胴 (体) 部内外面に黒斑あり
	142	土師器	坏	口径 9.4 底径 7.3 器高 4.2	1/3	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 5YR7/6	補③513号竪穴住居・ 10667	
	143	土師器	坏	口径 13.0 底径 6.5 器高 4.6	1/6	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	補③513号竪穴住居・ 10672	
	144	土師器	坏	口径 16.7 底径 10.2 器高 4.9	4/5	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	補③513号竪穴住居	
	145	土師器	坏	口径 12.6 底径 6.0 器高 4.05	1/2	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	補③10673	底面に線刻
	146	土師器	坏	口径 13.9 底径 8.0 器高 4.1	4/5	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	補③513号竪穴住居	
	147	土師器	碗	口径 底径 器高	胴部～底部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 回転ヘラ切り難し	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	補③513号竪穴住居赤	高台貼り付け
	148	土師器	鍋	口径 22.7 底径 8.6 器高	1/7	内: ナデ, ヨコナデ, 削り 外: ヨコナデ, 指ナデ, 工具ナデ, 指オサエ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	補③513号竪穴住居	底部外面にスス附着
	149	須恵器	坏	口径 13.3 底径 7.4 器高 5.2	3/7	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N5/1 外: Hue N4/1	補③513号竪穴住居・ 10827	
	150	須恵器	碗	口径 12.4 底径 8.5 器高 3.5	3/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5GY5/1 外: Hue 2.5GY4/1	補③513号竪穴住居・ 10674	
	151	須恵器	碗	口径 13.1 底径 9.2 器高 4.7	1/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N5/1 外: Hue 7.5YR5/2	補③513号竪穴住居 (1 区北)	
	152	須恵器	碗	口径 15.55 底径 9.2 器高 7.0	3/5	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y7/2 外: Hue 5Y5/1	補③513号竪穴住居・ 10672	
	153	須恵器	高 坏	口径 底径 器高	脚部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y5/1 外: Hue N5/0	補③513号竪穴住居・ 10672の下	スス附着
	154	須恵器	把手付 短頸甕	口径 9.8 底径 6.1 器高 11.4	1/2	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, タタキ	内: Hue 2.5Y5/1 外: Hue 2.5Y4/1	補③513号竪穴住居・ 10675	
	155	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高	脚部片	内: ヨコナデ, 削り, ハケ目 外: ヨコナデ, 指ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR5/6 外: Hue 7.5YR6/6	補③513号竪穴住居	不良? (断面内部が黒色)
156	土師器	坏	口径 底径 器高	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 5YR7/6	補③501号溝下	赤色化粧土	
157	土師器	甕	口径 22.0 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 7.5YR8/4	補③501号溝上	内外面にスス附着	
158	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	補③501号溝下	内外面にスス附着	
159	須恵器	碗	口径 底径 器高	1/6	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5GY6/1 外: Hue 7.5Y6/2	補③501号溝上		
160	須恵器	碗	口径 底径 器高	底部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10Y6/1 外: Hue N5/1	補③501号溝下		
161	土師器	坏	口径 12.3 底径 7.0 器高 3.8	1/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	補③502号溝№2	内外面一部にスス附着	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
52	162	土師器	甕	口径 底径 器高 20.6	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR6/2	補③502号溝No1	
	163	土師器	甕	口径 底径 器高 22.4	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR8/4	補③509号溝No3	スス付着
	164	須恵器	蓋	口径 底径 器高 13.6	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 2.5Y6/3	補③509号溝	
	165	須恵器	高 坏	口径 底径 器高 12.6	脚部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y6/1 外: Hue 5Y5/1	補③510号溝	
53	166	須恵器	蓋	口径 底径 器高	1/6	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 7.5Y6/1	補③512号土坑上	
	167	古式土師器	甕	口径 底径 器高 16.3	口縁部片	内: 回転ナデ, ナデ, 削り, ハケ目 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR7/4 外: Hue 10YR4/2	補③522号竪穴住居	外面にスス付着
	168	古式土師器	小型丸底壺	口径 底径 器高	頸部~胴部片	内: 回転ナデ, 削り, 指オサエ 外: 回転ナデ, ハケ目 後ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y6/4 外: Hue 7.5Y5/4	補③522号竪穴住居	
	169	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高 9.0	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR5/2 外: Hue 10YR5/1	補③522号竪穴住居	
	170	土師器	坏	口径 底径 器高 16.1	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 5YR6/8	補③525号竪穴住居内カ マド?	赤色化粧土
	171	土師器	坏	口径 底径 器高 14.9 10.4 4.9	1/3	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 2.5YR6/4	補③525号竪穴住居内カ マド?	内面スス付着?
	172	土師器	小型壺	口径 底径 器高 9.2	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 7.5YR8/4 外: Hue 7.5YR6/1	補③525号竪穴住居上 (赤土)	外面にスス付着
	173	土師器	甌	口径 底径 器高 33.3	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	補③11369 補③11370	外面にスス付着
	174	土師器	甌	口径 底径 器高 29.1	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 5YR7/8 外: Hue 7.5YR7/6	補③525号竪穴住居上 (赤土)	
	175	土師器	甌	口径 底径 器高 10.9	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	補③11369	
	176	土師器	甌 (椀部分)	口径 底径 器高	破 片	内: ナデ, 削り, ハケ 目裏面: ナデ, 削り 外: ナデ, 工具痕	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/4	補③525号竪穴住居上 (赤土)	内面一部に赤色化粧土
	177	土師器	高 坏	口径 底径 器高 17.6	1/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR7/3	補③537号竪穴住居 (南) 黒(古代)	外面摩耗している スス付着
	178	土師器	高 坏	口径 底径 器高	胴~脚部片	内: 回転ナデ, ハケ目 後ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/6	補③537号竪穴住居	内外面に赤色化粧土
	179	土師器	坏	口径 底径 器高 12.7	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	補③537号竪穴住居 (北)・(南)	
	180	土師器	壺	口径 底径 器高 8.8	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 2.5YR5/6	補③537号竪穴住居(南)	外面摩耗している 外面に赤色化粧土(丹)
	181	土師器	甕	口径 底径 器高 13.5	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り, ハケ目 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR6/4	補③537号竪穴住居	
	182	土師器	甕	口径 底径 器高 19.6	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 7.5YR5/4 外: Hue 5YR6/6	補③537号竪穴住居	スス付着
	183	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高 22.9	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り, ハケ目 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 7.5YR5/4 外: Hue 7.5YR5/4	補③537号竪穴住居	
	184	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高 14.1	脚部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 2.5YR5/6	補③537号竪穴住居	赤色化粧土(丹か)
	185	須恵器	蓋	口径 底径 器高 13.5	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y7/2 外: Hue 5Y8/1	補③537号竪穴住居(北)	
186	須恵器	蓋	口径 底径 器高 12.6	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue N4/0	補③537号竪穴住居(南)		
187	須恵器	坏	口径 底径 器高 8.4	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y5/2 外: Hue 7.5YR6/2	補③537号竪穴住居(北)		
188	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.0	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y5/2 外: Hue 5Y5/1	補③537号竪穴住居		
189	須恵器	甕	口径 底径 器高 11.3	口頸部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10Y6/1 外: Hue 10Y5/1	補③537号竪穴住居(北)		
190	土師器	坏	口径 底径 器高 12.6 8.0 3.7	約1/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/4	補③513号竪穴住居上		

1. 本荘団地北地区 (医病) 基幹・環境整備 (0411調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	量目(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
53	191	土師器	瓶	口径 底径 器高 29.5	口縁~胴部	内: 割り 外: ヨコナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR5/6 外: Hue 7.5YR6/4	補③512号土坑付近黒	外面に黒斑あり
	192	須恵器	蓋	口径 底径 器高 12.0	口縁部片	内: 回転ナデ, 割り 外: 回転ナデ, 割り	内: Hue N6/0 外: Hue 5Y6/2	補③区黒 (513号竪穴住居上面)	
	193	須恵器	蓋	口径 底径 器高 16.3	1/4	内: 回転ナデ, 割り 外: 回転ナデ, 割り	内: Hue 7.5Y7/1 外: Hue 5Y7/1	補③黒	
	194	須恵器	碗	口径 底径 器高 11.2	1/3	内: 回転ナデ, 割り 外: 回転ナデ, 割り	内: Hue 7.5Y6/1 外: Hue N7/0	補③区赤	
	195	土師器	甕	口径 底径 器高 20.0	口縁部片	内: 回転ナデ, 割り 外: 回転ナデ, 割り, ハケ目	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 5YR6/4	補③-3清掃	外面にスス付着
	196	土師器	甕	口径 底径 器高 18.1	口縁部片	内: 回転ナデ, 割り 外: 回転ナデ, 割り, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	補③-2・硬化面下	
	197	土師器	甕	口径 底径 器高 15.8	口縁部片	内: 回転ナデ, 割り, 指頭圧痕 外: 回転ナデ, ナデ消 し, 割り, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR8/4	補③525号竪穴住居内	摩耗している
	198	須恵器	蓋	口径 底径 器高 12.4 4.15	1/2	内: 回転ナデ, 割り 外: 回転ナデ, 割り	内: Hue 7.5Y6/1 外: Hue 7.5Y5/1	補③-1・11372	外面に線刻あり
	199	須恵器	坏	口径 底径 器高 12.8	口縁部片	内: 回転ナデ, 割り 外: 回転ナデ, 割り	内: Hue N5/0 外: Hue N3/0	補③-3・茶(黒の上)	
	200	須恵器	高坏	口径 底径 器高	1/4	内: 回転ナデ, 割り 外: 回転ナデ, 割り	内: Hue 2.5Y7/2 外: Hue 5Y7/2	補③-2壁 補③-2黒(古代)	
	201	須恵器	甕	口径 底径 器高 23.1	口縁~頸部片	内: 回転ナデ, 割り 外: 回転ナデ, 割り	内: Hue N3/0 外: Hue N4/0	補③-2黒(古代)	外面に自然釉あり
54	202	土師器	皿	口径 底径 器高	口縁~底部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR8/4	補1区赤	
	203	土師器	坏	口径 底径 器高 9.0	胴部~底部片	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 回転ハ ラ切り離し後ナデ	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/6	補1区黒	
	204	古式土師器	高坏	口径 底径 器高 18.9	口縁~胴部片	内: ヨコナデ 外: ヨコナデ, 指オサ エ, 工具痕	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 2.5Y7/3	補黒(古代)	外面に黒斑あり
	205	古式土師器	小型丸底蓋	口径 底径 器高 9.9	口縁~胴部片	内: ヨコナデ, 割り, 指オサエ 外: 指ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	補黒色土(古代)	
	206	土師器	壺	口径 底径 器高	頸~肩部片	内: ヨコナデ, 割り, ハケ目 外: ヨコナデ, ハケ目	内: Hue 10YR5/3 外: Hue 10YR5/4	補黒(古代)	頸部から上にスス付着
	207	須恵器	高坏	口径 基部 器高 5.7	坏底部~脚部片	内: 回転ナデ, 割り 外: 回転ナデ, 割り	内: Hue 2.5Y7/2 外: Hue 2.5Y7/2	補①区(樹)包含層	
	208	土師器	小皿	口径 底径 器高 7.8 5.4 1.2	2/5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 回転糸 切り離し	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	擾乱南部	
	209	土師器	小皿	口径 底径 器高 6.4 4.4 1.2	ほぼ完形	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 回転糸 切り離し	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	擾乱	内外面に墨付着
	210	土師器	皿	口径 底径 器高 14.7 8.4 2.4	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 回転ハ ラ割り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	擾乱	底部内外面に黒変斑
	211	土師器	皿	口径 底径 器高 16.8 14.4 2.7	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 底部割 り後ナデ	内: Hue 2.5Y3/1 外: Hue 2.5Y3/1	擾乱	鉄付着 内外面とも黒変?
	212	黒色土器	碗	口径 底径 器高 12.4 7.2 5.45	1/3	内: 回転ナデ, 工具ナ デ, 磨き 外: 回転ナデ, 高台貼 り付け	内: Hue N3/0 外: Hue 10YR6/4	擾乱	内筒黒 外面底部・口縁部に黒斑あり
	213	土師器	碗 (黒色土器 B)	口径 底径 器高 6.4	底部片	内: 回転ナデ, 割り, 磨き 外: 回転ナデ, 割り, 磨き	内: Hue 10Y2/1 外: Hue 10YR5/4	擾乱	
	214	須恵器	碗	口径 底径 器高 10.0	底部片	内: 回転ナデ, 割り 外: 回転ナデ, 割り	内: Hue 7.5Y6/1 外: Hue 7.5Y6/1	擾乱	
	215	磁器	猪口	口径 底径 器高 6.1 3.0 4.0	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N8/0 外: Hue N8/0	擾乱	染付
	216	磁器	碗	口径 底径 器高 12.3 4.8 6.55	1/2	内: 回転ナデ調整後施 釉 外: 回転ナデ調整後施 釉	内: Hue 5GY8/1 外: Hue 5GY8/1	擾乱	染付
	217	陶器	土瓶	口径 底径 器高 6.9	9/10	内: 回転ナデ調整後鉄 釉を施釉 外: 回転ナデ調整後上 半部に飛カンナ、 鉄釉後に白釉を施 釉	内: Hue 5YR5/3 外: Hue 5YR5/2	擾乱	小代焼 茶滓留めの孔は3個 底部意図的に割ったものか スス付着
	218	鉄製品	鉄錐	長さ 幅 厚さ 8.4 1.65 0.7	ほぼ完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	207号竪穴住居№7	圭頭錐

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考	
54	219	鉄製品	刀子	長さ 21.2 最大幅1.4 厚さ 0.1~0.2		内: 外:	内: 外:	177号祭祀跡No2	鞘・柄とみられる 木質が残存	
	220	鉄製品	刀子	口径 底径 器高		内: 外:	内: 外:	6号ピット	一部、2破片が重なっている?	
	221	鉄製品	不明	長さ 幅 厚さ		内: 外:	内: 外:	6号ピット		
	222	銅製品	不明	口径 底径 器高	2.0~2.3 1.7 0.6	内: 外:	内: 外:	攪乱		
	223	銅銭	寛永通宝	銭径 厚さ 器高	2.4 0.1	完形	内: 外:	内: 外:	攪乱(表土はぎ)	
	224	弥生土器	甕形土器	口径 底径 器高	7.3	底部片	内:磨き 外:工具ナデ, 削り, 粗い磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	175号竪穴住居No24	
	225	弥生土器	甕形土器	口径 底径 器高	7.3	底部片	内:粗いナデ?, 磨き 外:磨き	内: Hue 7.5YR4/4 外: Hue 10YR5/3	276号縄文土器群No44	
	226	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高		胴部片	内:ナデ, 磨き 外:ナデ, 磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR5/4	西南隅清掃	太郎迫式土器 外面に刺突文・沈線
	227	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	19.1	口縁部片	内:磨き 外:磨き	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR6/4	276号縄文土器群No17	御領式 外面口縁部に2条の凹線
	228	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	22.1	口縁部片	内:磨き 外:磨き	内: Hue 10YR4/2 外: Hue 10YR3/2	19590	御領式 外面口縁部に2条の凹線
	229	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	37.4	口縁部片	内:ナデ, 磨き 外:磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	276号縄文土器群No37 276号縄文土器群周辺	御領式 外面口縁部下にスス付着
	230	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高		口縁部片	内:ナデ後磨き 外:ナデ後磨き	内: Hue 7.5YR4/2 外: Hue 7.5YR4/1	276号縄文土器群No23	
	231	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高		口縁部~胴部片	内:ナデ後磨き 外:ナデ後磨き	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR6/4	276号縄文土器群No19・ No35, VI層	御領式
	232	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高		口縁部~胴部片	内:ナデ後磨き 外:ナデ後磨き	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 10YR7/4	276号縄文土器群No19・ No35, VI層	御領式
55	233	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高		胴部片	内:ナデ, 磨き 外:ナデ, 磨き	内: Hue 10YR6/2 外: Hue 7.5YR6/3	276号縄文土器群No12・ No13, 北半・清掃(V層)	御領式または天城式
	234	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高		胴部片	内:ナデ, 磨き 外:ナデ, 磨き	内: Hue 10YR4/1 外: Hue 10YR4/1	276号縄文土器群No25・ No31・No41・No43 276号縄文土器群一括	
	235	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高		口縁部片	内:ナデ後磨き 外:ナデ後磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR4/4	補⑤540号溝	天城式 外面に沈線文
	236	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高		胴部片	内:ナデ, 磨き 外:ナデ, 磨き	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR4/1	東半VII層, 東北1/4清掃 V層土	古閑式 外面に沈線文
	237	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	31.9	口縁部片	内:ナデ, 磨き 外:ナデ, 磨き	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR6/4	北東VII層・黒	古閑式 外面にスス付着, 一部赤色化粧土
	238	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高		口縁部片	内:ナデ, 磨き 外:ナデ, 磨き	内: Hue 10YR3/1 外: Hue 10YR4/6	南土器集中区(V層中), 中央VI層	古閑式
	239	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	22.7	口縁部片	内:ナデ, 磨き 外:ナデ, 磨き	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR4/1	276号縄文土器群No5・ No7, 276号縄文土器群一括	黒川式
	240	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高		胴部片	内:ナデ, 磨き 外:ナデ, 磨き	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR3/1	20号ピット VII層下半東部	
	241	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	29.9	口縁部片	内:ナデ, 磨き 外:ナデ, 磨き	内: Hue 10YR8/2 外: Hue 10YR7/3	276号縄文土器群No8	
	242	石製装身具	勾玉	長さ 幅 厚さ	2.8 1.8 0.7	完形	内: 外:研磨	内: 外:	VI層	滑石
	243	石器	石製紡錘車	長さ 幅 厚さ	(3.6) (4.1) (1.45)	1/2以下	内: 外:	内: 外:	VI-VII層(111号溝中央 付近東側)	滑石, 重量24g, 全面研磨 片面のみ使用
	244	石器	砥石	長さ 幅 厚さ	(5.5) 5.05 1.0	1/2	内: 外:	内: 外:	攪乱	細粒の粘板岩か, 重量37g 片面のみ使用
	245	石器	砥石	長さ 幅 厚さ	7.7 4.85 1.25	ほぼ完形	内: 外:	内: 外:	攪乱	天草砥石?(粗粒) 重量70g 両 面とも使用の為中央部が顕著に 凹む
	246	石器	砥石	長さ 幅 厚さ	11.25 6.8 5.6	ほぼ完形	内: 外:	内: 外:	207号竪穴住居一括	細粒の砂岩, 重量493g 表面と下方側面は顕著な磨痕, 両側面と裏面は部分的に磨痕あり
247	石器	打製石斧	長さ 最大幅 厚さ	18.2 10.3 2.2	未製品	内: 外:	内: 外:	西半・VII層上	安山岩, 重量431g 自然面を多く残す	
248	石器	磨製石斧	長さ 幅 厚さ	10.45 7.55 1.5	約2/3	内: 外:	内: 外:	276号縄文土器群No20	流紋岩, 重量181g	

1. 本荘団地北地区 (医病) 基幹・環境整備 (0411調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
55	249	石器	磨製石斧	長さ 6.6 幅 6.4 厚さ 1.4	1/3	内: 外:	内: 外:	276号縄文土器群No.6	流紋岩、重量104g
	250	石器	楯先形 尖頭器	長さ 11.0 幅 6.2 厚さ 2.6	未製品	内: 外:	内: 外:	19589	頁岩、重量155g
56	251	石器	磨石	長さ 10.5 幅 10.4 厚さ 4.4	1/2以上	内: 外:	内: 外:	276号縄文土器群No.24	重量581g 安山岩
	252	石器	磨石	長さ 17.0 幅 10.85 厚さ 4.0	完形	内: 外:	内: 外:	19591	重量947g 安山岩
	253	石器	石皿	長さ 11.5 幅 12.2 厚さ 5.3	完形	内: 外:	内: 外:	207号竪穴住居No.5	砂岩、重量1075g 表・裏面と右側面・上下側面に 顕著な磨り跡あり
	254	陶器	蓋	口径 9.0 底径 器高	約1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ、ナデ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 5YR5/4	6号ピット	急須蓋。天井外面に褐釉がかか る。外面にスス附着
	255	須恵器	碗	口径 10.0 底径 器高	底部片	内:ナデ 外:回転ナデ、回転 ヘラ削り、回転 ヘラ切り離し	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 5Y6/1 10YR7/4	30号溝3層	
	256	須恵器	大甕	口径 器高	胴部片	内:平行タタキ 外:平行タタキ	内: Hue 5Y5/2 外: Hue N6/0 7.5YR5/2	30号溝3層	焼成は非常に良い 歪みが大きい
	257	古式土師器	甕	口径 器高	口縁部片	内:ハケ目後ヨコナデ 外:ハケ目後ヨコナデ	内: Hue 2.5Y5/2 外: Hue 2.5Y5/1	113号竪	
	258	土師器	瓶	口径 器高	把手	内:ナデ 外:指ナデ、ハケ目、 指オサエ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR6/4	175号竪穴住居No.1	粗雑な作り
	259	古式土師器	高坏	口径 器高	脚~坏部片	内:ナデ、削り 外:ナデ、ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 5YR6/6	200号竪穴住居No.32	
	260	土師器	大甕	口径 23.0 底径 器高	口縁~頸部片	内:ヨコナデ、ハケ目、 指オサエ 外:ヨコナデ、ハケ目	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 7.5YR7/6	200号竪穴住居No.4 200号竪穴住居No.28 200号竪穴住居No.29	二重口縁
	261	古式土師器	小型壺	口径 器高	底部~胴部片	内:ナデ、指オサエ 外:ヘラナデ、ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 7.5YR6/6	補504号竪穴住居	外面調整が粗雑(厚手)
	263	古式土師器	甕	口径 16.0 底径 器高	口縁部片	内:ハケ目後ヨコナデ 外:ヨコナデ	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR6/3	補③508号溝	外面にスス附着
	263	土師器	高坏	口径 10.0 底径 器高	脚部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 5YR7/6	補③510号溝	
	264	陶器	破片面子	長さ 3.0 幅 2.7 厚さ 0.9~1.2		内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 2.5Y3/2 外: Hue 5Y2/1	補③513号竪穴住居	褐釉がかかる
	265	土師器	甕	口径 16.0 底径 器高	口縁部片	内:ヨコナデ、ハケ目 外:ヨコナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/4	補⑧522号竪穴住居	内面黒斑あり 外面にスス附着
	266	土師器	甕	口径 器高	胴部片	内:ナデ 外:ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR4/3	補⑧522号竪穴住居	外面にスス附着
	267	土師器	坏	口径 器高	底部片	内:ナデ、ヘラ状工具 裏 外:ナデ、指オサエ	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 10YR6/4	補⑧525号竪穴住居上 (赤土)	薄手の土器
	268	土師器	甕	口径 器高	口縁部片	内:ヨコナデ 外:ヨコナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	補⑧526号竪穴住居 補⑧525号竪穴住居上 (赤土)	
	269	土師器	甕	口径 16.0 底径 器高	口縁部片	内:ヨコナデ、ハケ目 外:ヨコナデ、ハケ目、 指オサエ	内: Hue 2.5Y6/3 外: Hue 10YR7/4	補⑧526号竪穴住居(床 下)	
	270	土師器	高坏	口径 器高	坏部片	内:磨き 外:磨き	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR5/6	補⑧537号竪穴住居	内外面に赤色顔料
	271	土師器	瓶?	口径 器高	胴部片	内:削り 外:ハケ目、指オサエ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 7.5YR6/4	11373 (補⑧522号竪穴 住居内) 補⑧-1攪乱、525号竪穴 住居内	ハケ目が非常に細かい 外面にスス附着
	272	土師器	高坏	口径 器高	脚部片	内:ナデ、削り後ナデ 外:削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	11374 (補⑧522号竪穴 住居内)	内外面に赤色化粧土
	273	土師器	瓶	口径 器高	把手	内:削り後指オサエ 外:指ナデ、指オサエ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	19594	
	274	土師器	瓶	口径 器高	把手	内:削り後ナデ 外:削り後指ナデ、 指オサエ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	19587	
	275	土製品	不明	口径 器高		内: 外:	内: Hue 外: Hue	不明	重量7.1g
	276	土製品	泥面子	長さ 2.25 幅 2.63 厚さ 1.07	完形	表: 裏:	表: 10YR7/4 裏: 10YR7/4	北半VI層下げ	重量6.0g
	277	土製品	泥面子	長さ 3.24 幅 2.32 厚さ 1.17	完形	表: 裏:	表: 10YR8/3 裏: 10YR8/3	攪乱	重量6.1g
	278	土製品	泥面子	長さ 3.23 幅 2.39 厚さ 1.10	完形	表: 裏:	表: 7.5YR6/4 裏: 7.5YR6/4	攪乱	重量6.9g

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
	279	土師器	木の葉鉢	長さ 3.36 幅 2.35 厚さ 2.21	頭部のみ	表： 裏：指ナデ、指オサエ	内：5YR5/6 外：5YR5/6	補③525号堅穴住居上(赤土)	重量172g
	280	土製品	泥面子	長さ 2.59 幅 1.92 厚さ 1.02	完形	表： 裏：	表：7.5YR6/6 裏：7.5YR6/6	清掃VI層	重量6.1g
	281	土師器	皿	口径 15.0 底径 14.0 器高 2.5	口縁～底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ、ナデ	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR6/4	補・攪乱	外面にスス附着
	282	土師器	高杯	口径 14.0 底径 器高	脚部片	内：ヨコナデ、ハケ目 外：回転ナデ、ハケ目、磨き	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR7/4	補③攪乱	内外面に黒斑あり
	283	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁～肩部片	内：ヨコナデ、削り後ナデ、磨き 外：ヨコナデ、ハケ目、磨き	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 2.5Y7/3	攪乱	外面に黒斑あり 外面から内面口縁にかけて赤色化粧土
	284	陶器	鉢	口径 48.4 底径 器高	口縁部片	内： 外：	内：Hue 5Y4/3 外：Hue 5Y4/3	攪乱	小代焼？植木鉢か 内外面とも施釉 貫入あり
	285	磁器	湯呑み	口径 7.5 底径 4.9 器高 6.2	2/5	内： 外：	内：Hue 5GY8/1 外：Hue 2.5GY8/1	攪乱	染付、プリント？ 梅・菊・松円形文 口縁の内外に雷文
	286	磁器	猪口	口径 6.8 底径 3.3 器高 4.0	1/3	内： 外：	内：Hue 5GY8/1 外：Hue 5GY8/1	攪乱	染付 連子格子に草文・虫文
	287	磁器	盃	口径 9.0 底径 3.9 器高 3.6	4/5	内： 外：	内：Hue 酸化コバルト 外：Hue 酸化コバルト	攪乱	珊瑚袖色絵金彩 松竹梅文 高台内に銘あり
	288	鉄製品	鉄釘？	長さ 0.7 幅 0.7 厚さ		内： 外：	内：Hue 外：Hue	3号溝西ベルト西側	
	289	鉄製品	不明	長さ 1.0 幅 0.8 厚さ		内： 外：	内：Hue 外：Hue	17256	
	290	鉄製品	鉄釘？	長さ 0.4 幅 0.3 厚さ		内： 外：	内：Hue 外：Hue	17744	角釘
	291	縄文土器	浅鉢形	口径 41.4 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y6/3 外：Hue 2.5Y5/3	276号縄文土器群No11	御領式 口縁外面に2条の凹線
	292	縄文土器	深鉢形	口径 29.0 底径 器高	口縁部片	内：ヨコナデ、磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y6/3 外：Hue 10YR6/4	東半Ⅶ層下	御領式、口縁外面に3条の凹線あり
	293	石器	剥片	長さ 4.01 幅 2.21 厚さ 1.39		内： 外：	内：Hue 外：Hue	175号堅穴住居No6	黒曜石 重量9.6g
	294	石器	ピエス エスキュー	長さ 1.76 幅 1.73 厚さ 0.49		内： 外：	内：Hue 外：Hue	補③510号溝	黒曜石 重量1.4g
	295	石器	磨石	長さ 7.8 幅 6.6 厚さ 6.6	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	西半8層上	安山岩、重量466g (ほぼ球形で一部に濡り面あり)
	296	石器	砥石	長さ 4.1 幅 7.2 厚さ 6.5		内： 外：	内：Hue 外：Hue	北半Ⅶ層下げ	天草砥石、重量138g、 原石の一部を研ぎ面に使用
	297	石器	砥石	長さ 5.66 幅 10.91 厚さ 8.88	破片	内： 外：	内：Hue 外：Hue	174号堅穴住居No5	泥岩、重量902g、2面に磨り痕あり
	298	石器	石皿	長さ 12.09 幅 13.57 厚さ 8.14	約1/2	内： 外：	内：Hue 外：Hue	19548	砂岩、重量1833g、4面に磨り痕あり
	299	種子	チャンチン モドキ	長さ 幅 厚さ	2/3	内： 外：	内：Hue 外：Hue	補③522号堅穴住居	重量1.0g

2. (医病) 東病棟新営機械設備 (衛生) 工事 (変更) に伴う発掘調査 (0835調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

(医病) 東病棟新営機械設備 (衛生) 工事 (変更) は、前年に本体部の発掘調査を実施した東病棟新営に伴い、周辺の雨水管等の整備を行う事業である。

本事業の周辺では、西病棟建設工事 (9901調査地点) (2014『熊本大学構内遺跡発掘調査報告X』)、第3井入水槽建設工事 (0006) (2010『熊本大学構内遺跡発掘調査報告VI』)、共同溝建設工事 (1014調査地点) (2010同)、医療用ガス供給設備工事 (0119) (2010同) などに伴い発掘調査を実施してきた。いずれの地点においても密な遺構の検出と豊富な遺物の出土があった。このため、本事業においても、古墳時代や古代の遺物・遺構の検出が十分に予想された。

工事のための掘削は北東側から開始した。最初の6m程の掘削で、遺物包含層と遺物が検出されたため、発掘調査に切り替えた。この区間をI区とし、発掘調査と施工完了後に次の13.5mの区間を調査した。これがII区である。II区の調査終了後、残り8m分の調査を開始した。これがIII区である。

本調査地点では、予想通りに古墳時代および古代の堅穴住居と土坑などが多数の遺構が検出され、遺物の出土も多かった。ただ、共同溝建設時の調査と同じく狭長な調査区であり、遺構の全体や構築順序、切り合い等を把握するのは困難な一面もあった。

b. 調査の経過

- 2008年12月15日 発掘調査開始。攪乱の除去、遺物包含層の検出、掘削などを開始する。
- 2008年12月16日 1号堅穴住居やピットなど、遺構を検出、掘削。
- 2008年12月17日 1号堅穴住居解体、8・16号堅穴住居などを検出。このほか、ピットなどを検出し、順次、写真と測量を実施。
- 2008年12月19日 全体写真、測量。I区の調査終了。
- 2009年1月13日 II区の調査開始。攪乱の除去、遺物包含層の検出、掘削などを開始する。
- 2009年1月14日 20号土坑の検出・掘削、中央部でピット検出・掘削。
- 2009年1月15日 32号堅穴住居の検出・掘削、その他ピットなどの掘削と測量。
- 2009年1月19日 全体写真、測量、土層図の作成。II区の調査終了。
- 2009年1月20日 III区の調査開始。攪乱の除去を開始。
- 2009年1月23日 包含層の掘削開始。42号堅穴住居検出。
- 2009年1月29日 47号堅穴住居検出、掘削。
- 2009年2月4日 48・49・50号堅穴住居掘削。
- 2009年2月20日 47号堅穴住居検出、掘削。
- 2009年2月12日 55・56号堅穴住居検出、掘削。
- 2009年2月18日 全体写真。48・55・56号堅穴住居を床剥ぎなど。その他の遺構の測量。
- 2009年2月19日 56号堅穴住居の床剥ぎ・柱穴確認・測量。66号竈跡の採図。III区の調査終了。

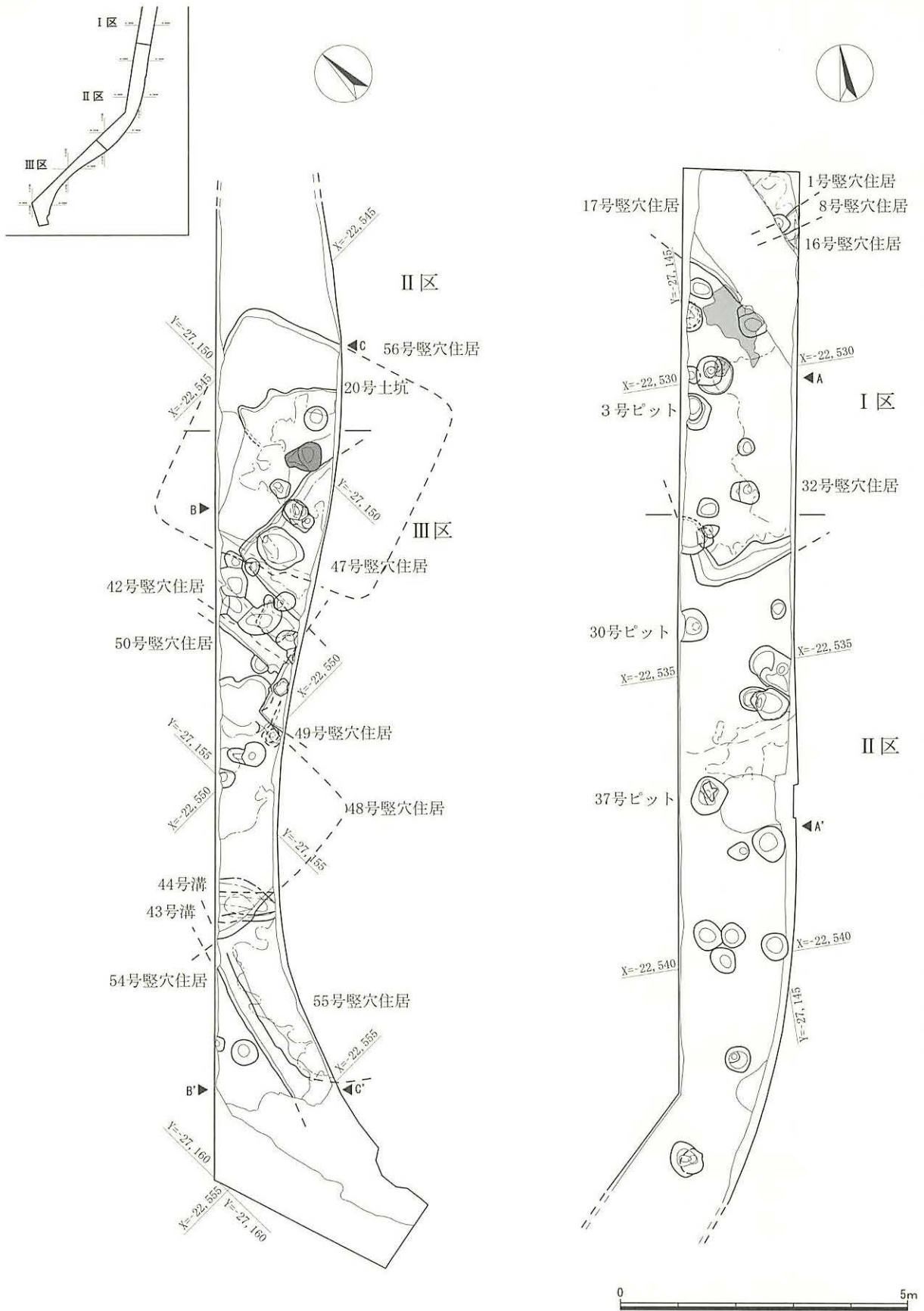


図57 0835調査地点遺構配置図 (1/100)

c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：中川木綿子

発掘作業員：岡本武士・清崎仁・建寄豊美・笹野ヌイ子・庄村弘幸・溜渕俊子・早川翔・増田理子・増田由美・松崎艶子

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・後藤恵・首藤優子・末吉美紀・園田智子・高松あゆみ・長谷智子・増井弘子・山寄早苗・吉留広

(2) 調査区の基本層序 (図58)

本調査区周辺の地勢は、東から西へ向かうにしたがい遺構検出面は深くなる。また、本調査区のⅢ区で遺構が密に分布し、複雑に切り合っている。床と思われる硬化面のブロックの散在状況から、把握し切れなかった住居などもあったと考えられる。このため、土層断面図は、Ⅰ・Ⅱ区は比較的堆積が単純であるが、Ⅲ区は多くの細かな土層があり複雑である。

周辺における既往の調査では、古代の土層は、黒色 (10YR2/2) で混入物がない、しっとりとした綺麗な土と、茶色 (10YR2/2~2/3) で、オレンジ・白・赤などの粒が全体に入りザラザラとした土の二つがあることが判明している。前者の土が古く、後者が新しい。本調査区Ⅲ区では、後者のザラザラとした土を、明るい茶色と少し暗い茶色に分けることができ、前者の明るい土層のほうが古いことが判明した。

Ⅰ区東壁 (図58上段) では、3層以下が古代の土層である。1・2層はともに黄色の砂質土で、洪水砂の可能性がある。調査現場では「A層」としており、遺物観察表の「A層」はこれに該当する。遺物がなく、明確な時期は不明である。3層が古代の新しいザラザラした土で、調査現場ではⅠ'層とし、さらに若干の色調の違いから a、b に分層した。Ⅰ区では明確な区分は困難だったが、上部がⅠ'a層、下部がⅠ'b層である。11層は32号住居内の埋土に相当するが、3層と大きな差はない。Ⅰ区の範囲内では分層が困難であった。古くしっとりとした古代の土層が4・6層で、調査現場ではⅡ層とした。4層は周囲の9層の影響でやや砂質である。10層は地山とその上の層との漸移層である。Ⅲ区西壁 (図58中段) では、1・2層は近・現代の埋土である。3層は緻密な砂質の層で、洪水砂の可能性がある。4層は、新しいザラザラした古代の土層の、さらに新しい段階のもので (Ⅰ'a層)、5層が古い段階 (Ⅰ'b層) である。8・9・13層も、古い段階のザラザラした土層、7・11・20・26層が黒くしっとりとした古い古代の土層 (Ⅱ層) である。古い古代の包含層が、20・26層のように下方の遺構埋土としてのほかは、7・11層のようにブロック状でしか残っていないのは、頻繁な遺構掘削の影響であろう。Ⅲ区東壁 (図58下段) は、1~4層は西壁と同じである。25層は、ザラザラした古代の層の新しい段階 (Ⅰ'a層)、23・27層が古い段階 (Ⅰ'b層) に相当する。古代の古い黒色の層 (Ⅱ層) は、9・12・13・18・22・24層が相当し、33・34・42層は地山の土や焼土を少し含むなど、古代の土層に混入物がみられる。18~21層は56号竪穴住居の埋土、14・16層は47号竪穴住居の埋土、56・57層上部の硬化面は54号竪穴住居の硬化面に相当する。28~46層までは、焼土や竈の粘土を含む土層で、49号竪穴住居付近で竈を構成していたものと考えられる。8層は水田の床土のような粘性の高い土層であったが、部分的で付近に水田が広がっていたような状況は確認されなかった。

(3) 検出遺構

検出した遺構は、古墳時代の竪穴住居1基、古代の竪穴住居13基と溝2条、土坑1基、掘立柱建物

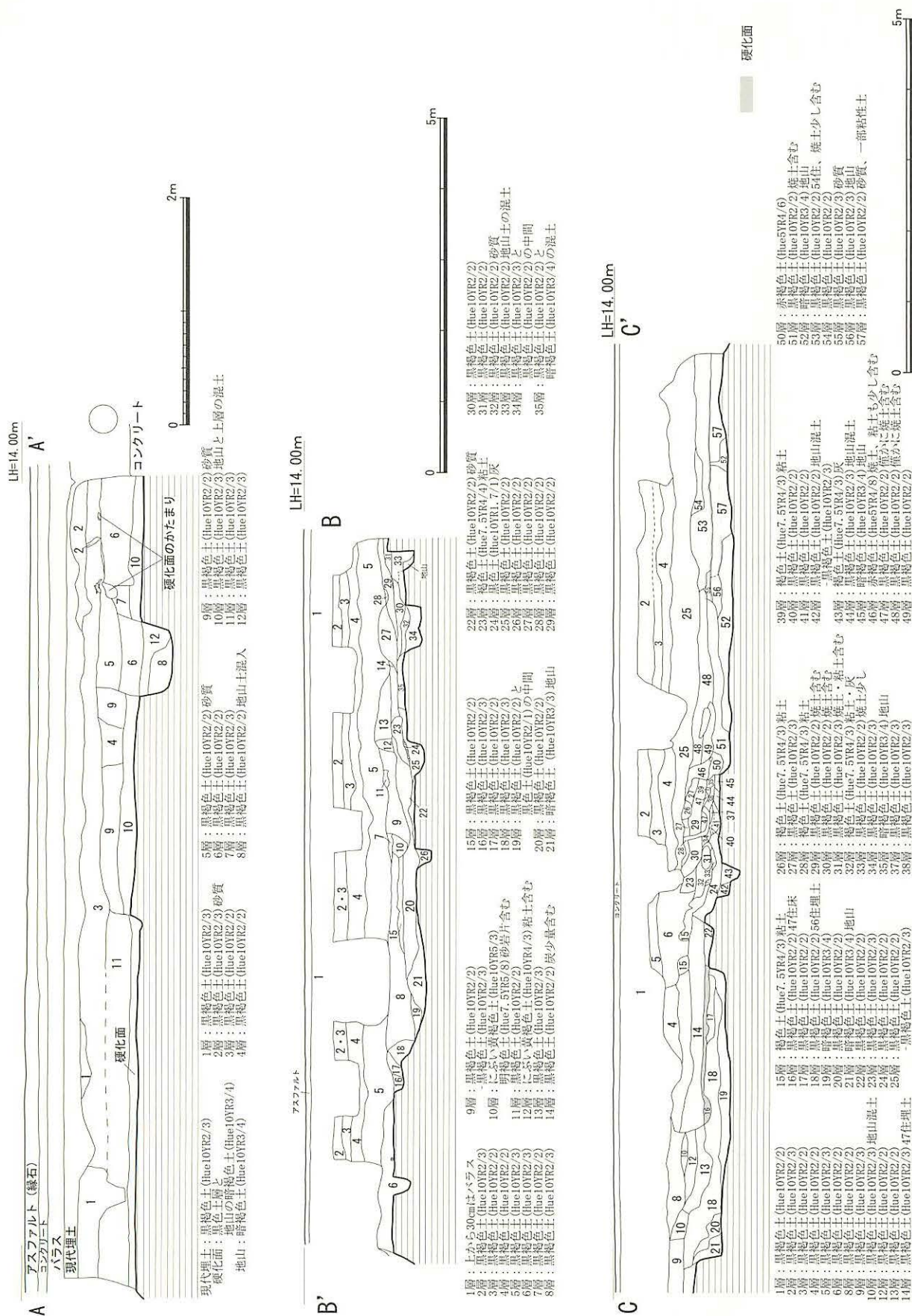


図58 0835調査地点土層断面実測図 (1/50・1/80)

1 棟、ピット群などである。古代の竪穴住居は、Ⅲ区において建替による重複が激しく、床 (硬化面) が散発的に検出される事例もあり、住居のプランが把握できなかったものもある。

古墳時代

<竪穴住居>

56号竪穴住居 (図59)

56号竪穴住居は、1/3がⅡ区、2/3がⅢ区にまたがる。Ⅱ区の範囲となる住居の東側は、遺構の密度が低く、住居のプランが明確に確認できた。一方、東側は後世、古代の住居が少しずつ位置をずらしながら何度も建て替えられた地点のようで、古代の竪穴住居の埋土を除去したのちに、プランを確認できた。一辺が4.1m程度の大きさであったと考えられる。北西部は、攪乱により破壊されている。住居の主軸は、北から西へ20°ほど振れている。住居の中央には、炉跡と考えらえる焼土が詰まった掘り込みがあり、その周囲には硬化面が広がっていた。遺物は図65：1～5のような古式土師器の高坏や磨石が、炉の周囲で出土した。

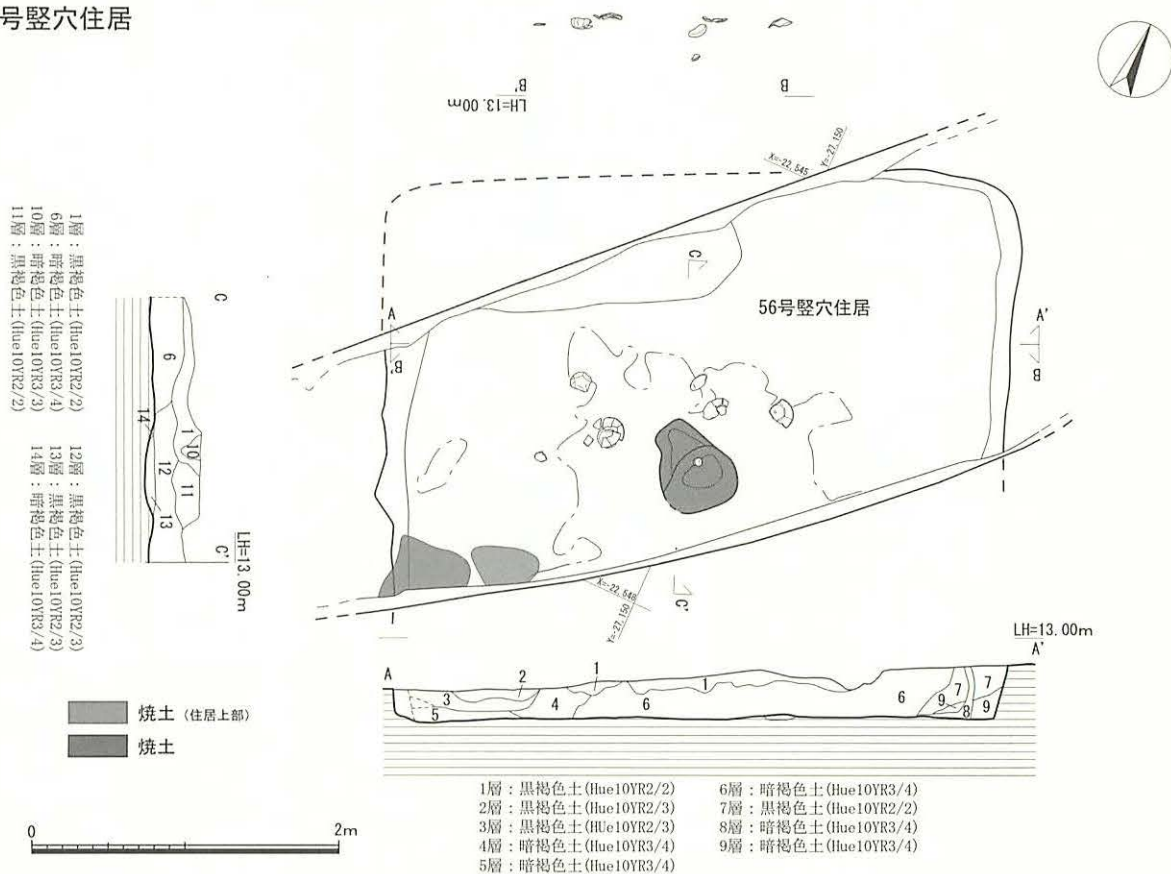
古代

<竪穴住居>

1・17号竪穴住居 (図60)

1号竪穴住居は、Ⅰ区の北西隅で検出された。北側と東側は調査区外に延び、西側・南側は既設管

56号竪穴住居



による破壊を受けている。このわずかな三角形をした範囲で、一面に硬化面が検出されたため、住居であることが判明した。このような状況であるため、1号竪穴住居の規模や向きは不明である。既設管による攪乱を挟んだ南西側には、竪穴住居の壁の立ち上がりと考えられる遺構が検出されたため、これを17号竪穴住居とした。西側に隣接する共同溝建設に伴う調査地点（以下0104調査地点）では、北西隅のみが検出された216号竪穴住居があり、17号竪穴住居はこの住居の続きと考えられる。この住居の復元からすれば、1号竪穴住居と17号竪穴住居は一つの住居であると考えられる。17号竪穴住居の壁沿いには、焼土と粘土など竈の存在を示す箇所があるが、0104調査地点の216号竪穴住居の北壁では、竈が検出されており、17号竪穴住居が216号住居と同一の住居とすると、今回検出された竈の跡は本住居のものとは考えられない。

8・16号竪穴住居（図60）

1号住居竪穴住居の南側に位置している。1号竪穴住居の硬化面を除去し、掘方まで掘削したところで、8号竪穴住居らしき一段低く掘削された掘り込みを検出した。掘削して測量等の記録を行った。ピットのように深くはならず10cmほどの浅いテラス状になったため、住居の可能性を考えた。さらに8号竪穴住居の南端が、掘り込みがあることを確認した。掘削すると、この掘り込みもテラス状になり、ピットのような深いものではなかった。そこで16号竪穴住居とした。次の32号竪穴住居と関連する可能性が考えられる。遺物は土師器の甕が出土している。

32号竪穴住居（図60）

I区とII区にまたがる竪穴住居で、住居の南西隅の部分がII区にある。I区内では、住居のいずれの壁も確認できなかったため、包含層を掘削しているのか、住居内の埋土を掘削しているのか、判断が困難であった。I区の南半東側では硬化面が検出され、遺物がやや硬化面の範囲に偏る傾向もあったので、住居である可能性は認識していた。便宜上、既設管以南のI区の東側で硬化面上部付近を5号、西側を6号と分けて遺物は取り上げたが、II区で住居の隅を確認し、総合的な状況から一つの住居であると判断した。現状では、住居の主軸は北向きで東にやや振れている。住居の南西隅の様子では、住居内に幅約20cm、深さ12cm前後の溝が巡っていたようである。この住居の規模については、多くが調査区外になるため不明であるが、8号竪穴住居および16号竪穴住居が北壁に対応する可能性を考えておきたい。32号竪穴住居は1・17号竪穴住居に切られており、8・16号竪穴住居は1・17号竪穴住居によって切られている（その上に構築されている）。前後関係には矛盾等は生じないので、可能性は高いと考えられる。住居内の壁際に溝を巡らせる際には、南西隅のように溝の片壁が住居の壁となるが、場所によっては二段掘りになる場合もあるため、8号竪穴住居が北壁で、16号竪穴住居が溝となることが考えられる。遺物は土師器の坏や甕が出土している。

42号竪穴住居？（図61）

42号竪穴住居はⅢ区の北側、47号竪穴住居の南側に位置する。本調査地点一帯は、地山が東から西に低くなり、I区北端よりⅢ区は20～30cm低くなる。Ⅲ区の包含層を順次掘削したが、56号竪穴住居上面で西側が砂質土に変化し、さらに粘性の高い土壤に代わるなどしたが、これらは明確な平面プランや掘り込みを示すようなものではなかった。この結果、包含層および56号竪穴住居の埋土との切り合いや範囲を明確に区分できなかった。一方で、粘性の高い土壤は西側で直線的な範囲を示したため、42号住居として範囲を記録することとした。II区の調査時に、56号竪穴住居に掘り込まれた土坑状の

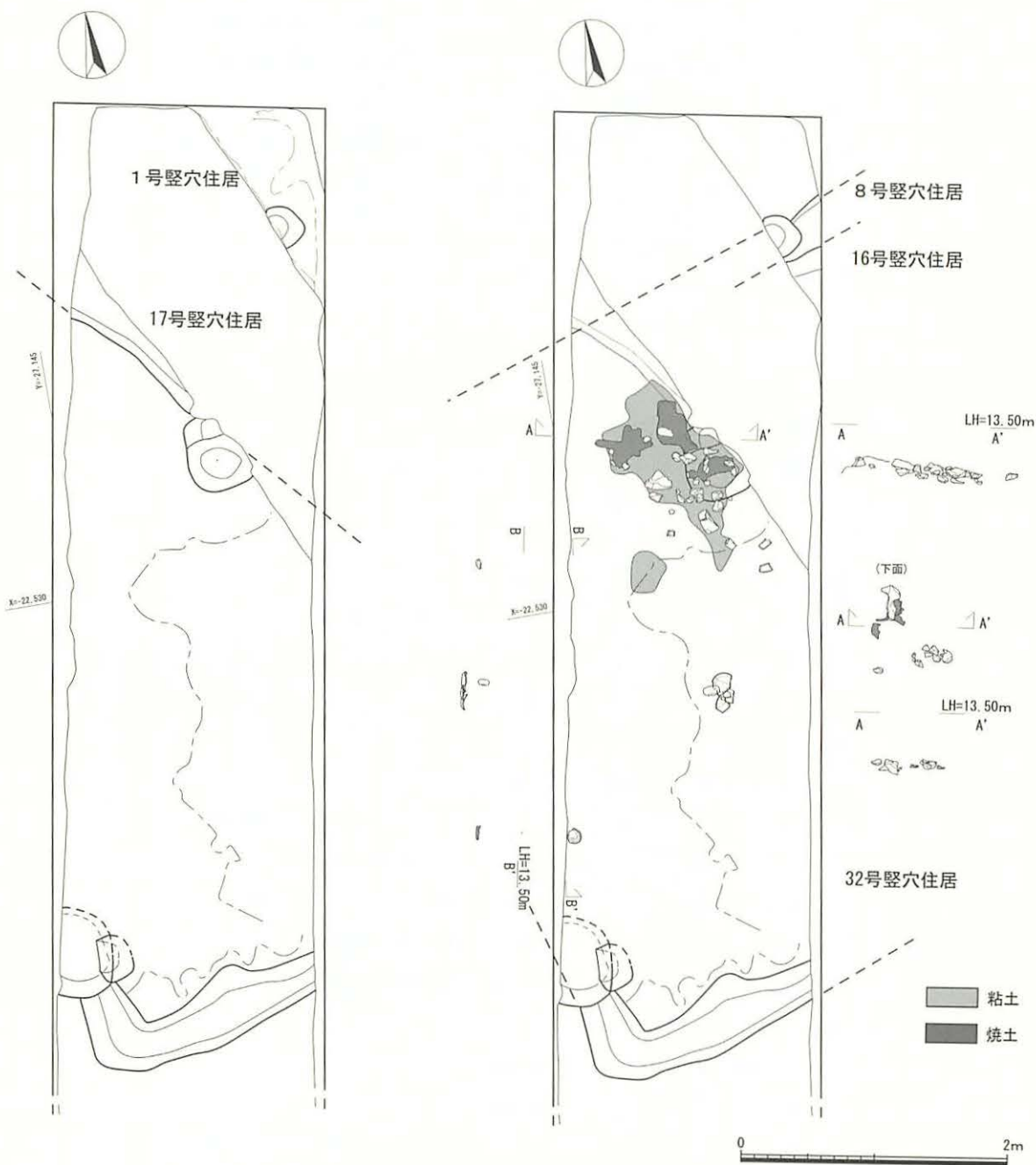


図60 1号・17号・32号竪穴住居実測図 (1/50)

掘り込みを確認した。Ⅱ区とⅢ区の境に位置していたため、不正系の半円状である。埋土は水田の床土のように粘性の高い土壌で、42号竪穴住居と類似しており一連の遺構の埋土である可能性がある。記録した西壁と推定するプランは南北を向いおり、56号竪穴住居とは3/4程度重複する形で掘削されたと考えられる。土師器の坏や甕、須恵器の坏などが多数出土した。

47号竪穴住居 (図61)

Ⅲ区の北東部に位置する。住居の北西隅の部分が検出された。住居の大半は調査区外である。現状では1.6×2.36mで、主軸は北を向いている。埋土はやや明るい茶色で、白・赤・オレンジなどの粒子

が多く含まれるもので、黒色で混入物がほとんどない古代の包含層より、新しい時期の古代の土壌である。遺物は須恵器の蓋や坏が出土している。

48号竪穴住居 (図62)

48号竪穴住居は、Ⅲ区の中央付近に位置する。包含層を掘削しつつ、49号竪穴住居の西側に住居のプランらしき土壌の変化点を確認し、また4m程南でこれとは直行する方向の土壌の変化点を確認した。この間は、包含層の上位から遺物の出土が多かったため、それぞれ東壁と南壁をなす一つの住居と判断した。隣接する0104調査地点の遺構は位置図を照合すると、0104調査地点の276号竪穴住居と同一の住居であると判明した。南北約5m、東西は4.5m程度で、主軸は北を向く住居である。住居内は、多くの土器類と竈の部材と考えられる焼土や砂岩、粘土が散乱していた。北西寄りに、硬化面が検出された。東壁中央に相当する部分では、竈の跡が検出された。遺物は土師器の坏や甕、須恵器の蓋、坏、甕が出土している。

49号竪穴住居 (図61)

49号竪穴住居は、Ⅲ区の中央、48号竪穴住居の北側に隣接する。住居の北西隅がわずかに調査区内で確認された。現状では0.5×1.3mである。竈の部材が出土したが、隣接する50号竪穴住居との境には多くの焼土と竈の部材が散乱しており、本住居に伴うものかは不明である。遺物は土師器の坏や甕、須恵器片が出土している。

50号竪穴住居 (図61)

50号竪穴住居は、Ⅲ区の中央、42号竪穴住居の南に位置し、42号竪穴住居とは入れ子状である。42号竪穴住居の埋土が水田の床土のような粘性の高い土壌であったが、本住居の埋土は、47号竪穴住居と同じく古代の新しい段階の土壌であり、二つの住居は明確に区別される。本住居の埋没後に42号竪穴住居が掘削され、本住居の東側の状況は不明である。50号竪穴住居と、49号竪穴住居が切り合う箇所、焼土や粘土の塊、竈の部材と考えられる砂岩、土器などが集中して出土した。しかし、竈の構造を示す掘り込みなどは確認されなかった。本来の竈の位置は、49号竪穴住居側であったと推察される。遺物は、土師器の甕、須恵器の甕の破片が出土している。

54号竪穴住居 (図63)

54号竪穴住居はⅢ区の南に位置する。北側は48号竪穴住居に切られており、南側は攪乱により破壊されている。東側は調査区外に延びており、現状では住居の西壁のみが確認できる。西壁からは、住居の主軸は北を向きやや東に振れるようである。壁近くまで硬化面が広がっていた。遺物は土師器の坏や高坏、須恵器の碗などが出土している。

55号竪穴住居 (図63)

55号竪穴住居は、50号・42号竪穴住居のように、54号住居の内側に位置する。54号竪穴住居の床を剥ぎ、掘方まで掘削する際に一段低い掘り込みを検出したため、55号竪穴住居とした。西壁は、ほぼ54号竪穴住居と並行するが、南側が緩やかに東へカーブしているようであった。遺物は土師器や須恵器の小片が出土している。

42・47・49・50号竪穴住居位置関係

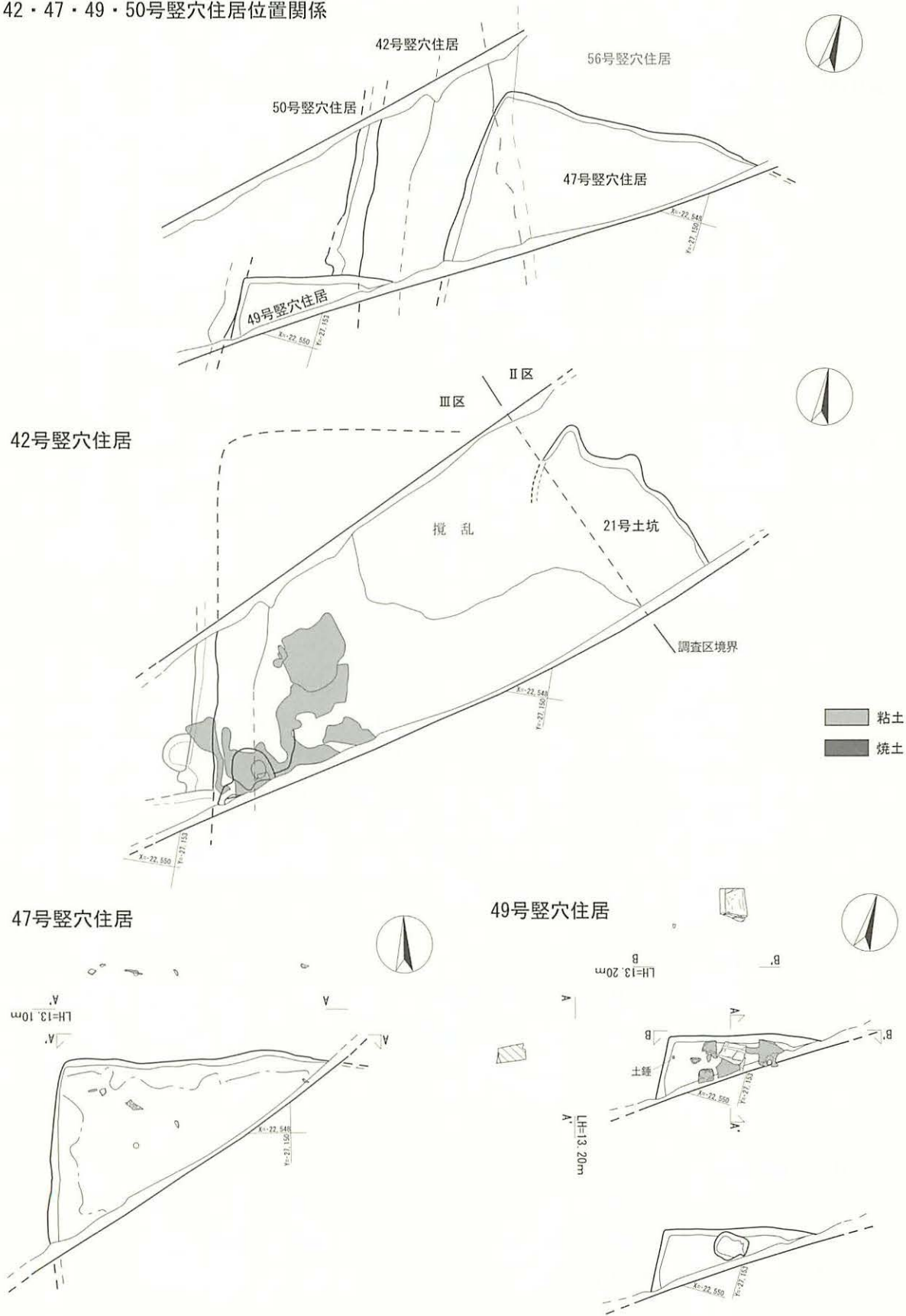


図61 42号・47号・49号・50号竪穴住居位置関係図、42号・47号・49号竪穴住居実測図 (1/50)

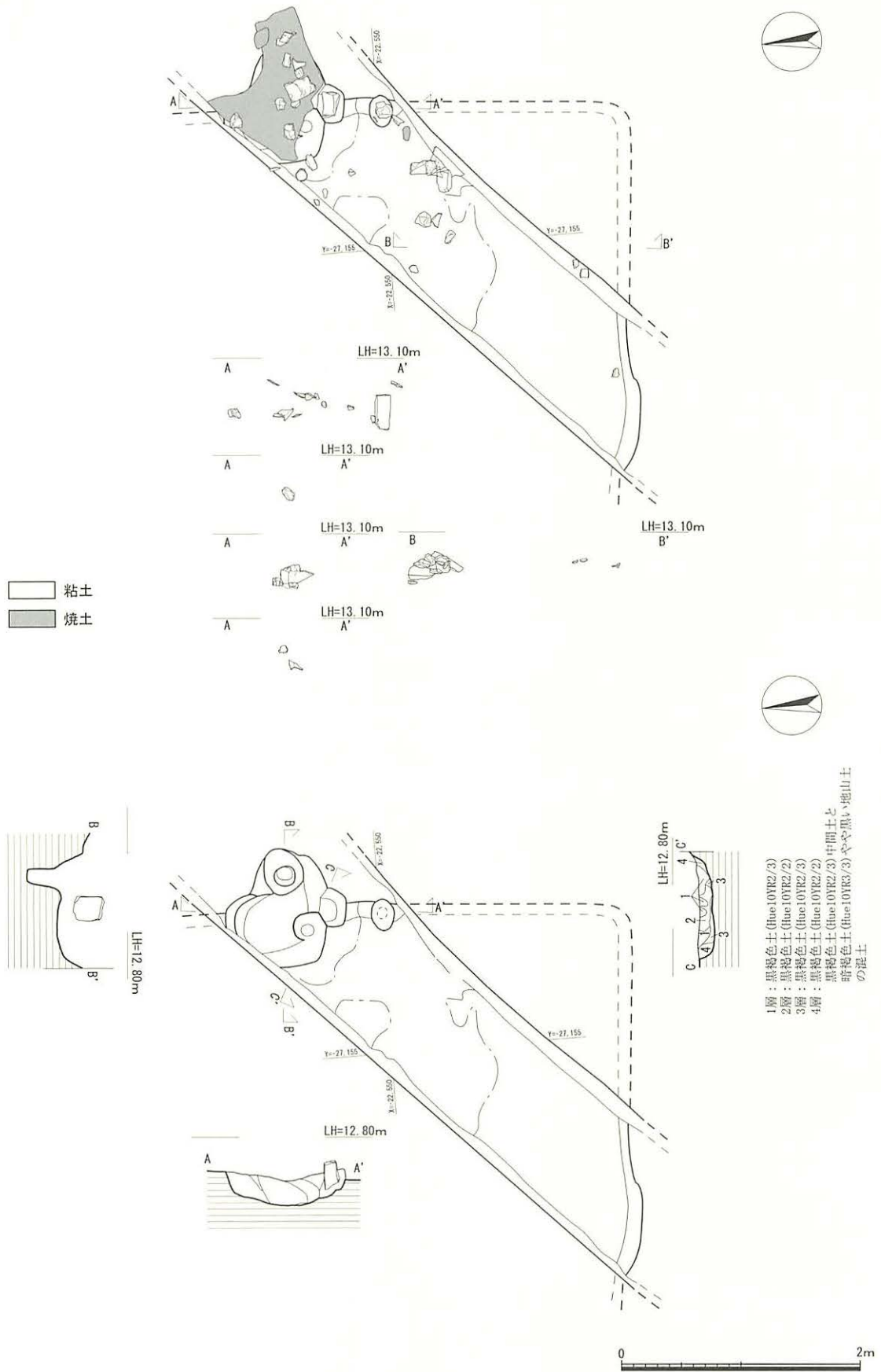


図62 48号竪穴住居実測図 (1/50)

<溝>

43号・44号溝? (図63)

43号・44号溝状の遺構は、Ⅲ区の南、48号竪穴住居の南端付近に位置する。Ⅲ区の包含層を掘削して遺構を検出する過程で、42号竪穴住居の埋土のような粘性のある土が溝状に検出されたため、43号溝として掘削し、測量を行った。その後、周囲を掘り下げていくなかで、再度、粘性のある土の範囲が検出されたため、44号溝として掘削し、測量をおこなった。上下の位置関係にあり、この二つの粘性のある土は一連のものであると考えられる。また、44号は溝というよりは土坑のような形状であった。隣接する0104調査地点では、これに続くと考えられる遺構は検出されていない。これらのことから、本当に溝のような機能をもった遺構であるかは不明である。遺物は土師器の坏や碗、須恵器の坏、碗、壺などが出土している。

<掘立柱建物> (図64)

掘立柱建物を構成する柱穴と考えられる、南北に並ぶピットをⅠ区で確認した。31号ピットと37号ピットである。隣接する0104調査区の遺構は位置図では、31・37号ピットの北側延長上に、同じ間隔で二つの柱穴らしきピットが並んでいるのを確認できた。南北3間の建物である。0104調査地点では、西側に展開する柱穴がないため、東側に展開すると考えられるが、東側に存在するはずの柱穴は、攪乱や調査区外に相当し確認することはできない。

<その他の遺構>

41号土坑 (図63)

41号土坑は、47号竪穴住居の北西隅付近の上部で検出された。47号竪穴住居の埋没後に掘削されたものである。本調査区では、ピットが多く検出されたが、一回り大きなものであったので、土坑として掘削した。半裁しながら丁寧に掘削したが、特殊な遺物などの出土はなかった。土師器の坏や甕、須恵器の碗や甕などが出土している。

3号ピット

Ⅰ区の西壁中央に位置する。半分ほどは、調査区外で半月状である。普通のピットであるが、上部から漁網錘が数点まとまって出土した。本調査地点Ⅰ区に隣り合う0104調査地点Ⅳ区の204号ピットの上部から、同様に10数点の漁網錘が出土している。当時の概報では、まとまった数の出土状況から漁網をピットに収納したものと考えたが、漁網の保管法として適当であるとも考えにくい。祭祀に関連するとも考えられず、このような出土状況の理由は不明である。

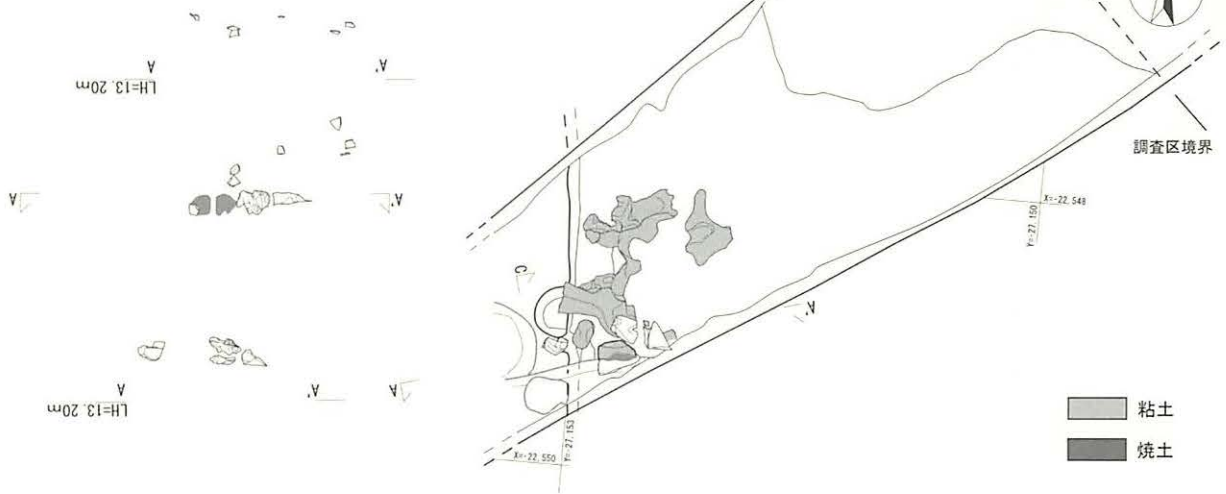
(4) 出土遺物 (図65~69)

出土遺物は、土師器と須恵器が遺構および包含層から数多く出土した。また、古式土師器や鉄器、土製品が出土した。そのほか縄文土器、弥生土器、縄文時代石器も出土している。

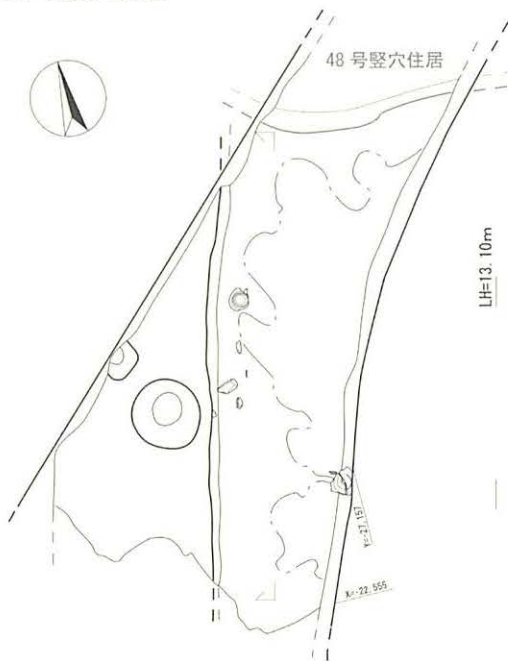
56号竪穴住居出土遺物

図65：1～5は56号竪穴住居出土の古式土師器の高坏と小型丸底壺、手捏土器の壺である。1は杯部の下方に段を残し、全体が直線的に大きく開く。2は、段の痕跡をわずかに残し、内湾した深い坏部である。高坏はいずれも脚部を欠く。小型丸底壺は、頸部上方に段をもつ口縁部が開くもので、胴

50号竖穴住居



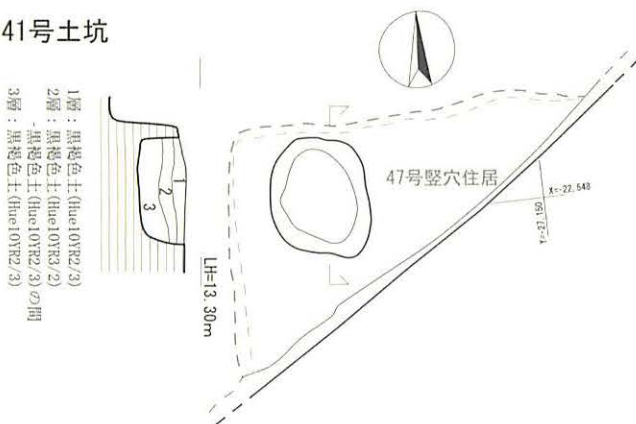
54号竖穴住居



55号竖穴住居



41号土坑



43・44号溝

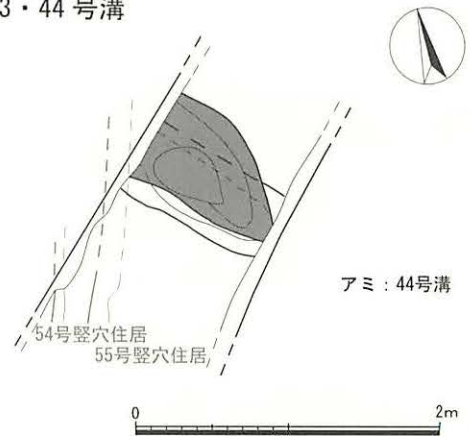


図63 50号・54号・55号竖穴住居、41号土坑、43号・44号溝実測図 (1/50)

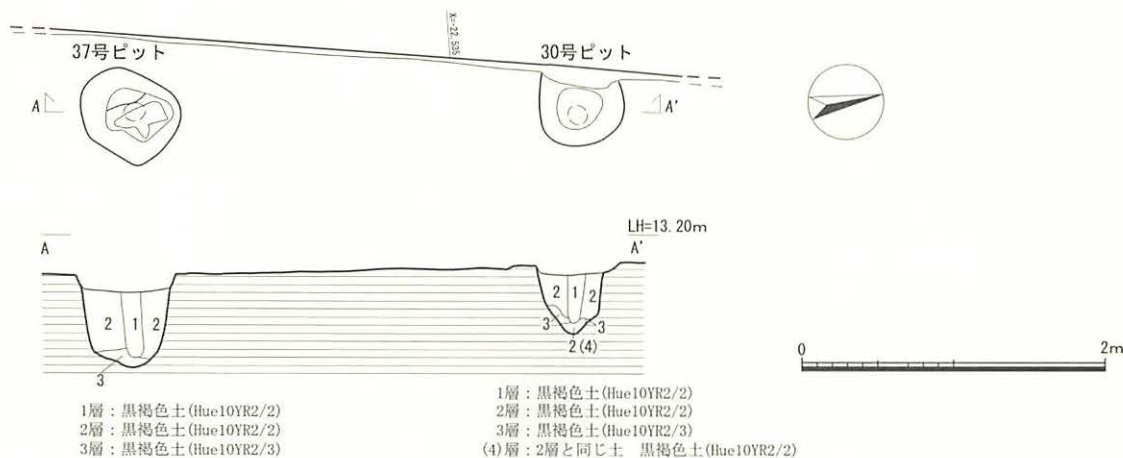


図64 掘立柱建物跡実測図 (1/50)

部以下を欠く。これらは布留Ⅱ式段階と考えられる。5の須恵器の碗の小片は、本住居の上に重複する古代の住居に属するものの混入であろう。このほか、古式土師器の甕など細片が出土している。

1号竪穴住居出土遺物

図65：6～7は1号竪穴住居から出土した土師器である。6は直線的な口縁が開く小型の壺で、細かなハケ目を残す。古式土師器と考えられる。7は厚い口縁が大きく外反する甕の口縁部である。7世紀～8世紀前半のころか。これらのほか、土師器や須恵器の細片が出土している。

5・6・32号竪穴住居出土遺物

図65：8～11は、5・6・32号竪穴住居出土の土師器鉢、高坏、手捏土器の壺、須恵器碗である。土師器の鉢は、内外ともに丹と考えられる赤彩が丁寧に施されている。10は坏のようでもあるが、脚との接合をうかがわせる箇所があり、高坏とした。内面は赤色の化粧土が施されている。須恵器の碗は断面三角形の高台が付いている。8世紀前半のころと考えられる。これらのほか、土師器や須恵器の細片が出土している。

42 (45・46)号竪穴住居出土遺物

図65：12～34は、42号竪穴住居から出土した土師器と須恵器である。12～17は土師器の坏や碗で、15は盤の可能性もある。20は鉢 (鍋)、21～24は土師器の甕である。21～22は厚い口縁で古い要素をもち、23～24は薄くなった口縁がやや上向きの外反する新しい要素を持っている。25～28は古式土師器の甕の口縁と高坏の脚部で、これらは本来、下位の56号竪穴住居に属するものと考えられる。29～30は蓋で、29は極端に扁平化したものである。いずれも直径は13cm強ほどで、小型である。31～32は坏で、32は低い高台が底部の端部についている。33は直口の短頸壺の肩部か、長頸壺の肩部と考えられる。34は長頸壺の肩部である。これらはおおよそ8世紀後葉～9世紀初頭のころのものと考えられる。

47号竪穴住居出土遺物

図65：35～37は47号竪穴住居から出土した須恵器の蓋と坏である。8世紀後半のころであろう。こ

のほか、土師器の甕の破片など数点が出土している。

48号竪穴住居出土遺物

図65：38～44、図66：45～61は、48号竪穴住居から出土した土師器と須恵器である。38は高坏の坏部と考えられる。39～44は、土師器の坏で、41～44はヘラ磨きが顕著なものを挙げた。46は高坏と考えられるが、脚の径が小さく坏との接合部も薄く、古式土師器の高坏や器台の可能性もある。48は鉢(鍋)で、49～54は甕である。49～51は厚手の口縁が外反する古い要素を持ち、52～54は薄い口縁がやや上向きに外反する新しい要素を持つ。55～61は須恵器である。55は蓋にかえりが付いており古相を呈する。7世紀後葉のころと考えられる。坏は短い高台が内側に付いており、これらは8世紀後半のころと考えられる。61須恵器甕の口頸部である。これらは、8世紀後半～9世紀前半の所産と考えられる。

49号竪穴住居出土遺物

図66：62は49号竪穴住居から出土した土師器の坏である。内外面ともにヘラなでが顕著であり、外面底部には「×」のヘラ記号が付けられている。このほか、土師器の坏や甕、須恵器の甕の破片などが出土している。

50号竪穴住居出土遺物

図66：63～66は50号竪穴住居出土の土師器と須恵器である。63は土師器の坏、64～65は甕である。65は「く」の字に外反し屈曲部が肥厚する口縁部であるが、64は均一な厚さで真っ直ぐ下へ延びる形態である。66は須恵器の甕の胴部片と考えられる。8世紀後半～9世紀前葉にかけての遺物である。これらのほか、土師器や須恵器の細片が出土している。

54号竪穴住居出土遺物

図66：67～70は、54号竪穴住居出土の土師器と須恵器である。67は土師器の高坏で、坏部は盤状である。68は須恵器の碗である。真っ直ぐ立ち上がり深さがあり、短い高台が見の内側につく。これらは、8世紀前半～中葉のころと考えられる。69は古式土師器の小型丸底壺の口縁部、70は古式土師器の高坏の脚部である。これらのほか、土師器の甕、須恵器の蓋や甕の細片が出土している。

43号溝出土遺物

図66：71～74は、43号溝から出土した土師器と須恵器である。71～72は浅くまっすぐ開く坏のようであり、73は底の端部に低い高台が付く。74は長頸壺の肩部と考えられる。8世紀後葉のころと考えられる。

44号溝出土遺物

図66：75～79は、44号溝から出土した土師器と須恵器である。75は坏の底部で立ち上がる部分の断面が、三角形に肥厚する特徴を見せる。76は内湾気味に立ち上がる口縁であるが、下方が曲がってすぼまるようである。9世紀後半以降のものか。77は須恵器の蓋、78～79は坏である。79はかなり低い高台が、やや内側についている。8世紀後葉の所産と考えられる。

2. (医病) 東病棟新営機械設備 (衛生) 工事 (変更) に伴う発掘調査 (0835調査地点)

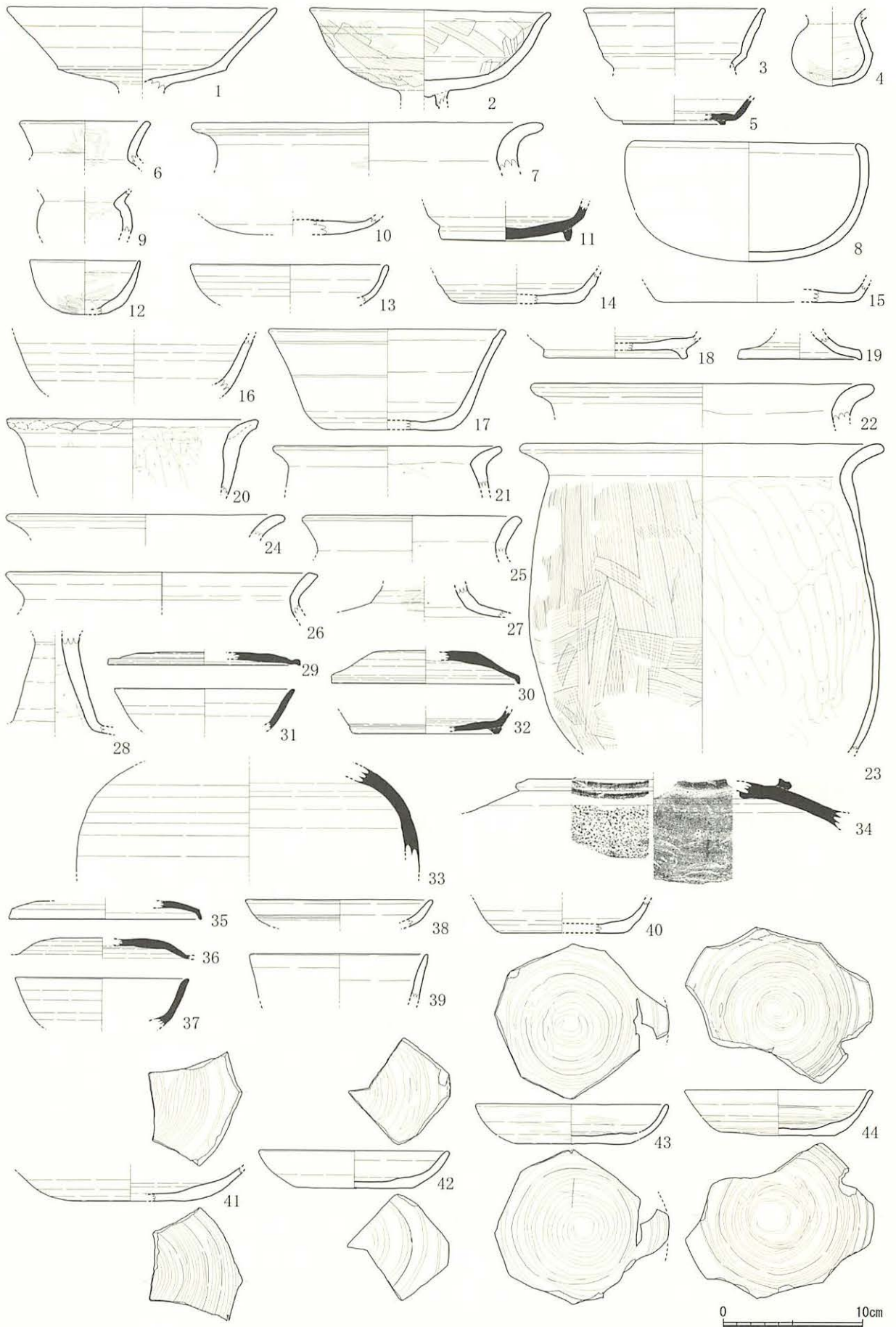


図65 0835調査地点出土遺物実測図1 (1/4)

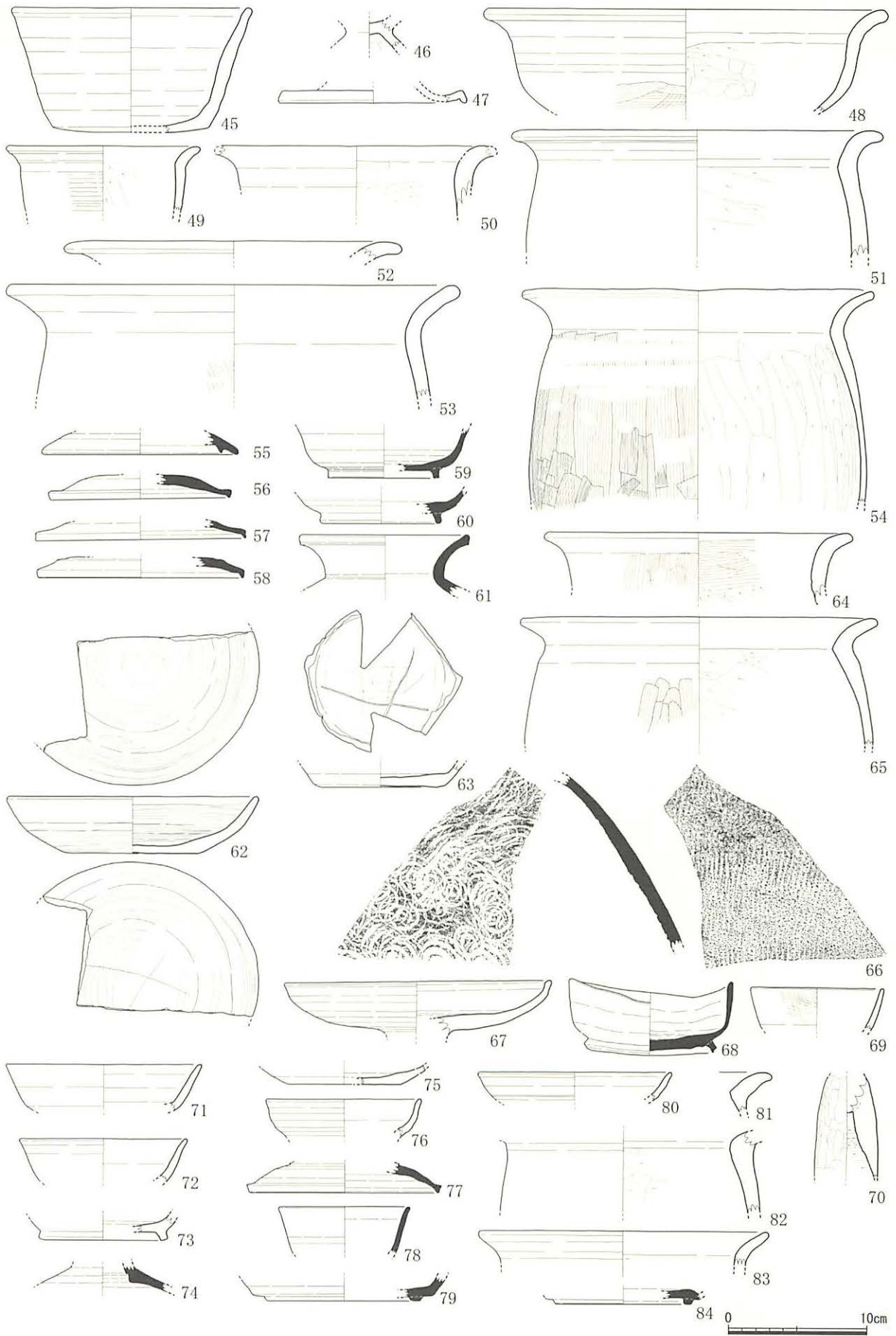


図66 0835調査地点出土遺物実測図2 (1/4)

2. (医病) 東病棟新営機械設備 (衛生) 工事 (変更) に伴う発掘調査 (0835調査地点)

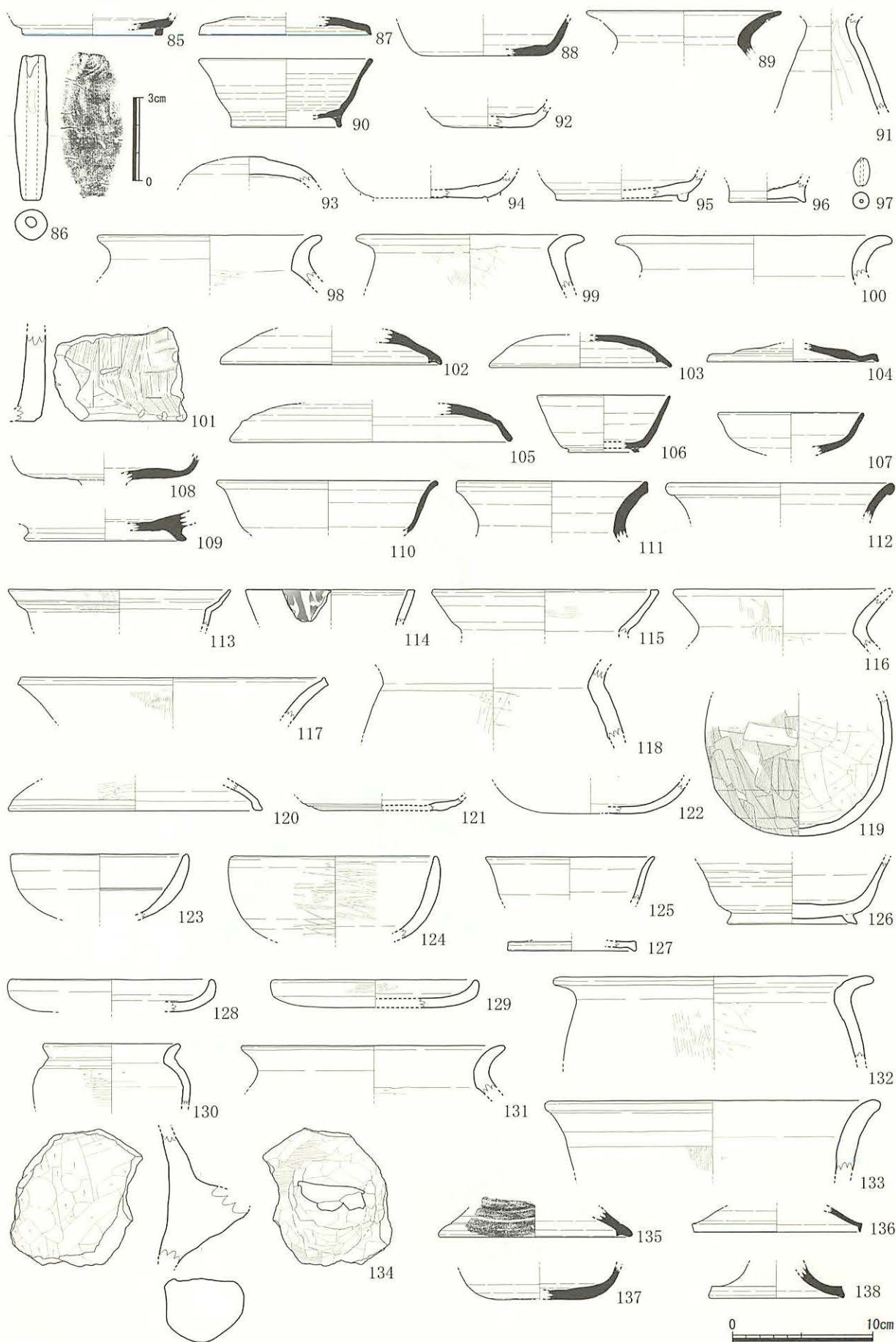


図67 0835調査地点出土遺物実測図3 (1/2・1/4)

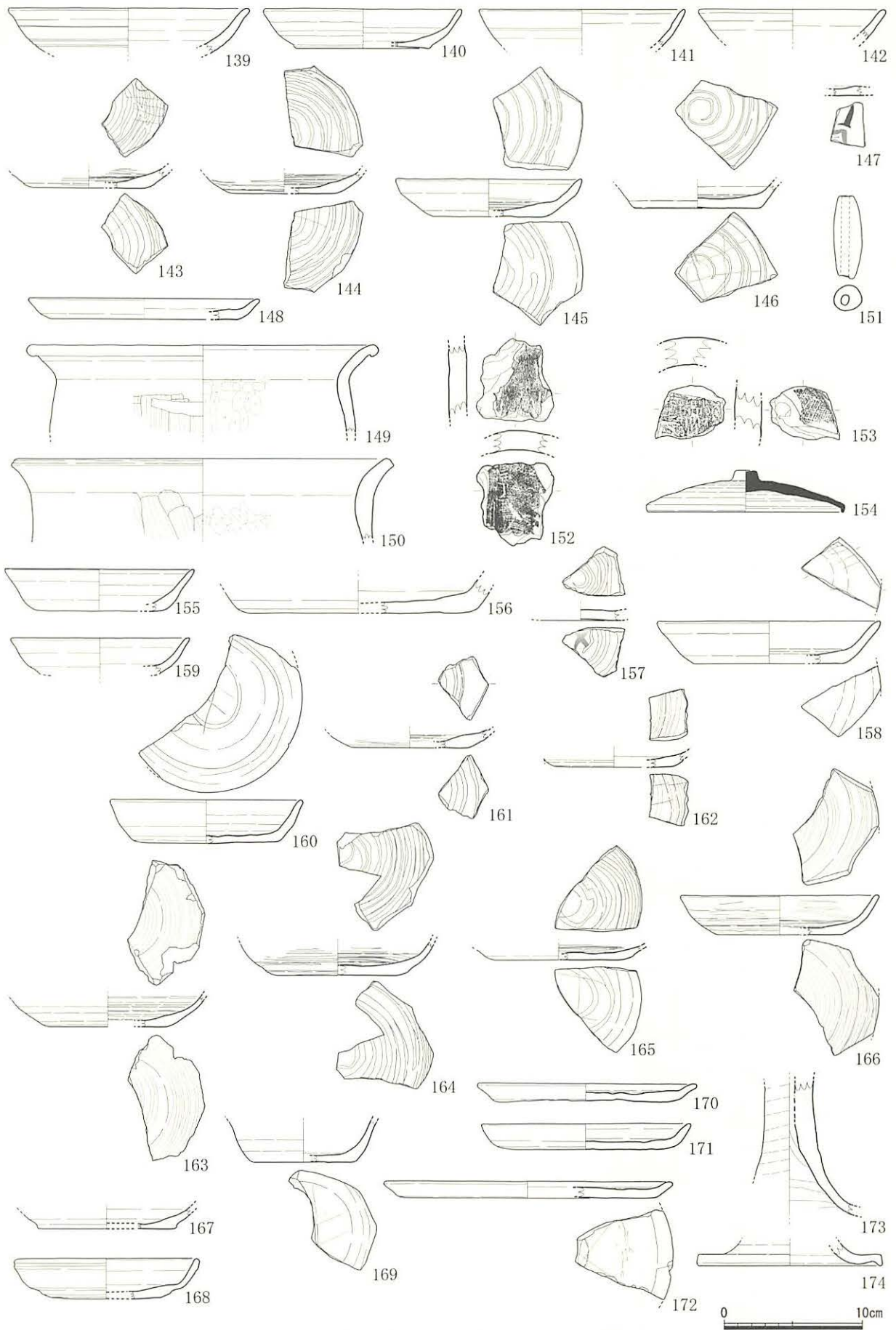


図68 0835調査地点出土遺物実測図4 (1/4)

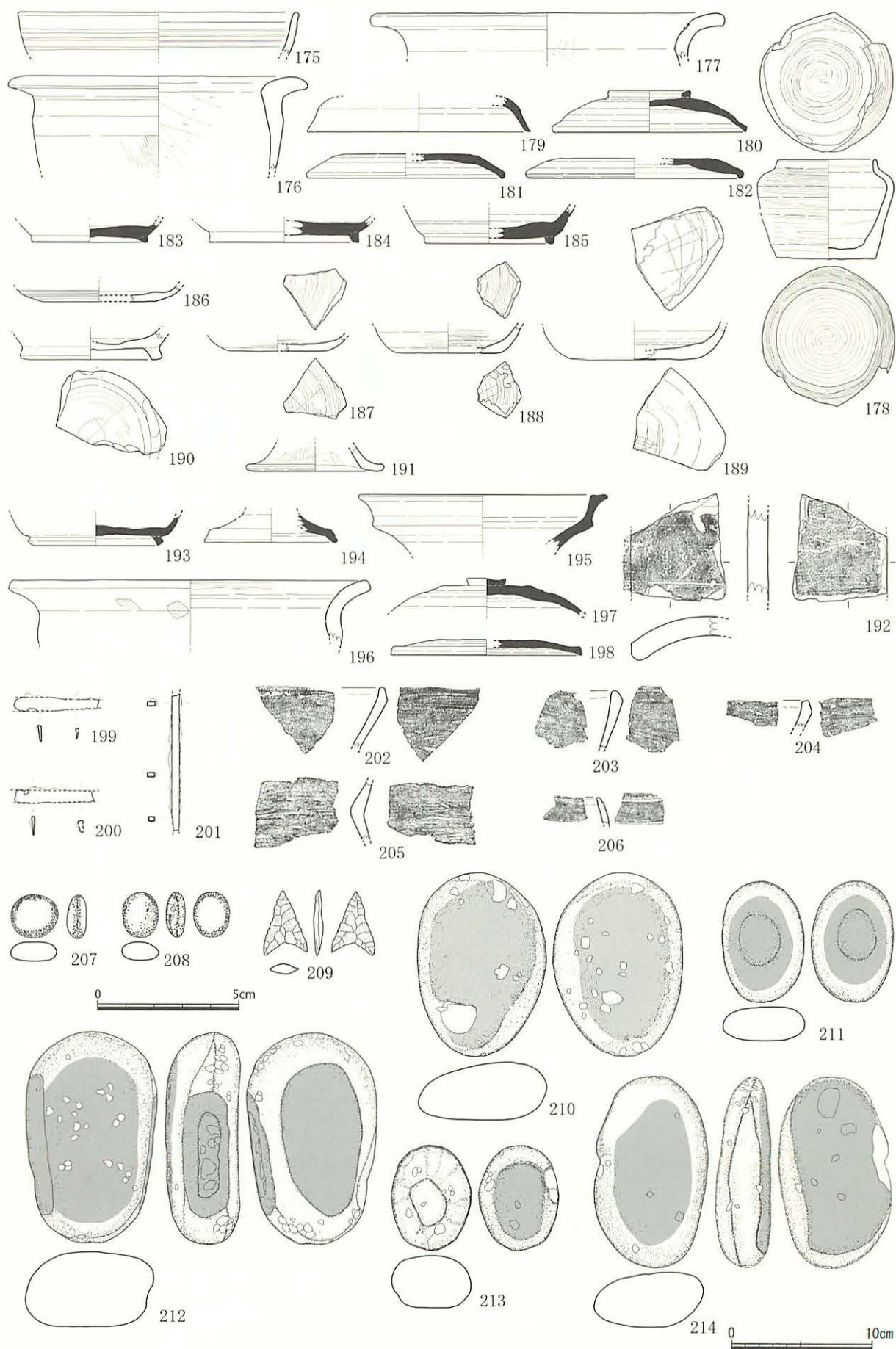


図69 0835調査地点出土遺物実測図5 (1/2・1/4)

41号土坑出土遺物

図66：80～84は41号土坑から出土した土師器と須恵器である。80は坏で口縁部にススが付着しており、燈明皿として使用している。81～83は甕の口縁部で、81と82は厚手、83は薄手で上向きに外反する。前者は8世紀後半～9世紀初頭のころ、後者は9世紀前半のころと考えられる。84は須恵器の碗で、非常に低い高台が底の端部の少し内側に付いている。8世紀後葉のころと考えられる。これらのほかにも、土師器の坏や甕、須恵器の碗や甕などの細片が出土している。

55号住居出土遺物

55号住居では、図化できるような遺物はないが、土師器や須恵器の細片が出土している。

その他の遺構出土遺物

図67：85～86は3号ピットから出土した、須恵器の碗と土錘である。86の土錘には、表面に非常に細かい布の跡が残る。87～88は4号ピットから出土した須恵器の蓋と坏である。85～88は8世紀後葉～9世紀初のころと考えられる。89は9号ピットから出土した須恵器の壺の口縁・頸部である。90は11号ピットから出土した須恵器の碗で、高い高台と大きく真っ直ぐ開く身が特徴で、9世紀前半と考えられる。91は20号土坑から出土した古式土師器の高坏の脚部である。92は31号ピット出土の土師器の坏である。

93～112は、I区の包含層や攪乱などから出土した遺物である。土師器の蓋、坏、甕、土錘、移動式竈、須恵器の蓋、坏、碗、甕、高坏がある。96の土師器の坏は、高台から一体となって身が立ち上がるもので9世紀後半かと考えられる。甕はいずれも厚手で外反するもので、8世紀中葉～末のころと考えられる。須恵器の蓋の102と103はかえりが退化した状態で残っており、7世紀後半代と考えられる。107は坏の底部が下方に続くようで、高坏のようである。109～110は大型の碗である。109は途中に段が付き、口縁が如意状に外反するタイプの碗の底部ではないかと考えられる。

113～138は、II区の包含層や攪乱などから出土した遺物である。古式土師器の壺や甕、古代の土師器の坏や甕、甌、須恵器の蓋、坏、高坏などがある。113～119は古式土師器である。113は小形屈曲口縁鉢、114～119は甕の口縁部や胴部である。120～134は古代の土師器で、蓋、坏、碗、高坏、皿、甕、甌などがある。135～138は須恵器の蓋、坏、高坏である。7世紀末～8世紀中葉のころと考えられる。

図68：139～174、図69：175～185はIII区の包含層から出土した遺物である。土師器の坏、甕、盤、高坏、短頸壺がある。坏の多くに、底部に丁寧なヘラ磨きがほどこされており、143・144・146・158・160・162・165・169・172にはヘラ記号が付けられている。147・157は底部に墨書があるが、文字は不明である。須恵器は蓋と碗がある。

186～198は、攪乱および出土地点不明のもので、同様に土師器の坏や碗、高坏、甕、布目瓦、須恵器の碗、高坏、長頸壺、蓋などが出土している。187・189・190の坏にはヘラ記号が付いている。

199～201は鉄器で、199と200は刀子、201は鎌と考えられる。

202～206は縄文土器である。いずれも土器の表面が良く磨かれている。202・203・204は太郎迫式の深鉢形土器の口縁部である。205は太郎迫式の深鉢形土器の頸部から胴部への屈曲部である。206は浅鉢形土器の口縁部と考えられる。口縁部には、縄文もしくは細かな刻みがあり、その下には細い沈線が施され、さらにその下に沈線が施されている。磨きや胎土などは、他の太郎迫式の土器と類似するが、形態や文様の施し方などは類例がなく、型式不明である。

207～214は石器である。207と208は、扁平で丸く丁寧にみがかれており、碁石と考えられる。209～214は磨石である。

(5) まとめ

本調査地点は、0104調査地点に隣接しており、0104調査地点の発掘調査成果と同様に、古墳時代前期末～中期初頭の遺物と遺構、8世紀～9世紀前半を中心とする遺物と遺構が確認された。予想されたことではあるが、この一帯が近年取り壊された旧3病棟・旧5病棟以外の攪乱をほとんど受けておらず、遺跡の保存状況が良好であることが改めて確認された。

本調査地点では、少数ではあるが、墨書土器や布目瓦の追加資料があった。墨書土器や刻書土器の出土は、附属病院敷地の北東側で多く、「杵本寺」などの文字もある。掘立柱建物は2棟しか確認されていないが、氏寺や公的な建物があつたのではと推定されている。一方、敷地の南西側では、現在の西病棟を建設した際の9901調査地点で、大型の掘立柱建物数棟と、「主帳」の刻書がある土器や墨書土器が数点確認されている。今回の調査成果は、敷地の南西側にも公的施設があつたことを補強するものである。病院敷地内の白川沿いには、一般集落とともにこのような施設が立ち並んでいたことを示している。

本調査地点は0104調査地点に隣接していたが、両地点を比較すると本調査区は0104調査地点より面積の割には遺物の出土量が多かったように感じた。特に48号竪穴住居や54号竪穴住居の上部付近で遺物の集中的な出土が顕著であり、この付近には別の住居があつたのではないかと考えられる。0104調査地点と本調査地点の両地点を同時に調査できたならば、確認できた遺構、特に住居はもう少し数が増えたのではないかと、狭長な範囲を調査する際の不利な点を改めて痛感した。遺跡の保存状況が良いだけに、その点が惜まれる。

本調査地点の報告をもって、附属病院敷地の南西部における調査地点の報告が一通り完了となった。今後、各調査地点の総合的な検討を進めたい。

表10 0835調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
65	1	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高 19.3	1/3	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR5/4	Ⅲ区56号竪穴住居No1	
	2	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高 17.65	2/3	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 10YR7/6	Ⅲ区56号竪穴住居No5	外面一部にスス付着 内外面一部赤色化粧土
	3	古式土師器	小型丸底甕	口径 底径 器高 13.2	口縁部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 10YR5/4 外：Hue 10YR6/4	Ⅲ区56号竪穴住居攪乱	
	4	ミニチュア 土器	壺	胴径 底径 器高 3.35 2.6	ほぼ完形	内：ナデ, 削り, 指オサエ 外：ナデ, 削り	内：Hue 5YR5/4 外：Hue 5YR5/4	Ⅲ区P141 Ⅲ区56号竪穴住居No3 Ⅲ区56号竪穴住居西 下けⅢ区清掃	外面にスス付着
	5	須恵器	碗	口径 底径 器高 7.4	底部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 7.5Y5/1 外：Hue 10Y5/1	Ⅱ区56号竪穴住居	
	6	古式土師器	小型壺	口径 底径 器高 9.4	口縁部片	内：回転ナデ, 削り, ハケ目 外：回転ナデ, ハケ目	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	I区1号竪穴住居Ⅱ層	外面一部にスス付着
	7	土師器	甕	口径 底径 器高 25.6	口縁部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, ハケ目	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	I区P1 (1号竪穴住居 内)	
	8	土師器	鉢	口径 底径 器高 16.3 6.95 8.75	1/2	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 2.5YR3/6 外：Hue 2.5YR5/4	I区5号竪穴住居No2	赤色化粧土(丹)
	9	ミニチュア 土器	甕	最大胴部径： 底径 器高 6.8	胴部片	内：ナデ, 削り 外：ナデ, 削り	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR6/3	I区Ⅱ層6号竪穴住居 付近	
	10	土師器	高 坏?	口径 底径 器高	底部片	内：回転ナデ, ナデ 外：ナデ, 削り	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 10YR7/4	Ⅱ区32号竪穴住居 (I a層)	内面に赤色化粧土
	11	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.3	1/4	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 2.5Y6/1 外：Hue 5Y7/1	I区5号竪穴住居No1	外面に自然釉付着
	12	土師器	坏	口径 底径 器高 7.9 3.2 3.9	口縁～底部片	内：回転ナデ, 削り, 磨き 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 10YR6/4	Ⅲ区45号粘土	外面にスス付着
	13	土師器	坏	口径 底径 器高 14.4	口縁部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 2.5YR6/6	Ⅲ区42号竪穴住居粘土	赤色化粧土
	14	土師器	坏	口径 底径 器高 9.4	底部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅲ区42号竪穴住居	赤色化粧土
	15	土師器	盤?	口径 底径 器高 17.6	底部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅲ区42号竪穴住居清掃	
	16	土師器	坏	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅲ区42号竪穴住居東半	外面一部にスス付着
	17	土師器	坏	口径 底径 器高 17.4 9.8 7.3	約1/4	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅲ区P64	赤色化粧土
	18	土師器	碗	口径 底径 器高 10.5	底部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅲ区45号粘土西半壁	外面に赤色化粧土
	19	土師器	高 坏	口径 底径 器高 9.0	脚部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅲ区45号粘土	
	20	土師器	鉢(鍋)	口径 底径 器高 18.0	口縁部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 7.5YR7/3 外：Hue 5YR6/4	Ⅲ区42号竪穴住居粘土	口縁を削り輪花のようにしてある
	21	土師器	甕	口径 底径 器高 16.7	口縁部片	内：回転ナデ, ナデ 外：回転ナデ, 削 り	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅲ区42号竪穴住居	内外面一部にスス付着
	22	土師器	甕	口径 底径 器高 25.0	口縁部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 2.5Y7/4 外：Hue 5.2Y5/3	Ⅲ区42号竪穴住居粘土	
	23	土師器	甕	口径 底径 器高 26.5	1/2	内：回転ナデ, 削り, 指オサエ 外：回転ナデ, 削り, ハケ目	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅲ区42号竪穴住居・Ⅲ 区42号竪穴住居下層・ Ⅲ区45号粘土・Ⅲ区 P63・Ⅲ区P63の下・ Ⅲ区P105・Ⅲ区P128	赤色化粧土
	24	土師器	甕	口径 底径 器高 20.0	口縁部片	内：回転ナデ, ナデ 外：回転ナデ, ナデ	内：Hue 5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅲ区42号竪穴住居	
	25	古式土師器	甕	口径 底径 器高 16.0	口縁部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削 り	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅲ区42号竪穴住居東半 南壁	外面口縁部にスス付着
	26	古式土師器	甕	口径 底径 器高 22.4	口縁部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅲ区42号竪穴住居東半	内面一部にスス付着
	27	古式土師器	高 坏	口径 脚部径 器高 8.0	脚部片	内：回転ナデ, 削り, 磨き 外：回転ナデ, 削り, 磨き	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 10YR7/6	Ⅲ区42号竪穴住居下層	
	28	古式土師器	高 坏	口径 底径 器高	脚部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR7/4	Ⅲ区P104	

2. (医病) 東病棟新営機械設備 (衛生) 工事 (変更) に伴う発掘調査 (0835調査地点)

図番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
65	29	須恵器	蓋 口径139 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 10Y5/1	Ⅲ区42号竪穴住居粘土	
	30	須恵器	蓋 口径138 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y7/1 外: Hue 5Y5/1	Ⅲ区42号竪穴住居下層	
	31	須恵器	坏 口径129 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y7/1 外: Hue 2.5Y7/1	Ⅲ区42号竪穴住居	
	32	須恵器	碗 口径11.2 底径器高	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue N6/0	Ⅲ区42号竪穴住居東半	
	33	須恵器	壺 口径24.6 胴部器高	胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y5/1 外: Hue 7.5Y6/1	Ⅲ区 P102	内面に自然釉 (粒状) 付着
	34	須恵器	壺 口径20.0 底径器高	口縁~肩部片	内: 回転ナデ, 削り, 当て具痕 外: 回転ナデ, 削り, タタキ	内: Hue N6/0 外: Hue N6/0	Ⅲ区 P71	外面に自然釉付着
	35	須恵器	蓋 口径138 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 5Y6/1	Ⅲ区47号竪穴住居	
	36	須恵器	蓋 口径器高	天井部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y5/1 外: Hue 5Y6/1	Ⅲ区47号竪穴住居	
	37	須恵器	坏 口径12.5 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y5/2 外: Hue 5Y5/1	Ⅲ区47号竪穴住居床下	
	38	土師器	高坏 口径13.6 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	Ⅲ区48号竪穴住居境土坑	
	39	土師器	坏 口径13.0 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	Ⅲ区48号竪穴住居東半 下層	外面・口縁部にスス付着
	40	土師器	坏 口径9.0 底径器高	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	Ⅲ区中央48号竪穴住居 東半	
	41	土師器	坏 口径9.4 底径器高	底部片	内: 回転ナデ, ヘラ 磨き 外: 回転ナデ, 削り, ヘラ磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR5/6	Ⅲ区48号竪穴住居西	外面に赤色化粧土
	42	土師器	坏 口径13.9 底径器高 8.6 2.5	1/4	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 10YR7/3	Ⅲ区48号竪穴住居西下 層	
43	土師器	坏 口径14.0 底径器高 9.0 2.9	2/3	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 7.5YR7/6	Ⅲ区48号竪穴住居No13	外面に線刻あり	
44	土師器	坏 口径13.65 底径器高 8.55 3.3	1/2	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR5/6	Ⅲ区 P 1 2 9 Ⅲ区中央48号竪穴住居 東半上面	赤色化粧土	
66	45	土師器	坏 口径17.3 底径器高 11.2 9.0	約1/6	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅲ区48号竪穴住居西No 2	赤色化粧土
	46	土師器	高坏 口径3.4 底径器高	頸部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/4	Ⅲ区中央48号竪穴住居 東半	
	47	土師器	高坏 口径13.6 底径器高	脚部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR5/6	Ⅲ区中央48号竪穴住居 東半	赤色化粧土
	48	土師器	鉢(鍋) 口径29.4 底径器高	1/8	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 7.5YR8/4 外: Hue 7.5YR7/4	Ⅲ区48号竪穴住居No12	内外面にスス付着 内面指頭圧痕
	49	土師器	甕 口径13.8 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	Ⅲ区48号竪穴住居西半 下層	
	50	土師器	甕 口径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り, 一部ハケ目残り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 2.5YR6/6	Ⅲ区48号竪穴住居No1	内外面にスス付着 赤色化粧土
	51	土師器	甕 口径26.8 底径器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 5YR5/6	Ⅲ区48号竪穴住居西No6 Ⅲ区中央48号竪穴住居 東半	
	52	土師器	甕 口径24.2 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/6	Ⅲ区48号竪穴住居No14	
	53	土師器	甕 口径32.5 底径器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	Ⅲ区48号竪穴住居西下 層	
	54	土師器	甕 口径20.54 底径器高	1/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/3	Ⅲ区48号竪穴住居No7 Ⅲ区48号竪穴住居No16 Ⅲ区48号竪穴住居No18 Ⅲ区48号竪穴住居境土 坑	内外面にスス付着
	55	須恵器	蓋 口径14.1 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y7/4 外: Hue 2.5Y5/2	Ⅲ区48号竪穴住居西半 下層	
	56	須恵器	蓋 口径13.1 底径器高	1/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue N5/0	Ⅲ区48号竪穴住居No11	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考	
66	57	須恵器	蓋	口径 底径 器高 15.1	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue N6/0 外：Hue 5Y6/1	Ⅲ区48号竪穴住居東半 床下		
	58	須恵器	蓋	口径 底径 器高 14.8	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5Y5/1 外：Hue 5Y6/2	Ⅲ区48号竪穴住居西半		
	59	須恵器	碗	口径 底径 器高 8.1	底部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue N5/0 外：Hue N4/0	Ⅲ区48号竪穴住居No10		
	60	須恵器	碗	口径 底径 器高 8.8	底部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 2.5Y5/1	Ⅲ区48号竪穴住居西下面		
	61	須恵器	甕	口径 底径 器高 12.4	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 10Y3/1 外：Hue 7.5Y7/1	Ⅲ区中央48号竪穴住居 東半	内面に自然釉付着	
	62	土師器	坏	口径 底径 器高 18.0 9.2 4.05	1/2	内：回転ナデ、削り、 磨き 外：回転ナデ、ナデ、 削り、磨き	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅲ区49号竪穴住居 Ⅲ区P13	赤色化粧土	
	63	土師器	坏	口径 底径 器高 9.5	1/3	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR7/4	Ⅲ区49号竪穴住居上面 Ⅲ区50号竪穴住居No3 Ⅲ区53号ピット	線刻あり 赤色化粧土	
	64	土師器	甕	口径 底径 器高 22.2	口縁部片	内：回転ナデ、ハケ 目、ヘラ削り 外：回転ナデ、削り、 ハケ目	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 5YR6/6	Ⅲ区50号竪穴住居No7		
	65	土師器	甕	口径 底径 器高 25.8	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り、 ハケ目	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR7/4	Ⅲ区50号竪穴住居No2 Ⅲ区50号竪穴住居No4 Ⅲ区50号竪穴住居甕土 内		
	66	須恵器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue N6/0 外：Hue 7.5Y7/1	Ⅲ区50号竪穴住居No1	外面に自然釉あり	
	67	土師器	高坏	口径 底径 器高 19.4	1/2	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 5YR7/6 外：Hue 5YR7/4	Ⅲ区54号竪穴住居 Ⅲ区54号竪穴住居No6	赤色化粧土	
	68	須恵器	碗	口径 底径 器高 11.85 9.5 5.4	2/3	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5Y5/1 外：Hue 7.5Y4/1	Ⅲ区54号竪穴住居No1	外面に自然釉あり	
	69	古式土師器	坏	口径 底径 器高 9.6	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 10YR6/6 外：Hue 10YR6/6	Ⅲ区54号竪穴住居床は ぎ		
	70	古式土師器	高坏	口径 底径 器高	脚部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR8/4	Ⅲ区54号竪穴住居No2		
	71	土師器	坏	口径 底径 器高 14.0	口縁～胴部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅲ区43号溝		
	72	土師器	坏	口径 底径 器高 12.0	口縁～胴部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	Ⅲ区43号溝		
	73	土師器	碗	口径 底径 器高 9.2	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ、削り	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 5YR5/6	Ⅲ区43号溝	赤色化粧土	
	74	須恵器	長頸甕	頸部径 底径 器高 4.6	頸部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5Y4/1 外：Hue 10Y6/1	Ⅲ区43号溝		
	75	土師器	坏	口径 底径 器高 8.2	底部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 10YR7/2	Ⅲ区44号溝		
	76	土師器	坏	口径 底径 器高 11.	口縁～胴部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	Ⅲ区44号溝	赤色化粧土	
	77	須恵器	蓋	口径 底径 器高 13.7	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5Y6/1 外：Hue 7.5Y5/1	Ⅲ区44号溝		
	78	須恵器	坏	口径 底径 器高 9.5	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 2.5GY4/1 外：Hue 7.5Y5/1	Ⅲ区44号溝		
	79	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.0	底部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 5Y8/1 外：Hue 2.5Y7/2	Ⅲ区44号溝		
	80	土師器	坏	口径 底径 器高 14.0	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り、 磨き	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅲ区41号土坑	口唇部一部にスス付着 赤色化粧土	
	81	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅲ区41号土坑		
	82	土師器	甕	頸部径 底径 器高 19.0	頸部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、ナデ	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/4	Ⅲ区41号土坑		
	83	土師器	甕	口径 底径 器高 21.0	口縁部片	内：回転ナデ、ナデ 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/4	Ⅲ区41号土坑		
	84	須恵器	碗	口径 底径 器高 10.2	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ、削り	内：Hue 10Y5/1 外：Hue 7.5Y5/1	Ⅲ区41号土坑		
	67	85	須恵器	碗	口径 底径 器高 10.0	底部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 5Y5/1	I区3号ピット	
		86	土製品	土鐘	長さ 幅 厚さ 5.2 1.1 1.1	完形	内：棒抜き取り 外：ナデ、削り、磨き	内：Hue 2.5Y7/1 外：Hue 7.5Y5/1	I区3号ピット上面No2	外面に布痕あり

2. (医病) 東病棟新営機械設備 (衛生) 工事 (変更) に伴う発掘調査 (0835調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
67	87	須恵器	蓋	口径 底径 器高 13.4	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y6/1 外: Hue N5/0	I区4号ピット	
	88	須恵器	坏	口径 底径 器高 9.1	底部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y5/1	I区4号ピット	
	89	須恵器	甕	口径 底径 器高 12.1	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR6/2	I区9号ピット	
	90	須恵器	碗	口径 底径 器高 12.5 7.9 4.95	1/5	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR5/6 外: Hue 7.5YR6/4	I区11号ピット	赤色化粧土
	91	土師器	高坏	頸部径 底径 器高 3.6	脚部片	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR7/4	II区20号土坑	
	92	土師器	坏	口径 底径 器高 6.6	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR5/6	II区31号ピット	赤色化粧土
	93	土師器	蓋	口径 底径 器高	約3/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	I区II層	
	94	土師器	碗	口径 底径 器高	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	I区I層攪乱	貼付高台剥離
	95	土師器	碗	口径 底径 器高 9.4	底部片	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR7/6	I区II層地山	
	96	土師器	碗	口径 底径 器高 5.6	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	I区北東隅1	
	97	土製品	土錘	長さ 幅 厚さ 2.05 1.2 1.2	完形	内: 棒抜き取り 外: ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	I区II層(5号竪穴住居上)	
	98	土師器	甕	口径 底径 器高 16.0	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	I区I層攪乱	
	99	土師器	甕	口径 底径 器高 16.6	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/2 外: Hue 10YR6/4	I区北東隅1	内外面一部にスス附着
	100	土師器	甕	口径 底径 器高 20.0	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	I区II層(5号竪穴住居上)	
	101	土師器	甕	口径 底径 器高	脚部片	内: ナデ, 削り 外: ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/4	I区北東隅1	
	102	須恵器	蓋	口径 底径 器高 16.0	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y5/1 外: Hue 5Y6/1	I区I層	
	103	須恵器	蓋	口径 底径 器高 13.2	1/6	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N5/0 外: Hue 5Y5/1	I区北東隅1	内外面に自然釉附着
	104	須恵器	蓋	口径 底径 器高 12.4	1/7	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y4/1 外: Hue 5Y4/1	I区I層攪乱	
	105	須恵器	蓋	口径 底径 器高 20.4	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR7/1 外: Hue 10YR7/1	I区I層攪乱	
	106	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.6 5.2 4.1	約1/6	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/8	I区I層	赤色化粧土
	107	須恵器	高坏	口径 底径 器高 10.6	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5GY5/1 外: Hue N6/0	I区北東隅1	
108	須恵器	高坏	口径 底径 器高	1/6	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10Y5/1 外: Hue 10Y6/1	I区II層		
109	須恵器	碗	口径 底径 器高 11.6	底部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 5Y6/2	I区II層(5号竪穴住居上)		
110	須恵器	碗	口径 底径 器高 15.9	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10Y5/1 外: Hue 7.5Y4/1	I区II層		
111	須恵器	甕	口径 底径 器高 13.9	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y5/1 外: Hue 7.5YR6/2	I区北東隅1		
112	須恵器	甕	口径 底径 器高 16.6	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N5/0 外: Hue N4/0	I区I層攪乱		
113	古式土師器	屈曲口縁甕	口径 底径 器高 15.8	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/6	II区I' b層下		
114	古式土師器	甕	口径 底径 器高 12.2	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 2.5Y7/3	II区I' b層下		
115	古式土師器	甕	口径 底径 器高 16.4	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り, ハケ目 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR5/4	II区I' a層東半		
116	古式土師器	甕	口径 底径 器高 15.8	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 10YR6/3	II区I' a層東半	内外面一部にスス附着	
117	古式土師器	甕	口径 底径 器高 22.0	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	II区I' a層東半		

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
67	118	古式土師器	甕	頸部径160 底径 器高		内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	Ⅱ区 P5	内面一部にスス付着
	119	古式土師器	甕	口径 底径 器高 6.0	1/3	内:回転ナデ,削り, 指オサエ 外:回転ナデ,削り, ハケ目	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅱ区 P3 Ⅱ区東半 I 'a 層上 Ⅱ区東半 I 'b 層下	内外面にスス付着
	120	土師器	蓋	口径 180 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	Ⅱ区 I 'a 層東半	
	121	土師器	坏	口径 底径 器高 9.0	底部片	内:回転ナデ,ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅱ区 I 'a 層東半	赤色化粧土
	122	土師器	坏	口径 底径 器高 5.4	底部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR6/4	Ⅱ区 P9 (I 'a 層)	
	123	土師器	坏	口径 底径 器高 13.7	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	Ⅱ区Ⅱ層中央付近	赤色化粧土
	124	土師器	坏	口径 底径 器高 15.0	口縁~胴部片	内:回転ナデ,磨き 外:回転ナデ,削り, 磨き	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	Ⅱ区 I 層	赤色化粧土
	125	土師器	坏	口径 底径 器高 12.2	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	Ⅱ区 I 'a 層東半	
	126	土師器	碗	口径 底径 器高 9.4	約2/3	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	Ⅱ区 I 'a 層東半	
	127	土師器	高坏	口径 底径 器高 9.4	脚部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 5YR7/6	Ⅱ区 I 'a 層東半	内面に赤色化粧土
	128	土師器	高坏	口径 底径 器高 14.4	坏部口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ナデ	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR6/6	Ⅱ区 I 'a 層東半	赤色化粧土
	129	土師器	坏	口径 底径 器高 15.0 14.6 2.0	口縁部片	内:回転ナデ,削り, 磨き 外:回転ナデ,削り, 磨き	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	Ⅱ区西半Ⅱ層	赤色化粧土
	130	土師器	小型甕	口径 底径 器高 9.8	口縁~胴部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り, タタキ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	Ⅱ区 I 'a 層東半	外面に赤色顔料
	131	土師器	甕	口径 底径 器高 19.0	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ナデ	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	Ⅱ区 P1	
	132	土師器	甕	口径 底径 器高 23.0	口縁部片	内:回転ナデ,ナデ, 削り 外:回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 7.5YR7/4	Ⅱ区 P5	外面一部にスス付着
	133	土師器	甕	口径 底径 器高 24.2	口縁部片	内:回転ナデ,ナデ, 削り 外:回転ナデ,ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	Ⅱ区 I 'a 層東半	内面にスス付着
	134	土師器	甕	口径 底径 器高	把手	内:ナデ,削り, 指頭圧痕 外:ナデ,削り	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 10YR7/4	Ⅱ区 P2	外面にスス付着
	135	須恵器	蓋	口径 底径 器高 14.1	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5Y6/1 外: Hue 7.5Y5/1	Ⅱ区 I 'a 層東半	
136	須恵器	蓋	口径 底径 器高 12.2	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5Y5/2 外: Hue N7/0	Ⅱ区 I 'a 層東半		
137	須恵器	坏	口径 底径 器高 7.6	1/4	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	Ⅱ区 P6		
138	須恵器	高坏	口径 底径 器高 9.7	脚部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue N5/0	Ⅱ区清掃		
68	139	土師器	坏	口径 底径 器高 17.4	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 5YR4/1	Ⅲ区東半 I 'a 層上部	外面にスス付着
	140	土師器	坏	口径 底径 器高 14.4 10.0 2.85	1/3	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5YR4/8 外: Hue 5YR5/6	Ⅲ区東半 I 'a 層上部	内外面に赤色顔料
	141	土師器	坏	口径 底径 器高 15.0	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅲ区 I 層 (42号竪穴住居上)	赤色化粧土 内面一部にスス付着
	142	土師器	坏	口径 底径 器高 13.6	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅲ区中央 I 'b 層上面	赤色化粧土
	143	土師器	坏	口径 底径 器高 7.9	底部片	内:回転ナデ,削り, 磨き 外:回転ナデ,削り, 磨き	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	Ⅲ区 P42	内面に線刻あり 赤色化粧土
	144	土師器	坏	口径 底径 器高 7.4	1/8	内:回転ナデ,削り, 磨き 外:回転ナデ,削り, 磨き	内: Hue 5YR7/4 外: Hue 7.5YR6/6	Ⅲ区 P41	赤色化粧土 外面に線刻あり
	145	土師器	坏	口径 底径 器高 13.6 8.2 2.7	1/5	内:回転ナデ,削り, 磨き 外:回転ナデ,削り, 磨き	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅲ区中央 I 'a 層下部	赤色化粧土

2. (医病) 東病棟新営機械設備 (衛生) 工事 (変更) に伴う発掘調査 (0835調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
68	146	土師器	坏	口径 底径 器高 90	底部片	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 2.5Y4/3	Ⅲ区 P13	外面に線刻あり 外面にスス付着内面に赤色化雑土
	147	土師器	坏	口径 底径 器高	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	Ⅲ区中央下げ	墨書か? 赤色化雑土
	148	土師器	皿	口径 16.5 底径 13.2 器高 2.5	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/6 外: Hue 5Y6/6	Ⅲ区中央 I 'a 層下部	赤色化雑土
	149	土師器	甕	口径 底径 器高 25.2	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR8/3 外: Hue 10YR8/4	Ⅲ区 P33 Ⅲ区 P34 Ⅲ区 P62	
	150	土師器	甕	口径 底径 器高 27.2	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 7.5YR8/4 外: Hue 7.5YR7/4	Ⅲ区 P15	内面一部に赤色化雑土
	151	土師器	土 錘	長さ 5.85 幅厚さ 2.0 1.85	完形	内: 棒抜き取り 外: ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR8/2 外: Hue 7.5YR8/2	Ⅲ区中央下げ	
	152	平瓦	布目瓦	長さ 6.0 幅厚さ 5.0 1.4	破片	裏: 布目 表: ナデ, 削り, 一部 わずかに細目	裏: Hue 10YR7/3 表: Hue 5Y6/1	Ⅱ区西半 A 層	
	153	平瓦	布目瓦	長さ 4.4 幅厚さ 3.7 1.95	破片	裏: 布目 表: 細目	裏: Hue 5YR6/3 表: Hue 2.5Y6/3	Ⅲ区中央壁北	
	154	須恵器	蓋	口径 底径 器高 14.4 3.0	1/2	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y7/2 外: Hue 5Y7/2	Ⅲ区東半 I 'a 層上部	
	155	土師器	坏	口径 底径 器高 13.6 8.8 3.05	口縁~底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR5/6	Ⅲ区西半 I 'b 層下部 Ⅲ区攪乱	赤色化雑土 内外面にスス付着
	156	土師器	鉢	口径 底径 器高 16.0	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	Ⅲ区 I 'b 層 (42号 穴住居上)	
	157	土師器	坏	口径 底径 器高	底部片	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 7.5YR7/6	Ⅲ区西半 I 'b 層下部	内面赤色化雑土 外面に墨書あり
	158	土師器	坏	口径 底径 器高 16.1 10.8 3.05	口縁~底部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	Ⅲ区 P138	内外面に線刻あり 赤色化雑土
	159	土師器	坏	口径 底径 器高 12.8	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅲ区西半下げ (54号 穴住居上面)	赤色化雑土
	160	土師器	坏	口径 底径 器高 13.8 10.4 3.15	1/2	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅲ区 P112	
	161	土師器	坏	口径 底径 器高 8.4	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅲ区中央 I 'b 層上面	赤色化雑土
	162	土師器	坏	口径 底径 器高 8.6	底部片	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 2.5Y6/6 外: Hue 2.5Y6/8	Ⅲ区西半 I 'b 層	赤色化雑土
	163	土師器	坏	口径 底径 器高 8.5	1/6	内: 回転ナデ, ヘラ 磨き 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/3	Ⅲ区西半 I 'b 層	赤色化雑土
	164	土師器	坏	口径 底径 器高 8.5	底部片	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/8	Ⅲ区東半 I 'a 層下方 Ⅲ区中央 I 'b 層上部	赤色化雑土
	165	土師器	坏	口径 底径 器高 10.8	底部片	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅲ区西半 I 'b 層下部	外面に線刻あり 赤色化雑土
	166	土師器	坏	口径 底径 器高 14.4 9.0 2.9	1/4	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	Ⅲ区 I 'b 層 (42号 穴住居上)	赤色化雑土
	167	土師器	坏	口径 底径 器高 10.0	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅲ区中央 I 'b 層上面	赤色化雑土
	168	土師器	坏	口径 底径 器高 13.4 2.9	約2/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅲ区西半 I 'b 層下 Ⅲ区西半 I 'b 層下部 Ⅲ区西半 I 'b 層	赤色化雑土
	169	土師器	坏	口径 底径 器高 7.1	1/6	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y6/8 外: Hue 2.5Y6/8	Ⅲ区西半 I 'b 層下部	赤色化雑土 外面に線刻あり
	170	土師器	皿	口径 底径 器高 17.9 12.25 1.4	3/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR6/8 外: Hue 2.5YR6/6	Ⅲ区 V 層~Ⅶ層間	赤色化雑土
	171	土師器	皿	口径 底径 器高 15. 11.0 1.9	約1/2	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅲ区 P116	赤色化雑土
	172	土師器	盤	口径 底径 器高 21.0 18.8 1.2	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y5/6 外: Hue 5Y5/6	Ⅲ区中央 I 'b 層上部	赤色化雑土
	173	土師器	高坏	口径 底径 器高	脚部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅲ区 P131 Ⅲ区中央 I 'b 層上面	赤色化雑土
174	土師器	高坏	口径 底径 器高 12.5	脚部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/8	Ⅲ区 P107	赤色化雑土	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
69	175	土師器	鉢	口径 底径 器高 20.0	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅲ区 1' b 層 (42号堅穴住居上)	
	176	土師器	甕	口径 底径 器高 21.2	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 7.5YR6/6	Ⅲ区 P51	内外面にスス附着
	177	土師器	甕	口径 底径 器高 25.5	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 10YR7/3	Ⅲ区 1' b 層 (42号堅穴住居上)	
	178	土師器	壺	口径 底径 器高 7.1 7.2 7.2	2/3	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 2.5YR6/8 外: Hue 5YR6/6	Ⅲ区 P49 Ⅲ区西半 1' b 層	内外面に赤色化粧土
	179	須恵器	蓋	口径 底径 器高 14.2	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y5/1 外: Hue 2.5Y5/1	Ⅲ区 V層~Ⅳ層間	
	180	須恵器	蓋	口径 底径 器高 13.9 3.0	1/2	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N5/0 外: Hue 5Y5/1	Ⅲ区 P139	
	181	須恵器	蓋	口径 底径 器高 14.4	1/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10Y6/1 外: Hue N6/0	Ⅲ区 P137	
	182	須恵器	蓋	口径 底径 器高 15.7	1/6	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/2 外: Hue 5Y6/3	Ⅲ区西半 1' b 層下部	
	183	須恵器	碗	口径 底径 器高 8.2	底部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10Y5/1 外: Hue 10Y4/1	Ⅲ区西半 1' b 層下部 Ⅲ区西半 1' b 層 Ⅲ区 P109	外面に自然釉附着
	184	須恵器	碗	口径 底径 器高 10.7	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N6/0 外: Hue 10Y6/1	Ⅲ区 P60	内面に火影れあり
	185	須恵器	碗	口径 底径 器高 7.4	1/5	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 5Y6/1	Ⅲ区西半 1' b 層下部 Ⅲ区 P48	
	186	土師器	坏	口径 底径 器高 8.0	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅲ区42号堅穴住居付近 攪乱	内外面にスス附着 (内面海か) 赤色化粧土
	187	土師器	坏	口径 底径 器高 6.9	底部片	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	Ⅲ区攪乱表土剥ぎ	線刻あり 赤色化粧土
	188	土師器	坏	口径 底径 器高 7.4	底部片	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/8	Ⅲ区攪乱	線刻あり 赤色化粧土
	189	土師器	坏	口径 底径 器高 9.4	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR8/6 外: Hue 7.5YR8/4	Ⅲ区攪乱表土剥ぎ	線刻あり
	190	土師器	碗	口径 底径 器高 10.0	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR7/4	Ⅲ区攪乱	線刻あり 一部赤色化粧土
	191	土師器	高坏	口径 底径 器高 9.9	脚部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	Ⅲ区清掃攪乱	赤色化粧土
	192	平瓦	布目瓦	長さ 幅 厚さ 6.15 6.5 1.45	破片	裏: 布目 表:	裏: Hue 7.5YR6/4 表: Hue 5YR5/6	Ⅲ区 P147	裏面に著痕あり 赤色化粧土
	193	須恵器	碗	口径 底径 器高 8.8	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y5/2 外: Hue 10Y5/1	Ⅲ区攪乱表土剥ぎ	
	194	土師器	高坏	口径 底径 器高 9.5	脚部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	Ⅲ区42号堅穴住居付近 攪乱	
	195	須恵器	長頸壺	口径 底径 器高 18.0	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR6/2 外: Hue 7.5YR5/3	Ⅲ区攪乱	自然釉附着
	196	土師器	甕	口径 底径 器高 25.6	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 7.5YR8/6 外: Hue 7.5YR8/6	包含層・攪乱	外面一部にハケ目が残る 赤色化粧土
	197	須恵器	蓋	口径 底径 器高	天井部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N6/0 外: Hue N5/0	包含層・攪乱	
	198	須恵器	蓋	口径 底径 器高 13.8	口縁~天井部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N6/0 外: Hue N5/0	包含層・攪乱	
	199	鉄器	刀子	長さ 幅 厚さ 6.05 1.2 3.05	茎部片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	Ⅲ区 1' a 層西半	
	200	鉄器	刀子	長さ 幅 厚さ 5.6 1.2 0.55	茎~刀部片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	Ⅲ区 1' a 層西半	
	201	鉄器	長頸鉄	長さ 幅 厚さ 9.8 0.85 0.6		内: 外:	内: Hue 外: Hue	Ⅲ区 1 2	
	202	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ, 磨き 外: ナデ, 磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	Ⅲ区48号堅穴住居東半 下付	内外面にスス附着
	203	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ, 磨き 外: ナデ, 磨き	内: Hue 10YR2/1 外: Hue 10YR3/3	Ⅲ区中央48号堅穴住居 東半	
	204	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ, 磨き 外: ナデ, 磨き	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 10YR5/4	Ⅲ区48号堅穴住居西半	

2. (医病) 東病棟新営機械設備 (衛生) 工事 (変更) に伴う発掘調査 (0835調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
69	205	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	頸部片	内: ナデ, 磨き 外: ナデ, 磨き	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 2.5Y5/1	Ⅲ区44号溝	内外面にスス付着
	206	縄文土器	浅鉢形土器	口径 器高	口縁部片	内: ナデ, 磨き 外: ナデ, 磨き	内: Hue 2.5Y5/3 外: Hue 10YR4/2	Ⅲ区50号竪穴住居	磨消縄文
	207	石器	礮石	長さ 幅 厚さ	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue N1.5/0	Ⅲ区 S15	重量2.5g
	208	石器	礮石?	長さ 幅 厚さ	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	Ⅲ区48号竪穴住居焼土坑	重量1.9g 石英
	209	石器	石鏃	長さ 幅 厚さ	完形	内: 外:	内: Hue N3/0 外: Hue N3/0	Ⅲ区 S13	重量0.7g 黒曜石
	210	石器	磨石	長さ 幅 厚さ	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue 5Y7/2	Ⅲ区56号竪穴住居No4	重量676g 安山岩
	211	石器	磨石	長さ 幅 厚さ	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue 7.5Y6/2	Ⅱ区東半1'a 層上	重量175g 安山岩
	212	石器	磨石	長さ 幅 厚さ	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue 5Y5/1	Ⅲ区 S3	重量1170g 安山岩
	213	石器	磨石	長さ 幅 厚さ	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue 7.5Y6/1	Ⅲ区 S13	重量219g 安山岩
	214	石器	磨石	長さ 幅 厚さ	ほぼ完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue 10YR6/2	I区5号竪穴住居No6	重量591g 安山岩

3. (本荘北) 臨床研究棟新営その他工事に伴う発掘調査 (1425・1426・1504調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本調査は、本荘北地区の臨床研究棟新営その他工事および同新営機械設備工事（その3）に伴う調査である。当該工事地区は第6病棟跡地に該当し、2011年度に第6病棟および同北側平屋部とりこわし工事に伴い1145・1120調査地点として立会・発掘調査を実施している（石丸2013a・b）。今回の調査地点は1145・1120調査地点と平面的には重複する部分が多いが、2011年度には掘削深度により調査対象からはずれた部分がある。今回の調査は、そうした2011年度に調査対象にならなかった範囲に対して行った。

第6病棟には地下室があり、2011年度のとりこわし工事では地下室の外壁は残置となった。そのため臨床研究棟新営その他工事は、地下室外壁を撤去し、工事用の擁壁を設置する地下躯体撤去・擁壁設置工事と、臨床研究棟の本体工事からなり、両工事別に文化財保護法第93条の届出を行い、それぞれの工事に対し、立会調査とする熊本市の指導があった。そこで両工事とも2014年11月17日より立会調査を開始した。そのうち本体工事（1426調査地点）は2014年12月26日、遺構が多数検出されたため、熊本市教育委員会文化振興課および熊本県教育庁文化課の許可を得、発掘調査へ切り替えて調査することになった。調査面積は2141m² ⁽¹⁾。また地下躯体撤去・擁壁設置工事に関しては、2015年2月10日に狭い範囲に遺構が確認されたため、熊本市教育委員会文化振興課へ連絡し、立会調査の中で記録することになった（1425調査地点） ⁽²⁾。

この他、臨床研究棟新営機械設備工事（その3）は1425調査地点の外周に機械設備を設置するもので、2015年5月18日より、熊本市の指導に基づき、掘削工事に際しての立会工事を行った（1504調査地点）。調査の過程で極狭い範囲に遺構の存在が確認されたため、5月21日に熊本市教育委員会文化振興課へ連絡し、立会調査の中で記録することになった ⁽³⁾。

b. 調査の経過

2014年12月26日	1426調査地点西部発掘調査開始。遺構掘削開始。
2015年1月7日	1426調査地点西部遺構測量。
2015年1月9日	1426調査地点西部写真撮影。同部調査終了。
2015年2月9日	1426調査地点東部発掘調査開始。作業員による攪乱掘削、遺構確認。
2015年2月10日	1425調査地点の遺構確認、遺構掘削。
2015年2月12日	1426調査地点東部遺構掘削。
2015年2月17日	1426調査地点東部遺構測量、写真撮影。
2015年2月24日	1426調査地点東側包含層掘削。1426調査地点発掘調査終了 ⁽⁴⁾ 。
2015年5月21日	1504調査地点北西部遺構確認。
2015年5月26日	1504調査地点北西部遺構掘削、遺構測量。
2015年5月28日	1504調査地点北西部調査終了。
2015年6月4日	1504調査地点南東部遺構掘削、遺構測量、写真撮影。
2015年7月6日	1504調査地点東部遺構掘削、測量、写真撮影。
2015年7月15日	1504調査地点東部調査終了。

3. (本荘北) 臨床研究棟新営その他工事に伴う発掘調査 (1425・1426・1504調査地点)

2015年7月21日 1504調査地点南東部調査再開。

2015年7月28日 1504調査地点調査終了。

c. 調査の組織

調査員：松田光太郎・吉留 広、島浦健生 (株式会社有明測量開発社)、阿比留士朗 (株式会社イビソク)

事務担当：大崎喜美子・濱田春美

発掘作業員：押方富江・川元恵子・栗崎 強・柴田道子・白石美枝子・白石美智子・番山明子・藤

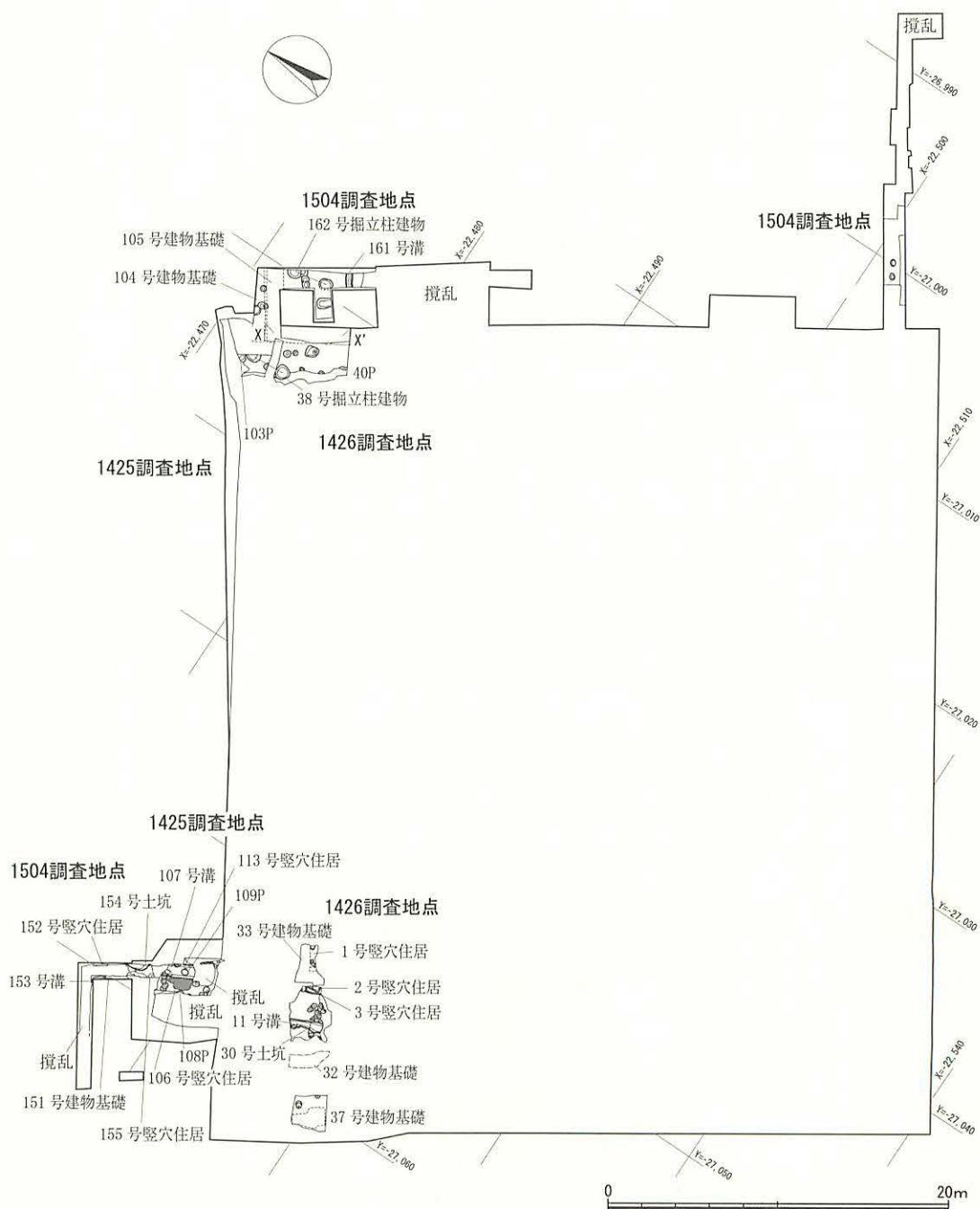


図70 1425・1426・1504調査地点遺構配置実測図 (1/400)

本龍三・堀川民夫・堀部和憲・松永一代・三島多恵子・水本美恵子・宮田義則・村上親敏・森 清・森川征子・森川 護・森本紀代子・吉永孝夫・米光司朗

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・後藤 恵・首藤優子・末吉美紀・園田智子・増井弘子

(2) 調査区の基本層序 (図71)

調査区東部、1425・1426調査地点の東壁 (図71) において、基本層序を記録した。

I層：攪乱・現代埋土

II層：暗褐色土 (10YR3/4)

III層：暗褐色土 (10YR3/3) III層の色調はII層より黒味を帯びる

IV層：暗褐色土 (7.5YR3/4) IV層の色調はIII・V層の色調よりやや明るい

V層：暗褐色土 (10YR3/3)

VI層：砂質土

II層は栗石を含む建物基礎に入っている土と同質の土。III層は古代の遺物包含層 (図71：4層)。IV層はやや明るい土で、古代の遺構の確認面となった。V層は砂質土 (図71：8～10層) で、褐色、にぶい黄褐色、暗褐色などの色調差を含むものであった。

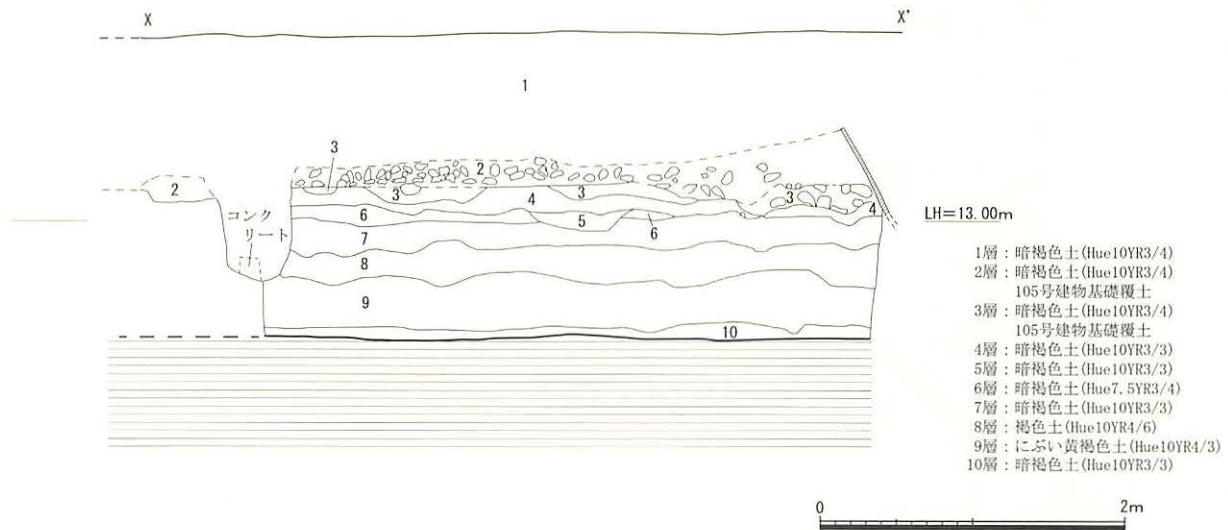


図71 1425・1426・1504調査地点土層断面実測図 (1/50)

(3) 検出遺構 (図70)

近世以降の建物基礎6基、古代の溝3条、竪穴住居7基、掘立柱建物2基、土坑2基、ピット70基の遺構が確認された。

<建物基礎>

32号建物基礎 (図72)

調査区西部に存在する。幅は0.7～0.9m、長さは2.3mである。南北方向に直線状に延びるものであるが、南側は幅が広い。主軸はN-32°-Wをさす。栗石を敷いた基礎である。近代以降の所産である。

33号建物基礎 (図72)

調査区西部に存在する。南北方向に延びる直線と東西方向に延びる直線が連結し、L字状をなす。南北方向は幅0.7~0.8m、長さ1.7m、東西方向は幅0.6~0.8m、長さ2.2mの規模を有する。南北方向の主軸はN-32°-Wをさし、32号建物基礎と平行する。南北方向の基礎は両脇に地山が残っており、幅は最大でも0.8m程度であったことがわかる。栗石を敷いた基礎である。近代以降の所産。

37号建物基礎 (図72)

調査区西部に存在する。

南北方向に直線状に延びるもので、幅は北側で0.6~0.8m、南側で1.0m、長さは2.0m。南側は幅が広いので、東側に屈折する可能性もある。主軸はN-32°-Wをさし、32・33号建物基礎と平行する。栗石を敷いた基礎である。近代以降の所産である。

104号建物基礎 (図78)

調査区東部に存在する。東西方向に直線状に延びるもので、幅0.8m、長さ4.2m検出された。西端は末端が検出され、幅もほぼ正確にとらえられた。主軸はN-56°-Eをさす。栗石と共にそれを包有する長方形の掘り込みが確認された。近代以降の所産である。

105号建物基礎 (図78)

調査区東部に存在する。東西方向に延びる直線と南北方向に延びる直線が連結し、L字状をなす。東西方向に延びるものは、幅0.95m、長さ4.2m検出された。西端は末端が検出され、幅もほぼ正確にとらえられた。主軸はN-56°-Eをさし、104号建物基礎と0.1mの間隔を空けて平行する。覆土は第71図2・3層に示した。栗石とそれを包有する長方形の掘り込みが確認された。近代以降の所産。

151号建物基礎 (図76)

調査区北西部存在する。攪乱により大半が破壊され、幅0.1m、長さ1.0mが確認された。主軸方向は不明。栗石を敷いた基礎である。近代以降の所産である。

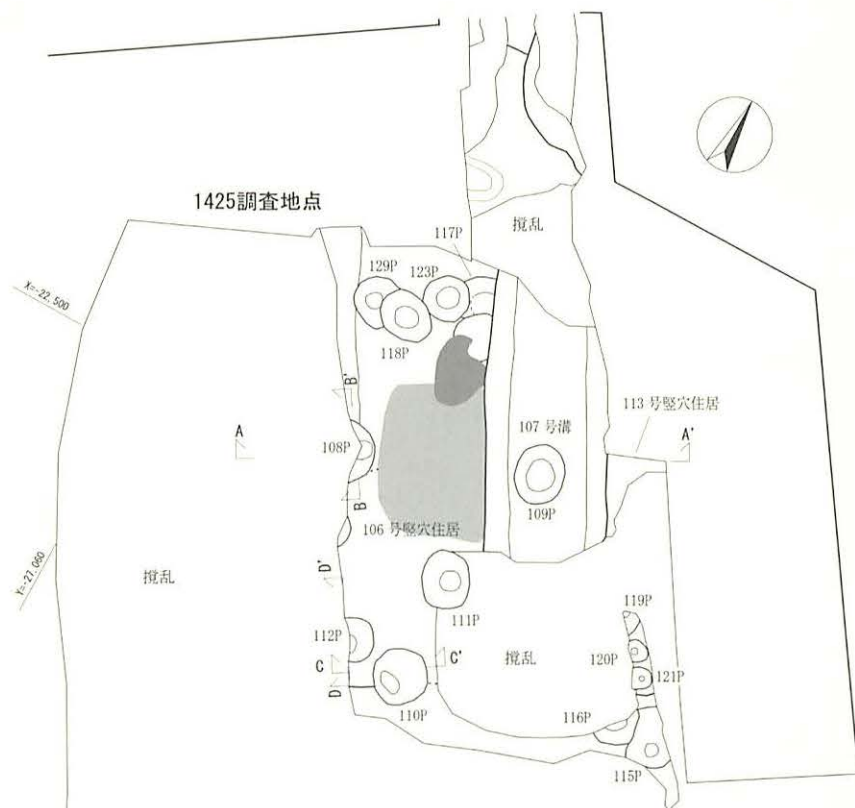
<溝>

11号溝 (図72)

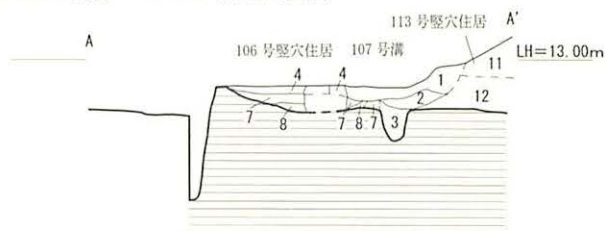
調査区西部に存在する。南北方向に直線状に延びるもので、幅は0.35~0.64m、長さ1.90m確認された。北端・南端は攪乱により壊されていた。主軸方位はN-27°-Wをさす。深さは最深で0.45m。覆土は暗褐色土であった。南端では下部に30号土坑が検出された。古代の須恵器が出土したが、詳細な時期は限定できない。

107号溝 (図74)

調査区北西部南半に存在する。北端と南端を攪乱により壊されていて、幅0.8mの溝が長さ1.9m検出された。主軸方位はN-26°-W。深さは確認面から0.15mであったが、図74の断面図A-A'の観察で更に0.2m上位から掘り込んでいることを確認した。覆土は暗褐色土。106号竪穴住居や113号竪穴住居を切っており、古代に属すると思われるが、遺物は縄文土器1点しか出土しておらず、詳細な時期は不明である。

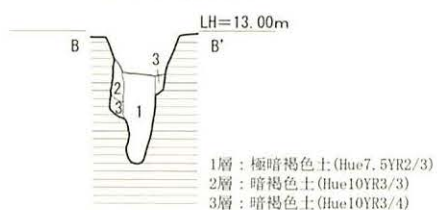


107号溝・113号竪穴住居



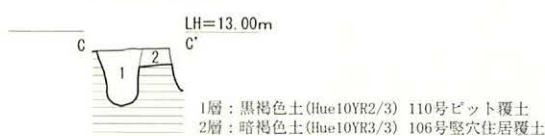
- 1層：暗褐色土(Hue10YR3/3) 107号溝覆土
 - 2層：暗褐色土(Hue10YR3/3) 107号溝覆土
 - 3層：黒褐色土(Hue7, 5YR3/2) 109号ピット覆土
 - 4層：黒褐色土(Hue10YR2/3) 106号竪穴住居覆土
 - 7層：黒褐色土(Hue7, 5YR3/3) 106号竪穴住居覆土
 - 8層：暗褐色土(Hue10YR3/4) 106号竪穴住居覆土
 - 11層：黒褐色土(Hue10YR3/2) 113号竪穴住居覆土
 - 12層：黒褐色土(Hue7, 5YR3/2) 113号竪穴住居覆土
- * 土層番号は図75と共通する。

108号ピット



- 1層：極暗褐色土(Hue7, 5YR2/3)
- 2層：暗褐色土(Hue10YR3/3)
- 3層：暗褐色土(Hue10YR3/4)

110号ピット



- 1層：黒褐色土(Hue10YR2/3) 110号ピット覆土
- 2層：暗褐色土(Hue10YR3/3) 106号竪穴住居覆土

112号ピット



- 1層：黒褐色土(Hue7, 5YR3/1) 112号ピット覆土
- 2層：暗褐色土(Hue10YR3/4) 112号ピット覆土
- 3層：黒褐色土(Hue10YR2/3) 106号竪穴住居覆土

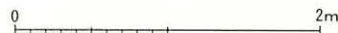
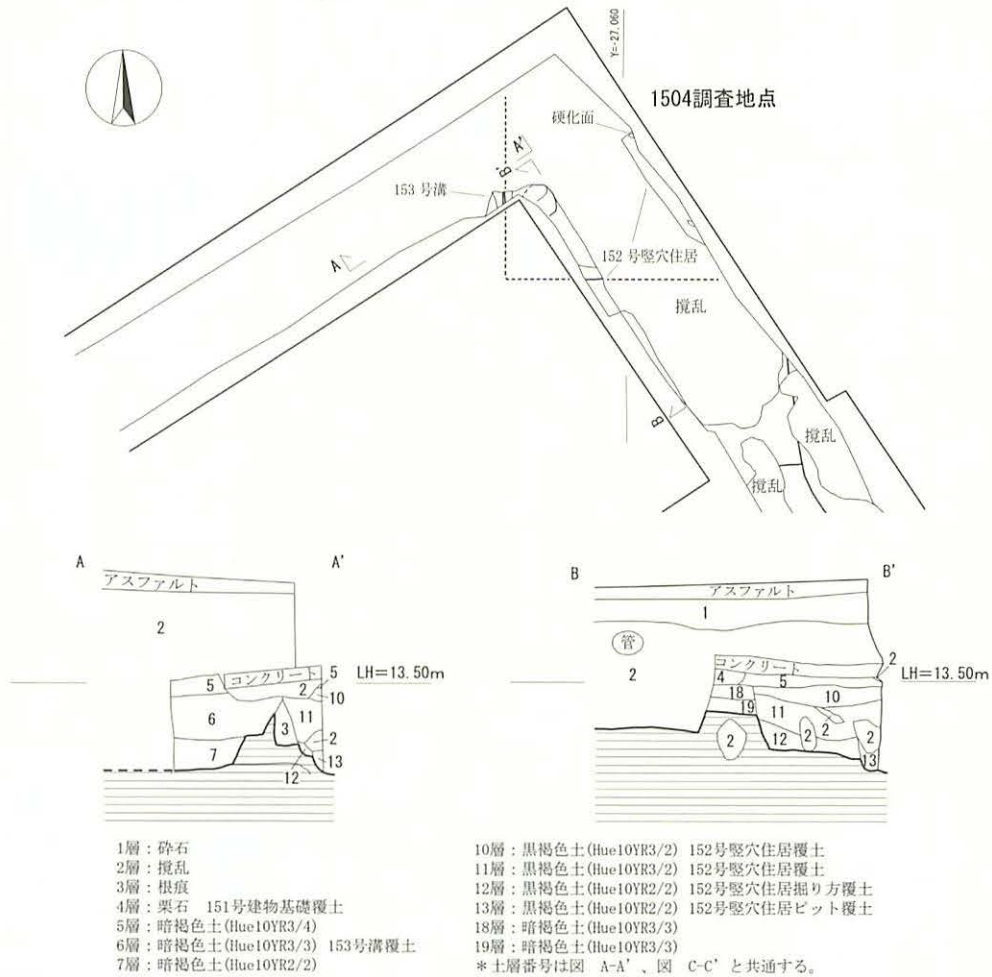


図74 1425・1426・1504調査地点北西部南半遺構群実測図 (1/50)

2号竪穴住居 (図72)

調査区西部で検出された。平面形は方形、下底面が平坦の掘り込みとして確認された。主軸は北をさし、西辺は0.75m、南辺は幅約0.35m残存していた。深さ0.15m。覆土は黒褐色土であった。覆土

152号竪穴住居・153号溝



155号竪穴住居

155号竪穴住居（掘り方）・154号土坑

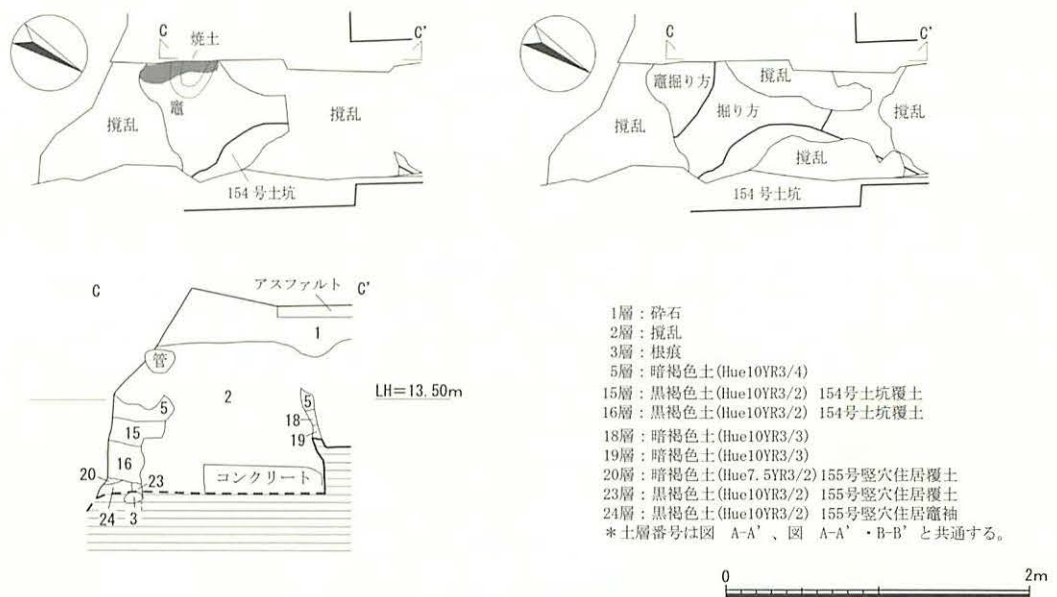


図77 153号溝・152・155号竪穴住居・154号土坑実測図 (1/50)

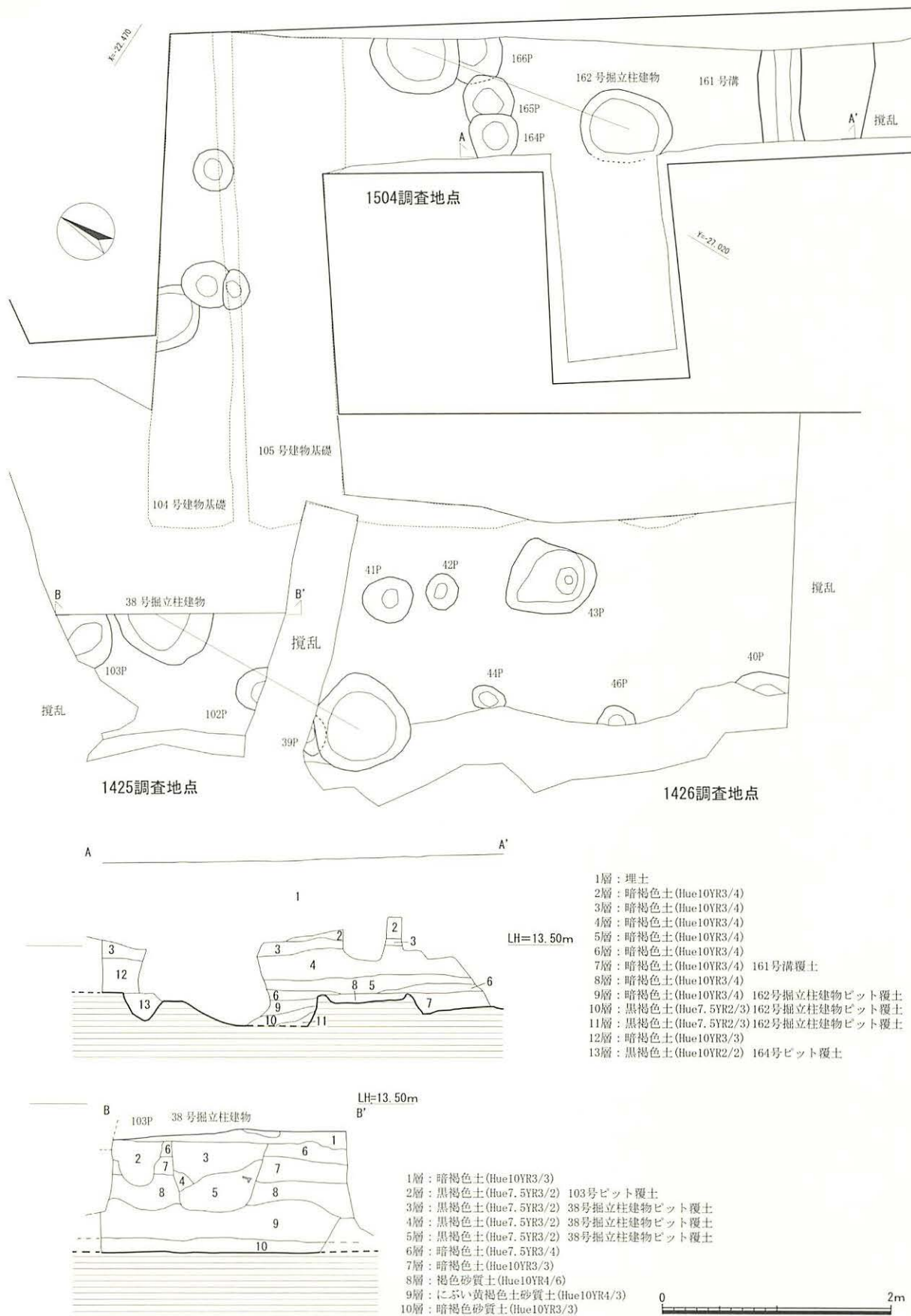


図78 1425・1426・1504調査地点東部遺構群実測図 (1/50)

155号竪穴住居 (図76・77)

調査区北西部北半で検出された。竈の袖と思われる部分が存在したが、全体的に袖直上まで攪乱により壊されており、南側と西側には更に深い攪乱が存在し、東側も154号土坑により壊されていた。袖と焼土の位置から、西竈の竪穴住居と考えられた。竈の北側では、コンクリートを含む攪乱が、竈の袖よりも低いレベルまで入り込んでいた。このコンクリートを含む攪乱土を除去したところ、地山と本竪穴住居の掘り方覆土と思われる土が検出された。覆土は暗～黒褐色土。古代の所産と考えられるが、遺物は出土しておらず、詳細な時期は不明である。154号土坑により切られている。

<掘立柱建物>

38号掘立柱建物 (図78)

調査区東部で確認されたが、一部調査区外に出ている。径0.85m、径0.90mの円形の柱穴が並んでいる。柱穴の中心間距離は2.1mほどであった。主軸方位はほぼ南北方向を指しているとみてよい。柱穴の掘り込みは2個の柱穴とも深さが0.6mあり、覆土は黒褐色土であった。柱穴より8世紀後半の遺物が出土しており、当該時期の所産と考えられる。

162号掘立柱建物 (図78)

調査区東部で確認されたが、一部調査区外に出ている。径0.80mの円形の柱穴が2個並んでいる。柱穴の中心間距離は2.1mほどであった。主軸方位はN-10°-Wである。38号掘立柱建物とは主軸方位がずれるので、別の建物であると考えられる。柱穴の深さは0.30m、0.23mあり、覆土は暗～黒褐色土であった。覆土により古代の所産と考えられるが、遺物は出土していないので、詳細な時期は不明である。

<土坑>

30号土坑 (図73)

調査区西部の中央付近、11号溝の下より検出された。南端を攪乱により壊されていたが、長さ0.70m、幅0.65mが検出された。隅丸方形のプランをなす。検出した深さは0.07m。覆土は暗褐色土であった。11号溝の下位より検出され、11号溝と長軸方向が類似するため、11号溝の下部との解釈もできる。覆土により古代の所産と考えられるが、遺物は出土していないので、詳細な時期は不明である。11号溝より古い。

154号土坑 (図76・77)

調査区北西部北半の東壁沿いで長さ1.5mほどが検出された。隅丸方形ないしは不整円形と考えられる。検出した深さは0.7m。覆土は暗～黒褐色土であった。土坑の中心部が攪乱により壊され、東半分は調査区外に出ていた。遺物としては8世紀中葉～9世紀前半の須恵器が出土しており、当該期に属するものと思われる。155号竪穴住居より新しい。

(4) 出土遺物 (図79)

11号溝出土遺物 (図79: 1・2)

1・2は須恵器。1は端部が平坦面をなすため、蓋と考えた。2は甕の胴部で、内外にタタキ痕を有している。

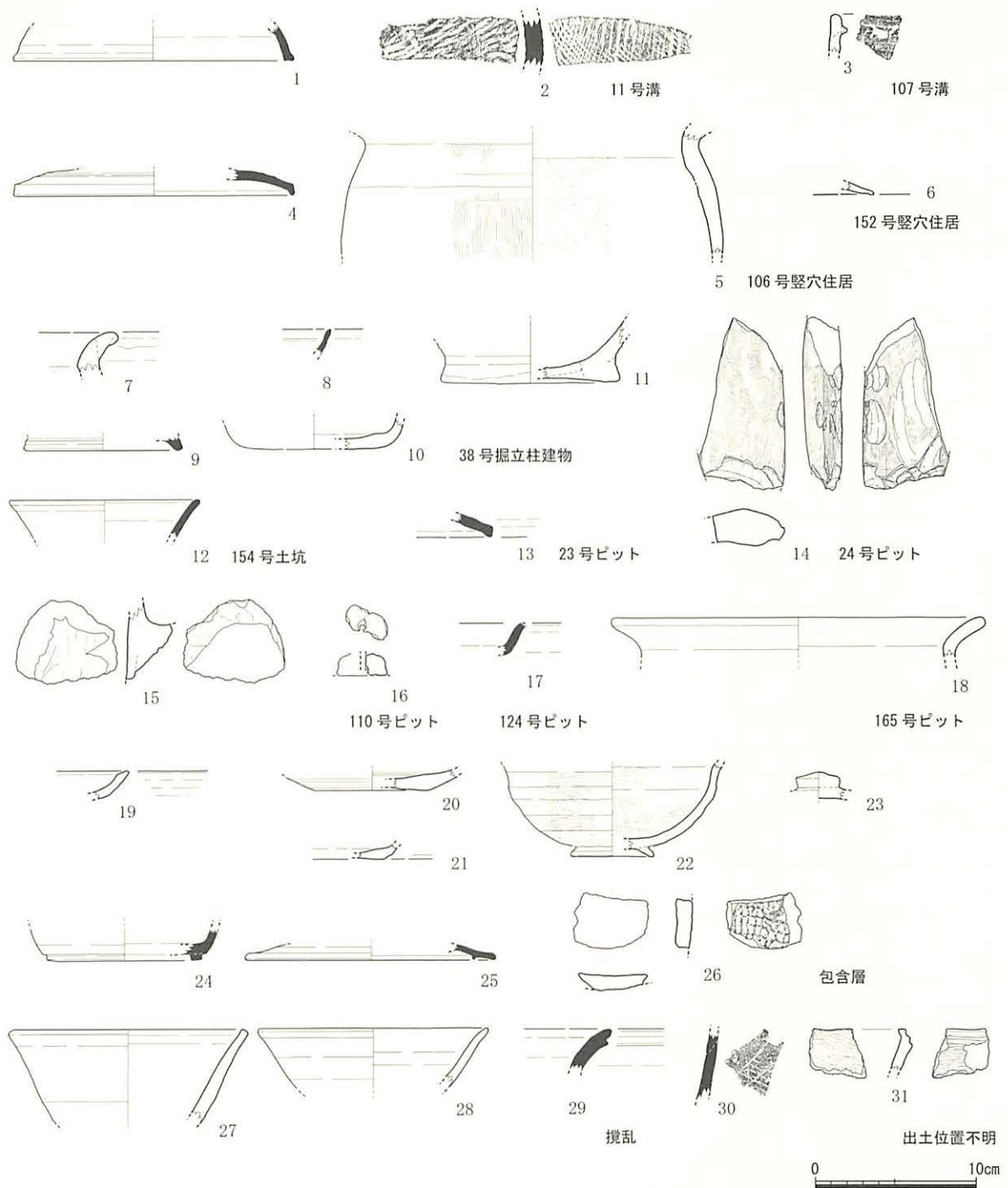


図79 1425・1426・1504調査地点出土遺物実測図 (1/4)

107号溝出土遺物 (図79：3)

3は口縁下に刻目突帯文を有する深鉢である。口縁部は直立している。突帯上にはヘラによる刻みが付き、突帯の下はナデられている。縄文時代晩期の夜白I式土器である。

106号竪穴住居出土遺物 (図79：4・5)

4は須恵器の蓋である。器体は扁平で、径が大きく、端部が短く折れている。8世紀後半～9世紀初頭の所産。5は土師器甕の胴部である。胴部外面に縦位にハケ目を有し、頸部直下付近にヘラ状工

具による横ナデが施されている。

152号竪穴住居出土遺物 (図79: 6)

6は土師器の蓋である。器体は扁平で、端部が短く折れている。9世紀頃の所産か。

38号掘立柱建物出土遺物 (図79: 7~11)

7~9・11は38号掘立柱建物の北側柱穴出土。7は土師器甕の口縁部で、端部が幅狭く肥厚している。8は須恵器杯の口縁部資料で、やや内湾気味に立ち上がる器体をなす。9は須恵器碗の底部で、底部端部に短い高台を有する。11は底部資料で、縄文土器と思われる。下端は張り出し、底面は若干上げ底をなす。10は38号掘立柱建物の南側柱穴出土の土師器の坏である。平坦な底部から丸みをもって立ち上がっている。8世紀後半の所産。

154号土坑出土遺物 (図79: 12)

12は胴部が直線的に外反する須恵器の碗である。8世紀中葉~9世紀前半の所産と考えられる。

ピット出土遺物 (図79: 13~18)

13は23号ピットから出土した赤く焼けた須恵器の蓋。器体は扁平で、端部が短く折れている。8世紀中葉~9世紀初頭の所産。14は24号ピット出土の磨製石斧である。基部と側面の一端は欠損している。主要剥離面や側面には成形のための剥離があり、その上に研磨が施されている。刃部には剥離が顕著で、刃部再生のための剥離の可能性がある。15・16は110号ピット出土。15は土師器甕の把手で、把手先端は欠損している。16は半球形の土製紡錘車と思われる。中央に焼成前の孔が貫通している。17は124号ピット出土の須恵器。盤と呼べるようなものと思われる。底部から胴部にかけて丸みをもって移行している。18は165号ピット出土の土師器甕で、外反する口縁を有している。

包含層出土遺物 (図79: 19~26)

19~23は土師器。19は坏の口縁部、20・21は同底部である。19は口縁部が内削ぎをなして尖り、胴部が湾曲する特徴をもつ。20は平底で、内外面に顕著なヘラ磨きが施されている。8世紀後葉~9世紀前葉の所産。22は碗で、内湾する胴下半部と短く開く高台を有している。内外面とも磨きが顕著で、内面に黒色処理が施された黒色土器A類である。外面も一部黒変が認められる。11世紀の所産。23は土師器の蓋。擬宝珠形のつまみがあることから、8世紀末後半~9世紀初頭頃の所産。

24・25は須恵器で、24は碗の底部で、底部端部に短い四角の高台を有している。8世紀中葉~後半の所産。25は蓋である。器体は扁平で、端部には身受けの返りが付いている。7世紀後葉~8世紀初頭の所産。26は古代の瓦(平瓦)で、凸面に格子目のタタキ痕を有している。

攪乱その他出土遺物 (図79: 27~31)

27・28は攪乱出土の土師器で、27は碗で、胴部に僅かな稜をもつ。28は外反する坏である。両例とも胴部が僅かに膨らむものの、概ね直線的であることから、9世紀後半の所産と考えられる。29は同じく攪乱出土の須恵器壺である。外反する口縁部に1条の沈線を巡らしている。30・31は出土位置不明。30は須恵器の甕である。外面にタタキ痕を有している。31は短く内湾する口縁部に2条の平行する沈線を巡らした深鉢。内外面はよく研磨されている。縄文時代後期の御領式土器である。

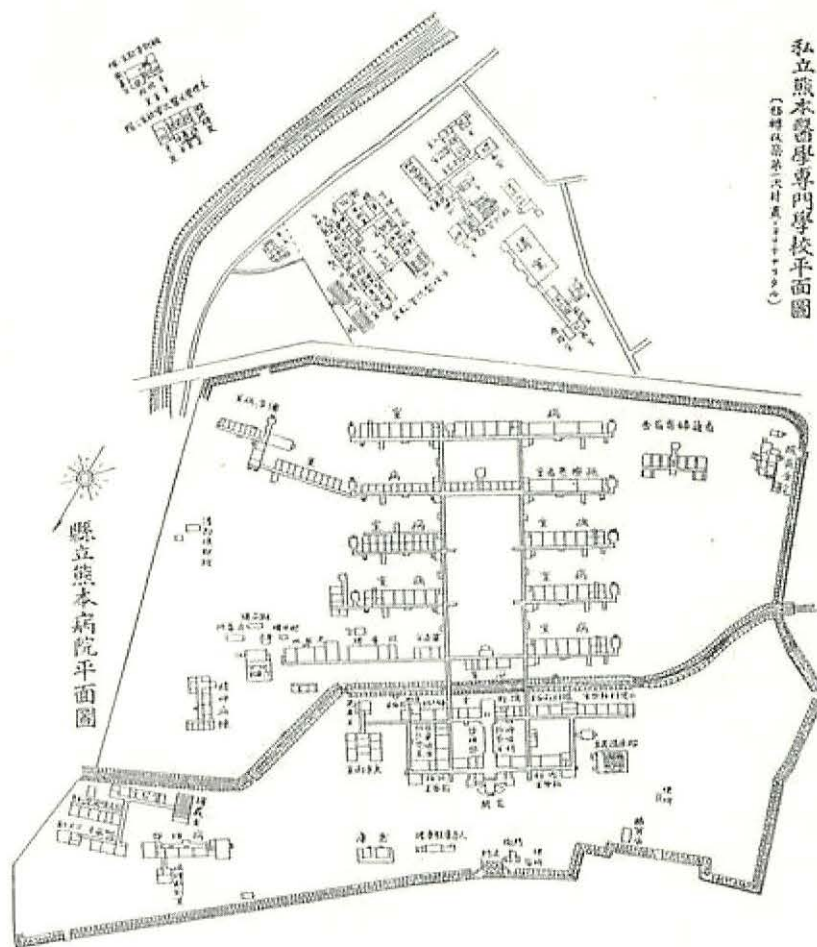


図80 県立熊本病院平面図

(5) まとめ

今回の調査は臨床研究棟新営工事に伴う調査で、調査地点は本荘北地区の中央やや北寄りに位置する。当該地点には最近まで第6病棟があり、2011年度に同病棟とりこわし工事に伴う調査が行われた所でもある。第6病棟は地下室をもつ建物であったため、建物の地下躯体部分および建物建設時の余掘りの大部分は地中深くまで掘削が及んでおり、遺構は存在しなかった(石丸2013a・b、松田他2016)。包含層や遺構が残っていたのは第6病棟以北および以東のわずかな範囲であり、第6病棟北側の設備管理棟周辺および第6病棟東側の旧救急棟周辺のみであった。

検出された遺構は近世以降の建物基礎、古代の溝、竪穴住居、掘立柱建物などであった。

近世以降の建物基礎は6基検出されたが、全て覆土に栗石を含んでいた。平面形の判明しない151号建物基礎を除く、その他のものはみな主軸を $N-56^{\circ}-E$ 、またはそれに直交する $N-32^{\circ}-W$ に向けるものであった。1901(明治34)年に新築移転した県立熊本病院は、その平面図(山崎1929)によれば、現在暗渠になっている三の井手の走行を考慮したように建物が配置されており(第80図)、病室や診療室の東西方向の軸線は $N-56^{\circ}-E$ になっている⁽⁵⁾。したがって今回検出された建物基礎は県立熊本病院(1924年に熊本医科大学附属病院と改称)の建物基礎であると思われる。第80図に照合すると、104・105号建物基礎は外科診療室付近、32・33・37・151号建物基礎は玄関付近と考えられる。

古代では溝3条、竪穴住居7基、掘立柱建物2基などが検出された。このうち竪穴住居は調査区西

部または北西部に限って検出された。時期が限定できる2基は8世紀後半～9世紀初頭、9世紀のものであった。調査地点東側は竪穴住居がなく、8世紀後半の掘立柱建物が存在していた。本荘北地区(本庄遺跡)の過去の調査事例により古代の遺構分布をみると、西側に行くほど竪穴住居の密度が高い傾向があり、当調査地点の西隣の0712調査地点(現東病棟)、9901調査地点(現西病棟)では8世紀後半から9世紀前半の竪穴住居が多数検出されている。一方東側の0707調査地点(現医学教育図書棟)では北半の台地上では竪穴住居と掘立柱建物があるものの、南半の谷部には集落ではなく水田が存在している。今回の調査地点はそうした本庄遺跡内の建物の粗密を反映していると言える。

注

- (1) 1426調査地点の調査の届出等に関する文書をまとめると以下のようになる。
文化財保護法第93条第1項の届出 熊本大学 熊大施企第159号(平成25年11月26日付け)
上記届出に対する通知 熊本市教育委員会 文振発第769号(平成25年12月5日付け)
文化財保護法第92条第1項の届出 熊本大学 熊大施企第183号(平成27年1月9日付け)
上記届出に対する通知 熊本県教育委員会 教文第2052号(平成27年2月4日付け)
熊本市教育委員会 文振発第1266号(平成27年2月18日付け)
文化財保護法第92条届出内容の変更 熊本大学 熊大施企第224号(平成27年3月18日付け)
- (2) 1425調査地点の調査の届出等に関する文書をまとめると以下のようになる。
文化財保護法第93条第1項の届出 熊本大学 熊大施企第158号(平成25年11月26日付け)
上記届出に対する通知 熊本市教育委員会 文振発第770号(平成25年12月5日付け)
- (3) 1504調査地点の調査の届出等に関する文書をまとめると以下のようになる。
文化財保護法第93条第1項の届出 熊本大学 熊大施企第218号(平成27年3月13日付け)
上記届出に対する通知 熊本市教育委員会 文振発第66号(平成27年4月14日付け)
- (4) 1425、1426調査地点の調査は2015年7月29日、11月2日の立会調査をもって終了した。
- (5) 図30・70は図80と方位が異なる。図30・70では図の左が、図80では図の下方が白川側である。

【主要参考文献】

- 石丸恵利子2013a「(医病)基幹・環境整備(第6病棟とりこわし)工事に伴う立会・発掘調査(1145)」
『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報18 2011年度』熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 石丸恵利子2013b「基幹・環境整備(第6病棟とりこわし)工事に伴う発掘調査(1145調査地点)」
『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅸ』熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 江頭俊介 2009「東病棟新営工事に伴う発掘調査(0712調査地点)」『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅴ』熊本大学埋蔵文化財調査室
- 小畑弘己 2011「医学部図書講義棟新営工事に伴う発掘調査(0707調査地点)」『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅶ』熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 小畑弘己・大坪志子2014「(医病)病棟(軸)新営工事に伴う発掘調査(9901調査地点)」『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅹ』熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 松田光太郎他2016「(本荘北)臨床研究棟新営その他工事(地下躯体撤去・擁壁設置)に伴う立会調査(1425)」
「(本荘北)臨床研究棟新営その他工事(本体工事)に伴う立会調査・発掘調査(1426)」
『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報21 2014年度』熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 山崎正薫 1929『肥後医育史』鎮西医海時報社

表11 1425・1426・1504調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
79	1	須恵器	蓋	口径 底径 器高 17.4	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 5Y5/1 外:Hue 2.5Y5/2	11号溝 P2	
	2	須恵器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内:タタキ 外:タタキ	内:Hue 5Y5/2 外:Hue 5Y4/4	11号溝 P1	内面に青海波状文・外面に格子目文あり
	3	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:指ナデ 外:指ナデ	内:Hue 10YR6/4 外:Hue 2.5Y6/3	107号溝	突帯に鋭いヘラ状工具による刻み目あり
	4	須恵器	蓋	口径 底径 器高 17.4	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 5Y6/1 外:Hue 5Y6/1	106号竪穴住居焼土	
	5	土師器	甕	口径 底径 器高	頸~胴部片	内:ヨコナデ,削り 外:ヨコナデ,ハケ目, 指オサエ	内:Hue 10YR6/4 外:Hue 7.5YR6/6	106号竪穴住居	
	6	土師器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 7.5YR6/6 外:Hue 7.5YR6/6	152号竪穴住居	
	7	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ	内:Hue 7.5YR6/6 外:Hue 2.5Y3/1	38号掘立柱建物	外面にスス付着
	8	須恵器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 7.5Y5/1 外:Hue 10Y5/1	38号掘立柱建物	
	9	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.8	高台片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 5Y6/1 外:Hue 5Y6/1	38号掘立柱建物	
	10	土師器	坏	口径 底径 器高 9.5	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 10YR7/4 外:Hue 10YR7/4	38号掘立柱建物	
	11	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高 11.2	底部片	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 2.5Y7/3 外:Hue 2.5Y6/4	38号掘立柱建物	
	12	須恵器	碗	口径 底径 器高 11.8	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 2.5Y7/1 外:Hue 5Y7/1	154号土坑3層	
	13	須恵器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 5YR5/8 外:Hue 5YR5/8	23号ピット	
	14	石器	磨製石斧	長さ 幅 厚さ 108 5.4 2.3	2/3以上	内: 外:	内:Hue 外:Hue	24号ピット S1	重量181g.刃部に敲打痕あり 表面に研磨痕・裏面に敲打後研 磨痕あり
	15	土師器	甌	口径 底径 器高	把手片	内:削り 外:指ナデ, 指オサエ	内:Hue 7.5YR6/4 外:Hue 7.5YR6/6	110号ピット	
	16	土師器	紡錘車	口径 底径 器高		内: 外:	内:Hue 10YR4/2 外:Hue 10YR7/4	110号ピット	
	17	須恵器	盤	口径 底径 器高	口縁~胴部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 2.5Y4/1 外:Hue N4/0	124号ピット	外面に自然釉あり
	18	土師器	甕	口径 底径 器高 23.3	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ	内:Hue 10YR6/6 外:Hue 10YR6/6	165号ピット	
	19	土師器	皿	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 5YR7/6 外:Hue 5YR6/6	包含層	
	20	土師器	坏	口径 底径 器高 7.2	底部片	内:回転ヘラ磨き 外:回転ヘラ磨き	内:Hue 7.5YR6/6 外:Hue 7.5YR6/6	包含層	
	21	土師器	坏	口径 底径 器高	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 7.5YR6/6 10YR6/4 外:Hue 7.5YR6/6	包含層	内外面赤色化粧土 外面に板目痕あり
	22	黒色土器	碗	口径 底径 器高 5.2	体部~底部片	内:磨き 外:削り,磨き	内:Hue N3/0 外:Hue N3/0 10YR6/4	包含層	内面に黒色処理あり 外面に一部黒変あり
	23	土師器	蓋	口径 底径 器高	つまみ部	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 5YR6/6 外:Hue 5YR6/6	包含層	内外面赤色化粧土
	24	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.6	底部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内:Hue 5Y6/2 外:Hue 5Y6/1	包含層	
	25	須恵器	蓋	口径 底径 器高 15.6	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 2.5Y6/1 外:Hue 2.5Y3/1	包含層	外面に自然釉あり
	26	瓦	平瓦	口径 底径 器高	破片	内:タタキ 外:剥離欠損	内:Hue 2.5Y6/3 外:Hue	包含層	内面に格子目文あり
	27	土師器	碗	口径 底径 器高 14.9	口縁~胴部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 5YR6/6 外:Hue 5YR6/6	北西部攪乱	内外面赤色化粧土
	28	土師器	碗	口径 底径 器高 14.4	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内:Hue 7.5YR6/6 外:Hue 7.5YR6/6	北西部攪乱	
	29	須恵器	壺	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 7.5Y4/1 外:Hue 7.5Y3/1	北西部攪乱	
	30	須恵器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内:指ナデ 外:タタキ	内:Hue 7.5YR7/4 外:Hue 10YR7/4	不明	
	31	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:磨き 外:磨き	内:Hue 5YR5/4 10YR5/4 外:Hue 5YR5/6	不明	外面に凹線あり

4. (本荘北) 管理棟改修その他工事に伴う立会調査

(1442調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

今回の調査は、本荘北地区にある旧外来臨床研究棟を管理棟に改修する工事に伴う調査である。本調査地点は外来診療棟と医学部臨床研究棟の間に位置する。

管理棟改修その他工事に伴う掘削は管理棟の北側・中・南側からなり、2015年2月25日より、熊本市の指導に基づき、立会調査を実施したが、6月22日、南側の玄関庇基礎部を掘削したところ、複数の遺構の存在が確認された。そこで同日、熊本市教育委員会文化振興課へ連絡し、立会調査の中で記録することになった⁽¹⁾。

b. 調査の経過

2015年6月22日 遺構確認、遺構掘削。

2015年6月29日 遺構測量。

2015年7月1日 遺構写真撮影。

2015年7月3日 遺構測量、写真撮影。調査終了。

c. 調査の組織

調査員：松田光太郎・吉留 広

事務担当：大崎喜美子・濱田春美

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・後藤 恵・首藤優子・末吉美紀・園田智子・増井弘子

(2) 調査区の基本層序 (図81)

調査区東部、1442調査地点の東壁 (図81) において、基本層序を記録した。

I層：攪乱・現代埋土・焼土

II層：暗褐色土 (10YR3/3)

III層：暗褐色土 (7.5YR3/3)

VI層：砂質土

I層には焼土が層状に存在した。II層はIII層よりやや明るい暗褐色土 (図81：8～10層)。III層はII層より暗い暗褐色土で古代の遺物包含層 (図81：11層)。VI層は褐色砂質土 (地山) である。

(3) 検出遺構 (図81・82)

近代の建物基礎1基、古墳時代～古代の溝2条、竪穴住居3基、土坑2基、ピット4基の遺構が確認された。

<建物基礎>

1号建物基礎 (図83)

幅0.9m、長さ0.4mの隅丸長方形の掘り込みが存在した。幅は本来の幅を示していると思われるが、

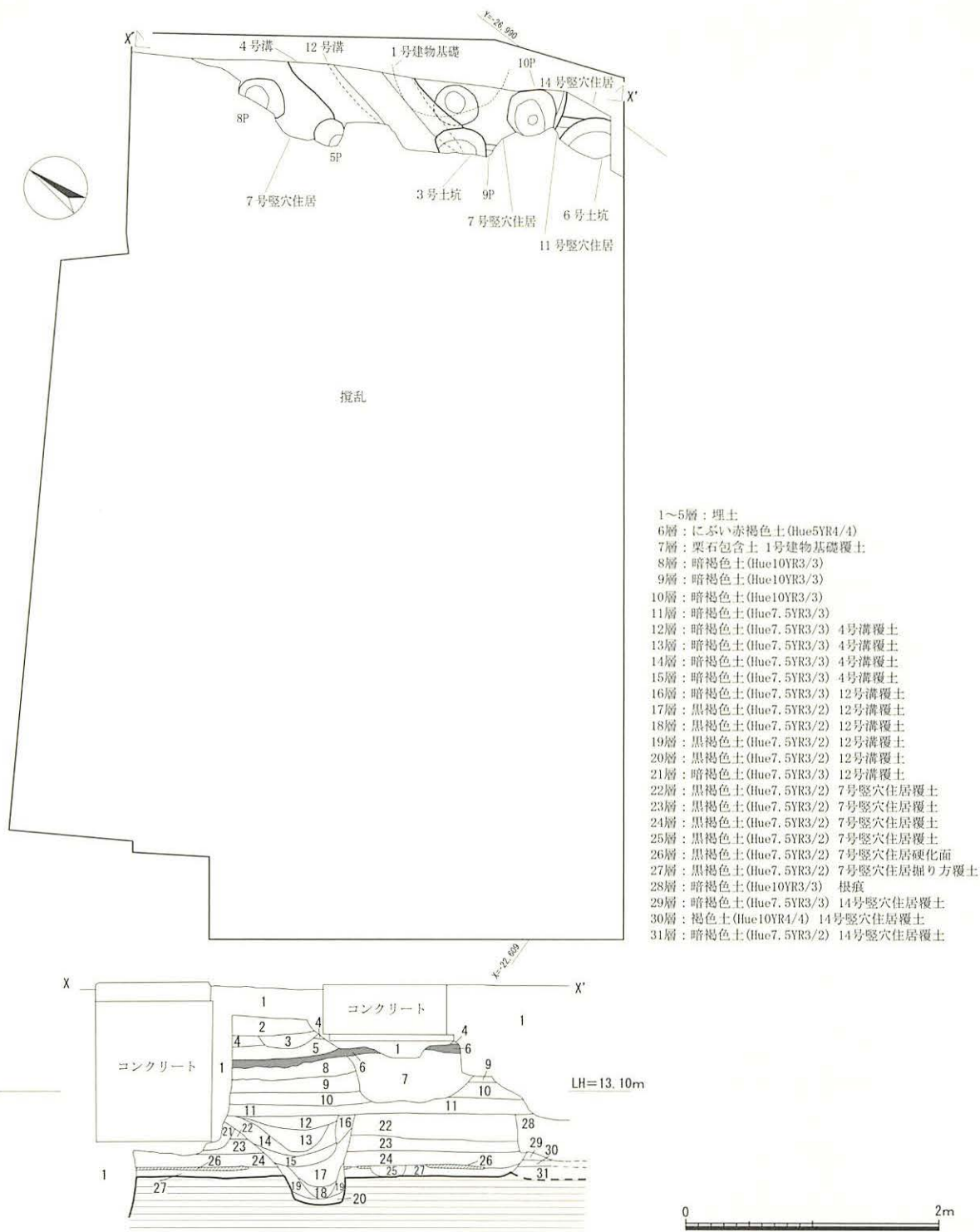


図81 1442調査地点遺構配置実測図1 上位 (1/50)

東側の続きは調査区外に出ているので、本来の長さは不明である。掘り込みの西端は捉えられた。掘り込みの深さは0.4m。掘り込みの覆土には栗石が入っており、建物基礎と判断した。遺物は18世紀後半の磁器等が出土している。覆土の上面は整地され、その上に焼土層が存在していた。

4. (本庄北) 管理棟改修その他工事に伴う立会調査 (1442調査地点)

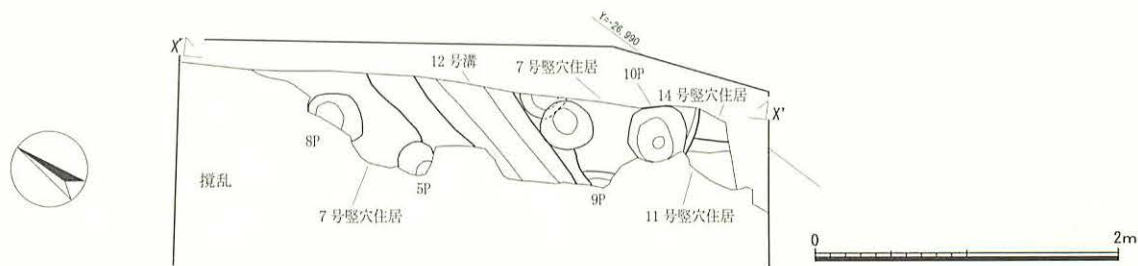
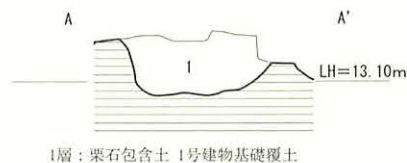
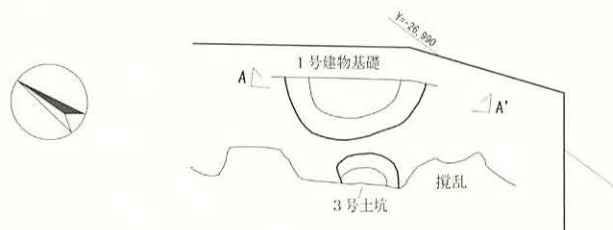


図82 1442調査地点遺構配置実測図2 下位 (1/50)

1号建物基礎・3号土坑



4号溝

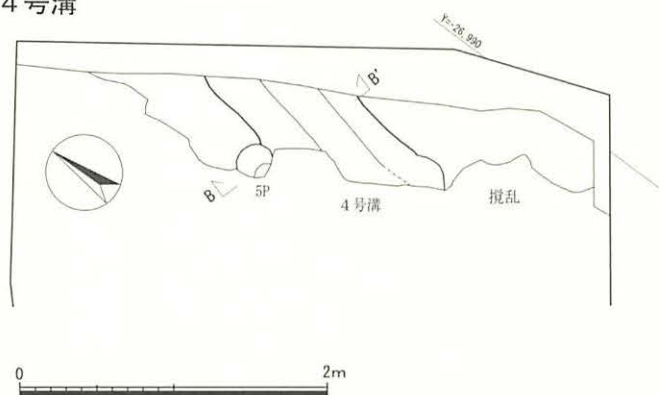


図83 1号建物基礎・3号土坑・4号溝実測図 (1/50)

<溝>

4号溝 (図83)

幅0.9m、長さ0.8m検出された。東側は調査区外、西側は攪乱により壊されていた。深さは最深部で0.4mあった。主軸方向はN-15°-E。覆土は暗褐色土からなる。須恵器甕片や古墳時代前期末～中期初頭の土師器片が出土。本遺構は、切り合い関係によれば、(建物基礎を除く) 諸遺構の中で最も新しいものに属するが、古代の包含層 (図81: 11層) 以下にあるため、古代の所産と考えられる。但し詳細な時期は不明である。

12号溝 (図82)

幅0.6m、長さ0.8m検出された。東側は調査区外、北側は4号溝、西側は攪乱により壊されていた。深さは最深部で0.7mあった。主軸方向はN-18°-E。覆土は暗～黒褐色土からなる。古代の土師器片が出土しているが、詳細な時期は不明。4号溝より古い、7号竪穴住居より新しい。

< 竪穴住居址 >

7号竪穴住居 (図82)

調査区全域に存在する。調査区南東端で南辺の一部が長さ0.3mほど確認された。基本土層の断面観察により覆土は厚さ0.4m確認されたが、南辺は根痕による攪乱を受けており、壁高は0.15mしか確認できなかった。覆土は黒褐色土。覆土下部には床面と思われる硬化面が存在した。掘り方も厚さ0.07m存在した。柱穴は2基確認できた。古代の遺物が出土しており、古代の所産であるが、詳細な時期は不明である。11・14号竪穴住居よりは新しいが、12号溝・5号ピットより古い。

11号竪穴住居 (図82)

調査区南端で検出された。上方を6号土坑で壊されていたため、掘り方での確認となったが、長さ0.25mの直線的な辺をもつ掘り込みが確認された。掘り方の深さは0.2m。覆土は暗褐色土。古墳時代前期末の高坏が出土しており、該期の所産と考えられる。7号竪穴住居・6号土坑より古く、14号竪穴住居より新しい。

14号竪穴住居 (図82)

調査区南東端で検出された。北側を7号竪穴住居、西側を11号竪穴住居により壊されており、東および南側は調査区外に出ており、プランは明らかにできなかった。覆土は褐色・暗褐色土からなっていた。掘り込みの下底は掘削深度の関係で調査できなかった。7・11号竪穴住居より古いので、古墳時代の所産と考えられる。

< 土坑 >

3号土坑 (図83)

調査区中央部で検出された。径0.45mの円形の土坑。西半は攪乱により消失していた。深さは最深部で0.15m。4号溝と同一レベルで確認され、4号溝を切っていた。覆土は暗褐色土。遺物は出土していない。4号溝より新しく、古代の所産と考えられる。

6号土坑 (図82)

調査区南端で検出された円形の土坑。西半は攪乱、南側は調査区外に出ており、規模は確認できなかった。深さは最深部で0.1m。上部は根痕により壊されていた。遺物は出土していない。11号竪穴住居より新しい。

(4) 出土遺物 (図84)

1号建物基礎出土遺物 (図84：1～4)

1～3は陶器。1は徳利の口縁から胴部上半の資料である。比較的長い頸部を有し、口縁部から胴部上半に鉄釉を施し、灰釉と白泥の流し掛けが認められる。2は徳利の底部。外面に濃緑色の釉葉が施されているが、畳付は釉剥ぎがなされ、砂目が付着している。1・2は肥前陶器。3は鉢の底部である。内面は白泥（白色釉）が流し掛けられており、見込みは蛇の目釉剥ぎがなされている。外面露胎である。17世紀前半の肥前陶器。4は磁器染付碗の蓋である。内面口縁部直下には菱形文、見込みの五弁花、外面には5葉の葉の文様が手書きで描かれている。18世紀後半の肥前磁器と考えられる。

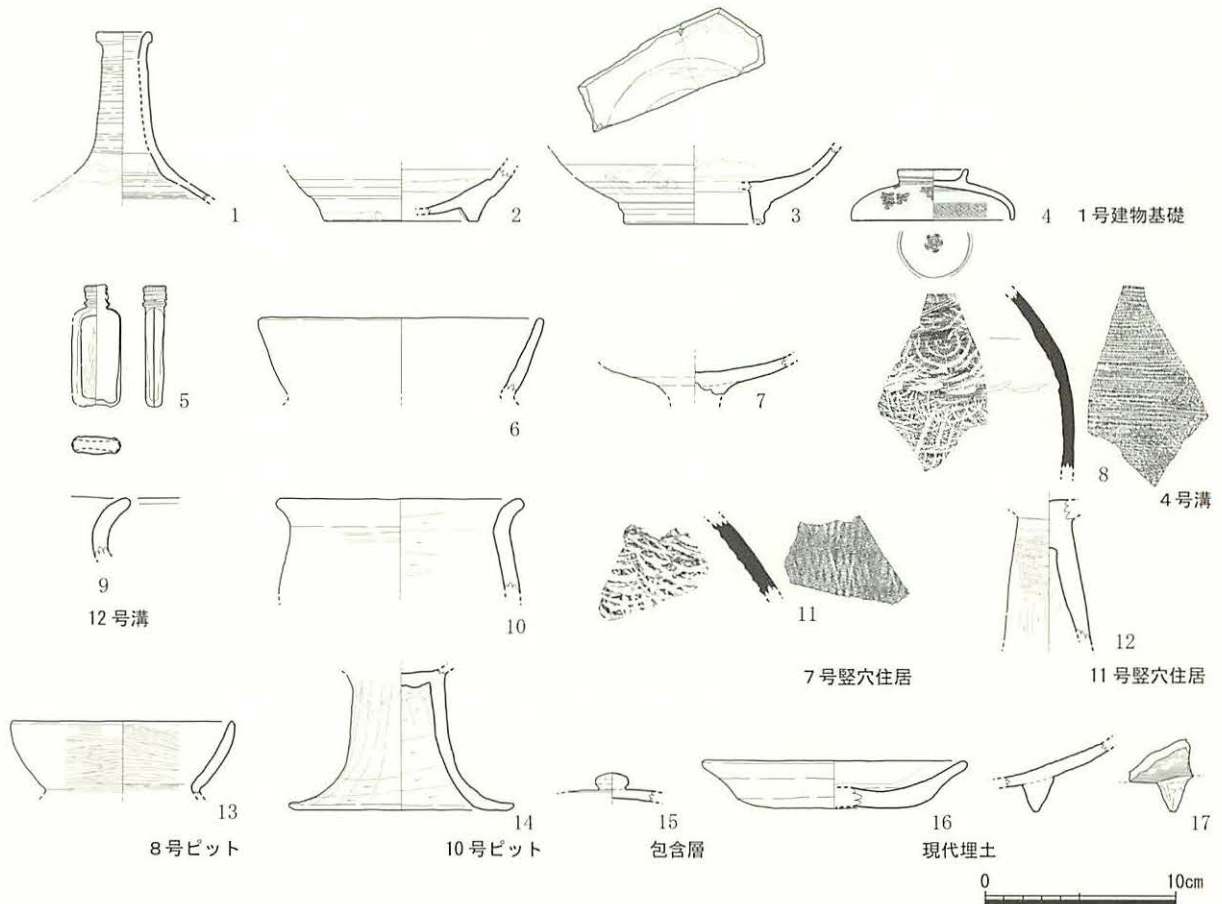


図84 1442調査地点出土遺物実測図 (1/4)

4号溝出土遺物 (図84：5～8)

5は小型扁平のガラス瓶。口縁部にはアルミ製のスクリュウ蓋が付いており、側面には型成形の合わせ目が残る。ガラスは無色透明であるが、気泡が入っており、昭和初期の所産と考えられる。攪乱土と共に混入したものであろう。

6・7は土師器。6は小型丸底壺、7は高坏の坏部と脚部の接合部の資料である。6は口頸部が短く、口径と胴部径が近いものと推測される。古墳時代前期末～中期初頭の所産。8は須恵器の甕で、内面にタタキ、外面にカキ目に似た条線が施文されている。

12号溝出土遺物 (図84：9)

9は土師器甕の外反する口縁部資料である。

7号竪穴住居出土遺物 (図84：10・11)

10は口縁部が外反する土師器の甕である。11は須恵器の甕で、内外面にタタキ痕がある。

11号竪穴住居出土遺物 (図84：12)

12は土師器高坏の脚部。細長い器体をなし、外面はハケ目施文後に磨きを施している。古墳時代前期末の所産。

8号ピット出土遺物 (図84:13)

13はやや内湾気味に開く口縁部と丸い胴部をもつ小型丸底壺。内外面とも磨きが顕著な特徴がある。古墳時代前期末の所産。

10号ピット出土遺物 (図84:14)

14は土師器の高坏の脚部である。脚柱はやや太く、接地面で曲線的に広がる器形をなす。内外面に赤色顔料の付着が認められる。脚柱の器厚が薄く、6世紀末～7世紀前葉の所産かと思われる。

その他出土遺物 (図84:15～17)

15は包含層出土の土師器の蓋である。扁平な器体につまみを有している。

16は現代埋土出土。土師器坏であるが、器高が低く、外反が大きく、皿とも言える。内面に煤が付着していることから灯明皿と考えられる。9世紀中～後葉の所産。

17は陶器土瓶の胴部資料である。算盤玉の器形の胴部下半にあたり、三角錐状の脚が付いている。内面には灰釉が認められる。近世～近代の薩摩焼。

(5) まとめ

今回の調査は、管理棟改修その他工事に伴う立会調査の際、南側の玄関庇基礎部にて遺構の存在を確認し、立会調査の中で記録したものである。この玄関庇基礎部は、管理棟改修その他工事（撤去）に伴う立会（1432調査地点）の渡り廊下撤去部分に当たり、同調査の際、当該地点は、外来臨床研究棟の渡り廊下設置工事により基礎壁体間は地表下2.4mまで攪乱されていることを確認した（松田2016）。そのため調査地点の大半は攪乱であった。しかし基礎壁体の設置時の余掘りはそれほど大きくなく、調査地点の東側で包含層および遺構の存在を確認することとなった。

今回の立会調査で記録した遺構は、近代の建物基礎1基、古墳時代～古代の溝2条、竪穴住居3基、土坑2基、ピット4基である。

近代の建物基礎は栗石を敷いたもので、覆土の上には焼土層が存在していた。本荘北地区の熊本医科大学は1945年の空襲で大半の建物を焼失しており（山本2014）、この焼土層が第二次世界大戦時のものとすれば、本建物基礎はそれ以前となる。1924年に熊本医科大学附属病院と改称された熊本県立病院の図面を見ると、当該地区一帯は病棟となっている（山崎1929）。しかし建物基礎を検出した玄関庇基礎部は病棟の合間の空き地部分に当たり、該当する建物は図面に載っていない。図面は1929年以前のものであるため、図面に載っていない小規模な建物があったのかもしれない。

古墳時代から古代にかけての遺構は溝・竪穴住居・土坑等からなるが、大きく2つの時期に分けられる。一つは古墳時代前期末～中期初頭のもので、11号竪穴住居が該当し、14号竪穴住居もその可能性がある。10号ピットからも同時期の遺物が出土している。調査区の南側に限って存在していた。本荘北地区では、9901調査地点・0006調査地点・0104調査地点・0509調査地点等、構内西寄りを中心に古墳時代前期末～中期初頭の遺構が発見されている（大坪・小畑2010・2014、大坪2016）。今回発見の竪穴住居はそうした古墳時代前期末～中期初頭の遺構分布の東縁付近に当たるものと考えられる。

二つ目は古代の遺構と考えられるもので、7号竪穴住居、更にそれより新しい4・12号溝、3号土坑等がそれである。古代の遺構から出土した遺物は時期を限定できるようなものはなかったが、本荘北地区において古代の遺構が形成された主体的時期が7世紀末～9世紀初めの時期であることから、今回発見の遺構に当該時期に該当するものが含まれる可能性は十分考えられる。しかし今回現代埋土

4. (本荘北) 管理棟改修その他工事に伴う立会調査 (1442調査地点)

から出土した遺物に、9世紀中～後葉という本荘北地区の古代の遺物の中では新しい時期の遺物が含まれていた。切り合い関係から見て、本調査地点で一番新しいと考えられた3号土坑や4号溝等の時期は、そうした9世紀代の年代が与えられる可能性も考えられよう。

なお近世以降の遺物について、岡本真也氏(熊本県教育委員会)にご教示を頂いた。記して深く感謝申し上げます。

注

(1) 1442調査地点の調査の届出等に関する文書をまとめると以下のようになる。

文化財保護法第93条第1項の届出 熊本大学 熊大施企第90号(平成26年9月5日付け)

上記届出に対する通知 熊本市教育委員会 文振発第460号(平成26年9月19日付け)

【主要参考文献】

網田龍生 1994a「奈良時代 肥後の土器」『先史学・考古学論究 熊本大学文学部考古学研究室創設20周年記念論文集』 龍田考古会

1994b「肥後における回転台土師器の成立と展開」『中近世土器の基礎研究』X 日本中世土器研究会

大坪志子・小畑弘己2010「(医病)基幹・環境整備に伴う発掘調査(0006調査地点)」・「(医病)基幹・環境整備(共同溝設置)に伴う発掘調査(0104調査地点)」『熊本大学構内遺跡発掘調査報告VI』 熊本大学埋蔵文化財調査室

大坪志子・小畑弘己2014「(医病)病棟(軸)新営工事に伴う発掘調査(9901調査地点)」『熊本大学構内遺跡発掘調査報告X』 熊本大学埋蔵文化財調査センター

大坪志子 2016「(医病)基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)」『熊本大学構内遺跡発掘調査報告XI』 熊本大学埋蔵文化財調査センター

桜井準也 2006『ガラス瓶の考古学』 六一書房

松田光太郎 2016「(医病)管理棟改修その他工事(撤去)に伴う立会調査(1432)」『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報』21 熊本大学埋蔵文化財調査センター

山崎正薫 1929『肥後医育史』 鎮西医海時報社

山本哲郎 2014「熊本医科大学」『熊本大学60年史通史編』 熊本大学

表12 1442調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
84	1	陶器	德利	口径 底径 器高 2.9	口縁～頸部片	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 7.5YR5/3 10YR4/2 外:Hue 5Y4/1 10YR4/3	1号建物基礎	外面に灰釉・白泥流し掛けあり
	2	陶器	德利	口径 底径 器高 8.1	底部片	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 10YR4/2 外:Hue 5Y3/1	1号建物基礎	内面露胎 外面に釉あり 高台に砂目あり
	3	陶器	鉢	口径 底径 器高 7.5	胴部～底部片	内: 外:ナデ,削り, 高台削り出し	内:Hue 5Y5/1 7.5YR5/3 外:Hue 7.5YR5/3	1号建物基礎	内面に蛇の目釉剥ぎあり 外面露胎
	4	磁器	壺	口径 底径 器高 8.6 3.7 2.7	1/3	内: 外:	内:Hue 2.5GY8/1 外:Hue 2.5GY8/1	1号建物基礎	内面に菱形文・見込みに五弁花あり染付
	5	ガラス製品	不明	口径 底径 器高 1.2 2.5 (1.3) 6.35	ほぼ完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	4号溝	アルミ製蓋あり ガラス内部に気泡あり 貝殻状光沢あり
	6	土師器	壺	口径 底径 器高 15.0	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 10YR7/4 外:Hue 10YR7/4	4号溝	
	7	土師器	高坏	口径 底径 器高	坏の脚の 接合部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 10YR8/4 外:Hue 10YR8/4	4号溝	接合部の粘土接合痕あり
	8	須恵器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内:回転ナデ,タタキ 外:タタキ	内:Hue 5Y4/1 外:Hue 7.5Y6/1	4号溝	内面に青海波状文あり
	9	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 7.5YR6/6 外:Hue 10YR6/4	12号溝	
	10	土師器	小型甕	口径 底径 器高 13.0	口縁～頸部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ	内:Hue 7.5YR5/4 外:Hue 10YR4/3	7号竪穴住居22層	外面頸部に沈線2本あり
	11	須恵器	甕	口径 底径 器高	頸部～肩部片	内:タタキ 外:タタキ	内:Hue 2.5Y7/2 外:Hue 2.5Y7/2	7号竪穴住居24層	内面に青海波状文・外面に格子目文あり
	12	土師器	高坏	口径 底径 器高	脚部片	内:指ナデ 外:削り,ハケ目, 磨き	内:Hue 7.5YR7/6 外:Hue 5YR6/6 7.5YR6/4	11号竪穴住居	
	13	土師器	壺	口径 底径 器高 11.4	口縁～頸部片	内:回転ナデ,磨き 外:回転ナデ,磨き	内:Hue 10YR6/4 外:Hue 10YR6/4	8号ピット	
	14	土師器	高坏	口径 底径 器高 4.8	脚	内:ナデ,削り 外:削り	内:Hue 5YR4/8 7.5YR6/4 外:Hue 5YR4/8	10号ピット	内面に横方向削り,外面に縦→横 方向削り,内外面摩滅 赤色顔料
	15	土師器	壺	口径 底径 器高	つまみ部	内:回転ナデ,ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 7.5Y5/4 外:Hue 2.5Y6/3	包含層	
	16	土師器	灯明皿	口径 底径 器高 14.0 10.2 2.5	口縁～底部片 1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内:Hue 7.5YR4/3 外:Hue 7.5YR4/3	現代埋土(2層)	内面にスス付着 外面底部にやや粗雑な削りあり
	17	陶器	土瓶	口径 底径 器高	底部～脚部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 7.5YR4/3 外:Hue 7.5YR5/4	不明	内面に自然釉あり 外面脚にスス付着

V 本莊中地区の調査

1. (本荘中) 医学部旧ボイラー室煙突撤去工事に伴う発掘調査 (1233調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

今回の調査は、本荘中地区の南西部にある医学部旧ボイラー室の撤去工事に伴う調査である。本調査地点は本荘中地区サークル棟3の南隣に位置する。

本荘中地区では、エイズ学研究センター・生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設建設工事に伴う発掘調査(9801調査地点の発掘調査)で、古代の堅穴住居3基・溝3条・近世の溝等が検出され、生命資源研究・支援センターR I総合施設・遺伝子実験施設建設工事に伴う発掘調査(9511調査地点の発掘調査)で、古代の堅穴住居5基・溝3条・近世の溝2条などが発見されている(小畑2003・2009)。また2012年に実施した医学部基礎研究棟(B棟東側)取り壊し工事に伴う発掘調査(1205調査地点の発掘調査)では近世の溝が検出され、国際先端医学研究拠点施設建設に伴う発掘調査(1223調査地点の発掘調査)では古代の堅穴住居29基や掘立柱建物1棟をはじめとする多数の遺構が調査され、本荘中地区の北側で遺構が濃厚に存在する実態が明らかになっている(松田2014a・b)。しかしその一方で、本調査地点の東約15mに所在する共用棟本荘1(共用実験棟)の建設に先立ち実施した、医学部基礎研究棟C棟取り壊し工事に伴う立会調査(0724調査地点の調査)でも、ピット3基が検出され、本荘中地区南側でも遺構の存在が明らかになっていた(江頭・小畑2008)。

本調査地点に関しては、煙突は基礎撤去以前に撤去してあったので、2013年2月7日、熊本市の指導に基づき、煙突の基礎であるフーチングの撤去に伴う立会調査を開始した。フーチングの存在する箇所をフーチング上面まで掘削したところ、フーチングの周縁にはフーチング埋設時の埋土が幅0.25~0.45m存在し、その外側に包含層が存在していることが確認された。フーチングの北側と南側においては、工事の掘削は埋土内の掘削で済んだが、東側は幅約2mの範囲の包含層の掘削を行った(2月8日)。包含層上部では遺構のプランを捉えられなかったが、慎重に掘削を進め、遺構確認作業を行った結果、ピット等の遺構の存在が確認された。今回の工事では遺構の削平は避けられないと判断されたため、2月8日、熊本市文化振興課埋蔵文化財調査室に連絡し、許可を得た後、立会調査を発掘調査に切り替え、発掘調査を行った⁽¹⁾。本調査の調査面積は9.3m²であった。

b. 調査の経過

2013年2月8日 遺構確認、本調査に切替え。遺構掘削開始。

2013年2月12日 遺構掘削、測量。

2013年2月13日 測量、写真撮影。調査終了。

c. 調査の組織

調査員：松田光太郎・多賀晴司

事務担当：村田知聖

(2) 調査区の基本層序(図86)

調査区北壁で確認した。1層は埋土である。厚さ約1.2m。2層は灰褐色を呈する旧耕作土。3層も灰褐色土。4層は黒褐色を呈する古代の包含層。地表下約1.4mで検出された。地山は黄色帯びる

シルト質の層。地表下約1.7mで検出された。

(3) 検出遺構 (図87)

竪穴住居1基、ピット8基の遺構が確認された。遺構出土遺物が少なく、かつ小片のみであることから、時期は古墳時代から奈良・平安時代と幅広くとらえておくのがよいと思われる。

<竪穴住居>

2号竪穴住居 (図87)

調査区北東部で検出された幅約0.6m・深さ約0.4mの溝状の落ち込みを周溝と考え、竪穴住居の一部と判断した。長さ約1mが検出された。しかし床面や炉・竈は検出されていないため、他の遺構の可能性もある。周溝の断面はU字状ないし逆台形状である。他遺構との重複関係では、1号ピットにより切られており、1号ピットより古い。

<ピット>

1号ピット (図87)

調査区北東部、北壁直下に存在した。平面形は長軸0.42m、短軸0.30mの楕円形をなし、深さ0.48mの掘り込みが確認された。ピットの覆土は黒褐色土(2.5YR3/2)で、黄褐色土ブロックを少し含んでいた。他遺構との重複関係では、2号竪穴住居を切っており、2号竪穴住居より新しい。

3号ピット (図87)

調査区北東部に存在し、1号ピットの南東側約0.1mに所在した。平面形は長軸0.34m、短軸0.30mの円形をなし、深さ0.61mの掘り込みが確認された。覆土は黒褐色土(2.5YR3/2)で、黄褐色土のブロックを含んでいた。

4号ピット (図87)

調査区東部に存在した。平面形は長軸0.37m、短軸0.36mの楕円形をなし、深さ0.45mの掘り込みが確認された。東側は攪乱により壊されていた。ピットの覆土は黒褐色土(10YR3/2)であった。10号ピットと重複するが、10号ピットとの新旧関係はわからなかった。

5号ピット (図87)

調査区東部に存在し、10号ピットの南側約0.5mに所在した。平面形は長軸0.54m、短軸約0.50mの円形をなし、深さ0.54mの掘り込みが確認された。覆土は黒褐色土(10YR3/2)で、黄褐色の砂質ブロックを少し含んでいた。

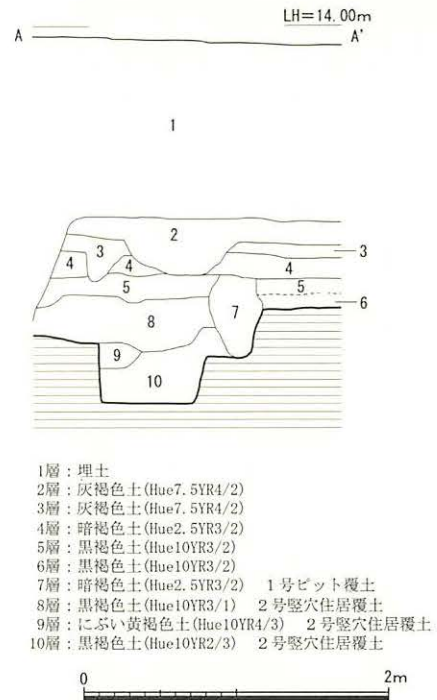


図86 1233調査地点土層断面実測図 (1/50)

1. (本荘中) 医学部旧ボイラー室煙突撤去工事に伴う発掘調査 (1233調査地点)

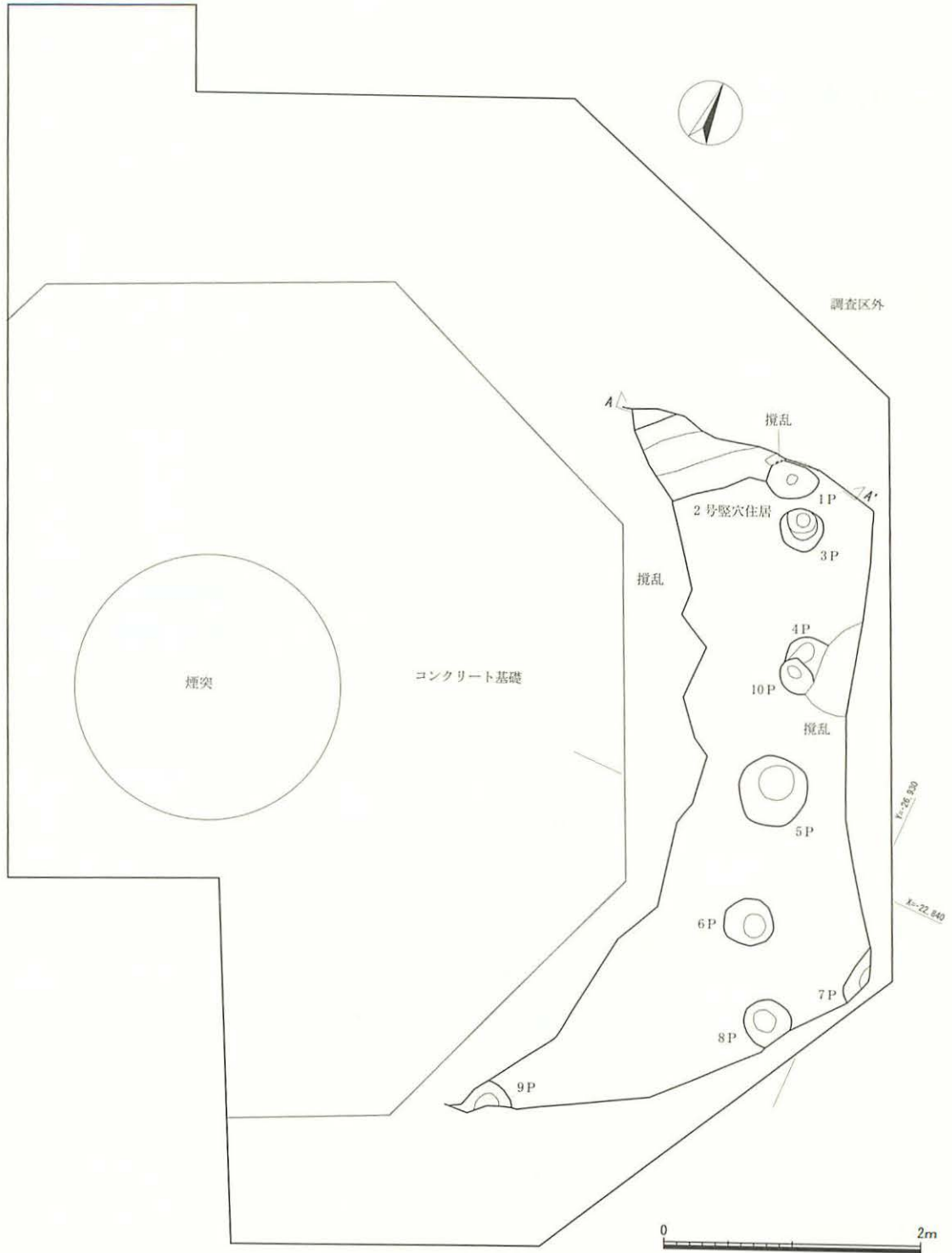


図87 1233調査地点遺構配置実測図 (1/50)

6号ピット (図87)

調査区東部に存在し、5号ピットの南東約0.6mに所在した。平面形は長軸0.42m、短軸0.39mの円形をなし、深さ0.49mの掘り込みが確認された。ピットの覆土は黒褐色土 (10YR3/2)。

7号ピット (図87)

調査区東端の壁際に存在し、大部分は調査外に出ていた。平面形は長軸0.5mより長く、深さ0.32mの掘り込みが確認された。覆土は黒褐色土 (2.5YR3/2) であった。

8号ピット (図87)

調査区東部の調査区際に存在し、6号ピットの南東約0.4mに所在した。南東隅は調査区外に出ている。長軸0.38m、短軸0.38mの円形をなし、深さ0.44mの掘り込みが確認された。ピットの覆土は黒褐色土 (10YR3/2) であった。

9号ピット (図87)

調査区東南部に所在した。調査区際にあり、南側半分は調査区外にあった。本ピットは他のピットと離れて存在していた。平面形は長軸0.42m円形をなし、深さ0.44mの掘り込みが確認された。覆土は黒褐色土 (10YR2/2) であった。

10号ピット (図87)

調査区東部に存在した。平面形は長軸0.30m、短軸0.24mの楕円形をなし、深さ0.48mの掘り込みが確認された。東側は攪乱により壊されていた。ピットの覆土は黒褐色土 (10YR3/2) であった。4号ピットと重複するが、4号ピットとの新旧関係はわからなかった。

(4) 出土遺物 (図88)

2号竪穴住居出土遺物 (図88: 1)

1は外反する土師器の口縁部資料である。外反が強いことから、古墳時代の壺と考えられる。

3号ピット出土遺物 (図88: 2)

2は内湾気味に直立する土師器の口縁部資料である。口縁断面形は角頭状をなし、隆帯が付いている。古墳時代後期以降の移動式竈の破片と考えられる。

5号ピット出土遺物 (図88: 3)

3は胴部が湾曲する土師器の坏である。内外面に赤彩が認められる。7世紀中葉から8世紀初頭あたりの時期と考えられる。

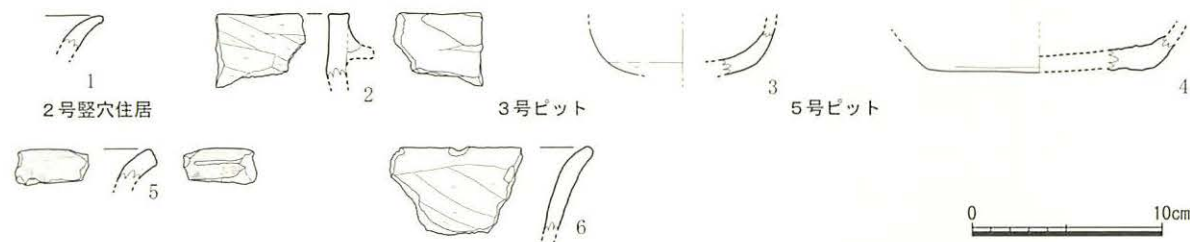


図88 1233調査地点出土遺物実測図 (1/4)

その他出土遺物 (図88: 4~6)

4~6は攪乱の埋土等遺構外から出土した遺物である。4は土師器の坏である。底部は平底で、胴部が湾曲気味に立ち上がる。8世紀代の所産であろう。5・6は土師器の甕の口縁部資料である。5は内外面にわずかなハケ目を有している。6は内面に顕著な削りを施している。

(5) まとめ

今回の調査は、煙突基礎の周りの狭い範囲であったが、地表下約1.3mで、古代の竪穴住居と思われる遺構やピットの存在を明らかにした。

従来、本荘中地区では、エイズ学研究センター・生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設建設工事に伴う発掘調査(9801調査地点の発掘調査)や生命資源研究・支援センターRI総合施設・遺伝子実験施設建設工事に伴う発掘調査(9511調査地点の発掘調査)、国際先端医学研究拠点施設建設に伴う発掘調査(1223調査地点の発掘調査)や医学部基礎研究棟(B棟東側)取り壊し工事に伴う発掘調査(1205調査地点の発掘調査)で古代の集落址や近世の溝が発見され、本荘中地区北側で遺構が多く存在する様相が明らかになっている(小畑2003・2009、松田2014a・b)。しかしその一方で、医学部基礎研究棟C棟取り壊し工事に伴う立会調査(0724調査地点の調査)でも、ピットが検出され、本荘中地区南側への集落の広がりもおぼろげながら捉えられていた(江頭・小畑2008)。また本荘中地区を含む本荘遺跡の南側は、本荘中地区南際を流れる二の井手用水を挟んで、南に位置する本荘南地区へも広がっており、本荘南地区0515調査地点でも竪穴住居が存在した可能性が考えられている(小畑2006)。

今回本地点で竪穴住居と思われる遺構の存在が捉えられたことは、本荘中地区南側への集落の広がりを一層確実なものにしたと評価できるとともに、本荘南地区への集落のつながりを示す足がかりとなったと言えよう。

注

(1) 1233調査地点の調査の届出等に関する文書をまとめると以下のようになる。

文化財保護法第93条第1項の届出 熊本大学 熊大施企第171号(平成24年12月3日付け)
上記届出に対する通知 熊本市教育委員会 文振発第743号(平成25年1月23日付け)
文化財保護法第92条第1項の届出 熊本大学 熊大施企第206号(平成25年2月15日付け)
上記届け出に対する通知 熊本県教育委員会 教文第2562号(平成25年3月4日付け)
熊本市教育委員会 文振発第931号(平成25年3月7日付け)

【主要参考文献】

網田龍生 1993『大江遺跡群Ⅱ 大江遺跡群第3次調査区発掘調査報告書』熊本市教育委員会
江頭俊介・小畑弘己2008「医学部基礎研究棟(C棟取り壊し)工事に伴う立会調査(0724)」『熊本大学埋蔵文化財調査室年報14 2007年度』熊本大学埋蔵文化財調査室
小畑弘己2003「医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設に伴う発掘調査(9511調査地点)」『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅰ』熊本大学埋蔵文化財調査室
小畑弘己2006「本荘団地(南地区)駐車場環境整備工事(その2)追加変更に伴う立会調査(0515)」『熊本大学埋蔵文化財調査室年報12 2005年度』熊本大学埋蔵文化財調査室
小畑弘己2009「医学部エイズ学研究センター・動物資源・開発研究センター新営に伴う発掘調査

(9801調査地点)』『熊本大学構内遺跡発掘調査報告V』 熊本大学埋蔵文化財調査室
 松田光太郎 2014a「医学部基礎研究棟（B棟東側）とりこわし工事に伴う発掘調査（1205調査地点）」
 『熊本大学構内遺跡発掘調査報告X』 熊本大学埋蔵文化財調査センター
 松田光太郎 2014b「国際先端医学研究拠点施設新営工事に伴う発掘調査（1223調査地点）」『熊本大
 学構内遺跡発掘調査報告X』 熊本大学埋蔵文化財調査センター

表13 1233調査地点出土遺物一覧表

図	番号	種類	器種	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
88	1	土師器	壺	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ, ナデ 外：回転ナデ, ナデ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	2号竪穴住居	
	2	土師器	移動式竈	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ, 削り 外：ナデ	内：Hue 10YR6/6 外：Hue 10YR6/6	3号ピット	口縁部に隆帯貼付
	3	土師器	坏	口径 底径 器高	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 2.5YR5/4 外：Hue 2.5YR5/4	5号ピット	内外面に赤色化粧土
	4	土師器	坏	口径 底径 器高 6.0	底部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	不明	
	5	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ, ハケ目 外：回転ナデ, ハケ目	内：Hue 2.5Y8/3 外：Hue 2.5Y7/4	不明	
	6	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ, 削り 外：ナデ	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/4	不明	

VI 京町地区の調査

1. (京町) 教育学部附属小学校校舎新営その他工事に伴う発掘調査 (1417・1443調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

今回の調査は熊本大学教育学部附属小学校校舎新営工事に伴うものである。本地区は熊本市内遺跡地図に京町台遺跡群として周知されている。1994年には熊本県文化課による9405調査地点、2007年には熊本大学埋蔵文化財調査室による0719・0721調査地点の発掘調査が行われ、弥生時代後期の竪穴住居や近世・近代の土坑等が検出されている（小畑2003、江頭2009、大坪2016）。既往の調査は西側の中学校側に多いが、今回の調査地は9405調査地点の東約60mの位置に所在する。

今回の調査地は1417調査地点、1443調査地点からなる。1417調査地点は熊本大学教育学部附属小学校校舎新営その他工事（建築工事）に伴うものである。2014年9月11日および11月5日に熊本市の指導に基づき、工事掘削に際して立会調査を実施した。11月5日、遺構の存在を確認したため、熊本市教育委員会文化振興課および熊本県教育庁文化課の許可を得、発掘調査へ切り替えて調査することになった。当初の調査面積は627㎡。その後、工事内容の追加変更に伴い、747.9㎡に変更した⁽¹⁾。

1443調査地点は同校舎新営その他機械設備工事（その2）に伴うものである。2015年2月26日より、熊本市の指導に基づき、同校舎新営その他工事（建築工事）の変更箇所（1417調査地点北西部）の調査と並行して、工事に際しての立会調査を行った。立会の過程で若干の遺構の存在を確認したため、3月30日に熊本市教育委員会文化振興課へ連絡し、立会調査の中で記録することになった⁽²⁾。

b. 調査の経過

- 2014年11月5日 1417調査地点発掘調査開始。遺構確認・遺構掘削・測量・写真撮影開始。
- 2014年11月26日 発掘作業員による作業開始。
- 2014年12月17日 調査終了。
- 2015年2月26日 1417調査地点北西部・1443調査地点調査開始。遺構確認・遺構掘削・測量・写真撮影開始。
- 2015年4月16日 1417調査地点発掘調査・1443調査地点立会調査終了⁽³⁾。

c. 調査の組織

調査員：松田光太郎、島浦健生・宮崎 拓（株式会社有明測量開発社）、阿比留士朗（株式会社イビソク）

事務担当：大崎喜美子・濱田春美

発掘作業員：泉 英二・押方富江・河野厚生・川元恵子・小林鳴美・栗崎 強・柴田道子・白石美枝子・白石美智子・番山明子・平山博之・藤本龍三・堀川民夫・堀部和憲・松永一代・三島多恵子・水本美恵子・宮里和正・宮田義則・村上親敏・森 清・森川征子・森川 護・森本紀代子・山道和弘・吉永孝夫・米光司朗

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・後藤 恵・首藤優子・末吉美紀・園田智子・増井弘子

1. (京町) 教育学部附属小学校校舎新営その他工事に伴う発掘調査 (1417・1443調査地点)

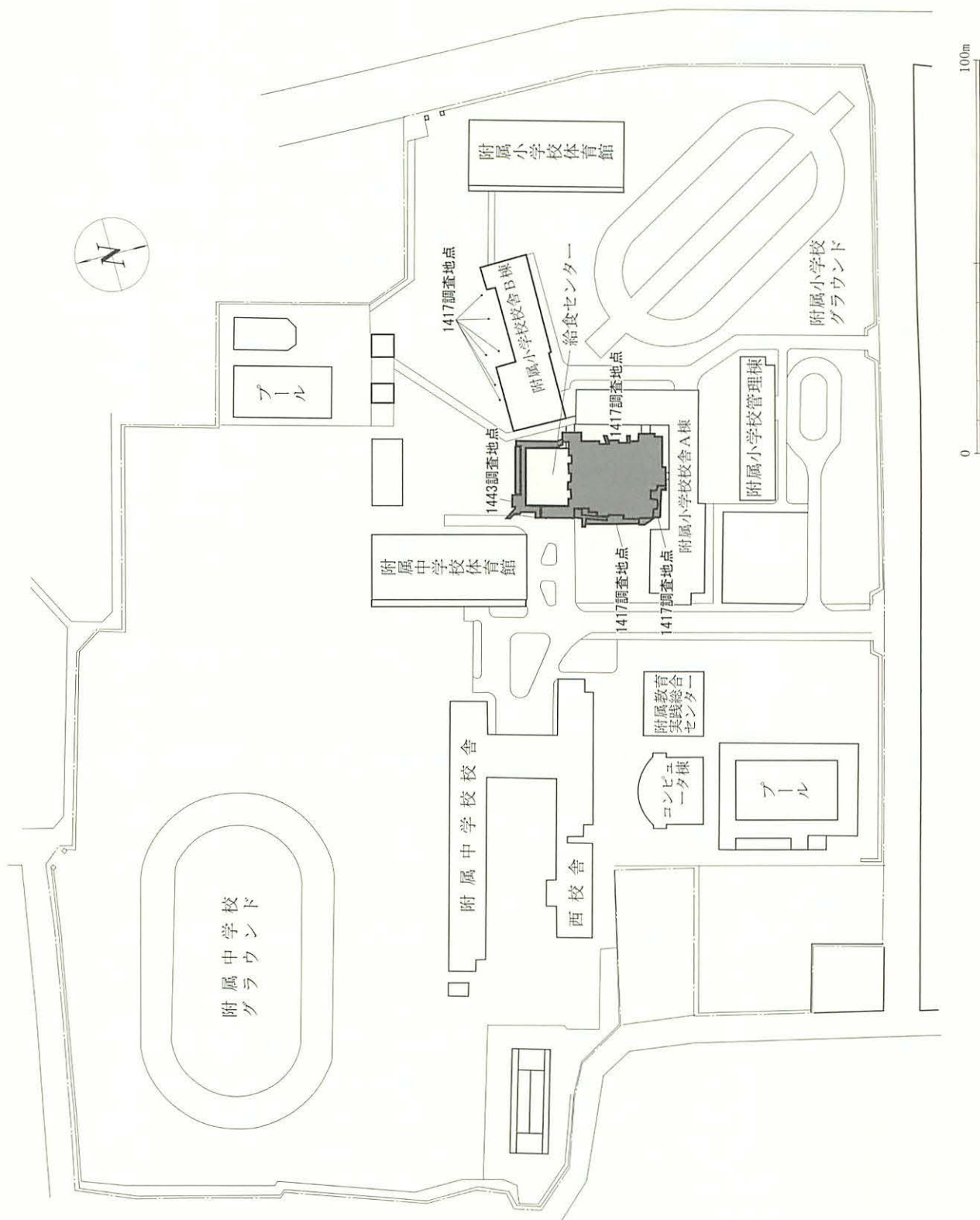


図89 京町地区における調査地点位置図 (1/1500)

(2) 調査区の基本層序 (図91)

本調査地点の柵での土層観察に基づき、基本層序を以下のようにした。

I層：攪乱・現代埋土

II層：暗褐色土 (7.5YR3/3) II層の色調はIII層の色調よりやや明るい

III層：暗褐色土 (10YR3/3)

IV層：暗褐色土 (10YR3/4)

V層：黄褐色土 (10YR5/6)

II層は調査区東側にのみ存在した。III層はニガと呼ばれている土である。IV層はローム層直上の漸移的な土、V層はローム層である。ローム層上面高度は北西側が高く、東および南に向かって高度が下がっており、本遺跡の所在する台地は、本調査地点から見ると、北西部に向かって高まっていたと考えられた。同様の傾向は約10m西側に所在する附属中学校体育館内の0719調査地点でも捉えられている(江頭2009)。なお旧耕作土、古代の遺物を含む黒褐色土は面的には存在せず、台地面は広範囲に削平を受けていると考えられた。黒褐色土は古代のピット覆土中に限って存在した。

(3) 検出遺構 (図90)

建物基礎 1基、溝 2条、竪穴住居 4基、硬化面 3基、土坑 4基、ピット 59基の遺構が検出された。

<建物基礎>

60号建物基礎 (図90)

1417調査地点の中央北半において、地表面下約0.2~0.3mで確認された。一辺0.4~0.6mの方形の掘り込みの存在が多数確認でき、掘り込みの中に栗石(川原石)が入っていた。掘り込みは南北13m、東西10mの範囲に、軸がほぼ東西南北に合うように配置されていた。掘り込みには大小2種類あり、一辺0.6mのやや大型の掘り込みは南北列5列、東西列9列確認され、掘り込み中心間の距離を1.6~1.7mほどあけて、ほぼ等間隔に配されていた。比較的小型の掘り込みはその間に存在した。本遺構の東西両端はI層土が存在し、方形の掘り込みは確認できなかったが、布掘りの可能性もある。南側は工事掘削対象外であるため、確認はしていないが、続きが存在すると思われる。工事掘削深度は最深で地表下0.3mまでであったので、大半が遺構確認にとどまった。掘り込み内からは栗石以外の遺物は出土しておらず、時期は不明であるが、大きな建物が存在したと考えられる。

<溝>

25号溝 (図92)

1417調査地点の北東部の柵9と10の中間に存在した。攪乱により壊され、北側の上端しか検出していないが、幅約0.95m、長さ約1.7mが検出された。深さは最深部で0.3mほどあった。底面は比較的平らであった。またピット3基により切られていた。溝の時期は不明。

73号溝 (図92)

1443調査地点の北東部で検出された。東西に深い攪乱があり、攪乱の間に残ったわずかな地山に掘り込んで、幅約0.3m・長さ約0.3m、最深部の深さ約0.2mの溝が存在した。溝は東に向かい浅くなり、上部は削平により消滅していた。71号ピットに切られていた。溝の時期は不明。

1. (京町) 教育学部附属小学校校舎新営その他工事に伴う発掘調査 (1417・1443調査地点)

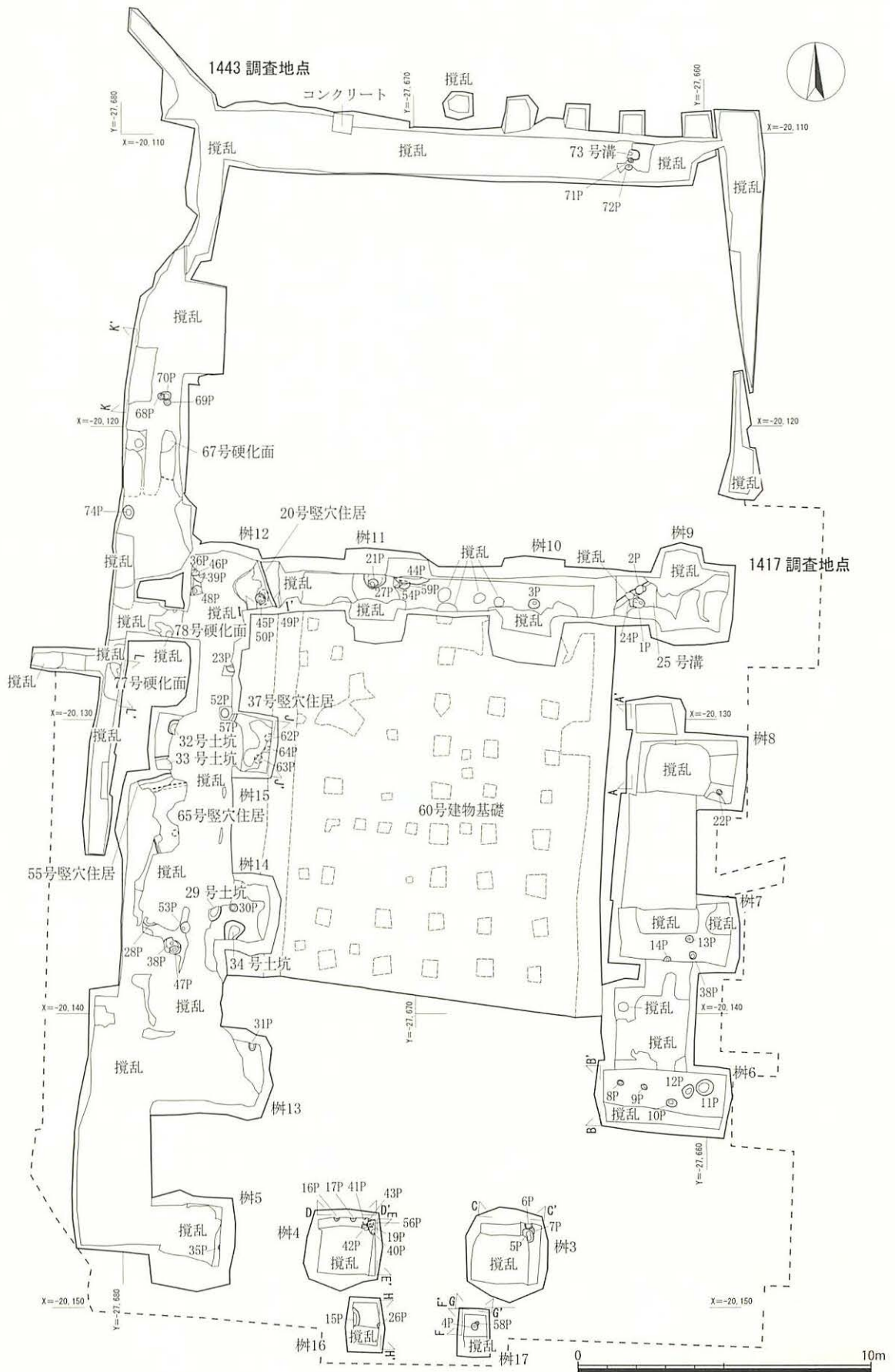
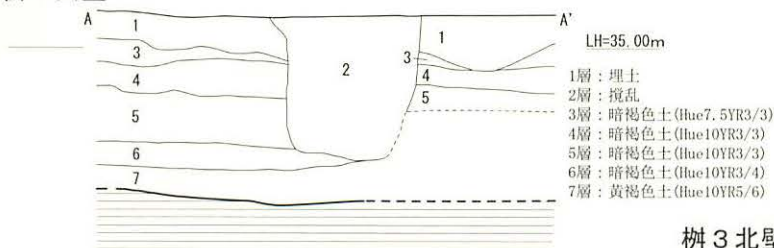


図90 1417・1443調査地点遺構配置実測図 (1/200)

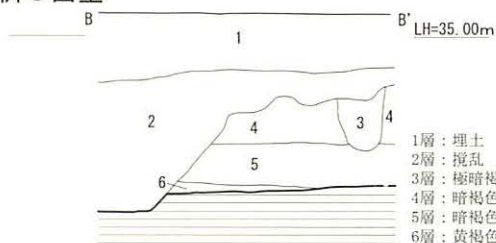
柵 8 西壁



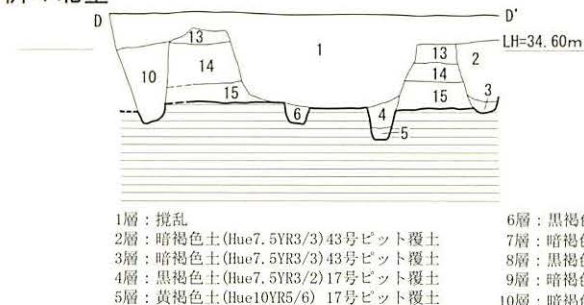
柵 3 北壁



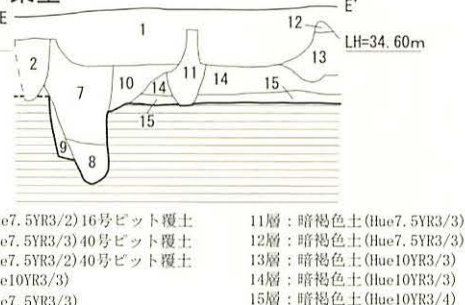
柵 6 西壁



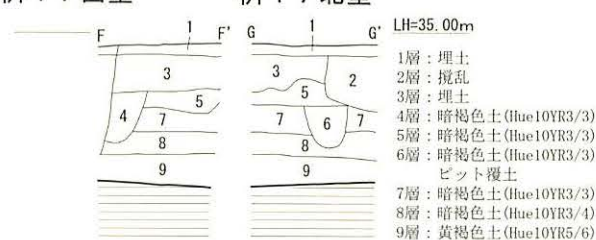
柵 4 北壁



柵 4 東壁



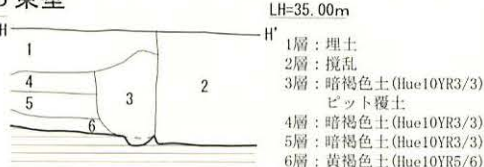
柵 1 7 西壁



柵 1 7 北壁



柵 1 6 東壁



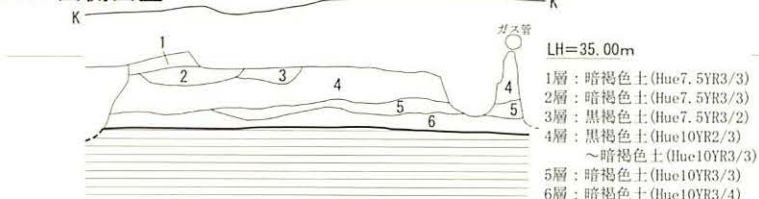
柵 1 2 南壁



柵 1 5 東壁



1443 西側西壁



1443 西側東壁

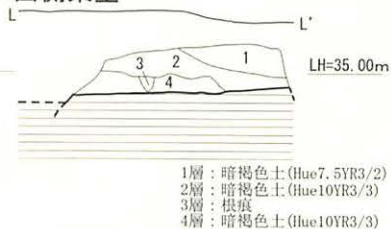


図91 1417・1443調査地点土層断面実測図 (1/50)

< 竪穴住居 >

20号竪穴住居 (図93)

1417調査地点の北西部の榦12に存在した。攪乱をはさんで、榦12の東部と西部に分かれて存在した。方形の竪穴住居で、榦12の東部では長さ約1.7mの直線的な上端が確認された。壁高は0.1～0.15mほどあり、床面と思われる硬化面が存在した。床面直上には遺物が多く出土した (図93左下)。ピット36・39・45は本住居を切って構築されていた。床下の掘り方を調査した段階で、古いピットが4基確認された。弥生時代後期の所産。

37号竪穴住居 (図92)

1417調査地点の西部の榦15に存在した。大部分を攪乱で壊されており、榦15の東側において、2.0×1.2mの範囲に覆土が確認され、同北側においては床面と思われる硬化面が存在した。床面下の掘り方を掘削したところ、浅い凹みがとらえられた。弥生時代後期の所産。

55・65号竪穴住居 (図94)

1417調査地点の西部の榦14と15の間付近に存在した。方形の竪穴住居2基が重複していた。新しい方の55号竪穴住居は北側に約1.2m、西側に約0.5mの長さの上端が確認された。攪乱により多くを壊されていたが、床面と思われる硬化面は全面的に存在した。65号竪穴住居は55号竪穴住居の床下に存在し、55号竪穴住居より少し南に存在した。北側に約1.2mの直線的な上端が存在したが、その他の辺は攪乱により壊され、確認できなかった。下底は工事掘削の及ぶ範囲までの調査であるので、覆土中で掘削は止まっている。弥生時代後期の所産。

< 硬化面 > (図90)

Ⅲ層を地山として硬化面が確認された。1443調査地点西側の67号硬化面、77号硬化面、78号硬化面である。硬化面に伴う掘り込みは確認できなかったため、竪穴住居とは認定しなかった。但し67・77号硬化面の上位より弥生土器が、78号硬化面の上位より土師器が出土した。

< 土坑 >

33号土坑 (図95)

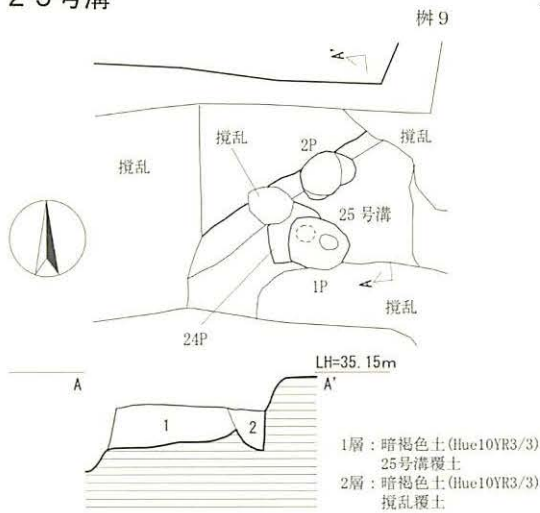
榦15の南西端に存在した。直線的な上端が長さ0.5mにわたって確認された。南側は榦15の範囲からはみ出るので、調査はできなかったが、南側に位置する55号竪穴住居の壁面には存在しなかったため、そこまで延びるものではなかった。遺物は出土せず、時期は不明である。

このほかピットより大きな掘り込みをもつものを土坑として調査した。榦15にある32号土坑、榦14にある29・34号土坑がそれであるが、いずれも不定形なものであった。

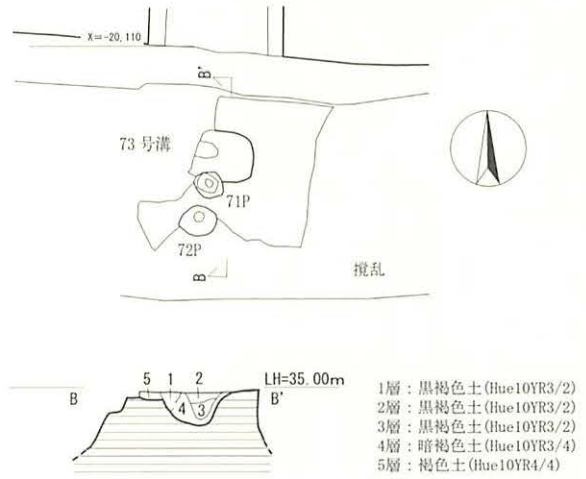
< ピット >

分布は散漫であったが、ピットが存在した。ほとんどが円形を基調とするものであった。1～3号ピットはⅡ層に近いやや明るい暗褐色土を覆土にもつもので、1・2号ピットは25号溝を切って構築されていた。その他多くのピットは暗褐色土ないしは黒褐色土を覆土にもつものであった。深さが深いピットもあり、38号ピットは確認面下0.9m、40号ピットは0.62mあった。また19号ピットは0.4mの深さを持ち、平安時代の所産であった。

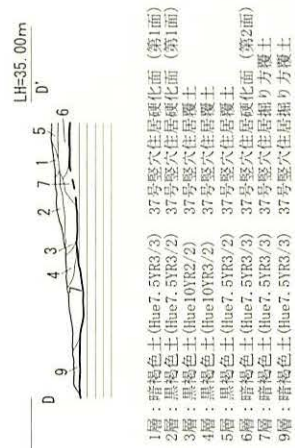
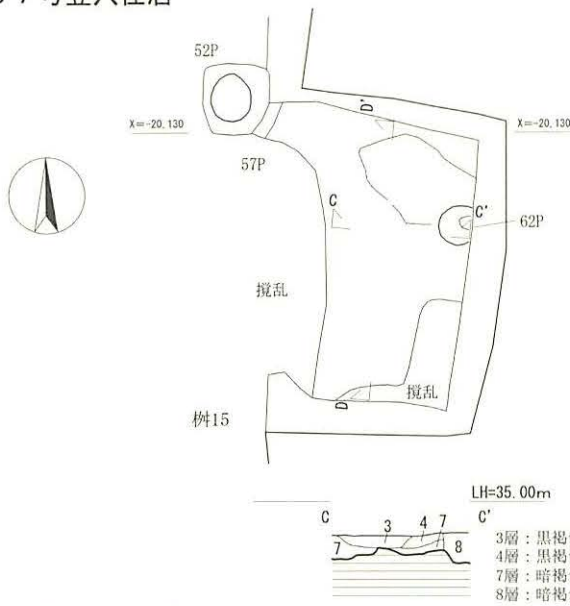
25号溝



73号溝



37号竪穴住居



37号竪穴住居掘り方

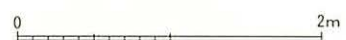
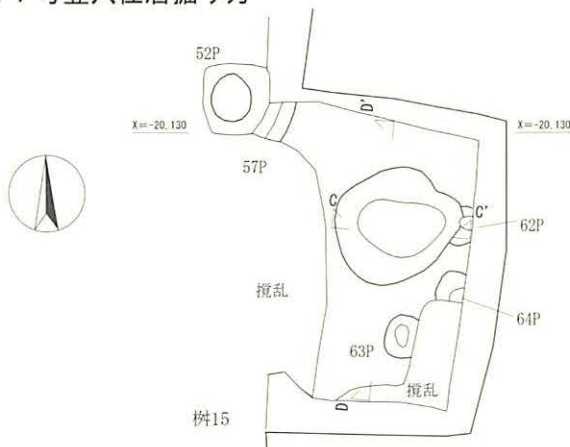
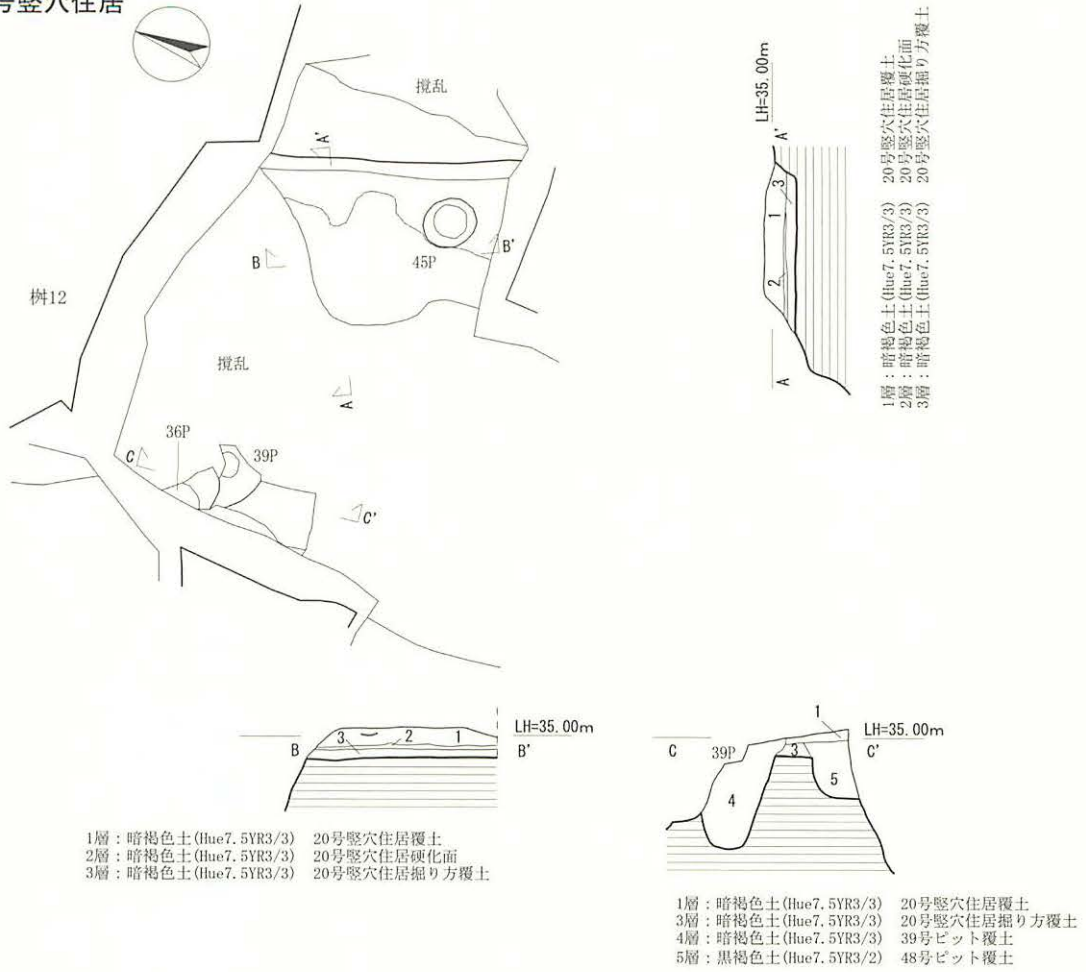
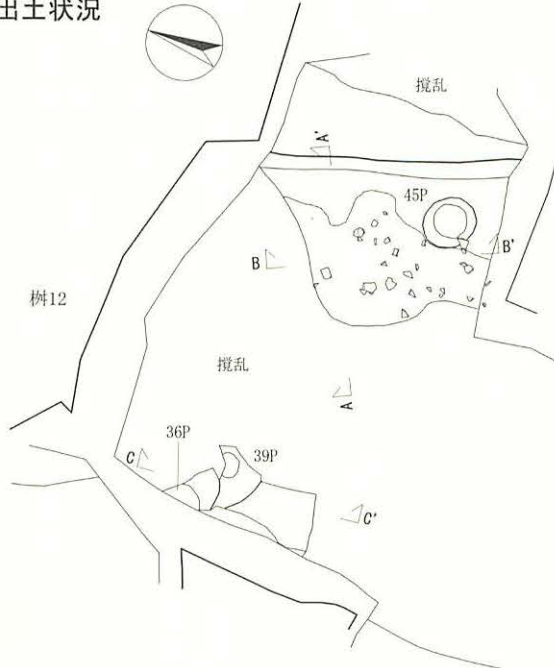


図92 25・73号溝、37号竪穴住居実測図 (1/50)

20号竖穴住居



20号竖穴住居
遺物出土状況



20号竖穴住居
掘り方

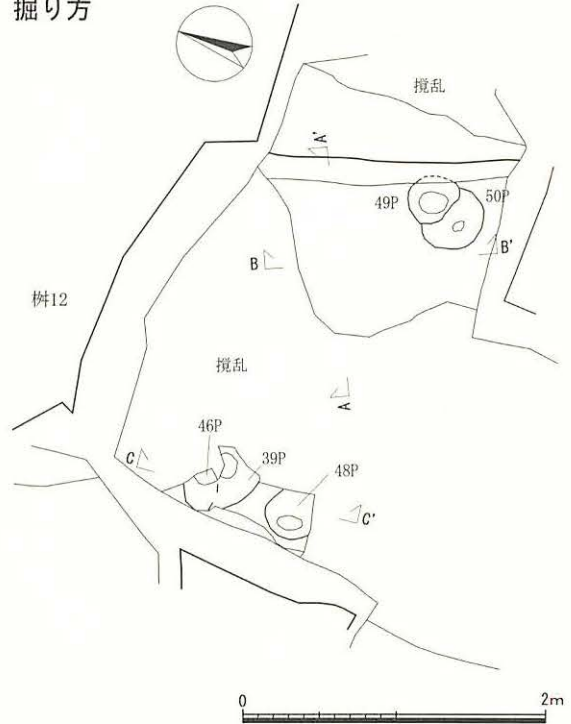


図93 20号竖穴住居実測図 (1/50)

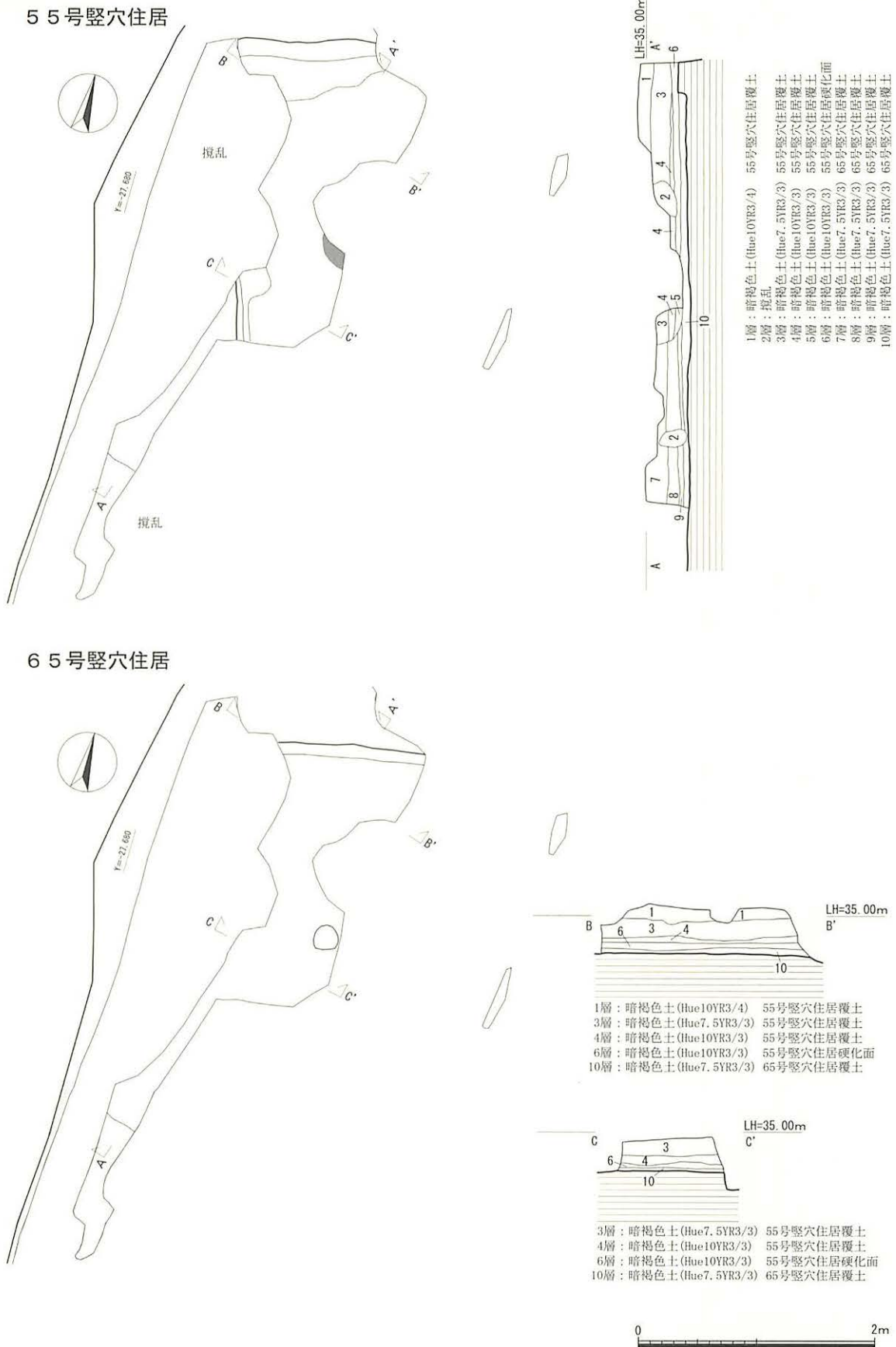


図94 55・65号竖穴住居実測図 (1/50)

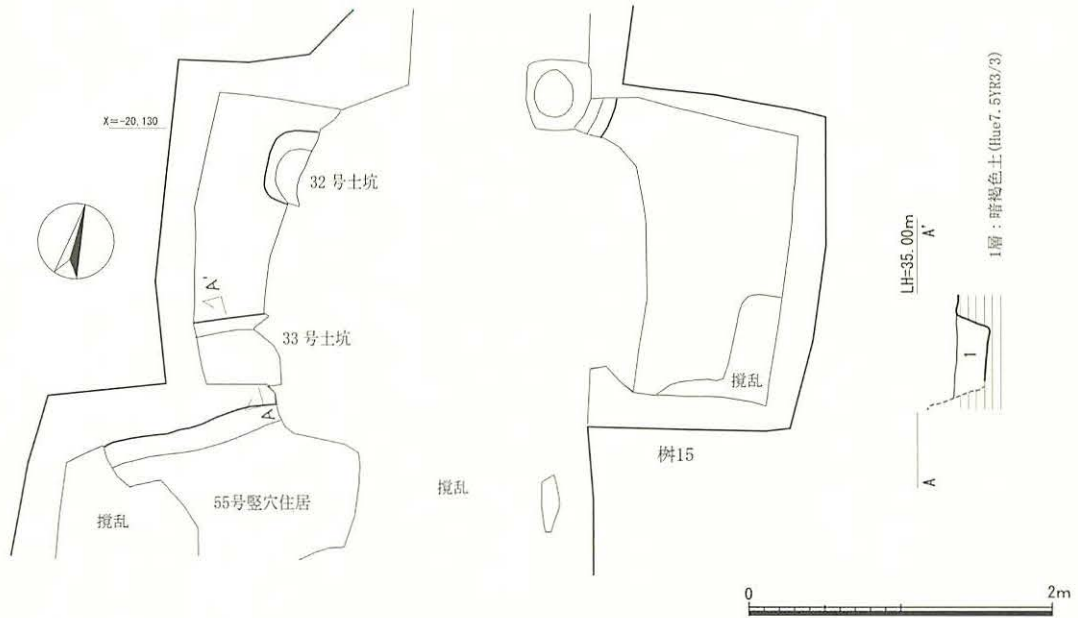


図95 33号土坑実測図 (1/50)

(4) 出土遺物 (図96・97)

20号竪穴住居出土遺物 (図96: 1~4)

1・2は口縁が内湾気味に立ち上がり、底部が丸底をなす鉢である。3は壺ないし甕の底部である。4は頸部が屈曲する甕の胴部上半である。

37号竪穴住居出土遺物 (図96: 5~8)

5は壺の底部、6は高坏の脚部、7は台付甕の台部である。8は甕ないし口縁が外反する鉢の口縁部資料。

55号竪穴住居出土遺物 (図96: 9~11)

9は長頸壺の胴部資料で、ハケ目を地文に重弧文を描いている。10は口縁が内湾する鉢の口縁部。11は外反する甕の口縁部である。

65号竪穴住居出土遺物 (図96: 12・13)

12は肥厚する口縁部を有する。器種の断定はできないが、鉢の可能性はある。13は口縁が内湾する鉢である。掘り方から出土した。

竪穴住居出土資料はみな弥生時代後期の土器である。

15号土坑出土遺物 (図96: 19)

19は須恵器甕の胴部資料である。

ピット出土遺物 (図96: 14~18)

14は47号ピット出土の壺の頸部資料。頸部に刻み付突帯を有する。

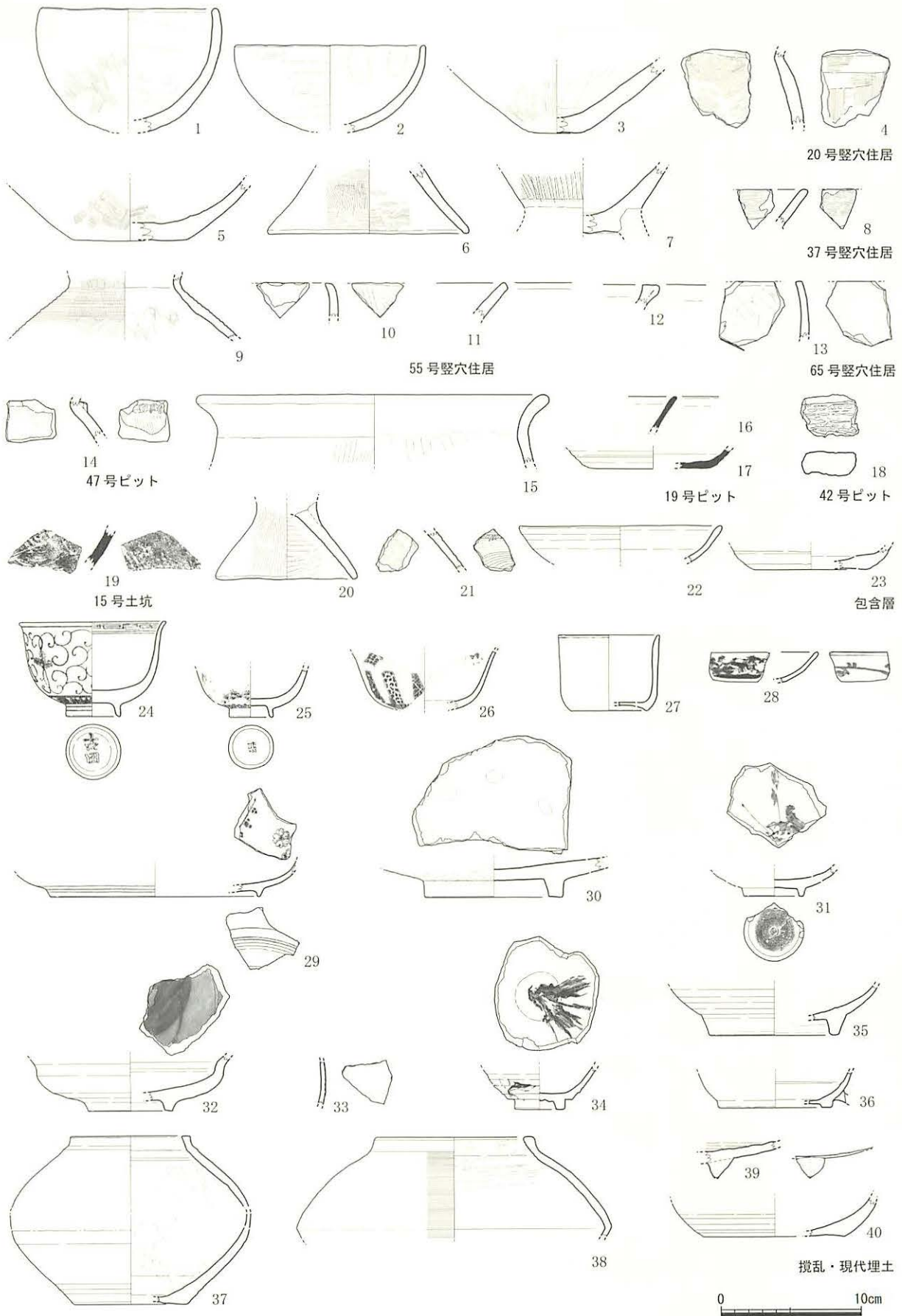


図96 1417・1443調査地点出土遺物実測図1 (1/4)

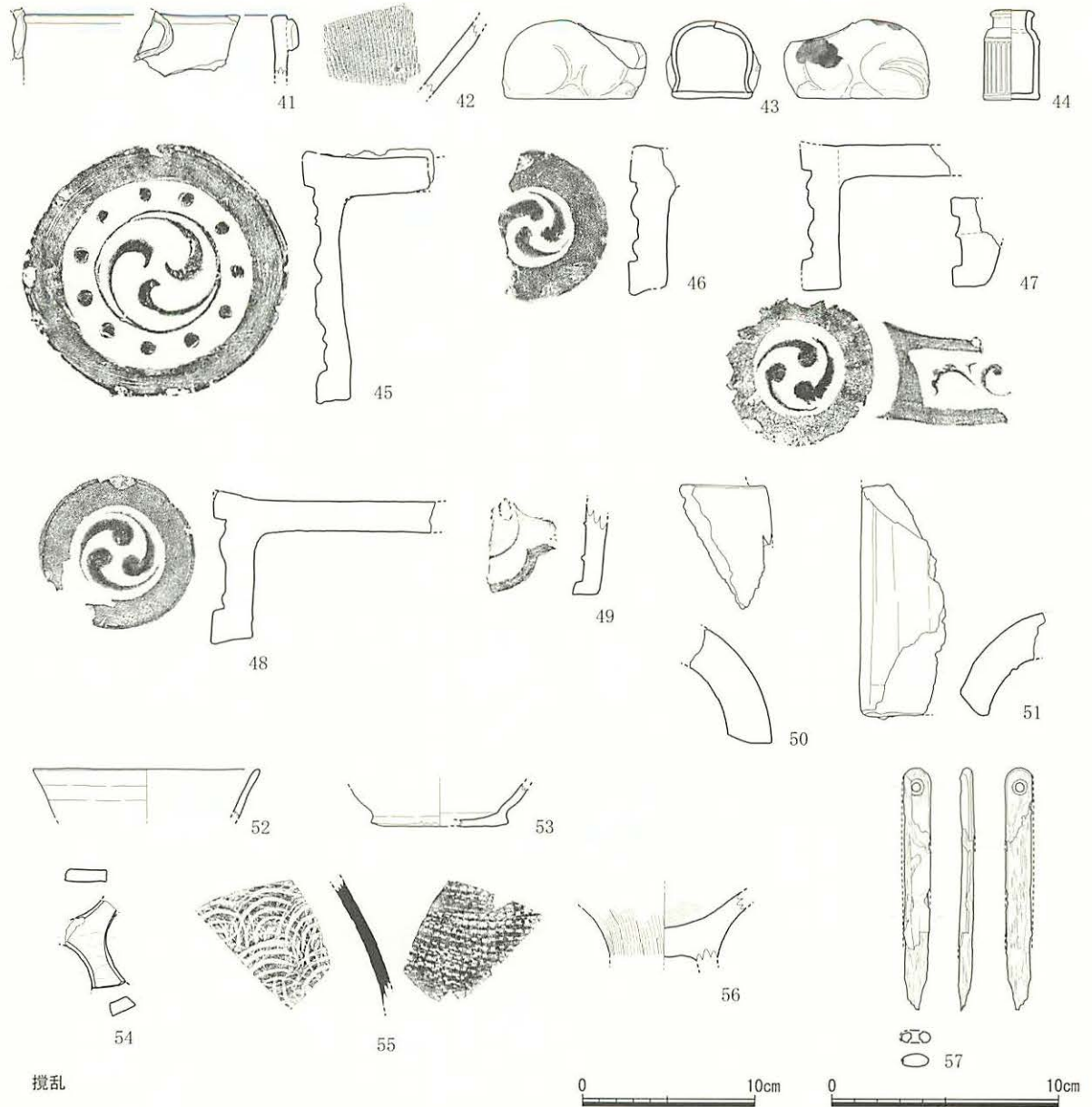


図97 1417・1443調査地点出土遺物実測図2 (1/4・1/3)

15～17は19号ピット出土。15は土師器甕、16・17は須恵器の坏である。直線的な胴部を有することから9世紀初頭から前葉を中心とした時期と考えられる。

18は42号ピット出土の軽石製品。器面が使用(研磨)により平坦化している。

包含層出土遺物 (図96: 20～23)

20・21は弥生土器。20は台付甕の台部、21は長頸壺の胴部資料で、後者は重弧文を描いている。弥生時代後期の所産。22・23は土師器の坏である。22は口縁部。平坦な底部から丸みをもって立ち上がり、底径が大きいと予想される。8世紀後半～9世紀初頭の所産か。23は平底底部で、胴部下端がやや丸みをもち、9世紀前葉頃の所産と考えられる。

攪乱・現代埋土出土遺物（図96：24～40、図97：41～57）

24～29は磁器である。24～26は染付碗。24の文様は内面口縁部の雷文と外面の唐草文と若松文様が手描き、高台脇の連弁文はゴム版刷りで、高台内に焼成後に描かれた「古田」の銘が認められる。25・26はゴム版刷りにより、それぞれ松葉文様、蜻唐草文を描出している。25は統制品で高台内に「岐455」の統制番号が認められる。「岐」は岐阜県内の陶磁器工業組合産であることを示す⁽⁴⁾。1940～1946年に作られたものである（萩谷2013）。27は白磁の容器で、口縁外部に1条の金色線を有する。これらはいずれも20世紀前半の製品で、師範学校時代に使用されていたものと考えられる。

28・29は呉須を用いた肥前（産）の染付皿である。28は内面に山水画、外面に唐草風文様を描いている。29は内面に染付と色絵で梅花を描いている。口径に占める高台径が大きく、畳付は僅かに釉剥ぎがなされている。28は18世紀代、29は17世紀後半の所産と思われる。

30～42は陶器。30～32は唐津の皿。30は内面に藁灰釉を施し、胎土目を残し、外面に灰釉をかけ、高台は露胎となる。16世紀末の製品。31は内面に山水文が描かれ、高台内に刻印が押される17世紀後半の京焼風陶器。32は高台内面を除く全面に灰釉を有し、器内面には鉄釉で文様を描いている。16世紀末の絵唐津と思われる。33・34は碗。33は器壁が薄く、内外面に長石釉を施すが、高台直上は露胎。唐津の製品と思われる。34は内外面に白釉が施されていて、内面には黒青色を呈する鉄釉が流し掛けられている。内面の文様は放射状で見込みに向かって垂れ落ち、点状をなす。外面の釉薬も高台に一部垂れ下がっている。外面釉薬の垂れ下がりの末端には白色の小角礫（釉薬の原石）が付着する。高台は無釉で、高台内は渦巻き状を呈している。小岱焼にも類例があるが、限定できないため、生産地・時期は不明としておく。35・36は器種不明。35は外面に緑色の釉を施すが、畳付は釉剥ぎがなされ、砂目がついている。内面が無釉であることから瓶類の可能性が考えられる。生産地・時期不明。36は高台内を除き鉄釉が施された製品で、外面の一部にススが付着している。生産地・時期不明。

37～40は土瓶。37は外面上半に青緑釉を有する。17世紀末～18世紀後半の肥前内野山窯製。38は算盤玉形をなし、外面上半に条線と鉄釉（緑色）を施し、同下半は露胎としている。39も同様の土瓶の下半の脚部資料。38・39は近世～近代の薩摩焼。40は平底土瓶で、底面を除く内外面に鉄釉を有している。製作地・時期不明。41は器種不明。口縁端部を肥厚させ、突起を貼付し、内外面に灰釉を施している。鍋ないし鉢か。42は肥前（産）系摺鉢。内面に密に交差する摺目を有し、内外面に錆釉を施している。

43は陶器製の猫の置物。鉄釉で模様が描かれており、中は中空となっている。近代以降の製品と思われる。44はガラス瓶。無色透明で胴部に縦ラインが認められる。

45～51は瓦。45は軒丸瓦。巴の周りに珠点が巡る三巴文を有し、三巴文の巴頭は鉤状をなす。46・47・48は軒目板（棧）瓦。3点とも丸部は珠点を伴わない三巴文を有し、三巴文の巴頭は円形をなす。47は平部をもち、唐草文が描かれている。49は滴水瓦で、瓦当に唐草文をもつ。50は玉縁が折れた痕跡がある。

52～54は土師器、55は須恵器である。52は坏の口縁部、53は同底部である。52は直線的な胴部を有するもの、53は底面角が僅かに張り出しているもので、共に9世紀後半の所産と考えられる。54は甌の底部で、焼成前に開けられた3つの孔がある。55は須恵器の甕である。

56は弥生土器の台付甕の台部である。

57は断面扁平の有孔骨角製品。基部には円孔があり、先端は欠損しているが、やや細くなっている。攪乱出土。近世の歯ブラシの基部と考えられる。

(5) まとめ

今回の調査は、教育学部附属小学校の校舎新営の建築工事に伴う発掘調査 (1417調査地点) およびそれに関連する機械設備工事に伴う立会調査 (1443調査地点) であった。新営工事ではあるが、建物の基礎は、1412調査地点として調査した給食センターの基礎を抜き取った跡地に設置されたため、遺構を調査したのは、給食センター基礎に伴う攪乱の脇に残ったわずかの範囲であった。また基本土層で説明したように、本調査区域は台地の中でも北西側に向かって高まる部分に相当しており、近世以降の大規模な削平を受け、古代の包含層は存在していなかった。このような理由から、遺構は削平を受け、残存状態は必ずしも良くはなかった。

そのような中において弥生時代後期の竪穴住居が4基検出されたのは大きな成果である。また竪穴住居とは認定できなかったものの、同時代の硬化面が2基検出された。従来本遺跡では9405調査地点にて弥生時代後期の竪穴住居2基、0719調査地点にて同期の竪穴住居2基が見つかるが (小畑2003、江頭2009)、いずれも京町地区西半の中学校校舎があるエリアである。今回、同時期の竪穴住居を当該地区中央で検出したことは、弥生時代後期の集落の東への広がりを捉えたことになり、意義が大きい。本調査区は北西部ほど高く、東へ行くと低くなるのがローム層の上面高度から捉えられ、なおかつ竪穴住居は本調査区内では西側にのみ存在し、東側には存在しなかった。本調査区が弥生時代集落の東限に当たる可能性が伺われたと言えよう。また東側では溝が2条検出された。この溝の時期は明らかにできなかったが、溝は集落を画する可能性もあり、今後その溝の時期や延長の確認が期待される。

また従前の調査同様、今回の調査でも近世・近代の遺物が出土した。当該地区は、近世に細川藩家老澤村家の屋敷地となり、近代では1893年に熊本県尋常師範学校が置かれ、1951年まで熊本県師範学校 (1943年以降官立) が存在していた (熊本大学教育学部1952)。今回の調査では大きな建物の基礎が確認された。今回の調査では時代は明らかにできなかったが、そうした時代の建物の基礎と考えられよう。

なお今回報告書を作成するにあたり、奈良・平安時代の遺物について、杉井 健氏 (熊本大学文学部)、堀田孝博氏 (宮崎県立西都原考古博物館)、近世以降の遺物については江頭俊介氏 (久留米市教育委員会)、木村吉行 (かながわ考古学財団) にご教示を頂いた。記して深く感謝申し上げます。

注

(1) 1417調査地点の調査の届出等に関する文書をまとめると以下のようになる。

文化財保護法第93条第1項の届出 熊本大学 熊大施企第44号 (平成26年6月9日付け)

上記届出に対する通知 熊本市教育委員会 文振発第187号 (平成26年6月20日付け)

文化財保護法第92条第1項の届出 熊本大学 熊大施企第150号 (平成26年11月12日付け)

上記届出に対する通知 熊本県教育委員会 教文第1763号 (平成26年12月10日付け)

熊本市教育委員会 文振発第1059号 (平成26年12月17日付け)

文化財保護法第92条届出内容の変更 熊本大学 熊大施企第14号 (平成27年4月21日付け)

(2) 1443調査地点の調査の届出等に関する文書をまとめると以下のようになる。

文化財保護法第93条第1項の届出 熊本大学 熊大施企第115号 (平成26年10月10日付け)

上記届出に対する通知 熊本市教育委員会 文振発第554号 (平成26年10月21日付け)

(3) 1417調査地点の調査は、2015年6月10日の立会調査をもって全て終了した。

(4) 岐阜県内の陶磁器工業組合には、岐阜県陶磁器工業組合連合会、岐阜県加工陶磁器工業組合、土

岐津陶磁器工業組合等があるが、特定はできない（萩谷2013）。

【主要参考文献】

- 網田龍生 1994「奈良時代 肥後の土器」『先史学・考古学論究 熊本大学文学部考古学研究室創設20周年記念論文集』 龍田考古会
- 小畑弘己 2003「熊本大学附属中学校校舎建設に伴う発掘調査（9405調査地点）」『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅰ』 熊本大学埋蔵文化財調査室
- 江頭俊介 2009「教育学部附属小中学校校舎等改修工事に伴う発掘調査（0719調査地点）」「教育学部附属小中学校校舎等改修機械設備工事に伴う発掘調査（0721調査地点）」『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅴ』 熊本大学埋蔵文化財調査室
- 大坪志子 2016「（京町）教育学部附属小中学校校舎改修工事に伴う発掘調査（0719調査地点）」『熊本大学構内遺跡発掘調査報告ⅩⅠ』 熊本大学埋蔵文化財調査センター
- 熊本大学教育学部 1952『熊本師範学校史』
- 萩谷茂行 2013「統制経済下における陶磁器製品製造、流通の一考察～いわゆる「統制番号」に関する検証～」『瑞浪市歴史資料集』2 瑞浪市陶磁資料館

1. (京町) 教育学部附属小学校校舎新営その他工事に伴う発掘調査 (1417・1443調査地点)

表14 1417・1443調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
96	1	弥生土器	碗	口径 底径 器高 12.5	口縁~底部片	内: 工具ナデ 外: ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	20号竪穴住居 P11 榊11-12攪乱	
	2	弥生土器	碗	口径 底径 器高 12.0 6.3	口縁~底部 1/3	内: ナデ, 指オサエ 外: ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	20号竪穴住居 P2 20号竪穴住居 P13	外面に横方向の板状工具による調整あり
	3	弥生土器	甕	口径 底径 器高 4.8	底部片	内: 工具ナデ 外: ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	20号竪穴住居 P14	内外面摩滅気味
	4	弥生土器	壺	口径 底径 器高	頸部片	内: ナデ, ハケ目 外: ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR6/4	20号竪穴住居 P20	
	5	弥生土器	甕	口径 底径 器高 8.0	底部片	内: ナデ, ハケ目 外: ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 5YR6/6 10YR7/3	37号竪穴住居 P20	外面赤色化粧土
	6	弥生土器	高 坏	口径 底径 器高 14.4	脚部片	内: ナデ, ハケ目 外: ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR6/3	37号竪穴住居 P16	
	7	弥生土器	甕	口径 底径 器高	底部~脚部 の一部	内: ナデ 外: ヨコナデ, ハケ目	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR7/3	37号竪穴住居 P7	脚部に接合痕あり スス付着
	8	弥生土器	壺	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ, ハケ目 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	37号竪穴住居	
	9	弥生土器	壺	口径 底径 器高	頸部・肩部片	内: ナデ, ハケ目, 指オサエ 外: ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	55号竪穴住居 P18	外面に沈線・重弧文あり
	10	弥生土器	碗	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	55号竪穴住居 P2	
	11	弥生土器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内: ヨコナデ 外: ヨコナデ	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR6/3	55号竪穴住居 P22	口縁部に黒斑あり
	12	弥生土器	不明	口径 底径 器高	口縁部片	内: ヨコナデ 外: ヨコナデ	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	65号竪穴住居	口縁部に粘土折り返しあり
	13	弥生土器	碗	口径 底径 器高	口縁・胴部片	内: ナデ, 指オサエ痕 外: ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	65号竪穴住居 掘り 方	
	14	弥生土器	壺	口径 底径 器高	頸部片	内: ナデ, ハケ目 外: ナデ, ハケ目	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 10YR7/3	47号ビット	外面頸部に突帯あり
	15	土師器	甕	口径 底径 器高 25.2	口縁部片	内: ヨコナデ, 削り 外: ヨコナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/6	19号ビット P10	
	16	須恵器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y5/2 外: Hue 2.5Y6/2	19号ビット P1	
	17	須恵器	坏	口径 底径 器高	底部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5Y5/1 5Y7/1 外: Hue 5Y7/1	19号ビット P4	
	18	石製品	加工軽石	長さ 幅 厚さ 3.1 4.2 1.6	一部	内: 外:	内: Hue 外: Hue	42号ビット	重量120g 主面は平坦で加工痕あり 軽石
	19	須恵器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内: 工具ナデ, タタキ 外: タタキ	内: Hue 2.5Y5/1 外: Hue 2.5Y4/2	15号土坑	内面に青海波文・外面に格子目文 あり 外面に自然釉あり
	20	弥生土器	甕	口径 底径 器高 10.0	脚部片	内: ハケ目 外: ヨコナデ, ハケ目	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR7/3	包含層	内面に横方向のハケ目あり 外面に縦方向のハケ目あり
	21	弥生土器	壺	口径 底径 器高	胴部片	内: ハケ目 外: 磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	榊18包含層上部	外面に沈線・重弧文・刻み目あり
	22	土師器	坏	口径 底径 器高 14.5	口縁~底部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	包含層	
	23	土師器	坏	口径 底径 器高 8.1	胴部~底部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 7.5YR5/6 10YR7/4	包含層	胴部外面に赤色化粧土 外面底部にヘラ切り離し後ナデあり
	24	磁器	碗	口径 底径 器高 10.4 3.8 6.8	ほぼ完形	内: 外:	内: Hue 9/0 外: Hue 9/0	榊14攪乱	内面に雷文・外面に唐草文・若松 文様あり 高台脇にゴム版刷りによる連弁文 あり 高台内に「古田」銘あり, 染付
	25	磁器	碗	口径 底径 器高 3.1	胴部~底部片	内: 外:	内: Hue 9/0 外: Hue 9/0	榊14攪乱	外面にゴム版刷りによる松葉文様 あり 高台内に統制番号「岐455」あり, 染付
	26	磁器	碗	口径 底径 器高	胴部片	内: 外:	内: Hue 2.5GY8/1 外: Hue 2.5GY8/1	攪乱	外面にゴム版刷りによる蛸草文 あり 内面釉剥ぎ, 染付
	27	磁器	碗	口径 底径 器高 7.2 5.5 5.4	1/3	内: 外:	内: Hue N8/0 外: Hue N8/0	榊14攪乱	外面に金色線あり 白磁
	28	磁器	皿	口径 底径 器高	口縁部片	内: 外:	内: Hue 7.5Y8/1 外: Hue 7.5Y8/1	榊13攪乱	内面に山水文・外面に唐草文あり 口鏝あり 染付
	29	磁器	皿	口径 底径 器高 14.8	胴部~底部片	内: 外:	内: Hue 9/0 外: Hue 9/0	榊13攪乱	内面に梅文あり 色絵染付

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
96	30	陶器	皿	口径 底径 器高 10.0	底部片	内:ナデ 外:高台削り出し	内:Hue 2.5Y8/3 外:Hue 10YR5/3	拵13攪乱	内面全面に藁灰釉・外面一部に灰釉あり胎土目が4カ所あり
	31	陶器	皿	口径 底径 器高 4.2	底部片	内: 外:高台削り出し	内:Hue 2.5Y8/2 外:Hue 2.5Y8/2	拵13攪乱	内面に山水文あり 高台内に刻印あり
	32	陶器	皿	口径 底径 器高 6.0	底部片	内:ナデ 外:ナデ、削り	内:Hue 7.5Y5/1 7.5YR6/1 外:Hue 7.5YR6/1	拵14攪乱	高台内を除き内外面に灰釉あり 内面に鉄釉による文様あり
	33	陶器	碗	口径 底径 器高	胴部片	内: 外:ナデ	内:Hue 2.5Y8/2 外:Hue 2.5Y8/2	拵14攪乱	長石釉あり
	34	陶器	碗	口径 底径 器高 3.6	胴部～底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ、 回転削り出し	内:Hue 5Y7/2.5Y8/1 N1.5/0.7/5Y5/3 外:Hue 5Y7/2.5Y8/1	埋土	内外面に白釉・鉄釉あり
	35	陶器	不明	口径 底径 器高 9.3	底部片	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 2.5YR4/2 外:Hue 7.5Y6/2	攪乱	外面に緑色釉あり 曇付に砂目あり
	36	陶器	不明	口径 底径 器高 8.1	底部片	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 7.5YR3/2 10YR4/3 外:Hue 5Y7/1 7.5YR4/4	拵13攪乱	内外面に鉄釉あり 二次的被熱によるスス付着
	37	陶器	土瓶	口径 底径 器高 8.6 8.0	口縁～底部片	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 2.5YR5/6 外:Hue 5YR3/2	拵15攪乱	青緑釉・褐釉・白泥流し掛けあり 内野山窯製
	38	陶器	土瓶	口径 底径 器高 11.6	口縁～胴部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ、カキ目	内:Hue 7.5YR6/4 10YR5/3 外:Hue 2.5Y4/3 7.5YR5/3	攪乱	内面の一部・外面口縁～胴部に鉄釉あり
	39	陶器	土瓶	口径 底径 器高	底部～脚部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 2.5Y4/2 外:Hue 2.5Y4/1 10YR4/3	攪乱	外面底部にスス付着 外面に釉あり 脚部貼り付け
	40	陶器	土瓶	口径 底径 器高 10.2	底部片	内: 外:ナデ	内:Hue 2.5YR4/4 外:Hue 5YR4/4 10YR7/4	拵13攪乱	破損面にスス付着
	97	41	陶器	不明	口径 底径 器高 7.6	口縁部片	内:ナデ 外:ナデ	内:Hue N3/0 外:Hue N3/0N4/0	拵13攪乱
42		陶器	摺鉢	口径 底径 器高	胴部片	内:摺目 外:回転ナデ、削り	内:Hue 2.5YR3/1 外:Hue 10R4/1	攪乱	内外面に錆釉あり
43		陶器	置物(猫)	口径 底径 器高	2/3	内:指オサエ、布目痕 外:ナデ、型押し	内:Hue 5Y6/2 外:Hue 5Y4/4 5Y6/2	拵13攪乱	鉄釉・透明釉あり 貫入あり 底面露胎
44		ガラス製品	不明	口径 底径 器高 2.5 3.3 5.3	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	拵14攪乱	ガラス内部に気泡あり
45		瓦	軒丸瓦	口径 底径 器高		内:ナデ、櫛状の工具 外:ナデ	内:Hue 5Y6/1 外:Hue 5Y6/1 10YR6/1	拵15攪乱	内外面・破損面に漆喰付着
46		瓦	軒目板瓦	口径 底径 器高	瓦当部片	内:指ナデ 外:指ナデ	内:Hue 5Y4/1 外:Hue 5Y4/1	拵14攪乱	外面に雲母付着
47		瓦	軒目板瓦	口径 底径 器高		内:ナデ 外:ナデ	内:Hue N3/0 外:Hue N3/0	拵14攪乱	瓦当部に雲母付着
48		瓦	軒目板瓦	口径 底径 器高		内:ナデ 外:ナデ	内:Hue N3/0 外:Hue N4/0	拵14攪乱	内外面に雲母付着
49		瓦	滴水瓦	口径 底径 器高		内:指ナデ 外:指ナデ	内:Hue 10YR8/2 外:Hue 10YR8/3	拵13攪乱	
50		瓦	丸瓦	口径 底径 器高		内:指ナデ 外:ナデ、削り	内:Hue 7.5Y6/1 外:Hue 10Y5/1	攪乱	
51		瓦	丸瓦	口径 底径 器高		内:ナデ 外:ナデ	内:Hue 5Y6/1 外:Hue 7.5Y6/1	攪乱	
52		土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 10YR7/4 外:Hue 10YR7/4	拵14攪乱	
53		土師器	坏	口径 底径 器高	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内:Hue 10YR7/4 外:Hue 10YR7/4	拵14攪乱	底部に切り離し痕あり
54		土師器	甌	口径 底径 器高	底部片	内:指ナデ、指オサエ 外:指ナデ、指オサエ	内:Hue 7.5YR7/4 外:Hue 7.5YR7/4	攪乱	
55		須恵器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内:タタキ 外:タタキ	内:Hue 5Y5/1 外:Hue 5Y6/1	攪乱	内面に青海波文・外面に格子目文あり
56		弥生土器	甕	口径 底径 器高	脚部片	内:ナデ、ハケ目 外:ハケ目	内:Hue 10YR3/1 10YR6/4 外:Hue 10YR7/4	攪乱	内面に黒斑あり
57		骨角製品	歯ブラシ	口径 底径 器高	先端欠損	内: 外:	内:Hue 外:Hue	拵13攪乱	

Ⅶ 渡鹿地区の調査

1. (渡鹿) 体育館耐震改修その他工事に伴う発掘調査 (0819調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

(渡鹿) 体育館耐震改修その他工事は、大江総合運動場にある渡鹿体育館の耐震補強・改修と、周辺の排水設備等を整備する工事である。

調査地点は、大江総合運動場の敷地の南西に位置し、北側には一段低く、野球場がある。1977年に、この野球場の造成工事に伴い体育館に近い野球場南東部を中心に発掘調査が実施され、古代の竪穴住居13軒が確認されている。また、1994年の排水設備工事に伴う発掘調査(9408・9413調査地点)では、竪穴住居や道路跡が確認された(2003『熊本大学構内遺跡発掘調査報告I』)。

本工事は、体育館の床下を全面的に掘削するもので、既往の調査成果からすると古代の遺構を壊す可能性が考えられた。そこで、試掘調査を実施したところ、柱穴と考えられるピットが検出された。この結果を受けて、床下全面について発掘調査を実施することとした。

建物内であり、また外装改修のための防護ネットが建物に張られていたため、非常に暗いなかでの作業となり、土層や遺構の見極めは困難であった。工事業者からは、照明器具の提供など協力を頂き、感謝申し上げます。明確な竪穴住居は1軒のみで、その他土坑をいくつか確認した。調査区内を南北に貫く道路跡の両脇に無数のピット群が検出され、これらを延々と掘削し、測量する作業が、本調査地点の作業内容の8割以上を占めたであろう。また、第二次世界大戦中に投下されたと考えられる焼夷弾3発を発見し、作業を中断して自衛隊に処理を依頼する一幕もあった。

b. 調査の経過

- 2008年9月8日 試掘調査実施。
- 2008年10月9日 一次掘削を開始。
- 2008年10月10日 作業員による発掘調査開始。攪乱除去。
- 2008年10月16日 攪乱除去終了。第1面写真撮影。包含層掘り下げ開始。
- 2008年10月17日 骨蔵器検出、27日に写真撮影、採図。
- 2008年10月22日 焼夷弾を検出、作業中断。熊本県警・自衛隊に連絡、処理。
- 2008年10月23日 第2面、遺構面清掃、遺構検出作業、掘削開始。
- 2008年10月24日 道路跡、竪穴住居(281)検出。
- 2008年10月27日 道路跡脇のピット群・竪穴住居(265)の掘削・測量開始。
- 2008年11月19日 重機による第2面の除去開始。
- 2008年11月25日 第3面の精査、40余個のピット検出。竪穴住居(265)の掘削・図面等。
- 2008年11月28日 作業終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：中川木綿子

発掘作業員：伊藤千代子・今村明美・桂末子・桂利之・後藤まや・柴田道子・白石美智子・田上次敏・田上利子・溜淵俊子・中村怜子・西本あけみ・畑中儀介・早田咲百合・松井昭子・松崎艶子・松永一代・森川征子・森川護・森田登

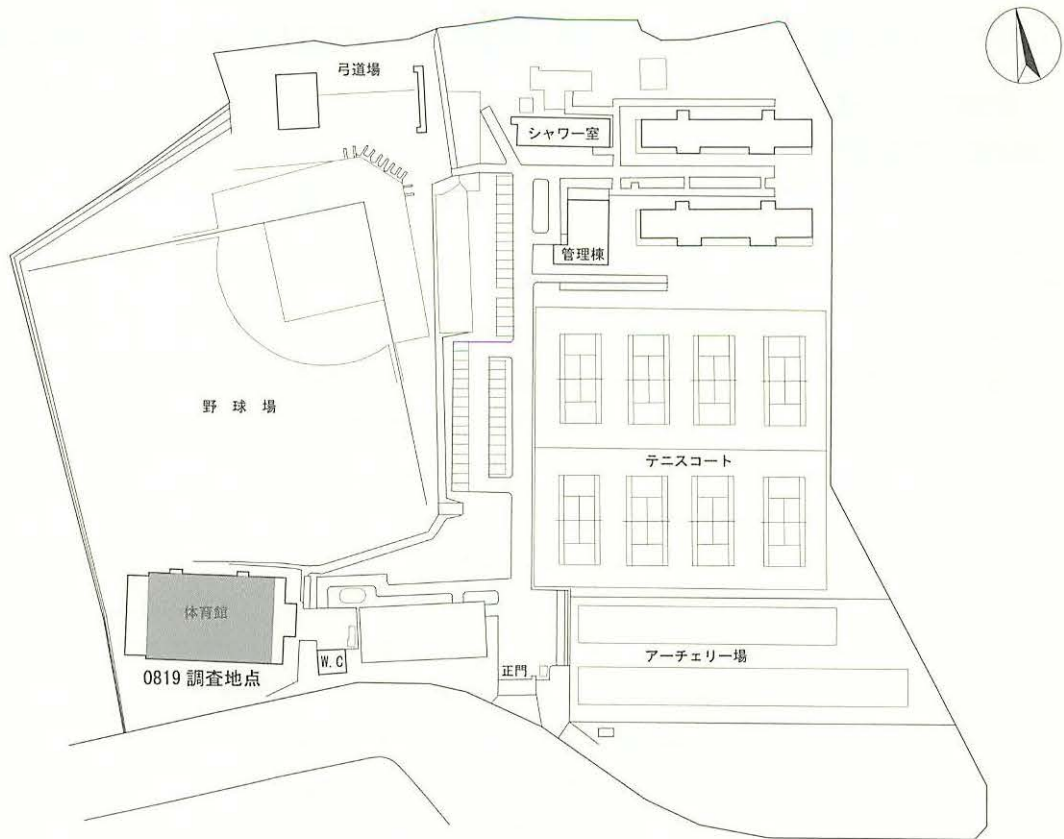


図98 大江総合運動場における調査地点位置図 (1/2000)

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・高松あゆみ・長谷智子・増井弘子・山壽早苗

(2) 調査区の基本層序 (図103)

本調査区は、熊本大学総合運動場にある体育館の床下である。予想外に、体育館建設時の攪乱の影響は少なく、古代の遺物包含層が全面的に残されていた。本調査区では、調査区西側で、南北の土層を残し記録した。

1層 (Hue10YR3/3)・2層 (Hue10YR2/2) は古代の包含層である。2層が、これまでの各キャンパスにおいて古代の遺物包含層を認識してきた土層である。1層はやや色が明るい、質は2層と同じであった。このため、1層はこの上に堆積していた層との漸移層の可能性はある。3層～6層は265号竪穴住居の埋土である。7層 (Hue10YR2/3) は、視覚的には灰色に見える、粘性の高い土層である。ほかのキャンパスでは2層の下にいわゆるアカホヤの二次堆積といわれる暗褐色土層があり、7層はほかのキャンパスにおける既往の調査では検出していない。8層はニガと呼ばれる粘性のある土層で、9層はその下の層と9層との漸移層である。北側では7層と8層の明確な分層はできなかった。7層以下は無遺物層である。

(3) 検出遺構

検出した遺構は、道路跡1条、古代の竪穴住居2軒、土坑1基、掘立柱建物? 1棟、ピット多数である。調査は大きく3つの土層上面で遺構の確認を行った。以下、調査面に従って記述する。

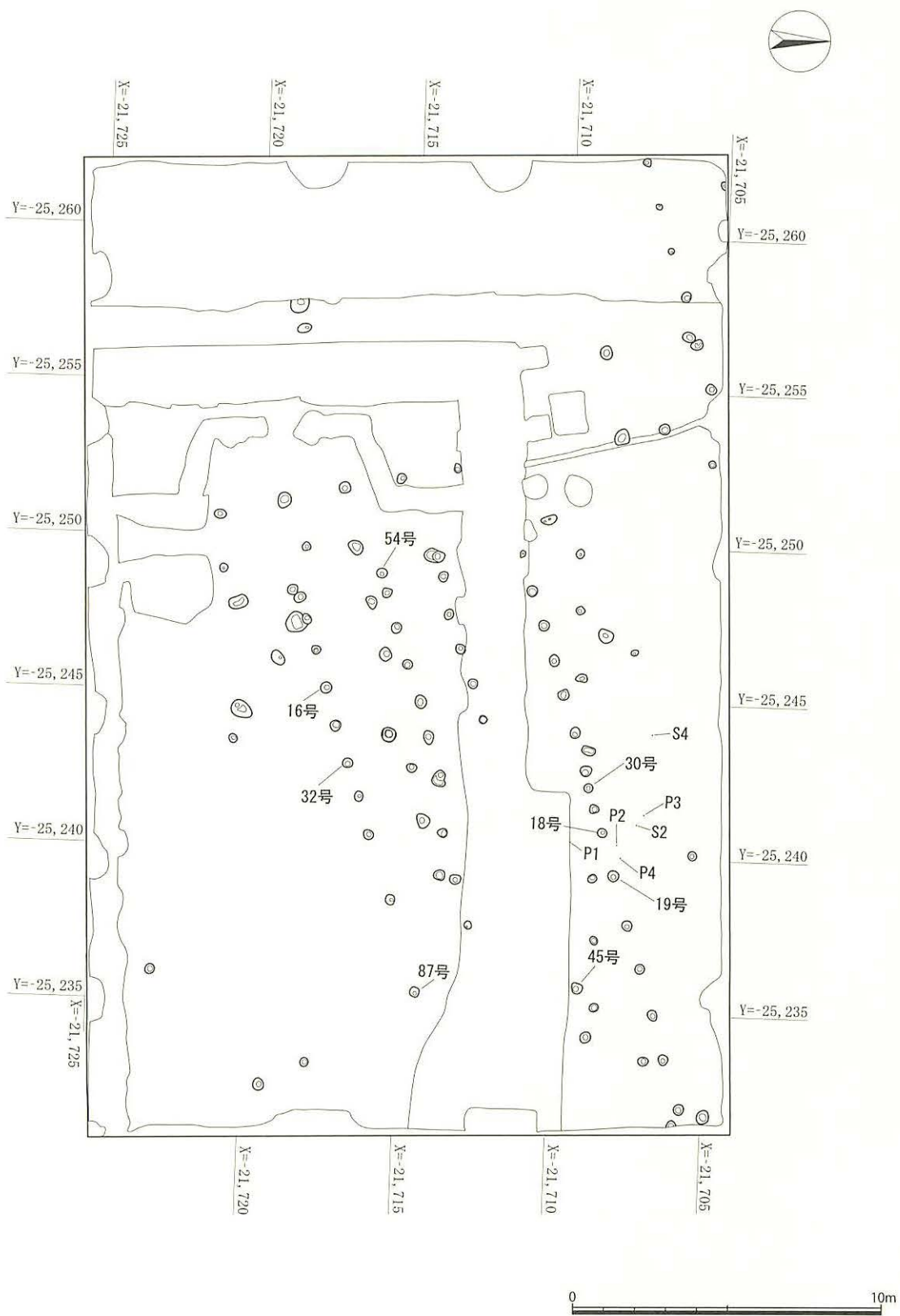


図99 0819調査地点遺構配置図第1面 (1/200)

1. (渡鹿) 体育館耐震改修その他工事に伴う発掘調査 (0819調査地点)

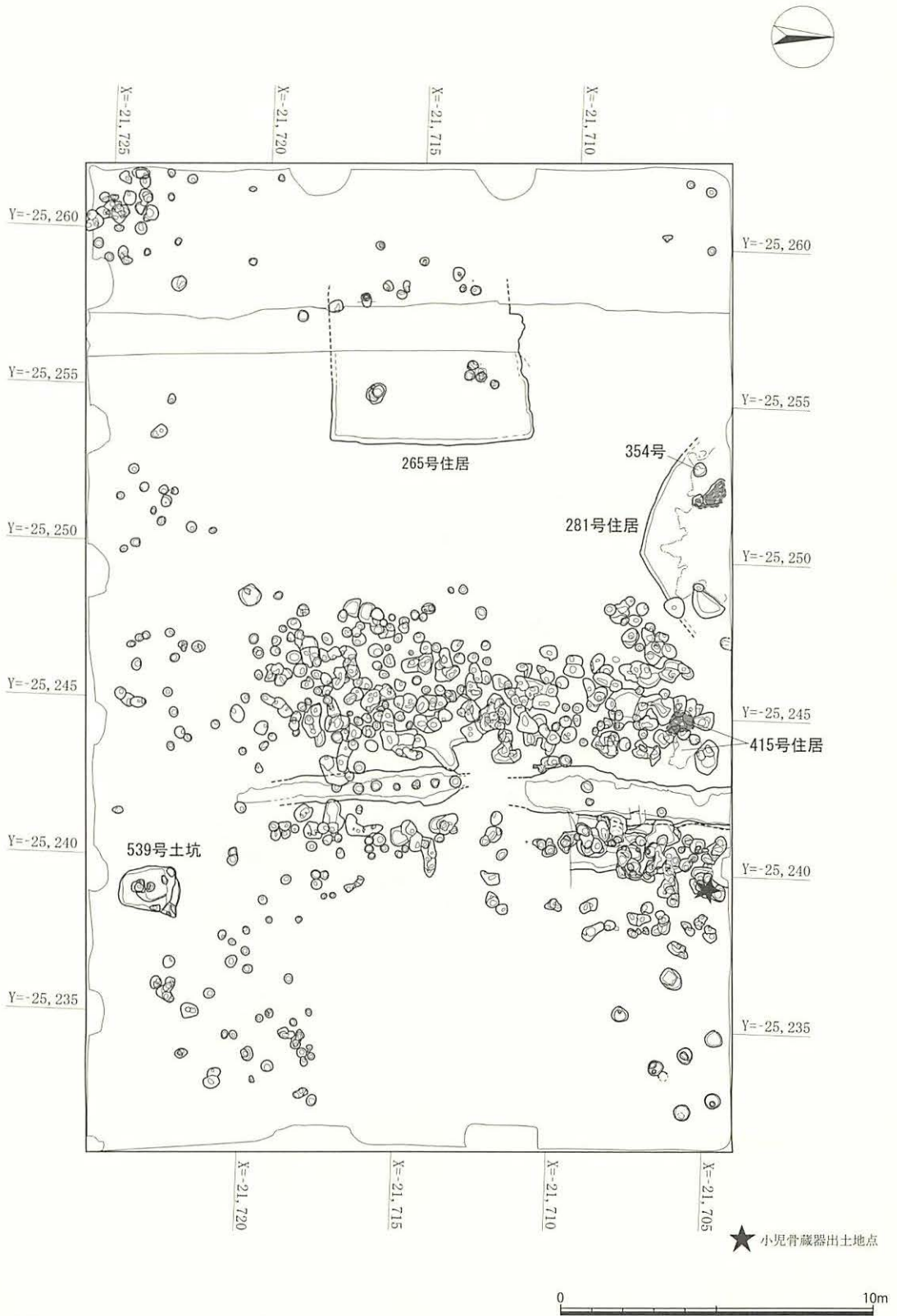


図100 0819調査地点遺構配置図第2面 (1/200)

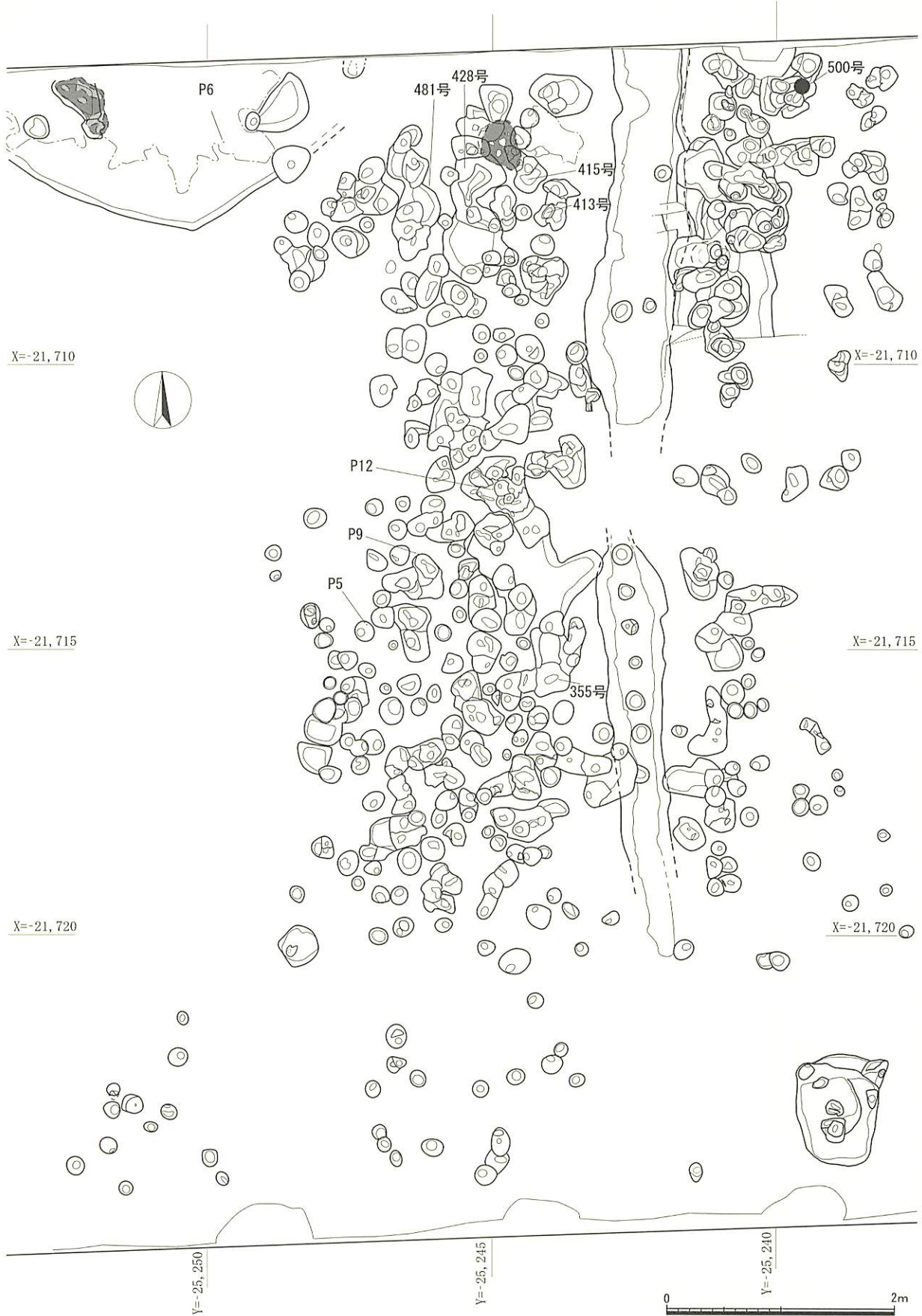


图101 0819調査地点遺構配置図第2面 (道路跡部分拡大図) (1/50)

1. (渡鹿) 体育館耐震改修その他工事に伴う発掘調査 (0819調査地点)

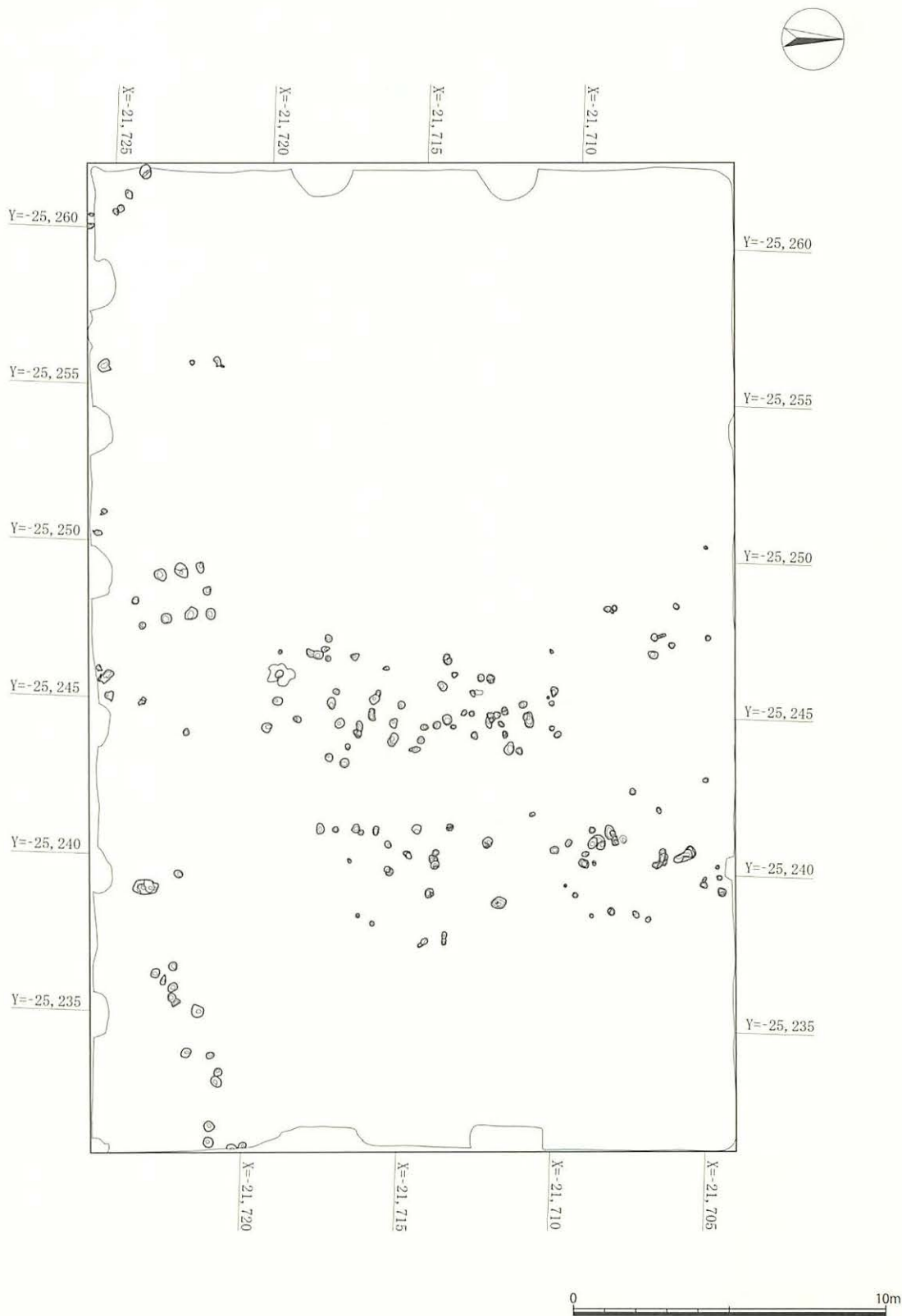


図102 0819調査地点遺構配置図第3面 (1/200)

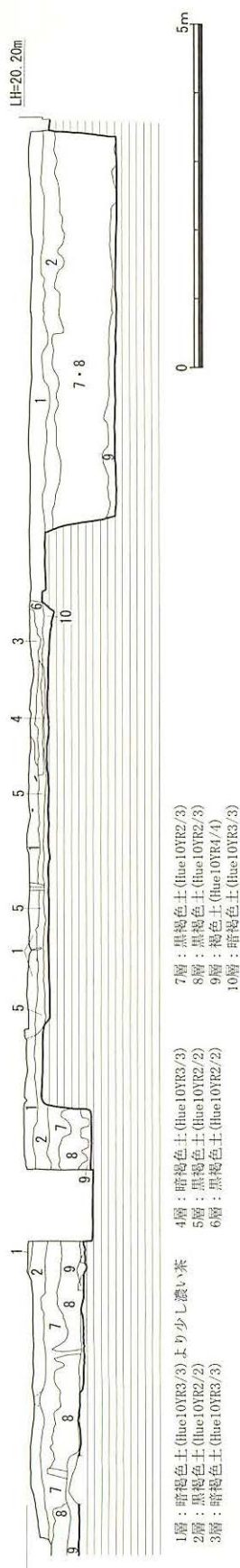


図103 0819調査地点土層断面
実測図 (1/100)

第1面

第1面は、いわゆる古代の遺物包含層上面で

ある。重機による一次掘削で、包含層の上面までの現代埋土を除き、その後人力により攪乱等を除去し、精査した。図99中央付近に、北東—南西方向に並ぶちいさな穴は、体育館が建設される前の施設の名残である。おそらく、1951年～1973年まで当地にあった旧熊本電波工業高等専門学校（現熊本高等専門学校）の建物であろう。床を支えるコンクリート製の束石が残されていた。これらに混じって、古代のピットがいくつか検出された。既往の調査で、古代が大きく2時期に分かれ、古代の遺物包含層に対する掘り込みにやや白っぽい土が埋土として入っていることが知られている。本調査区でも、そのようなピットが確認されたが、掘立柱建物となる配列はみられなかった。

第2面

第2面は、古代の遺物包含層を除去した下に現れる、暗褐色のいわゆる地山と呼称している層の上面である。第2面では、古代の遺構を検出した。

<竪穴住居>

265号竪穴住居 (図104・105)

281号竪穴住居は、調査区の西側中央付近で検出された。図104のとおり、住居の中央幅1.5～1.7mを残して東西の両側は攪乱による削平をうけている。現状では4.5×6.6mであるがプランについては、後述の通りである。住居の主軸は北を向き、やや西に振れる。西側は大きく削平されており残っておらず、深さのある柱穴がかろうじて確認できた。東側も一段低くなっており、ほぼ削平されていた。埋土と考えられる、周囲よりも黒い黒色土を除去して、一応のプランを設定した。この範囲では、遺物はほとんど残されていなかった。住居の南壁のプランについては、東側で設定した位置とは若干ずれが生じた。東側と段差がついており、また西側も削平されていることから、住居の南壁立ち上がりと考えられる箇所は確認できた (図104-①①')。しかし、南壁のラインよりも20cmほど南側、住居の外に該当する部分からも、土器が出土した。そこで、確認のために、土器周辺の柔らかい部分を掘削して、そのプランを記録した (図104-②②')。遺物は床と同じレベルから出土することはなく、上部のみであったので、遺物が押されたものであることも考えられる。ただし、土層断面からは判断される南壁の位置①とは元来大きくずれており、図105と後述する柱穴との関係からすると、東側の南東隅とこの外側のラインを結んだプランは、ちょうどよい位置である。住居の中央部、攪乱をうけなかった部分では、硬化面が全面に残っており、遺物も出土した。また、ちょう

1. (渡鹿) 体育館耐震改修その他工事に伴う発掘調査 (0819調査地点)

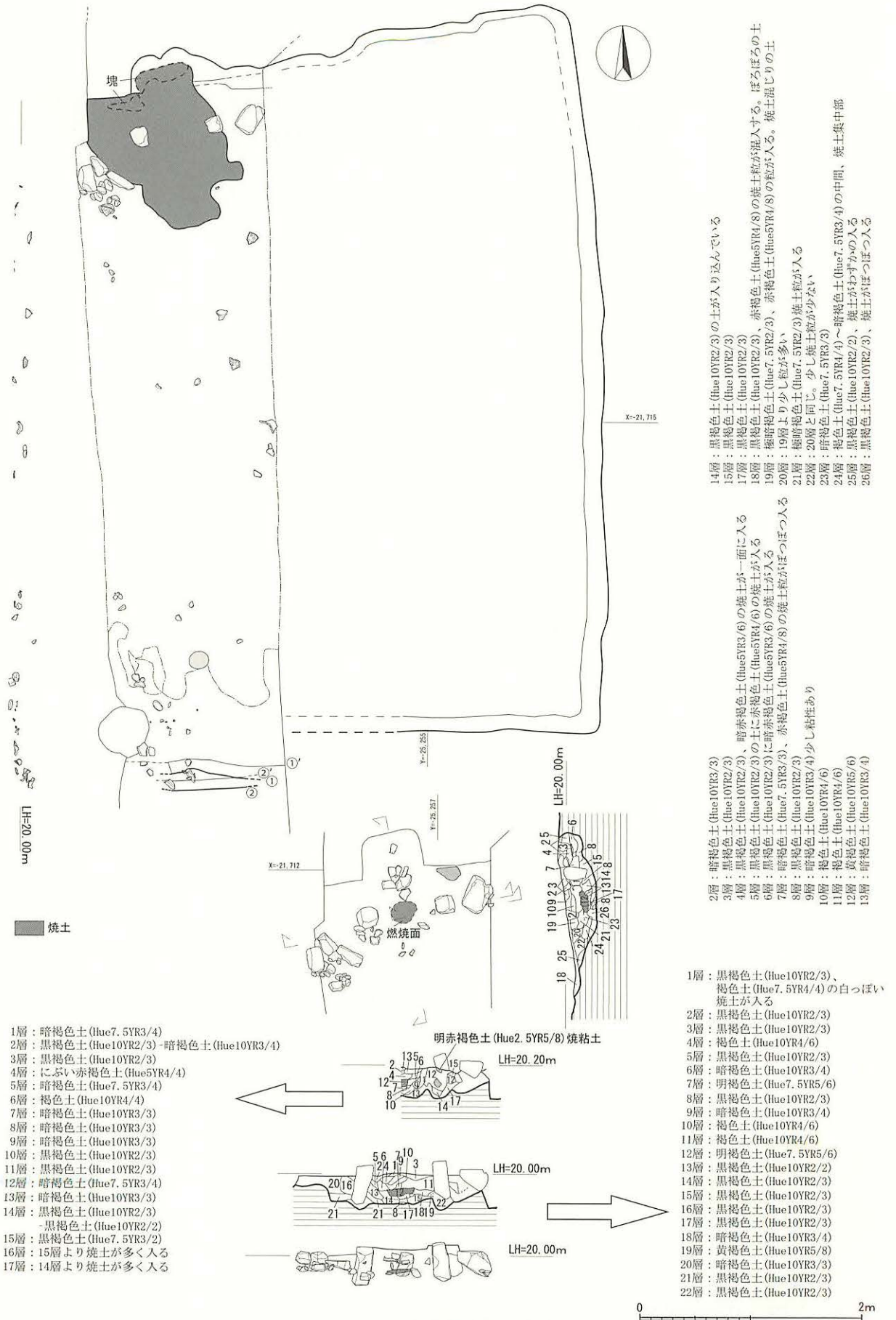


図104 265号竪穴住居実測図 (1/50)

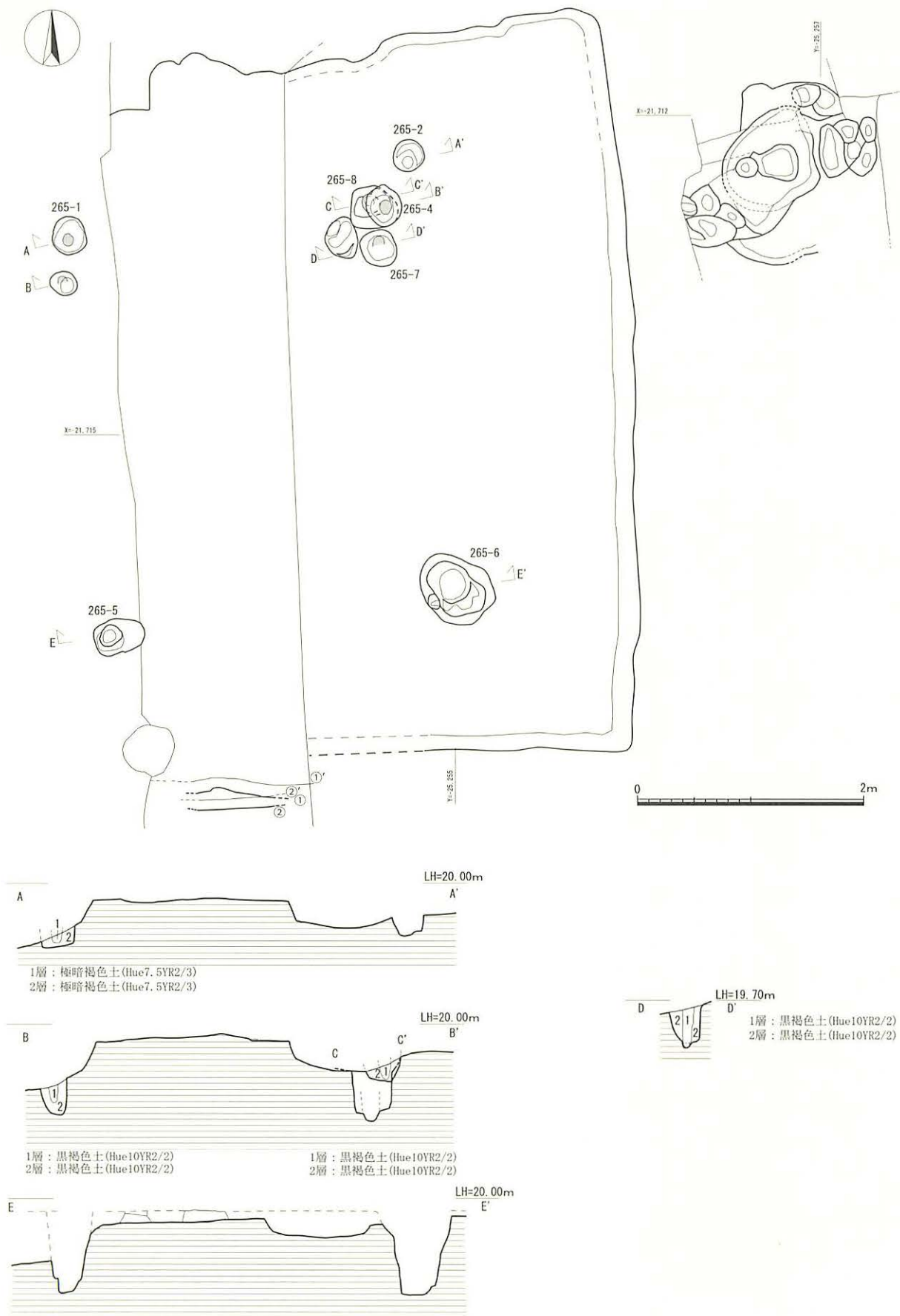


図105 265号竪穴住居竈掘方実測図・柱穴配置実測図 (1/50)

ど竈の部分も残されていた。竈は住居の北壁中央に作られていたと考えられる。焼土と粘土を除去すると、袖に相当する箇所には砂岩の支柱が立っており、間は焼土と焼けた床面が出され、燃焼部と考えられる。周辺には、竈の部材と考えられる砂岩のブロックが散在していた。

柱穴は、住居の4ヶ所で検出された。南側は265-5と265-6の2本が、この住居の柱穴と考えてまず問題ないであろう。対になる北側の柱穴であるが、深さ等を考えると、265-3と265-4、もしくは265-3と265-7が適当と考えられる。265-1と265-4の組み合わせも良いと思うが、265-1はほかの柱穴と比べてやや浅い。いずれの組み合わせでも、並びの軸は北より若干西を向き、北壁とほぼ平行する。これらから、住居の東南隅とやや外側に位置するとした中央部の南壁ラインを結ぶと、北壁や柱穴との平行関係もよい。この場合、柔らかい土器を含んだ部分は、南壁が崩れたと考えられる。住居の南東隅は、現状でもやや西側に入り込んでいる感もあり、東壁はやや東に開く可能性もある。このようなプランの復元も考えておきたい。出土遺物は、土師器や石器類、白玉が出土している。白玉は、管玉状のものを輪切にして白玉に加工する途中のものがある。切断する箇所の印として細い溝が刻まれている。ほかの出土した白玉は、使用の痕跡があるが、この住居では製作もしていたようである。

281号竪穴住居 (図106)

281号竪穴住居は、調査区の北壁中央、やや西寄りで見出された。古代の包含層上面では確認できず、第2面で確認した。残された掘り込みは非常に浅く、265号竪穴住居同様に、プランの把握は困難であった。現状では竪穴住居の主軸は北東もしくは北西のいずれかで、竪穴住居の南東隅もしくは南西隅が見出されている状況である。現状で3×3.6m程である。2ヶ所の壁は、いずれも弧状に膨らみ住居の隅が鈍角になった形状だが、硬化面の範囲から住居の隅が本来はもう少し南だったと想定される。住居中央から硬化面が広がっており、一部焼土と粘土が見出された。竈の部材としては、見出位置が適切ではなくこの住居に伴うものかは不明である。出土遺物は、土師器甕の細片が見出している。周辺の既往の調査例では、古代の住居の主軸が北を向いておらず、一概にこれを古代以前の遺構とはできない。周辺の状況からは、古代と考えられる。

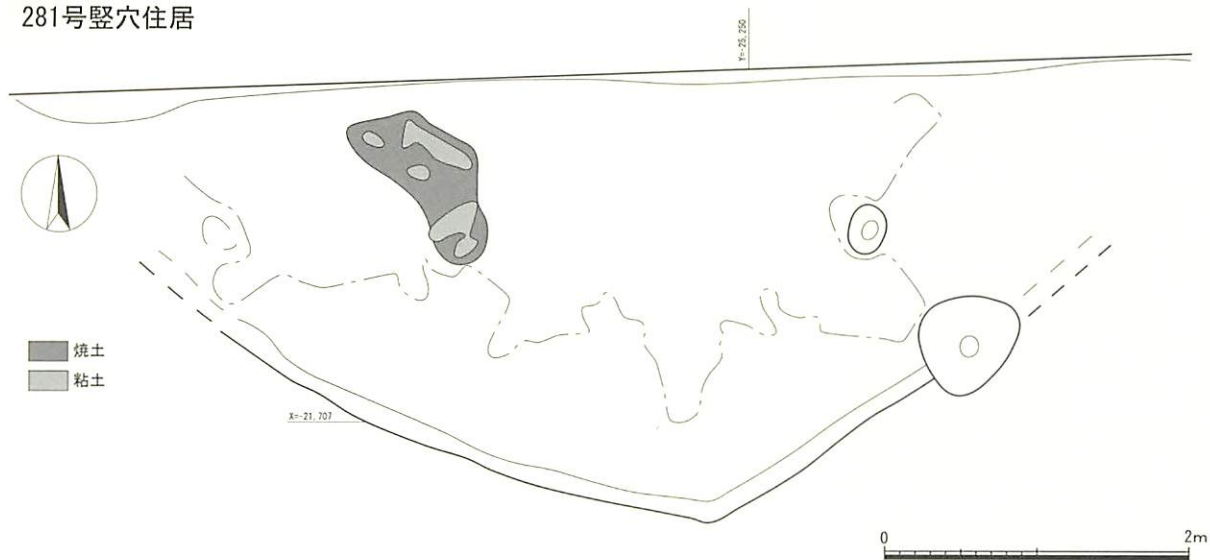
415号竪穴住居? (図107)

281号竪穴住居の東側に、焼土と硬化面の一部が見出された。おそらく、竪穴住居があったと考えられる。図107のように、一帯は、無数のピット群があり、415号竪穴住居は、後世にこれらのピット群によって壊されたものと考えられる。出土遺物は、土師器の杯が見出している。

<道路跡> (図100・106)

道路跡は、調査区の中央やや東寄りで見出した。周辺より固くしまっており、やや盛り上がり南北方向に伸びていることから、道路跡と判断した。北から約6.5～9mの間は、図100にあるように攪乱があり、その影響で途切れている。南側の端部は不明である。攪乱より北側を「道路北」、南側を「道路南」とする。道の幅は、道路北の最も広いところでは約1.6m、道路南の最も広いところで約1.2mである。道路は窪んだ地山に土を盛っており、南北の土層断面から3層を確認することができる。しかし、これが一度に盛られた土であるのか、補修などによって随時盛られたものかは、不明である。

281号竪穴住居



道路跡 (右：南部、左：北部)

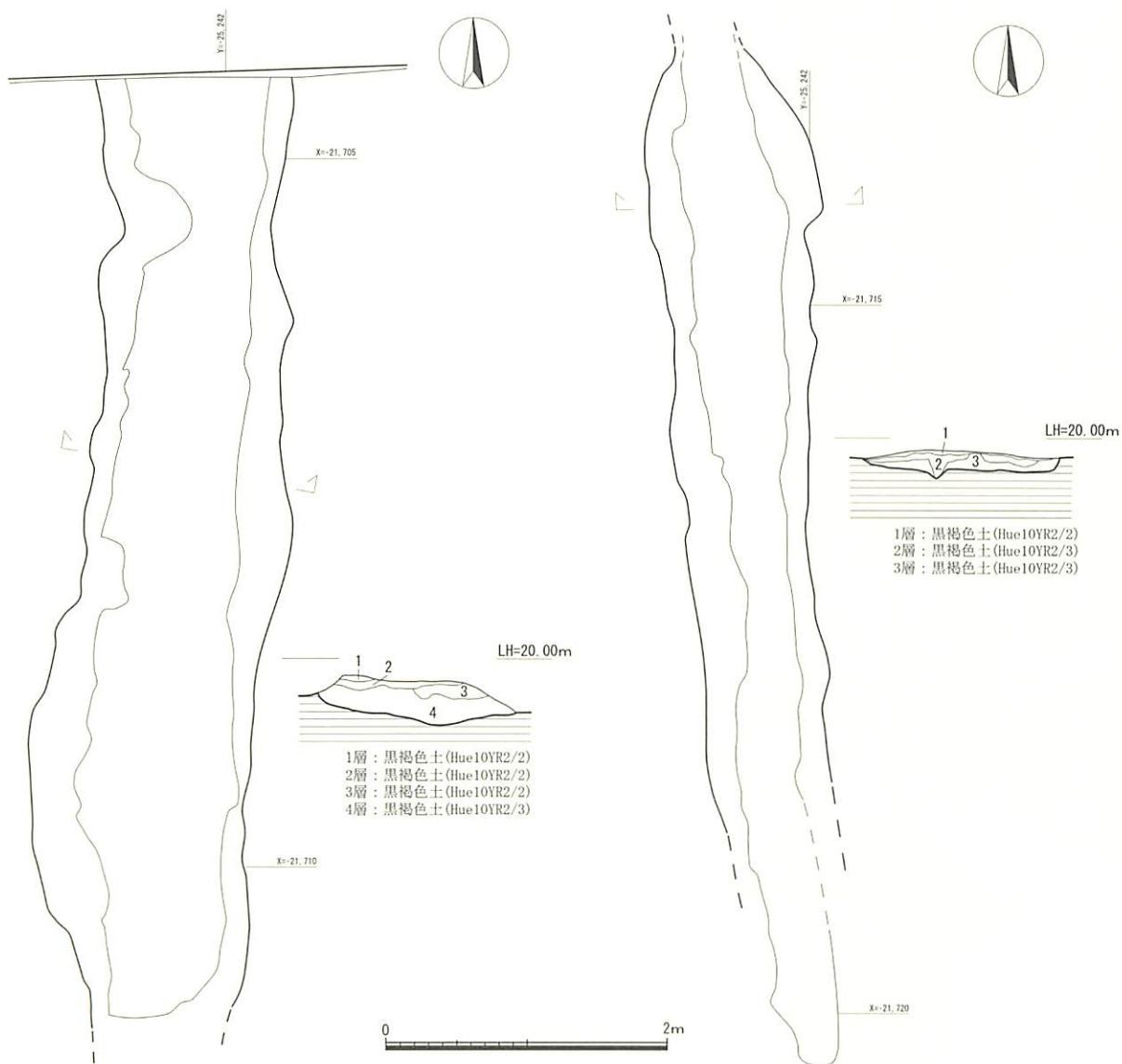


図106 281号竪穴住居実測図・道路跡実測図 (1/50)

<土坑> (図107)

539号土坑は、調査区の南東部で検出した。1.93×1.43mの隅丸方形で、北側がやや幅広くなっている。深さは0.46m程で、土坑底にあるピットまで含めると0.9mになる。土坑の中央部付近からは、深さ10cmほどで、土師器の坏(図108:9)が出土した。さらに、その真下20cm、土坑底部付近からも土師器の坏(図108:8)が出土した。これら以外の出土遺物はない。墓の可能性を考えたが、人骨などは検出されず、埋土には焼土なども含まれなかった。祭祀用土坑の可能性も考えられる。

<掘立柱建物> (図107)

調査区の北東隅で、5つのピットを検出した。柱痕が確認できたため、掘立柱建物の柱穴である可能性がある。現状では、1×2間で、北側に展開するかは不明である。いずれも、深さは0.3mで浅いが、本来は上位の土層から掘り込まれたと考えられる。

<骨蔵器> (図107)

500号骨蔵器は、調査区の北東部、道路跡北の東側で検出した。古代の遺物包含層を掘り下げる作業中に出土し、埋納した掘り込みは確認できなかった。骨蔵器は、土師器の甕(図108:11)に皿(図108:10)が被せてあった。中には、焼骨が入っていた。頭蓋骨と考えられる骨片は小さく、縫合線が明瞭で、小児ではないかと考えられる。

<その他の遺構>

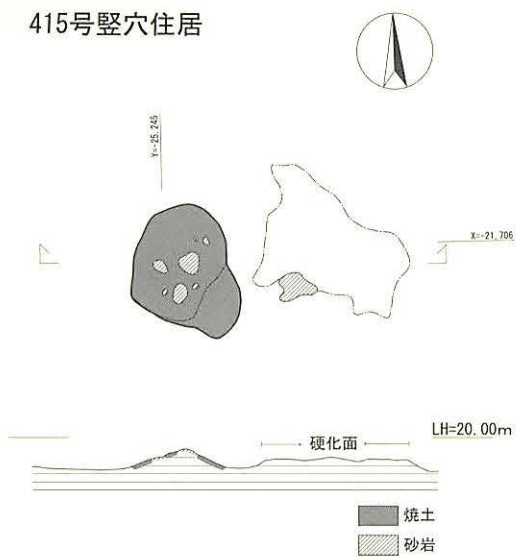
約400個に上るピット群が、道路跡の両脇で検出された。ピットのほとんどには遺物が無いが、細片のみであるが、大きな土器の破片が重なった状態で出土するものがまれにあった。道路跡北の東側では、ピット群が重なり合い、列状になっていたことから、当初は溝を想定して掘削を開始した。そのため、一連のピット群の上部で検出された遺物は「303号溝」のものとして取り上げている。これらは、ピット群が埋没する過程、あるいはその後に堆積した遺物である。ピット群はおおむね道路跡を避けて分布しており、古代の道路と機能的なつながりを持っていたと考えられる一方、南側では分布がやや希薄である。道路脇に設置された柵などの痕跡と考えられる。

第3面

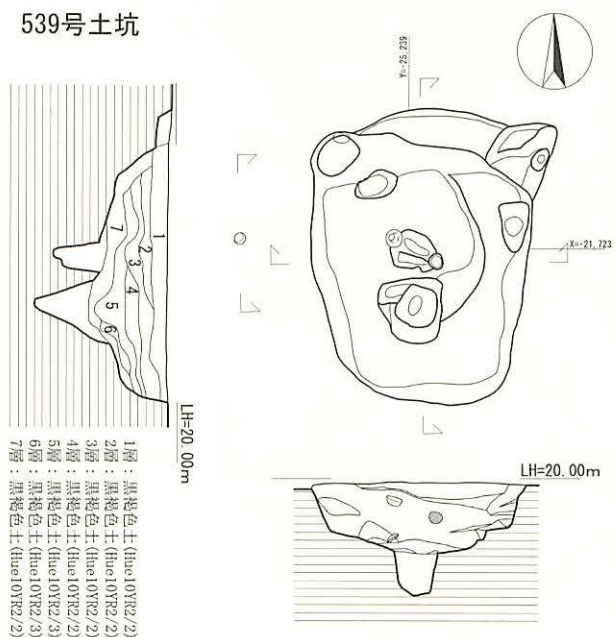
第2面のいわゆる地山とする土層に、縄文時代後晩期の土器がたびたび含まれることは認識されていた。また、黒髪南地区における既往の調査成果では、地点によっては地山と称する土層のかなり下位から縄文時代早期にまでさかのぼる遺物が出土することも判明していた。本調査区では、やはり縄文土器が少量ながら出土していたため、第2面の下の層に遺物が包まれるか、また遺構の有無を確認することにした。

265号住居を残し、第2面の調査終了後、重機によって徐々に掘削を行った。廃土はベルトコンベアで排出し、その際に作業員によって遺物の有無を確認した。全面を0.6~0.9m掘削した。その結果、第2面の深いピットの底部と思われるもののほかに、ピットがいくつか検出された。遺物の出土はない。なお、第3面の南側に掘立柱建物のように並ぶ大小のピットは、第1面で確認した攪乱坑中の構造物にかかわるものである。

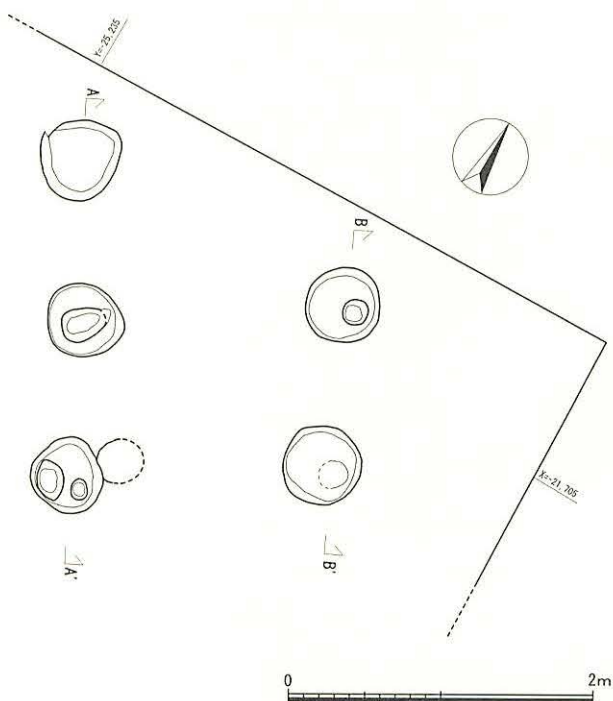
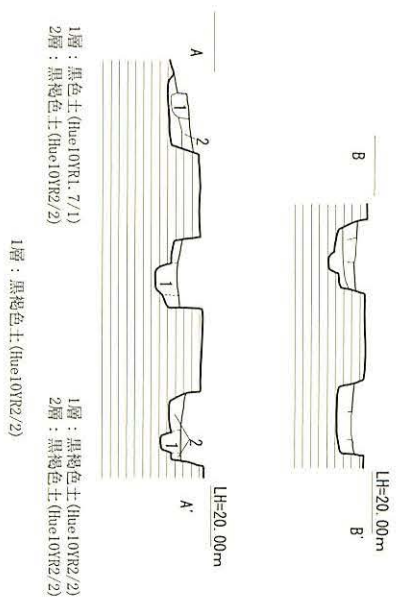
415号竖穴住居



539号土坑



掘立柱建物



500号骨藏器

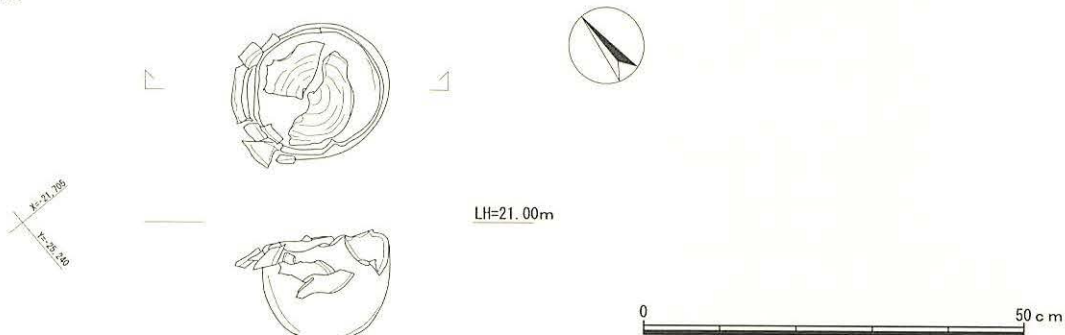


図107 415号竖穴住居 (焼土・硬化面)・539号土坑・500号骨藏器実測図 (1/50・1/10)

(4) 出土遺物 (図108~110)

本調査地点では、面積や全体の保存状態に比して、遺物の出土が少なかった。出土した遺物は、古代の土師器や須恵器、近世~近代の磁器、若干の縄文土器や石器などである。

265号竪穴住居出土遺物

図108: 1・2は土師器の高坏である。1は脚部に縦方向のヘラ削りが施されており、杯部は口縁が外反する。2も同じような特徴が観察できる。3~6は土師器の甕である。口縁部は肥厚せずやや薄手である。肩が張り、丸味が残る。8世紀後半~9世紀初頭の時期か。

415号竪穴住居出土遺物

7は、土師器の坏である。底の外面には、ハケ目と考えられる筋がある。表面の剥離が著しく、天草砥石の文様のような胎土が観察される。9世紀初頭~前葉と考えられる。このほか、415号竪穴住居からは、土師器の細片が数点出土している。

539号土坑出土遺物

8と9の土師器の坏が出土している。9が上位で先に出土し、8が底部近くで、9のほぼ真下で出土した。8は器壁が厚く直線的に浅く(短く)立ち上がる。2ヶ所にススが付着しており、灯明皿として使用されたことがわかる。9は器壁が薄く、大きく広がりながら立ちあがる。底部には高台のような段が付き、9世紀中葉~後半の特徴を示す。

500号骨蔵器

小児骨は、11の土師器の小型の甕に収められ、10の土師器の坏で蓋がされていた。10の坏は大きく直線的に開く。11の甕は、口縁から底部まで均一の厚さで、口縁は上向きに開き、反らない。9世紀前半代か。

303号溝出土遺物

303号溝は、遺構のところで述べたように、道路跡の脇に群集するピット群の上部を一括したものである。図108の12~18までが303号溝の出土遺物である。12は土師器の坏である。器の表面はほとんど剥がれ落ちてしまっているが、口縁部に屈曲の段があり、底部はヘラ削りであることは観察できる。13は土師器の坏で、底部外面には墨書がある。14は土師器の甕で、6によく似ている。15は、甌もしくは把手付甕の把手である。内面のカーブからすると、把手付甕の可能性が高い。16は須恵器の碗で、長くはないやや開き気味の高台から一体となって、坏部が立ち上がっている。17・18は須恵器の甕の口縁~肩部である。19は布目瓦である。

その他の遺構および包含層出土遺物

20は19号ピット出土の土師器の坏である。9と同じく、底部に段がつく。21は古式土師器の複合口縁壺の口縁部である。22は355号ピット出土の甌もしくは把手付甕の把手である。23は354号ピット出土の土師器の碗である。器高が高く大きく開く。9世紀前半代か。24は413号ピット出土の土師器の甕である。口縁部が薄手で横に外反している。胴部がほぼ真下に降りており9世紀前半~中葉のころと考えられる。25は428号ピット出土、26は481号ピット出土の土師器の碗である。25は先端が尖る高

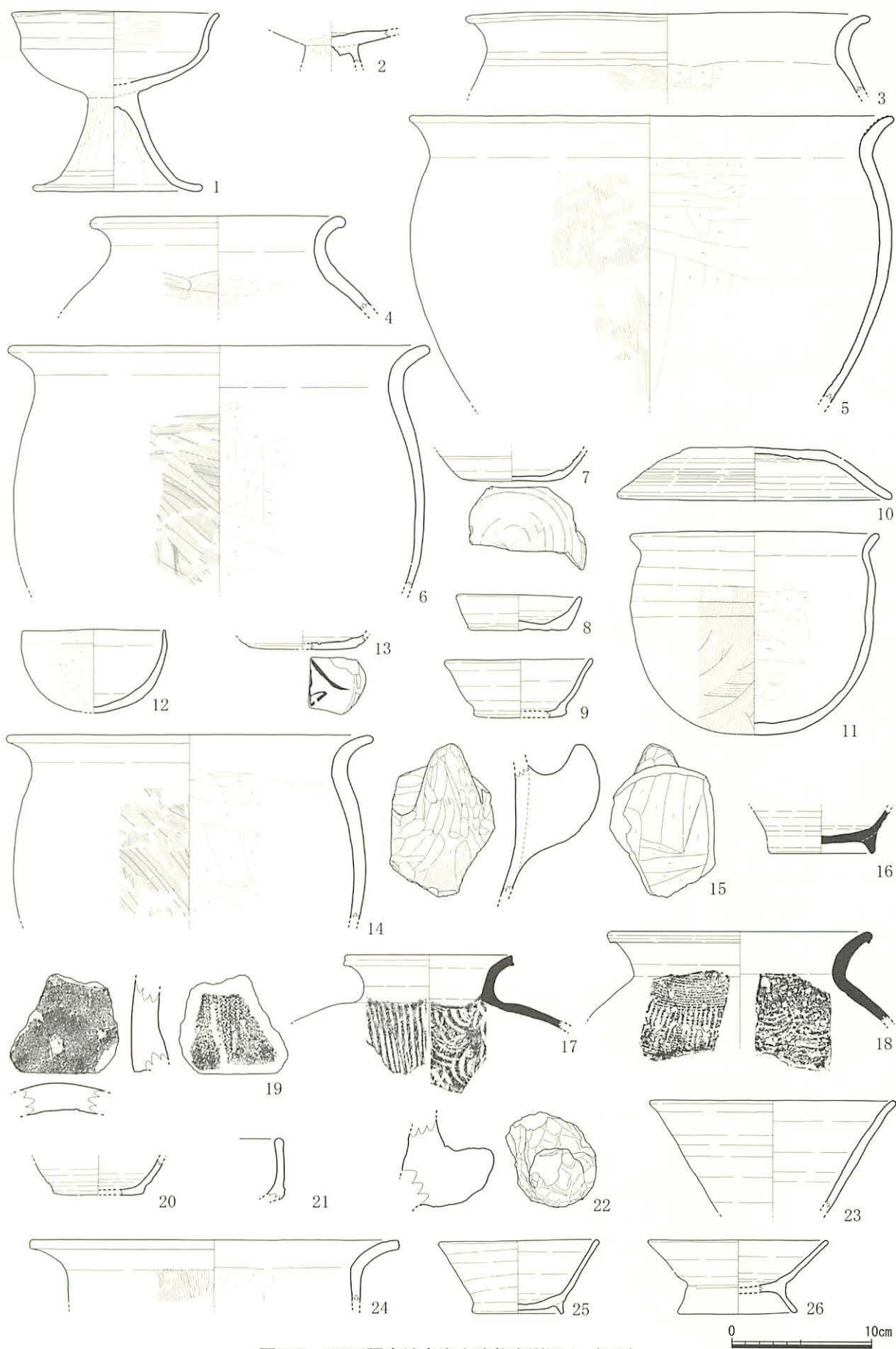


图108 0819調査地点出土遺物実測图1 (1/4)

1. (渡鹿) 体育館耐震改修その他工事に伴う発掘調査 (0819調査地点)

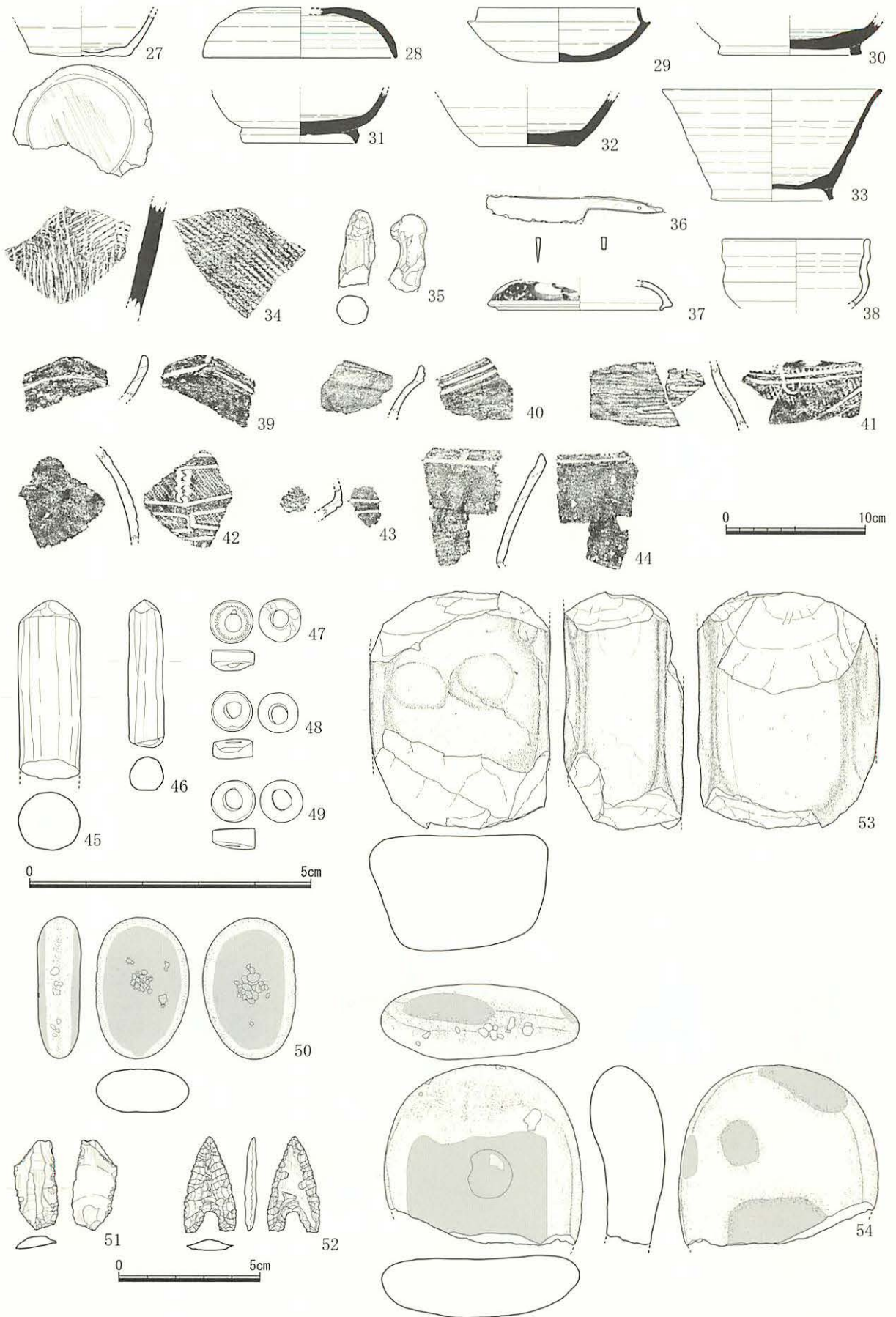


図109 0819調査地点出土遺物実測図2 (1/1・1/2・1/4)

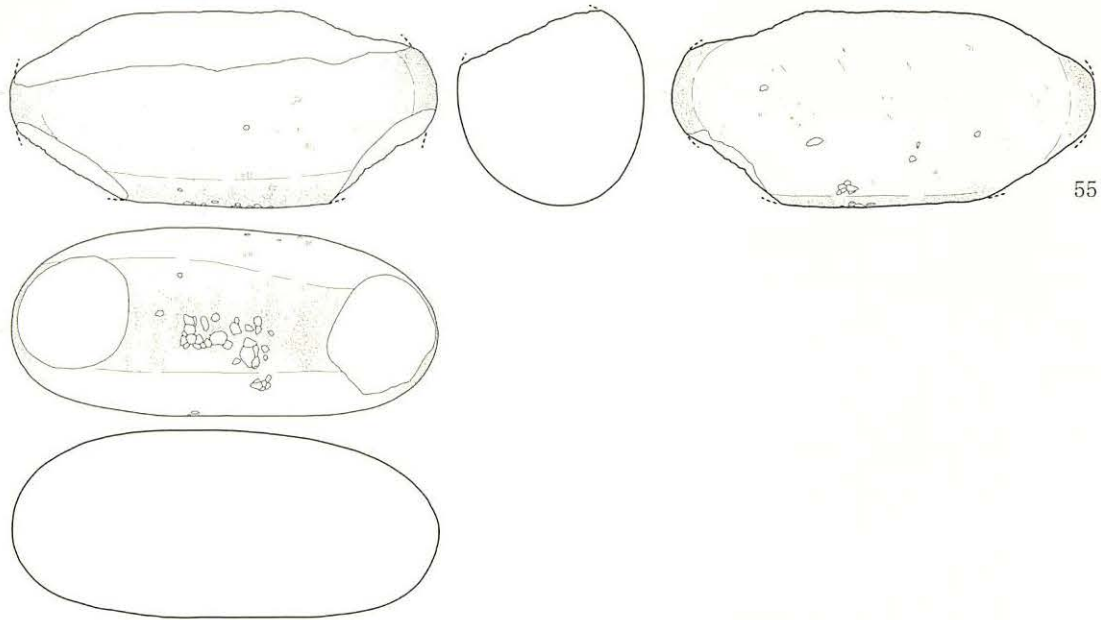


図110 0819調査地点出土遺物実測図3 (1/4)

台が付き、大きく直線的に開く。9世紀前半のころであろう。26は、長く大きく開く高台が付き、坏部は直線的に大きく開いて伸びるが浅い。9世紀後半以降であろう。図109：27～33は、第1面上面および第2面検出時・遺構検出時に点あげした遺物である。27は土師器の坏である。底部の外面には、大きなタタキのような凹凸がある。底部付近には段があり、9世紀代中葉～後半と考えられる。28は須恵器の蓋である。6世紀後葉～7世紀初頭のころか。29～33は須恵器の坏である。29は蓋受けが付いており古相を呈する。28と同様、6世紀後葉～7世紀初頭のころか。30は丸味のある坏部に低い高台が付く。8世紀後葉か。31は断面が三角形の短い高台が、坏部の内側に付く。8世紀前半か。32は高台がなく、底部からやや内湾しながら立ちあがる。33は、外に開く高台から、坏部が一体となって開きながら直線的に立ち上がる。これらは9世紀後葉のころと考えられる。34は須恵器の甕の胴部片と考えられる。35は32号ピットから出土した、土製の木葉猿である。36は刀子である。37は磁器で、碗の蓋である。38は16号ピット出土の陶器の湯呑である。小代焼である。

39～44は縄文土器である。39は太郎迫式の深鉢形土器の口縁部で、沈線が二本と磨消縄文がほどこされている。40・41は磨消縄文と沈線、対向弧文など太郎迫式の特徴をよく示している。42は三万田式の深鉢形土器の口縁部である。口縁部の内外にそれぞれ1本の沈線がある。43は、深鉢形土器の胴部の屈曲部と考えられる。上下に沈線が施されており、器面は磨かれている。太郎迫式と考えられる。44は波状口縁の波頂部で、押圧による刻み状の施文があり、口縁には波頂部に向かって沈線が一条施されている。右の沈線は波頂部付近で途切れている。内面は緩く屈曲し、屈曲部には細い沈線が施されている。三万田式である。

図109：45～図110：55は石製品・石器類である。45・46は滑石を鉛筆状に加工したもので、チョークである。47～49は滑石製の白玉で、265号住居から出土した。全部で完形品は9点出土している。50は磨石、53・54と図110：55は台石・石皿で、使用面はよく磨れている。51は黒曜石製の調整剥片、52は黒曜石製の打製石鏃である。

(5) まとめ

本調査地点は、大江総合運動場の敷地内において、1977年、1994年について3度目の発掘調査であった。前2回までの調査で19軒の住居が確認され、大江総合運動場は旧託麻郡の中心となる大江遺跡の一端を形成していたことが判明していた(図111)。今回の調査では、試掘時には遺物包含層以下の土層の遺存状態が良いことから、同様に古代の集落が検出されると想定された。

今回の調査では、明確に把握できた竪穴住居は2軒のみであった。本調査地点の北東に位置する1977年の調査地点では、13軒の竪穴住居が検出された。1994年の調査では、9413調査地点1トレンチ

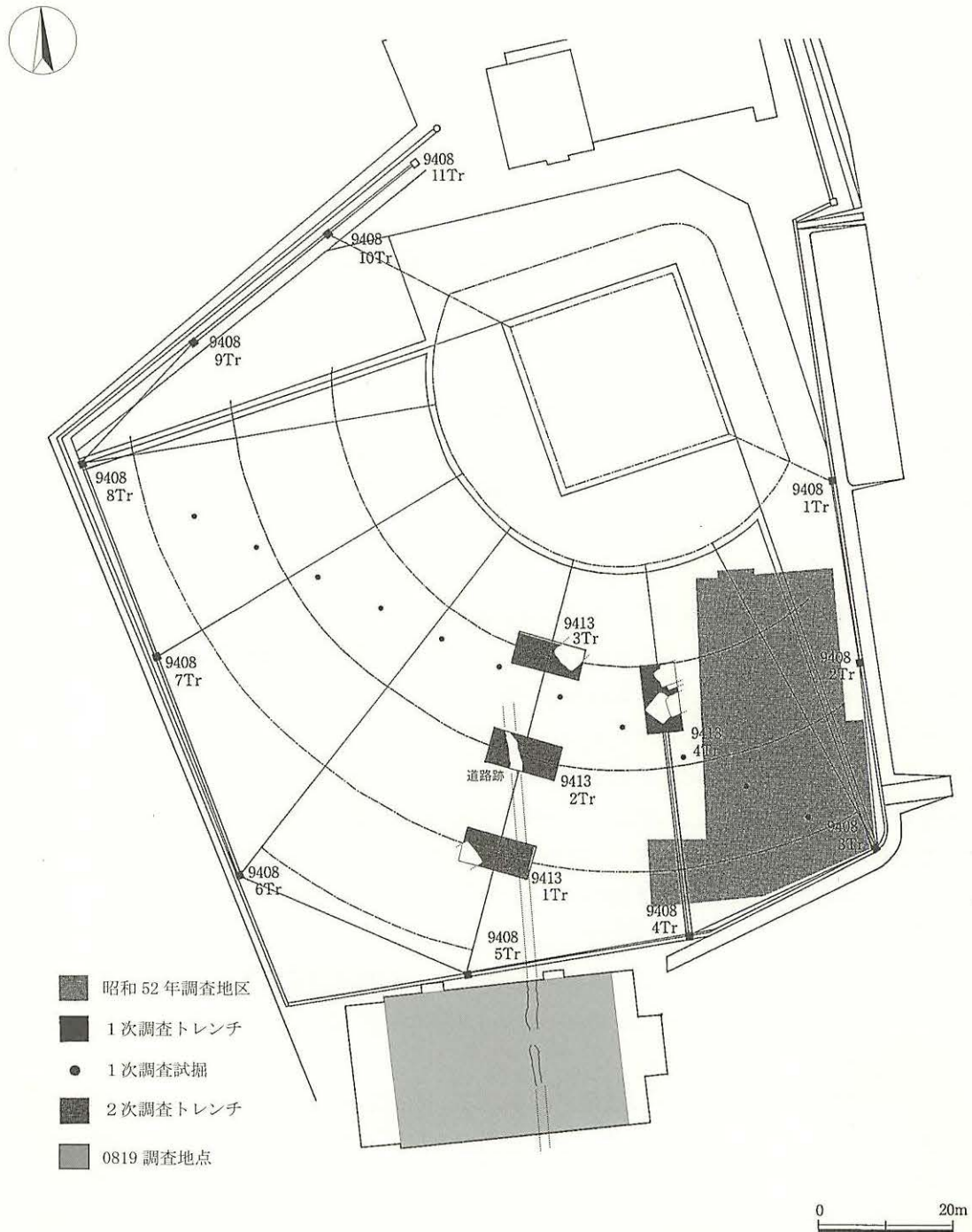


図111 大江総合運動場における既往の発掘調査地点位置図 (1/2000)

で1軒、9413調査地点3トレンチにおいて2軒（同じ場所に重複）、1977年の調査地点に最も近い9413調査地点4トレンチで4軒検出されている。このような住居の分布状態からは、1977年の調査地点とその東側が集落の中心であり、西側・南西側に位置する9413調査地点の1～3トレンチと本調査地点は住居が散漫な、中心から外れた地点に位置すると考えらえる。

1994年の調査時に、9413調査地点2トレンチで道路跡が検出されており、位置や方向などから、本調査地点で検出した道路跡はこの道路の続きと考えらえる。1994年の時点で、本調査地点の西側約100m付近を官道（西海道）が通ると予想され、大江総合運動場で検出した道路跡は坪境に相当すると推定されていた。その後、本調査地点から南南西に約130mの地点、大江遺跡群100次調査地点で西海道が発見され、坪境であることは確実であろう。道路跡を調査した際にみられる、道路脇のピット群は、人や土の侵入を防ぐための柵や杭の跡と理解されている。本調査地点のピット群も同じものと理解できよう。ただ、1994年調査時の道路の両脇では、ピット群は検出されておらず、本調査区部分の範囲におおむね限られるようである。本調査区には特別かわった遺構はなく、この範囲にのみ柵や垣のようなものを設置する理由は不明である。

1994年の調査では、住居や集落の中心年代は8世紀中葉から後半であり、9世紀代に下る資料を欠く、という結果であった。今回の調査地点では、8世紀後半のものもあるが、9世紀前半～中葉までの遺物が中心のようである。既往の調査による大江遺跡群全体の動向では、郡家や国府の移転などにより、9世紀中葉以降に縮小傾向がみられる。本調査の成果は、9世紀前半までは、大江総合運動場一帯の集落も存続していたことを示している。ただし、集落の中心に近い1994年の調査地点で、9世紀代の生活の様子が見えないということからすれば、単に9世紀前半までは集落が拡大していたということではできない。大江総合運動場一帯に展開した集落の終焉時期とその様相の把握は、今後の調査に期待される。

表15 0819調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
109	1	土師器	高坏	口径 14.8 底径 12.0 器高 13.0	約2/3	内：回転ナデ、削り、 磨き 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	265号竪穴住居№19 265号竪穴住居周辺東 黒色土層303号溝内 黒色土層303号溝	
	2	土師器	高坏	口径 底径 器高	坏部～脚部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 5YR5/8 外：Hue 5YR5/6	265号竪穴住居	赤色化粧土
	3	土師器	甕	口径 29.0 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、ハケ目	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR7/4	265号竪穴住居 a 265号竪穴住居住下4f	
	4	土師器	甕	口径 18.0 底径 器高	～胴部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、ハケ目	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 5YR5/6	265号竪穴住居№3	赤色化粧土
	5	土師器	甕	口径 35.0 底径 器高	口縁～胴部片	内：ナデ、削り 外：ナデ、ハケ目	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR7/6	265号竪穴住居№1・№ 7・№9 265号竪穴住居カマド	外面一部にスス附着 外面やや風化している
	6	土師器	甕	口径 30.0 最大径29.2 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、ハケ目	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	265号竪穴住居№1・№ 3・№12 265号竪穴住居床下 265号竪穴住居周辺全体 西	外面一部にスス附着
	7	土師器	坏	口径 7.4 底径 器高	底部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5YR7/8 外：Hue 7.5YR7/8	415号ピット	底部外面にハケ目あり
	8	土師器	灯明皿	口径 9.0 底径 7.0 器高 2.6	ほぼ完形	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR7/6	539号土坑№1真下 539号土坑№3	内外面一部にスス附着
	9	土師器	碗	口径 10.7 底径 6.7 器高 5.2	ほぼ完形	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	539号土坑	
	10	土師器	皿	口径 19.6 底径 4.35 器高	ほぼ完形	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 5YR7/6 外：Hue 7.5YR6/4	500号骨蔵器 黒色土層303号溝外	
	11	土師器	小児臍骨甕	口径 19.9 底径 14.5 器高	ほぼ完形	内：回転ナデ、指ナデ、 削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5YR6/3 外：Hue 7.5YR6/4	500号骨蔵器 黒色土層303号溝外	内側に指頭圧痕あり

1. (渡鹿) 体育館耐震改修その他工事に伴う発掘調査 (0819調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考	
109	12	土師器	坏	口径 10.0 底径 7.6 器高	ほぼ完形	内:ナデ,削り 外:ナデ,削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	黒色土層303号溝ベルト	外面一部にスス付着 赤色化粧土	
	13	土師器	坏	口径 7.8 底径 器高	底部片	内:回転ナデ 外:ナデ,削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	黒色土層303号溝内中	墨書あり	
	14	土師器	甕	口径 26.0 底径 器高	口縁~胴部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	黒色土層303号溝		
	15	土師器	瓶	口径 底径 器高	把手	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り, 指オサエ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 7.5YR6/6	黒色土層303号溝		
	16	須恵器	碗	口径 7.8 底径 器高	底部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5Y7/1 外: Hue 7.5Y7/1	黒色土層303号溝内中		
	17	須恵器	甕	口径 12.3 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ, 当て具痕 外:回転ナデ,削り, タタキ	内: Hue 5YR4/2 外: Hue 7.5Y7/1	黒色土層303号溝内中央 黒色土層303号溝内中 黒色土層303号下溝外	内面に指頭圧痕あり 外面に自然袖付着	
	18	須恵器	甕	口径 19.0 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ,削り, 当て具痕 外:回転ナデ,削り, ハケ目,タタキ	内: Hue N4/0 外: Hue 7.5Y5/1	黒色土層303号下溝内		
	19	瓦	布目瓦	長さ 6.6 幅 7.6 厚さ 2.6	破片	裏:布目 表:ナデ,削り	裏: Hue 7.5Y5/1 表: Hue 7.5Y7/4	黒色土層303号溝外		
	20	土師器	坏	口径 6.2 底径 器高	底部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	19号ピット		
	21	古式土師器	壺	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR5/1	87号ピット		
	22	土師器	瓶	口径 底径 器高	把手	内:削り 外:指ナデ,指オサエ	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 7.5YR7/4	355号ピット		
	23	土師器	碗	口径 17.6 底径 器高	約1/5	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR5/4 外: Hue 7.5YR6/6	354号ピット		
	24	土師器	甕	口径 26.2 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 10YR7/2 外: Hue 10YR7/3	413号ピット	口唇部にスス付着	
	25	土師器	碗	口径 11.6 底径 6.6 器高 5.3	完形	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR7/8 外: Hue 7.5YR7/8	428号ピット		
	26	土師器	碗	口径 13.0 底径 8.6 器高 5.3	約1/3	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	481号ピット 黒色土層303号下溝外 攪乱清掃		
	110	27	土師器	坏	口径 7.2 底径 器高	底部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	包含層 P9	底部外面に板目?圧痕あり
		28	須恵器	蓋	口径 14.0 底径 3.65 器高	1/3	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 7.5Y5/1	包含層 P2	
		29	須恵器	坏	口径 11.6 底径 4.0 器高	1/3	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 2.5Y5/2	包含層 P6 (281号竪穴 住居側)	
		30	須恵器	碗	口径 5.3 底径 器高	1/4	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue N6/0 外: Hue N6/0	包含層 P4	
		31	須恵器	碗	口径 8.2 底径 器高	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 10Y5/1	包含層 P1	
32		須恵器	鉢	口径 7.0 底径 器高	1/3	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR5/3 外: Hue 2.5YR6/6	包含層 P5		
33		須恵器	碗	口径 15.9 底径 8.8 器高 8.05	1/3	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 2.5Y6/1	包含層 P12		
34		須恵器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内:回転ナデ,削り, 当て具痕 外:回転ナデ,削り, タタキ	内: Hue 10YR5/3 外: Hue 10R5/3	包含層 P3		
35		土製品	人形 (木葉猿)	口径 底径 器高	一部	内: 外:指ナデ,指オサエ	内: Hue 外: Hue	32号ピット	腕部の剥落	
36		鉄製品	刀子	長さ 12.7 幅 1.8 厚さ 0.3		内: 外:	内: Hue 外: Hue	清掃一括	茎部に目釘穴あり	
37		磁器	蓋	口径 11.8 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 10Y8/1 外: Hue 7.5Y8/1	54号ピット		
38		陶器	湯呑	口径 10.7 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ,施袖 外:回転ナデ,施袖	内: Hue 5PB6/1 外: Hue 5PB7/1	16号ピット	小代焼 茶色地に乳白色の色付けあり	
39		縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナデ,磨き 外:ナデ,磨き	内: Hue 10YR8/3 外: Hue 10YR8/3	道(北側)上部		
40		縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナデ,磨き 外:ナデ,磨き	内: Hue 10YR6/2 外: Hue 10YR6/4	黒色土層303号下溝外	磨消縄文	
41		縄文土器	壺形土器	口径 底径 器高	胴部~肩部片	内:ナデ,磨き 外:ナデ,磨き	内: Hue 7.5YR5/4 外: Hue 7.5YR5/3	265号竪穴住居カマド	磨消縄文	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考
110	42	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	腹部片	内:ナデ,磨き 外:ナデ,磨き	内:Hue 7.5YR7/3 外:Hue 7.5YR5/1	265号竪穴住居カマド	
	43	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナデ,磨き 外:ナデ,磨き	内:Hue 10YR5/2 外:Hue 7.5YR5/3	303号溝	
	44	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナデ,磨き 外:ナデ,磨き	内:Hue 10YR8/2 外:Hue 10YR8/3	265号竪穴住居	
	45	石器	石製品 (チヨーク)	長さ 幅 厚さ	破片	内: 外:	内:Hue 外:Hue	18号ビット	重量7.0g
	46	石器	石製品 (チヨーク)	長さ 幅 厚さ	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	30号ビット	重量1.7g
	47	石製品	白玉	直径 孔径 厚さ	完形	内: 外:	平:Hue 7.5GY8/1 側:Hue 10Y5/2	265号竪穴住居No28一括	重量0.3g
	48	石製品	白玉	直径 孔径 厚さ	完形	内: 外:	平:Hue 10GY6/1 側:Hue 5GY4/1	265号竪穴住居No28一括	重量0.2g
	49	石製品	白玉	直径 孔径 厚さ	完形	内: 外:	平:Hue 2.5GY7/1 側:Hue 2.5GY5/1	265号竪穴住居No28一括	重量0.3g
	50	石器	磨石	長さ 幅 厚さ	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	265号竪穴住居No6	重量322g
	51	石器	調整剥片	長さ 幅 厚さ	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	45号ビット上	重量2.3g
	52	石器	石鏃	長さ 幅 厚さ	完形	内: 外:	内:Hue 外:Hue	黒色土層303号溝下	重量2.3g, 黒曜石 二等辺三角形を呈し抉りをU 状に施す
	53	石器	台石	長さ 幅 厚さ	2/3	内: 外:	内:Hue 外:Hue	包含層S4	重量2492g, 安山岩 表裏・両側面広範囲に磨痕あり 磨痕と思われる範囲に赤色顔料 付着か?
	54	石器	台石	長さ 幅 厚さ	1/2	内: 外:	内:Hue 外:Hue	黒色土層303号溝内	重量1340g
	111	55	石器	磨石	長さ 幅 厚さ	約2/3	内: 外:	内:Hue 外:Hue	包含層S2
56		石製品	白玉	直径 孔径 厚さ	完形	内: 外:	内:Hue 7.5Y5/3 外:Hue 7.5Y5/3	265号竪穴住居No26	重量0.3g
57		石製品	白玉	直径 孔径 厚さ	破片	内: 外:	内:Hue 外:Hue	265号竪穴住居No27	重量0.3g(破片5個)
58		石製品	白玉	直径 孔径 厚さ	完形	内: 外:	内:Hue 7.5Y5/3 外:Hue 7.5Y5/3	265号竪穴住居No29一括	重量0.4g
59		石製品	白玉	直径 孔径 厚さ	完形	内: 外:	内:Hue 7.5Y5/3 外:Hue 7.5Y5/3	265号竪穴住居No29一括	重量0.2g
60		石製品	白玉	直径 孔径 厚さ	完形	内: 外:	内:Hue 7.5Y5/3 外:Hue 7.5Y5/3	265号竪穴住居No30一括	重量0.3g
61		石製品	白玉	直径 孔径 厚さ	完形	内: 外:	内:Hue 7.5Y5/3 外:Hue 7.5Y5/3	265号竪穴住居No30一括	重量0.3g
62		石製品	白玉	直径 孔径 厚さ	完形	内: 外:	内:Hue 7.5Y5/3 外:Hue 7.5Y5/3	265号竪穴住居白玉西	重量0.3g
63		石製品	白玉	直径 孔径 厚さ	一部欠損	内: 外:	内:Hue 10Y6/2 10Y5/2 外:Hue 10Y6/2	265号竪穴住居白玉②東	重量0.5g 輪切途中

図番号がないものは写真のみ掲載

Summary

In 1985, Kumamoto University planned a reconstruction of campus. But it was known that some of campus is designated as buried cultural assets zone. In the fiscal year 1994, Kumamoto University formed the Archaeological investigation committee and the Research Center for buried Cultural Properties in haste, and has been excavating the campus sites when the superannuated school buildings were rebuilt.

We have two main campus sites at other areas. The one is the Kurokami area where is constituted of faculty of Science and faculty of Engineering (south area), faculty of Education, faculty of Law, and faculty of Letters (north area), and locates in Kurokamimachi site. The site is located at the foot of Mt. Tatuta on a low terrace formed by the Shirakawa River. The site is regarded as an ancient posting-station "Kokai". The other one is the Honjo area where is constituted of School of Medicine, Kumamoto University hospital and institutes (north and middle area), school of Health Science (south area), and belong to Honjo site. The site located on a low terrace formed by Shirakawa River, similar to Kurokamimachi site. It is 2km from Kurokamimachi site to Honjo site in a straight line. In the circumstance of Honjo site, there are large ancient settlement sites like Oe site and Shinyashiki site. School of Pharmacy and Oe athletic field (Toroku area) belong to Oe site. Kyomachi area where is constituted Elementary School and Junior High School Attached to faculty of Education belong to Kyomachi site. The site is located on the Kyomachi plateau, and is famous for as the site of Yayoi period. The excavation numbers in each area are as follows. No. 0836 · 1514 · 1524 · 1528 are in Kurokami north area, No. 0806 · 0809 are in Kurokami south area, No. 0411 · 0835 · 1425 · 1426 · 1442 · 1504 are in Honjo north area, No. 1223 is in Honjo middle area, No. 1417 · 1433 are in Kyomachi area, No. 0819 is in Toroku area. The main results are the following.

At 0836 excavation spot in Kurokami-machi site, we discovered some dwellings, ditches, and a natural channel. Our discovery of natural channel may help to elucidate settlement structure and to restore the landscape of ancient times.

At the 1514 and 1524 investigation spot, where the construction, which repaired old Cafeteria, was performed, many pit-dwellings and ditches of the Ancient period were found and it turned out that settlement existed in the south-east part of Kurokami north area.

And at the 1528 investigation spot, in connection with repair work of the building of the Faculty of Education, the bases, which were made of bricks, were found and it turned out that the bases were the bases used for the kitchen and bathroom of the 5th High School, which were built in 1890. On the surface of the bricks, the mark, which showed the bricks were made in the Kumamoto prison, was often found.

At 0806 · 0809 excavation spot in Kurokami-machi site, we discovered dwellings, ditches, and some pottery of ancient times and of Late and Latest of Jomon period. The result of excavation at this point may help to explain the location of southern boundary of remains.

0411 excavation spot locates at the most southern part of Kumamoto University Hospital. We

found some dwellings, ditches, postholes, the trace of field, and a lot of relics of ancient times and Kofun period. The worship items, such as Sueki-pedestaled dish and curved bead were discovered. With the results of excavation in Kumamoto University Hospital in the past, the result of 0411 excavation point may help to explain the change of settlement structure in Honjo site

0835excavation spot located in the northwest of Kumamoto University Hospital, we found some dwellings and postholes of ancient times and Kofun period. Although the excavation area was narrow, we discovered a lot of relics, too. We realized again that the structural remains density is high around there.

At the 1425,1426,1504 investigation spot, in connection with construction of the building of the Clinical Research Building, ditches, pit-dwellings, and a posthole?type building of the Ancient period were found. And at the 1442 investigation spot, in connection with repair work of Administration Building, the relics and features of the early-middle Kofun period were found.

In the Honjo central area, ancient pit-dwellings and pits were discovered in the surrounding of the foundation of the old boiler house's chimney.

And in the Kyomachi area, two investigations were conducted in connection with construction of schoolhouse of University Elementary School. At the 1417, 1443 investigation spot, pit-dwellings of the late Yayoi period were found, and it is thought that this neighborhood would correspond with the eastern limit of this settlement.

At 0819 excavation spot located in Oe site, we discovered a road, a lot of postholes, two dwellings, and an urn containing the ashes of the cremated dead. As a result of excavation to date, we found a road and about 20 dwellings at the point which was about 45m north of 0819 excavation spot. Therefore, it is thought that 0819 excavation spot located near the southern boundary of community.

写 真 图 版



写真1 1区掘削状況(西より)



写真2 1号縦穴住居検出状況(南より)



写真3 1号縦穴住居床面検出状況(南より)



写真4 1号縦穴住居床面検出状況(南西より)



写真5 1号縦穴住居完掘(南より)



写真6 2区掘削状況(南より)

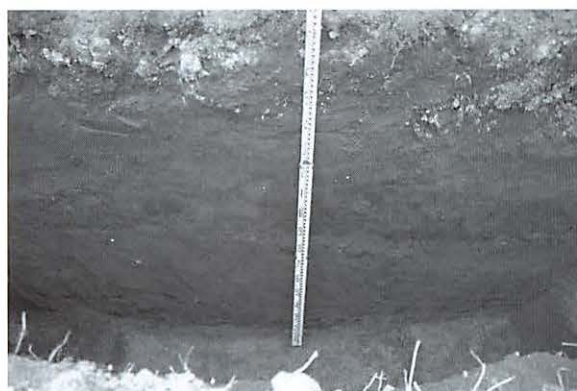


写真7 2区土層断面(西より)



写真8 2区作業風景(北より)



写真9 2区4号流路検出状況(南西より)



写真10 2区4号流路礫出土状況(南西より)



写真11 2区4号流路礫出土状況(北より)



写真12 2区4号流路礫出土状況(南東より)



写真13 3区作業風景(西より)



写真14 3区1号ピット検出状況(西より)



写真15 4区掘削状況(西より)



写真16 4区1号遺物検出状況(北より)



写真17 4区1号溝五輪塔出土状況(北より)



写真18 4区1号溝完掘状況(北より)



写真19 4区2号溝完掘状況(西より)



写真20 4区3号土坑検出状況(北より)



写真21 7区6号竪穴住居検出状況(南東より)



写真22 7区6号竪穴住居竈検出状況(南より)



写真23 7区6号竪穴住居遺物出土状況(南より)



写真24 7区6号竪穴住居鉄鏝出土状況(南東より)



写真25 7区6号竖穴住居竈検出状況（南より）



写真26 7区6号竖穴住居竈土層断面（東より）



写真27 7区6号竖穴住居完掘状況（南より）



写真28 7区東側作業風景（南より）



写真29 7区掘削状況（西より）



写真30 6区ピット完掘状況（東より）



写真31 5区掘削状況（東より）



写真32 5区作業風景（西より）

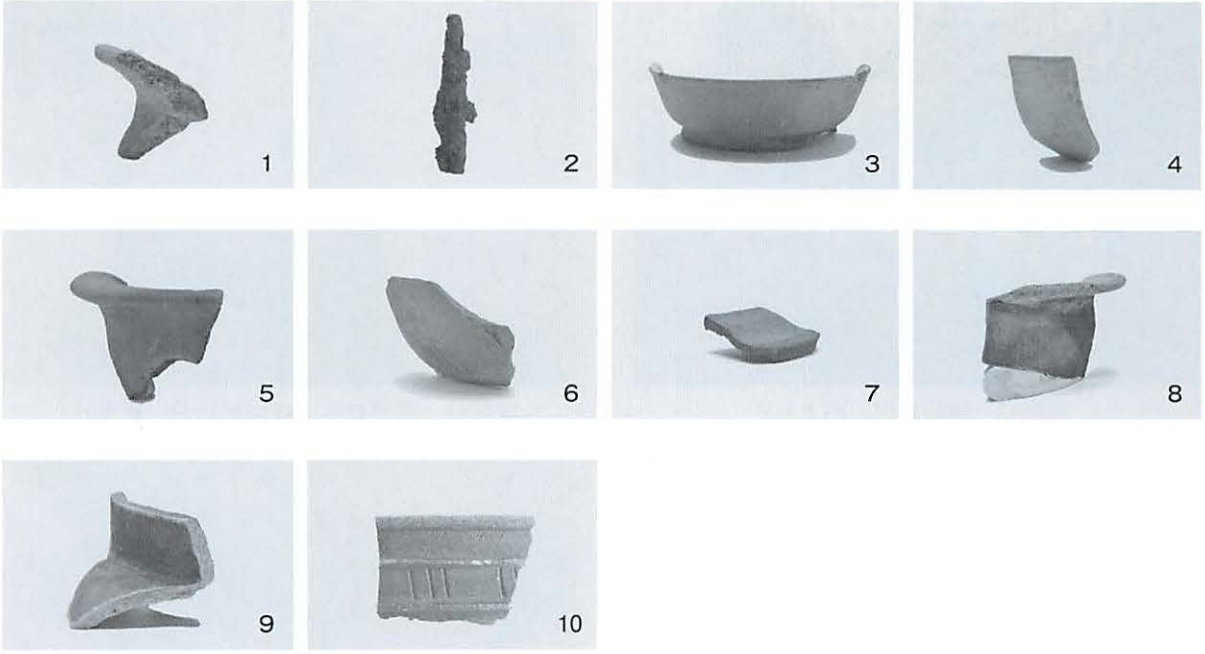




写真33 掘削状況（西より）



写真34 南部東半遺構掘削状況（東より）



写真35 南部西半遺構掘削状況（西より）



写真36 33号溝掘削状況（南東より）



1



2



3



4



5



6



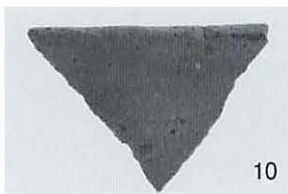
7



8



9



10



11



12



13



14



16



17



写真37 掘削状況（南東より）



写真38 1号建物基礎検出状況（北東より）

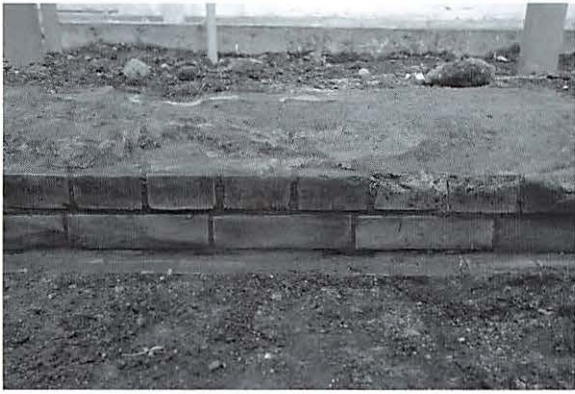
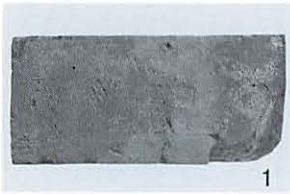


写真39 1号建物基礎立面（南より）



写真40 2号建物基礎検出状況（北より）



1



2



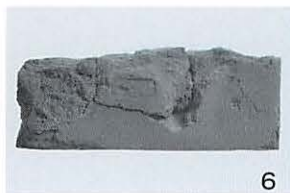
3



4



5



6



7



8



9



10



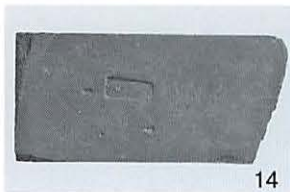
11



12



13



14



15



16

図版8 1528調査地点出土遺物2

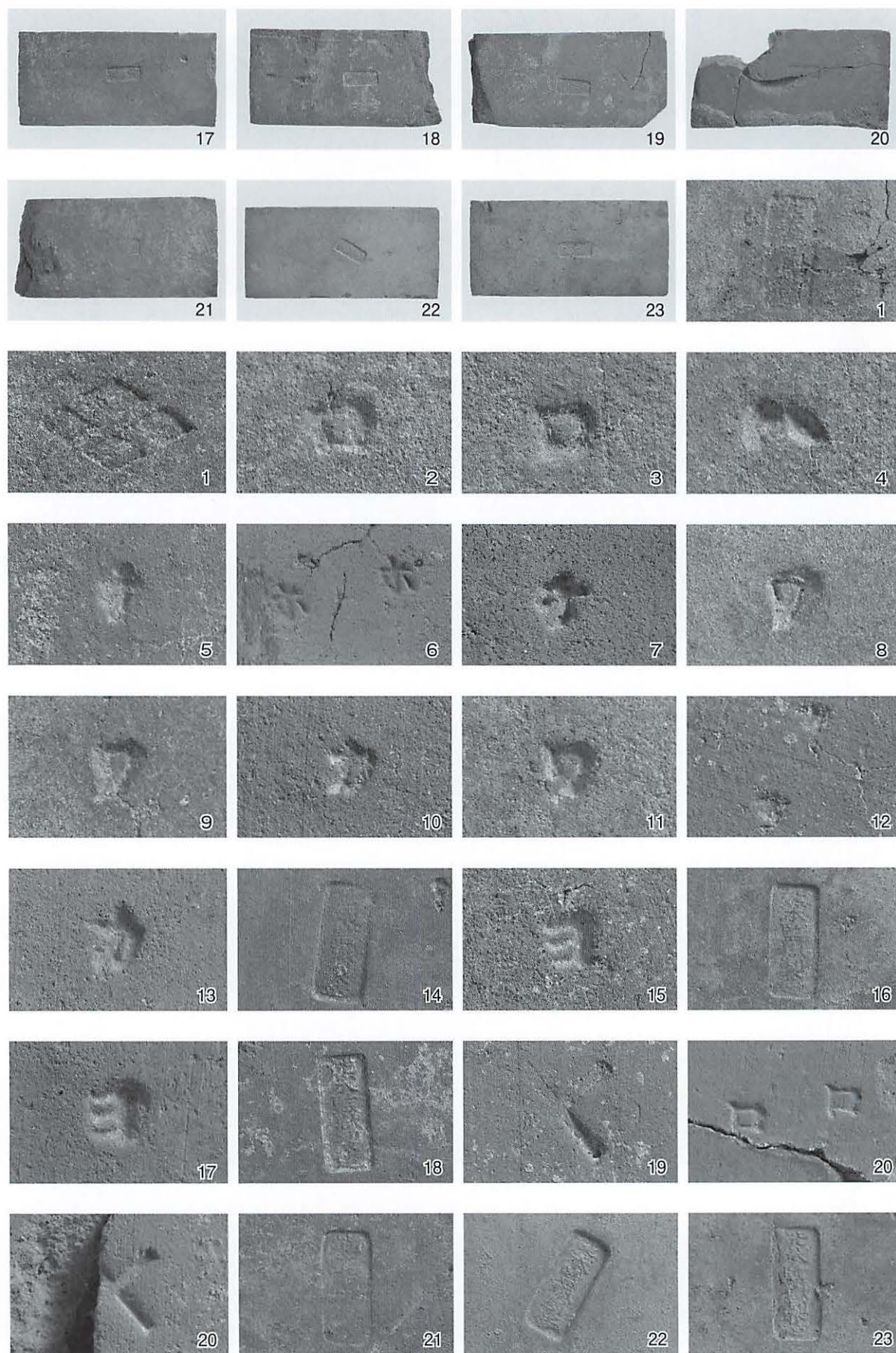




写真41 調査区全景 (西より)



写真42 ①区南壁土層断面 (東より)

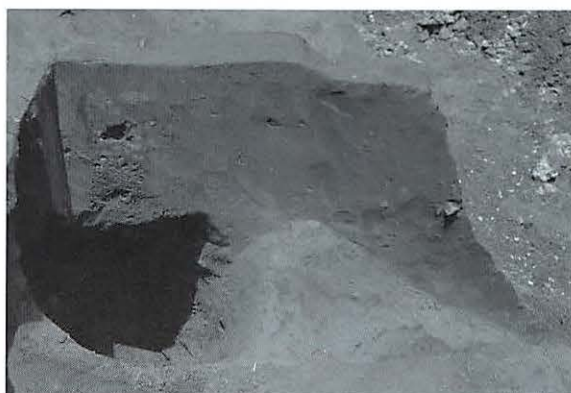


写真43 1号溝土層断面 (東より)



写真44 2号竪穴住居完掘状況 (北より)



写真45 2号竪穴住居土層断面 (東より)



写真46 ①区東側全景 (東より)



写真47 19号溝完掘状況 (北より)



写真48 ②区作業風景 (南西より)



写真49 ②区遺構掘削状況 (北より)



写真50 1号溝・2号ピット掘削状況 (東より)



写真51 ⑤区作業風景 (東より)



写真52 2号溝掘削状況 (西南より)



写真53 2号溝土層断面 (北西より)



写真54 中央樹部分掘削状況（北東より）



写真55 中央樹部分遺構検出状況（南西より）



写真56 中央樹部分遺構掘削状況（南西より）



写真57 中央樹部分遺構掘削状況（南西より）



写真58 西側管路部分掘削状況（北東より）



写真59 西側管路部分掘削状況（東より）



写真60 西側管路部分遺構検出状況（北東より）



写真61 1号溝検出状況（西より）



写真62 西側管路部分遺構掘削状況（北東より）



写真63 西側管路部分遺構完掘状況（北東より）



写真64 西側管路部分遺構完掘状況（北東より）



写真65 1号溝掘削状況（東より）



写真66 1号溝土層断面（北西より）



写真67 西側管路部分砂層検出状況（北より）



写真68 西側管路部分砂層検出状況（北より）



写真69 西側管路部分全景（南西より）

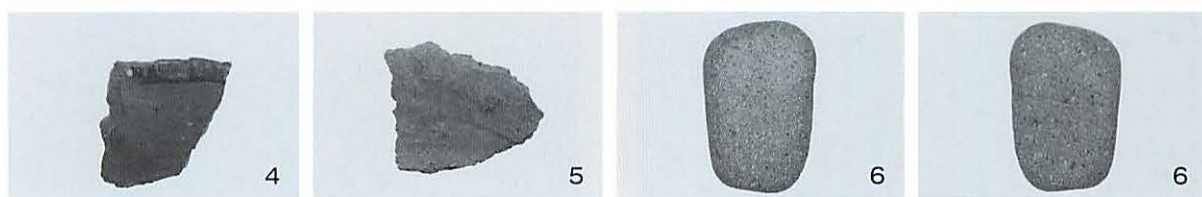
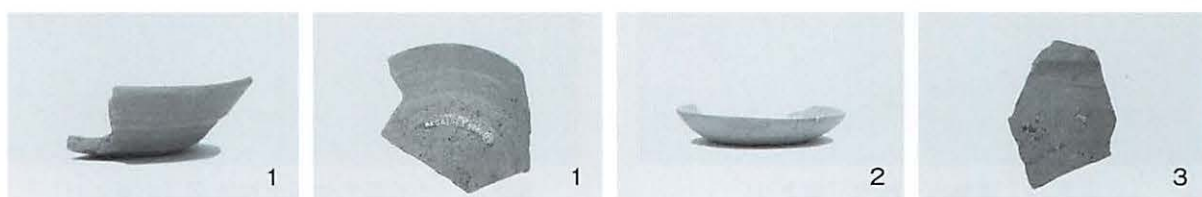
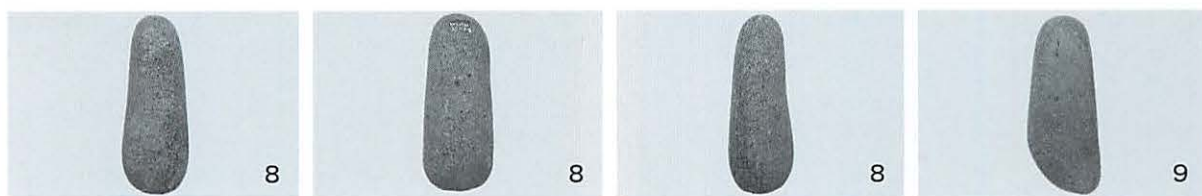
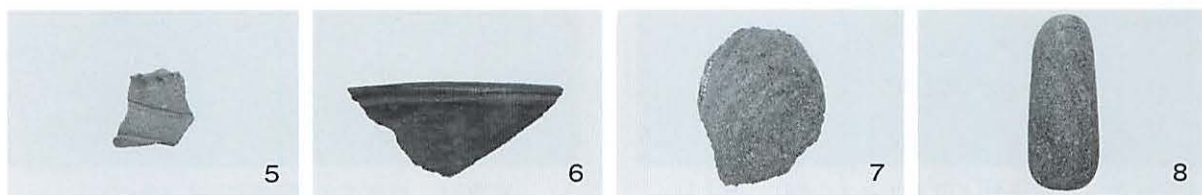
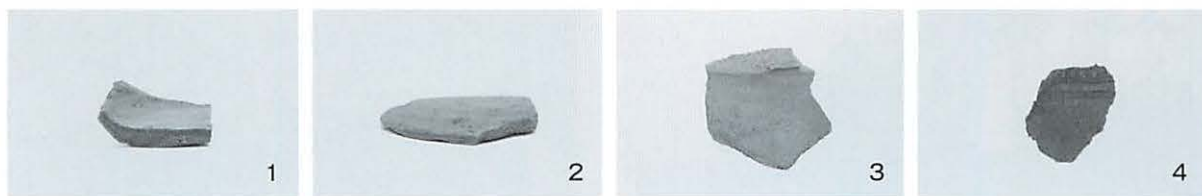




写真70 作業風景（樹木③と②の間）（西より）



写真71 樹木③北側掘削状況（東より）



写真72 遺構掘削状況（北西より）



写真73 1号竪穴住居掘削状況（南より）



写真74 遺物出土状況（南より）



写真75 1号竪穴住居土層断面（南東より）



写真76 2号溝掘削状況（西より）



写真77 2号溝土層断面（東より）

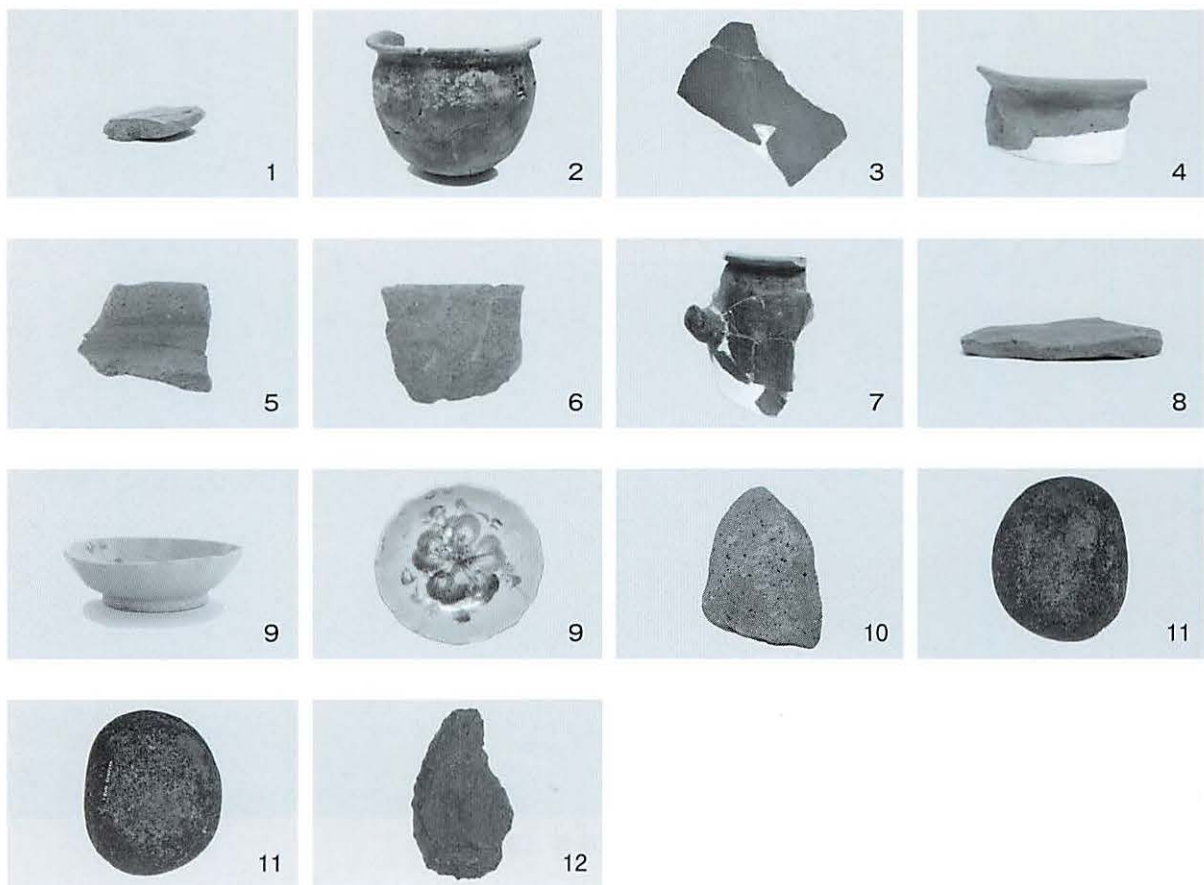




写真78 調査区遠景（東より）



写真79 調査区全景（東より）



写真80 調査区西壁土層断面 (北東より)



写真81 調査区南壁土層断面 (南西より)



写真82 調査区南壁土層断面近影 (南西より)



写真83 174号竪穴住居遺物出土状況 (北より)



写真84 174号竪穴住居土層断面 (北より)



写真85 174号竪穴住居完掘状況 (北より)

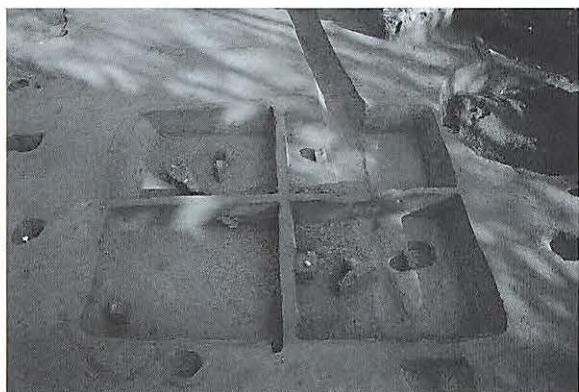


写真86 175号竪穴住居遺物出土状況 (南より)



写真87 175号竪穴住居遺物出土状況 (西より)



写真88 175号竪穴住居遺物出土状況（南西より）



写真89 175号竪穴住居土層断面（北半）（西より）



写真90 175号竪穴住居土層断面（西半）（南より）



写真91 175号竪穴住居完掘状況（北より）



写真92 200号竪穴住居遺物出土状況（西より）



写真93 200号竪穴住居遺物出土状況（南西より）



写真94 200号竪穴住居土層断面（西より）

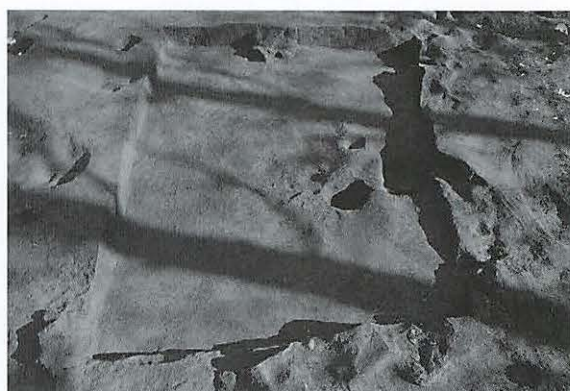


写真95 200号竪穴住居完掘状況（西より）

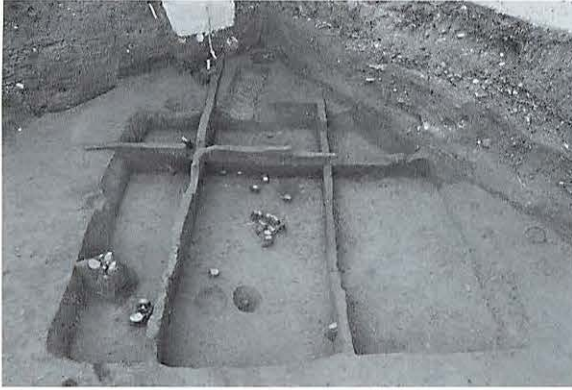


写真96 207号竪穴住居遺物出土状況（北より）

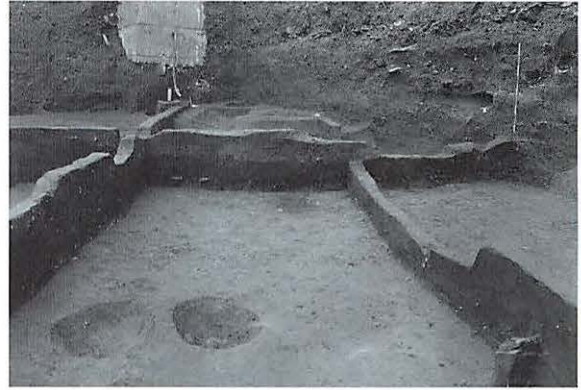


写真97 207号竪穴住居土層断面（北より）



写真98 207号竪穴住居土層断面（南より）

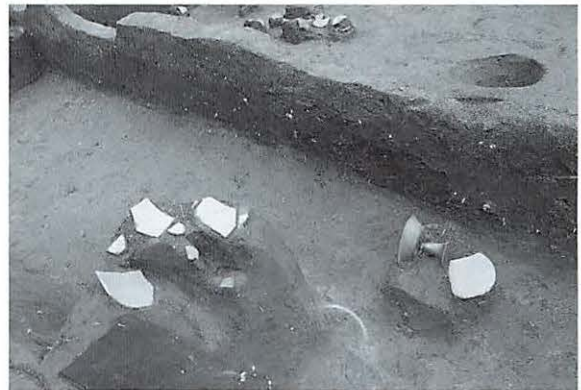


写真99 207号竪穴住居遺物出土状況（北より）



写真100 207号竪穴住居出土遺物近影（東より）



写真101 207号竪穴住居遺物出土状況（西より）



写真102 207号竪穴住居硬化面検出状況（北より）



写真103 207号竪穴住居完掘状況（南より）



写真104 78号竪穴住居竈土層断面（北より）



写真105 78号竪穴住居竈土層断面近影（北より）



写真106 120号竪穴住居掘削状況（北より）



写真107 120号竪穴住居土層断面（南より）



写真108 120号竪穴住居竈・焼土検出状況（北より）



写真109 120号竪穴住居竈土層断面（北より）



写真110 120号竪穴住居竈掘削状況（北より）



写真111 120号竪穴住居完掘状況（北より）



写真112 165号竪穴住居完掘状況 (南西より)

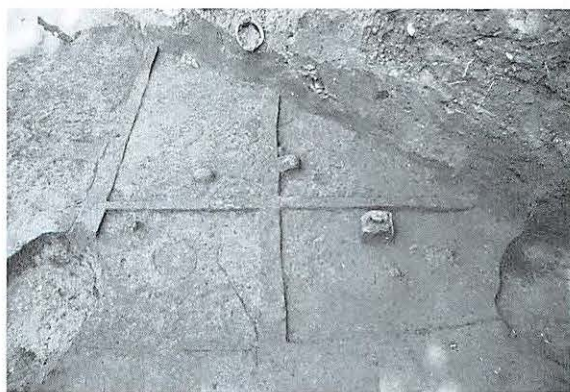


写真113 166号竪穴住居掘削状況 (南より)



写真114 30号・33号溝完掘状況 (南より)



写真115 33号溝土層断面 (北東より)



写真116 33号溝土層下部 (南より)



写真117 111号溝完掘状況 (南より)



写真118 170号溝完掘状況 (北より)



写真119 170号溝土層断面 (南より)



写真120 204号溝完掘状況 (北より)



写真121 1～3号溝完掘状況 (南東より)



写真122 1号溝土層断面 (西より)



写真123 2号溝土層断面 (西より)



写真124 3号溝土層断面 (西より)

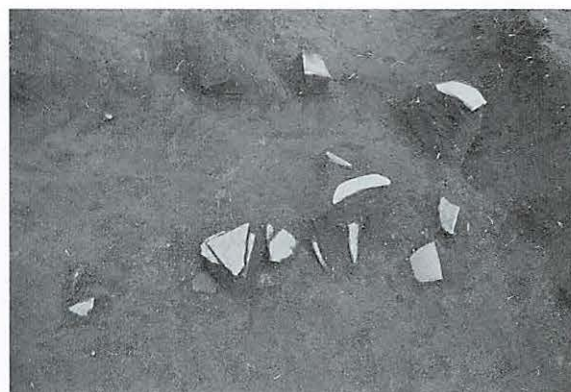


写真125 1号・2号溝結合部遺物出土状況 (北西より)



写真126 30号溝土層断面 (南より)



写真127 85号溝完掘状況 (南より)

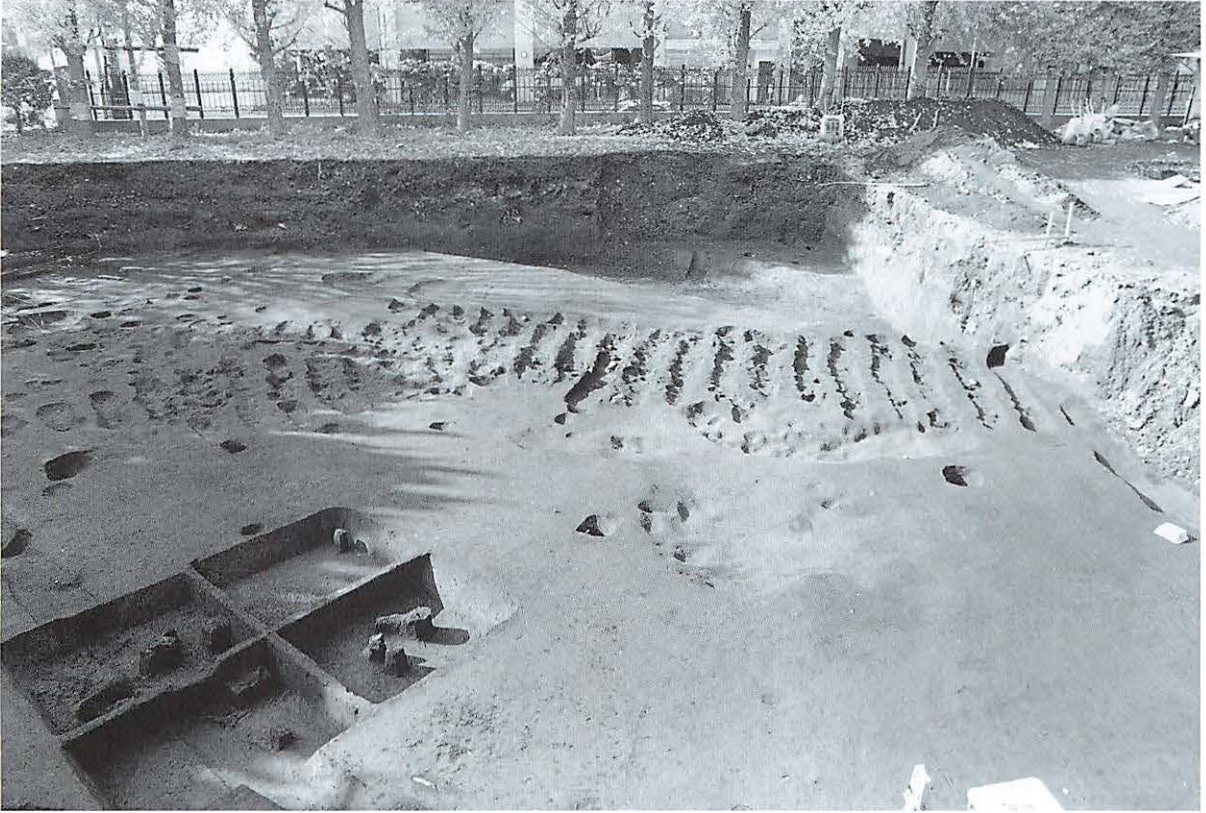


写真128 畝検出状況（東より）



写真129 173号粘土検出状況（南より）



写真130 173号粘土完掘状況（南西より）



写真131 177号祭祀跡遺物出土状況（西より）



写真132 177号祭祀跡遺物出土状況（南より）



写真133 177号祭祀跡遺物出土状況（南より）



写真134 177号祭祀跡遺物出土状況（北より）



写真135 202号溝掘削状況（南より）

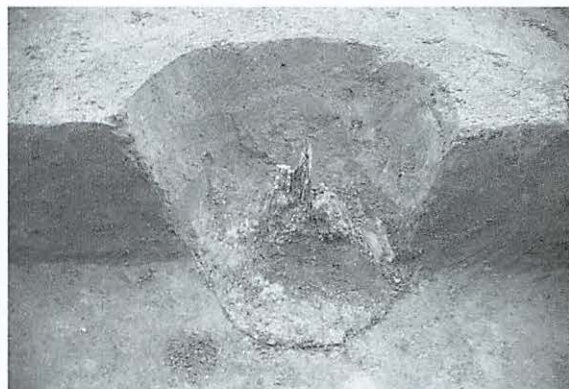


写真136 80号柱穴半裁状況（南より）



写真137 勾玉出土状況（西より）



写真138 276号縄文土器群出土状況（西北より）

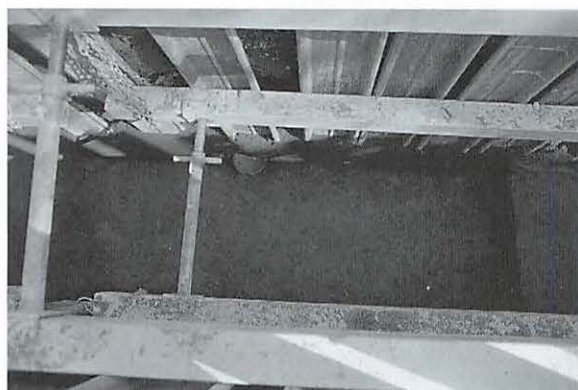


写真139 504号竪穴住居完掘状況（西より）



写真140 504号竪穴住居東壁土層断面（西より）



写真141 513号竪穴住居遺物出土状況(西より)



写真142 513号竪穴住居遺物出土状況(拡大)(西より)



写真143 513号竪穴住居遺物出土状況(拡大)(西より)



写真144 513号竪穴住居遺物出土状況(拡大)(西より)



写真145 513号竪穴住居北半掘削状況(西より)



写真146 513号竪穴住居北半東壁土層断面(西より)



写真147 513号竪穴住居南半東壁土層断面(西より)

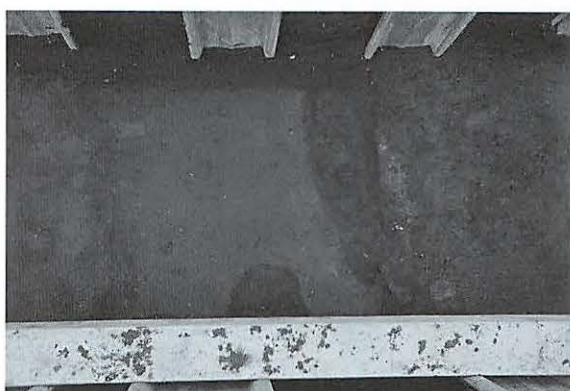


写真148 501号・502号溝(北より)



写真149 507号溝検出状況 (南より)



写真150 509号溝完掘状況 (西より)



写真151 501~509号溝土層断面 (西より)



写真152 508号溝完掘状況 (南より)



写真153 508号溝土層断面 (南より)

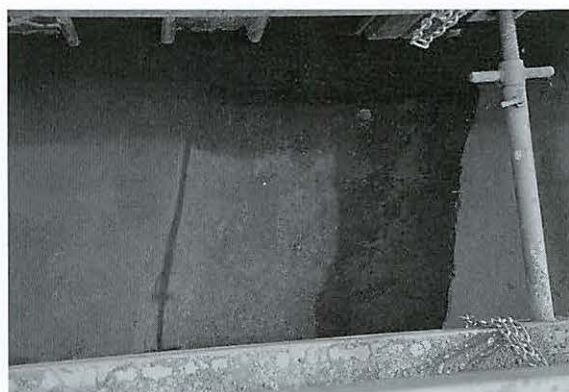


写真154 510号溝完掘状況 (西より)



写真155 510号溝土層断面 (西より)



写真156 ⑧区間作業風景 (西より)



写真157 522号竪穴住居完掘状況 (西より)



写真158 522号竪穴住居土層断面 (北西より)



写真159 525号竪穴住居遺物出土状況 (北より)



写真160 525号竪穴住居焼土塊検出状況 (西より)



写真161 525号竪穴住居完掘状況 (北東より)



写真162 525号竪穴住居土層断面 (南東より)



写真163 526号竪穴住居完掘状況 (北東より)



写真164 526号竪穴住居水切溝 (北西より)



写真165 535号竪穴住居完掘状況（東より）



写真166 537号竪穴住居掘削状況（東より）



写真167 537号竪穴住居掘削状況（東より）



写真168 537号竪穴住居焼土検出状況（南西より）



写真169 537号竪穴住居電部材検出状況（南より）



写真170 537号竪穴住居電掘方掘削状況(南西より)



写真171 537号竪穴住居竈土層断面（東より）

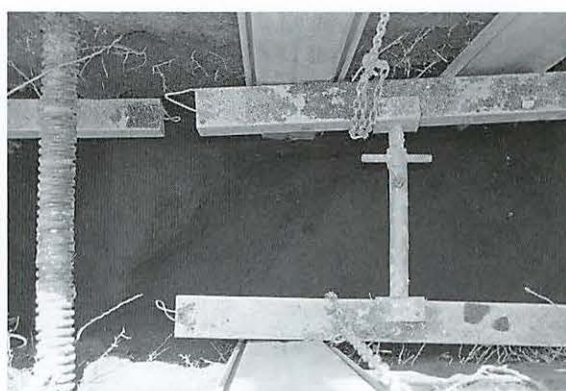


写真172 540号溝掘削状況（北より）

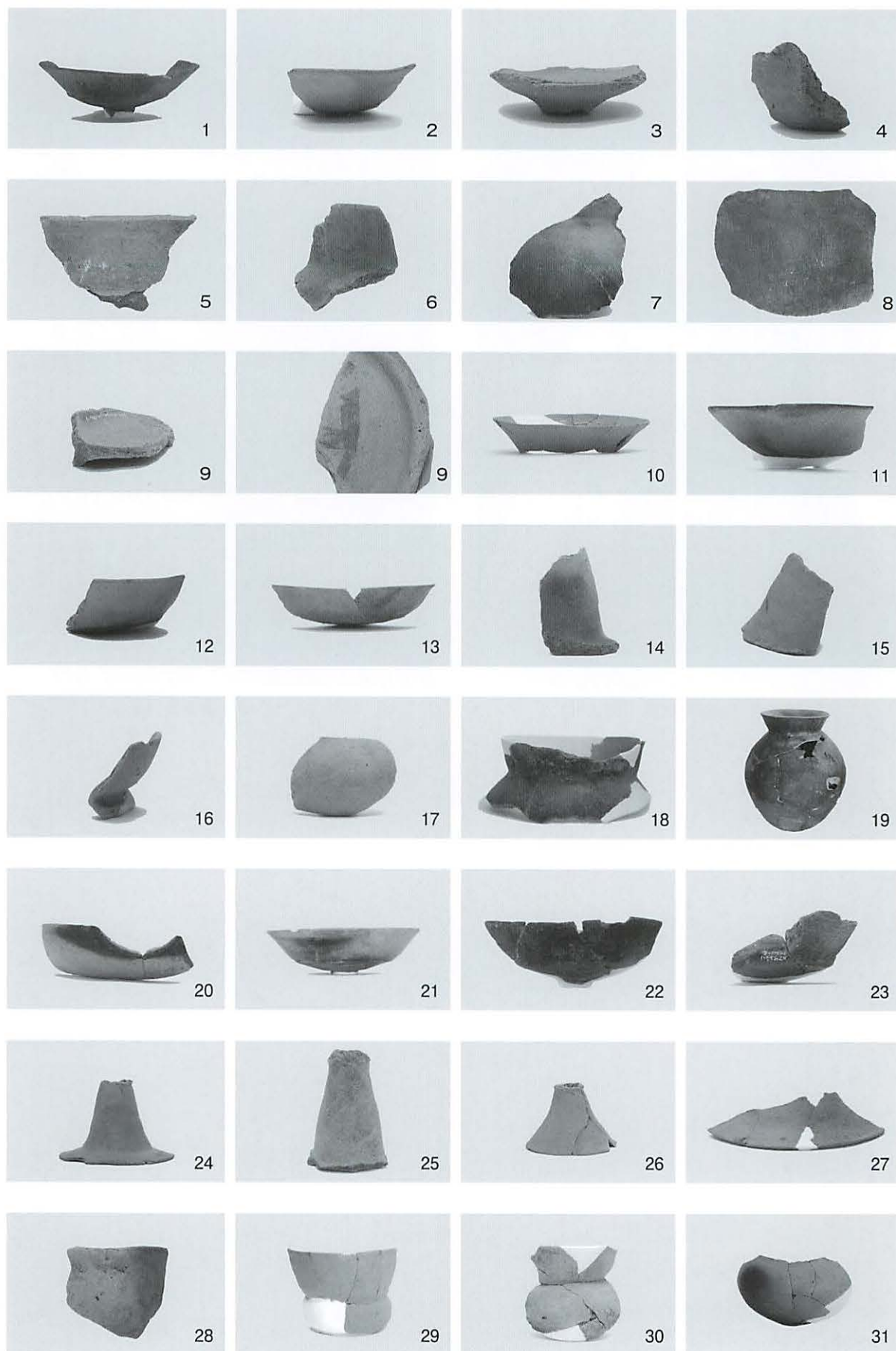


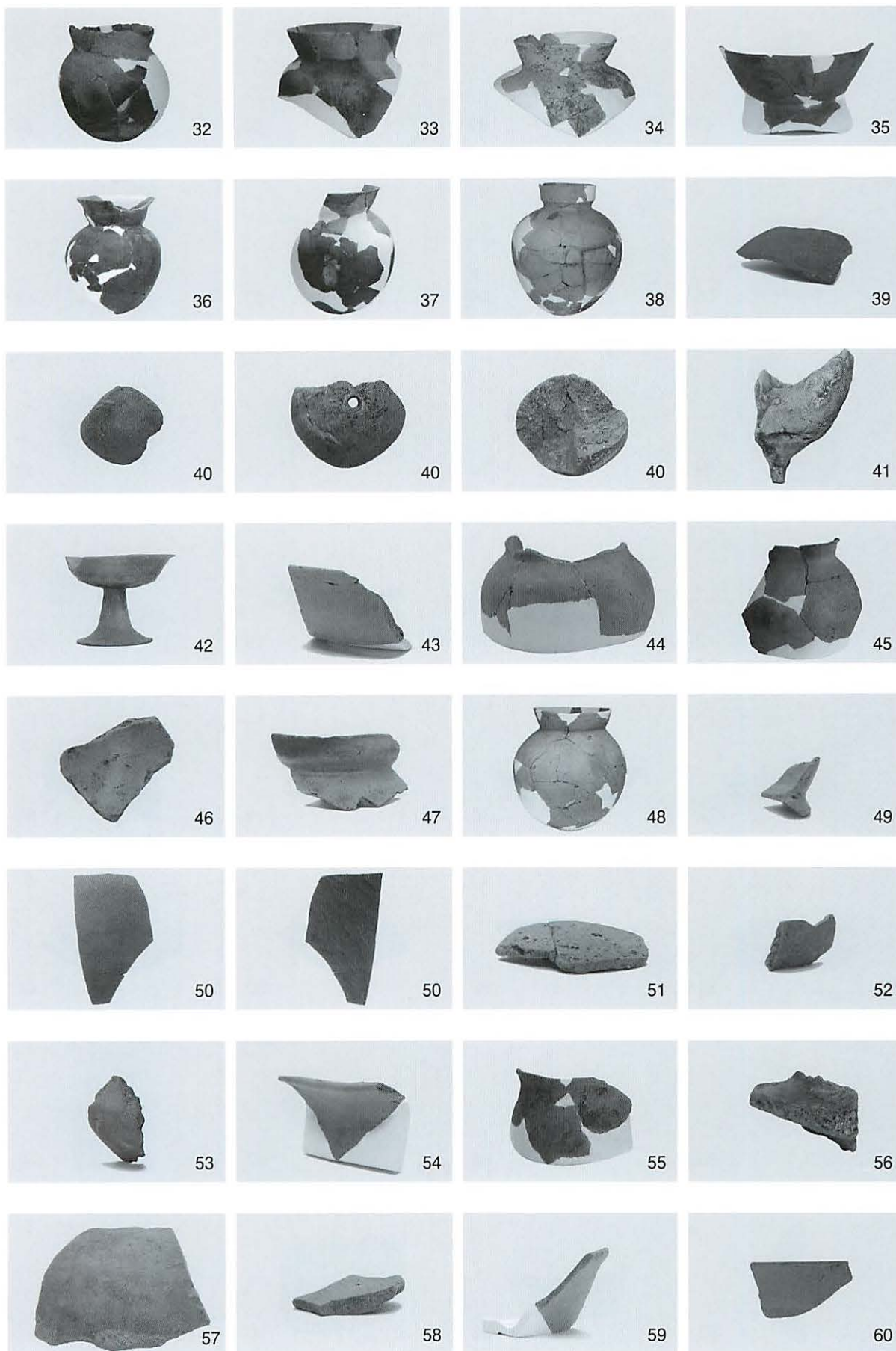
写真173 ③区間全景 (南より)

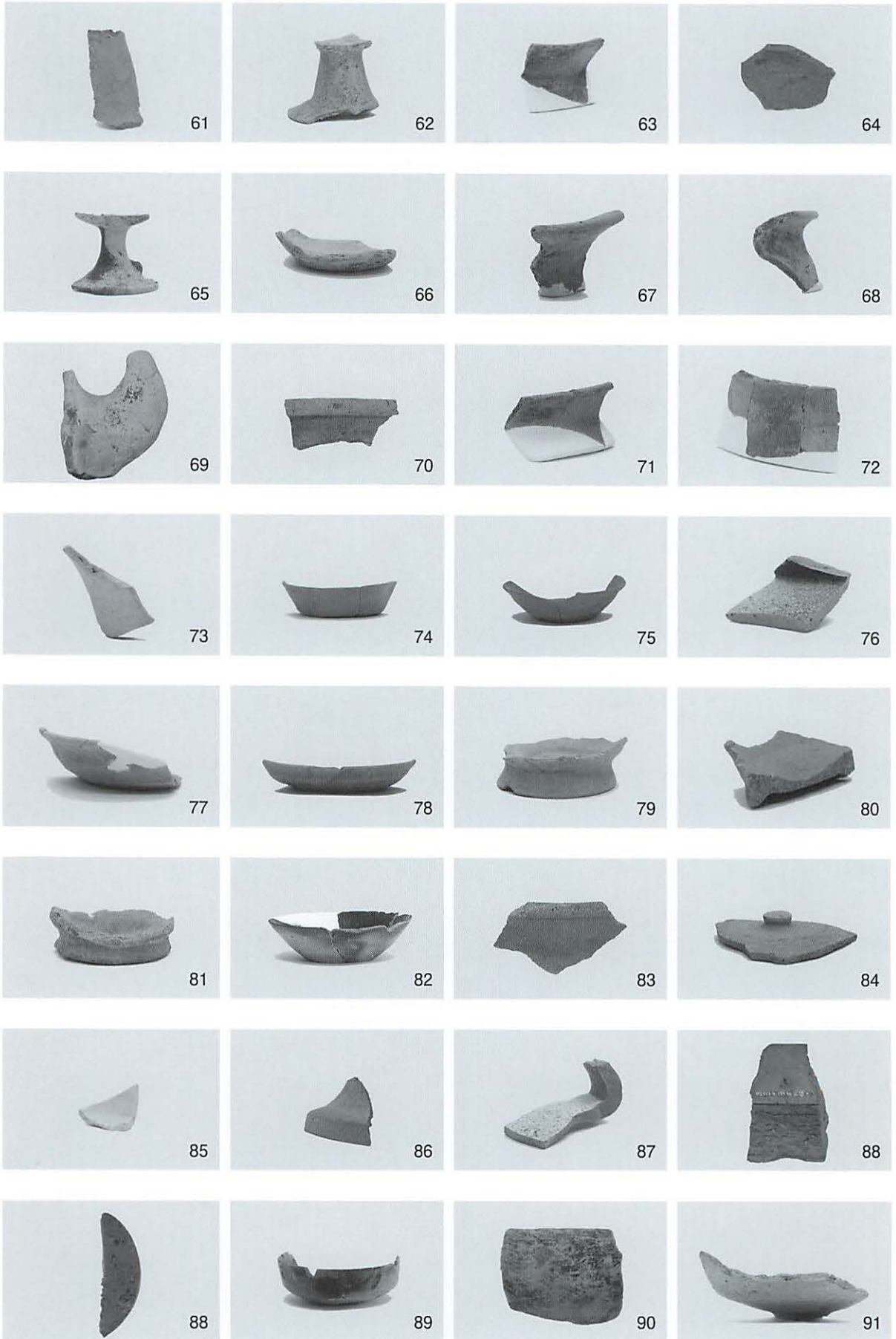


写真174 ⑧-3区間全景 (東より)

図版30 0411調査地点出土遺物 1

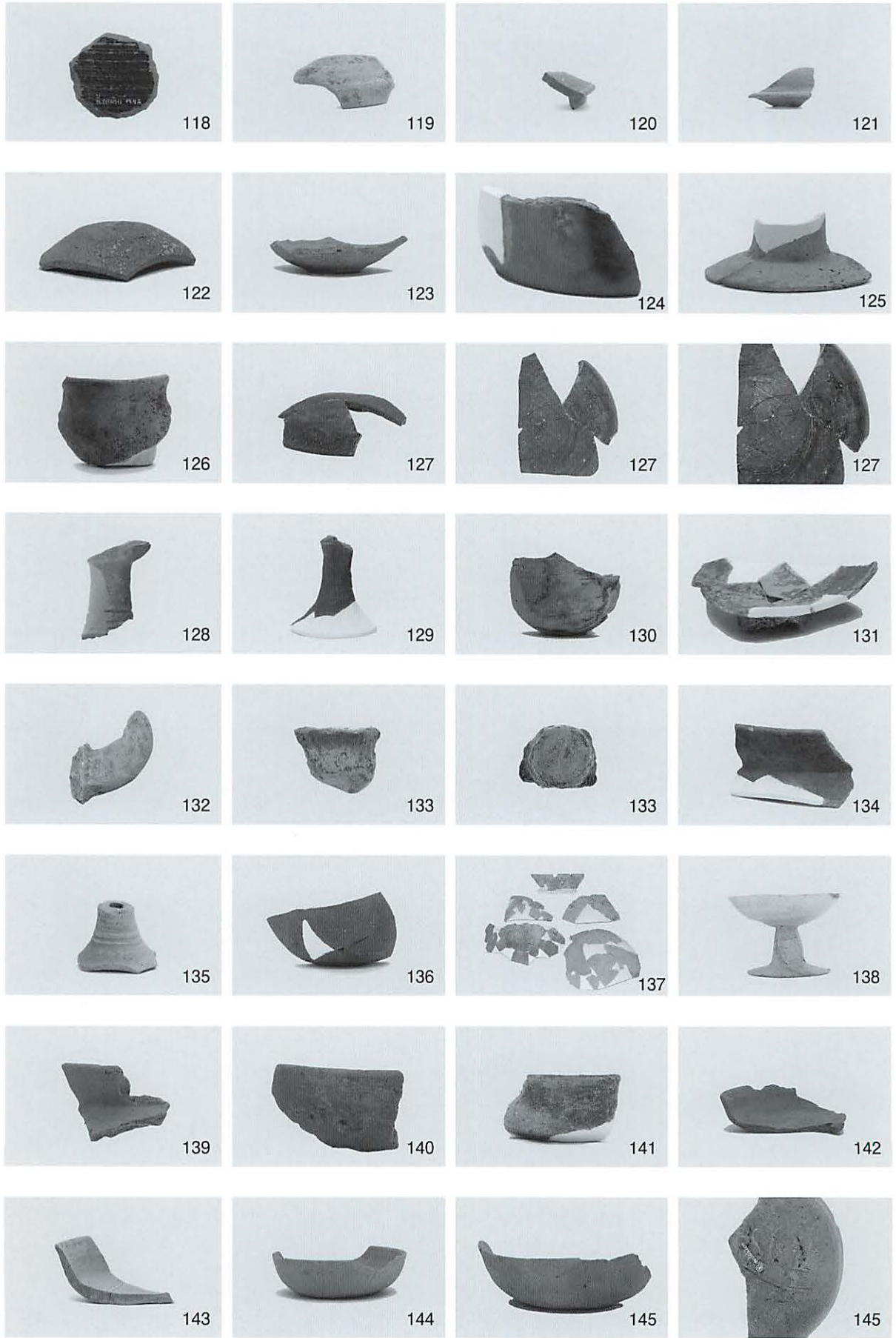




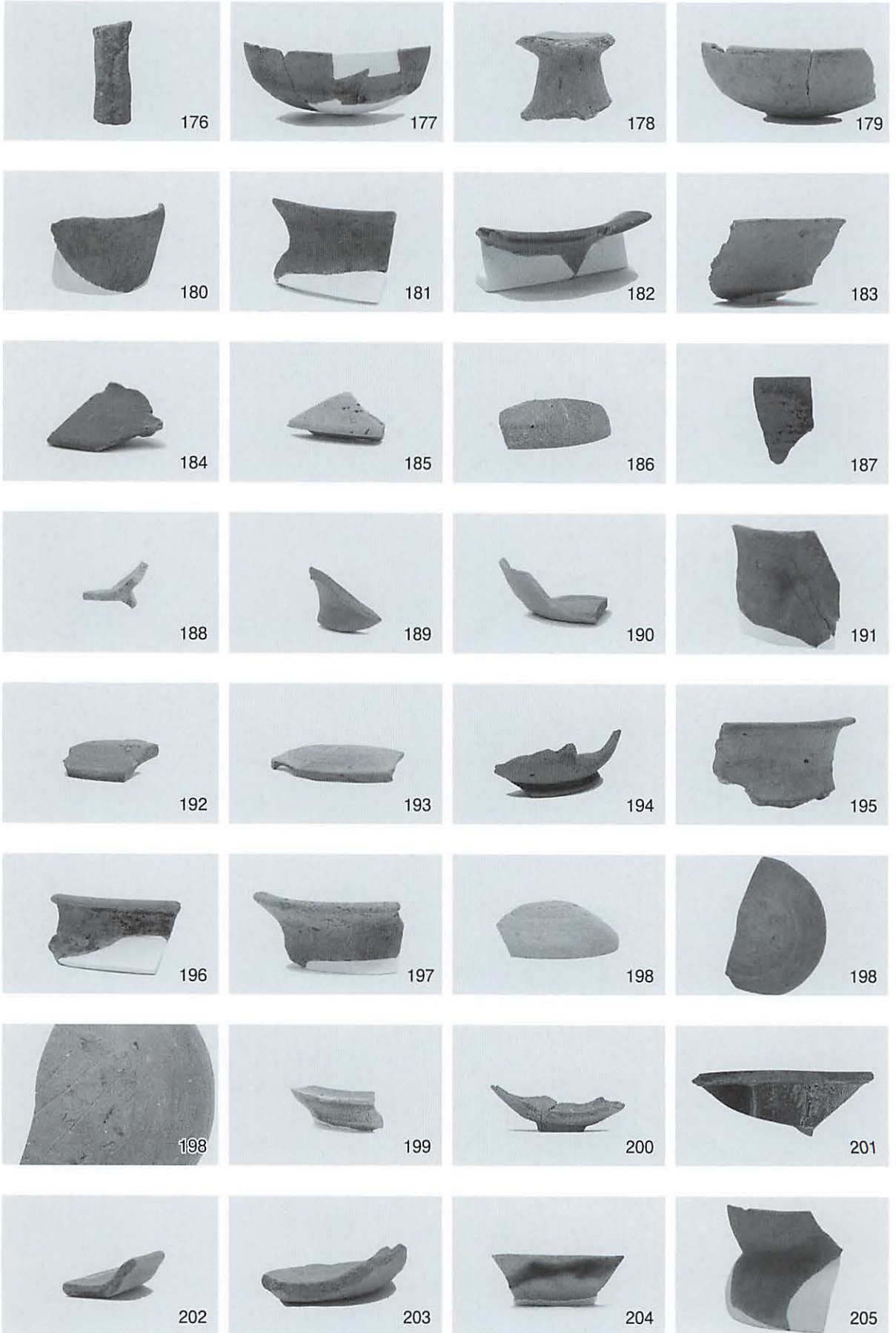




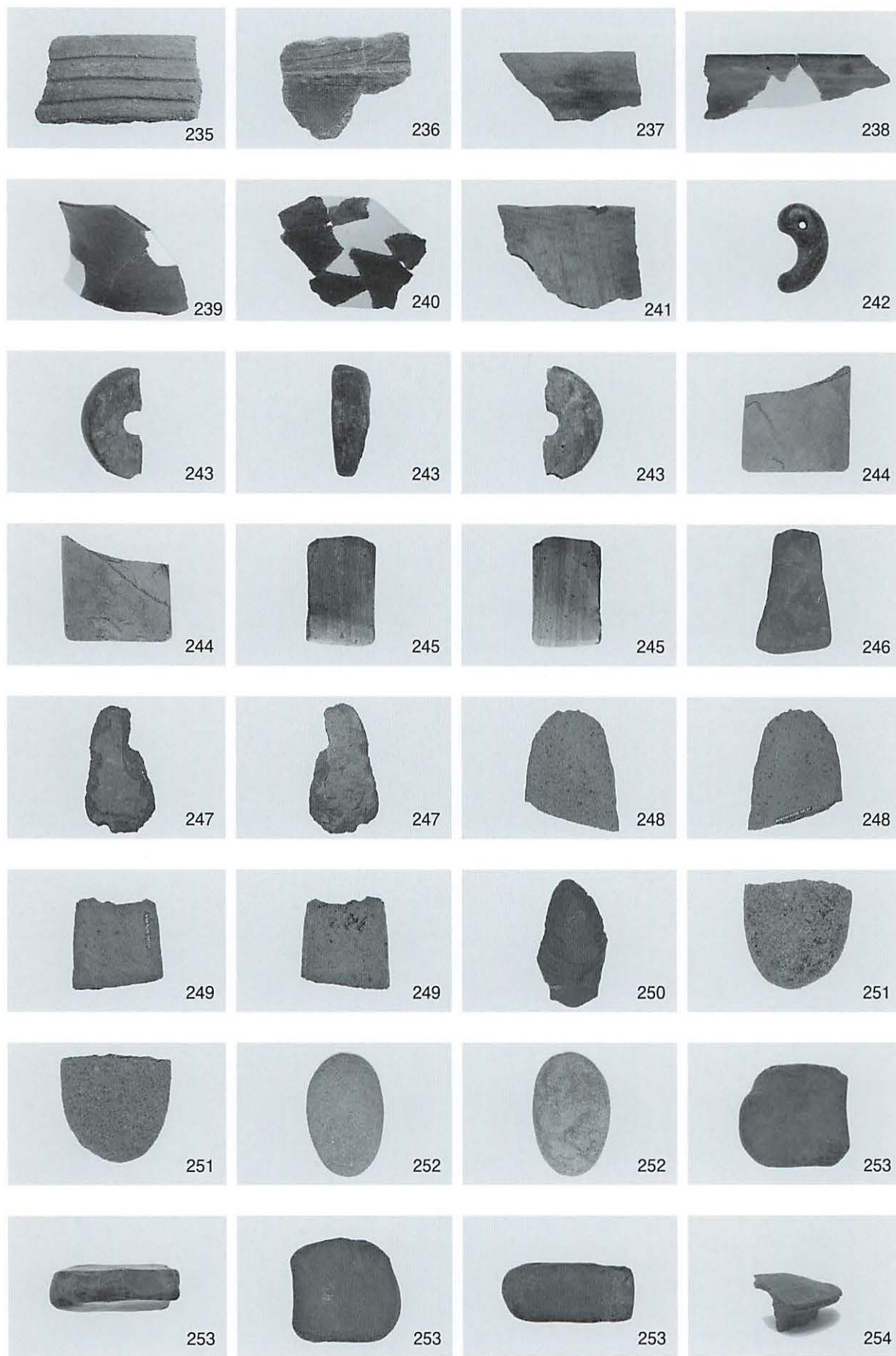
図版34 0411調査地点出土遺物5

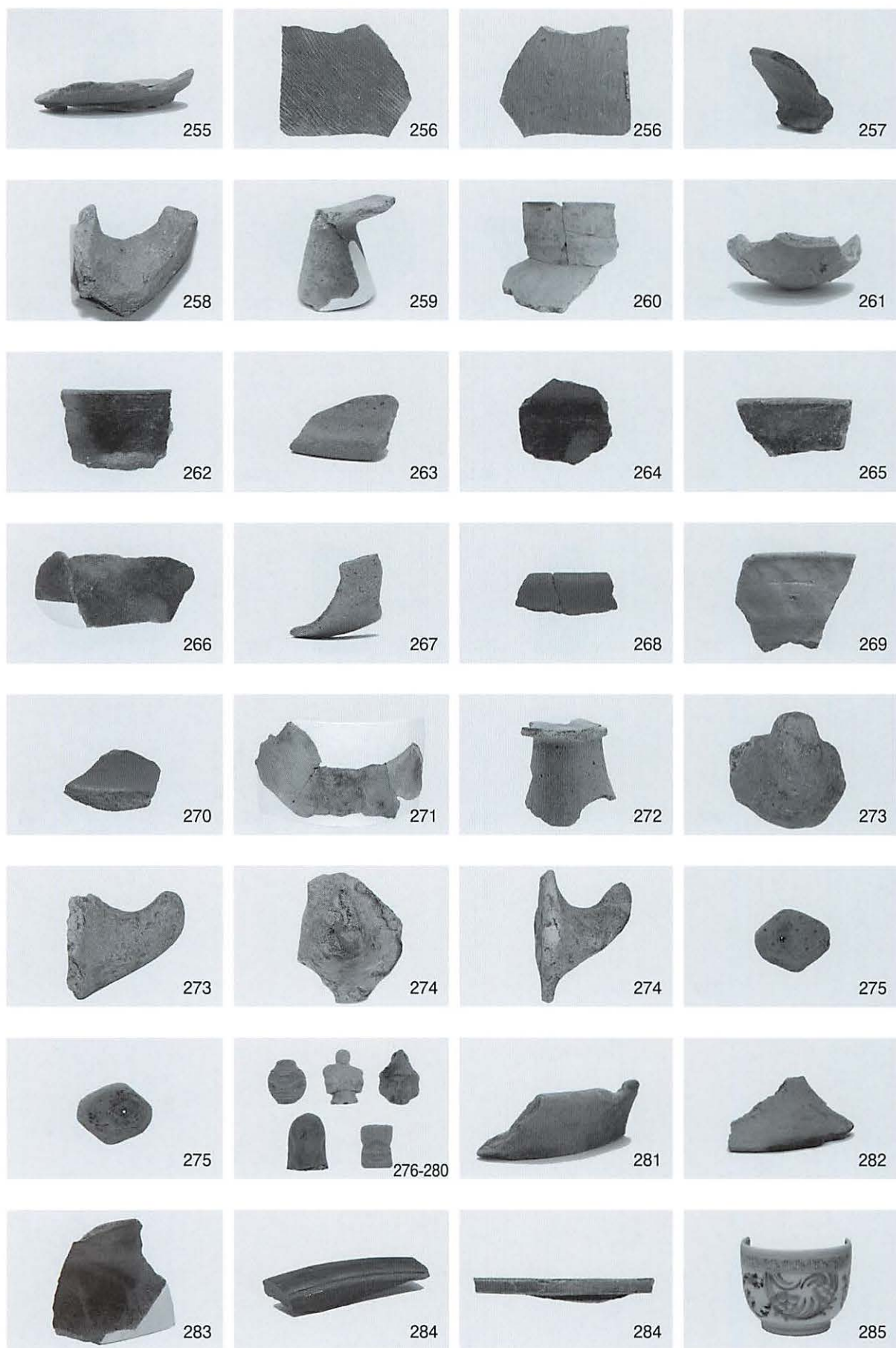












図版40 0411調査地点出土遺物11

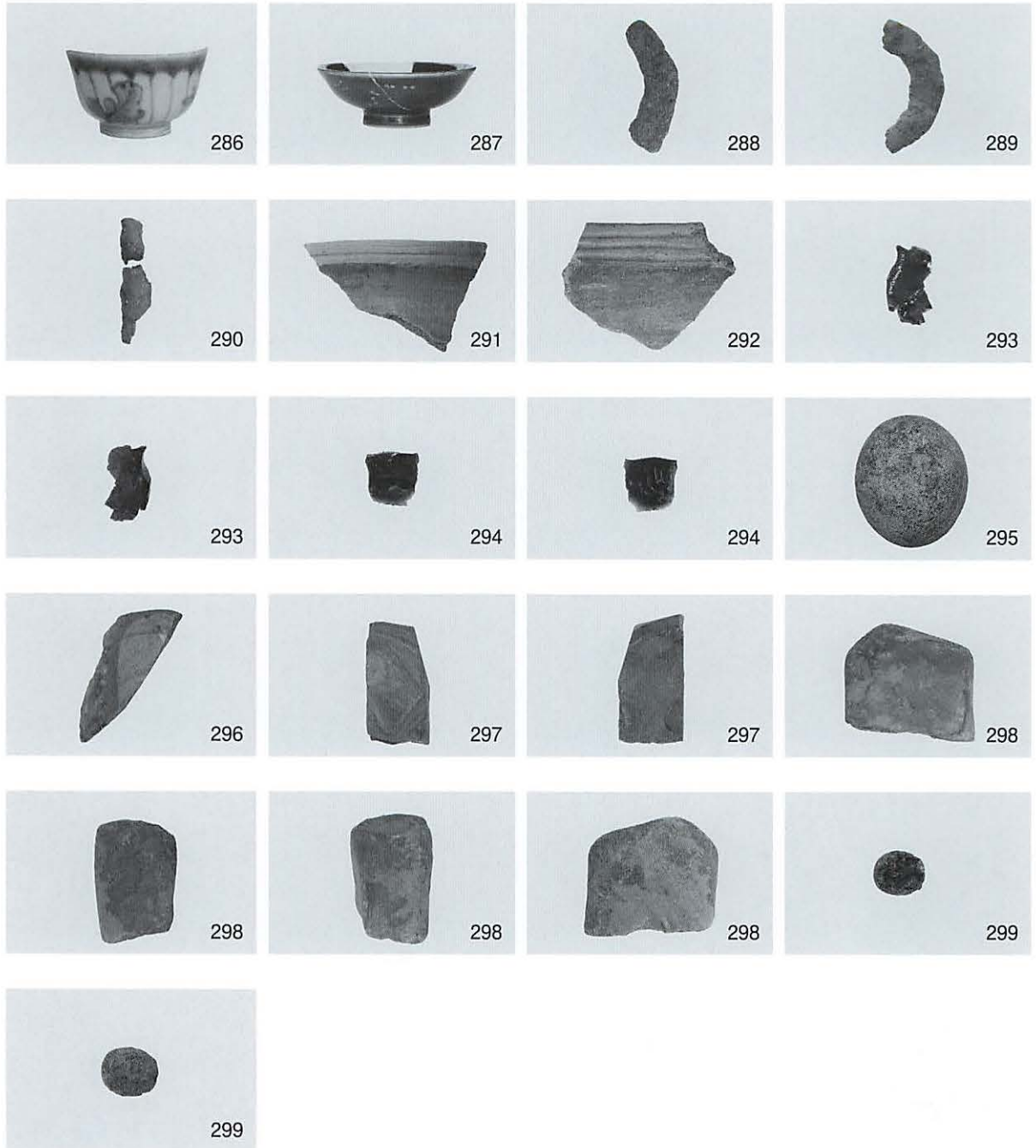




写真175 I区全景 (南より)

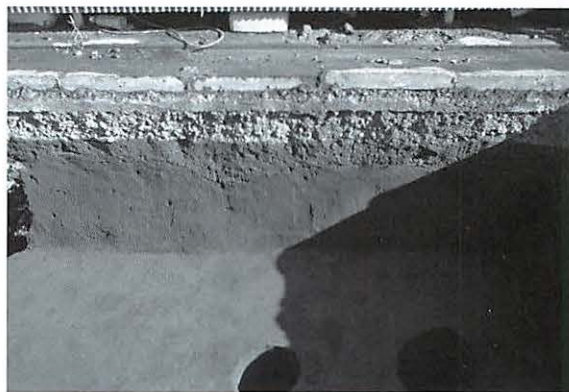


写真176 I区東壁土層断面 (西より)



写真177 II区北半全景 (南より)



写真178 II区南半全景 (南西より)



写真179 II区東壁土層断面 (北半) (南西より)



写真180 II区東壁土層断面 (南半) (北東より)



写真181 III区全景 (北東より)



写真182 III区西側全景 (南西より)

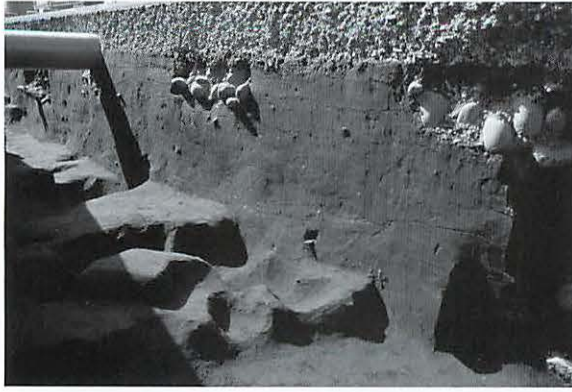


写真183 Ⅲ区東壁（北半）土層断面（北東より）



写真184 Ⅲ区東壁（南半）土層断面（南西より）



写真185 Ⅲ区西壁（中央）土層断面（北東より）



写真186 Ⅲ区西壁（南半）土層断面（北東より）



写真187 56号竪穴住居掘削状況（北東より）



写真188 56号竪穴住居遺物出土状況（東より）



写真189 56号竪穴住居遺物出土状況（北より）



写真190 56号竪穴住居土層断面（西半）（南より）



写真191 56号竪穴住居土層断面(東半)(南より)



写真192 56号竪穴住居掘削状況(北より)



写真193 20号土坑完掘状況(北西より)



写真194 1号竪穴住居遺物出土状況1(西より)



写真195 1号竪穴住居遺物出土状況2(西より)



写真196 1号竪穴住居掘削状況(西より)



写真197 1号竪穴住居完掘状況(西より)



写真198 8号・16号竪穴住居?完掘状況(西より)



写真199 17号竪穴住居付近焼土検出状況1(南より)



写真200 17号竪穴住居付近焼土検出状況2(南より)



写真201 32号竪穴住居遺物検出状況(南より)



写真202 32号竪穴住居遺物出土状況(東より)



写真203 32号竪穴住居(Ⅱ区部分)掘削状況(南より)



写真204 32号竪穴住居(Ⅱ区部分)完掘状況(南より)



写真205 42号竪穴住居遺物出土状況(北東より)



写真206 42号竪穴住居遺物出土状況(北西より)



写真207 42号竪穴住居遺物出土状況(北西より)



写真208 42号竪穴住居遺物出土状況(北より)



写真209 42号竪穴住居粘土・焼土検出状況(南東より)



写真210 42号竪穴住居焼土下遺物出土状況(南東より)



写真211 42号竪穴住居掘削状況(北東より)



写真212 47号竪穴住居遺物出土状況(西より)



写真213 47号竪穴住居土層断面(西より)



写真214 47号竪穴住居完掘状況(東より)



写真215 48号竪穴住居周辺上面遺物出土状況(北東より)



写真216 48号竪穴住居周辺上面遺物出土状況(南西より)



写真217 48号竪穴住居周辺上面遺物出土状況(南西より)



写真218 48号竪穴住居周辺上面遺物出土状況(南東より)



写真219 48号竪穴住居上面遺物出土状況(南東より)



写真220 48号竪穴住居上面焼土等検出状況(北西より)



写真221 48号竪穴住居上面焼土等検出状況(北東より)



写真222 48号竪穴住居遺物出土状況(北東側)(北東より)



写真223 48号竪穴住居遺物出土状況(北東側)(北西より)



写真224 48号竪穴住居遺物出土状況(北東側)(南西より)



写真225 48号竪穴住居遺物出土状況(南西側)(南西より)



写真226 48号竪穴住居焼土検出状況(南東より)



写真227 48号竪穴住居焼土検出状況(北東より)



写真228 48号竪穴住居土層断面(南西より)



写真229 48号竪穴住居炉土層断面(北東より)



写真230 48号竪穴住居炉完掘状況(南東より)



写真231 48号竪穴住居掘削状況(南西側)(南東より)



写真232 48号竪穴住居掘削状況(北東側)(南東より)



写真233 48号竪穴住居西壁粘土除去状況(西より)



写真234 49号竪穴住居掘削状況(南より)



写真235 49号竪穴住居完掘状況(南より)



写真236 50号竪穴住居遺物出土状況(北より)



写真237 50号竪穴住居遺物出土状況(北より)



写真238 50号竪穴住居掘削状況(南より)



写真239 50号竪穴住居焼土・粘土検出状況(北より)



写真240 54号竪穴住居上面遺物出土状況(北東より)



写真241 54号竪穴住居上面遺物出土状況(南西より)



写真242 54号竪穴住居上面遺物出土状況(南西より)



写真243 54号竪穴住居上面遺物出土状況(西より)



写真244 54号竪穴住居遺物出土状況(西より)



写真245 54号竪穴住居遺物出土状況(西より)



写真246 54号竪穴住居鉄製品出土状況(南より)



写真247 54号竪穴住居土層断面（南より）



写真248 55号竪穴住居掘削状況（西より）



写真249 43号溝掘削状況（南より）



写真250 44号溝掘削状況（南より）



写真251 3号ピット上面土錘出土状況（西より）



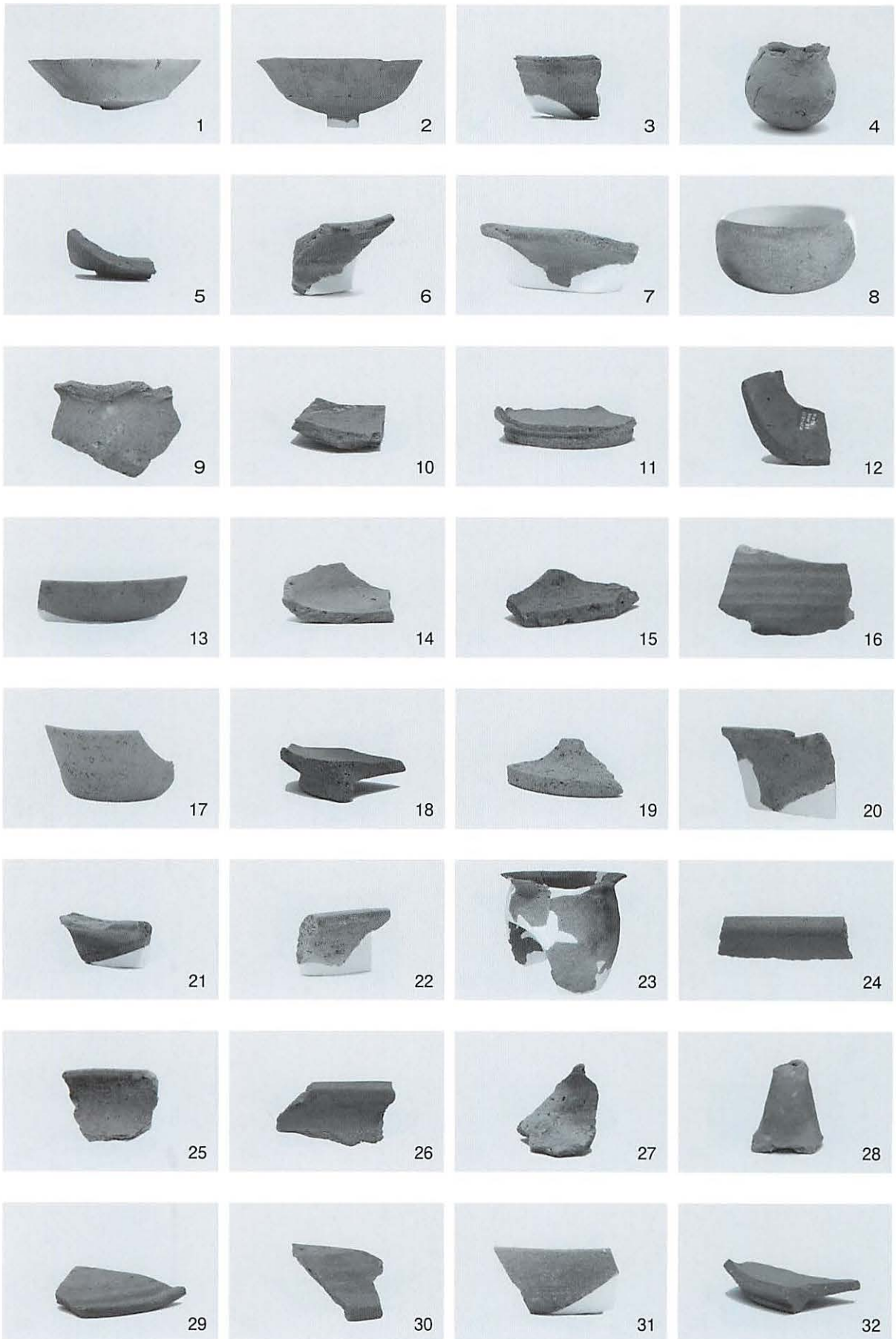
写真252 3号ピット上面土錘出土状況（南より）

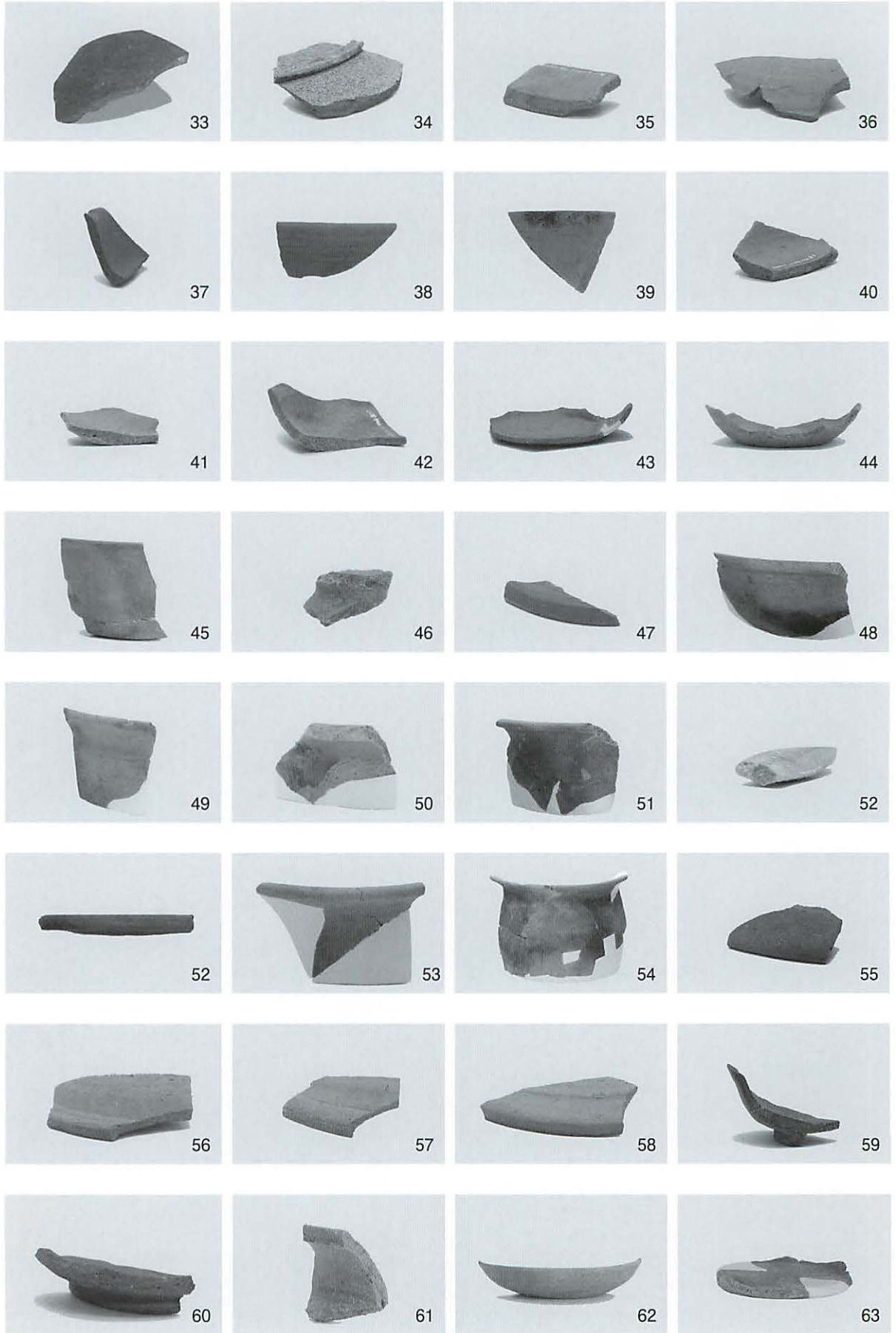


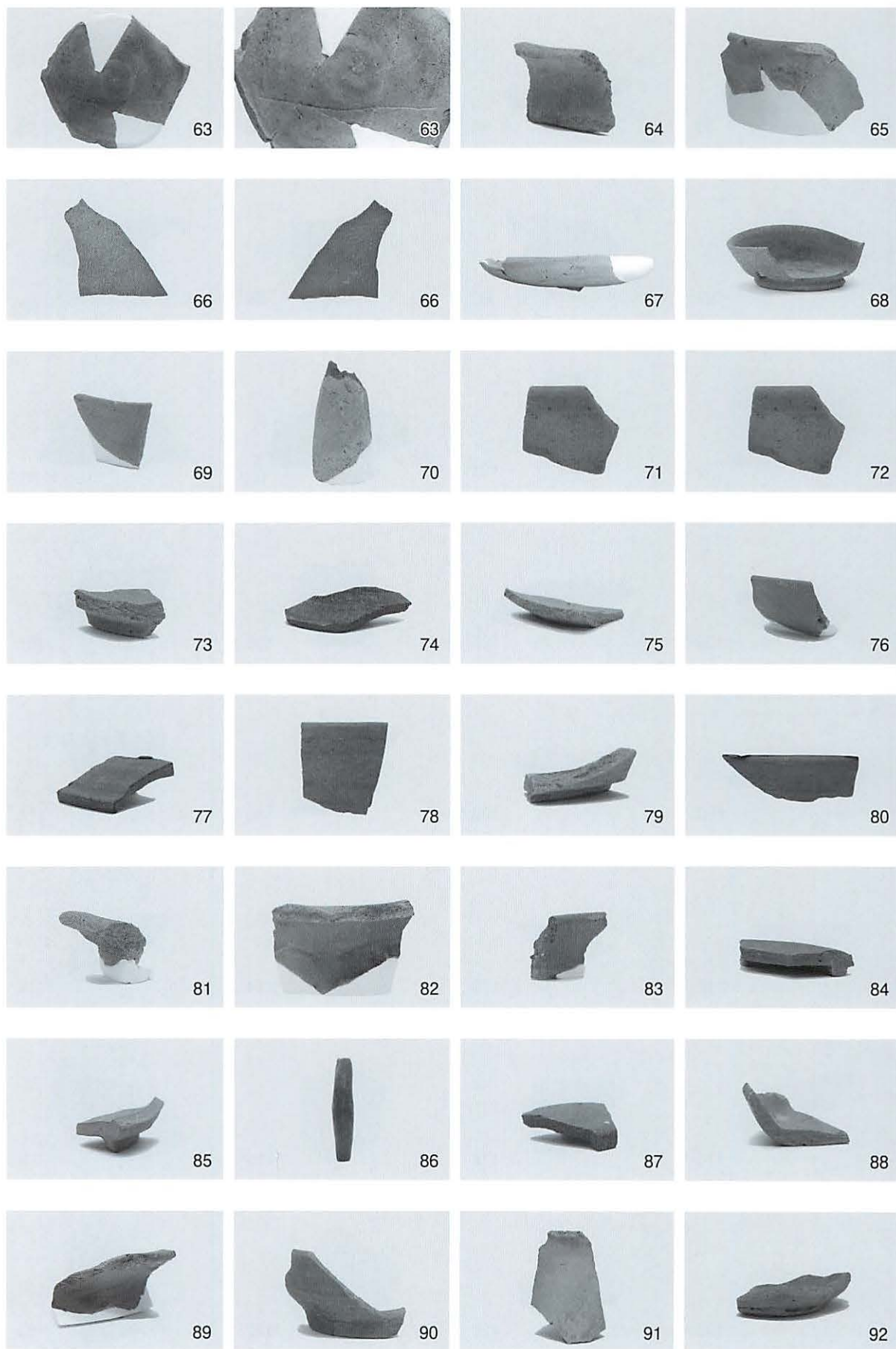
写真253 41号土坑掘削状況（南より）



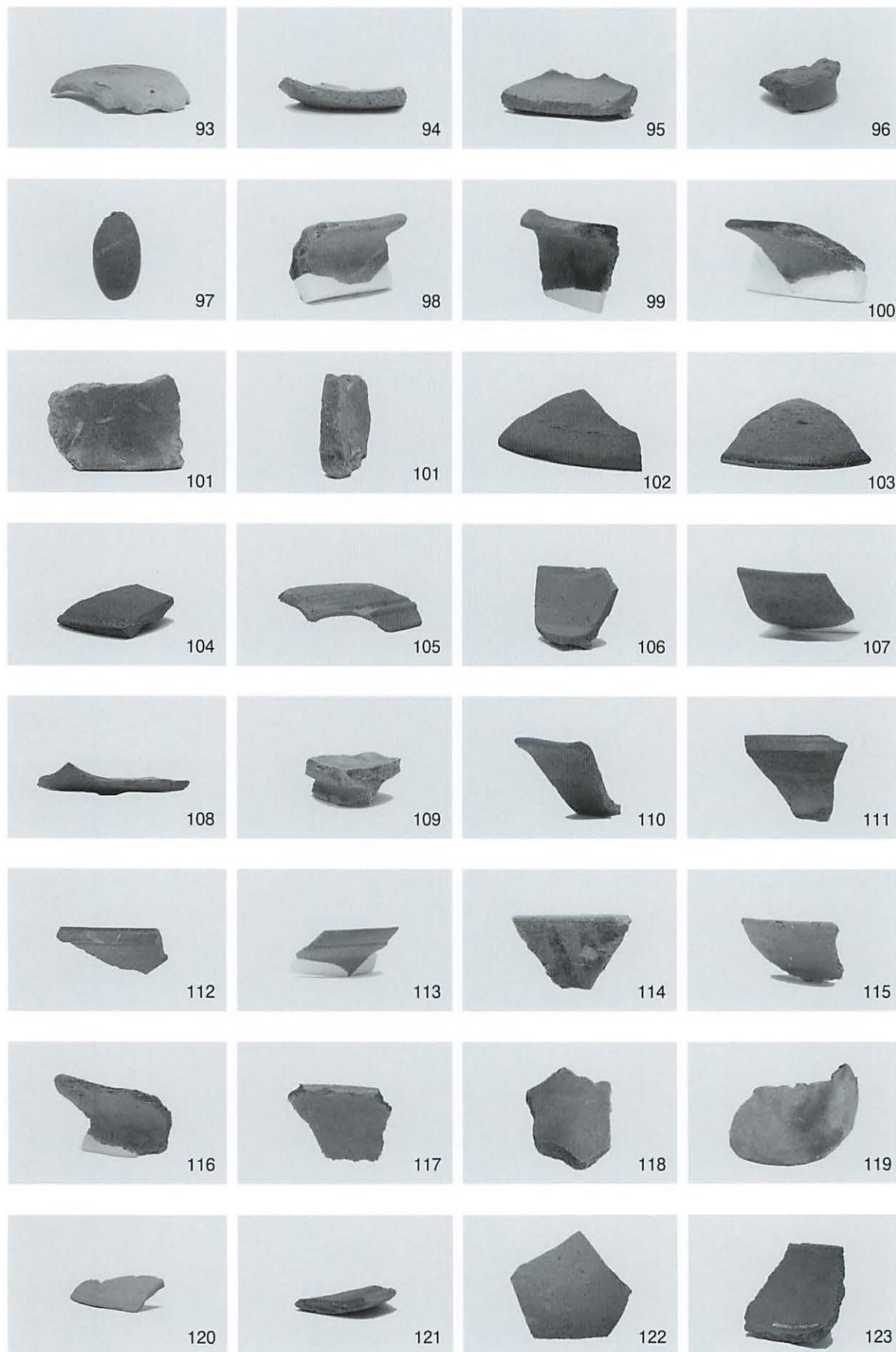
写真254 41号土坑土層断面（西より）

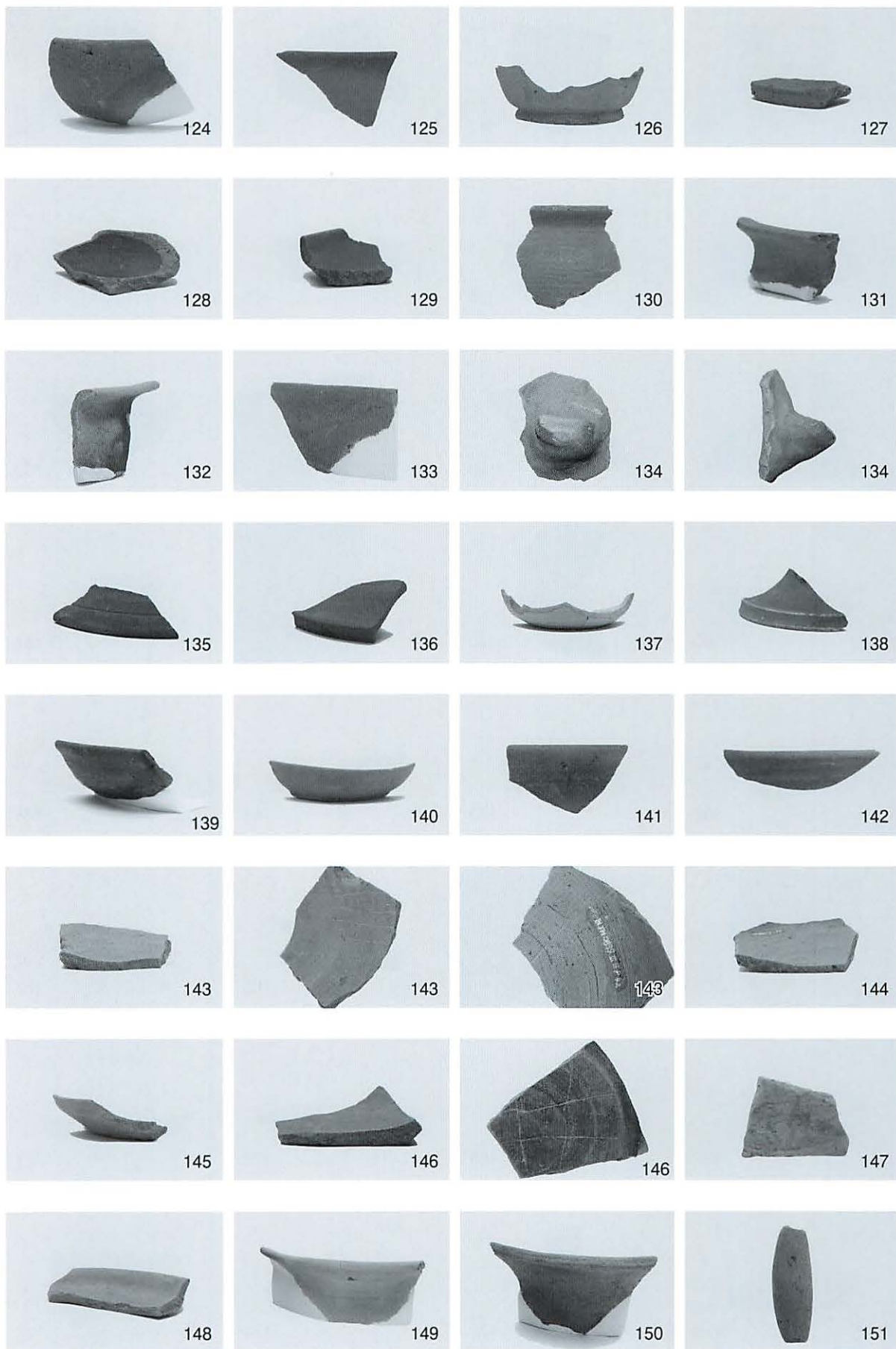




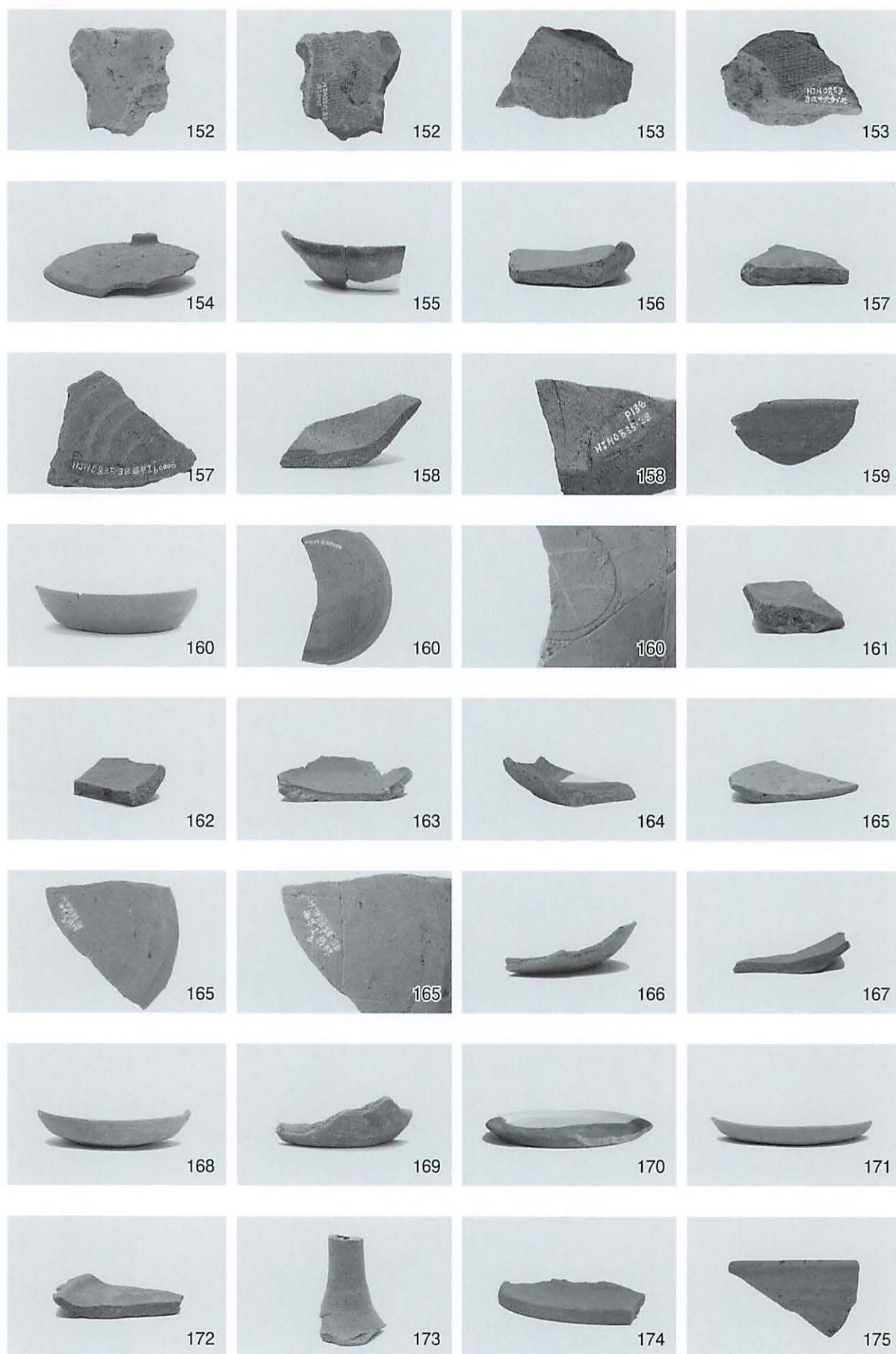


図版54 0835調査地点出土遺物 4





図版56 0835調査地点出土遺物6



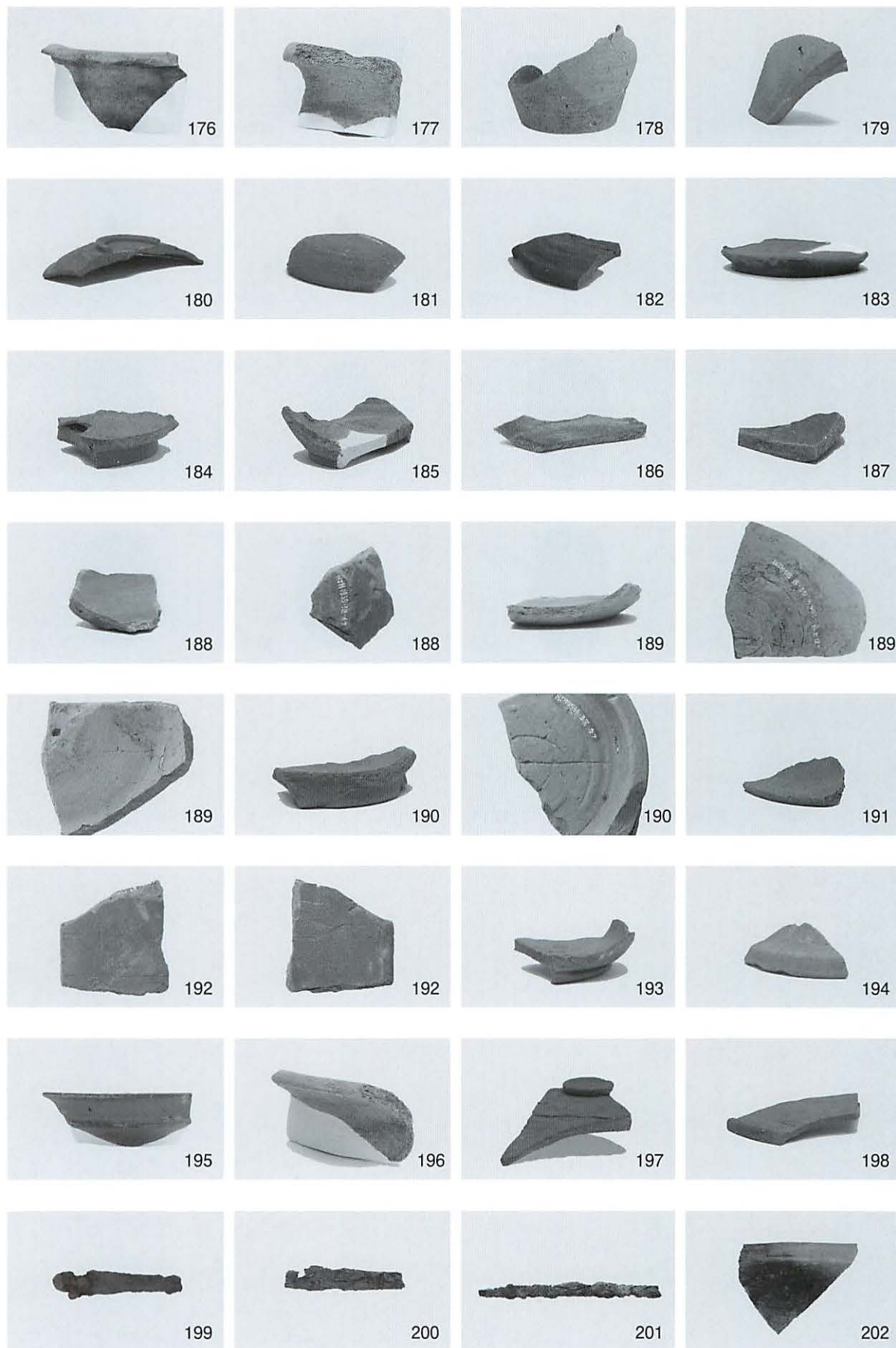






写真255 西部掘削状況（北より）



写真256 西部遺構掘削状況（西より）



写真257 107号溝完掘状況（南より）



写真258 北西部南半遺構掘削状況（東より）



写真259 北西部北半遺構掘削状況（北より）



写真260 155号竪穴住居竈検出状況（南より）



写真261 東部掘削状況（東より）



写真262 東部遺構掘削状況（南より）

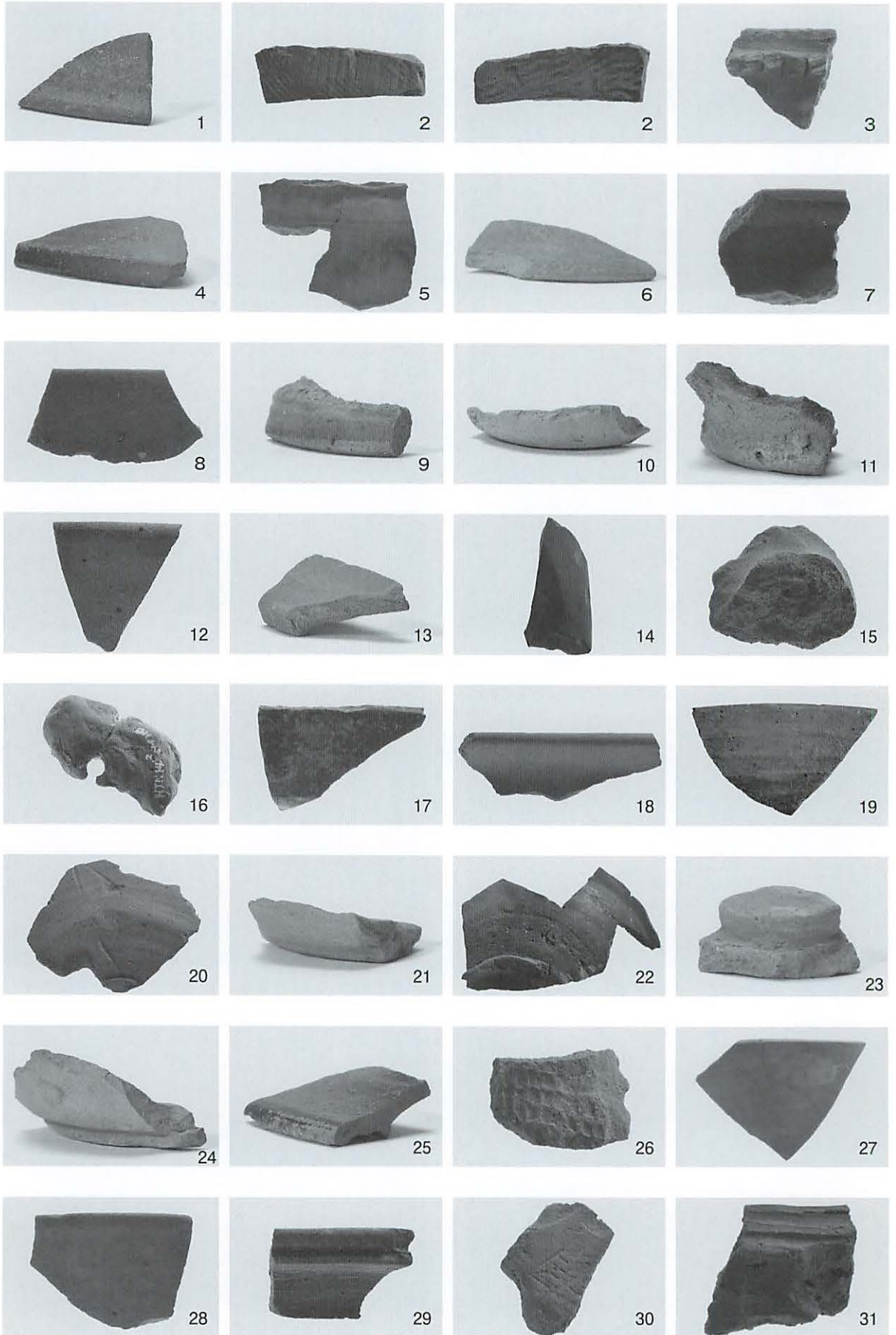




写真263 掘削状況（南東より）



写真264 4号溝完掘状況（南より）



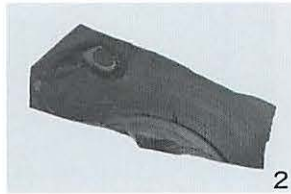
写真265 遺構掘削状況（南より）



写真266 土層断面（西より）



1



2



3



4



5



6



7



8



10



11



12



13



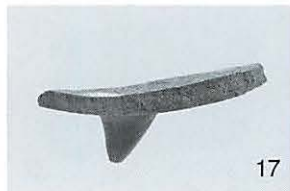
14



15



16



17



写真267 調査区全景 (北より)



写真268 調査区近景 (北東より)



写真269 2号竖穴住居・1号ピット完掘状況(南より)





写真270 調査区近景 (北西より)



写真271 調査区全景 (南東より)

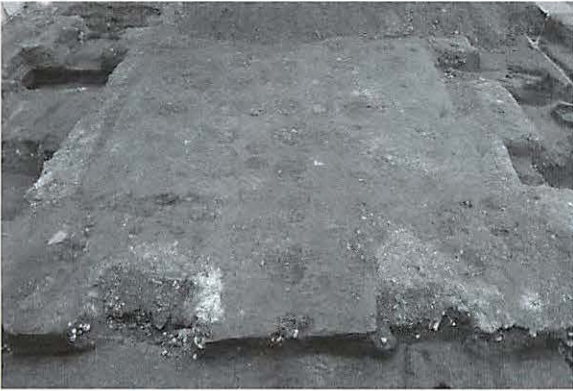


写真272 60号建物基礎掘削状況 (北より)

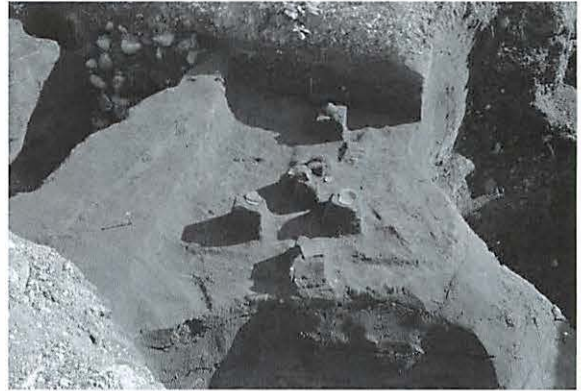


写真273 20号竪穴住居遺物出土状況 (北より)



写真274 20号竪穴住居掘削状況 (北より)



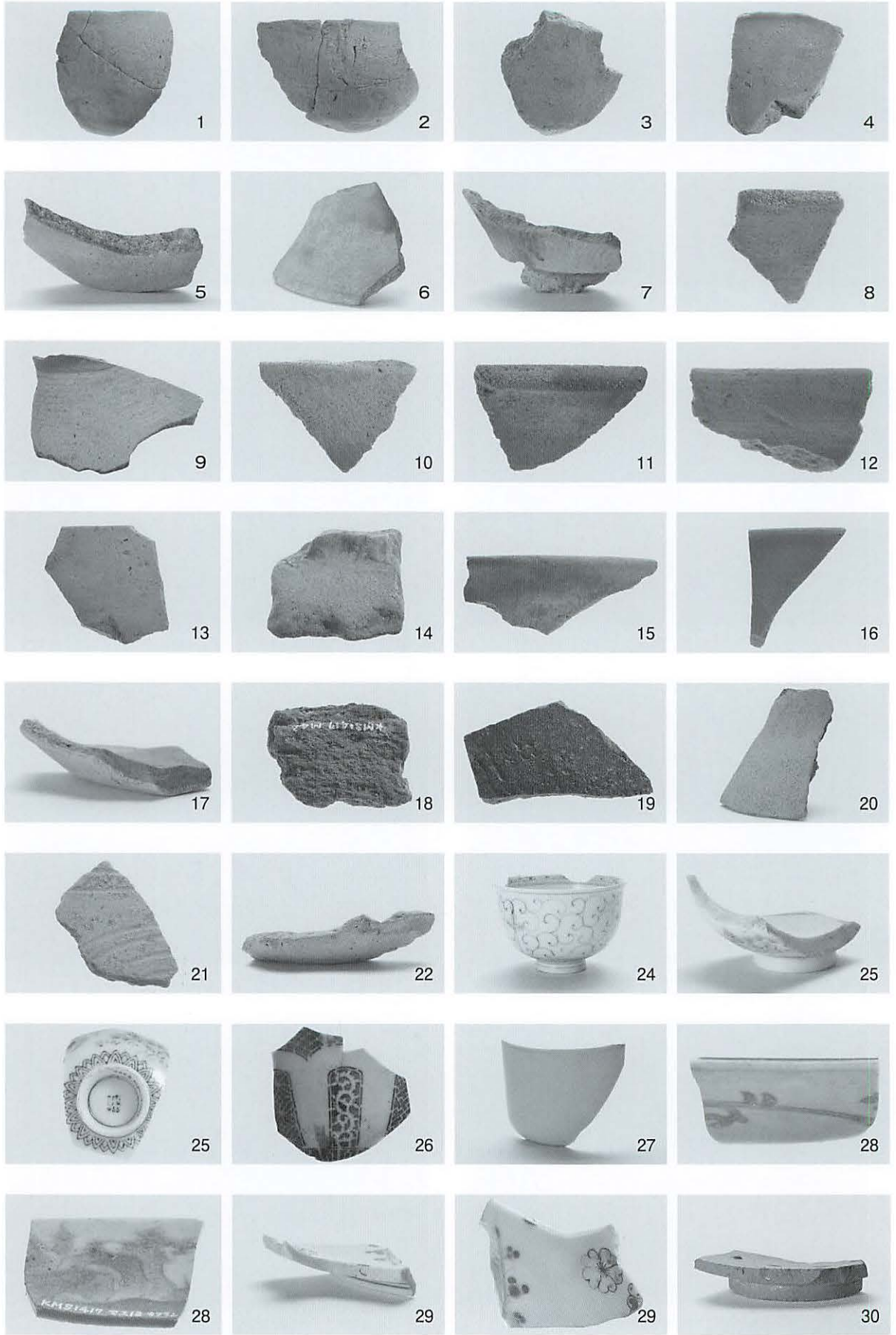
写真275 37号竪穴住居掘削状況 (東より)



写真276 55号竪穴住居掘削状況 (北より)



写真277 65号竪穴住居掘削状況 (北より)



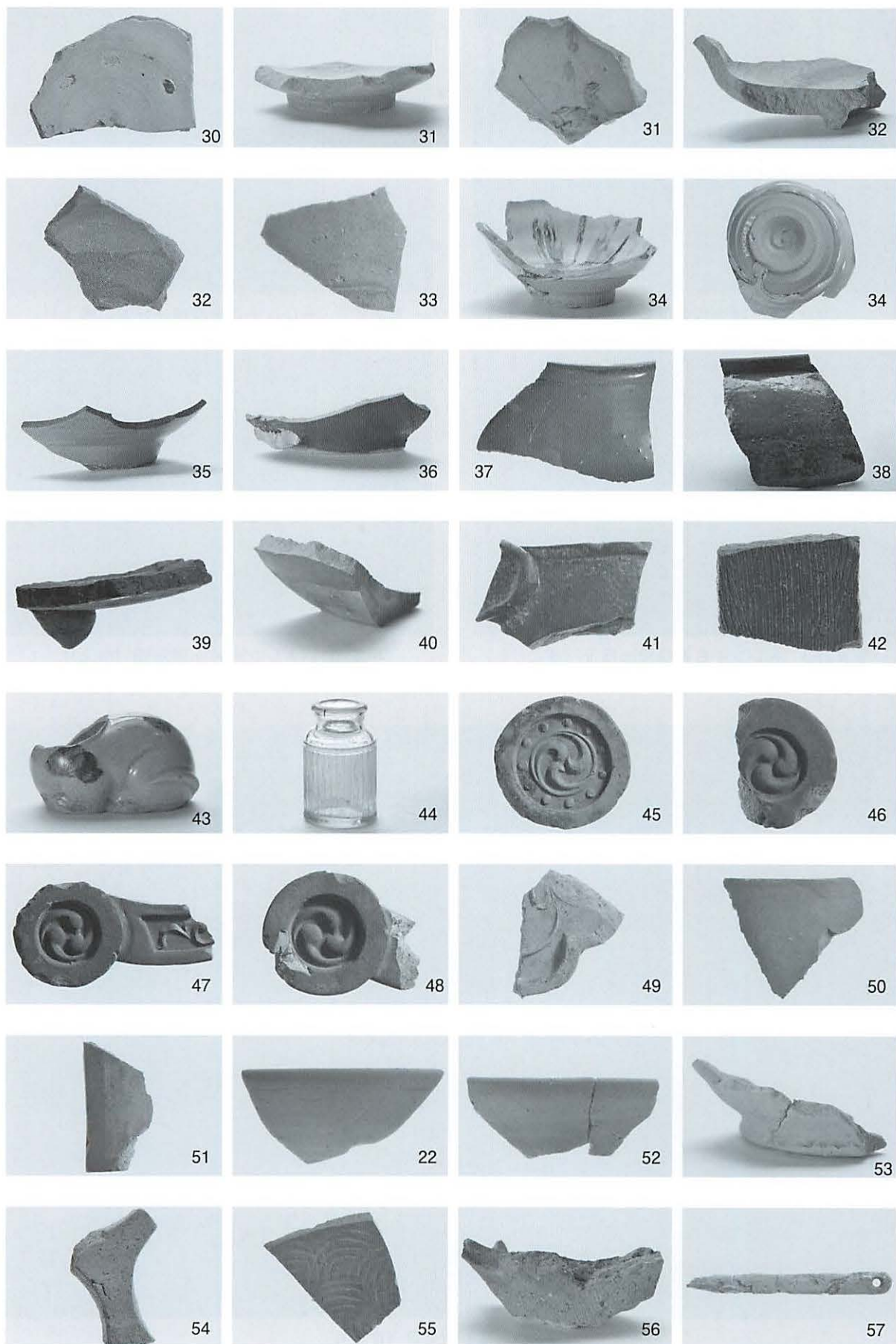




写真278 試掘作業風景 (南東より)



写真279 トレンチ4 遺構検出状況 (西より)



写真280 トレンチ6 遺構検出状況 (西より)



写真281 トレンチ6 土層断面 (南より)



写真282 第1面全景 (東より)



写真283 第1面ピット群 (東より)

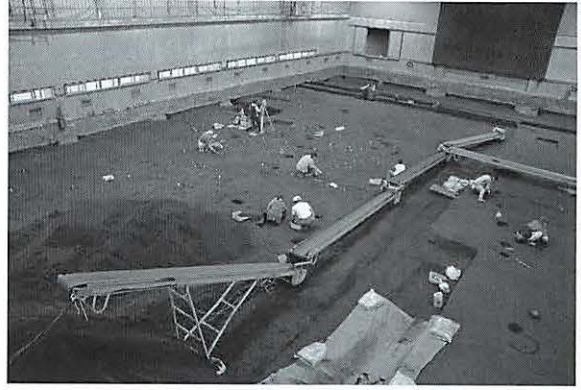


写真284 作業風景 (北東より)

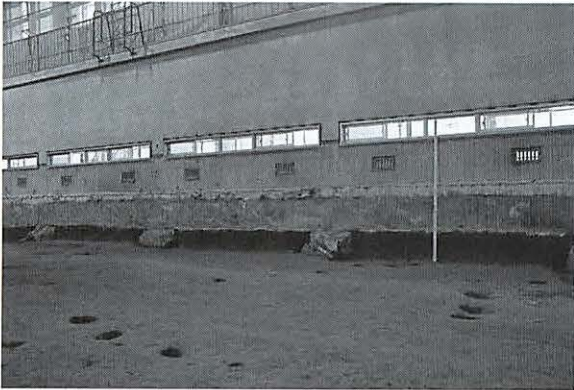


写真285 体育館南側土層断面遠景 (北西より)



写真286 体育館南側土層断面近景 (北西より)



写真287 体育館北側土層断面遠景 (南東より)

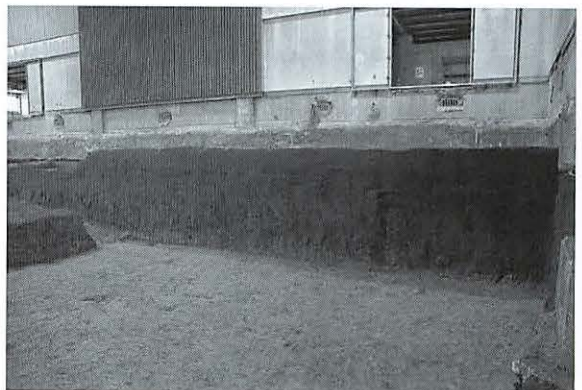


写真288 体育館北側土層断面近景 北半(北東より)



写真289 体育館北側土層断面近景 南半(北東より)

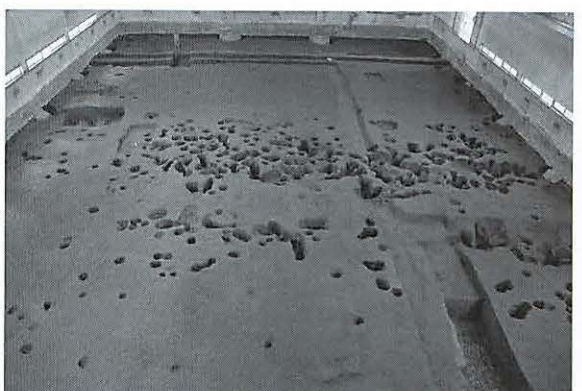


写真290 ピット群掘削状況 (東より)



写真291 ピット群掘削状況（北より）



写真293 道路跡検出状況（北より）



写真292 ピット群掘削状況（南より）



写真294 道路跡北側断面（北より）



写真295 道路跡南側断面（南より）



写真296 281号竪穴住居掘削状況（南西より）



写真297 281号豎穴住居焼土検出状況（東より）



写真298 415号豎穴住居遺物・硬化面検出状況（東より）



写真299 415号豎穴住居遺物・硬化面検出状況（東より）



写真300 539号土坑土層断面（東より）



写真301 539号土坑遺物出土状況1（南より）



写真302 539号土坑遺物出土状況2（南より）



写真303 539号土坑遺物出土状況3（北西より）



写真304 500号骨蔵器出土状況1（東より）



写真305 500号骨蔵器出土状況2 (西より)

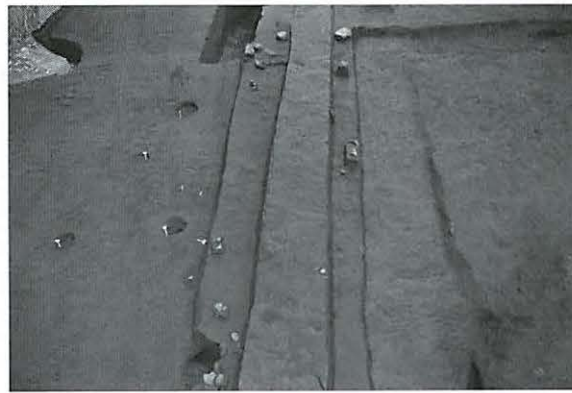


写真306 265号竪穴住居遺物出土状況1 (南より)



写真307 265号竪穴住居遺物出土状況2(北東より)



写真308 265号竪穴住居遺物出土状況3 (西より)

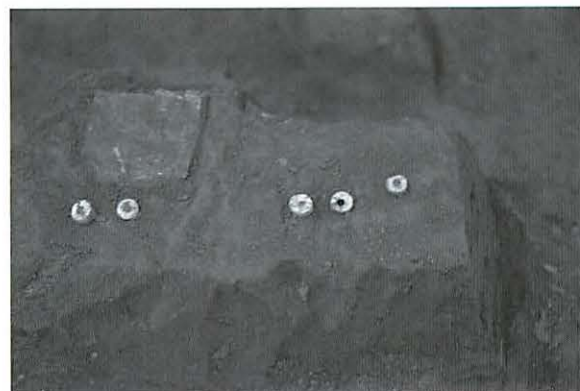


写真309 265号竪穴住居白玉出土状況 (北より)

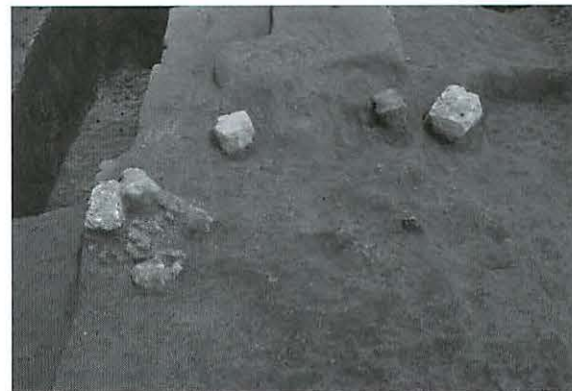


写真310 265号竪穴住居竈付近状況 (西より)



写真311 265号竪穴住居竈断ち割り状況 (南より)



写真312 265号竪穴住居竈南北土層断面(北半)(東より)



写真313 265号竪穴住居竈土層断面(東西、南半)(南西より)



写真314 265号竪穴住居竈東西土層断面(南西より)



写真315 265号竪穴住居竈掘削状況(南より)



写真316 265号竪穴住居竈完掘状況(南より)



写真317 265号竪穴住居完掘状況(南西より)



写真318 第3面検出状況(西より)

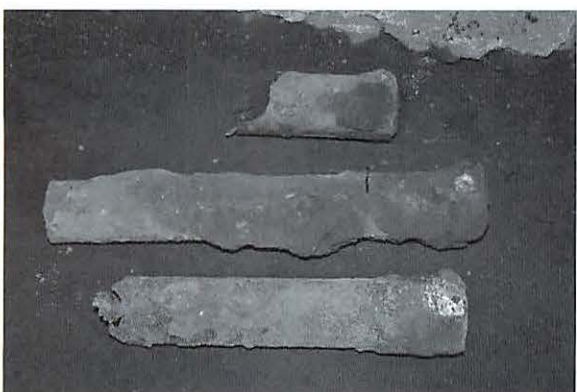
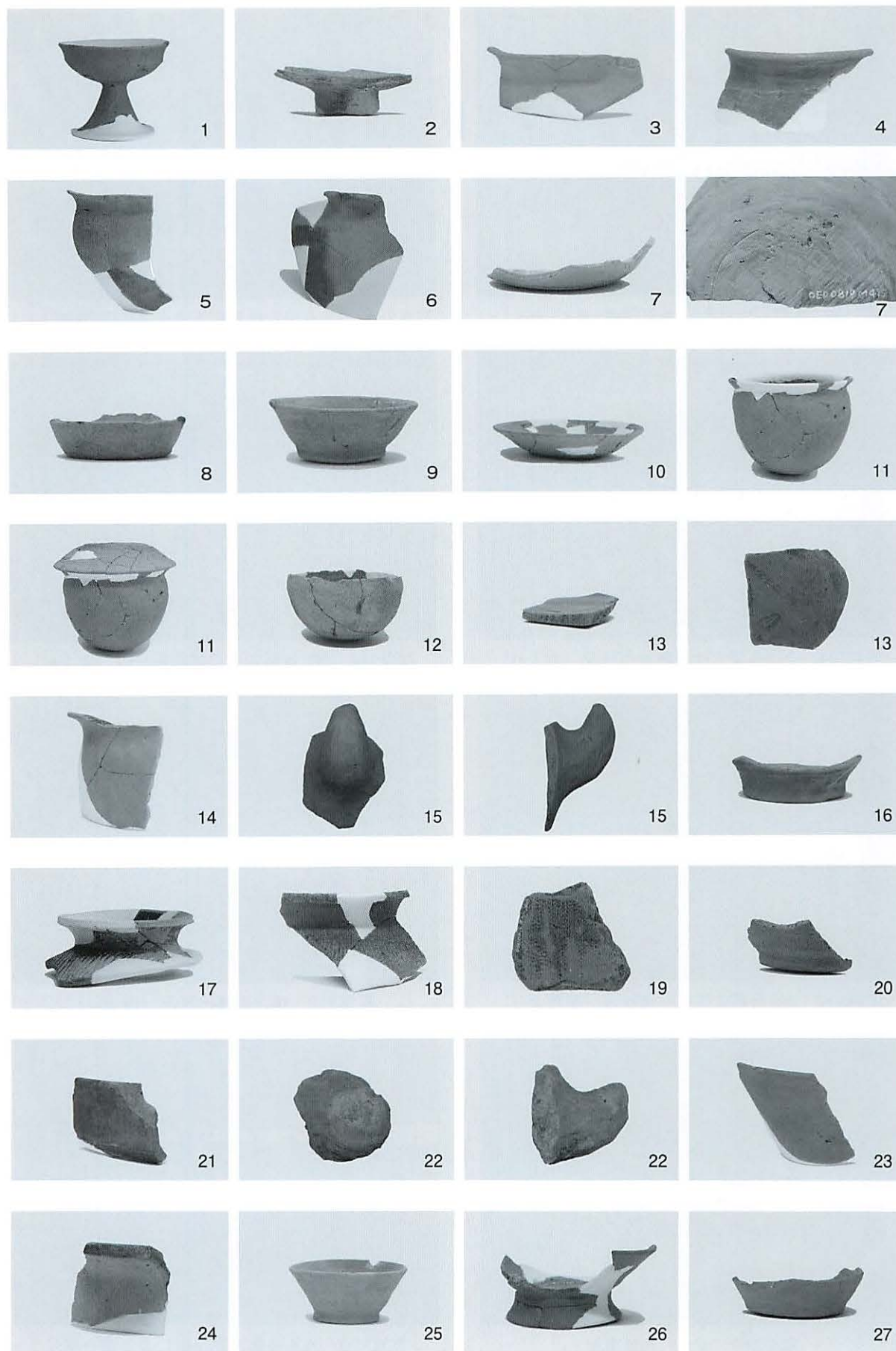
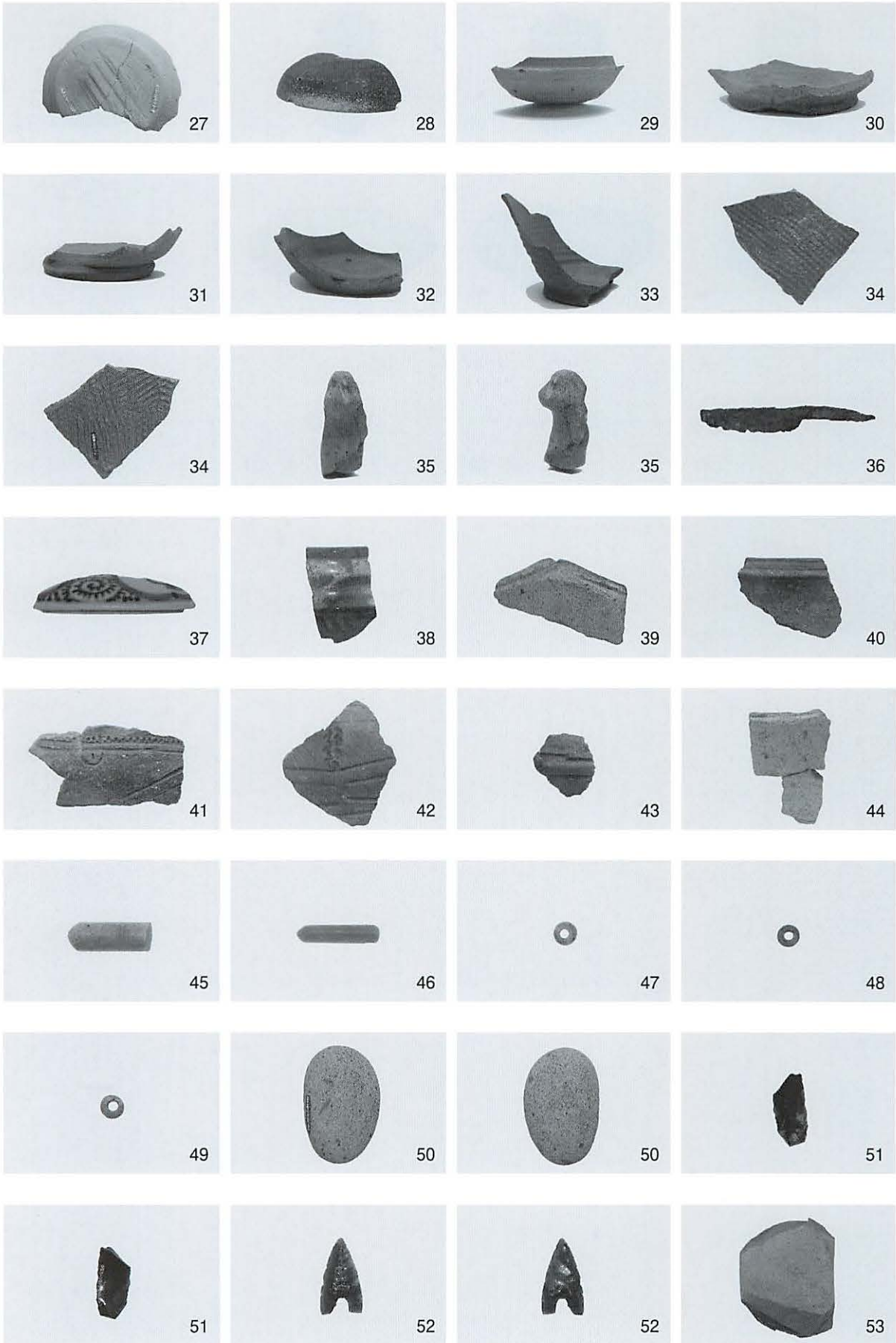


写真319 出土した焼夷弾

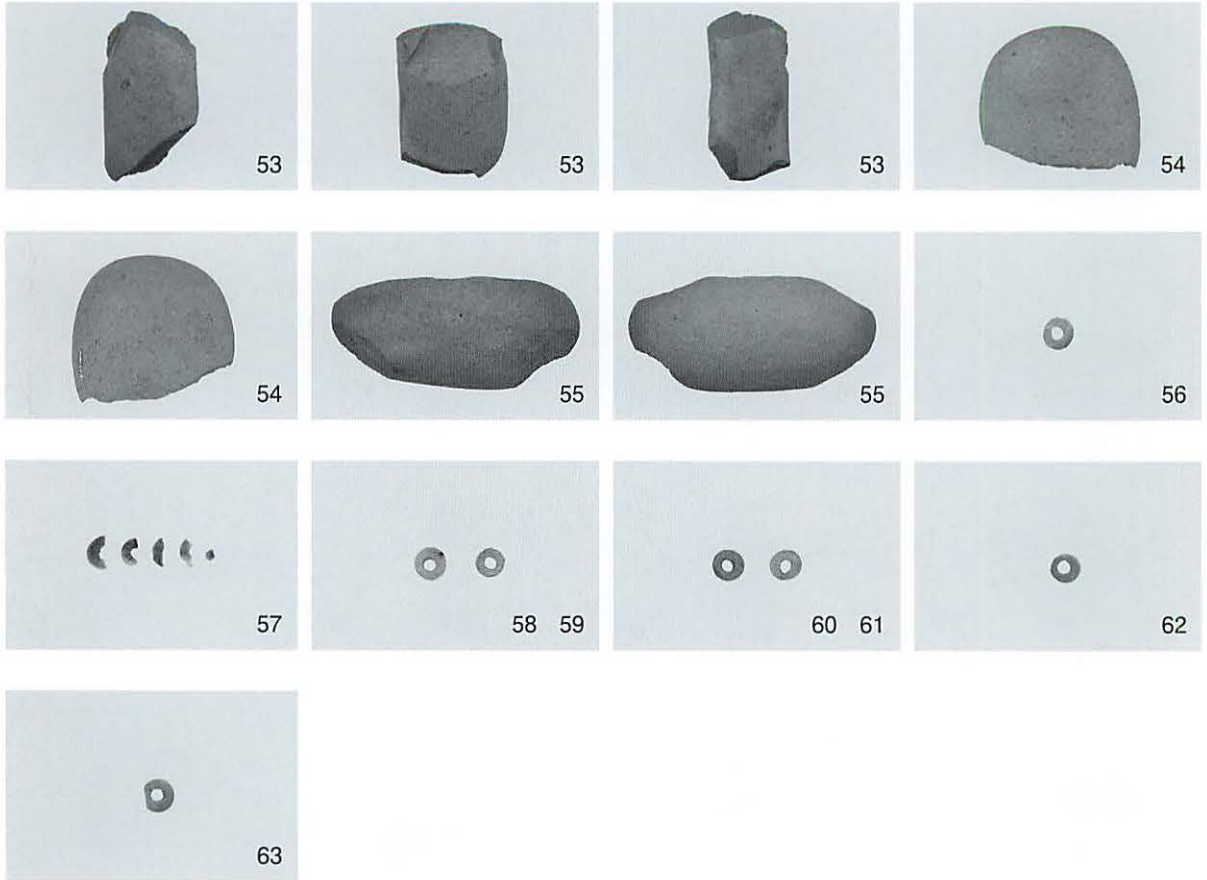


写真320 熊本県警と自衛隊による調査風景





図版74 0819調査地点出土遺物3



報告書抄録

ふりがな	くまもとだいがくこうないせきはつつちょうさほうこくⅫ							
書名	熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅻ							
副書名								
巻次								
シリーズ名	熊本大学埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ号	12							
編著者名	大坪志子・松田光太郎・吉留広							
編集機関	熊本大学埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1 TEL. 096-342-3832 FAX. 096-342-3832							
発行年月日	2017年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
くろかみまち 黒髪町遺跡群 (0836地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 49' 3"	130° 43' 38"	20081222 20081224 20081225 20090105 ～ 20090227 20090310	456.54㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡群 (1514地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 48' 53"	130° 43' 43"	20151026 ～ 20160301	78.9㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡群 (1524地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 48' 52"	130° 43' 43"	20160105 ～ 20160229	412.3㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡群 (1528地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 49' 3"	130° 43' 38"	20160212 ～ 20160222	311.0㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡群 (0806地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 48' 44"	130° 43' 42"	20080625 ～ 20080701 20080728 ～ 20080730	1250.2㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡群 (0806Ⅱ地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 48' 44"	130° 43' 42"	20081218 ～ 20081219	76.75㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡群 (0809地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 48' 44"	130° 42' 39"	20080701 ～ 20080704	23.5㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
ほんじょう 本庄遺跡 (0411地点)	熊本県 熊本市 本庄	43 201	285	32° 47' 41"	130° 43' 42"	20041101 ～ 20041222 20050127 ～ 20050205 20050214 ～ 20050316	644.4㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
ほんじょう 本庄遺跡 (0835地点)	熊本県 熊本市 本庄	43 201	285	32° 47' 47"	130° 42' 36"	20081215 ～ 20090219	580㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
ほんじょう 本庄遺跡 (1425地点)	熊本県 熊本市 本庄	43 201	285	32° 47' 49"	130° 42' 41"	20141117 ～ 20150224 20150729	1,655.0㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
ほんじょう 本庄遺跡 (1426地点)	熊本県 熊本市 本庄	43 201	285	32° 47' 49"	130° 42' 41"	20141117 ～ 20150224 20151102	2,141.0㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
ほんじょう 本庄遺跡 (1504地点)	熊本県 熊本市 本庄	43 201	285	32° 47' 49"	130° 42' 41"	20150518 ～ 20150728	485.0㎡	学校敷地内の開発事業に伴う

ほんじょう 本庄遺跡 (1442地点)	熊本県 熊本市 本庄	43 201	285	32° 47' 46"	130° 42' 41"	20150225 ～ 20150703	563.4㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
ほんじょう 本庄遺跡 (1233地点)	熊本県 熊本市 本庄	43 201	285	32° 47' 37"	130° 42' 45"	20130207 ～ 20130213	9.3㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
きょうまちだい 京町台遺跡群 (1417地点)	熊本県 熊本市 京町	43 201	238	32° 49' 5"	130° 42' 16"	20140911 20141105 ～ 20150416 20150610	747.9㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
きょうまちだい 京町台遺跡群 (1443地点)	熊本県 熊本市 京町	43 201	238	32° 49' 6"	130° 42' 16"	20150226 ～ 20150416	241.8㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
おおい 大江遺跡群 (0819地点)	熊本県 熊本市 鹿渡	43 201	283	32° 48' 26"	130° 43' 41"	20081009 ～20081128	694.95㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
黒髪町遺跡群 (0836地点)	集落址	古代	竪穴住居・溝		土師器・須恵器・鉄製品			
黒髪町遺跡群 (1514地点)	集落址	古代	竪穴住居・溝		土師器・須恵器			
黒髪町遺跡群 (1524地点)	集落址	古代	竪穴住居・溝		土師器・須恵器			
黒髪町遺跡群 (1528地点)	集落址	近代	建物基礎		煉瓦		近代の煉瓦積建物基礎の検出	
黒髪町遺跡群 (0806地点)	集落址	古代	竪穴住居・溝		土師器・須恵器			
黒髪町遺跡群 (0806Ⅱ地点)	集落址	古代	溝・土坑・ピット		土師器・須恵器・縄文土器・石器		墨書土器	
黒髪町遺跡群 (0809地点)	集落址	古代	竪穴住居・溝		土師器・須恵器			
本庄遺跡 (0411地点)	集落址	古代	竪穴住居・溝・ピット・畑跡・祭祀跡		古式土師器・土師器・須恵器・鉄製品・縄文土器・石器・石製品		祭祀跡と考えらえる遺物・遺構検出、墨書土器	
本庄遺跡 (0835地点)	集落址	古代	竪穴住居・溝・ピット		古式土師器・土師器・須恵器・鉄製品・縄文土器・石器		墨書土器	
本庄遺跡 (1425地点)	集落址	古代	竪穴住居		土師器・須恵器			
本庄遺跡 (1426地点)	集落址	古代	竪穴住居・溝		土師器・須恵器			
本庄遺跡 (1504地点)	集落址	古代	竪穴住居・溝		土師器・須恵器			
本庄遺跡 (1442地点)	集落址	古墳・古代	竪穴住居・溝		土師器・須恵器			
本庄遺跡 (1233地点)	集落址	古代	竪穴住居・ピット		土師器			
京町台遺跡群 (1417地点)	集落址	弥生・近世	竪穴住居・溝・ピット		弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器		弥生時代後期集落址の調査	
京町台遺跡群 (1443地点)	集落址	弥生・近世	溝・ピット		弥生土器・土師器・陶磁器			
大江遺跡群 (0819地点)	集落址	古代	竪穴住居・溝・ピット・道路跡・火葬墓		土師器・須恵器・鉄製品・縄文土器・石器・石製品		火葬骨蔵器、墨書土器	

熊本大学埋蔵文化財調査報告書 第12集
熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅻ
(2004、2008、2012、2014、2015年度)

平成29年3月27日 印刷

平成29年3月31日 発行

編集・発行 熊本大学埋蔵文化財調査センター

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39-1

TEL 096(342)3832 FAX 096(342)3832

印刷 シモダ印刷株式会社

